

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年6月27日

【事業年度】 自 2021年1月1日 至 2021年12月31日

【会社名】 スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト
(Svenska Handelsbanken AB (publ))

【代表者の役職氏名】 ヨハンナ・シュミット
(Johanna Schmidt)
シニア・ヴァイス・プレジデント
(Senior Vice President)
リーゼロッテ・エルフストランド
(Liselotte Elfstrand)
ヴァイス・プレジデント
(Vice President)

【本店の所在の場所】 スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッド
ゴードシュガータン 2
(Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1029

【事務連絡者氏名】 弁護士 佐藤 孝成
弁護士 森 真幸人
弁護士 瀬田 裕貴

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1623
03-6775-1679
03-6775-1747

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。
「当行グループ」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。
「北欧諸国」又は「北欧」とは、	スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。
「スウェーデン」とは、	スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「デンマーク・クローネ」はデンマーク・クローネを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨を指す。2022年5月27日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=12.91円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を含むが、これらに限られない。)

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」におけるすべての将来の見通しに関する記述は、本有価証券報告書提出日現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討すべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

日本において得られた判決の効力

外国の裁判所が民事及び商事事件について下した判決のスウェーデンにおける執行可能性は、当該判決の執行可能性がスウェーデンの法律に明示的に定められていること又は判決の相互承認及び執行を定める条約を条件とする。日本とスウェーデンは、民事及び商事事件の判決の相互承認及び執行を定める条約を締結していない。したがって、民事責任に基づいて日本の裁判所が下した判決は、スウェーデンにおいて直接執行できない。

有利な最終判決を得た者が管轄権のあるスウェーデンの裁判所に新規に提訴する場合、その者は日本の裁判所によるかかる最終判決をスウェーデンの裁判所に提出することができる。かかる最終判決は、スウェーデンの裁判所においては、かかる判決が関係する紛争の結果に関する証拠としてしか扱われず、スウェーデンの裁判所は、新規にかかる紛争について審理することができる。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

(i)概要

関係法令及び自主規制

当行のようなスウェーデンで設立された公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)は、主として、すべての有限責任会社に適用されるスウェーデン会社法(aktiebolagslagen (2005:551))(以下「会社法」という。)、スウェーデンにおける銀行・金融業を規制するスウェーデン銀行・金融業法(lag (2004:297) om bank- och finanseringsrörelse)(以下「銀行法」という。)及び証券業を規制するスウェーデン証券市場法(lag (2007:528) om värdepappersmarknaden)(以下「証券市場法」という。)により規制される。有限責任会社である銀行の年次会計は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(lag (1995:1559) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag)により規制される。当行はナスダック スtockホルムに上場しているため、ナスダックの上場規則(発行会社のための規則集)及び自主規制の基礎であり、「遵守するか、そうでない場合は説明をする(comply or explain)」の原則に基づくスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コード(以下「コーポレート・ガバナンス・コード」という。)も遵守しなければならない。

当行は、スウェーデン金融監督庁(Finansinspektionen)(以下「SFSA」という。)から、銀行法に基づく銀行業を営む免許及びとりわけ証券市場法に基づく証券業を営む免許を取得している。そのため、当行は、SFSAの規則及びSFSAが発表する一般指針の適用を受ける。さらに、当行の子会社の多くは金融機関及び保険会社を規制するスウェーデン及び外国の法律により規制されており、またSFSA又は他の法域における類似機関の監督に服している。当行は、当行が事業を営むすべての市場において、消費者保護をはじめとする広範な規制に服している。

銀行法の規定のうち特筆すべきは、当行の株式を取得しようとする株主の持分が一定の基準(当行の資本又は議決権の10、20、30若しくは50%又は結果的に当行が取得者の子会社となるような数)に達するか若しくはそれを超えることとなる場合、又は株主がその他の方法により当行の経営に重要な影響力を持つこととなる場合には、SFSAの事前の承認が必要であるとする規定をはじめとする、所有及び経営評価に関する規則である。さらに、当行の取締役会の構成員及びその代理並びに経営責任者及び経営責任者代理の任命については、経営評価に関するスウェーデンの規則に基づき、SFSAの承認を得なければならない。

設立

当行は、公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)である。

有限責任会社の設立には、発起人が特に会社の定款(bolagsordning)を含む設立証書(stiftelseurkund)を作成することを要する。定款は、とりわけ、会社の商号及び事業活動に関する情報を含むことを要する。

設立証書には、会社の株式を引き受ける発起人の名前及び各発起人の引受株式数が記載される。引受株式の支払いは、現金又は現物(apportegendom)によりなすことができる。会社は、会社登記番号を交付するスウェーデン会社登記所(Bolagsverket)(以下「SCRO」という。)に登録することにより設立される。登記の申請は、設立証書の作成後6ヶ月以内にSCROに対してなされなければならない。

非公開有限責任会社の資本金は50,000スウェーデン・クローネ以上、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。一般に、銀行法に従い、銀行はその事業開始にあたり、SFSAからの免許取得時に5百万ユーロ以上の当初資本金を有していなければならない。

定款

定款は、すべての有限責任会社の基本的な統治書類である。定款には、とりわけ、会社の事業内容、資本金及び株主の株主総会出席権が記載される。定款は公的記録上に保存され、SCROにおいて入手可能である。

資本金及び株式

資本金

会社法に従い、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。銀行法には、銀行の資本規模は銀行の事業の範囲及び性質に基づき決定されなければならない旨を定める追加の規定がある。有限責任会社の定款には、資本金の最低額及び最高額を定めなければならない。有限責任会社の現在の登録資本金は公的記録事項であり、SCROにおいて入手可能である。

議決権

有限責任会社の定款に別段の定めのない限り、1株は1議決権を有する。定款には、他の株式の10倍超の議決権を有する種類株式について定めることはできない。当行の定款の下では、A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができ、A種株式には1株につき1議決権が、B種株式には1株につき10分の1の議決権が付される。

配当

スウェーデン法に基づき、配当は株主総会での承認を得なければならない。配当は、分配可能額の範囲内であることに加えて、事業の性質、範囲及びリスク並びに会社の財務体質、流動性及び財政状態を強化する必要性から課される株主資本の大きさに関する要請に照らして、妥当な範囲内である場合に限られる。さらに、株主は、一般のルールとして、取締役会で提案又は承認された額を上回る額の配当の決定をすることはできない。

スウェーデン法においては、当行の発行済株式総数の10分の1以上を保有する株主には、当行の利益から配当金の支払いを要求する権利がある。かかる要求がなされたら、年次株主総会では、()非制限準備金を超える繰越損失の超過額、()法律又は定款により、制限資本に繰入れなければならない額、及び()定款上、株主への配当以外の目的に使用すべきとされている額を控除の上、承認された貸借対照表に従い当期の残存利益の2分の1相当額の配当を決議する。年次株主総会は、当行の株主資本の5%を超える配当を決議する必要はない。さらに、株主総会では、分配可能額を上回る配当又は上述の妥当な範囲を超えた配当を行うことはできない。

株主総会は、有限責任会社における上位機関であり、株主への配当の分配を決定する権利を有する唯一の機関である。

配当は、通常、ユーロクリアを通じて1株毎に現金で支払われるが、現物により支払われることもある(現物配当)。株主総会において決定された基準日において、ユーロクリアが保管する株主名簿に株式所有者として登録されている者が、配当を受領する権利を有する。ユーロクリアを通じて株主と連絡を取ることができない場合も、当該株主は配当金額に係る当行への請求権を保持し、かかる権利は時効によってのみ制限される。請求権が時効になった場合、配当金額は当行が没収する。

当行株式の取引

当行の株式は、ナスダック スtockホルムでの取引が認められている。

ナスダック スtockホルム等の取引所における取引を認められた株式の譲渡は、ユーロクリアのシステムを通じて清算及び決済される。

ライツ・イシュー

既存株主は、スウェーデン法の主要規則として、株式、ワラント及び転換可能証券の新規発行の場合と同様に、その保有株式数に応じて新株式の優先的引受権を有する。但し、株主総会は株主の優先的引受権を制限する決議をすることができる。かかる決議は、投票総数及び総会出席者の保有株式数の各々3分の2以上を保有する株主の賛成がある場合にのみ有効である。さらに、発行される有価証券の対価が現金以外で払い込まれる場合、株主は優先的引受権を有しない。会社又はその子会社が保有する株式には、優先的引受権は付されない。

株主総会、取締役会及び経営責任者

株主及び株主総会

株主は、有限責任会社における最上位の意思決定機関である有限責任会社の株主総会(bolagsstämma)においてその権利を行使する。年次株主総会(årsstämma)に加えて、臨時株主総会(extra bolagsstämma)が招集される場合もある。株主総会は、特に、定款又は資本金の変更及び利益配分を決議し、取締役会の構成員を任命し、取締役会の構成員及び経営責任者の免責を決議し、取締役会の報酬を決議し、経営責任者及び上級経営陣の報酬原則を承認する。

株主総会出席権

当行のような会社の株主名簿はユーロクリアが保管しているが、株主総会の6銀行取引日前の日において株主名簿に登録されており、かつ遅くとも株主総会の4銀行取引日前までに当該名簿に直接登録されている株主であって、株主総会招集通知に記載の日において当行に出席の意思を通知した株主は、株主総会に出席する権利を有する。株主は、本人又は代理人により株主総会に出席することができる。株主は、2名以下の同伴者を同行させることができる。株主は通常、複数の異なる方法により株主総会のための登録をなすことができる。株主総会招集通知には、株主総会への出席権を得るために株主が登録を行い当行への通知をなすべき方法及びその期限が記載されている。

2022年度末に期限を迎える時限立法に基づき、電子通信の利用又は郵便投票の利用により、株主の物理的な出席を伴わず株主総会を開催することが可能である。

取締役会

銀行法及び会社法に基づき、取締役会は、当行のような会社の組織及び経営につき最終的な責任を負う。年次株主総会は、会長を含む取締役会の構成員を選任し、監査人の選任が予定された場合は、監査人を選任す

る。コーポレート・ガバナンス・コードに従い、会長を含む取締役会の構成員及び監査人の指名は、指名委員会が行うものとする。指名委員会の任命原則は、株主総会において決議される。

SCROが例外を認める場合を除き、スウェーデン法の下では、経営責任者及び半数以上の取締役が欧州経済領域に属する国の居住者であることを要する。有限責任会社の定款は、通常、株主総会で選任された取締役会の構成員の任期を次回の年次株主総会の時までとする旨定めている。株主により選任された取締役会の構成員は、株主総会により随時解任することが可能であり、取締役会の欠員は株主総会の決議によってのみ補充される。スウェーデン法の下では、公開有限責任会社の経営責任者は、取締役会会長を務めることができない。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、取締役会のすべての構成員につきSFSAの承認を得なければならない。

経営責任者

公開有限責任会社である銀行においては、取締役会は経営責任者を任命しなければならない。会社法に従い、経営責任者は、取締役会が出した指針及び指図に従って会社の日常的な経営につき責任を負う。さらに、経営責任者は、法に従って会社の計算を管理し、健全な資金運営が行われるよう必要な措置を講じなければならない。経営責任者は、SCROに登録される。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、経営責任者につきSFSAの承認を得なければならない。

損害賠償責任

会社法に従い、自らの職務の遂行にあたり故意又は過失により会社に損害を及ぼした発起人、取締役会の構成員又は経営責任者は、かかる損害を賠償しなければならない。会社法、適用ある年次報告関係法令又は会社の定款に違反した結果、株主又はその他の者に損害を及ぼした場合も同様である。さらに、有限責任会社である銀行については、銀行法、スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(lag (2014:968) om särskild tillsyn över kreditinstitut och värdepappersbolag)、資本バッファに関する法律(lag (2014:966) om kapitalbuffertar)並びにEUの所要自己資本規制(EU)575/2013(以下「CRR」という。)に違反した場合も上記と同様である。

損害は、作為又は不作為の性質、損害の程度及び一般的な状況を考慮の上、合理的に調整されることがある(jämkas)。同一の損害につき複数の者が責任を負う場合、それらの者のいずれかの責任が上記に従い調整されない限り、かかる者は連帯して責任を負う。これらの者のいずれかが損害を賠償した場合、かかる者は他の当事者に対して状況に応じて合理的に求償権を行使することができる。

会社への損害に関する訴訟は、株主総会において、過半数又は会社の全株式の10分の1以上を保有する少数株主が、損害に関する訴訟の提起の決議に賛成した場合又は取締役会の構成員若しくは経営責任者の免責の決議に反対した場合にのみ提起することができる。

法定監査人

銀行法に従い、有限責任会社である銀行は、1名以上の監査人を置かなければならず、選任される監査人の1名以上は、認可公認会計士(auktoriserad revisor)であることを要する。

年次計算書類

スウェーデンの会計関連法令は、会計に関する強制法により構成され、そのうち最も重要なものが年次報告法(årsredovisningslagen)及び簿記法(bokföringslagen)である。年次報告法及び簿記法は、会計の一般的な枠組であり、いずれも「一般に公正妥当と認められた会計原則」を定めるものである。信用機関は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法の適用を受ける。

規制市場(ナスダック スtockホルム等)における取引を認められた株式の発行会社は、IFRSに従って連結年次計算書類を作成しなければならない。

年次株主総会においては、損益計算書及び貸借対照表の承認決議がなされ、グループ全体の財務書類を作成しなければならない親会社の年次株主総会においては、連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認決議がなされる。前事業年度の年次報告書は、当該年次報告書に対応すべき年次株主総会よりも前に監査人に提出されなければならない。

会社は、すべての事業年度につきSCROに年次報告書を提出しなければならない。その結果、年次報告書は一般に閲覧可能なものとなる。

()規制環境及び資本基盤

規制環境

スウェーデン金融監督庁

1世紀以上の間、スウェーデンにおける銀行業は政府の厳密な検査及び管理に服してきた。SFSAは、スウェーデンの金融機関の監督当局である。SFSAの監督責任は、銀行及びその他の金融機関から、保険会社、証券業者、ファンドの運用会社及びナスダック スtockホルムにまで及んでいる。かかる監督責任は、スウェーデンの銀行の国外支店にも及ぶ。SFSAの総合的な目的は、金融システムの安定化及び効率性に貢献するとともに消費者保護を促進することである。

SFSAの監督は、とりわけ、自己資本比率、大口エクスポージャー及び財務書類に関する報告書の分析、並びに各銀行の業務がスウェーデンの銀行法規を遵守することを確実にするための実地検査を通して行われる。

SFSAは法律により授権された規制権限を有しており、これには、会計規制を発令し、銀行に対し月次財務書類及び様々なリスク報告書の提出を求め、各銀行の業務が銀行業務を規制する法律及び各銀行の定款を遵守することを確実にするための定期的な検査を実施する権限が含まれる。SFSAは、各銀行の年次株主総会において株主により選任される監査人とともに当該銀行の財務書類及び業務運営を調査する1名以上の監査人を任命する権限を有する。SFSAは、2008年度から2021年度の会計年度については当行の監査人を任命しなかった。

監督機能に加えて、SFSAは、スウェーデンの金融市場で事業を営む会社に対する義務的規制及び一般指針の両方を公表している。SFSAは、CRD (以下で定義する。)に基づく資本バッファを決定し、適用する主な責任を負い、マクロ・プルーデンス監督において中心的役割を果たす。

銀行法は、すべての銀行に対し、SFSAの与える免許に基づいて営業するよう求めている。かかる免許は無期限であるが、SFSAによる制限付取消権に服する。

当行の存続期間は無期限である。

リクスバンク

リクスバンクは、スウェーデンの中央銀行であり、スウェーデン議会(リクスダーグ)の機関である。リクスバンクは、金融政策を決定し、スウェーデンの為替政策の実施に責任を負い、スウェーデンの通貨準備を管理し、一定の場合における銀行への最後の貸手として待機し、また金融の安定を守るためその他の措置を講じる可能性がある。また、リクスバンクは、銀行間の決済手続を行う。

スウェーデン国債局

スウェーデン国債局(Riksgäldskontoret)(Swedish National Debt Office、以下「SND」)は、銀行サービスを中央政府に対して提供し、借入を行い、中央政府の債務を管理し、政府保証及び貸付を提供する。当局はまた、預金保険制度及び投資家保護制度の責任を負い、スウェーデンの破綻処理機関でもある。

所要自己資本

スウェーデンの自己資本比率の枠組は、CRR(その後の改正を含む。)及び指令2013/36/EU(以下「CRD」又は「CRD指令」といい、その後の改正を含む。)に基づいており、2010年度にバーゼル委員会が公表した信用機関の資本基準の強化及び最低流動性基準の設定を目的とする、資本及び流動性の要件の枠組(いわゆる「バーゼル」枠組)をEEAにおいて実施している。また2011年1月13日に、バーゼル委員会は、破綻時の損失吸収能力を確保するための自己資本規制に関する最低要件を発表した。

CRDは規則及び規制の一群であり、国内法化のために一連の要件を課しており、その多くは数年をかけて段階的に導入される予定である。しかしながら、CRRは各加盟国に直接適用されるものの、多くの重要な解釈上の問題は、拘束力のある技術的基準を通じて、又は関連規制当局の裁量に委ねて、解決される必要がある。

2014年1月1日以降、スウェーデンの自己資本比率の枠組はCRR及びCRDに基づいている。2014年1月1日から、CRRはスウェーデンの法律となり、CRDはスウェーデンの法律及びSFSA規則の改正により、2014年度にスウェーデンにおいて施行された。CRR及びCRDは、EBAが発展させ、欧州委員会が採択した一連の技術基準によって補完されている。

規則改正

それぞれ、2019年4月16日に欧州議会が、2019年5月14日にEU理事会が、CRD V指令及びCRRを採択した。CRRは、レバレッジ比率、正味安定調達比率、自己資本及び適格債務の基準、カウンターパーティー・信用リスク、市場リスク、中央清算機関へのエクスポージャー、集団投資事業へのエクスポージャー、大口エクスポージャー、報告及び開示の要件に関してCRRを改正し、CRD V指令は、適用除外の企業、金融持株会社、混合金融持株会社、報酬、監督措置及び監督権限並びに資本保全措置に関してCRD指令を改正する。CRR及びCRD指令の改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。新たな各規則の適用日は、効力発生日から、及び効力発生後12ヶ月から4年の間と、それぞれ異なる。

これらの自己資本の追加基準の改正は、以前関連規制当局が適用したアプローチとは異なり、スウェーデンの銀行の全体的な所要自己資本の水準及び構成の変更に通じる可能性がある。当該改正は、第二の柱に基づく資本要件(以下「P2R」という。)と第二の柱の指針(以下「P2G」という。)を明確に区別した。P2Rは追加の最低要件となり、第一の柱の最低要件より上位に、また結合バッファ要件より下位に配置され、第一の柱によりカバーされない又は十分にカバーされないリスクに対応する。結果として、当該結合バッファ要件にリンクする、配当に対する自動的な規制が、関連規制当局により現在導入されている第二の柱のアプローチの前に発動される可能性がある。金融システム上のリスク及びマクロ・プルーデンスのリスクに対する追加された資本の適用は、明確にP2Rから除外されている。一方、P2Gは金融機関に対し、将来的な又は遠隔的な状況に対処するために、第一の柱に基づく資本要件、P2R及び結合バッファ要件を超えた資本を保有することを要求するための所轄官庁の能力について言及している。当該改正によると、この指針は資本ターゲットを構成し、当該結合バッファ要件の上位に配置されている。

CRD指令の改正は、EU加盟国の国内法において施行される必要があったが、3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件を含むCRRの改正は、すべてのEU加盟国で直接適用された。CRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2020年12月29日にスウェーデンにおいて効力が発生したが、ほとんどの変更が同日から適用された一方で、施行された変更の一部は次の期日から適用される(また、CRRに関連するスウェーデンの法令変更は2021年6月28日から適用された。)。さらに、2021年10月27日に、欧州委員会はCRR及びCRDの見直しを採択し、バーゼルの最終基準を導入する新たな規則を提案した。欧州委員会は、2025年1月1日からの当該新規則の適用を提案している。以上のことから、CRDの枠組や要件が当行に対しどのように適用されるかは、依然として一定の不確実さを残している。

自己資本比率

自己資本比率の枠組に従って、当行グループは、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー金額合計の4.5%以上の普通株式等Tier 1資本、6%以上のTier 1資本及び8%以上の自己資本合計を保有しなければならない。

当行グループは、最低所要自己資本を満たす資本を維持することに加え、スウェーデンにおいては2.5%の資本維持バッファー、2.5%までのカウンターシクリカル・バッファー、「その他の金融システム上重要な機関(0-SII)」として指定されたことに起因する1%のバッファー及び3%のシステムミック・リスク・バッファーの合計により構成される結合バッファー要件に従うための普通株式等Tier 1資本も維持しなければならない。例えば配当に対する規制を回避するためには、定められた結合バッファー要件を満たさなければならない。

2017年3月19日以降、カウンターシクリカル・バッファーがスウェーデンにおいて適用されている。カウンターシクリカル・バッファーは当初2%であり、2019年9月には2.5%に増加したが、2020年3月に0%に減少した。スウェーデン国外のエクスポージャーに対するカウンターシクリカル・バッファー要件に関して、SFSAは、その他の国の所轄当局がその国のエクスポージャーに関して決定する2.5%までのバッファー水準を認めることとなる。2020年3月、スウェーデン、デンマーク及び英国は、COVID-19及びその経済効果に対応して、自国のカウンターシクリカル・バッファーを0%に引き下げた。同様に、ノルウェーはそのバッファー要件を2.5%から1%に引き下げた。カウンターシクリカル・バッファー要件の引き下げは、COVID-19の大流行に直接対応したものであったが、現在、要件は徐々に元の水準に引き上げられている。スウェーデン及び英国において、2022年9月にカウンターシクリカル・バッファーが1%に引き上げられる予定である。ノルウェーにおいては、2022年6月30日からカウンターシクリカル・バッファー要件の1.5%への引き上げが適用され、2022年12月31日から2%、2023年3月31日から2.5%にさらに引き上げられる。

上記の第一の柱の要件と称される要件に加えて、当行グループは、規制の第二の柱に基づく要件のための資本を保有していなければならない。これらの要件は、各金融機関に特有のものであり、監督機関により決定される。集中リスク、年金リスク、非トレーディング勘定における金利リスク等の様々な要因が第二の柱において評価される。SFSAはまた、不動産会社へのエクスポージャーに第二の柱におけるリスク加重のフロアを導入した。スウェーデンにおける商業用不動産を担保とする不動産会社へのエクスポージャーのフロアは35%、またスウェーデンにおける住宅用不動産を担保とする不動産会社へのエクスポージャーのフロアは25%である。SFSAはまた、P2Gに基づく資本バッファーを保有する必要性を算定している。かかる指針が資本維持バッファーを上回らないと推定される限り、資本計画バッファーにより当行グループに対し資本費用がこれ以上発生することはない。P2Gは、監督審査及び評価プロセスの一環として、SFSAにより決定される。

2018年12月31日より、スウェーデンの住宅ローンは、CRRの第458条に基づき、第一の柱におけるリスク加重のフロアに服している。かかるフロアはリスク加重エクスポージャー金額に直接影響を与え、したがって当行グループの最低所要自己資本に反映されている。2018年8月22日、SFSAは、IRB手法によってカバーされるスウェーデンの住宅ローンのエクスポージャーに対して、25%の金融機関特有の第一の柱におけるリスク加重フロアを課すことを決定した。この決定は、当初は2018年12月31日から2021年12月30日まで適用されたが、その後2023年12月30日までに延長された。

2021年9月30日から、ノルウェーの住宅ローンもまた、すべての住宅用及び商業用不動産へのエクスポージャーの第一の柱における平均リスク加重に対し課される、それぞれ20%及び35%の一時的なフロアの対象になる。当該フロアは、延長されない場合、2022年12月31日まで適用される。

当行グループは、規制上の最低資本及びバッファー要件に加えて、自己資本比率の内部評価を実施しなければならない。かかる内部評価においては、すべてのリスク及び所要自己資本を公平な方法で評価する。2007年のバーゼル の導入以降、自己資本比率の内部評価の過程において、当行グループは、第一の柱に基づき正式に求められているよりもかなり多くの資本を保有している。これは、資本の内部評価が経済資本(以下「EC」と

いう。)及び保守的なストレステストの計算に基づくことに起因しており、通常の景気のサイクルにおける資本供給が、ストレス条件下で発生する可能性のある潜在的な損失及び所要自己資本の変動を埋め合わせるのに十分なものでなければならないことを示している。第二の柱の枠組におけるすべての資本費用は、包括的な資本評価、すなわち当行の所要自己資本へのSFSAの個別評価において行われる。これは第一の柱において設定された最低所要自己資本に追加されたもので、P2Rの費用は、例えば配当に対する自動的な規制が効力を生じる水準に直接影響を及ぼすが、一方でP2Gの費用は影響を及ぼさない。

2022年に採用された当行グループの最新の資本方針は、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。普通株式等Tier 1比率に関して、当行は、通常の状況下においてSFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1資本要件を1%から3%上回ることを目標にしている。

2021年12月31日現在、普通株式等Tier 1比率は19.4%であった。当行の評価では、同日のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は13.9%(P2Gの1.5%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲を大幅に上回った。上記のとおり、2019年12月31日以降のカウンターシクリカル・バッファ要件が緩和されたことにより、当行グループの普通株式等Tier 1資本要件は減少している。

2021年6月28日以降、当行グループは3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件の対象となっている。自己資本比率は、標準的アプローチにおいて定義された信用換算係数を用いて再計算された貸借対照表に記載しない特定の項目を含む資産合計及び自己資本の規制上の調整に関するTier 1資本として定義される。

2017年12月に提示したように、当行のバーゼル委員会が提案した所要自己資本規制への変更(また、CRDを含む。)に対する包括的な評価は、当行グループの資本が、かかる法案が求めるであろう所要自己資本に合致するというものである。当該バーゼル改正の適用は、しかしながら未だEU内で協議中である。

2021年12月31日現在の当行グループの自己資本についての詳細情報については、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G51」を参照のこと。

「ベイルイン」を含む金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理

2014年5月6日、欧州理事会は、金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理に関するEU全体にわたる枠組の設定を定める指令(以下「BRRD」という。)を採択した。BRRDは、金融の安定を守り、納税者の損失エクスポージャーを最小限に抑えるために、当局に対して金融危機に先制的に対応するための一連の手段及び権限を与えることを目的としている。BRRDは、スウェーデン破産処理法(lag (2015:1016) om resolution)を通じて、2016年2月1日にスウェーデンにおいて施行された。

この指令に基づき当局に与えられた権限は、予防権限、早期介入権限及び破綻処理権限に分類される。SFSA及びSND0は、スウェーデンにおいてBRRDを実施する国内法に基づき権限が与えられる。破綻処理権限を行使する主な責任は、破綻処理機関であるSND0が負う。最終的に、当局は、例えば民間の買主又は民間部門の取り決めまでの間、公的管理事業体(いわゆる「ブリッジ金融機関」)に銀行を譲渡することができる。この指令は、また、損失を銀行の株主及び債権者に対し負担させることを確実にするために、株式資本の削減並びに未払債務(資本基盤に加算される債務及びその他の債務の両方を含む。)の削減及び/又は銀行の資本への転換を行う広範な権限を含んでいる。このメカニズムを、一般的に「ベイルイン」という。破綻している銀行のかかる債務のほとんどが、ベイルインの対象となる(付保預金及び担保付負債等の一定の例外を除く。)。BRRDの実施の一つの側面として、2018年1月1日から、自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)(以下で定義する。)が導入された(下記「自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)」を参照のこと。)。ベイルイン・ツールは、破綻しているか又は破綻寸前である機関の資本再構築のために用いられ、当局が、破綻処理プロセスを通じて当該機関を再建し、その組織改編及び再編後の持続性を回復させることを可能にする。その結果、ベイルイン・ツールは、債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者に損失を負担させるために利用することができる。これにより債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者は、その投資額の一部又は全部を失う結果に

なる可能性がある。さらに、当局はペイルイン・ツールを用いて、とりわけ、債務証券にかかる債務者としての発行体を置換え又は代替し、債務証券の条件を変更(満期の変更及び/若しくは支払われるべき利息の金額の変更並びに/又は支払の一時停止の強制を含む。)する可能性がある。したがって、かかる権限の行使又は行使の提案若しくは予測は、発行済みの社債(日本で発行された未償還の社債を含む。)の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

2019年度初め、欧州連合の共同立法機関(閣僚理事会及び欧州議会)は、現行規則の一定の明確化、改正及び追加(以下、合わせて「BRRDの改正」という。)に関して合意した。新たに合意された当該規則は、自己資本規制及び破綻処理規制から構成される。その目的は、金融の安定性を高め、欧州連合内の銀行の融資能力を向上させ、銀行が欧州連合内の資本市場の深化及び流動化に貢献することをより容易にすることである。さらに、この改正は、TLACに関する国際的に合意された原則がEUの規則に確実に反映されることを目指している。金融機関及び投資会社の損失吸収能力及び資本再構築能力に関するBRRDの改正は、指令2014/59/EUを改正する2019年5月20日付の欧州議会及び理事会の指令(EU)2019/879の方式により、2019年6月7日に欧州連合官報において公表された。BRRDの改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。BRRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2021年7月1日に効力が発生した。

BRRDに基づき、スウェーデンの破綻処理法は、当局による将来的な破綻処理措置に資金を供給することを目的とした破綻処理基金の積立てに各機関が貢献するよう規定している。各機関の破綻処理基金への出資金は、破綻処理のための資金調達における事前積立てに関連する欧州委員会委任規則(EU)2015/63に規定された手法を用いて計算される。これは実際には、ある機関の出資金が、とりわけそのリスク・エクスポージャー、資金源の多様性、及び金融システム又は経済の安定性における当該機関の重要性を考慮した当該機関のリスク・プロファイルに基づいて決定されることを意味する。かかる委任規則は、出資金の計算方法を決定するが、その金額については定めていない。BRRDの最低要件に基づき、出資額は各EU加盟国により決定される。

スウェーデンの破綻処理基金への出資金は、2018年においては0.125%の年間手数料から成り、2019年1月1日付で0.09%に減額され、2020年1月1日付でさらに減額されて0.05%となった。スウェーデンの破綻処理基金の準備金が、対象となるすべての預金(すなわち、スウェーデンの預金保護スキームの対象となる預金)に対し3%を超える場合、各機関は年間手数料という形での出資金は支払わない。

自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)

BRRDの実施に伴い、欧州の銀行は自己資本及び適格債務の最低基準(以下「MREL」という。)を満たすため、ペイルインの実施が可能となるリソースを保有することが求められている。MRELは、スウェーデン国債局(Sw. Riksgälden)(Swedish National Debt Office、以下「SND O」という。)により、スウェーデンの法律並びに関連するEUの規則及び規制において定められた枠組において決定される。MRELは、損失吸収額及び資本再構築額の合計により構成され、どちらもリスクベース及びノン・リスクベースのエクスポージャー指数として計算される。当該基準の一部は、通常の上位債務に劣後する債務及び自己資本によって満たされなければならない。

2021年10月13日、SND Oは、銀行のためのMRELの新たな枠組を発表した。MRELの計算のためのモデルにより、各銀行が保有すべき自己資本及び適格債務の量、債務の割合、並びに基準を満たすために使用される債務の種類が決定された。

当該枠組によれば、システム上重要な銀行に対するリスクベースの所要基準の合計は、1)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱の最低基準の合計に相当する損失吸収額、並びに2)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱の最低基準の合計に相当する資本再構築額並びに市場の信頼区間のバッファの合計として算出される。対応するリスクベースの劣後要件は、所要基準の合計と同様に算出されるが、市場の信頼区間のバッファは含まない。

ノン・リスクベースの所要基準の合計は、1)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱のレバレッジ比率の最低基準の合計に相当する損失吸収額、並びに2)同額に相当する資本再構築額の合計として算出される。ノン・リスクベースの劣後要件は、所要基準の合計に等しい。

劣後要件は経過措置の対象となり、銀行は2022年度までに中間目標レベルを、2024年度までにすべての基準を満たすため、劣後債務の金額を徐々に増加させなければならない。

最低基準は、SND0及び関連規制当局により策定され、2021年12月17日に発表された当行グループの破綻処理計画に定められており、SND0のウェブサイト上で確認することができる。

当行グループの2022年度のMRELの基準は、連結勘定のリスク加重エクスポージャー金額の合計の19.9%、レバレッジ比率5.0%に相当する。かかる基準は、損失吸収額及び資本再構築額により構成される。MRELの基準のうち、上位債務に劣後する債務及び自己資本によって満たされる必要のある部分は、リスク加重エクスポージャー金額の合計の13.5%、レバレッジ比率の5.0%に相当する。

大口エクスポージャー

信用機関及び投資会社の健全性要件に関する2013年6月26日付欧州議会・欧州理事会規制CRR並びに修正規制(EU)648/2012に基づき、顧客又は関連するグループ顧客に対する金融機関のエクスポージャーが当該金融機関のTier 1資本の10%を超えると、かかるエクスポージャーは「大口」とみなされる。かかるエクスポージャーは、所轄官庁に報告されなければならない。金融機関はまた、自身の大口エクスポージャーが「Tier 1資本の10%を超えるエクスポージャー」という定義による大口エクスポージャーには当てはまらない場合でも、大口エクスポージャーの上位20件を報告するよう求められる場合がある。金融機関はまた、他の金融機関に対する大口エクスポージャー上位10件及び規制の枠組の外で銀行業務を行うシャドープランキングに対する大口エクスポージャー上位10件を報告しなければならない。

これらの規制の下では、1人の顧客又は関連顧客グループに対するエクスポージャーが金融機関のTier 1資本の25%を超えることは認められない。一定の場合には、これを下回る上限が適用される。金融機関が規則を遵守しない場合、所轄官庁は、当該金融機関に是正を命じることができる。かかる命令は、罰金を伴うことがある。

スウェーデン国内預金保証

EU指令を受け、スウェーデンは、預金保証法(lag (1995:1571) om insättningsgaranti)の可決により1996年に預金保護スキームを確立した。スキームの対象となる各金融機関は、かかるスキームに基づいて行われる可能性のある支払いの原資となる基金を維持するために、関連する保証機関(SND0)に年間手数料を支払わなければならない。その後、欧州及びスウェーデンのそれぞれのレベルにおいて預金保護スキームについて一定の改正があり、スウェーデン国内預金保証に基づく保証の上限額は、現在、1,050,000スウェーデン・クローネである。しかしながら、保証の額は、預金保証法に記載のとおり、住宅用不動産の売却又はその他の「ライフ・イベント」に関連した預金については一時的に引き上げられ、5百万スウェーデン・クローネとなっている。かかる保証は、その他の銀行、証券会社、保険会社、年金ファンド及び公的機関を除くすべての分野の預金顧客に適用される。保証には一定の制限があり、保険契約、有価証券による貯蓄又は個人年金貯蓄制度等はその対象ではない。

スウェーデンの金融制度安定化計画

2008年、スウェーデンは、スウェーデンの金融制度の安定性を高め、世界金融危機がスウェーデン経済に及ぼす悪影響に対処するため、スウェーデン政府金融機関支援法(lag (2008:814) om statligt stöd till kreditinstitut)の可決により安定化基金を設立した。金融機関は、安定化基金に年間手数料を支払ってきた。

BRRDのスウェーデンにおける施行に関連して、スウェーデン政府金融機関支援法は廃止され、スウェーデン破産処理法((lag (2015:1016) om resolution)(危機管理条項を含む。))及びスウェーデン予防的状態支援法(lag (2015:1017) om förebyggande statligt stöd till kreditinstitut)(安定した金融機関への支援に関する条項を含む。))に置き換えられた。この破産処理法に基づき、危機的状況にある銀行への対処の財源は、第一に、ペイルイン等を通じて株主及び債権者が負担する資本再構成のための損失及び費用によってまかなわれる。しかしながら、特別な状況下においては国家的な支援が認められる。破産処理準備金がこの目的のために設定され、2016年から安定化手数料は、破産処理準備金手数料に置き換えられた。したがって金融機関からの手数料は、今後、安定化基金の代わりに破産処理準備金に寄与することとなる。現行の安定化基金の一部は、破産処理準備金に移された。残りの安定化基金は、予防的状態支援法に基づく予防的状態への支援に使用されることとなる。

マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与

スウェーデンを本拠地とするすべての銀行及び金融市場機関は、マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与を防ぐことを目的としたスウェーデンの国内法に服している。新たなスウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag (2017:630) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)は2017年8月2日に効力が発生し、同じ名称の旧法(lag (2009:62) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)に取って代わった。旧法同様、当該法律は銀行及び金融機関がマネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与に関与することを禁止し、当該法律に違反していると疑われる取引をスウェーデン国家警察局に通報することをこれらの機関に求めている。

(2)【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は、2021年3月24日の年次株主総会において採択された当行の定款の抜粋である。

資本金及び株式数

当行の資本金は、2,325,000,000スウェーデン・クローネ以上、9,300,000,000スウェーデン・クローネ以下とする。

株式数は、1,500,000,000株以上、6,000,000,000株以下とする。

A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができる。A種株式の発行可能株式総数は6,000,000,000株であり、B種株式の発行可能株式総数は150,000,000株である。

A種株式は1株につき1議決権が付され、B種株式は1株につき10分の1の議決権が付される。

増資に際する株主の権利

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、新たにA種株式及びB種株式を発行することを決定した場合、A種株式及びB種株式の保有者は、従前の保有株式数の割合に応じて同種の新株を引き受ける優先権(第一優先権)を有する。第一優先権により引き受けられなかった株式は、すべての株主に対し引受けの募集が行われる(第二優先権)。かかる募集株式数が第二優先権による引受けに不足した場合、株式は引受人の保有株式数の割合に応じて分配されるか、また、これが不可能な場合は抽選により分配される。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、A種株式又はB種株式のいずれか一方のみを発行することを決定した場合、すべての株主はその保有株式がA種株式であるかB種株式であるかにかかわらず、従前の保有株式数の割合に応じて新株を引き受ける優先権を有する。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、ワラント又は転換可能証券を発行することを決定した場合、株主は、ワラントの行使によりその新たな引受けの対象となる株式にかかる発行が適用される場合と同様

にワラントを引き受ける優先権を有し、又は転換可能証券の転換により発行される株式にかかる発行が適用される場合と同様に転換可能証券を引き受ける優先権を有する。

上記は、当行が株主の優先権を排除して現金による払込み又は債務の相殺による株式発行を決定する機会を制限することを示唆するものではない。

取締役

法律に基づき株主総会以外の者により任命される取締役に加え、取締役会は8名以上15名以下の取締役に構成されるものとする。

監査人

法律に基づき株主総会以外の者により任命される監査人に加え、当行は1名若しくは2名の監査人及びこれに応じた数の代理監査人、又は1社若しくは2社の登録監査法人を置くものとする。

株主の株主総会出席に関する権利

会社法に従った議決権登録が株主総会の4銀行取引日前に行われることを考慮し、株主総会に参加を希望する株主は、総会の6銀行取引日前の状況を示した株主名簿全体の写しに記載されていなくてはならず、また、総会の招集通知に指定された日にちまでに当行本店に通知を行わなくてはならない。日曜日、その他の祝日、土曜日、夏至祭前日、クリスマスイブ又は大晦日を当該日として設定してはならず、また、総会から5営業日より前に設定してはならない。

株主は最大2名のアドバイザーを帯同することができるが、前段落に記載の要領でアドバイザーの人数を通知していた場合に限る。

株主総会の議長、議決権

株主総会は、取締役会会長又は当該目的のために取締役会が任命した者により開会される。

株主総会の議長は出席株主により選任される。

当行の発行済株式に付帯する議決権総数の10%を超す議決権を有する者は、発言も議決権の行使も行っていない。

年次総会

取締役会は、会社法に記載された手順に従い株主が総会に先立ち郵送により議決権を行使する権限を有することを、かかる総会に先立ち決定することができる。

年次株主総会

以下の項目が、年次株主総会の議題となる。

1. 総会の議長の選任
2. 議決権行使者リストの作成及び承認
3. 議題の承認
4. 2名の議事録署名者の選任
5. 総会招集の適法性の判断
6. 年次計算書類及び監査報告書並びに連結年次計算書類及び連結計算書類に対する監査報告書の提示

7. 決議事項

- a) 損益計算書及び貸借対照表並びに連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認
 - b) 承認済み貸借対照表に基づく当行の利益又は損失の処分
 - c) 取締役及び最高経営責任者の責任免除
- 8. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人の員数の決定
 - 9. 取締役及び、適用ある場合、監査人の報酬の決定
 - 10. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人又は登録監査法人の選任

総会の管轄に服するその他の事項は、会社法又は定款に従うものとする。

2【外国為替管理制度】

1989年以降、スウェーデンにおいて有効な外国為替管理制度は存在しない。スウェーデン政府は、スウェーデン為替・クレジット規制法(lag (1992:1602) om valuta - och kreditreglering)により、スウェーデンが戦争中の場合又は戦争、戦争の脅威、深刻な事故若しくは特に大規模な短期資本移動による例外的な状況が存在する場合は、リクスバンクと協議の上で、外国為替管理を実施する権限を与えられている。また、スウェーデン政府は、外国為替管理が導入された場合、リクスバンクの要請により信用管理を実施する権限を与えられている。かかる管理の実施に関する一切の決議は、承認のために、決議から1ヶ月以内にスウェーデン議会に提出されなければならない。定められた期間内にかかる提出がなされない場合、当該決議はその効力を失う。

3【課税上の取扱い】

(1)スウェーデンにおける課税上の取扱い

スウェーデンの租税

以下の概要は、スウェーデンの税法上スウェーデンの居住者とはみなされない当行によって日本で発行された社債(以下「本社債」という。)の所持人に関する一定のスウェーデンの課税上の影響について要約したものである。当該概要は、本有価証券報告書の日付現在有効なスウェーデンの法律に基づいており、一般的な情報提供のみを目的としている。当該概要は、本社債が貯蓄投資勘定(investeringsparkonto)において保有される場合、本社債の削減若しくは転換の課税上の影響、かかる削減若しくは転換を行う関連規制当局の能力の存在、又は利息の支払人等の報告義務に関する規則についてはとりわけ対応していない。さらに、当該概要は、外国税の控除にも対応していない。投資家は、各々の個別の状況に応じて、スウェーデンの租税並びに本社債の取得、保有及び処分に係るその他の課税上の影響(二重課税回避のための租税条約の適用可否及び影響を含む。)について、専門の税務アドバイザーに相談すべきである。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人

本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの所得税は課税されない。但し、かかる所持人が()スウェーデンの税法上居住者でなく、かつ、()本社債が有効に関連性を有する恒久的施設をスウェーデン国内に有しない場合に限る。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの源泉徴収税又はスウェーデンの課税控除は適用されない。

スウェーデンの税法上居住者であった本社債の所持人

本社債が株式として課税される有価証券とみなされる場合、処分若しくは償還が行われた暦年中又は処分若しくは償還が行われた年に先立つ10暦年間のいずれかの時点においてスウェーデンにおける常用の住居又はスウェーデンにおける継続した滞在により、税法上スウェーデンの居住者であった個人については、当該本社債の処分又は償還に際し、スウェーデンのキャピタルゲイン税が課される。しかしながら多くの場合、当該規則の適用は、適用ある二重課税回避のための租税条約により制限されている。

(2)日本における課税上の取扱い

- ()日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、申告不要制度又は申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。但し、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。
- ()本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。但し、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したもの(源泉徴収選択口座)における本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。
- ()日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。
- (iv)本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

4【法律意見】

当行の法律顧問であるクリスティーナ・ノルデンヘーク氏より、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

- (イ)当行は、スウェーデン法に基づく公開有限責任会社である銀行として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。
- (ロ)本書中のスウェーデンの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結 - 当行グループの5年間の概要

当行がフィンランド及びデンマークでの事業停止を決定した結果、2021年12月31日現在、これらは非継続事業として計上されている。比較可能性の観点から、2020年12月31日に終了した年度の損益計算書は修正再表示されている。2017年度から2019年度までの損益計算書は、非継続事業に関して再計算されていない。

連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
純利息収益	29,391	29,079	32,135	31,286	29,766
純手数料及びコミッション収益	11,458	9,670	10,697	10,247	9,718
金融取引による純損益	1,699	1,217	1,299	908	1,271
保険リスク	179	194	145	106	142
その他配当金収益	2	53	113	218	591
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	63	18	32	0	14
その他収益	555	137	143	1,005	172
収益合計	43,347	40,368	44,564	43,770	41,674
人件費	-12,452	-13,907	-13,549	-13,465	-12,472
その他費用	-5,577	-5,245	-6,524	-6,712	-5,889
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却 費、償却費及び減損費用	-1,814	-1,775	-1,670	-713	-619
費用合計	-19,843	-20,927	-21,743	-20,890	-18,980
信用損失控除前利益	23,504	19,441	22,821	22,880	22,694
正味信用損失	-43	-649	-1,045	-881	-1,683
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	14	5	20	14	14
営業利益	23,475	18,797	21,796	22,013	21,025
法人税等	-4,627	-4,240	-4,871	-4,656	-4,923
継続事業からの当期利益	18,848	14,557	16,925	17,357	16,102
非継続事業からの当期利益(税引後)	695	1,031			
当期利益	19,543	15,588	16,925	17,357	16,102
帰属先：					
当行の株主	19,527	15,585	16,922	17,354	16,099
うち、継続事業	18,834	14,556			
うち、非継続事業	693	1,029			
非支配株主持分	16	3	3	3	3

事業合計からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	9.86	7.87	8.65	8.93	8.28
------------------	------	------	------	------	------

- 希薄化後	9.86	7.87	8.58	8.84	8.20
--------	------	------	------	------	------

継続事業からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	9.51	7.35			
------------------	------	------	--	--	--

- 希薄化後	9.51	7.35			
--------	------	------	--	--	--

非継続事業からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	0.35	0.52			
------------------	------	------	--	--	--

- 希薄化後	0.35	0.52			
--------	------	------	--	--	--

連結包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
当期利益	19,543	15,588	16,925	17,357	16,102

その他包括利益**損益計算書に組み替えられない項目**

確定給付年金制度	6,820	1,523	4,262	-4,405	3,919
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資 本性金融商品	62	-583	372	-188	
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-1,401	-256	-931	978	-864
うち、確定給付年金制度	-1,398	-267	-910	977	-864
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される資本性金融商品	-3	11	-21	1	
損益計算書に組み替えられない項目合計	5,481	684	3,703	-3,615	3,055

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目

キャッシュフロー・ヘッジ	-1,970	-1,124	3,741	768	-2,350
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負 債性金融商品	6	7	7	-12	
売却可能金融商品(IAS第39号)					-470
当期為替換算差額	3,201	-4,269	1,072	-188	-2,241
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-910	848	-1,509	-850	-1,509
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある 項目に係る税金	595	93	-480	38	844
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	406	274	-801	-159	517
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される負債性金融商品	-1	-1	-2	3	
うち、売却可能金融商品(IAS第39号)					-5
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	190	-180	323	194	332

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計

	1,832	-5,293	4,340	606	-4,217
その他包括利益合計	7,313	-4,609	8,043	-3,009	-1,162
当期包括利益合計	26,856	10,979	24,968	14,348	14,940

帰属先：

当行の株主	26,840	10,976	24,965	14,345	14,940
非支配株主持分	16	3	3	3	0

連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度 ¹	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
資産					
現金及び中央銀行 ²	292,839	418,968	347,505	350,774	265,234
一般顧客への貸出金	2,163,135	2,269,612	2,292,603	2,189,092	2,065,761
その他金融機関への貸出金	21,745	21,920	17,939	22,137	20,250
利付証券	133,855	143,699	146,027	172,989	178,607
売却目的で保有する資産	421,417	1,657	1	19	-
その他資産	313,773	279,432	265,592	243,163	237,125
資産合計	3,346,764	3,135,288	3,069,667	2,978,174	2,766,977

負債及び資本

一般顧客からの預金及び借入金	1,286,637	1,229,763	1,117,825	1,008,487	941,967
金融機関からの預り金	83,034	124,723	147,989	194,082	174,820
発行済証券	1,353,768	1,310,737	1,384,961	1,394,647	1,276,595
劣後負債	32,257	41,082	35,546	51,085	32,896
売却目的で保有する負債	133,922				
その他負債	275,415	257,510	223,514	187,612	199,095
資本	181,731	171,473	159,832	142,261	141,604
負債及び資本合計	3,346,764	3,135,288	3,069,667	2,978,174	2,766,977

¹ 2021年12月31日現在、デンマーク及びフィンランドにおける事業は、貸借対照表上では、売却目的で保有する資産及び売却目的で保有する負債に再分類されている。その結果、2021年12月31日現在、一定の項目について、2020年12月31日現在から2017年12月31日現在までのそれらの項目と直接比較することはできない。

² この項目は、「現金及び中央銀行預け金」並びに「中央銀行へのその他の貸出金」の合計を示している。

当行グループの主要指標	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
継続事業からの信用損失控除前利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	23,504	19,441	22,821	22,880	22,694
継続事業からの正味信用損失 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	-43	-649	-1,045	-881	-1,683
継続事業からの営業利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	23,475	18,797	21,796	22,013	21,025
事業合計からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	19,543	15,588	16,925	17,357	16,102
継続事業からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	18,848	14,557			

非継続事業からの当期利益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	695	1,031			
--------------------	-----	-------	--	--	--

資産合計(単位：百万スウェーデン・クローネ)	3,346,764	3,135,288	3,069,667	2,978,174	2,766,977
------------------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

資本(単位：百万スウェーデン・クローネ)	181,731	171,473	159,832	142,261	141,604
----------------------	---------	---------	---------	---------	---------

事業合計からの株主資本利益率(単位：％)	11.8	10.0	11.9	12.8	12.3
----------------------	------	------	------	------	------

継続事業からの株主資本利益率(単位：％)	11.4	9.3	11.9	12.8	12.3
----------------------	------	-----	------	------	------

使用資本利益率(単位：％)	0.58	0.47	0.55	0.58	0.56
---------------	------	------	------	------	------

継続事業からの収益に対する費用の比率

(以下「C/I比率」という。)(単位：％)	45.8	51.8	48.8	47.7	45.5
-----------------------	------	------	------	------	------

信用損失を含む継続事業からのC/I比率

(単位：％)	45.9	53.4	51.1	49.7	49.6
--------	------	------	------	------	------

事業合計からの信用損失率(単位：％)

0.00	0.03	0.04	0.04	
------	------	------	------	--

継続事業からの信用損失率(単位：％)

0.00	0.02	0.04	0.04	
------	------	------	------	--

信用損失率(IAS第39号)(単位：％)

				0.08
--	--	--	--	------

減損貸出金引当率(単位：％)

				64.9
--	--	--	--	------

減損貸出金の割合(単位：％)

				0.13
--	--	--	--	------

事業合計からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	9.86	7.87	8.65	8.93	8.28
------------------	------	------	------	------	------

- 希薄化後	9.86	7.87	8.58	8.84	8.20
--------	------	------	------	------	------

継続事業からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	9.51	7.35			
------------------	------	------	--	--	--

- 希薄化後	9.51	7.35			
--------	------	------	--	--	--

非継続事業からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	0.35	0.52			
------------------	------	------	--	--	--

- 希薄化後	0.35	0.52			
--------	------	------	--	--	--

一株当たり普通配当金

(単位：スウェーデン・クローネ)	5.00	4.10	-	5.50	5.50
------------------	------	------	---	------	------

一株当たり配当金合計

(単位：スウェーデン・クローネ)	5.00	8.42	-	5.50	7.50
------------------	------	------	---	------	------

一株当たり調整後資本

(単位：スウェーデン・クローネ)	90.87	84.90	78.60	72.90	72.90
------------------	-------	-------	-------	-------	-------

12月31日現在の株式数(単位：百万株)

1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,944.2	1,944.2
---------	---------	---------	---------	---------

うち、発行済株式数	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,944.2	1,944.2
-----------	---------	---------	---------	---------	---------

発行済株式の平均株式数(単位：百万株)

1,980.0	1,980.0	1,956.8	1,944.2	1,944.2
---------	---------	---------	---------	---------

- 希薄化後	1,980.0	1,980.0	1,976.9	1,974.5	1,974.3
--------	---------	---------	---------	---------	---------

CRRによる普通株式等Tier 1比率(単位：％)

19.4	20.3	18.5	16.8	22.7
------	------	------	------	------

CRRによるTier 1比率(単位：%)	21.1	21.9	20.7	18.6	25.0
CRRによる自己資本比率合計(単位：%)	23.3	24.3	23.2	21.0	28.3
事業合計からの平均従業員数	12,240	12,563	12,548	12,307	11,832
うち、継続事業	11,039	11,354			

非連結 - 当行の5年間の概要

非連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
純利息収益	13,136	13,071	13,039	17,234	16,326
受取配当金	17,611	15,937	17,338	11,023	13,705
純手数料及びコミッション収益	5,230	5,692	6,011	6,218	6,592
金融取引による純損益	1,808	1,869	618	1,020	1,339
その他営業収益	3,576	2,790	2,638	2,805	1,690
営業収益合計	41,361	39,359	39,644	38,300	39,652
一般管理費用					
人件費	-10,242	-11,689	-10,148	-12,255	-10,938
その他管理費用	-6,002	-5,684	-5,808	-6,332	-5,702
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2,803	-2,672	-2,156	-1,350	-1,094
信用損失控除前費用合計	-19,047	-20,045	-18,112	-19,937	-17,734
信用損失控除前利益	22,314	19,314	21,532	18,363	21,918
正味信用損失	-55	-477	-1,059	-835	-1,685
金融固定資産の減損損失	-1,180	-79	-148	-	-
営業利益	21,079	18,758	20,325	17,528	20,233
繰入	227	743	-380	332	115
税引前利益	21,306	19,501	19,945	17,860	20,348
法人税等	-4,618	-4,275	-4,297	-4,005	-4,662
当期利益	16,688	15,226	15,648	13,855	15,686
当期配当金	9,900	16,666	-	10,693	14,581

包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
当期利益	16,688	15,226	15,648	13,855	15,686

その他包括利益

損益計算書に組み替えられない項目

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資

本性金融商品	62	-583	372	-188	
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-3	11	-21	1	
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-3	11	-21	1	
損益計算書に組み替えられない項目合計	59	-572	351	-187	

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目

キャッシュフロー・ヘッジ	246	-1,677	1,751	829	41
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	6	7	7	-12	
売却可能金融商品 (IAS第39号)					-470
当期為替換算差額	1,034	-2,184	-259	41	-2,261
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-63	-256	-826	-848	-1,476
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	-39	420	-200	19	311
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-51	365	-375	-178	-9
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-1	-1	-2	3	
うち、売却可能金融商品 (IAS第39号)					-5
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	13	56	177	194	325

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計

	1,247	-3,434	1,299	877	-2,379
その他包括利益合計	1,306	-4,006	1,650	690	-2,379
当期包括利益合計	17,994	11,220	17,298	14,545	13,307

非連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
資産					
一般顧客への貸出金	611,852	566,145	620,175	611,699	795,691
金融機関への貸出金	986,897	953,650	890,557	841,085	664,018
利付証券	134,861	145,648	156,466	169,911	172,107
その他資産	496,524	459,420	412,307	431,004	381,060
資産合計	2,230,134	2,124,863	2,079,505	2,053,699	2,012,876

負債及び資本

一般顧客からの預金及び借入金	1,173,172	1,021,130	918,146	839,835	941,401
----------------	-----------	-----------	---------	---------	---------

金融機関からの預り金	153,490	193,054	208,697	261,735	193,822
発行済証券	679,808	657,520	724,640	716,531	654,637
劣後負債	32,257	41,082	35,546	51,085	32,896
その他負債	46,481	68,305	59,863	62,565	69,237
非課税剰余金	706	933	1,678	886	683
資本	144,220	142,839	130,935	121,062	120,200
負債及び資本合計	2,230,134	2,124,863	2,079,505	2,053,699	2,012,876

当行の主要指標	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
減損貸出金引当率(単位：％)					65.7
減損貸出金の割合(単位：％)					0.18
CRRによる普通株式等Tier 1比率(単位：％)	30.2	31.7	20.2	18.7	21.4
CRRによるTier 1比率(単位：％)	33.4	34.6	23.0	21.0	23.9
CRRによる自己資本比率合計(単位：％)	37.4	38.8	26.2	24.1	27.5
使用資本利益率(単位：％)	0.72	0.65	0.74	0.63	0.74

2【沿革】

当行は、ストックホルムズ・ハンデルズバンクとして、1871年にストックホルムにおいて当初設立された。ストックホルムズ・ハンデルズバンクは1873年に株式をストックホルム証券取引所に上場させ、1919年にスヴェンスカ・ハンデルスバンケンに名称を変更した。

当行は当初、地元のストックホルム市場に重点を置き、かかる市場において確固たる地位を築いた。20世紀の初めの10年間に於いて、当行は、最初にスウェーデンの北部、次いで南部における複数の地方銀行を買収することによって成長した。

第二次世界大戦後の期間において、当行は統合が進んだスウェーデンの銀行市場において拡大を続けた。1955年に当行は、モーゲージ会社であるSIGAB(後にハンデルスバンケン・フィポテックに名称を変更。)を買収した。1963年に当行は、スウェーデンの最初の金融会社であるスヴェンスカ・フィナンス(後のハンデルスバンケン・フィナンス)と合併した。1971年に当行は、一定のミューチュアル・ファンドを販売する総代理店を買収し、同社は当行のファンド管理会社であるハンデルスバンケン・フォンデルとなった。長期にわたった地方銀行の買収は、1990年のスカンスカ・バンケンの買収により完了した。モーゲージ会社であるスタッディポテックは、1997年に買収された。

1969年に当行は分権化し、当行の支店は当行グループの地域銀行の傘下に再編成された。各地域銀行は高度な自治権を与えられ、営業を行っている。当行グループは、規模よりも利益率、またその他のスウェーデンの上場銀行の平均を上回る株主資本利益率を達成することに焦点を移した。この期間中、当行の主要株主の一つとなった従業員利益分配基金のオクトゴーネン・ファウンデーションが設立された。

1990年代に当行は、小規模の買収及び内部成長の組合せを通じて、その他の北欧諸国における活動を増やし始めた。今日、当行は、北欧諸国、英国及びオランダを当行の本拠地市場であると考えている。英国については、とりわけ21世紀の最初の10年間に於ける成長を目標としていた。

1992年に当行は、生命保険相互会社であるRKA(後のハンデルスバンケン・リヴ)を買収することにより、保険業界に進出した。2001年に当行は、生命保険会社であるSPPを買収し、これにより当行はスウェーデンにおける生命保険会社最大手の1社となった。SPPは、2007年12月21日にストアブランド・エイ・エス・エイに売却された。

2019年の戦略的な見直し後、地域銀行制度に代わり、スウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する県単位の組織を設置し、スウェーデンにおける支店業務を再編成することを決定した。2020年には、英国における支店業務についても同様の決定がなされた。しかし、1960年代後半に確立された分権的な構造及び戦略的目標は今も継続している。2021年度中、当行は、デンマーク及びフィンランドにおける事業を停止し、収益性の高い成長及び強力な市場地位のための最適な条件が揃うスウェーデン、ノルウェー及び英国にプレゼンスを集中させることを決定した。

3【事業の内容】

当行グループは、スウェーデンの主力銀行グループであり、主に当行グループの本拠地市場で、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスを提供している。かかるサービスには、住宅ローン、法人を対象とした相対貸出及び資本市場を通じた資金調達などのファイナンス、資産管理、年金及び保険などの貯蓄分野におけるサービス、プライベート・バンキング並びに様々な支払ソリューションだけでなく様々な補償ソリューションが含まれる。当行グループは、スウェーデン、ノルウェー、英国及びオランダを本拠地市場であると考え、当該地域において行われる業務は国内業務であると考えている。フィンランド及びデンマークにおける事業を売却するための手続きは、開始されている。当該手続きが完了するまで、これら2つの市場における事業は、非継続事業として財務報告される。当行は、各地域における高水準の意思決定権を備えた分権的な事業モデルを採用している。当該事業は、各本拠地市場に

おける支店網及びその他の会議施設を通じて行われている。また当行グループは、ルクセンブルグ及びニューヨークでも事業を展開している。下記「第3 事業の状況」を参照のこと。2021年12月31日に終了した事業年度において、当行グループの事業合計における平均従業員数は12,240名であり、継続事業における平均従業員数は11,039名であった。

当行グループは本書提出日現在、以下の5つの事業セグメントから成る。

・ハンデルスバンケン・スウェーデン

スウェーデンにおける支店業務により構成され、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括はスウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する。当該セグメントは、スウェーデンにおける貯蓄及び年金部門を含む。また当該セグメントには、当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッドフィポテックのスウェーデンにおける業務に加えて、様々なパートナーを通じて消費者向けの融資商品を提供するエクスターが含まれる。しかしながら、エクスターは売却の手続き中である。

・ハンデルスバンケン英国

14の地域で構成される英国における支店業務及び子会社のハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。各地域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。

・ハンデルスバンケン・ノルウェー

地域銀行及びその支店業務に加え、ノルウェーにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されており、またノルウェーにおける貯蓄及び年金部門を含む。

・ハンデルスバンケン・ネザーランド

オランダにおける地域銀行及びその支店業務に加え、オブティミクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用事業により構成されている。

・ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

次の2つの事業分野により構成される。市場部門及びハンデルスバンケン・グローバル・バンキング。市場部門は、リスク管理、有価証券、デリバティブ、リサーチ、デット・キャピタル・マーケット、コーポレート・ファイナンス及び取引銀行(現金管理、トレード・ファイナンス及びエクスポート・ファイナンス)に関連する商品及びサービスを提供している。ハンデルスバンケン・グローバル・バンキングは、ルクセンブルグ及びニューヨークにおいて展開される国際業務並びに金融インフラにより構成される。

上記の事業セグメントに加え、「その他の部門」には、グループIT部、本社スタッフ業務及びオクトゴーネン利益分配制度への引当金を含む、事業セグメントに計上されていない部門に帰属する収益及び費用の項目も含まれている。

当行グループの事業は分権的であり、各支店が個別に、中央組織の専門家の協力体制の下、必要に応じて顧客へのサービスを調整する責任を有している。このため、当行グループでは、中央の業務部門よりは支店が、各個別顧客向けに当行グループの商品及びサービスのマーケティングを行う責任を有している。但し、かかる分権体制は一元化されたリスク管理により支えられている。

当行は、スウェーデンの銀行法に基づき設立された公開有限責任会社であり、ストックホルム県において登記されている。当行の登録事務所の所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70 スtockホルム クングストラッドゴードシュガータン2である。

4【関係会社の状況】

2021年12月31日現在、当行は、21の直接所有子会社及び連結会計において持分法に基づく6つの直接所有関連会社を有している。

当行グループの主要な子会社は、以下のとおりである。

ハンデルスバンケン・フォンデル・エイ・ビー(以下「ハンデルスバンケン・フォンデル」という。)は、当行グループのミューチュアル・ファンドの運用及び管理並びに顧客のために資金の一任的な運用及び管理を行っている。ハンデルスバンケン・フォンデルは、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマーク及びルクセンブルグにおいて、該当する場合には適用される届出手続きに従い、自社のミューチュアル・ファンドを販売している。

当行の完全所有子会社であるハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・リヴ」と総称する。)は、例えば、個人年金保険、企業年金、団体生命保険、ユニット連動型保険及び疾病傷害保険並びに養老保険及び一定の貯蓄商品等の幅広い生命保険商品を提供している。ハンデルスバンケン・リヴは、スウェーデン、フィンランド及びノルウェーにおいて営業しており、その商品は、当行の支店網を通じてかかる国々で販売されている。フィンランドにおける事業売却の手続きは進行中である。ハンデルスバンケン・リヴは、ノルウェーにおける保険ポートフォリオを他の保険会社に譲渡する契約を締結しており、ノルウェーにおける当該事業は2022年度に廃止される予定である。

スタッドフィポテック・エイ・ビー(以下「スタッドフィポテック」という。)は、一世帯用住宅、セカンドハウス、住宅共同組合のアパート、農業／林業用地、集合住宅、商業施設及びオフィスビルのための住宅ローンを提供している。スタッドフィポテックの活動は、スウェーデンに集中しているが、ノルウェー、デンマーク及びフィンランド各国においても支店がある。スタッドフィポテックの業務は、かかる国々における当行の支店業務に完全に統合されている。フィンランド及びデンマークにおける事業売却の手続きは進行中である。ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国における事業活動を担う当行の英国における完全所有子会社である。英国支店の事業活動は、2018年12月1日付でかかる子会社に移管された。ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国全域に支店のネットワークを有し、当行グループのその他の地域と同じ原則に従って、個人顧客及び法人顧客に対し銀行サービスを提供している。当行には、親会社はない。

以下の表は、当行の重要な子会社を示している。持分法適用関連会社についての特定の情報については、下記「第6-1-(2) 個別財務書類 - 注記P16」を参照のこと。

会社名	住所	株式資本	保有比率
		(単位：百万スウェーデン・クローネ)	
子会社			
ハンデルスバンケン・ピー・エル・シー ^{1, 2}	ロンドン	59	100%
スタッドフィボテック・エイ・ビー ^{1, 2}	ストックホルム	4,050	100%
ハンデルスバンケン・フォンデル・エイ・ビー	ストックホルム	1.5	100%
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー	ストックホルム	100	100%

¹ 金融機関

² 2021年12月31日現在の当行グループの連結財務書類に記載の収益合計に対するスタッドフィポテック・エイ・ビー及びハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の営業収益合計の割合は、10%を超過する。

2021年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるスタッドフィポテック・エイ・ビーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

() 営業収益合計： 15,010百万スウェーデン・クローネ

- () 当期利益： 10,355百万スウェーデン・クローネ
- () 資産合計： 1,547,343百万スウェーデン・クローネ
- () 資本合計： 57,850百万スウェーデン・クローネ

2021年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- () 営業収益合計： 5,888百万スウェーデン・クローネ
- () 当期利益： 1,534百万スウェーデン・クローネ
- () 資産合計： 399,010百万スウェーデン・クローネ
- () 資本合計： 30,380百万スウェーデン・クローネ

5【従業員の状況】

2021年12月31日に終了した事業年度において、継続事業においては平均11,039名の従業員を有していた。

2021年12月31日に終了した事業年度における当行グループの継続事業における各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
スウェーデンにおける支店業務	3,359
英国における支店業務	2,509
ノルウェーにおける支店業務	731
オランダにおける支店業務	337
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケッツ	1,156
その他の部門	2,947
継続事業合計	11,039

2021年12月31日に終了した事業年度における当行グループの非継続事業における各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
デンマークにおける支店業務	632
フィンランドにおける支店業務	569
非継続事業合計	1,201

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

(1)経営方針及び対処すべき課題等

当行グループの総合的な目的は、本拠地市場における同業銀行の平均を上回る水準の収益性を達成し、その結果として、景気循環にわたり一株当たり利益の増加を伴う、長期的な価値の高成長を株主にもたらすことである。かかる目的を実現するため、当行グループは、支店網を通じた顧客への高品質なサービスの提供、質の高い貸出金ポートフォリオの維持及びコスト効率の確保に力を注いでいる。当行は、有機的な成長を目指す戦略に基づいて活動している。

当行グループは、総合的なサービスを提供する銀行となることを以前から目指してきた一方で、2019年第2四半期において部分的に新しい戦略的方針を実践するための包括的な事業を始動させた。戦略的な見直しの結果、当行グループの事業を特定の主要顧客、不動産会社及びその他の個人経営の会社といった中核的な部門並びに多様な貯蓄商品及び個人顧客向けの住宅ローンに集中させることが決定された。同時に、地理的なプレゼンスを本拠地市場であるルクセンブルク及びニューヨークに集約することとなった。スウェーデンの支店業務の再編が2021年度に開始され、完了した。これにより、当行グループは、特定の資源及び専門能力を集中させ、より高度な意思決定権限を付与し、その専門能力へのアクセスを容易にすることで、特定の支店におけるプレゼンスを強化した。同プロセスにおいて、支店数は大幅に削減された。同時に、潜在的な新規顧客の特定から成熟した取引関係まで、完全にデジタル化された顧客関係の構築に追加の資源が注がれている。顧客が当行と接する様々なチャネル間を円滑に移動できるようにする必要がある。当行グループは、このような合理化された集約によって、当行グループが主要な顧客をより良くサポートし、長期的かつ持続的な利益成長を促進できると考えている。このプロセスの第一歩は、2021年度にスウェーデン南部の顧客にサービスを提供する最初のハンデルスバンケン+のハブを開設したことだった。

2021年度中、当行は、サステナビリティ活動をさらに推進させ、中核事業である金融、投資及びアドバイザー・サービスにおいて、具体的で測定可能である持続可能な目標を打ち出した。また、すべての商品分野において、当行グループは顧客関係及びサービス提供に持続可能性を組み入れている。

(2)経営環境

当行グループの資産及び顧客の多数は、スウェーデン、ノルウェー及び英国に所在し又は関連する事業を有している。その結果、当行グループは、これらの国々のマクロ経済状況の影響を大きく受ける。

COVID-19のパンデミック及びウクライナにおける戦争は、北欧諸国、英国及びオランダの経済に悪影響を及ぼし続けることが予想される。ウクライナにおける戦争の勃発以降、当行は、2022年度に係るインフレ予測を大幅に引き上げ、GDP成長率の見積りを引き下げた。2022年度に係る当行の現在の見積りでは、スウェーデン、英国、ノルウェー及びオランダにおける実質GDPはそれぞれ2.4%、3.2%、3.6%及び4.1%増加すると予想されている。スウェーデンにおいて、2022年度の年間消費者物価指数のインフレ率は、6.5%に達すると見込まれている。

2022年4月、リクスバンクは、主要政策金利及びレポレート、長期間のマイナス又はゼロ金利から0.25%に引き上げ、3年後には2%をやや下回る程度になると予測した。リクスバンクは、今後の金利上昇がGDP成長率を低下させ、住宅価格の若干の下落につながると予測した。

近年、住宅不足及び低金利を含むいくつかの要因により、スウェーデンにおける特に個人へのモーゲージ貸付高が急激に増加した。その結果、スウェーデンの個人の負債の水準は記録的に高い水準となっている。したがって、個人は金利の上昇、収益の損失及び住宅価格の下落の影響をより受け易くなる。個人の負債の増加に関連するリスクを低減する手段として、2016年6月に住宅ローンに関連する償却要件が導入され、それ以降、さらなる償却要件が導入されている。

当行グループはスウェーデンにおいて市場リーダーであり、スウェーデンにおいて営業する4つの主要な銀行の1つであって、その他3つの銀行はノルディア・バンク・エイ・ビー・ピー・フィリアル・アイ・スヴェリエ (Nordea Bank Abp filial i Sverige)、スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケン・エイ・ビー (Skandinaviska Enskilda Banken AB) 及びスウェドバンク・エイ・ビー (Swedbank AB) である。当行グループは、スウェーデン及び海外の両方において当行グループが事業展開する市場内で厳しい競争にさらされている。商業銀行に加えて、当行は金融会社及び住宅金融専門機関とも競合している。

銀行部門を含む社会のデジタル化の速度及び範囲は近年加速しており、その結果、顧客はますますデジタル・チャネルを通じて銀行取引を行っている。当行は引き続き、当行のサービスをデジタル化し、顧客の希望やニーズに合わせているが、これらのデジタル・サービスは支店の現地拠点と連携している。

経営環境についての追加情報については、下記「第3 - 2 事業等のリスク - 世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク」を参照のこと。

2【事業等のリスク】

本項に含まれる将来の見通しに関する記述は、本書の提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づくものである。

当行は、以下のリスク要因が当行の本社債に基づく債務を履行する能力に影響を及ぼす可能性があると考えている。これらの要因はすべて、発生するかどうか分からない偶発事象であり、当行はかかる偶発事象が発生する可能性の程度につき見解を表明する立場にない。

当行は、現在入手可能な情報に基づき当行が重要でないとするその他の理由又は現在予測不能なその他の理由によっても、利息、元本又はその他本社債に関する金額を支払うことができない可能性がある。本社債への投資を予定する投資家は、本書の他の部分に記載する詳細情報も精読し、投資の判断を行う前に投資家自身の見解を確定すべきである。

以下のリスクの記載順は、当該リスクの発生可能性又はその潜在的な影響の重大性を示すものではない。

本社債に基づく当行の債務の履行能力に影響を及ぼす要因

信用リスク

信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の債務を履行できないことにより生じる当行が経済的損失に直面するリスクである。当行は、貸付、保証の発行並びに外国為替市場及び証券市場におけるカウンターパーティとの取引を実行する結果、信用リスクにさらされる。信用エクスポージャーは、取締役会が定める与信方針に従って管理される。

当行の信用エクスポージャーにつき責任を負うのは、その支店である。与信決定の責任は、当該顧客との関係を管理する支店に存する。支店長及び大部分のアカウント・マネージャーについては、個別の決定上限額が定められており、これらの者は、かかる上限額の範囲においてのみ与信決定につき単独で責任を負う。かかる個別上限額により、特定の支店長又はアカウント・マネージャーが顧客に与えることのできる与信の総額が定められている。与信限度額を上回る決定については、中央レベルだけでなく、県及び国レベルの意思決定機関がある。より上位のそれぞれの意思決定レベルにおいては、与信に関する専門的見解が加えられ、それぞれの意思決定レベルは、自らの意思決定レベルに関して、また、より上位のレベルで決定される与信に関しても、与信を拒否する権限を有している。最大与信限度額は、グループ与信部で審査され、取締役会で決定されるか、又は取締役会によって設立される与信委員会で決定される。但し、その与信の責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはないが、自動モデリングを通してなされた与信決定はその例外である。このような決定に使用される自動モデリングは、最高経営責任者の承認を必要とする。当行

は、この分権的な手法により与信が延長される時及び与信の期間中の両方において、それぞれの個人の顧客の信用リスクをより正確に評価できるようになると考えている。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、不十分な若しくは誤った内部手続、人為的ミス、システムの誤り又は外的要因により生じる損失のリスクをいう。かかる定義には、法的リスクが含まれる。

オペレーショナル・リスクは、当行グループのあらゆる業務において生じる。オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の責任は、当行グループ内のあらゆるレベルにおける経営上の責任の不可欠な部分である。当行グループの業務の分権的な手法及びコスト意識は、オペレーショナル・リスクの良好な管理を推進し、日常的な手続及び事由における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながる。

取締役会は、当行グループのオペレーショナル・リスクの許容度を設定している。当行グループのオペレーショナル・リスクに対する許容度は低いものの、オペレーショナル・リスクは当行のすべての業務において避けることのできない要素である。事故が発生した場合、当行グループの収益の重大な悪化につながる可能性のあるオペレーショナル・リスクは、より低いリスクレベルへ低減させる必要がある。リスクを受容可能な程度にするために、リスクを軽減する手法を講じなければならない。

オペレーショナル・リスクは事業活動内で管理され、グループ・リスク・コントロール部によってかかる管理が統制されている。特別に任命されたオペレーショナル・リスクの地域コーディネーターは、マネージャーによるオペレーショナル・リスクの管理を補助するために配置される。これらのコーディネーターは、オペレーショナル・リスクの既存の管理方法及び管理手続が事業活動において使用されることを確実にし、報告された事故に関連する必要な行動を管理し、事業活動のサポートを行い、オペレーショナル・リスクに関し取り決められたあらゆる措置をフォローアップするように責任を負う。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理に用いられる方法及び手続について、並びにかかる方法及び手続並びに業務におけるそれらの運用に対する定期的な評価を行うことについて、包括的な責任を負う。また、グループ・リスク・コントロール部は、新規の若しくは重大な変更があった商品、サービス、市場、手続若しくはITシステムに関する決定が行われる前に、又はグループの事業若しくは組織構造に重要な変更がなされた場合に、リスクの評価が行われるようにする責任を負う。

また、グループ・リスク・コントロール部は、当行グループのレベルにおいてすべての重要なオペレーショナル・リスクを特定、測定及び分析し、上級経営陣及び取締役会に対しそれらの進展について報告する責任を負う。

持続的なオペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理を支援するため、当行は事故の報告及び事例管理制度、オペレーショナル・リスクの自己評価のための手法及び手続並びにリスク指標を有している。

流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして当行グループが期日の到来した支払債務を履行することができないリスクである。当行グループの流動性リスクに対する許容度は低く、当行グループは、全体レベル及び各通貨毎の双方にかかるリスクを最小限に抑えるために積極的に取り組んでいる。当行は、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出を適切にマッチングさせると共に良質な十分な流動性準備金を維持することによって達成される。

グループ財務部は、当行グループの流動性に一時的又は長期的に影響を与え得る金融市場の混乱の可能性に対してより良く備えるために、当行グループの流動性リスクの管理のための最新の緊急時対応計画を維持することに責任を負う。かかる計画の下では、当行グループの流動性について、ギャップ分析における変化並びに

資金調達のボラティリティ及び資金調達費用のベンチマークを含む定期的な分析を行っている。当行グループはまた、預金高の大幅な減少及び与信供与枠の利用の増加など特定の状態における流動性への影響を測るテストを実施している。グループ財務部は、当行グループの流動性及び資金調達に包括的な責任を負う。

日常的な流動性管理に加えて、当行グループは金融市場の混乱の可能性に備えるための戦略の一部として、緊急時対応準備金を維持している。流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券により構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これらはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出対策により構成される。

欧州委員会が委任規則(EU)2015/61を導入後、流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)は、EUにおける銀行に対する拘束力のある要件となっている。かかる数値は、当行の流動性バッファ及び30日間の大きなストレス・シナリオにおける当行の正味キャッシュ・フローとの比率を規定する。かかる要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。さらにSFSAIは、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組において、各通貨のLCRを規定している。当年度末において、欧州委員会の定義に基づき計算した当行グループの総計のLCRは152%であった。このことは、当行グループが資金調達市場における短期の混乱に対して著しく耐性があることを示している。構造的流動性指標の最低要件である、安定調達比率(以下「NSFR」という。)は、利用可能な安定調達と必要とされる安定調達の比率であり、2021年6月28日にEUにおいて施行され、それによって当行は1年後の見通しの観点から通常時及びストレス下の両方の状況において資金需要を満たすのに十分な安定調達を確保することが必要となった。最低要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。2021年度末時点で、NSFRはグループレベルで114%であった。

当行グループは、通貨、市場及び資金調達金融商品に関して、十分に多様な資金源を維持するよう努めている。当行グループは、海外及びスウェーデンの資本市場から即時に資金を調達できるよう、様々なプログラムを維持している。短期資金は、スウェーデン、アメリカ合衆国及び欧州における有効なコマーシャル・ペーパー・プログラムを通じて調達される。長期資金は、主にスウェーデン・クローネ建てのカバード・ボンドの発行及び当行グループのその他の資金調達プログラムの利用を通じて調達される。グループ財務部は、資産と負債の満期の適切な均衡を維持する責任を負う。

市場リスク

市場リスクとは、金融市場における価格の変化及び価格のボラティリティに関連する損失のリスクである。当行グループは、市場リスクを、金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスクに分類している。市場リスクは、当行グループの顧客が当行に柔軟な資金調達のサービスを求める場合に発生する。当行グループはまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達源を多様化することができる。かかる資金調達は、資金調達の対象となる資産と固定金利の期間が異なるものでも良い。市場リスクはまた、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にショート・ノートिसで流動資産に転換できるグループ財務部の流動性ポートフォリオでも発生することがある。当該ポートフォリオにより、日次清算業務における当行グループの支払が確実にとなるとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。市場リスクはまた、固定利付債券、外国為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。このため、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行が、金融商品の市場価格を形成するマーケット・メーカーとしての役割を果たす場合にこのような状況になる。当行の業務における市場リスクは、主にグループ財務部及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて生じており、それぞれ管理されているが、ハンデルスバンケン・リヴにも存在する。

金利リスク

金利リスクは、主として、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ財務部及び当行グループの貸出事業において発生する。貸出事業における金利リスクは、その資金と部分的に異なる固定金利の期間を有する顧客及び他行への貸出しを行うことにより発生する。当行グループは、金利スワップ契約の締結により、かかるリスクの相当な部分を排除しようとしている。一般に、金利リスクへのエクスポージャーは、流動性の高さを特徴とする市場において生じる。

当行は、一般的な金利リスク、特定の金利リスク及び非線形金利リスクを捉える方法により、金利リスクを測定及び制限している。

株価リスク

株価リスクとは、市場価格の変動にによる株式関連ポジションの市場価値の変化に起因する損失のリスク及び市場価格のボラティリティに起因する損失のリスクである。当行グループの株価リスクへのエクスポージャーは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の保有株式において生じる。当行グループは、株価リスクを測定し妥当な上限を設定するために、原株式価格及びボラティリティの大幅な変動を想定して事前に設定したストレス・シナリオを用いている。

為替リスク

当行グループは、スウェーデン以外を拠点とする市場を有しており、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されていることにより、構造上、為替エクスポージャーが生じる。かかる構造上のリスクは、自己資本比率又は資本のそれぞれに対する為替変動の影響間のトレード・オフを考慮することによって管理される。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて行われる国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。顧客の支払フローの管理の一環としての通常の銀行業務及びグループ財務部の資金調達業務においても、ある程度のが為替エクスポージャーが生じる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのリスクに対して、ポジション限度額を設定している。

コモディティ価格リスク

コモディティの取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて独占的に行われ、コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客主導の取引の結果としてのみ発生し、取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度によって制限されている。

当行は、コモディティ価格リスク及び非線形リスクの双方を効果的に捉える方法により、コモディティ価格リスクを制限及び測定しており、またかかるリスクは、当行がさらされているあらゆるコモディティのリスクの絶対合計として測定される。

保険リスク

保険リスクとは、保険方針の結果に関連するリスクであり、主に生命保険リスク及び障害保険リスクによって構成される。ハンデルスバンケン・リヴにおける保険リスクは、以下の分野に関連している。

- ・死亡リスク - 死亡率の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。死亡率の増加は保険契約の価値の上昇につながる。

- ・ 余命リスク - 死亡率の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。死亡率の減少は保険契約の価値の上昇につながる。
- ・ 障害・疾病リスク - 病気及び回復の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・ 無効リスク - 無効、終了、更新及び解約の程度又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・ 営業費用リスク - 保険契約への営業費用の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・ 改訂リスク - 規制要件、法的環境又は被保険者の健康状態の変化による定期的な支払いの改訂レートの水準及び傾向の変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・ 大災害リスク - 極端又は特異な出来事に関連する価格決定及び想定 of 重大な不確定性の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。

各保険契約は、これらのリスクの複数へのエクスポージャーを含む可能性がある。当行グループの保険会社であるハンデルスバンケン・リヴは、利益分配を行う保険会社であるため、これらのリスクをはらんでいる。したがって、保険の購入予定者に対しては、医学的リスクの評価が行われる。

報酬制度に関するリスク

報酬リスクとは、報酬制度の結果として生じる損失又はその他の損害のリスクである。報酬リスクに対する当行グループの許容性は低く、当行グループはかかるリスクを低い水準に維持するよう努めている。変動報酬は注意して適用され、当行のリスク・プロファイルへ重大な影響を与える職務活動を行っている従業員には提供されない。

当行グループにおいて、従業員が新たな役職に就く際及び現地の給与の見直しの際、報酬は個別に設定される。当行グループに対し拘束力のある労働協約又は対応する現地の標準化された契約若しくは合意を考慮に入れて、報酬は当行の給与の設定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とはすなわち、業務内容及び難易度、能力及びスキル、業務実績及び成果、指導力、市場並びに当行の企業カルチャーの代表者であるかである。これらの原則は何年もの間、適用されている。これらは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与の見直しに参加し、当行の給与方針の実行及び各自の部門の人件費に責任を持つことを意味している。

コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクとは、当行グループが法令、規制、公共機関からの指令及び勧告並びに内部規則、又は認められている事業慣行若しくは基準を遵守しないリスクをいい、これによりオペレーショナル・リスク、制裁若しくはその他の介入のリスク、財務損失又は当行グループの事業活動に対する信用損失が増加する可能性がある。コンプライアンス業務は、コンプライアンス・リスクを特定し、それらを管理するために必要な措置を確実に講じることを目的としている。

統制機能は、グループ・コンプライアンス部並びに子会社及びその他の法的組織におけるコンプライアンス部の両方で構成される。すべてのコンプライアンス部は、事業活動から独立しており、監視及び統制対象となる機能及び分野から組織的に分離されていなければならない。コンプライアンス部門に所属する従業員は、監視責任を負う事業活動の一部であるいかなる業務上の作業も行っていない。

グループ・コンプライアンス部は、当行のグループ最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に、当行グループにおける現在のリスク状況を報告する。報告書はグループ最高経営責任者のリスク・フォーラムにも提出される。

サステナビリティ・リスク

サステナビリティ・リスクは、当行グループの全般的なサステナビリティ活動の基盤となる方針、ガイドライン、コミットメント及び目標に従って、当行グループが環境、気候、社会情勢及びコーポレート・ガバナンスに関連するリスクを特定・管理できない場合に発生する可能性がある。また、当行グループが、既存の方針及びガイドラインの枠組から外れた事業活動において、サステナビリティ・リスクを見落としてしまうリスクも含まれる。このようなリスクは、最終的に当行グループに財務上の悪影響を及ぼす可能性があるだけでなく、当行グループの評判を損なう可能性がある。

サステナビリティ・リスクは、環境、気候、人権、労働条件、金融犯罪、情報及びITセキュリティ並びにコーポレート・ガバナンスの問題など多くの分野にまたがる。サステナビリティ・リスクはまた、信用リスク、財務リスク及びコンプライアンス・リスクなど他の種類のリスクにも内在している。

サステナビリティ・リスクを管理するための当行グループの活動は、分散型モデルに基づいているほか、当行グループの通常の低いリスク許容度に沿っている。当行グループの事業活動は、サステナビリティ・リスクを識別し管理する責任を負っている。これは、リスク管理に関して確立されたプロセスの枠組内で行われる。

世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク

当行グループの各事業部門は、市況の影響を受け、これにより年間及び長期の業績が変動する可能性がある。かかる市況には、市場価格の不安定な動向を含む金融市場のサイクル及び銀行業界のサイクル等の経済サイクル並びにCOVID-19の大流行及び世界的な蔓延により生じた混乱のような、地域経済及び世界経済又は商品及びサービスの自由な流れにおける混乱をもたらす地政学的展開が含まれる。当行グループの業績は、金利及び為替、金融方針及び財政政策、消費者支出及び事業支出、人口動態並びに競争上の要因及びその他の要因の変動によっても影響を受ける。

市況もまた、地政学的な緊張の増大並びにCOVID-19の大流行及び世界的な蔓延の影響をめぐる懸念により影響を受けており、今後も受け続けると考えられる。世界経済は、COVID-19及び関連する対策によりかなりの程度影響を受けており、今後も継続すると見込まれる。

2020年1月31日、英国は正式にEUから離脱した(かかる離脱を、以下「英国のEU離脱」という。)。英国のEU離脱後、直ちに移行期間に入り、2020年12月31日に終了した(以下「移行期間」という。)。2020年12月24日、EU及び英国は貿易及び協力に関する協定に合意した(以下「貿易及び協力に関する協定」という。)。これは、移行期間の終了後のEUと英国間の関係に関する指針を定めており、2021年5月1日に施行された。しかしながら、この貿易及び協力に関する協定には、金融サービスに関する合意は含まれていなかった。

EUと英国の間で金融サービスに関する同等の決定又は貿易協定が締結されるかは不確定である。概して、そのようないずれの貿易協定、同等の決定又は金融市場に関するその他の協力メカニズムによる影響、英国及びEU加盟国の間で求められ得る法的及び規制の合致並びに規制的協力の程度、並びにEU及び英国の市場に渡る金融サービス会社に付与され得るアクセスのレベルもまた不確定である。英国のEU離脱による市場分断を通じた金融市場への影響が広範囲にわたるほど、ファイナンス及び資金調達に対するアクセスは低下し、特定の金融市場インフラに対するアクセスの欠如は、当行グループの業務、財政状態及び財政予測並びに顧客の財政状態及び財政予測に影響を与える可能性がある。英国健全性規制機構の認可に基づいて運営されている子会社である当行グループの英国支店の事業を含め、当行グループの事業への正確な影響を予測することは困難である。

2021年度を通じて、ウクライナ国境でのロシア軍の増強は、ロシアとウクライナの間の緊張を高め、二国間関係を緊張させた。こうした事態は、2022年2月にロシアがウクライナへの本格的な軍事侵攻を開始したことで、2022年度に激化し、ロシアと、とりわけウクライナ、欧州、米国及びその他のNATO諸国との間の既存の地政学的緊張を大幅に増幅させた。この侵攻を受けて、とりわけ米国、EU、カナダ、日本及びオーストラリアは、ロシアの政府高官、個人、地域、企業及び産業に対して広範囲にわたる経済制裁を課した。2022年2月27日に、スウェーデンは紛争中の国に武器を送らないという原則を破り、ウクライナに軍装備品を送ると発表した。ウクライナで進行中の紛争に関連する広範な経済制裁並びにそれに関連する経済的及び政治的な不確実性などの、ウクライナ情勢をめぐるロシアと制裁を課す他の国々との間の緊張の高まりは、世界のマクロ経済情勢に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

より一般的には、気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為、感染症の蔓延、自然災害並びにこれらの事象及び行為に対する反応・反響などの地政学的展開は、経済及び政治の不安定性を生み出す可能性があり、当行グループが事業を行う地域又は全世界における経済状況にマイナスの影響を与える恐れがある。より具体的には、当行グループの事業を妨げる恐れがあり、重大な損失に繋がる可能性がある。このような事象／行為及びそれらから生じる損失は、予測が難しく、不動産、金融資産、ポジション売買又は重要な従業員に關係する可能性がある。

これらの事項の結果として当行グループが直面するリスク及び不確実性の正確な本質を予測することは不可能であり、これらのリスクの多くは、当行グループの統制が及ばないものである。しかしながら、市場の混乱及びボラティリティが当行グループの事業、経営成績及び財政状態並びに社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

COVID-19の大流行及び世界的な蔓延により、当行グループの事業、経営成績及び財政状態は重大な悪影響を受ける可能性がある。

2019年後半に中国で確認されたCOVID-19が世界中で蔓延した。2020年3月11日、世界保健機関はCOVID-19の蔓延及び深刻度はパンデミックの域に拡大したと確認した。COVID-19の大流行及び世界的な蔓延により、当局（北欧諸国、英国及びオランダを含む。）がウイルスを封じ込めるために渡航禁止令及び渡航制限、外出禁止令、ロックダウン、検疫並びに企業及び職場の閉鎖など数々の措置を実施する結果となり、金融市場のボラティリティの著しい増加及び金融市場の下落並びにマクロ経済の見通しの著しい悪化へとつながった。これらの制限の継続期間は極めて不確かであり、長期化したり、より一層厳しい措置が導入されたりする可能性もある。このような規制は、当行グループの市場の多くで導入され、多くは今も導入中である。

パンデミック及び関連する対抗策により、当行グループの複数の顧客に悪影響が及んでおり、今後も悪影響が及ぶ。いくつかのケースでは影響が深刻であり、続いて当行グループにも悪影響が及ぶ可能性がある（例えば信用力の低下及び減損の増加等を通じて）。当行グループが業務を行う管轄地域では、中央政府がCOVID-19の大流行による影響を最も受けた経済の一部に財政支援を提供する景気刺激策を実施した。

COVID-19の経済的影響は総じて、当行グループの統制外であり、ウイルスの継続的な蔓延程度、政府当局及び国際社会の対応、ワクチンの分配及び投与の効果並びに投与されたワクチンが当該ウイルスの蔓延及び影響をどの程度減らせるかによる。多くのワクチンが現在利用可能になり、その継続期間を短縮させ、COVID-19の規模及び医療への影響を和らげる可能性をもたらしたものの、COVID-19が当行グループの経営成績、流動性、資金調達の利用可能性及び財政状態に及ぼす継続的な影響の程度は、将来の進展次第であり、本有価証券報告書の日付現在極めて不確かなままであり予測することはできない。これらの進展は、大流行の継続期間及び蔓延度、その深刻度、ウイルスの変異株、COVID-19の封じ込め又はその影響を処理するために実施された措置、免疫獲得への注力の程度及び効果、景気刺激策の程度及び効果並びにどれだけ迅速に、どの程度通常の経済及び経営状態を再開することができるかを含むが、これらに限られるわけではない。中長期的には、COVID-19の

蔓延がより長引いた場合、又は同様のマクロ経済効果を引き起こすさらなる疾病が発生した場合、マクロ経済状態は継続してマイナスの影響を受けることが予測され、当行グループが事業を行う国々及びより広範囲な世界経済において更に深刻な経済悪化に至る恐れがある（これは、蔓延し、深刻で長期に及ぶ可能性がある）。さらに、国際金融市場は非常に高いボラティリティの影響を受け続けており、これは2022年12月31日に終了する1年における当行グループの取引収益にマイナスの影響を与え、かかるボラティリティは1年を通して継続する可能性がある。当行グループに対するものを含め、契約上の義務に服する当行グループの顧客もまた、重大な悪影響を受ける可能性がある。

税法の不利な改正により、当行グループの事業は悪影響を受ける可能性がある。

当行グループが業務を行う管轄地域において、当行グループの活動は様々な税率で課税され、当該税率は現地の法律及び実務に基づき計算されている。スウェーデン政府が提案する銀行に対する税の引き上げ等の税法の改正又はかかる法律の解釈の改正により、当行グループの財政状態は悪影響を受ける可能性がある。将来の規則の改正又は財政若しくはその他の政策の変更は予測不可能かつ当行グループの管理の及ぶ範囲を超えており、当行グループの事業、財政状態及び業績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。例えば、租税回避防止指令(EU)2016/1164(以下「ATAD」という。)及び指令(EU)2016/1164を改正する指令(EU)2017/952(以下「ATAD」という。)により、EU加盟国は税法又は課税実務の改正、とりわけ出国税制、利息費用を控除する権利の制限及び外国子会社合算税制並びにハイブリッド・ミスマッチに関する規則の導入を求められる可能性がある。スウェーデンでは、ATAD及びATAD に基づいた新しい規則を施行し、税法を改正した。例えば、利息控除の制限に関するスウェーデンの規則が改正され、新たに税務上のEBITDAの30%に制限する規則が導入された。また既存のハイブリッド・ミスマッチ規則(2016年発効)とは別に、ATAD及びATAD を受けて、新たなハイブリッド・ミスマッチ規則が導入された。リバース・ハイブリッド・ミスマッチを補完するさらなる改正は、2021年7月1日に施行された。さらに、2022年1月1日に特定の信用機関に対する「リスク税」に関する新しい規則が施行された。リスク税は2021年12月31日より後に開始する会計年度から適用され、リスク税の対象となる機関には、総負債が150十億スウェーデン・クローネを超える信用機関を含む。リスク税率は、一定の方法で計算された信用機関の債務の0.05%に相当する。この税率は、2023年1月1日より0.06%に引き上げられる予定である。ATAD若しくはATAD などの税法に関するさらなる改正により、当行グループの税負担が増加し、当行グループの事業、業績、財政状態又は当行の社債に基づく義務を履行する能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

重大な悪影響を及ぼす規制上の進展により、当行グループは悪影響を受ける可能性がある。

当行グループの事業は、スウェーデン、英国及び当行グループが事業を行うその他の国々の法律、規制、方針及び/又はそれらの各解釈の変化の影響を含む、現行の規制及び関連する規制上のリスクに服している。法律及び規制並びに法律及び規制の施行又は解釈の方法は、ともに予測不可能であり、当行グループの制御の及ぶものではなく、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループの業務の多くは、現地の監督当局による監督に服している。当行グループはまた、直接適用されるEU規則及び現地の法律を通して施行されるEU指令に服している。当行グループは、欧州連合、英国又はSFSAによる規制上の取組みの結果として、将来どのような規制上の変更が課されるか予測することができない。

当行グループが効果的に規制上のリスクを管理できない場合、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行は、マネーロンダリング活動に関連するリスクにさらされており、マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。

当行は、当行グループが事業を展開する管轄地域において、マネーロンダリング防止、腐敗防止及びテロ資金供与防止に関する規則及び規制に服している。一般的に、銀行が、マネーロンダリングに関して負う又はそれらに利用されるリスクは、近年世界的に増大している。マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。これらの規則に対する違反は、当行及び当行グループにとって法的及び風評に関わる悪影響(クライアント、パートナー及びその他第三者との関係におけるものも含む。)を含め、深刻な影響を及ぼす可能性がある。当行は、当行における現行のマネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に係る方針及び手続き並びに行動基準(腐敗防止を含む。)は、適用規則を順守するのに基本的に適切であると判断しているが、当行は過去において又は今後において、常にすべての適用規則を順守してきた又は順守すると保証することはできず、また、当行グループ全体に拡大適用されるマネーロンダリング、テロ資金供与及び腐敗を防止するための当行の方針及び規則が、その従業員によって常に順守されていると保証することはできない。

当行及びその顧客は、サイバー犯罪及び詐欺に関連するリスク及び潜在的損失の危険にさらされている。

その他の金融機関同様、金融サービスにおけるテクノロジーの活用を受けて、当行及びその顧客は、当行のシステムに過負荷を掛けるように意図された攻撃を含め、犯罪目的又は悪意を持ったグループによる実際のサイバー攻撃又はその企てのリスクにさらされている。これらのリスクは、当行がその商品、サービス、主要な機能及び流通経路のデジタル化を進めるにつれて、また、サイバー攻撃がより複雑化し、より蔓延するにつれて増大する。当行は、サイバー攻撃によりその従業員及び／又は顧客に対する当行のシステムの運用上の可用性が一時的に失われるリスクにさらされており、結果として、当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に対する重大な悪影響につながる可能性がある。

当行が、サイバー犯罪や詐欺等の新たな脅威に対する情報セキュリティ管理に十分な投資を継続できないリスクがあり、また、当行が、既知の脅威に対する管理を頑強であるようにすることを継続できないリスクがある。さらに、サイバー犯罪グループによる益々複雑化する攻撃や、顧客口座に対する詐欺行為等による当行のシステムに対するセキュリティ侵害は、業務の中断、機密情報の漏えい、重大な財務リスク及び／又は法的リスクの発生並びに当行の評価及び／又はブランド価値の棄損につながる恐れがある。加えて、当行及びその顧客は、カード、口座、個人情報、内部及びその他の詐欺に関連するより一層のリスクにさらされており、中にはより複雑で、組織化され、テクノロジーに誘発されるものも含まれる。

これらの活動はいずれも防止したり検知したりすることが難しく、これらのリスクを軽減するための当行の内部方針が不適切又は非効果的である可能性がある。当行は、これらの活動又は事象により生じた損失を回復することができない可能性があると同時に、これらの結果として風評被害を被る恐れがあり、そのいずれもが当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績等の概要

下記「(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2)生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、本書提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

2021年12月31日終了事業年度

業績報告

継続事業からの当期利益は、29%増加して18,848百万スウェーデン・クローネ(前年度は14,557百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益は、25%増加して23,475百万スウェーデン・クローネ(前年度は18,797百万スウェーデン・クローネ)となった。2021年第4四半期において、既に公表されているクレジットカード・アクワイアラー事業の売却に関連する408百万スウェーデン・クローネの一時収益の項目が計上された。為替変動による29百万スウェーデン・クローネのプラスの影響、オクトゴーネン利益分配制度への-69百万スウェーデン・クローネ(前年度は-213百万スウェーデン・クローネ)の引当金及び408百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,508百万スウェーデン・クローネ)の非経常項目を調整後、営業利益は13%改善した。上記の項目を調整後、信用損失控除前利益は9%改善した。

収益合計は、7%増加して43,347百万スウェーデン・クローネ(前年度は40,368百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動及び上記の一時収益の項目を調整後、収益合計の増加は6%であった。収益合計は、地域関連及び商品関連の集中期間中に増加し、特に個人顧客及び法人顧客への不動産関連の貸出金並びに資産運用における好調な業績により牽引された。

費用合計は、5%減少して-19,843百万スウェーデン・クローネ(前年度は-20,927百万スウェーデン・クローネ)となった。35百万スウェーデン・クローネの為替の影響、オクトゴーネン利益分配制度への引当金及び前年度の非経常費用を調整後、費用合計の純増加は3%であった。かかる増加はすべて、718百万スウェーデン・クローネすなわち34%の計画的な開発費の増加に起因する。またこれらを調整後、費用合計は115百万スウェーデン・クローネすなわち1%減少した。

C/I比率は、45.8%(前年度は51.8%)に改善した。

株主資本利益率は、11.8%(前年度は10.0%)に増加し、一株当たり利益は、25%増加して9.86スウェーデン・クローネ(前年度は7.87スウェーデン・クローネ)となった。

普通株式等Tier 1比率は、19.4%(前年度は20.3%)であった。普通株式等Tier 1資本は、150十億スウェーデン・クローネ(前年度は146十億スウェーデン・クローネ)であった。

営業利益のうち非経常項目及び特別項目

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度(通年)	2020年度(通年)
非経常項目		

クレジットカード・アクワイアラー事業の		
売却費用	408	-
リストラクチャリング費用	-	-1,470
非継続ITシステムの減損費用	-	-38
非経常項目合計	408	-1,508
特別項目		
オクトゴーネン利益分配制度	-69	-213
特別項目合計	-69	-213

収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度(通年)	2020年度(通年)	変動
純利息収益	29,391	29,079	1%
うち、政府手数料	-1,171	-1,224	-4%
純手数料及びコミッション収益	11,458	9,670	18%
金融取引による純損益	1,699	1,217	40%
その他の収益	799	402	99%
収益合計	43,347	40,368	7%

純利息収益は、1%すなわち312百万スウェーデン・クローネ増加して29,391百万スウェーデン・クローネ(前年度は29,079百万スウェーデン・クローネ)となった。特に住宅ローン及び不動産金融に関する当行の強固な市場地位により堅調な発展が継続していることに起因し、取引額が増加し666百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘及び資金調達費用の正味の影響により、-406百万スウェーデン・クローネのマイナスの寄与が生じた。政府手数料は、53百万スウェーデン・クローネ減少して合計-1,171百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,224百万スウェーデン・クローネ)となった。

純手数料及びコミッション収益は、18%増加して11,458百万スウェーデン・クローネ(前年度は9,670百万スウェーデン・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンド額は、28%すなわち218十億スウェーデン・クローネ増加した。ミューチュアル・ファンド手数料は、市場価値の上昇、純流入及び基本的な商品構成の影響により、1,538百万スウェーデン・クローネすなわち36%増加して5,842百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,304百万スウェーデン・クローネ)となった。全体として、ファンド運用手数料、カストディ手数料及びその他の資産運用手数料は、34%増加して合計6,747百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,048百万スウェーデン・クローネ)となった。保険による収益は、18%増加して803百万スウェーデン・クローネ(前年度は679百万スウェーデン・クローネ)となった。仲介収益は4%減少して555百万スウェーデン・クローネ(前年度は577百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出手数料及び預金手数料は、3%減少して1,155百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,185百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、2%増加して1,479百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,448百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうちクレジットカード事業からの純コミッションは、2%増加して971百万スウェーデン・クローネ(前年度は955百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、482百万スウェーデン・クローネ増加して1,699百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,217百万スウェーデン・クローネ)となった。前年度は、COVID-19のパンデミックの発生によりマイナスの影響を受けており、信用評価調整(CVA)及び負債評価調整(DVA)により-64百万スウェーデン・クローネのマイ

ナスの影響が生じた。かかる影響は、当年度中の91百万スウェーデン・クローネのプラスの影響と対比できる。かかる数値の改善のうち、合計70百万スウェーデン・クローネは、ハンデルスバンケン・リヴの従来型保険事業に対する実現資本拠出が-48百万スウェーデン・クローネ(前年度は-118百万スウェーデン・クローネ)減少したこと起因する。

その他の収益は、上記のクレジットカード・アクワイアラー事業の売却による一時収益の結果として、799百万スウェーデン・クローネ(前年度は402百万スウェーデン・クローネ)に増加した。保険リスクは合計179百万スウェーデン・クローネ(前年度は194百万スウェーデン・クローネ)であった。

費用

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度 (通年)	2020年度 (通年)	変動	
				%
人件費	-12,452	-13,907	1,455	-10%
うち、オクトゴーネン	-69	-213	144	-68%
うち、リストラクチャリング費用	-	-1,310	1,310	
うち、開発費	-1,125	-934	-191	20%
うち、為替の影響	18		18	
うち、その他	-11,276	-11,450	174	-2%
その他費用	-5,577	-5,245	-332	6%
うち、リストラクチャリング費用	-	-60	60	
うち、開発費	-1,019	-644	-375	58%
うち、為替の影響	17		17	
うち、その他	-4,575	-4,541	-34	1%
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-1,814	-1,775	-39	2%
うち、リストラクチャリング費用及びITシステムの 減損費用	-	-138	138	
うち、開発費	-677	-525	-152	29%
うち、為替の影響	0		0	
うち、その他	-1,137	-1,112	-25	2%
費用合計	-19,843	-20,927	1,084	-5%
うち、オクトゴーネン	-69	-213	144	-68%
うち、リストラクチャリング費用及びITシステムの 減損費用	-	-1,508	1,508	
うち、為替の影響	35		35	
うち、開発費	-2,821	-2,103	-718	34%
うち、その他	-16,988	-17,103	115	-1%
為替の影響、オクトゴーネン及び非経常項目の調整後 の変動				3%

開発費

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度(通年)	2020年度(通年)	変動
開発投資費	-2,643	-2,296	15%
うち、人件費	-1,388	-1,259	10%
うち、その他費用	-1,255	-1,037	21%
資本化費用	499	718	-31%
うち、人件費	263	325	-19%
うち、その他費用	236	393	-40%
資本化費用後の開発投資費	-2,144	-1,578	36%
償却費及び減損費用	-677	-525	29%
開発費	-2,821	-2,103	34%

費用合計は、5%減少して-19,843百万スウェーデン・クローネ(前年度は-20,927百万スウェーデン・クローネ)となったが、為替の影響、オクトゴネン利益分配制度及び非経常項目を調整した後、3%すなわち603百万スウェーデン・クローネ増加となった。かかる増加はすべて、718百万スウェーデン・クローネすなわち34%の計画的な開発費の増加に起因する。これらも調整すると、費用合計は115百万スウェーデン・クローネすなわち1%減少した。

合計で30億スウェーデン・クローネをわずかに上回る費用削減策の実施は、計画に従って進行している。2020年秋以降、約20億スウェーデン・クローネの費用削減策が合意されるか又は実施されている。これらのうち、2021年度中に10億スウェーデン・クローネの費用削減が実現されており、2022年度中にも10億スウェーデン・クローネの費用削減が実現される見込みである。30億スウェーデン・クローネの目標を達成するため、合意し、実施する予定である残りの措置は、主にスウェーデンにおける業務及び中央部門における組織的な効率の改善の継続、英国における金融犯罪防止業務のための事業費の削減並びに計画しているエクスターの子会社の売却により構成される。

当行が2019年度及び2020年度中に認識した合計2.2十億スウェーデン・クローネのリストラクチャリングに係る準備金のうち、継続事業に関連して1.1十億スウェーデン・クローネが当年度中に利用された。利用総額は1.6十億スウェーデン・クローネであった。

当行の一連の開発投資は、バランスよく行われている。その3分の1は、収益性、成長性及び顧客満足度を向上させる事業開発への投資に関連する開発投資である。これらの投資は、例えば商品及び顧客プロセスのデジタル化並びに遠隔でのアドバイザリー・サービスを通じた、カスタマー・ミーティングを目的としている。もう3分の1は、例えば高度なデータ分析、クラウド投資及びITによる自動化並びにコア・バンキング・システム及び金融犯罪防止のためのプラットフォームの置き換えといった、長期的な効率化及び事業価値の創造を目的とした開発投資である。残りの3分の1は、リスク軽減を目的とし、規制への適応及び技術的なライフサイクル管理等に関連する開発投資である。

2020年第3四半期中、当行は2021年度から2022年度中の開発投資費を一時的に合計10億スウェーデン・クローネ増加することを決定した。かかる開発は、主にデジタル・チャネルにおけるカスタマー・ミーティングを目的とし、さらに、より効率的な情報フロー及びデータ分析並びにクラウドソリューションへの投資も目的とする。当年度中、-501百万スウェーデン・クローネ(前年度は-11百万スウェーデン・クローネ)が利用され、-357百万スウェーデン・クローネ(前年度は-11百万スウェーデン・クローネ)が費用処理された。IT開発に関連する費用合計は、15%増加して-2,643百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,296百万スウェーデン・クローネ)

ネ)となった。非継続事業を含めると、かかる増加は15%となり、-3,001百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,611百万スウェーデン・クローネ)となった。

資本化費用は、499百万スウェーデン・クローネ(前年度は718百万スウェーデン・クローネ)に減少した。当年度中、開発費のうち当行の貸借対照表において資産計上された部分は少なく、代わりに損益計算書において直接、費用として計上された。資本収益率は、開発に関連する計画の性質により、時間の経過と共に変動する可能性がある。現在、当行はクラウドサービスへの移行に関連した多くの計画を実施しており、現時点で費用の大部分が計上されている。全体として、過年度の資本化費用の償却に関連した前年度中の資本収益率の減少により、当年度末の貸借対照表上の資本化開発費合計は、0.1十億スウェーデン・クローネ減少して3.5十億スウェーデン・クローネ(前年度は3.6十億スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、10%減少して-12,452百万スウェーデン・クローネ(前年度は-13,907百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、18百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。リストラクチャリング準備金への引当金により、前年度中の人件費に総額-1,310百万スウェーデン・クローネの負荷が生じた。開発に関連する人件費が198百万スウェーデン・クローネすなわち21%増加して-1,125百万スウェーデン・クローネ(前年度は-927百万スウェーデン・クローネ)となったものの、これらの項目及びオクトゴーネン利益分配制度を調整後、人件費に実質的な変動はなかった。平均従業員数は、315名減少して11,039名(前年度は11,354名)となった。当年度末の従業員数は、480名減少して10,793名(前年度は11,273名)となった。不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用を含むその他費用は、5%増加して総額-7,391百万スウェーデン・クローネ(前年度は-7,020百万スウェーデン・クローネ)となった。前年度中、-160百万スウェーデン・クローネのリストラクチャリング準備金への引当金及び-38百万スウェーデン・クローネのITシステムに係る減損損失により、その他の費用に負荷が生じた。これらの項目及び為替の影響を調整後、その他の費用は586百万スウェーデン・クローネすなわち9%の増加であった。かかる増加のうち、527百万スウェーデン・クローネは当行のIT開発に起因した。

総額-677百万スウェーデン・クローネ(前年度は-524百万スウェーデン・クローネ)の開発に関する償却費に関連して、不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用は、2%増加して-1,814百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,775百万スウェーデン・クローネ)となった。

信用損失

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度(通年)	2020年度(通年)	変動
正味信用損失	-43	-649	606
うち、追加の引当必要額	-3	-496	493
一般顧客への貸出金に対する信用損失率の割合 (単位：%)	0.00	0.02	

正味信用損失は、-43百万スウェーデン・クローネ(前年度は-649百万スウェーデン・クローネ)であり、一般顧客への貸出金に対する信用損失率の割合は0.00%(前年度は0.02%)であった。2021年第4四半期末のエキスパートベースの追加の引当必要額は、総額499百万スウェーデン・クローネ(前年度は496百万スウェーデン・クローネ)であった。かかる金額は、非継続事業における577百万スウェーデン・クローネ(前年度は564百万スウェーデン・クローネ)を含む。

税金等

2021年1月1日現在、スウェーデンにおける法人税率は21.4%から減少して20.6%となった。

事業合計における実効税率は、20.8%(前年度は22.6%)であった。継続事業における実効税率は19.7%(前年度は22.6%)に減少した。これは非継続事業における税金の引き上げに起因するが、継続事業において相殺された。

劣後ローンの利息費用は税控除することができないという事情により、法人税率と比較して、税率に1.0パーセント・ポイントの影響が生じた。

2022年度以降にスウェーデンにおいて導入されるリスク税により、当行は、2022年度における当行の利益(税引後純利益)に約1.2十億スウェーデン・クローネの負荷が生じると試算している。

非継続事業

非継続事業からの損益は、売却予定のデンマーク及びフィンランドの事業における外部収益及び外部費用により構成される。税引前の非継続事業からの利益は、総額1,204百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,338百万スウェーデン・クローネ)であった。

ミューチュアル・ファンド手数料及び既に公表されているクレジットカード・アクワイアラー事業の売却によるキャピタルゲインの増加に起因して、166百万スウェーデン・クローネの寄与が生じ、非継続事業からの収益は、4,058百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,879百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

非継続事業からの費用は、合計-2,915百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,407百万スウェーデン・クローネ)であった。かかる増加のうち377百万スウェーデン・クローネは、資産計上されたIT費用及び非継続ITシステムに係る減損損失の認識に起因する。信用損失は、63百万スウェーデン・クローネ(前年度は-131百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。

2021年第4四半期には、現地の規制に基づき計上された引当金の戻し入れによる税金費用の増加が含まれる。税引後の非継続事業からの当期利益は、695百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,031百万スウェーデン・クローネ)に減少した。

持続可能性

2021年度中、当行グループはサステナビリティ活動をさらに前進させた。当年度の初頭、当行は持続可能性と両立する業務の継続に向けた明確な戦略を提示し、当行の主要業務である融資、投資及びアドバイザリー・サービスについて、具体的且つ測定可能なサステナビリティ目標を打ち出した。これらの目標のうち一つは、可能な限り早く、又は遅くとも2040年までに温室効果ガスの正味ゼロ排出を達成することに関連する。

2021年第2四半期中、当行は顧客の移行をさらに支援するため、個人顧客及び法人顧客の両方を対象に複数の新たなグリーン・ローンの提供を開始した。2021年6月下旬、当行は、北欧地域の銀行として初めてEUタクソノミーに適応したグリーン・ローンを締結した。ハンデルスバンケン・フォンデルは、同社のグローバル・インデックス・ファンド及び地域別のインデックス・ファンドのうち7つの指標をパリ協定の目標を支援する指標(パリ協定整合ベンチマーク)に変更したスウェーデンにおける初めてのファンド管理会社となった。

2021年第3四半期中、当行はスウェーデンの不動産会社と気候及び多様性の分野内の複数の所定のサステナビリティ目標に関連した契約を締結し、気候及び多様性の両方に焦点を合わせた当行として初めてのサステナビリティ・リンク・ローン・ファシリティを開始した。サステナビリティ・リンク・ローンは、グリーン・ファンディングとは異なり、かかる資金を特定のグリーンな目的に利用する必要はない。その代わりに、より広範な意味での持続可能性に関連して、顧客のパフォーマンスを向上させることに焦点が当てられる。

2021年第4四半期中、当行は、SBTイニシアチブ(科学的根拠に基づく目標イニシアチブ、SBTi)に、当行の気候目標を検証させることを許可する約束をした。2021年12月、当行は、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の勧告に従って作成した、当行の融資に関する初のクライメート・レポートを公表した。かかるレポートは、物理的な気候リスクだけでなく、移行リスクにも対応している。

当年度の初頭、EUのサステナブル・ファイナンス開示規則(SFDR)が発効した。これは、資産運用会社が自社のミューチュアル・ファンドがSFDRにおいてどのように分類されるかについて、透明性を確保しなければならないことを意味する。当年度末、当行グループのミューチュアル・ファンドにおける投資信託の総額の15.3%が最も高い分類(第9条)、すなわち持続可能な投資又は二酸化炭素排出量の削減を目標とする投資信託に投資され、79.6%が2番目に高い分類(第8条)、すなわち環境的側面又は社会的側面を促進する投資信託に投資された。

当行のサステナビリティ活動に関連する取引額は拡大し続けてきた。当年度中、グリーン・ローンの総額は45%増加して31.1十億スウェーデン・クローネ(前年度は21.4十億スウェーデン・クローネ)となった。かかる総額のうち、グリーン住宅ローンは61%増加して8.7十億スウェーデン・クローネ(前年度は5.4十億スウェーデン・クローネ)となった。さらに、サステナビリティ・リンク・ローン・ファシリティは総額32.4十億スウェーデン・クローネ(前年度は14.7十億スウェーデン・クローネ)であった。

事業の展開

当年度中、当行が重点的に事業を展開している地域における取引額は堅調に推移した。4つの本拠地市場において、貸出金は合計134十億スウェーデン・クローネ増加し、預金は128十億スウェーデン・クローネ増加したと同時に、当行のミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は合計67十億スウェーデン・クローネとなった。

当行は、成長が堅調で長期的な利益成長を持続させるための好条件が整っている、融資及び資産運用の中核分野における提供を強化することに重点を置いている。

当年度末の本拠地市場(スウェーデン、ノルウェー、英国及びネザーランド)における一般顧客への貸出金は7%増加して2,134十億スウェーデン・クローネ(前年度は2,000十億スウェーデン・クローネ)となった。

当年度末の本拠地市場における一般顧客からの預金及び借入金は、12%すなわち128十億スウェーデン・クローネ増加して1,191十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,063十億スウェーデン・クローネ)となった。

当行グループは、当年度のスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場における純流入合計の26%を占め、結果として純流入額の項目における最大のプレーヤーとなった。当行グループのミューチュアル・ファンドへの純流入は、65%増加して67.4十億スウェーデン・クローネ(前年度は40.8十億スウェーデン・クローネ)となった。当年度末の当行グループにおける運用資産の総額は、前年度から27%増加して1,075十億スウェーデン・クローネ(前年度は846十億スウェーデン・クローネ)となった。運用資産のうち、28%増の987十億スウェーデン・クローネ(前年度は769十億スウェーデン・クローネ)が当行の投資信託に投資された。投資信託の総額の218十億スウェーデン・クローネの増加のうち、新規資金流入額が67十億スウェーデン・クローネを占めた一方、価格の上昇は151十億スウェーデン・クローネを占めた。

資金調達及び流動性

当年度中の社債発行額は、183十億スウェーデン・クローネ(前年度は168十億スウェーデン・クローネ)に上り、そのうち140十億スウェーデン・クローネ(前年度は118十億スウェーデン・クローネ)はカバード・ボンド、43十億スウェーデン・クローネ(前年度は41十億スウェーデン・クローネ)はシニア債であった。当年度中、劣後ローンは発行されなかった(前年度は9十億スウェーデン・クローネ)。

当行には、多額の流動資金、住宅ローン及びその他の資産があり、これらは担保に供されていないため、当行のシニアレンダーが保護されることを示している。2021年第4四半期末、すべての市場からの無担保資金調達額に対する担保に供されていない資産の割合は、268%(2021年第3四半期末は284%)であった。

2021年第4四半期末における中央銀行に預け入れられた現金資金及び流動資産は、(2021年第3四半期末の615十億スウェーデン・クローネと比較して)439十億スウェーデン・クローネとなった。流動債券及びその他の流

動資産の額は、合計で157十億スウェーデン・クローネ(2021年第3四半期末は136十億スウェーデン・クローネ)となった。

当年度末、欧州委員会による委任規則に基づき計算された当行グループのLCRIは、152%(2021年第3四半期末は158%)であった。当年度末における安定調達比率(NSFR)は、CRR に基づき114%(2021年第3四半期末は115%)であった。

資本

2021年第4四半期末の普通株式等Tier 1比率は19.4%であった。当行の評価における2021年第4四半期末のSFSAの予想普通株式等Tier 1資本要件は13.9%(107十億スウェーデン・クローネ)であり、そのうち2.7パーセント・ポイント(21十億スウェーデン・クローネ)は第二の柱における普通株式等Tier 1資本要件から成る。

当年度末の総自己資本比率は23.3%であった。当行の評価における同日のSFSAの予想所要自己資本合計は18.1%(140十億スウェーデン・クローネ)に達し、そのうち3.4パーセント・ポイント(27十億スウェーデン・クローネ)は、第二の柱における所要自己資本合計から成る。

当行は長年にわたり、融資が行われる各本拠地市場において、現地通貨建ての株式を保有することにより、構造的な為替リスクを管理してきた。2021年度末までは、これらの構造的な為替ポジションは所要自己資本の対象外であった。SFSAは、EBAの新しいガイドラインを引用し、2022年度以降、これらの為替ポジションはその他の市場リスクと同様に自己資本比率要件を満たす必要があると決定した。当行はSFSAの評価を共有しておらず、SFSAと建設的な対話を行っている。

当行の資本目標は、通常の下況において当行の普通株式等Tier 1比率が、SFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1資本要件を1から3パーセント・ポイント上回ることである。当行の資本は、目標範囲を上回った。これは、当行の成長に対する意欲並びにマクロ経済、パンデミック関連及び地政学的リスクの総合的な評価を反映している。通常の下況を踏まえ、当行の自己資本比率を目標範囲内に調整する当行の方針に変更はない。

資本連結状況

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年12月31日現在	2020年12月31日現在	変動
普通株式等Tier 1比率、CRR	19.4%	20.3%	-0.9
自己資本比率合計、CRR	23.3%	24.3%	-1.0
リスク・エクスポージャー額、CRR	773,158	721,403	7%
普通株式等Tier 1資本	149,709	146,160	2%
自己資本合計	180,458	175,245	3%
資本(当行グループ)	181,706	171,473	6%

自己資本合計は180十億スウェーデン・クローネ(前年度は175十億スウェーデン・クローネ)であり、当行の自己資本比率合計は23.3%(前年度は24.3%)であった。普通株式等Tier 1資本は150十億スウェーデン・クローネ(前年度は146十億スウェーデン・クローネ)であった一方、普通株式等Tier 1比率は19.4%(前年度は20.3%)であった。

利益は、発生した配当金の控除後、普通株式等Tier 1比率を0.1パーセント・ポイント減少させた。純年金の影響はほとんどなかった。エクスポージャー額の増加により、普通株式等Tier 1比率は0.6パーセント・ポイント減少し、顧客及び貸出高の移転の正味の影響により、0.4パーセント・ポイントのプラスの影響が生じた。為

替レートの変動により、0.1パーセント・ポイントのプラスの影響が生じた。ノルウェーの商業用不動産を扱う企業への貸出金に係る新規のリスク加重のフロアにより、普通株式等Tier 1比率は0.4パーセント・ポイント減少した。ノルウェーの住宅ローンに係るリスク加重のフロアの第二の柱から第一の柱への移行により、0.3パーセント・ポイントのマイナスの影響が生じた。

経済資本及び利用可能な財源

当行の自己資本の必要性に関する内部評価は、当行の所要自己資本、ストレステスト及び当行のECに係るモデルに基づいている。これは当行の利用可能な財源(以下、「AFR」という。)に関連して測定される。取締役会は、当行グループのAFR/EC比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。当年度末、当行グループのECは合計で53.6十億スウェーデン・クローネ(前年度は56.7十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、AFRは205.8十億スウェーデン・クローネ(前年度は205.1十億スウェーデン・クローネ)であった。したがって、AFR/EC比率は384%(前年度は362%)であった。連結では、ECは合計で28.1十億スウェーデン・クローネ(前年度は28.9十億スウェーデン・クローネ)となり、AFRは197.8十億スウェーデン・クローネ(前年度は199.0十億スウェーデン・クローネ)であった。

セグメント報告

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2021年度 における セグメント報告	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・ マーケット	その他	調整及び 消去	合計
収益合計	27,733	6,392	4,422	1,301	2,626	873		43,347
費用合計	-9,827	-4,740	-1,687	-697	-2,231	-445	-216	-19,843
信用損失控除前利益	17,906	1,652	2,735	604	395	428	-216	23,504
営業利益	17,931	1,756	2,592	599	395	418	-216	23,475
利益配分後の営業利益	18,321	1,802	2,646	600	-132	454	-216	23,475

セグメント報告並びにその他並びに調整及び消去の列の項目の記載に適用される原則は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G45」で詳述される。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2020年度 における セグメント報告	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・ マーケット	その他	調整及び 消去	合計
収益合計	25,769	6,573	4,074	1,060	2,644	248		40,368
費用合計	-9,449	-4,357	-1,622	-740	-2,514	-2,105	-140	-20,927
信用損失控除前利益	16,320	2,216	2,452	320	130	-1,857	-140	19,441
営業利益	16,151	2,090	2,189	316	138	-1,947	-140	18,797
利益配分後の営業利益	16,484	2,139	2,229	321	-328	-1,908	-140	18,797

2021年第1四半期中、スウェーデンの5つの地域銀行が顧客中心の新しい組織に置き換えられ、それによって支店は現在、代わりに共通の全国組織の下に24の群単位に分けられ、カントリー・ゼネラル・マネージャーが統率することになった。この再編に伴い、それまで5つの地域銀行の本店に勤務していたスタッフの一部は、キャピタル・マーケット部、財務・会計、法律顧問及び人事部の中核機能並びに金融犯罪防止部に組織的に再配置された。2021年度以降、子会社直接保有株式の消去は、各セグメント下ではなく「調整及び消去」の欄で認識されている。したがって、表に示された比較数値は再計算されている。

ハンデルスバンケン・スウェーデン

2021年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・スウェーデンは、スウェーデンにおける支店業務により構成され、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括はスウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する。また当該セグメントには、当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッドフィポテックのスウェーデンにおける業務に加えて、様々なパートナーを通じて消費者向けの融資商品を提供するエクスターが含まれる。しかしながら、エクスターは売却の手続き中である。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度合計	2020年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	18,140	18,166	0
純手数料及びコミッション収益	8,614	7,112	21
金融取引による純損益	509	458	11
その他の収益	470	33	
収益合計	27,733	25,769	8
人件費	-3,201	-3,284	-3
その他費用	-845	-827	2
内部購入及び売却されたサービス	-5,465	-5,017	9
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-316	-321	-2
費用合計	-9,827	-9,449	4
信用損失控除前利益	17,906	16,320	10
正味信用損失	16	-177	-109
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	9	8	13
営業利益	17,931	16,151	11
利益配分	390	333	17
利益配分後の営業利益	18,321	16,484	11
内部収益	-381	88	
C/I比率(単位：%)	34.9	36.2	
信用損失率(単位：%)	0.00	0.01	
資産	2,322,088	2,096,300	11
負債	2,221,421	1,999,887	11
割当済資本	100,667	96,413	4
割当済資本に係る利益率(単位：%)	15.2	14.0	

平均従業員数	3,359	3,672	-9
--------	-------	-------	----

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

取引額、スウェーデン国内の平均額	2021年度	2020年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金 ¹	1,473	1,429	3
うち個人	937	892	5
うち住宅ローン	896	851	5
うち法人	536	537	0
うち住宅ローン	373	354	5
一般顧客からの預金	787	715	10
うち個人	437	406	8
うち法人	350	309	13

¹ 国債局に対する貸出金を除く。

業績

営業利益は、11%増加して17,931百万スウェーデン・クローネ(前年度は16,151百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは強力な事業展開によるものであった。割当済資本に係る利益率は、15.2%(前年度は14.0%)であった。C/I比率は、34.9%(前年度は36.2%)に改善した。

純利息収益は、わずかに減少して18,140百万スウェーデン・クローネ(前年度は18,166百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出高の増加により、純利息収益は421百万スウェーデン・クローネ増加したと同時に、預金高の増加は136百万スウェーデン・クローネ寄与した。利鞘の変動及び資金調達費用の正味の影響は、-738百万スウェーデン・クローネのマイナスの寄与であった。政府手数料は、34百万スウェーデン・クローネ減少して-757百万スウェーデン・クローネ(前年度は-791百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の影響は121百万スウェーデン・クローネ寄与した。

純手数料及びコミッション収益は、1,502百万スウェーデン・クローネすなわち21%増加して8,614百万スウェーデン・クローネ(前年度は7,112百万スウェーデン・クローネ)となったと同時に、ミューチュアル・ファンド手数料は39%すなわち1,302百万スウェーデン・クローネ増加して4,655百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,353百万スウェーデン・クローネ)となった。カストディ及びその他の資産管理手数料は、168百万スウェーデン・クローネすなわち34%増加して659百万スウェーデン・クローネ(前年度は491百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは3%増加して1,106百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,078百万スウェーデン・クローネ)となった。これは、877百万スウェーデン・クローネ(前年度は863百万スウェーデン・クローネ)となったクレジットカード事業からの純コミッションの増加を含んでいた。

その他の収益は470百万スウェーデン・クローネ(前年度は33百万スウェーデン・クローネ)に増加し、その増加分のうち、386百万スウェーデン・クローネはクレジットカード・アクワイアラー事業の売却に起因する。

費用合計は、4%増加して-9,827百万スウェーデン・クローネ(前年度は-9,449百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費は、3%減少して-3,201百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,284百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、9%減少して3,359名(前年度は3,672名)となった。当年度末現在、従業員数は10%減少して3,210名(前年度は3,560名)となった。

その他の種類の費用は、7%増加して6,626百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,165百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失は、16百万スウェーデン・クローネ(前年度は-177百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額で構成された。信用損失率は、0.00%(前年度は0.01%)であった。

事業の展開

スウェーデンにおける事業は過去最高の利益額を達成し、当行グループの営業利益の78%を占めた。スウェーデンにとっては、C/I比率は本拠地市場の中で最も低く、リターンは2番目に高かった。支店における専門家の助言並びにインターネット経由のアドバイザリー・サービス及びデジタル・ミーティング・チャネルにおける投資の助言をさらに確保することにより、カスタマー・ミーティングの改善に尽力したことが、高い顧客満足度及び個人・法人を問わず堅調な出来高動向に反映されている。

当年度中、当行はスウェーデンにおけるミューチュアル・ファンド市場への純新規資金流入額において最大のプレーヤーであり、スウェーデンの住宅ローン市場における純新規貸出額で市場をリードするプレーヤーの1行であった。さらに、不動産関連の法人への貸出金は安定した伸びを示した。

高い収益性及び効率性の数値はさらに改善され、割当済資本に係る利益率は15%(前年度は14%)となり、C/I比率は35%(前年度は36%)となった。将来的に、当行はその強固な市場地位及び収益性の高い投資を通じ成長を実現する好機を見出している。

個人への住宅ローンの平均額は、5%増加して896十億スウェーデン・クローネ(前年度は851十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、個人からの預金は8%増加して437十億スウェーデン・クローネ(前年度は406十億スウェーデン・クローネ)となった。企業への貸出金の平均額は、536十億スウェーデン・クローネ(前年度は537十億スウェーデン・クローネ)であり、変わらなかった。前年度においては、パンデミック発生時に企業への貸出金が大幅に増加した。しかし、法人への住宅ローンの平均額は、5%増加して373十億スウェーデン・クローネ(前年度は354十億スウェーデン・クローネ)となった。法人からの預金は13%増加して350十億スウェーデン・クローネ(前年度は309十億スウェーデン・クローネ)となった。

当行のスウェーデンにおけるミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、合計51.5十億スウェーデン・クローネ(前年度は34.9十億スウェーデン・クローネ)であり、市場シェアの26%に相当する。ファンドの総資産では、当行グループは市場におけるシェアが12.0%(前年度は11.9%)の、2番目に大きい銀行であった。

ハンデルスバンケン英国

2021年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン英国は、14の地域で構成される英国における支店業務及び子会社のハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。各地域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度合計	2020年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	5,452	5,683	-4
純手数料及びコミッション収益	751	713	5
金融取引による純損益	189	176	7
その他の収益	0	1	-100
収益合計	6,392	6,573	-3
人件費	-2,467	-2,465	0
その他費用	-1,045	-864	21
内部購入及び売却されたサービス	-912	-761	20
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-316	-267	18
費用合計	-4,740	-4,357	9
信用損失控除前利益	1,652	2,216	-25
正味信用損失	95	-119	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	9	-7	
営業利益	1,756	2,090	-16
利益配分	46	49	-6
利益配分後の営業利益	1,802	2,139	-16
内部収益	-961	-1,193	19
C/I比率(単位：%)	73.6	65.8	
信用損失率(単位：%)	-0.04	0.04	
資産	488,025	451,009	8
負債	467,478	431,703	8
割当済資本	20,547	19,306	6
割当済資本に係る利益率(単位：%)	7.0	8.9	

平均従業員数	2,509	2,462	2
--------	-------	-------	---

(単位：百万英ポンド)

取引額、英国の平均額	2021年度	2020年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	20,766	21,656	-4
うち個人	6,563	6,873	-5
うち法人	14,203	14,783	-4
一般顧客からの預金	19,132	17,609	9
うち個人	5,502	5,144	7
うち法人	13,630	12,465	9

業績

営業利益は、16%すなわち334百万スウェーデン・クローネ減少して1,756百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,090百万スウェーデン・クローネ)となり、これは収益の減少及び費用の増加によるものであった。営業利益に対する為替変動の影響はごくわずかであった。割当済資本に係る利益率は、7.0%(前年度は8.9%)であった。C/I比率は、73.6%(前年度は65.8%)に増加した。

収益合計は、3%減少して6,392百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,573百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は僅かにプラスであった。純利息収益は、4%すなわち-231百万スウェーデン・クローネ減少して5,452百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,683百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、純利息収益に3百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。取引額の減少により、-130百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の正味の影響は、純利息収益の-76百万スウェーデン・クローネの減少であり、これは主に、2020年度における中央銀行による政策金利の引き下げによるものであった。2020年が閏年であったことにより生じた影響は-14百万スウェーデン・クローネで、その他の影響も-14百万スウェーデン・クローネであった。純手数料及びコミッション収益は、5%増加して751百万スウェーデン・クローネ(前年度は713百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響はわずかであった。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用事業、カストディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、15%増加して403百万スウェーデン・クローネ(前年度は349百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は9%増加して-4,740百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4,357百万スウェーデン・クローネ)となった。また、現地通貨では、費用合計は9%増加した。人件費はほとんど変化がなく、-2,467百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,465百万スウェーデン・クローネ)であった。平均従業員数は、2%増加して2,509名(前年度は2,462名)となった。かかる増加は主に、コンサルタントの大部分を当行の従業員に置き換えた本社機能において生じた。その他の種類の費用は、20%増加して-2,273百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,892百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に金融犯罪防止のための取り組みによるものである。

正味信用損失は、95百万スウェーデン・クローネ(前年度は-119百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額で構成された。信用損失率は、-0.04%(前年度は0.04%)であった。

事業の展開

英国における事業は、2021年度の当行グループの営業利益の8%を占めた。近年、顧客満足度は非常に高い水準を維持しており、同時に当行は将来の成長に向けて辛抱強く準備を続けてきた。効率化策により、5つの地域銀行が14の区域から成る全国組織に再配置され、中央本部機能とIT開発能力が強化された。

また、英国の事業では、金融犯罪を防止するための業務を安全かつ確実に管理するため、過去数年間における全ての顧客ファイルの見直しが行われた。この間、当行は新規融資を制限してきた。今回の広範な分析は、一般的に大きな成長の可能性を秘めた市場において将来的に強力な銀行となるための基盤を築く当然の一步となった。

見直しが完了した現在、顧客及び成長に対して再度焦点を当てるため、経営資源に対する制限は解かれつつある。

全国に広がる販売網、市場において最も満足度の高い顧客及び非常に高い信用力を持つ当行は、長期的に力強い成長を遂げるための好機を見出している。

現地通貨では、法人からの預金の平均額は9%増加した一方で、法人への貸出金は4%減少した。個人からの預金は7%増加した一方で、個人への貸出金は5%減少した。全体として、一般顧客からの預金及び借入金の平均額は9%増加して19.1十億英ポンド(前年度は17.6十億英ポンド)となった。貸出金の平均額は合計4%減少して20.8十億英ポンド(前年度は21.7十億英ポンド)となった。当年度末において、ハンデルスバンケン・ウェルス&アセット・マネジメントにおける運用資産総額は、合計4.4十億英ポンド(前年度は4.0十億英ポンド)であった。当年度中、純流入は合計93百万英ポンド(前年度は-183百万英ポンド)となった。

ハンデルスバンケン・ノルウェー

2021年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・ノルウェーは、地域銀行及びその支店業務に加え、ノルウェーにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度合計	2020年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	3,698	3,481	6
純手数料及びコミッション収益	643	504	28
金融取引による純損益	55	57	-4
その他の収益	26	32	-19
収益合計	4,422	4,074	9
人件費	-891	-822	8
その他費用	-186	-203	-8
内部購入及び売却されたサービス	-526	-509	3
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-84	-88	-5
費用合計	-1,687	-1,622	4
信用損失控除前利益	2,735	2,452	12
正味信用損失	-150	-270	-44
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	7	7	0
営業利益	2,592	2,189	18
利益配分	54	40	35
利益配分後の営業利益	2,646	2,229	19
内部収益	-1,423	-2,420	41
C/I比率(単位：%)	37.7	39.4	
信用損失率(単位：%)	0.06	0.10	
資産	291,064	268,295	8
負債	273,086	248,309	10
割当済資本	17,978	19,986	-10
割当済資本に係る利益率(単位：%)	11.3	8.8	
平均従業員数	731	709	3

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

取引額、ノルウェーの平均額	2021年度	2020年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	277.1	270.3	3
うち個人	106.8	101.7	5
うち法人	170.3	168.6	1
一般顧客からの預金	91.6	85.6	7
うち個人	27.8	24.7	13
うち法人	63.8	60.9	5

業績

営業利益は、18%増加して2,592百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,189百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは安定的な事業の展開及び信用損失の減少によるものであった。為替の影響は、合計41百万スウェーデン・クローネとなり、現地通貨では、営業利益は16%増加した。割当済資本に係る利益率は、11.3%(前年度は8.8%)に増加した。C/I比率は、37.7%(前年度は39.4%)に改善した。

収益合計は、9%増加して4,422百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,074百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は76百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、収益合計は6%増加した。

純利息収益は、6%増加して3,698百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,481百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、63百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じ、現地通貨では、純利息収益は4%増加した。取引額の増加により、74百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。純利息収益に対する利鞘の変動及び資金調達費用の正味の影響は、75百万スウェーデン・クローネ増加した。かかる増加の一部は、前年度における中央銀行の政策金利の引下げによるマイナスの影響に起因する。政府手数料により、純利息収益に-149百万スウェーデン・クローネ(前年度は-161百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。2020年が閏年であったことにより生じた影響は-9百万スウェーデン・クローネであった一方で、その他の影響は2百万スウェーデン・クローネとなった。

純手数料及びコミッション収益は、28%増加して643百万スウェーデン・クローネ(前年度は504百万スウェーデン・クローネ)となった。これは主に、ミューチュアル・ファンド、カストディ及びその他の資産運用収益が53%すなわち117百万スウェーデン・クローネ増加して336百万スウェーデン・クローネ(前年度は219百万スウェーデン・クローネ)となったことによる。為替の影響は11百万スウェーデン・クローネとなり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は25%増加した。

金融取引による純損益は、合計55百万スウェーデン・クローネ(前年度は57百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、4%増加して-1,687百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,622百万スウェーデン・クローネ)となった。費用に対する為替の影響は、-29百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、費用合計は2%増加した。

人件費は、8%増加して-891百万スウェーデン・クローネ(前年度は-822百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、3%増加して731名(前年度は709名)となった。

その他の種類の費用は、わずかに減少して-796百万スウェーデン・クローネ(前年度は-800百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失は、合計-150百万スウェーデン・クローネ(前年度は-270百万スウェーデン・クローネ)となった。信用損失率は、0.06%(前年度は0.10%)であった。

事業の展開

ノルウェーでの事業は、2021年度の当行グループの営業利益の11%を占めた。過去15年間にわたり、ノルウェーでの事業は、主に法人向けの融資において力強い成長を見せた。ノルウェー市場では、高い顧客満足度及び優れたコスト効率(低リスクに伴う)に牽引され、当行は特に法人市場において強固な地位を築き、収益性の高い事業を構築することに成功した。

それでもなお、ノルウェーにおける当行の個人顧客向け事業は、資産運用などの特定の分野で大きな可能性を有しており、当行は引き続き、アドバイザー・サービスにおける役割の強化及びオンライン体験の改善を行っている。全体として、当行は力強い発展を続ける大きな可能性を見込んでいる。

現地通貨では、個人からの預金の平均額は13%増加したと同時に、個人への貸出金は5%増加した。企業セグメントにおいても、預金の増加が貸出金の増加を上回り、それぞれ5%及び1%の増加であった。全体として、一般顧客からの預金及び借入金の平均額は、7%増加して92.0十億ノルウェー・クローネ(前年度は85.6十億ノルウェー・クローネ)となった。貸出金の平均額は、合計3%増加して277.1十億ノルウェー・クローネ(前年度は270.3十億ノルウェー・クローネ)となった。

当年度において、ノルウェーにおける当行のミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、合計3.2十億スウェーデン・クローネ(前年度は3.4十億スウェーデン・クローネ)となった。

ハンデルスバンケン・ネザーランド

2021年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・ネザーランドは、オランダにおける地域銀行及びその支店業務に加え、オプティミクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用事業により構成されている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度合計	2020年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,045	908	15
純手数料及びコミッション収益	224	125	79
金融取引による純損益	32	25	28
その他の収益	0	2	
収益合計	1,301	1,060	23
人件費	-395	-395	0
その他費用	-76	-146	-48
内部購入及び売却されたサービス	-176	-143	23
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-50	-56	-11
費用合計	-697	-740	-6
信用損失控除前利益	604	320	89
正味信用損失	-5	-4	25
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-	-	
営業利益	599	316	90
利益配分	1	5	-80
利益配分後の営業利益	600	321	87
内部収益	-386	-387	0
C/I比率(単位：%)	53.5	69.5	
信用損失率(単位：%)	0.01	0.01	
資産	111,145	81,722	36
負債	108,132	79,110	37
割当済資本	3,013	2,612	15
割当済資本に係る利益率(単位：%)	16.7	10.0	
平均従業員数	337	329	2

(単位：百万ユーロ)

取引額、オランダの平均額	2021年度	2020年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	6,799	5,791	17
うち個人	3,935	3,387	16
うち法人	2,864	2,404	19
一般顧客からの預金	2,917	1,627	79
うち個人	500	261	92
うち法人	2,417	1,366	77

業績

営業利益は、90%改善して599百万スウェーデン・クローネ(前年度は316百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替の影響は、-10百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、営業利益は96%増加した。割当済資本に係る利益率は16.7%(前年度は10.0%)であり、C/I比率は53.5%(前年度は69.5%)であった。

純利息収益は、15%増加して1,045百万スウェーデン・クローネ(前年度は908百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、-29百万スウェーデン・クローネに上り、現地通貨においては、純利息収益は19%増加した。取引額の増加により、純利息収益に165百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純利息収益への正味の影響は、1百万スウェーデン・クローネ増加した。政府手数料により、純利息収益に-27百万スウェーデン・クローネ(前年度は-28百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、79%増加して224百万スウェーデン・クローネ(前年度は125百万スウェーデン・クローネ)となった。為替によりマイナスの影響が生じ、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は86%増加した。ファンド運用、カストディ口座管理及び資産管理事業によるコミッション収益は93%増加して208百万スウェーデン・クローネ(前年度は108百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうちオプティミクスの運用報酬は88百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)であった。オプティミクスの運用報酬を除いた場合、ファンド運用、カストディ口座管理及び資産管理事業によるコミッション収益は17%増加した。

費用合計は、6%減少して-697百万スウェーデン・クローネ(前年度は-740百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、費用合計は3%減少した。人件費は、-395百万スウェーデン・クローネ(前年度も-395百万スウェーデン・クローネ)と変動はなかった。平均従業員数は、2%増加して337名(前年度は329名)となった。

その他の種類の費用は、主に金融犯罪防止業務に係る費用の減少により、12%減少して合計-302百万スウェーデン・クローネ(前年度は-345百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失は、合計で-5百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4百万スウェーデン・クローネ)となった。信用損失率は、0.01%(前年度も0.01%)であった。

事業の展開

オランダでの事業は、2021年度の当行グループの営業利益の3%を占めた。近年、オランダの事業は、効率性の向上及び収益性の改善により力強い成長を遂げているが、これは、個人顧客及び法人顧客向けの不動産金融及び資産運用における明確なサービスの提供によってもたらされた。

現地通貨では、法人からの預金の平均額は77%増加したと同時に、個人からの預金の平均額は92%増加した。全体として、一般顧客からの預金の平均額は79%増加して2,917百万ユーロ(前年度は1,627百万ユーロ)となった。

法人への貸出金は19%増加したと同時に、個人への貸出金は16%増加した。全体として、一般顧客への貸出金は17%増加して6,799百万ユーロ(前年度は5,791百万ユーロ)となった。

オプティミクスにおける運用資産は、当年度末現在、合計で2.0十億ユーロ(前年度は1.7十億ユーロ)となった。

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

2021年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは、市場部門、貯蓄及び年金部門並びに国際銀行の事業分野で構成されている。

市場部門は、リスク管理、有価証券、デリバティブ、研究、デット・キャピタル・マーケット、コーポレート・ファイナンス及び取引銀行に関連する商品及びサービスを提供する。

貯蓄及び年金部門は、個人顧客向け及び法人顧客向けの年金ソリューション並びにその他の保険ソリューションだけでなく、資産運用に関連するあらゆる種類の商品及びサービスを提供している。

国際銀行は、ニューヨーク及びルクセンブルクより行われる業務並びに金融インフラから構成されている。

すべての資産管理手数料及び保険事業にかかる手数料は、各本拠地市場において直接報告されており、したがって以下の損益計算書には含まれていない。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度合計	2020年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	268	355	-25
純手数料及びコミッション収益	1,006	1,032	-3
金融取引による純損益	1,155	1,039	11
保険リスク	187	195	-4
その他の収益	10	23	-57
収益合計	2,626	2,644	-1
人件費	-2,012	-2,203	-9
その他費用	-746	-791	-6
内部購入及び売却されたサービス	801	603	33
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-274	-123	123
費用合計	-2,231	-2,514	-11
信用損失控除前利益	395	130	
正味信用損失	10	11	-9
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-10	-3	
営業利益	395	138	186
利益配分	-527	-466	13
利益配分後の営業利益	-132	-328	-60
内部収益	-420	-1,563	73
C/I比率(単位：%)	106.3	115.4	
信用損失率(単位：%)	-0.01	-0.01	

資産	357,822	344,485	4
負債	351,467	338,642	4
割当済資本	6,355	5,843	9
割当済資本に係る利益率(単位：％)	-1.7	-4.2	
平均従業員数	1,156	1,317	-12

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

運用資産	2021年度	2020年度
ミューチュアル・ファンド(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント及びユニットリンク保険を除く。)	718	555
プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント	74	60
ユニットリンク保険	197	156
うち外部資金	-2	-2
ミューチュアル・ファンド合計	987	769
仕組商品	3	5
ポートフォリオ社債保険	50	37
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-25	-17
従来型保険	7	7
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-6	-6
裁量的及び制度的資産(保険を除く。)	360	278
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-301	-227
保管有価証券を除く運用資産合計	1,075	846
ミューチュアル・ファンドを除く保管有価証券	908	632
ミューチュアル・ファンド及びハンデルスバンケンに関連する基金を除く保管有価証券	50	47

* 上記の表における「ハンデルスバンケン」は「当行グループ」を意味する。

業績

営業利益は、395百万スウェーデン・クローネ(前年度は138百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは費用の減少によるものであった。収益合計は、実質的な変動はなく、2,626百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,644百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計は、11%減少して-2,231百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,514百万スウェーデン・クローネ)となった。

純手数料及びコミッション収益は、3%減少して1,006百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,032百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にハンデルスバンケン・インターナショナル内の特定の国々において現在進行中の事業の閉鎖をきっかけとした保証及びコミッションの減少だけでなく、カストディ事業のストラクチャリングによるものであった。

金融取引による純損益は、1,155百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,039百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは主にハンデルスバンケン・リヴの従来型保険事業に対する実現された資本拠出が大幅に減少したことによるものであった。

人件費は、9%減少して-2,012百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,203百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは従業員数の減少によるものであった。平均従業員数は、12%減少して1,156名(前年度は1,317名)となった。

その他の種類の費用は、92百万スウェーデン・クローネ減少して-219百万スウェーデン・クローネ(前年度は-311百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に国際業務のリストラクチャリングによるものであった。

正味信用損失は10百万スウェーデン・クローネ(前年度は11百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額で構成され、信用損失率は、-0.01%(前年度も-0.01%)であった。

事業の展開

資本市場

ハンデルスバンケン・マーケットの業績は、安定的に推移している。

コーポレート・ファイナンスの業績は、特に2021年度下半期において力強い成長を遂げ、引き続き好調である。当年度中、当行は16.6十億ユーロ(前年度は17.2十億ユーロ)に上る128の社債発行のアレンジを行い、そのうちグリーン・ボンドは3.4十億ユーロすなわち20%(前年度は18%)を占めた。グリーン融資及び持続可能な融資への関心は引き続き非常に高かった。

資産運用

当年度中、スウェーデンにおける当行グループのミューチュアル・ファンドへの純流入は、51.5十億スウェーデン・クローネ(前年度は34.9十億スウェーデン・クローネ)となり、これは市場シェアの26%に相当する。その結果、当行は、スウェーデンのファンド市場におけるすべてのプレーヤーの中で、新規資金流入額が第1位となった。

当行グループのファンドへの純流入合計は、66.6十億スウェーデン・クローネ(前年度は40.8十億スウェーデン・クローネ)であった。上場投資信託を含む投資信託の総額は、28%増加して987十億スウェーデン・クローネ(前年度は769十億スウェーデン・クローネ)となった。当行グループにおける運用資産合計は、前年度末より27%増加して1,075十億スウェーデン・クローネ(前年度は846十億スウェーデン・クローネ)となった。

当行のミューチュアル・ファンドに対して強化された持続可能性基準を導入する作業は継続しており、当年度末におけるミューチュアル・ファンド額合計のうち92%が強化された持続可能性要件に基づいて運用された。当年度中、さらに12のファンド及びETFをハンデルスバンケン・フォンデルの拡大された持続可能性基準に適応させた。7つのインデックス・ファンドは、パリ協定の合意に基づいたファンドへのアクセスを顧客に提供するために、パリ協定準拠インデックスに移行した。当行グループは引き続き北欧ETFの最大のプレーヤーとなった。

年金及び生命保険部門

年金及び生命保険部門における利益は、32%増加して1,624百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,230百万スウェーデン・クローネ)となった。この改善は、従来型保険事業の業績が改善したことに伴う、手数料及びコミッション収益の増加によるものであった。

保険料の合計額は38%増加し、さらに職域年金も20%増加した。前年度と比較してスウェーデンにおける新規のファンド運用及びカストディ口座は、77%増加して7,818百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,416百万

スウェーデン・クローネ)となった。ハンデルスバンケン・リヴによる運用資産は、前年度末の数値と比較して、54十億スウェーデン・クローネすなわち27%増加して、254十億スウェーデン・クローネ(前年度は200十億スウェーデン・クローネ)となった。

COP26に先立ち、ハンデルスバンケン・リヴは、同社が提供する一連のファンドが化石燃料エネルギーへの投資を停止したことを発表した。これは当初目標としていた2025年よりも前倒しとなった。

事業セグメントに含まれないその他の部門

以下は、グループIT部、本社スタッフ業務及びオクトゴーネン利益分配制度への引当金を含む、事業セグメントに計上されていない部門に帰属する収益及び費用項目である。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2021年度合計	2020年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	788	486	62
純手数料及びコミッション収益	220	184	20
金融取引による純損益	-241	-538	-55
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	63	18	250
その他の収益	43	98	-56
収益合計	873	248	252
人件費	-3,317	-4,598	-28
その他費用	-2,679	-2,414	11
内部購入及び売却されたサービス	6,278	5,827	8
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-727	-920	-21
費用合計	-445	-2,105	-79
信用損失控除前利益	428	-1,857	
正味信用損失	-9	-90	-90
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	0	
営業利益	418	-1,947	
利益配分	36	39	-8
利益配分後の営業利益	454	-1,908	-124
内部収益	3,571	5,475	-35
資産	2,524,556	2,382,147	6
負債	2,509,418	2,367,156	6
割当済資本	15,138	14,991	1
平均従業員数	2,947	2,865	3

業績

事業セグメントにより報告されないその他の部門における営業利益は、418百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,947百万スウェーデン・クローネ)であった。前年度中、-1,470百万スウェーデン・クローネのリスト

ラクチャリング費用が計上された。当年度中、オクトゴーネン利益分配制度に対して設定された予備引当金は、-69百万スウェーデン・クローネ(前年度は-213百万スウェーデン・クローネ)であった。

純利息収益は、合計788百万スウェーデン・クローネ(前年度は486百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に当行における流動性の管理によるものであった。前年度中、2020年第2四半期における-236百万スウェーデン・クローネの流動性準備金のさらなる強化のため、純利息収益に負荷が生じた。当行グループのユーロ流動性は、フィンランドの中央銀行とマイナス金利で取引されている。これは、-468百万スウェーデン・クローネ(前年度は-570百万スウェーデン・クローネ)のマイナス利息収益がフィンランドに関する非継続事業に計上されることを意味する。当行は将来、ユーロ流動性をオランダに移行する予定であり、これは、マイナス利息収益の大半がその後、その他の部門に含まれることを意味する。

金融取引による純損益は、合計-241百万スウェーデン・クローネ(前年度は-538百万スウェーデン・クローネ)となった。前年度は市場におけるクレジットスプレッドの急激な拡大に始まり、これにより前年度の利益に-262百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。

人件費は-3,317百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4,598百万スウェーデン・クローネ)に減少した。このうち一部は、オクトゴーネン利益分配制度及び前述のリストラクチャリング費用によるものであり、-1,310百万スウェーデン・クローネが人件費に関連している。前年度におけるその他費用は、-160百万スウェーデン・クローネのリストラクチャリング費用の影響を受けた。

平均従業員数は、3%増加して2,947名(前年度は2,865名)となった。IT部の従業員数は、合計1,925名(前年度は1,890名)となった。

4【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

5【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

該当事項なし。

2【主要な設備の状況】

スウェーデン法の下で、銀行は一般に銀行の建物及び銀行の社員に居住設備を提供するためのもの以外の不動産を期間の制限なく所有することが認められていない。2021年12月31日現在、当行グループはスウェーデンに13の不動産を有していた。これらは、一部に支店業務も含まれていたものの、主として本店オフィス、情報テクノロジー及び記録保管の目的で使用されていた。当行グループはまた、2008年におけるローカルバンケンの取得の一部として取得したデンマークの9の不動産も所有している。かかる不動産は、主として支店業務に使用されているが、オフィスの建物及び共同住宅も含まれている。

3【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

A種株式

(2022年6月20日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	1,944,777,165	4,055,222,835

B種株式

(2022年6月20日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

【発行済株式】

(2022年6月20日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品 取引所名又は 登録認可金融商品 取引業協会名	内容
無記名式 割当価額 ¹	A種株式	1,944,777,165	ナスダック ストック ホルム	A種株式1株につき、 1個の議決権が 付与される。
無記名式 割当価額 ¹	B種株式	35,251,329	ナスダック ストック ホルム	B種株式1株につき、 10分の1個の議決権 が付与される。
計	-	1,980,028,494	-	-

¹ 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。

(株式資本残高 / 発行済株式数)

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

()A種株式

(2022年6月20日現在)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2019年12月20日	25,032	1,944,777,165	38,799.60	3,014,404,605.75	転換権の行使

2019年12月10日	556,847	1,944,752,133	863,112.85	3,014,365,806.15	転換権の行使
2019年11月25日	3,636	1,944,195,286	5,635.80	3,013,502,693.30	転換権の行使
2019年11月25日	319,593	1,944,191,650	495,369.15	3,013,497,057.50	転換権の行使
2019年11月8日	1,876,440	1,943,872,057	2,908,482.00	3,013,001,688.35	転換権の行使
2019年10月22日	383,465	1,941,995,617	594,370.75	3,010,093,206.35	転換権の行使
2019年10月9日	2,931,954	1,941,612,152	4,544,528.70	3,009,498,835.60	転換権の行使
2019年9月20日	18,410,601	1,938,680,198	28,536,431.55	3,004,954,306.90	転換権の行使
2019年9月10日	235,479	1,920,269,597	364,992.45	2,976,417,875.35	転換権の行使
2019年8月23日	128,067	1,920,034,118	198,503.85	2,976,052,882.90	転換権の行使
2019年8月8日	139,572	1,919,906,051	216,336.60	2,975,854,379.05	転換権の行使
2019年7月23日	3,782,502	1,919,766,479	5,862,878.10	2,975,638,042.45	転換権の行使
2019年7月9日	119,398	1,915,983,977	185,066.90	2,969,775,164.35	転換権の行使
2019年6月25日	2,413	1,915,864,579	3,740.15	2,969,590,097.45	転換権の行使
2019年6月25日	238,572	1,915,862,166	369,786.60	2,969,586,357.30	転換権の行使
2019年6月10日	994,419	1,915,623,594	1,541,349.45	2,969,216,570.70	転換権の行使
2019年5月24日	5,705,344	1,914,629,175	8,843,283.20	2,967,675,221.25	転換権の行使
2018年5月15日	1,609	1,908,923,831	2,493.95	2,958,831,938.05	転換権の行使
2017年3月13日	415	1,908,922,222	643.25	2,958,829,444.10	転換権の行使
2017年1月17日	21,736	1,908,921,807	33,690.80	2,958,828,800.85	転換権の行使

()B種株式

(2022年6月20日現在)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン ・クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン ・クローネ)	摘要
2015年5月19日	23,500,886	35,251,329	0	54,639,559.95	1株につき3株 の割合による 株式分割

(4) 【所有者別状況】

近年、スウェーデン人ではない株主の割合は、2008年度末の30%から増加し、2021年度末現在で47% (前年度は44%) となった。当行は、140,000名超の株主を有している。株主の3分の2強は、1,001株未満の所有者であった。株主の約2%が、それぞれ20,001株超の株式を所有しており、かかる株主は合計で株式資本の90%を所有していた。株式の10%超を所有する2名の株主は、インドゥストリーヴァルデン及びオクトゴーネン・ファウンデーションである。

以下の表は、当行の株式の所有株式数別の内訳を示している。

(2021年12月31日現在)

株主毎の所有株式		所有株式			
株式数	株主数	A種株式数	B種株式数	株式資本割合 (%)	議決権割合 (%)
1-500株	82,626	9,437,861	3,552,959	0.7	0.5
501-1,000株	20,646	12,776,442	3,315,212	0.8	0.7
1,001-5,000株	31,923	65,366,422	9,857,994	3.8	3.4
5,001-20,000株	9,400	80,003,198	7,941,046	4.4	4.1
20,001株以上	2,287	1,777,193,242	10,584,118	90.3	91.3
合計	146,882	1,944,777,165	35,251,329	100.0	100.0

(5) 【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2021年12月31日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
インドゥストリーヴァルデン・インベスト・エイ・ビー	スウェーデン	217,200,000	11.0	11.1
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・コー、W9*	米国	210,743,094	10.6	10.8
オクトゴーネン、スティフテルセン	スウェーデン	198,225,141	10.0	10.2
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ*	米国	152,219,476	7.7	7.8
BNY メロン NA (旧メロン)、W9*	米国	79,360,263	4.0	4.1
ノーザン・トラスト・カンパニー*	英国	65,343,127	3.3	3.4
ランドバークフォレターゲン・エイ・ビー、LE	スウェーデン	56,000,000	2.8	2.9
BNY メロン SA/NV (旧BNY)、W8IMY*	ベルギー	53,059,215	2.7	2.7
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン&コー、W9*	米国	37,221,711	1.9	1.9

J.P.モルガン・エス・イー、ルクセンブルク支店 [*]	ルクセンブルク	23,412,825	1.2	1.2
A種株式合計		1,944,777,165	98.2	99.8

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ [*]	米国	1,202,787	0.061	0.062
アヴァンザ・ペンション保険会社	スウェーデン	860,632	0.043	0.044
BNY メロン SA/NV (旧BNY)、W81MY [*]	ベルギー	479,329	0.024	0.025
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9 [*]	米国	410,570	0.021	0.021
スティフト・エディット及びエリック・ フェーンストレームス	スウェーデン	278,590	0.014	0.014
SHB ルクセンブルク・シーエル・エーシーシー ティー・スウェーデン [*]	ルクセンブルク	268,550	0.014	0.014
BNY メロン NA (旧メロン)、W9 [*]	米国	204,820	0.010	0.011
ノルドネット・ペンションフォルシェクリン・ エイ・ビー	スウェーデン	191,876	0.010	0.010
スウェドバンク・フォルシェクリン・エイ・ビー	スウェーデン	172,295	0.009	0.009
スカンディア保険会社 (プブリクト)	スウェーデン	161,818	0.008	0.008
B種株式合計		35,251,329	1.8	0.2

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

2【配当政策】

配当政策

配当に関して当行の方針は、資本比率がSFSAにより伝達された資本要件を1パーセント・ポイント上回る水準より低くなるような配当水準にしてはならない、というものである。スウェーデンにおける慣例として、当行は、年に1回株主に対して配当を支払う。一株当たりの配当額は、当行の取締役会により提案され、当行の年次株主総会で承認される。

配当

2021年3月24日開催の年次株主総会において、一株当たり4.10スウェーデン・クローネの配当支払いが株主により決定された。2020年12月のSFSAの覚書により、2019年度及び2020年度の純利益の合計の最大25%の配当水準が認められた(2020年度の年次株主総会において、2019年度の利益に対する配当は支払われないことが決議された。)。2019年度から2020年度の期間の純利益合計は、32.5十億スウェーデン・クローネであり、そのうち25%は8.1十億スウェーデン・クローネすなわち一株当たり4.10スウェーデン・クローネに相当する。2020年

度の純利益の40%は、一株当たり3.15スウェーデン・クローネに相当する。提案した配当のうち、一株当たり0.95スウェーデン・クローネの配当は、それより前の利益剰余金に起因するものである。

2021年10月21日開催の臨時株主総会において、当行の株主に対してエイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンのA種株式、合計30,461,977株を配当するという取締役会の提案を承認することが決議された。これは、2021年10月21日時点の終値ベースでは8.5十億スウェーデン・クローネをわずかに上回る金額すなわち当行株式の一株当たり4.32スウェーデン・クローネに相当する。

2022年3月23日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり5.00スウェーデン・クローネの普通配当支払いが決定された。

3【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの概要】

当行のコーポレート・ガバナンス

当行グループのコーポレート・ガバナンスは、健全かつ効果的な方法で、また外部の規則に則り業務が遂行されることを確保する、明確で目的に適った組織構造を構築することを目指している。明確な責任の分担は、内部統制、リスク管理及びコンプライアンスに関する当行のニーズを満たすとともに、事業及びリスクの両面において、可能な限り最善の方法で業務が遂行されることを可能にするための鍵となる。優れたガバナンスはすべての業務に通じるものでなければならず、したがって、それは当行グループの全従業員に影響を及ぼす。

当行のコーポレート・ガバナンスは、定款、取締役会のための手続規則、最高経営責任者及び最高監査責任者のための指針並びに当行の業務に係る運営文書といった取締役会が採択する文書並びに最高経営責任者が公表した指針及びガイドラインに基づく。これらの文書は毎年及び必要と思われる場合に改訂される。

しかしながら、コーポレート・ガバナンスが機能するための基盤には、公式文書だけではなく、当行の企業文化、企業目標、運営方式及び報酬制度もある。

当行のガバナンスの主な部分は、事業を行う上で生じるリスクを管理することで構成されている。リスク管理の詳細については下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G2」を参照のこと。

コーポレート・ガバナンス・コードの適用

当行はコーポレート・ガバナンス・コードに逸脱することなく準拠している。かかるコードは、スウェーデンのコーポレート・ガバナンス委員会のウェブサイト (bolagsstyrning.se) で公開されている。

規則

スウェーデンの銀行業務は法律により規制されており、銀行業務はSFSAからの許認可がある場合にのみ実施することができる。銀行業務の規制は広範囲に及び。

かかる規制の中で最も主要なものには、以下が含まれる。

- ・会社法
- ・銀行法
- ・証券市場法
- ・欧州議会・欧州理事会規制(EU)575/2013
- ・スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(2014:968)
- ・スウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag(2017:630))
- ・ミューチュアル・ファンド及び保険事業に関する広範囲に及び規制

SFSAの規制には、信用機関における統治、リスク管理及びリスク統制に関する規制及び一般的な指針並びに証券業及び保険業に関する指令が含まれる。

主要な規制の一覧は、SFSAのウェブサイトで公開されている。

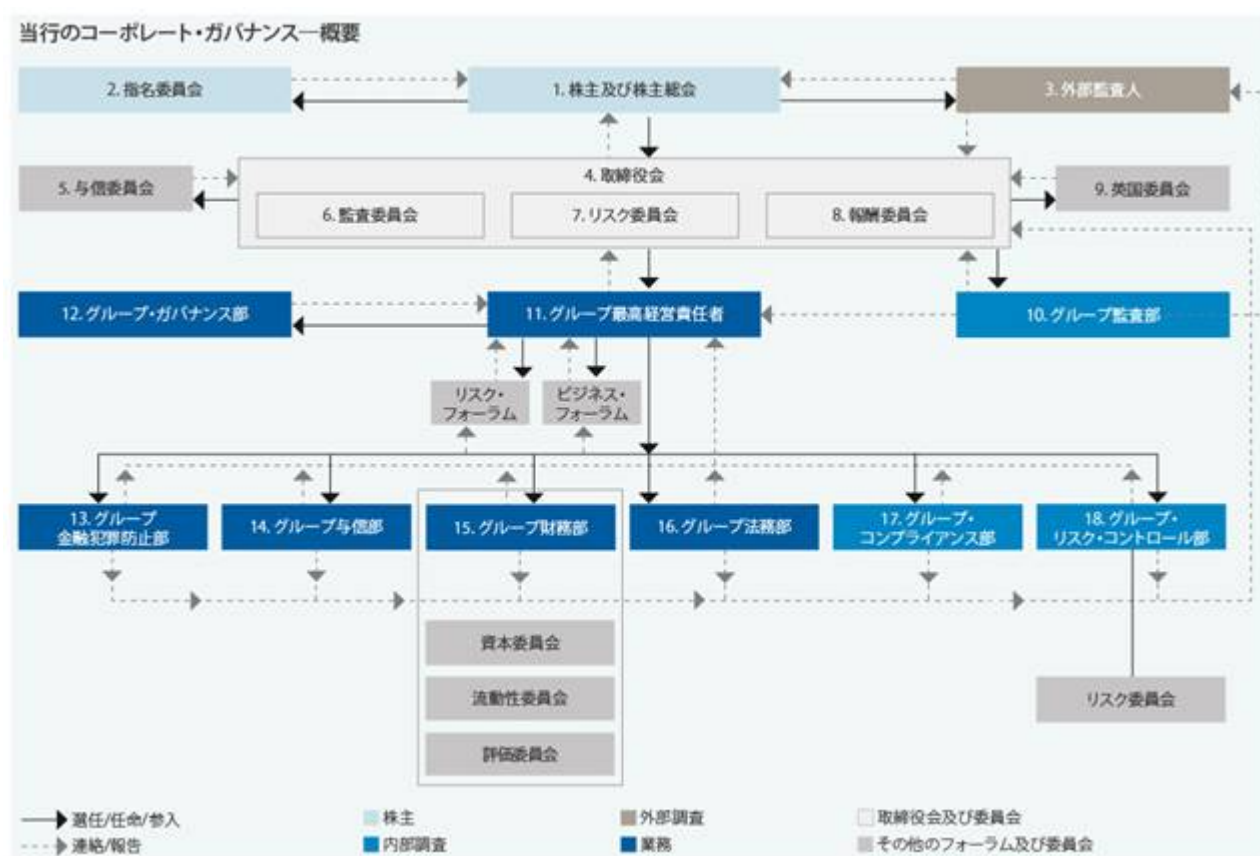
当行グループの主な方針において、スウェーデン国外における業務は、受入国の規則がスウェーデン国内の規則よりも厳格であるか又はスウェーデンの規則からの逸脱が必要となる場合には、スウェーデン国内の規則と受入国の規則の両方に服する。

SFSAは、スウェーデン及び当行が支店を置く(言い換えれば、国外業務がスウェーデンの法人である当行の業務の一環として行われている)その他の国々における当行の業務を幅広く監督している。規制当局の業務は、SFSAの主導により、当行の監督部門に組み込まれている。他の国々におけるSFSAに相当する規制当局は、支店の業務に対しては限定的な監督を行っているが、スウェーデン国外における当行の子会社に対しては網羅的な監督を行っている。

法律及び命令に加えて、スウェーデンにおける監督もまた、SFSAによる規制及び一般的なガイドラインに基づいている。SFSAは、当行の組織、意思決定構造及び内部統制等の様々な事項に関する報告を要求する。

SFSAの業務には、当行の様々な部門を現地で体系的に視察することも含まれる。この業務の目的は、与えられた許認可及びその他の細則の条件を当行が実際に遵守しているかを調査することである。

コーポレート・ガバナンスの体制



当行のコーポレート・ガバナンス - 概要

上記の表は、当行のコーポレート・ガバナンスの概略を示している。株主は、年次株主総会において意思決定を行う。特定の議題については、株主の意思決定は、指名委員会により準備される。株主は、取締役会を任命し、次に取締役会は日常的な業務を運営するグループ最高経営責任者(以下「最高経営責任者」という。)を任命する。取締役会(当行において、中央委員会と呼ばれる。)は、様々な委員会で構成されている。2021年度中、当行を統治する業務において、最高経営責任者は、とりわけグループ財務部、グループ与信部、グループIT部、グループ人事部、キャピタル・マーケット部、グループ・コミュニケーション部、グループ法務部、グループ・コンプライアンス部及びグループ・リスク・コントロール部(総称して、業務執行経営陣と呼ばれ

る。)の部長により支援を受けていた。現在の業務執行経営陣の構成については、下記「(2)役員の状況」に記載されている。また当行には、さらなる最高経営責任者直属のサポート機能及びビジネス機能があり、これには独立したサステナビリティ機能が含まれる。さらに、株主は年次株主総会で任命された監査人を通じて統制を行う。

１．株主及び株主総会

株主は、当行の最高意思決定機関である株主総会において当行に関連する事項を決定する権限を行使する。年次株主総会は、毎年開催され、そこでは主に取締役会、取締役会会長及び監査人の任命が行われる。年次株主総会において、当行の株主は、当行の統治に特に重要な事項についての様々な決定を行う。株主の決定には、以下の事項が含まれる。

- ・損益計算書及び貸借対照表の承認
- ・利益処分
- ・過去の事業年度に対する取締役会及び最高経営責任者の責任の免除
- ・当行の取締役の人数の決定、当行の取締役及び当行の監査人の任命
- ・取締役及び監査人への報酬額の決定
- ・執行役員への報酬についての指針

２．指名委員会

指名委員会の役割は、取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の指名、並びに取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の報酬に関する提案を準備し、年次株主総会に提出することである。スウェーデンコーポレート・ガバナンス・コードに規定されているように、指名委員会は監査人の指名及び監査人の報酬についての提案も行う。年次株主総会は、指名委員会がどのように任命されるかについて決定する。

３．取締役会

取締役会(中央委員会)は当行の組織に対して責任を有し、株主に代わって当行の業務処理を行う。取締役会は、継続的に当行の財政状態を査定し、会計記録、資金管理及び当行の財政状態のその他の側面が十分に統制されるように、当行が組織化されていることを確保しなければならない。取締役会は、これをどのように実施すべきかについての方針及び指針を設定し、取締役会のための手続規則を定め、また最高経営責任者のための指針も定める。

これらの中央方針策定文書には、取締役会全体及び委員会間並びに取締役会会長及び最高経営責任者間において、責任及び権限がどのように割り当てられているかについて記載している。取締役会は、最高経営責任者、最高経営責任者代理並びにグループ・リスク・コントロール部長、グループ・コンプライアンス部長及びグループ監査部長を任命し、また取締役会はこれらの者の雇用条件も決定する。取締役会会長は取締役会の業務査定に責任を負い、査定結果を指名委員会に報告する。

４．与信委員会

取締役会は、中央委員会がその他の部門に委任した決定限度額を超える与信案件について決定を行う与信委員会を設立する。しかしながら、特別な重要案件並びに取締役及び経営陣の与信は取締役会全体によって決定が行われる。与信案件が適用される当行の部門の代表が与信委員会への提起を行う。

５．リスク委員会

取締役会のリスク委員会は、当行グループのリスク統制及びリスク管理の有効性を監視する。当委員会は、当行のリスク戦略及びリスク許容度等に関する決定を準備し、グループ・コンプライアンス部及びグループ・リスク・コントロール部からの報告書を審査する。また当委員会は、IRB手法に関連する当行のリスクの分類及び推定プロセスの重要な部分に関する決定を含む意思決定を独立して行っている。

6．報酬委員会

取締役会の報酬委員会は、当行の執行役員の雇用条件を、現行の市場相場と照らして審査する。また当委員会の役割には、執行役員の報酬に関するガイドラインについての年次株主総会への取締役会の提案を準備すること、これらのガイドラインの適用に関して監視及び評価を行うこと、並びに執行役員及び最高監査責任者の報酬及びその他の雇用条件に対する取締役会の決定を準備することも含まれる。また当委員会は、当行の報酬方針及び報酬制度について、評価を行っている。

7．英国委員会

取締役会の英国委員会は、ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにおける業務の体系的かつ継続的なフォローアップを促進している。取締役会の委員及び業務執行経営陣から選出された構成員は、かかる委員会に参加することができる。

8．頭取及びグループ最高経営責任者(最高経営責任者)

最高経営責任者は、当行グループの日常的な運営指揮をとるために取締役会により任命される。取締役会からの指示に加え、最高経営責任者は会社法及び当行の会計、資金管理及び運営管理に関するその他多数の法律の規定を遵守することが義務付けられている。

9．グループ・ガバナンス部

グループ・ガバナンス部（コーポレート・ガバナンス部）は、株主総会における決定及び取締役会による決定、並びに法律、規則及びその他の外部規制における変更が、当行内部における全体的な責任及び権限を定めることを目的とする、取締役会からの方針並びに最高経営責任者からのガイドライン及び指針により実行されることを確保する。

10．グループ金融犯罪防止部

グループ金融犯罪防止部は、当行が金融犯罪、特にマネーロンダリング、テロリストへの資金供与、詐欺、税制上の犯罪及び不正行為にさらされることを防止するための取組みにおける当行の作業プロセスを策定し、維持するとともに、国際的な制裁規制を遵守する責任を負う。当行の最高金融犯罪防止責任者である当部の部長は、最高経営責任者に直属する。グループ金融犯罪防止部は、金融犯罪に対抗するための当行のすべての業務について職務上の責任を負う。

11．グループ与信部

グループ与信部は、当行の与信手続及び取締役会の与信委員会又は取締役会全体が決定したあらゆる主要な与信案件の準備のすべてに責任を負う。当部の部長である当行グループの最高与信責任者は、最高経営責任者に報告を行い、また取締役会により設置された与信委員会の構成員である。最高与信責任者は、取締役会に損失及び信用ポートフォリオに関するリスクについても報告する。

12. グループ財務部

グループ財務部は、統制システム、報告、簿記、会計及び税務並びに購買及び調達に関して責任を負う。さらに、当行グループの流動性、資金調達及び資本、並びに財務リスク、流動性リスク及び保険リスクに関する当行グループ全体のリスク管理に責任を負う。リスク管理についての詳細な説明は、下記「第6-1-(1) 連結財務書類 - 注記G2」を参照のこと。グループ財務部長である当行グループの最高財務責任者は、最高経営責任者に報告を行い、また最高経営責任者に代わって、市場リスク、流動性、資金調達及び資本に関して、取締役会の監査委員会及びリスク委員会並びに取締役会全体に定期的に報告を行う。

13. グループ法務部

グループ法務部は、当行グループ内のあらゆるレベルにおいて、業務における十分な法的支援の確保及び他の部門に代わった法的評価に責任を負う。これは、中央及び地方の両方において、法的支援及び法的事項に関わる業務を調整する責任並びに内部及び外部の規制並びにその他の関連する外部要因を考慮し、当行グループ全体の観点から業務が行われることを確保する責任を含む。またグループ法務部は、当行の取締役会の事務局も務めている。

14. グループ・コンプライアンス部

統制機能の主な責任は、当行グループ内における高い水準のコンプライアンスを保証し、かつ当行においてリスクの許容度が低く維持されることを保証するために積極的に取り組むことである。コンプライアンス部はまた、監督案件に関連する公共機関との連絡も管理する。当部の機能は、リスクの特定及び監視を行い、当行グループの従業員、最高経営責任者及び取締役会にコンプライアンスについて助言並びに支援を行い、不適切な準拠により事業を行う上で生じる可能性のあるリスクについて関連部署に継続的に連絡することである。

当行グループの最高コンプライアンス責任者は、最高経営責任者に直接報告し、統制機能を指揮する。コンプライアンス部は、監視及び統制される機能及び分野から独立し、組織的に分離されている。グループ・コンプライアンス部長は、定期的に最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に、コンプライアンスに関する事項について報告を行う。

15. グループ・リスク・コントロール部

グループ・リスク・コントロール部は、当行グループにおけるすべてのリスク統制に機能的な責任を負っており、当行グループのすべての主要なリスクを集約して監視し報告を行う責任を負う。当該責任には、信用リスク及び市場リスク(金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスク)、オペレーショナル・リスク、流動性リスク並びに保険リスク、並びに当行グループの報酬制度に関するリスクが含まれる。最高リスク管理責任者は、最高経営責任者に対して直接報告を行い、独立して活動し、審査対象業務から分離されている。最高リスク管理責任者は、最高経営責任者に対して継続的に報告を行い、リスク委員会、報酬委員会及び取締役会に対しては定期的に報告を行う。

保険契約の概要

業務の遂行に関連して、2種類の保険契約が設定されている。まず、専門業務賠償責任保険は、顧客に提供した当行グループの専門的なサービスに対して、顧客が当行グループ又は従業員に補償を請求した場合の損害を填補する。これらの請求は通常、スタッフ個人に対して直接ではなく、当行グループに対して行われるものであるため、免責水準が設定されている。

かかる保険契約を補完するため、当行グループは役員等賠償責任保険契約を締結しており、当行グループがかかる保険料の全額を負担している。被保険者は、当行グループのすべての取締役、監査役、執行役員及びエグゼクティブフェローに加え、当行グループを代理して行動した場合に個人的責任を負う可能性のあるその他の者である。当該契約は、これらの地位において行われた行為に起因する損失の補填及び紛争の費用を補償範囲に含む。当該契約は補償範囲が広く、現地の法律に基づき支払いが合法である場合には支払いが認められる。また当該契約は、犯罪捜査に伴う費用も補償範囲に含むが、従業員が有罪となった場合、保険会社は支払った補償金の返還を要求する権利を有する。補償の範囲が広いとはいえ、適用範囲にはいくつかの制約がある。

(2) 【役員の状況】

当行の運営に関する全体的な責任は、取締役会に委任されている。銀行法により、銀行は3名以上の構成員から成る取締役会を設置しなければならない。当行の定款の規定に従い、株主は年次株主総会において8名以上15名以下の取締役会の構成員全員を選出することができる。一定の規模のスウェーデン企業に影響のある特別立法に基づき、当行の従業員は、2名の取締役会の構成員を追加で任命する権利を有し、2名の常任構成員及び2名の代理人を取締役会の従業員代表に任命することによりこの権利を行使した。

取締役会は、現在12名の取締役で構成されている。10名は年次株主総会により選出され、2名は従業員団体により選出された。取締役会は、通常暦年中に少なくとも9回会合し、その他必要がある場合、主要な政策及び展開、多額の貸付提案並びにその他の関連事業を検討するため会合する。

当行のグループ最高経営責任者としての頭取は、取締役会の政策実行、当行グループの事業の主導に責任を負う。

取締役会の構成員等は、以下のとおりである。

男性の数：5名、女性の数：7名(女性の比率58%)

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2021年度の報酬 ¹
パール・ボーマン (1961年)	会長 (2006年)	スウェンスカ・セルローサ・エイ・ビーSCA及びエシティ・エイ・ビーの会長。エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの副会長。スカンスカ・エイ・ビーの取締役。	5,440,000 スウェーデン ・クローネ
フレデリック・ランドバーク (1951年)	副会長 (2002年)	LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビーの社長兼最高経営責任者。ホルメン・エイ・ビー、ホフレッドストーダン・エイ・ビー、エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの会長。LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビー、スカンスカ・エイ・ビーの取締役。	1,425,000 スウェーデン ・クローネ
ジョン・フレデリック ・バクサース (1954年)	取締役 (2003年)	DNVGL及びスタットネットSFの会長。テレフォナクティボーラゲLMエリクソンの取締役。	1,805,000 スウェーデン ・クローネ
ヘリアン・バルネコウ (1964年)	取締役 (2022年)	GNストア・ノード、ヴォヤド及びシプステッド・エイ・エス・エイの取締役。	0 スウェーデン ・クローネ

スティナ・パーグフォース (1972年)	取締役 (2021年)	エイチ・アンド・エム ヘネス・アンド・マウ リッツ、バドビー及びテレ2の取締役。	715,000 スウェーデン ・クローネ
ハンス・ベオーク (1951年)	取締役 (2018年)	スカンスカ・エイ・ビー及びトレルボルグ・ エイ・ビーの会長。	2,130,000 スウェーデン ・クローネ
シャスティン・ヘシウス (1958年)	取締役 (2016年)	AP3第3スウェーデン国民年金基金の最高経営 責任者。ヴァーサクロナン・エイ・ビー、 ヘムソ・ファスティゲット・エイ・ビー及び トレナム・エイ・ビーの取締役。	1,240,000 スウェーデン ・クローネ
ウルフ・リーズ (1959年)	取締役 (2020年)	-	2,415,000 スウェーデン ・クローネ
アルヤ・ターベニク (1968年)	取締役 (2020年)	スヴェンスカ・ハンデルスファスティゲ ター・エイ・ビー及びポーラーン・オ・ピ レット・エイ・ビーの会長。ダネルム・ ピー・エル・シー及びハンデルスバンケン・ ピー・エル・シーの取締役。	1,140,000 スウェーデン ・クローネ
カリナ・オーケストレーム (1962年)	取締役 (2019年)	当行グループの頭取兼グループ最高経営責任 者。スウェーデン銀行協会の会長。ワール ド・チャイルドフッド・ファンデーションの 取締役。	0 スウェーデン ・クローネ
アンナ・イェンベリ (1969年)	従業員代表 (2020年)	スウェーデンのハンデルスバンケン・ユニオ ン・クラブの金融部門ユニオンの会長。	0 スウェーデン ・クローネ
レナ・レンストロム (1965年)	従業員代表 (2020年)	スウェーデンにおけるスウェーデン支店業務 ユニオン・クラブの金融部門ユニオンの会 長。	0 スウェーデン ・クローネ

¹ 報酬は年次株主総会で決定された。2021年の取締役への報酬の合計は、16,310,000スウェーデン・クローネであった。またアルヤ・ターベニクは、ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの取締役としての報酬、344,298スウェーデン・クローネも受領している。

氏名	経歴	2021年12月31日現在の 本人及びその近親者の 所有株式数
パール・ポーマン	2006-2015年：当行の頭取兼最高経営責任者。	145,028株、そのうち30,028 株を間接所有 ¹ 。
フレデリック・ランドバーク	1981年-：LEランドバークフォレターゲン・エイ・ ビーの最高経営責任者。1977年-：ランドバークズに 在職。	77,275,000株

ジョン・フレデリック・バクサース	2008-2016年：GSM協会の構成員(2013-2016年は会長)。2002-2015年：テレノール・グループの頭取兼最高経営責任者。1989-2002年：テレノール・グループの財務部、ファイナンシャル・コントロール部及び管理部において様々な役職を歴任。1988-1989年：エイカー・エイ・エス。1985-1988年：ストルト・ニールセン・シーウェイ・エイ・エスに在職。1979-1985年：ノルウェー及び日本におけるデット・ノルスク・ヴェリタスに在職。	3,800株
ヘリアン・バルネコウ	2018-2022年：マイクロソフト・スウェーデンの最高経営責任者。2014-2018年：テリア・スウェーデンの最高経営責任者及びその他の管理職を歴任。2009-2014年：EMCコーポレーション(英国及び米国)のマーケティング部長を担当。2001-2009年：ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ(米国、英国及びスウェーデン)のマーケティング部長等を歴任。1999-2001年：ノボノルディスク(デンマーク)のマーケティング責任者。1995-1999年：エリクソンの管理職。1993-1995年：マイクロソフト(マルタ)のマーケティング責任者。1991-1993年：日用品メーカー協会、DLFのプロジェクト・リーダー/コンサルタント。	0株
スティナ・バーグフォース	2013-2018年：ユナイテッド・スクリーンの共同設立者、最高経営責任者及びその他の役職。2008-2013年：グーグル及びユーチューブの地域ディレクター。2004-2007年：カラットの最高経営責任者及びその他の役職。2000-2004年：OMDワールドワイドのディレクター及びその他の役職。1999-1999年：TV3スウェーデン及びモダン・タイムズ・グループの経理マネージャー。	0株
ハンス・ベオーク	2001-2011年：スカンスカの最高経営責任者代理及び最高財務責任者。1998-2001年：オートリブの最高財務責任者。1997-1998年：自営業。1977-1997年：エセルテにおいて様々な役職を歴任。	5,000株
シャスティン・ヘシウス	2001-2004年：ストックホルム証券取引所の最高経営責任者。1999-2000年：スウェーデン国立銀行の中央銀行総裁代理。1998年：ダンスク銀行のアセット・マネジメントの最高経営責任者。1990-1997年：エイ・ビー・エヌ・アムロ銀行、アルフレッド・ベルグに在職。1989-1990年：フィナンスティグニニャンに在職。1986-1989年：スウェーデン国債局に在職。1985-1986年：スウェーデン国立銀行(スウェーデン中央銀行)に在職。1984-1985年：スウェーデン総務局に在職。	8,700株
ウルフ・リーズ	当行において様々な役職を歴任。2016-2018年：シニア・アドバイザー。2007-2016年：当行の最高財務責任者。2004-2007年：ハンデルスバンケン・アセット・マネジメント部長。2004年：当行の最高経営責任者代理。1983年-：当行により雇用。	180,000株

アルヤ・ターベニク	2015-2019年：キングフィッシャー・ピー・エル・シーの最高責任者及びサプライ・チェーン・オフィサー。キングフィッシャー・ピー・エル・シーの子会社の最高経営責任者。2012-2015年：イカノ・グループの頭取兼グループ最高経営責任者。2005 - 2012年：イケア・グループのグローバル・ビジネス・エリア取締役。1989 - 2005年：イケア・グループ内の様々な役職を歴任。	0株
カリナ・オーケストレーム	2016-2019年：当行グループの最高経営責任者代理兼グループ最高経営責任者代理。2010-2019年：地域銀行ストックホルムの最高経営責任者代理兼部長。2008-2010年：地域銀行東スウェーデンの最高経営責任者代理兼部長。1986年 - ：当行の従業員。	62,510株、そのうち34,510株を間接所有 ¹ 。
アンナ・イェンベリ	ハンデルスバンケン・リヴの責任者及び様々なユニオンの役職を歴任。	25,657株、そのうち25,657株を間接所有 ¹ 。
レナ・レンストロム	当行の支店業務においてアドバイザリー・サービスを担当。	31,585株、そのうち31,585株を間接所有 ¹ 。

¹ オクトゴーネン利益分配制度を通じて当行の株式を間接所有。

取締役会の従業員代表代理等は、以下のとおりである。

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2021年度の報酬 ¹
ステファン・ヘンリクソン (1970年)	従業員代表代理 (2020年)	スウェーデンにおけるスウェーデン支店業務ユニオン・クラブの金融部門ユニオンの構成員。	0 スウェーデン・クローネ
シャーロット・ウリズ (1972年)	従業員代表代理 (2020年)	当行のアカデミカーフォレニンゲン(学位を取得した専門家の協会)の会長。	0 スウェーデン・クローネ

¹ 報酬は年次株主総会で決定された。2021年の取締役への報酬の合計は、16,310,000スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	2021年12月31日現在の 本人及びその近親者の 所有株式数
ステファン・ヘンリクソン	当行の支店及び地域の本部において管理業務及びアドバイザリー・サービスを担当。	32,639株、そのうち32,639株を間接所有 ¹ 。
シャーロット・ウリズ	現金管理部門、デジタル・ミーティング・プレイス部門及び取引部門の専門家であり、ビジネス及びオペレーション開発を担当。	14,380株、そのうち14,380株を間接所有 ¹ 。

¹ オクトゴーネン利益分配制度を通じて当行の株式を間接所有。

当行グループの業務執行経営陣の構成員は、以下のとおりである。

業務執行経営陣

アリルド・アンデルセン	ノルウェーのカントリー・ゼネラル・マネージャー
カタリーナ・ベルフラゲ・サールストランド	グループ・サステナビリティ部の最高サステナビリティ責任者及びチーフ・クライメート・オフィサー
カール・セダーシオルド	グループ財務部の最高財務責任者兼最高経営責任者代理
マグヌス・エリクソン	グループ人事部の最高人事責任者
マティアス・フォースバーグ	グループIT部の最高情報責任者
ミーケル・グリーン	スウェーデンのカントリー・ゼネラル・マネージャー
マリア・ヘディン	グループ・リスク・コントロール部の最高リスク責任者
ダン・リンドウォール	キャピタル・マーケットの最高経営責任者
マルティン・ノレウス	最高戦略責任者
アンナ・ポスネ	製品部長及びサービス部長
ロベルト・ラドウェイ	グループ与信部の最高与信責任者
ルイス・サンダー	グループ・コミュニケーション部長
ミーケル・ソレンセン	英国のカントリー・ゼネラル・マネージャー
カリナ・オーケストレーム	頭取兼グループ最高経営責任者

業務執行経営陣により選任された構成員

ペール・ベックマン	最高経営責任者代理
モニカ・パーリストレーム	グループ・コンプライアンス部の最高コンプライアンス責任者
マルティン・ウェイストゾン	グループ法務部の最高法務責任者

報酬の方針の概要

取締役会は、当行及び当行グループの報酬の方針において、当行の報酬制度は、健全で持続可能な業務に立脚した当行の企業目標及び企業文化に合致したものであるべきと定めている。また報酬の方針において、健全で持続可能な業務には固定報酬が適すると規定しており、したがって、原則として固定報酬が適用されている。変動報酬の適用には十分な注意が求められる。上記の方針を考慮すると、従業員に対する報酬総額は、男女平等を遵守し、当行及び当行グループが熟練したスタッフを惹きつけ、保持、育成することを可能とし、且つ、良好な経営継承が確保された、市場条件に基づくものでなければならない。執行役員への報酬のガイドラインの基礎として、当行の報酬の方針及び上記の従業員への報酬の原則が考慮されている。

執行役員への報酬のガイドラインは、グループ最高経営責任者である、業務執行経営陣、最高経営責任者代理並びにグループ・リスク・コントロール部部長及びグループ・コンプライアンス部部長の構成員(以下「執行役員」という。)に適用される。また当該ガイドラインは、当行の取締役への就任の報酬に加えて、取締役へ支払われるすべての報酬に適用される。

- 報酬総額の合計は、市場条件に基づくものとする。

- 報酬は、固定額の現金給与、年金給付及び慣習的な給付の形で支払われる。
- 当行の従業員でない取締役を除く当行の執行役員は、当行の全従業員と同じ条件でオクトゴーネン利益分配制度の対象に含まれる。
- 定年は、通常65歳である。年金給付は確定拠出制度であり、年間の固定額の現金給与の最大35%に相当し、団体協約に基づく年金制度に追加して支払われる場合がある。その他の給与手当は、1年当たり合計で年間の固定給の最大35%に相当する。
- 執行役員側の予告期間は6ヶ月、当行側の予告期間は最長で12ヶ月である。当行の執行役員に就任して5年超が経過し、当行が雇用契約を終了する場合、予告期間は最長で24ヶ月である。その他の退職手当は支払されない。団体協約又は労働法制により、異なる予告期間が適用される場合がある。

(3) 【監査の状況】

() 内部監査

監査委員会

取締役会の監査委員会は、重要な会計問題及びその他財務報告の質的内容に影響する可能性のある要因を検討しながら当行の財務報告を監視する。当委員会はまた、当行及び当行グループの内部統制、内部監査及び財務報告に関するリスク管理の有効性を監視するとともに外部監査人の公平性及び独立性を監視する。またスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コードに規定されているように、当委員会は監査業務を査定し、監査人の指名に関して指名委員会へ提言を提出する。当委員会はまた、当行の内部監査人及び外部監査人による報告書を受け取る。

グループ監査部

グループ監査部(内部監査部)は、当行グループの事業及び財務報告の独立した公平な監査を行う。グループ監査部の重要な業務はリスク管理、内部統制及びコーポレート・ガバナンスの手続を評価、検証することである。最高監査責任者は取締役会により任命され、定期的に監査委員会に対し、口頭及び書面で報告を行い、取締役会全体に対しても年次概略報告書を提出する。

() 会計監査

監査人は、年次株主総会から翌年次株主総会終了時までの任期で任命される。監査人は、株主に対して説明責任を有する。監査人は、監査を行い、コーポレート・ガバナンス・レポートを含む年次報告書並びに取締役会及び最高経営責任者の運営等の事項に関する監査報告書を提出する。さらに、監査人は、口頭及び書面において、取締役会の監査委員会に対し、その監査業務がいかに遂行されたかを報告し、当行の業務運営体制及び内部統制に関する評価を報告する。監査人はまた、取締役会全体に対し、その監査の概略報告書も提出する。

() 監査法人の名称

アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーは、2022年3月23日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、1998年4月28日以降、会社の監査法人である。

プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(以下「PwC」という。)は、2022年3月23日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、2017年3月29日以降、会社の監査法人である。

() 担当公認会計士の氏名及び役職

ヨハン・リップは、1999年から公認会計士である。同氏は、当行及び当行グループにおいてPwCの担当監査人であり、監査チームの委員長である。オーサ・ルンドヴァルは、2002年から公認会計士であり、当行及び当行グループにおいてアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーの担当監査人である。

() 監査業務に係る補助者の構成

公認会計士：9名

補助者：78名

() 当該監査法人の選任理由

当行は、アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー及びPwCをその独立性、専門性、品質管理の構造及び監査報酬等を考慮し、監査法人として採用している。当行は、監査法人が監査のための有能な組織を有しており、当行を適切に適切に監査することができていると認識する。

() 最近2年間における外国監査法人の推移

該当事項なし。

() 評価内容

当行の監査委員会は、アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー及びPwCが、公平性及び独立性の観点から監査法人として適切であると評価し、また、これらの法人に関連してスウェーデン監査検査局により実施された監督業務の情報を取得し続けている。

監査人及び監査法人に対する報酬 (当行グループ)	アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー		プライスウォーターハウス クーパース・エイ・ビー	
	2021年	2020年	2021年	2020年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-26	-26	-4	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	-2	-2	0	-
税務アドバイス	0	0	-	-
その他サービス	-	0	-	-

監査人及び監査法人に対する報酬 (親会社)	アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー		プライスウォーターハウス クーパース・エイ・ビー	
	2021年	2020年	2021年	2020年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-6	-8	-3	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	0	-	0	-
税務アドバイス	0	0	-	-
その他サービス	-	0	-	-

(4) 【役員の報酬等】

上記「(2) 役員の状況」を参照のこと。

(5) 【株式の保有状況】

該当事項なし。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループの邦文の連結財務書類及び当行グループの親会社の邦文の財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類を翻訳したものである。本書記載の原文の連結財務書類及び財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び親会社の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第131条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 当行グループと親会社の原文の連結財務書類及び財務書類は、スウェーデンにおける独立監査人であるプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(PricewaterhouseCoopers AB)及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー(Ernst & Young AB)の監査を受けており、独立監査人の2022年2月24日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

- c. 日本円への換算及び下記「第6-2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

- d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2022年5月27日(日本時間)現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ=12.91円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

- e. なお、財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

- f. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

- g. 本「第6 経理の状況」において、「クローネ」及び「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを意味する。

1 【財務書類】

(1) 連結財務書類

損益計算書(当行グループ)

		2021年		2020年	
		(百万スウェーデン・クロネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クロネ)	(百万円)
利息収益	注記G3	35,832	462,591	42,830	552,935
うち、実効金利法による利息収益及び ヘッジ会計デリバティブに係る利息		34,483	445,176	39,496	509,893
利息費用	注記G3	-6,441	-83,153	-13,751	-177,525
純利息収益		29,391	379,438	29,079	375,410
手数料及びコミッション収益	注記G4	12,904	166,591	11,205	144,657
手数料及びコミッション費用	注記G4	-1,446	-18,668	-1,535	-19,817
純手数料及びコミッション収益		11,458	147,923	9,670	124,840
金融取引による純損益	注記G5	1,699	21,934	1,217	15,711
保険リスク	注記G6	179	2,311	194	2,505
その他配当金収益		2	26	53	684
関連会社及びジョイント・ベンチャーの 持分利益	注記G19	63	813	18	232
その他収益	注記G7	555	7,165	137	1,769
収益合計		43,347	559,610	40,368	521,151
人件費	注記G8	-12,452	-160,755	-13,907	-179,539
その他費用	注記G9	-5,577	-71,999	-5,245	-67,713
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	注記 G24、 G25	-1,814	-23,419	-1,775	-22,915
費用合計		-19,843	-256,173	-20,927	-270,168
信用損失控除前利益		23,504	303,437	19,441	250,983
正味信用損失	注記G10	-43	-555	-649	-8,379
不動産及び器具備品並びに無形資産の 処分損益	注記G11	14	181	5	65
営業利益		23,475	303,062	18,797	242,669
法人税等	注記G34	-4,627	-59,735	-4,240	-54,738
継続事業からの当期利益		18,848	243,328	14,557	187,931
非継続事業からの当期利益(税引後)	注記G13	695	8,972	1,031	13,310
当期利益		19,543	252,300	15,588	201,241
帰属先：					
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・ エイ・ビーの株主		19,527	252,094	15,585	201,202

うち、継続事業		18,834	243,147	14,556	187,918
うち、非継続事業		693	8,947	1,029	13,284
非支配株主持分		16	207	3	39
事業合計からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G12	9.86	127.29	7.87	101.60
希薄化後	注記G12	9.86	127.29	7.87	101.60
継続事業からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G12	9.51	122.77	7.35	94.89
希薄化後	注記G12	9.51	122.77	7.35	94.89
非継続事業からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G12	0.35	4.52	0.52	6.71
希薄化後	注記G12	0.35	4.52	0.52	6.71

包括利益計算書（当行グループ）

	2021年		2020年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	19,543	252,300	15,588	201,241
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
確定給付年金制度	6,820	88,046	1,523	19,662
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 資本性金融商品	62	800	-583	-7,527
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-1,401	-18,087	-256	-3,305
うち、確定給付年金制度	-1,398	-18,048	-267	-3,447
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される 資本性金融商品	-3	-39	11	142
損益計算書に組み替えられない項目合計	5,481	70,760	684	8,830
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,970	-25,433	-1,124	-14,511
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 負債性金融商品	6	77	7	90
当期為替換算差額	3,201	41,325	-4,269	-55,113
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-910	-11,748	848	10,948
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある 項目に係る税金	595	7,681	93	1,201
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	406	5,241	274	3,537
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される負債性金融商品	-1	-13	-1	-13
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	190	2,453	-180	-2,324
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	1,832	23,651	-5,293	-68,333
その他包括利益合計	7,313	94,411	-4,609	-59,502
当期包括利益合計	26,856	346,711	10,979	141,739
帰属先：				
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・ エイ・ビーの株主	26,840	346,504	10,976	141,700
非支配株主持分	16	207	3	39

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

貸借対照表(当行グループ)

		2021年		2020年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		291,584	3,764,349	397,642	5,133,558
中央銀行へのその他の貸出金	注記G14	1,255	16,202	21,326	275,319
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G17	100,538	1,297,946	99,133	1,279,807
その他金融機関への貸出金	注記G15	21,745	280,728	21,920	282,987
一般顧客への貸出金	注記G16	2,163,135	27,926,073	2,269,612	29,300,691
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動		-1,900	-24,529	25	323
債券及びその他の利付証券	注記G17	33,317	430,122	44,566	575,347
株式	注記G18	19,471	251,371	21,045	271,691
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	注記G19	478	6,171	386	4,983
顧客が価値変動リスクを負う資産	注記G20	235,761	3,043,675	197,212	2,546,007
デリバティブ商品	注記G21	28,508	368,038	30,614	395,227
無形資産	注記G24	8,302	107,179	11,330	146,270
不動産及び器具備品	注記G25	5,272	68,062	6,232	80,455
当期税金資産		469	6,055	988	12,755
繰延税金資産	注記G34	845	10,909	1,218	15,724
年金資産	注記G8	8,766	113,169	2,005	25,885
売却目的で保有する資産	注記G13	421,417	5,440,493	1,657	21,392
その他資産	注記G26	5,785	74,684	6,124	79,061
前払費用及び未収金	注記G27	2,016	26,027	2,253	29,086
資産合計	注記G40	3,346,764	43,206,723	3,135,288	40,476,568
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記G28	83,034	1,071,969	124,723	1,610,174
一般顧客からの預金及び借入金	注記G29	1,286,637	16,610,484	1,229,763	15,876,240
顧客が価値変動リスクを負う負債	注記G30	235,761	3,043,675	197,212	2,546,007
発行済証券	注記G31	1,353,768	17,477,145	1,310,737	16,921,615
デリバティブ商品	注記G21	13,784	177,951	32,819	423,693
ショートポジション	注記G32	4,105	52,996	1,682	21,715
保険負債	注記G33	532	6,868	557	7,191
当期税金負債		108	1,394	25	323
繰延税金負債	注記G34	5,276	68,113	5,353	69,107
引当金	注記G35	1,026	13,246	2,302	29,719
その他負債	注記G36	11,304	145,935	13,928	179,810
売却目的で保有する負債	注記G13	133,922	1,728,933		
未払費用及び繰延収益	注記G37	3,519	45,430	3,632	46,889
劣後負債	注記G38	32,257	416,438	41,082	530,369
負債合計	注記G40	3,165,033	40,860,576	2,963,815	38,262,852
非支配株主持分		25	323	9	116
株式資本		3,069	39,621	3,069	39,621
資本剰余金		8,758	113,066	8,758	113,066

準備金	注記G39	15,845	204,559	8,532	110,148
利益剰余金		134,507	1,736,485	135,520	1,749,563
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・ エイ・ビーの株主に帰属する当期利益		19,527	252,094	15,585	201,202
資本合計		181,731	2,346,147	171,473	2,213,716
負債及び資本合計		3,346,764	43,206,723	3,135,288	40,476,568

持分変動計算書（当行グループ）

2021年当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益 を含む 利益 剰余金	非支配 株主持分	合計
2021年期首資本	3,069	8,758	5,891	3,353	94	-806	151,105	9	171,473
当期利益							19,527	16	19,543
その他包括利益			5,422	-1,564	64	3,391		0	7,313
うち、資本の中での 分類変更					0	-67			-67
当期包括利益合計			5,422	-1,564	64	3,391	19,527	16	26,856
利益剰余金への振替							67		67
配当金 ¹							-16,666		-16,666
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式報酬 ²							37		37
自己株式の買戻し ²							-36		-36
非支配株主持分の変動								-	-
2021年期末資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158	2,585	154,034	25	181,731

2020年当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益 を含む 利益 剰余金	非支配 株主持分	合計
2020年期首資本	3,069	8,758	4,635	4,203	660	3,643	134,856	8	159,832
当期利益							15,585	3	15,588
その他包括利益			1,256	-850	-566	-4,449		0	-4,609
うち、資本の中での 分類変更					-684	20			-664
当期包括利益合計			1,256	-850	-566	-4,449	15,585	3	10,979
利益剰余金への振替							664		664
配当金									-
転換劣後ローンの影響	-	-							-
非支配株主持分の変動								-2	-2
2020年期末資本	3,069	8,758	5,891	3,353	94	-806	151,105	9	171,473

¹ 普通配当8,118百万スウェーデン・クローネ及び特別配当8,548百万スウェーデン・クローネ。株主は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンABが買収したAB Industrivärdenの株式という形で、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから特別配当を受け取っている。注記G49を参照。

² 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は株式報酬プログラム（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

持分変動計算書（当行グループ）（続き）

2021年当行グループ (百万円)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む	非支配 株主持分	合計
							利益 剰余金		
2021年期首資本	39,621	113,066	76,053	43,287	1,214	-10,405	1,950,766	116	2,213,716
当期利益							252,094	207	252,300
その他包括利益			69,998	-20,191	826	43,778		0	94,411
うち、資本の中での 分類変更					0	-865			-865
当期包括利益合計			69,998	-20,191	826	43,778	252,094	207	346,711
利益剰余金への振替							865		865
配当金 ¹							-215,158		-215,158
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式報酬 ²							478		478
自己株式の買戻し ²							-465		-465
非支配株主持分の変動								-	-
2021年期末資本	39,621	113,066	146,051	23,096	2,040	33,372	1,988,579	323	2,346,147

2020年当行グループ (百万円)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む	非支配 株主持分	合計
							利益 剰余金		
2020年期首資本	39,621	113,066	59,838	54,261	8,521	47,031	1,740,991	103	2,063,431
当期利益							201,202	39	201,241
その他包括利益			16,215	-10,974	-7,307	-57,437		0	-59,502
うち、資本の中での 分類変更					-8,830	258			-8,572
当期包括利益合計			16,215	-10,974	-7,307	-57,437	201,202	39	141,739
利益剰余金への振替							8,572		8,572
配当金									-
転換劣後ローンの影響	-	-							-
非支配株主持分の変動								-26	-26
2020年期末資本	39,621	113,066	76,053	43,287	1,214	-10,405	1,950,766	116	2,213,716

¹ 普通配当104,803百万円及び特別配当110,355百万円。株主は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーが買収したAB Industrivärdenの株式という形で、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから特別配当を受け取っている。注記G49を参照。

² 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ビーエルシーの全従業員は株式報酬プログラム（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

キャッシュ・フロー計算書（当行グループ）

	2021年		2020年	
	(百万スウェーデン・クロネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クロネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益	23,475	303,062	18,797	242,669
非継続事業からの利益	1,204	15,544	1,338	17,274
うち、受取利息	38,528	497,396	46,345	598,314
うち、支払利息	-7,257	-93,688	-15,717	-202,906
うち、受取配当金	61	788	76	981
営業利益及び非継続事業からの当期利益に含まれる非現金項目の調整				
信用損失	80	1,033	929	11,993
未実現評価差額	363	4,686	-797	-10,289
減価償却費、償却費及び減損	2,118	27,343	1,966	25,381
法人税の支払	-5,086	-65,660	-7,711	-99,549
営業活動による資産及び負債の変動				
中央銀行へのその他の貸出金	19,863	256,431	-1,778	-22,954
その他金融機関への貸出金	82	1,059	-3,980	-51,382
一般顧客への貸出金	-142,370	-1,837,997	22,071	284,937
利付証券及び株式	9,621	124,207	1,611	20,798
金融機関からの預り金	-41,114	-530,782	-23,266	-300,364
一般顧客からの預金及び借入金	170,994	2,207,533	111,938	1,445,120
発行済証券	43,031	555,530	-74,224	-958,232
デリバティブ商品の正味ポジション	-16,732	-216,010	23,394	302,017
ショートポジション	2,476	31,965	-197	-2,543
投資銀行業務の決済における債権及び債務	-567	-7,320	875	11,296
その他	-18,057	-233,116	16,294	210,356
営業活動からのキャッシュ・フロー	49,381	637,509	87,260	1,126,527
投資活動				
関連会社及びジョイント・ベンチャーに係る取得及び拠出	-83	-1,072	-61	-788
株式の売却	1	13	1,693	21,857
不動産及び器具備品の取得	-1,194	-15,415	-709	-9,153
不動産及び器具備品の処分	1,063	13,723	328	4,234
無形資産の取得	-539	-6,958	-1,031	-13,310
投資活動からのキャッシュ・フロー	-752	-9,708	220	2,840
財務活動				
劣後ローンの返済	-10,130	-130,778	-2	-26
劣後ローンの発行	-	-	8,176	105,552
配当金の支払	-16,666	-215,158	-	-
財務活動からのキャッシュ・フロー	-26,796	-345,936	8,174	105,526
うち、為替換算差額	-320	-4,131	-819	-10,573
当期キャッシュ・フロー	21,833	281,864	95,654	1,234,893
期首流動資金	397,642	5,133,558	327,958	4,233,938
営業活動からのキャッシュ・フロー	49,381	637,509	87,260	1,126,527

投資活動からのキャッシュ・フロー	-752	-9,708	220	2,840
財務活動からのキャッシュ・フロー	-26,796	-345,936	8,174	105,526
流動資金の為替換算差額	20,489	264,513	-25,970	-335,273
期末流動資金	439,964	5,679,935	397,642	5,133,558

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について非継続事業からの営業利益及び当期利益が調整されていることを意味している。

上記のキャッシュ・フロー計算書には、貸借対照表上、売却目的で保有する資産及び売却目的で保有する負債にそれぞれ分類変更された、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている。

[次へ](#)

注記G1 会計方針及びその他の財務諸表の作成基準**目次**

1. 準拠表明
2. 会計方針の変更
3. 未適用のIFRSの変更
4. 連結の基礎及び表示
5. セグメント報告
6. 外貨建資産及び負債
7. 貸借対照表に計上される金融商品の認識及び認識中止
8. 金融商品
9. 金融資産及び金融負債の公正価値測定原則
10. 信用損失
11. ヘッジ会計及び金利指標改革
12. リース
13. 保険事業
14. 無形資産
15. 不動産及び器具備品
16. 引当金
17. 資本
18. 収益
19. 従業員給付
20. 税金
21. 見積り及び重要な評価
22. 会社情報

1. 準拠表明**会計の基礎**

連結財務諸表は国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）及びEUにより採択された同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）及びスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針、FFFS 2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも準拠している。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も連結財務諸表に適用されている。

親会社の会計方針は注記P1に示されている。

年次報告書の発行及び採択

年次報告書及び連結財務諸表は2022年2月9日に取締役会及び当行グループ最高経営責任者により発行が承認され、2022年3月23日の年次株主総会（AGM）で採択のため提示される予定である。

2. 会計方針の変更

IFRS第9号「金融商品」、IAS第39号「金融商品：認識及び測定」、IFRS第7号「金融商品：開示」及びIFRS第16号「リース」の改訂 - 金利指標改革 - フェーズ2

金利指標改革フェーズ2に関連する、IFRS第9号「金融商品」、IAS第39号「金融商品：認識及び測定」、IFRS第7号「金融商品：開示」及びIFRS第16号「リース」は、2021年1月1日付で発効した。

IFRS第9号の改訂では、金利指標改革の直接の結果として金融資産及び金融負債の条件変更が行われた場合、実効金利の変動として認識される。従って、条件変更により生じる損益は認識されない。さらに、IFRS第9号及びIAS第39号の改訂により、ヘッジ関係における既存の指標金利が代替的な指標金利に置き換えられた場合に、ヘッジ会計の要件を一部免除することが認められている。従って、本改訂は、損益に対する重要な影響を与えることなく、またハンデルスバンケンの財務報告、自己資本比率、大口エクスポージャー又は規制が適用されるその他の状況に重要な影響を与えることもなく、新指標金利への移行を推進するものと評価される。過年度の比較数値の再計算は行われておらず、利益剰余金の期首残高は、当改訂の適用に伴う当初の影響を受けていない。内容の詳細については、セクション11のヘッジ会計及び金利指標改革を参照のこと。

IFRSのその他の改訂

2021年1月1日から適用された他の改訂は、いずれも当行の財務報告に重要な影響を与えていない。

また、他に関して当年度に当行グループが適用した会計方針及び計算方法は、2020年度の年次報告で適用されたものと一致している。

3. 未適用のIFRSの変更

IFRS第17号「保険契約」

IFRS第4号「保険契約」に置き換わる、IFRS第17号「保険契約」がIASBによって公表され、EUにより採択された。本基準は2023年度より適用される予定である。IFRS第17号には、保険契約の認識、表示及び測定方法の変更と同時に開示要件の拡充が含まれている。

保険契約の認識における不一致を解消させる目的で、IFRS第17号では、一般アプローチ（ビルディング・ブロック・アプローチ）、保険料配分アプローチ及び変動手数料アプローチの3つの測定アプローチに基づいた単一の評価原則を導入している。IFRS第17号では、保険契約の評価に関し一般アプローチ（ビルディング・ブロック・アプローチ）を定めており、保険契約債務の価値はリスク・マージンと利益率を考慮した将来キャッシュ・フローの期待現在価値に基づき評価される。他の2つの評価アプローチは、特定の状況下で適用可能である。評価アプローチの選択は、契約条件（長期、短期、または利益創出）により決定される。当行はIFRS第17号の導入に向けたプロジェクトにより、現在、本基準の財務的な影響を分析中である。

4. 連結の基礎及び表示

子会社

ハンデルスバンケンに直接又は間接的に支配されている企業（子会社）はすべて連結されている。当行は、企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつその企業に影響力を及ぼす手段を通じてそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされる。原則として、ハンデルスバンケンが株主総会又は同等の会議体において過半数の議決権を保有している場合に、支配が存在するとみなされる。

子会社は取得法に従って連結される。ここで子会社の取得とは、当行グループがその会社の識別可能な資産を取得し、その負債及び義務を引受ける取引を意味している。企業結合の場合、識別可能資産及び負債を取得日の公正価値で評価した取得貸借対照表が作成される。企業結合の対価は、子会社の純資産に対する支払として提供されたすべての資産、負債及び発行した資本性金融商品の公正価値で構成される。当該企業結合の対価が取得した貸借対照表上の識別可能純資産を超過する剰余部分は当行グループの貸借対照表にのれんとして認識される。取得関連費用は、発生時に認識される。子会社の財務報告は取得日から支配が中止される日まで連結財務諸表に含まれる。グループ内取引及び残高は当行グループの財務報告の作成時に消去される。

企業結合の会計処理では、被取得事業は取得日から当行グループの財務諸表に認識される。取得日とは取得事業体に対する支配関係が開始される日である。取得日は法的に取引が成立した日とは異なる場合がある。

子会社で個別に採用されている会計方針が当行グループで採用されている会計方針と一致していない場合、子会社の連結時に連結財務諸表を修正している。

組成された事業体

組成された事業体とは、支配の有無を決定する際に議決権が決定的な要因とならない、狭義かつ十分に明確化された目的の達成のために組成された事業体である。ハンデルスバンケンが保有する組成された事業体の保有は、ミューチュアル・ファンドの保有に限定されている。

当行がアセット・マネージャーであるファンド及び当行が過半数の持分を所有するファンドは、連結されている。当行のファンド保有は、貸借対照表の「株式」に公正価値で計上されている。ファンドの公正価値の残余価値は連結され、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産／負債」に計上されている。20%から50%までの所有権については、例えば、そのファンドが運営を指図する幅広い権限を持ち、かつ、そこから生じる変動リターンの割合が高い場合等、当行が支配持分を有していることを示唆する特定の状況において連結される。

ユニットリンク保険契約によって生じた保有は、当社グループへ変動リターンをもたらすことはないと考えられている。これらの保有は、既存のファンドに対する支配持分が存在するか否かの評価より除外されている。ユニットリンク保険契約によって生じたファンドの保有は、顧客が価値変動リスクを負う資産として認識され、ユニットリンク保険契約に対応する負債は、顧客が価値変動リスクを負う負債として認識される。

非連結の組成された事業体の保有に関する情報については注記G48を参照のこと。

関連会社及びジョイント・ベンチャー

ハンデルスバンケンが重要な影響力を有している会社は関連会社として計上される。重要な影響力とは、会社の財務方針や経営方針の決定に関与する力を持つが、これらを支配していないものである。原則として、重要な影響力は、その会社における議決権の割合が少なくとも20%、最大で50%である場合、又は契約条件により当行が重要な影響力を行使できる場合に存在する。ジョイント・ベンチャーでは、当行は一つまたは複数の当事者と共同支配権を行使する。関連会社およびジョイント・ベンチャーは連結財務諸表において持分法に従って計上される。これは、持分が当初は取得原価で計上されることを意味する。取得日後の帳簿価額は、関連会社またはジョイント・ベンチャーの損益の当行グループの持分を認識することで増加又は減少する。関連会社およびジョイント・ベンチャーからの配当金は当該持分の帳簿価額から控除される。関連会社およびジョイント・ベンチャーの持分利益は、当行グループの損益計算書の個別科目である「関連会社およびジョイント・ベンチャーの持分利益」に計上される。

売却目的で保有する資産及び非継続事業の会計処理

固定資産又は直接関連する負債を含めた資産グループ（処分グループ）は、帳簿価額が主に売却により回収され、その売却の可能性が高い場合に売却目的保有に分類される。資産が売却目的保有に分類された場合、特別な評価原則が適用される。それによると、主に売却目的で保有する資産及び処分グループは、金融資産及び負債項目を除き（後述の8.を参照のこと）、帳簿価額と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定される。したがって、売却目的で保有する有形固定資産又は無形固定資産は減価償却又は償却されない。減損損失及びその後の再評価は損益計算書に直接計上される。ただし、過年度に計上された減損累計額を超過する利益は認識されない。売却目的で保有する資産及び負債は、売却されるまで当行グループの貸借対照表の個別科目で報告される。

当行グループの他の事業から明確に差別化される重要な独立事業で、上記の方針により売却目的保有に分類されている事業は、非継続事業として認識される。再売却目的のみで取得した子会社もまた、非継続事業に認識される。非継続事業として認識するにあたり、その事業からの収益は損益計算書において他の損益項目とは別の個別科目で計上される。非継続事業からの損益は、非継続事業からの損益（税引後）、非継続事業に含まれる売却目的で保有する資産／処分グループ資産の売却費用控除後の公正価値評価から生じる損益（税引後）、及び非継続事業の処分からの実現損益で構成されている。売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業に関する開示は、注記G13を参照のこと。

5. セグメント報告

セグメント報告は収益／費用及び資産／負債を事業セグメントで分割したものとして表示されている。事業セグメントは当行グループの一部で外部又は内部収益及び費用をもたらす事業を運営するものである。これらの収益／費用はコーポレート・ガバナンスの一環として定期的に上級経営陣により評価及び管理される。セグメント報告の原則は注記G45で詳しく説明されている。

6. 外貨建資産及び負債

連結財務諸表は当行グループの表示通貨であるスウェーデン・クローネで表示されている。スウェーデン以外の当行グループ事業の機能通貨は、通常当行グループの表示通貨と異なっている。事業が主に運営されている経済環境で使用されている通貨が機能通貨とみなされる。

機能通貨以外の通貨建て取引の換算

機能通貨以外の通貨（外貨）建ての取引は、当初に取引日の実勢レートで機能通貨へ換算される。公正価値で測定される外貨建貨幣性項目及び外貨建非貨幣性項目は、貸借対照表日に当日の終値で換算される。公正価値で測定される貨幣性項目及び非貨幣性項目の為替換算損益は、金融取引に係る外貨換算影響額として損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

「その他包括利益を通じて公正価値で評価するもの」として分類されている非貨幣性項目から生じる換算差額は、「その他包括利益」の構成要素として計上され、資本に累積される。在外営業活動体への純投資の一部を構成している貨幣性項目を換算する際の換算差額は同じ方法で認識される。

在外営業活動体の当行グループの表示通貨への換算

支店を含めて在外事業体の貸借対照表及び損益計算書を機能通貨から当行グループの表示通貨に換算する際には、期末日レート法が使用されている。これは、資産及び負債が終値で換算されることを意味している。資本は、投資時又は稼得時に適用されるレートで換算される。損益計算書は年間平均レートで換算される。換算差額はその他包括利益に計上され、資本の為替換算調整準備金に含まれる。

7. 貸借対照表に計上される金融商品の認識及び認識中止

資本性金融商品並びに短期金融市場商品及び資本市場商品のスポット市場での取得及び売却は、契約が締結された日である取引日に認識される。同様のことがデリバティブにも適用される。その他の金融資産及び金融負債は通常決済日に認識される。

金融資産は、その資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が失効する、又はその資産に関するすべてのリスク及び経済的便益が他の当事者に移転した際に貸借対照表から認識中止される。金融負債は、義務が履行される、終了する、又は取消された際に貸借対照表から認識中止される。

金融商品を貸借対照表に認識する方針は、買戻取引、証券貸付及びリースの会計処理の場合は特に重要である（これらの論点については個別のセクションを参照のこと。）。

8. 金融商品

測定区分

IFRS第9号に基づき、すべての金融資産は以下のいずれかの測定区分に分類される。

1. 償却原価
2. その他包括利益を通じて公正価値で測定
3. 純損益を通じて公正価値で測定
 - a. 強制的
 - b. 公正価値オプション

金融資産を個々の測定区分に分類するにあたっては、金融商品の管理に関する企業の事業モデルの評価から始めると同時に、当該金融商品の契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみであるかの判断が必要となる。

金融負債は以下の区分に分類される。

1. 償却原価
2. 純損益を通じて公正価値で測定
 - a. 強制的
 - b. 公正価値オプション

原則として、金融負債は償却原価で計上される。例外は、デリバティブなどの、純損益を通じて公正価値で測定することが求められている金融負債、及び当初認識時に公正価値で測定するものとして取消不能で特定されている負債（公正価値オプション）である。

貸借対照表の同一科目で認識される金融資産及び負債は、異なる測定区分に分類されることがある。これについては注記G40を参照のこと。

当初認識時には、すべての金融資産及び金融負債が公正価値で測定される。純損益を通じて公正価値で測定される資産及び負債の取引費用は、取得日に損益計算書に認識される。その他の金融商品については、取引費用は取得原価に含まれる。

事業モデルの評価

金融資産の管理に関する事業モデルは、測定区分の分類を定めている。事業の管理方法や当行の経営者に対する情報の報告方法、経営者による情報の評価方法が最も的確に反映されるため、事業モデルはポートフォリオ単位で決定される。ポートフォリオの事業モデルの加重評価を行う際の重要な情報には、確立した指針やポートフォリオの目的、それらの実務への適用方法、ポートフォリオのパフォーマンスに影響を及ぼすリス

ク、リスクの管理手法に加え、ポートフォリオの金融資産の売却に関する頻度、規模、理由及び時期などが含まれる。

契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみであるかの評価

契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみから構成されるか否かの評価は、測定区分の分類にあたって重要である。この評価における「元本」とは、当初認識時の金融資産の公正価値であると定義される。「利息」とは貨幣の時間価値、信用リスク、その他の基本的な貸出リスク（流動性リスク等）、費用（管理費用等）、利益の対価であると定義される。

金融資産の契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみであるかどうかを判定する際に、金融資産の契約条件が検討される。契約上のキャッシュ・フローの時期や金額の変更、貨幣の時間価値への対価の修正、レバレッジの発生、又は期限前償還及び期限延長の追加費用が発生し得る契約上の条件が存在する場合、当該キャッシュ・フローは元本及び利息の支払のみではないものとして評価される。

償却原価

以下の両方の条件を満たす場合、金融資産は償却原価で測定される。

- ・事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローを回収することである
- ・契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである

償却原価で測定する区分で認識される金融資産は、上記の条件を満たす貸出金及び利付証券から構成される。これらの資産は減損テストの対象となる。償却原価で測定するカテゴリーで認識される金融負債は、主に金融機関からの預り金、一般顧客からの預金並びに借入金、及び発行証券などの負債などである。

償却原価は、その商品に関する将来のキャッシュ・フロー全額を取得時における実効金利で割引いた現在価値である。償却原価で測定される金融商品に関する金利及び信用減損は、損益計算書の「純利息収益」及び「信用損失」の項目にそれぞれ計上される。

期限前償還される貸出金の早期償還手数料及び当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスは、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。外貨換算影響額も「金融取引による純損益」に計上される。

その他包括利益を通じて公正価値で測定

次に示すいずれの条件も満たす場合、金融資産はその他包括利益を通じて公正価値で測定される。

- ・事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローの回収と資産の売却の両方である。
- ・契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである。

上記の条件を満たす当行の流動性ポートフォリオにおける利付証券は、その他包括利益を通じて公正価値で測定する区分に認識される。これらの資産は減損テストの対象となる。利息収益は「純利息収益」に計上され、外貨換算影響額及び信用損失は「金融取引による純損益」に計上される。未実現価値変動はその他包括利益で認識され、売却に伴い損益計算書の「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。

トレーディング目的保有ではない資本性金融商品は、当初認識時にその他包括利益を通じて公正価値で測定されるものへ、取消不能の分類を行うことも可能である。当初認識時以降に発生する為替差損益等を含む実現及び未実現価値変動は、その他包括利益に計上される。実現価値変動は損益計算書ではなく利益剰余金、すなわち資本内で振り替えられる。これらの保有から生じる配当収益のみが損益計算書に計上される。この評価原

則は、当行に対する支援業務を行う企業の特定の株式保有に適用される。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、当行の国内市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。これらの株式保有は長期間にわたり、概ね毎年変化することがない。

純損益を通じて公正価値で測定（強制）

金融資産が償却原価で測定する条件もその他包括利益を通じて公正価値で測定される条件も満たしていない場合、強制的に純損益を通じて公正価値で測定される。

トレーディング目的保有の金融資産及び金融負債は、公正価値で管理され評価される金融資産と同様に、常に純損益を通じて公正価値で測定するものに区分される。

「純損益を通じて公正価値で測定（強制）」という測定区分は、主に上場株式、ミューチュアル・ファンドのユニット、利付証券及びデリバティブで構成される。これらの金融商品に係る利息、配当、外貨換算影響額、並びに実現及び未実現評価差額は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。ヘッジ会計を通じたデリバティブの認識については、セクション11を参照のこと。

純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション

指定を行わない場合に資産の測定から生じる測定又は認識の不整合（以下、「会計上のミスマッチ」という。）を解消又は大幅に低減する場合には、当初認識時に、金融資産を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

同様に、以下のいずれかの条件を満たす場合に、当初認識時に、金融負債を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

- ・ 指定を行わない場合に負債の測定から生じる測定又は認識の不整合（会計上のミスマッチ）を除去又は大幅に低減する場合
- ・ 金融負債のグループ又は金融資産と金融負債のグループが、文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従って、公正価値ベースで管理され業績評価されており、当該商品に関する情報が、当行経営者に対して社内的にそのベースで提供されている場合

この評価原則は、経済的ヘッジによりヘッジされるユニットリンク保険契約による負債や流動性ポートフォリオの一部持分等の、互いに反対ポジションとなりポートフォリオベースで管理される資産と負債を測定する際の不整合を回避するために適用されている。

公正価値オプションにより純損益を通じて公正価値で測定される金融商品の実現及び未実現価値変動は、「金融取引による純損益」に計上される。これらの商品に起因する利息は「純利息収益」に計上される。

金融商品の分類変更

原則として、金融資産が当初認識以降に分類変更されることはない。分類変更は、当行が金融資産のポートフォリオを管理するための事業モデルを変更する稀な場合に認められる。当初認識後の金融負債の分類変更は認められない。

金融保証及び貸出コミットメント

金融保証は、保証の保有者に生じた損失の払戻を保証の発行者に求める契約である。ここで保証の保有者に生じた損失とは、例えば、信用保証のように負債性金融商品（貸出金及び利付証券）の条件に従った所定の支払を債務者が行わなかったことにより生じるものである。保証の公正価値は、発行時に受領したプレミアムと同額である。当初認識時に、この保証に対して受領したプレミアムは貸借対照表の「未払費用及び繰延収益」

の項目に負債として計上される。その後この保証は、償却後プレミアム又は予想損失引当金のいずれか高い方で測定される。発行された金融保証に関するプレミアムは保証の有効期間にわたり、「純手数料及びコミッション収益」の項目で償却される。さらに、発行した保証に関連する保証金額の合計は、偶発債務としてオフバランス処理される（詳細については注記G43を参照のこと）。

購入した金融保証のプレミアムは、保証される負債性金融商品の利息が純利息収益に認識されている場合は利息収益の減少として見越計上される。

貸出コミットメントはその貸出の実行までオフバランス項目として報告される（詳細については注記G43を参照のこと）。貸出コミットメントに対して受領した手数料は、そのコミットメントの期間にわたり純手数料及びコミッション収益として計上される。但し、そのコミットメントが実行される可能性が高い場合、受領した手数料はその貸出金の実効金利に含められる。金融保証及び取消不能の貸出コミットメントは減損テストの対象となる。

複合金融商品

複合金融商品は、組込デリバティブ及びデリバティブでない主契約から構成されている。複合商品のキャッシュ・フローの一部は、単独のデリバティブのキャッシュ・フローと同様に変動する。

複合金融商品の主契約が金融負債である場合、組込デリバティブは、以下すべての条件に該当するときに、主契約から分離しデリバティブとして計上しなければならない。

- ・組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが、主契約の経済的特徴及びリスクに密接に関連していないこと
- ・組込デリバティブと同一条件の独立の金融商品ならば、デリバティブの定義に該当すること
- ・複合金融商品が純損益を通じて公正価値で測定されるものではないこと

そのため、純損益を通じて公正価値で測定される金融負債に組み込まれているデリバティブは個別に認識されない。

上述の組込デリバティブを主契約から分離した会計処理は、エクイティ・リンク債及びその他の仕組商品の発行の際等に適用される。

金融資産が主契約である複合金融商品には、組込デリバティブを主契約から分離する会計処理は行わない。契約上のキャッシュ・フローが元本と利息の支払のみであるかどうかを判定する際には、組込デリバティブを含む金融資産全体としてみなされる。

発行済み転換可能負債性金融商品の転換オプション部分に固有の価値は、区分して資本に計上される。資本部分の価値は、転換可能負債性金融商品全体の公正価値から負債部分の公正価値を差し引いたものとして発行時に決定される。資本部分の帳簿価額は、転換可能負債性金融商品の満期までの間に修正されることはない。負債部分は発行時に貸借対照表上公正価値で認識され、当初認識後、当初の実効金利による償却原価で計上される。

買戻契約及び売戻契約

買戻契約又はレボ取引は、当事者が特定の証券を売却すること及びその証券を事前に決められた価格で買い戻すことを同時に合意する契約である。当行グループが契約期間中、当該証券の評価額の変動リスクにさらされていることから、レボ取引（買戻契約）で売却された証券は、取引期間にわたり貸借対照表に計上される。また、売却された金融商品は、オフバランスシート項目の差入資産として計上されている。受領した代金は、取引相手によって「金融機関からの預り金」又は「一般顧客からの預金及び借入金」として計上される。レボ取引で買入れた証券（売戻契約）は、これと対称的な方法で会計処理される。すなわち、これらは当該取引の

契約期間にわたり貸借対照表に計上されない。支払った代金は、取引相手によって「中央銀行へのその他の貸出金」、「その他の金融機関への貸出金」又は「一般顧客への貸出金」として計上される。買戻契約に基づき売却された受入担保は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上される。

有価証券借入及び貸付契約

当行グループが引き続き証券の評価額の変動リスクにさらされているため、貸付証券は引き続き貸借対照表に計上され、同時にオフバランスシート項目の担保資産として計上される。借入証券は、売却される場合（空売りという）を除き、貸借対照表に計上されない。売却された場合、売却された商品の公正価値に相当する価値が負債に計上される。第三者に貸与されている借入証券は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上されている。

デリバティブ商品

デリバティブは全て貸借対照表に公正価値で計上される。プラスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として資産計上される。マイナスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として負債計上される。デリバティブに係る実現及び未実現損益は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。ヘッジ会計によるデリバティブの認識についてはセクション11を参照のこと。

金融資産と金融負債の相殺

金融資産と金融負債は、当行が、営業活動や破産の状況下において、相殺できる契約上の権利を有しており、純額で決済を行うか、同時に資産を処分し負債を決済する意図がある場合に、貸借対照表上で相殺される。金融資産と金融負債の相殺に関する詳細については注記G23を参照のこと。

9. 金融資産及び金融負債の公正価値測定の実則

公正価値とは、独立の市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却することで受け取るであろう価格又は負債を移転することで支払うであろう価格と定義される。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。最新の市場価格は、買呼値と売呼値の範囲内で、その状況において公正価値を最もよく表す価格である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味エクスポージャーが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

金融商品の市場価格に関して信頼できる情報がない場合には、公正価値は評価モデルを使用して算定されている。使用する評価モデルは、基本的に市場金利や株価等の市場において観察可能な変数を用いて検証可能なインプット・データを基礎としている。必要な場合には、市場関係者が価格設定の際に考慮に入れることが見込まれるその他の変数の調整も行われている。評価に使用される仮定は、内部で発生した実績に基づいており、継続的にリスク管理部門によって見直される。その結果は、仮定及び予測モデルの適用が必要かどうかを確認するために実際の結果と比較される。

利付証券

政府が発行する利付証券及びスウェーデンの抵当証券は最新の市場価格を使用して評価される。社債の評価には評価技法を使用し、同じ満期の市場利回りを信用リスク及び流動性リスクで調整したものに基づいて評価される。評価は最新の市場価格が反映されていることを確認するために定期的に検証される。検証は主に、複

数の独立した価格提供機関から価格を入手し、同一又は類似商品における最近の取引との調整により実施される。

株式

活発な市場に上場している株式は市場価格で評価される。レベル3の株式や参加持分を評価する際には、その個々の商品に適切とみなされるモデルを選択する。レベル3の株式保有は、主に当行への支援業務を行う企業の株式である。レベル3の株式はすべての重要な点からみて、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される。このようなポートフォリオは、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分によって評価されている。契約により株式の売却価格が定められているレベル3の株式については、事前に決定された売却価格で評価される。

プライベート・エクイティ・ファンドのレベル3の株式を評価する場合には、欧州ベンチャー・キャピタル・アンド・プライベート・エクイティ・アソシエーション (EVCA) で採用された評価原則が使用される。これらのモデルにおいては、同じセクターの比較可能な上場会社との比較評価から投資の市場価値を算出している。投資及び比較会社間の比較を妨げる損益項目については調整が行われ、投資の価値はP/E及び EV/EBITA等の収益率を基礎として算定される。保険事業における投資資産の一部を構成するプライベート・エクイティ・ファンドに対する持分の価値変動及びキャピタルゲインは、損益計算書に直接計上されず、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められる。詳細についてはセクション13を参照のこと。

デリバティブ

活発な市場で取引されているデリバティブは、市場価格で評価される。当行グループの金利スワップや多くの種類の定型的な通貨デリバティブを含むデリバティブ契約の大部分は、市場金利及びその他の市場価格を基礎とする評価モデルを使用して評価される。活発に取引されていない非定型的なデリバティブ契約の評価もまた、ボラティリティ等の市場に基づくインプット・データに関する合理的な仮定を基礎としている。

デリバティブをモデルで評価する際には、場合によっては取引価格と当初認識時に評価モデルで測定した価値との間に差額が存在することもある。両者の差額は使用した評価モデルにおいて、デリバティブの価値に影響する要素のすべてが完全に織り込まれていない場合に発生する。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額 (取引日利得/損失) は、当行の利益率と、例えば資本コストや管理費を補填する報酬により構成される。取引日のプラスの未実現利益は、当初認識時には損益に認識されず、デリバティブの契約期間にわたって償却される。

顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にユニットリンク保険契約の持分である。これらの持分はファンドの最新の市場価値 (NAV) を使用して評価される。各資産は顧客が価値変動リスクを負う負債に対応している。これら負債の評価は資産の評価を反映している。保険契約者/持分保有者は資産に対する優先権を有しているため、その評価について信用リスク調整を行う必要はない。顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債は基本的に、純損益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。

10. 信用損失

予想信用損失

IFRS第9号で規定される減損規則は、償却原価で測定される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産、並びに金融保証及び取消不能の貸出コミットメントに適用され、予想信用損失 (ECL) の認識モデルに基づいている。このモデルは、引当金が、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能

な合理的で裏付け可能な情報を考慮し、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される、偏りのない確率加重金額を反映したものでなければならないと規定している。この評価は、過去、現在及び将来の要因を考慮したものである。

減損テストが行われる資産は、信用の毀損程度によって3つのステージに区分される。

- ・ ステージ1には、信用リスクが当初認識以降著しく増大していない資産が含まれる。
- ・ ステージ2には、信用リスクが当初認識以降著しく増大している資産であるが、報告時点で当該債権が信用減損しているという客観的な証拠がない金融資産が含まれる。
- ・ ステージ3には、当該債権が信用減損していることを示す客観的な状況が識別された金融資産が含まれる。信用減損した資産の定義については、以下のデフォルト/信用減産資産の項目を参照のこと。

ステージ1では、デフォルトの結果12カ月以内に発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。ステージ2及び3では、デフォルトの結果、当該資産の残存期間全体のある時点で発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。

ステージ1及びステージ2の債権には、モデルベースの算定法を用いた、当行グループ全体の集中管理型のプロセスが実施される。このプロセスでは、全ての債権について、当初認識（契約開始日）以降信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。信用リスクの著しい増大の内容の詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。各減損ステージの引当金は個別に算定される。ステージ3でモデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオ以外のステージ3債権には、マニュアルの算定が行われる。各報告日ごとに、モデルベースの算定対象になるか、又はマニュアルの算定対象になるかについて、債権ごとに評価が行われる。

予想信用損失の算定は、主にリスク・パラメーターであるデフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）及びデフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）の影響を受ける。予想信用損失は、債権の予想最終返済日までのPD、EAD及びLGDを算定することにより決定される。この3つのリスク・パラメーターは、残存確率又は信用エクスポージャーがデフォルトしていない、もしくはは期限前返済されている確率を乗じて調整される。次に、予想信用損失推計額は、当初の実効金利を用いて報告日までの期間を割引され、合計して算定される。ステージ1の信用損失合計は、今後12カ月のデフォルト確率を用いて算定される。ステージ2とステージ3の信用損失は、資産の満期までの残存期間のデフォルト確立を用いて算定される。

モデルベースの算定

予想信用損失の算定には、各国別の失業率、主要行又は中央銀行の金利、国内総生産（GDP）、インフレ率、不動産価格といった関連するマクロ経済上のリスク要因を勘案した、少なくとも3つのマクロ経済シナリオ（基本（中心）シナリオ、上昇シナリオ、下降シナリオ）を用いている。さまざまなシナリオがリスク・パラメーターの調整に用いられる。すべてのマクロ経済シナリオに確率が当てはめられ、各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として予想信用損失が算定される。

ステージ1、ステージ2（及びステージ3の同種の債権からなる小規模のポートフォリオ）債権の予想信用損失の算定に用いるモデルに関する追加情報のほか、PD、EAD、LGD、予想満期、信用リスクの著しい増大及びマクロ経済情報に関する概念の説明については注記G2の「信用リスク」セクションを参照のこと。予想信用損失の感応度分析については注記G10を参照のこと。

マニュアルの算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルの算定を用いた減損テストが行われる（ステージ3に分類され、モデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオを除く）。この減損テストは、業務責任を有する各地の支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的実施されるほか、各報告日にも実施され、各地域及び本部の与信部門により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延又は不払、内部格付の変更、もしくは借手の破産の可能性等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。カウンターパーティの返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、最低でも二つの予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

エキスパートベースの算定

モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響（ステージ1とステージ2債権及びステージ3の同種の債権からなる少額のポートフォリオの場合）又はマニュアルの算定で考慮されていない要因の影響（ステージ3債権の場合）を織り込むために、エキスパートベースの算定が信用損失に対して行われる。モデルベースの算定は、引当必要額全体に対する個別の要因の影響をできるだけ正確に見積もるという意向に基づくものである。しかし、個々の債権に係る全ての特性を一般的なモデルに織り込むことは極めて難しい。この理由から、全体の引当必要額への影響が大きい債権について、マニュアルによる分析が行われる。このマニュアルによる分析は、モデルベース又はマニュアルの算定をエキスパートベースの算定に置き換える必要があるか評価する際に、個々の与信に関するエキスパートの知識を生かすことを意図している。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

また、サブ・ポートフォリオ又は類似のポートフォリオに対するモデルベースの算定を調整するため、エキスパートベースの算定がより集約したレベルで実施される場合もある。これらの調整は関連債権に対し、按分して行われる。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

信用損失の認識と表示

- ・償却原価で測定される金融資産は、予想信用損失控除後の純額で貸借対照表に計上される。
- ・オフバランスシート項目（金融保証及び取消不能の貸出コミットメント）は額面金額で認識される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は貸借対照表上、引当金として計上される。
- ・その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産は、貸借対照表上公正価値で計上される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は資本の公正価値評価差額準備金で認識されるため、当該商品の帳簿価額は減額されない。
- ・償却原価で測定される金融資産及びオフバランスシート項目に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「信用損失」の項目に計上される。「信用損失」の項目は前期の予想信用損失引当金戻入額控除後の当期の予想信用損失引当金繰入額、並びに当期の償却額及び回収額で構成されている。
- ・その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。
- ・償却額は、実際の信用損失からステージ3（債権）に係る前期の予想信用損失引当金戻入額を控除したもので、金融資産全体又は一部にかかることがある。実質的に返済可能性がなくなった場合に償却が計上され

る。通常、償却後も借手及び保証人に対する債権は存続し、その後は原則として強制執行の対象となる。破産管財人により破産に関連した資産整理に関する最終報告書が提出された場合、債務整理計画が承認された場合又は債権全体が放棄された場合などの特定の状況においては、強制執行は行われない。金融資産のリストラクチャリング（再編）に関してコンセッション（譲歩）が認められた債権は、常に実際の信用損失として計上される。

- ・償却された金融資産に関する当行への支払は、「（償却債権）取立益」として収益計上される。

信用損失に関する詳細情報は注記G10に記載されている。

デフォルト又は信用減損した資産

当行のデフォルトの定義は、自己資本規制（CRR）で用いられる定義と同一であり、カウンターパーティが90日間超支払を遅延している、又はカウンターパーティが契約上の支払義務を履行できないという評価を下された、のいずれかである。かかる評価は、借手が返済を行えなくなる可能性のほうが高いとみなされていることを示している。この評価では、借手の返済能力に関するすべての利用可能な情報を根拠としている。不十分な流動性、支払の遅延や取消、不払の記録、又は返済能力の毀損に係る他の兆候などの支払不能の指標を考慮に入れている。他の前兆には、借手の破産、又は借手に対する当行の債権額の減少を伴う大幅なフォーベアランス（条件緩和）措置が認められることなどが考え得る。

デフォルト確率は各報告日前に算定され、ステージ1及びステージ2の金融資産の予想信用損失の算定とともに、当初認識以降、信用リスクの著しい増大があったかどうかについての評価に組み込まれる。

信用減損した金融資産はステージ3のエクスポージャーであり、デフォルトしたエクスポージャーと定義されている。これは、会計上の評価が当行グループの信用リスク管理に用いられる評価と一致していることを意味している。

利息

ステージ1及びステージ2では、貸借対照表の項目に起因する利息収益の認識は総額ベースによる。これは、利息収益の全額が「純利息収益」として認識されることを意味する。

ステージ3では、利息収益は減損を考慮した純額で認識される。予想される支払までの期間が短くなることで割引効果が減少する金利効果により、過去に引き当てられた金額の戻入れが発生するが、このような金利効果は、実効金利法により利息収益に計上される。

債権の保全のために担保権が実行された不動産及び器具備品の評価

担保権が実行された不動産及び器具備品は当初認識時に公正価値で貸借対照表に計上される。担保権が実行された不動産及び器具備品のうち、近い将来に処分が予想されるもの（担保権が実行されたリース資産を含む）は、帳簿価額又は公正価値（売却費用控除後）のいずれか低い方で評価される。近い将来に処分される見込みのないものについては、純損益を通じて公正価値で評価される投資不動産として計上される。債権の保全のために譲り受けた非上場株式は、通常純損益を通じて公正価値で計上される。

条件変更された金融資産

フォーベアランス（条件緩和）措置又は商業上の再交渉の結果、キャッシュ・フローを決定する条件及び規定が当初の契約から変更されている場合、貸出が条件変更されたとみなされる。フォーベアランス（条件緩和）措置は、リストラクチャリングや他の財務上の救済措置に伴う、貸出条件を変更することをいう。この変更は、財政難にある債務者からの返済の全額保全又は貸出残高の返済を最大化する目的で実施される。商業上

の再交渉は、返済又は金利に関する市況の変化に伴う貸出のキャッシュ・フローの変更など、債務者の財政難とは関連のない貸出条件の変更をいう。

償却原価で測定するものに分類された金融資産によるキャッシュ・フローが条件変更されたものの、キャッシュ・フローが著しく変動していない場合、通常は、条件変更により当該金融資産が貸借対照表から認識中止されることはない。この場合、当該金融資産の変更後のキャッシュ・フローを基に帳簿価額総額が再計算され、調整額が損益計算書に計上される。

条件変更の実施にはさまざまな理由はあることから、条件変更と信用リスク評価との間に必ず関連性があるといったことはない。金融資産がフォーベアランス（条件緩和）措置の対象となり、引き続き貸借対照表に計上される場合、フォーベアランス（条件緩和）措置）が認められた際の評価結果に基づき、当該金融資産はステージ2又はステージ3に分類される。この評価には、信用損失に対して引当金を積む必要があるか、又は（債権が）ステージ3に分類されることになるような他の状況があるかどうかの確認が含まれる。

キャッシュ・フローが著しく変化する方法で金融資産が条件変更される場合、条件変更された金融資産は貸借対照表から認識中止され、新たな債権に置き換えられる。このような場合、条件変更日は新債権の当初認識日となり、予想信用損失の計算及び当初認識以降信用リスクが著しく増大したかを評価する場合にはこの条件変更日が用いられる。

金利指標改革により実施された条件変更に関する会計処理の詳細については、セクション11「ヘッジ会計及び金利指標改革」を参照のこと。

11. ヘッジ会計及び金利指標改革

ハンデルスバンケンはIFRS第9号の移行規定に従い、IAS第39号に規定されているヘッジ会計規則を継続適用することを選択した。当行グループはヘッジ会計について、ヘッジ目的に応じた異なる方法を採用している。デリバティブ（主に金利スワップ及びクロスカレンシー金利スワップ）がヘッジ手段として用いられているが、さらに、在外営業活動体への純投資に関する為替リスクをヘッジする場合には、対象となる在外営業活動体の機能通貨による負債がヘッジ手段として用いられている。当行グループのヘッジ戦略の一つとして、ヘッジ手段の価値変動は、個別の構成要素に分割され複数のヘッジ関係に含まれることがある。したがって、単一、又は同じヘッジ手段が異なるリスクをヘッジすることができる。ヘッジ手段の分割は、ヘッジされるリスクを明確に特定することが可能なこと、その効果を信頼性をもって測定することが可能なこと、及びヘッジ手段の価値変動合計がいずれかのヘッジ関係に含まれている場合に限り行われる。

キャッシュフロー・ヘッジは変動金利による貸出金及び資金調達の金利変動によるキャッシュ・フローの変動に対するエクスポージャーを管理するために採用される。このタイプの貸出金及び資金調達の予想満期は、非常に短期である金利調整期間よりも、通常は長期となる。キャッシュフロー・ヘッジは、貸出金及び資金調達の将来キャッシュ・フローにおける為替リスクのヘッジにも用いられる。グループ内の貨幣性項目から生じる為替リスクも、連結の際に全額相殺消去されない為替エクスポージャーをもたらす場合には、キャッシュフロー・ヘッジの対象となる。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段であるデリバティブは公正価値で測定される。そのデリバティブの価値変動が効果的に、すなわちヘッジ対象の将来キャッシュ・フローと連動する場合、そのデリバティブの価値変動はその他包括利益の構成要素、及び資本のヘッジ準備金に計上される。そのデリバティブの価値変動のうち非有効部分は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了する場合、過去にその他包括利益に認識されていたヘッジ手段に係る累積利益又は損失はヘッジされたキャッシュ・フローの発生が見込まれる期間にわたって「金融取引による純損益」で償却される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了し、ヘッジされたキャッシュ・フローの発生が今後見込まれなくなった場合には、累積された価値変動はヘッジ準備金から「金融取引による純損益」へ振り替えられる。

公正価値ヘッジは、市場価格が変動することにより、損益に生ずる望ましくない影響から当行グループを保護するために使用される。公正価値ヘッジは個別資産及び負債並びに金融商品ポートフォリオで採用されている。公正価値ヘッジのヘッジ対象リスクは、固定金利による貸出金並びに借入にかかる金利及び為替リスク、また金利キャップが付された貸出金で構成されている。これらのヘッジ関係におけるヘッジ手段は、金利スワップ、クロスカレンシー金利スワップ及び金利オプションで構成される。公正価値ヘッジの場合、ヘッジ手段及びヘッジ対象リスクの両方が公正価値で認識され、価値の変動は損益計算書の「金融取引による純損益」に直接計上される。ポートフォリオ・ヘッジが適用される場合、ヘッジ対象項目の価値は、「一般顧客への貸出金」とは区別し別項目として貸借対照表に計上される。公正価値ヘッジが途中で中止された場合、ヘッジ対象に生じた価値変動計上額は満期までの期間にわたって「金融取引による純損益」で償却される。公正価値ヘッジが途中で中止され、ヘッジ対象が存在しなくなった場合、発生した価値変動は「金融取引による純損益」に直接戻し入れられる。途中で中止されたポートフォリオ・ヘッジに係る価値変動の累積額は、貸借対照表上「その他資産」に計上される。

海外ユニットにおける純投資ヘッジは、海外事業の為替レートの変動から当行グループを保護するために採用されている。クロスカレンシー金利スワップ及び外貨建借入金ヘッジ手段として用いられている。これらのヘッジにおけるヘッジ対象は直接投資の形式による純投資及び予見可能な将来に決済することが予定されていない海外事業に対する債権で構成されている。在外営業活動体における純投資をヘッジするために実施された外貨建借入金は、貸借対照表日の為替レートで当行グループ貸借対照表に計上される。このような借入金の為替差額の有効部分は「その他包括利益」の構成要素として計上され、かつ、資本の為替換算調整準備金に計

上される。海外事業に対する債権の為替リスクをヘッジするクロスカレンシー金利スワップの価値変動の有効部分は同様の方法で計上される。在外営業活動体における純投資ヘッジの非有効部分は損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

金利指標改革

金利指標改革に直接影響を受けるすべてのヘッジ関係について、特定のヘッジ会計要件の適用を免除する一時的な救済措置が設けられている。一時的な救済措置の目的は、金利指標改革から生じる不確実性のみを理由として有効なヘッジ関係が中止されることを防ぐことにある。ヘッジ関係への直接的な影響は、ヘッジ対象のリスク及び/又はヘッジ対象又はヘッジ商品の指標金利に基づくキャッシュ・フローの時期や金額に不確実性が生じる場合にのみ、存在する。指標金利に関する不確実性は、どの金利を代替金利とするか、個別の契約への影響の特定を含め、本改革が実施されるかどうかやその実施時期が決定されるまでの期間にわたって継続する。金利指標改革の直接の結果として金融資産及び金融負債の条件変更が行われる場合、この条件変更は実効金利の変動として認識される。従って、条件変更により生じる損益は一切認識されない。例外を適用するためには、条件変更が金利指標改革の直接的な結果であり、キャッシュ・フローを決定する新たな基礎が従前の基礎と経済的に同等でなければならない。さらに、金利指標改革のためだけにヘッジ関係を中止する必要がなくなるように、ヘッジ関係にある既存の指標金利を代替指標金利に置き換える場合には、ヘッジ会計の要件を一部免除することが認められている。詳細については、注記G22の「ヘッジ会計及び金利指標改革」を参照のこと。

12. リース

当行が貸手の場合

貸手はすべてのリースをファイナンス・リース又はオペレーティング・リースのいずれかに分類しなければならない。ファイナンス・リースは、リース資産の法的所有権に付随する実質的にすべてのリスク及び経済的価値を貸手から借手に移転するものである。他のリースはオペレーティング・リースに分類される。当行グループが貸手であるすべてのリースはファイナンス・リースに分類されている。この種類のリース契約は、契約当初の純投資相当額で貸借対照表に貸出金として計上される。受取リース料は継続的に利息収益又は元本の返済として認識される。

IFRS第9号に従い、ファイナンス・リースの正味リース投資未回収額は、償却原価で測定される金融資産と同様に減損テストの対象となる。

当行が借手の場合

リース契約の開始日に、借手はリース負債と使用权資産を認識する。リース負債は、当初は当行の追加借入利率で割り引かれた将来のリース料の現在価値で認識される。リース負債の評価に含まれるリース料は、主に固定リース料及び指数に連動した変動リース料で構成される。使用权資産は当初は取得原価で計上されるが、これはリース負債、前払リース料、当初直接コスト、及び将来の原状回復費用の見積額の当初評価額に相当する。リースの契約条件で要求されている場合にのみ、原状回復費用を取得原価に含める。

リース負債の事後測定において、帳簿価額は利息によって増加し、支払われたリース料によって減少する。さらにリース負債は、リース契約の見直し又は変更により増減する可能性がある。使用权資産の事後測定において、使用权資産は、リース負債の再測定を考慮に入れ、減価償却累計額及び減損損失累計額控除後の取得原価で測定される。使用权資産は、リース期間にわたって減価償却され、IAS第36号「資産の減損」に従い、減損テストが実施される。15の減損テストに関するセクションを参照のこと。

使用権資産は、貸借対照表項目の「不動産及び器具備品」に含まれるが、リース負債は貸借対照表項目の「その他負債」に含まれる。

リース期間が12カ月以内又は原資産の価値が低いリース契約は、リース期間にわたって定額法により費用として計上されるため、リース負債や使用権資産には含まれない。

13. 保険事業

当行グループの保険事業は、子会社のハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツを通して運営されている。ハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツの商品は、主に従来型生命保険の形式による法定生命保険、ユニットリンク保険並びに健康保険及び保険料払込免除特約の形式によるリスク保険で構成される。

保険契約の分類及びアンバンドリング

重要な保険リスクを含む契約は、連結財務諸表において保険契約として分類される。保険リスクとは、金融リスク以外で、契約の保有者から発行者に移転されるリスクをいう。重要な保険リスクを移転しない契約は、全体を投資契約に分類する。通常、払戻保証が付された保険契約が投資契約に分類され、それ以外の契約は保険契約に分類される。保険要素と貯蓄（金融要素）の両方で構成される保険契約は、以下に記述する原則に従ってアンバンドリングされ、個別に認識される。

保険契約における保険要素の会計処理

保険契約に関する保険料収入及び支払保険金は損益計算書の「保険リスク」の項目に純額で計上される。当行グループの保険負債における変動もまたこの項目に計上される。

収入としてまだ認識されていない受取保険料は、払込済保険料として貸借対照表の保険負債に計上される。貸借対照表の保険負債項目には、疾病年金、終身年金、及びその他の未払保険負債も含まれている。保険負債は保険契約に関する予想将来キャッシュ・フローを割り引くことで評価される。評価は金利、死亡率、疾病率及び将来の費用に関する仮定に基づく。死亡率に関する仮定は契約時期によって様々であり、また予想される将来の余命の延びを考慮している。手数料に関する仮定もまた契約時期による。基本的に、これは保険料に比例し、一部の手数料は保険契約準備金に比例する。受益者の将来の健康状態に関して採用される仮定は内部で蓄積された経験に基づいており、商品に応じて様々である。金利の仮定は負債期間に応じた現行の市場金利に基づいている。将来の予想保険金をカバーする保険負債の報告値が十分であることを確認するため、当行グループは、少なくとも年次で保険負債の定期レビューを実施している。必要な場合には準備金が追加され、差額は損益計算書に計上される。

投資契約及び保険契約の金融要素の会計処理

投資契約における顧客の貯蓄元本及び保険契約の金融要素に関する払込及び払戻は、預り金及び引出金として貸借対照表に直接計上される。

保険契約から分離される従来型生命保険契約の金融要素は、貸借対照表に一般顧客からの借入金として認識される。これらの負債は保証額と保険契約の現在価値のいずれか高い方で評価される。保証額は保証金利による利息額だけ増加するが、これは保険契約の償却原価に相当する。保険契約の現在価値は保険契約者に代わって運用する資産価値と同一であり、その資産の総利回り（利回り分割分を控除する）に基づく利息を稼得する。利回り分割は、暦年中に総利回りが保証金利を超過する場合に、総利回りのうちの契約で定める部分が保険会社に配賦されることを意味する。この算定は年次で実施され、契約毎に累積する。これは、各年度の利回りが保証金利を下回る年度において条件付き配当が減少することを意味し、保証金利を上回る年度においては条件付き配当が増加することを意味する。利回り分割モデルにおいて当行グループの稼得分は「手数料及びコ

ミッション収益」に計上される。利回りが契約上の保証金利を下回る場合は、差異部分を損益計算書の「金融取引による純損益」に計上する。

ユニットリンク保険契約の資産及び負債は、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産／負債」に公正価値でそれぞれ計上される。

投資契約及び保険契約の保険手数料及び資産関連手数料並びに管理費用は、「手数料及びコミッション収益」として損益計算書に計上される。取得費用は損益計算書に直接計上される。

再保険

当行グループの保険負債の再保険者負担部分は、貸借対照表の「再保険資産」として計上される。

14. 無形資産

貸借対照表における認識

無形資産は、物理的実体のない識別可能な非貨幣性資産である。無形資産はその資産に起因する経済的便益が当行グループに流入する可能性が高く、その取得原価を信頼性をもって測定できる場合に限り貸借対照表に計上される。これは、自己創設されたのれん、商標、顧客データベース及びこれに類似するものの価値は資産として貸借対照表に認識されないことを意味する。

自社で開発するソフトウェアへの投資のうち、既存の事業運営又はソフトウェアの維持費用の範囲とされるものについては発生基準で費用計上している。契約期間にわたってサプライヤーのアプリケーション、プラットフォーム又はインフラの利用を伴うクラウド・サービスを当行に提供するサプライヤーとの契約はサービス契約となる。クラウド・サービスの料金は、契約期間にわたり継続的に費用に計上される。事前に支払われた料金は、資産、すなわち前払費用として認識される。クラウド・サービスの環境設定や環境構築に係る料金は、業者が該当するサービスを提供した際に費用計上される。環境設定や環境構築がクラウド・サービスの不可欠な部分であり、クラウド・サービスのサプライヤー又は当該サプライヤーの委託先がこれらを実施する場合、料金は契約期間にわたり、継続的に費用計上される。事前に支払われた料金は、前払費用として認識される。新規ソフトウェアの自社開発、又は新規事業のための既存ソフトウェアの開発の場合、信頼性をもって測定可能な費用の発生は、経済的便益の発生可能性が高くなった時点から資産計上する。借入費用は、無形資産の開発費用の資産計上を決定した日から資産計上される。

企業結合の会計処理に際し、取得価格は取得事業において取得した識別可能資産、負債、及び偶発債務の価値に配分される。これらの資産には、個別に取得した場合、又は自己創設された場合には貸借対照表に計上されない無形資産も含まれることがある。企業結合において識別可能資産及び負債に配分が出来ない取得価格はのれんとして認識される。

のれん及び耐用年数を確定できない無形資産

のれん及びその他の耐用年数を確定できない無形資産は、減損損失控除後の取得原価で計上される。これらの資産は年次報告書作成時に年次で、又は資産に減損の兆候がある場合にはその都度、減損テストが実施される。減損テストは、その資産の回収可能価額（すなわち、使用価値と売却費用控除後の公正価値のいずれが高い方）を算定することにより実施される。回収可能価額が帳簿価額を超過する限り減損損失を認識する必要はない。減損損失は損益計算書に直接計上される。

のれんから発生するキャッシュ・フローと、その他の資産から発生するキャッシュ・フローを区別することが不可能なため、のれんの減損テストは資金生成単位レベルで行われる。資金生成単位とは、他の資産又は資産グループからのキャッシュ・インフローとはおおむね独立したキャッシュ・インフローを生成させるものとして識別される資産グループの最小単位である。のれんについては、事業セグメント単位で把握されている。

のれんの減損テストにおける重要な評価及び仮定は、注記G24に記載されている。過去に認識されたのれんの減損は戻入れない。

確定可能な耐用年数を有する無形資産

見積耐用年数の設定が可能な無形資産は償却され、その資産の耐用年数にわたって定額法で償却される。すなわち、現行では、顧客契約は20年間にわたって償却されており、内部開発ソフトウェアは通常5年間にわたって償却されている。特定のインフラ整備プロジェクトでは、その耐用年数は5年超と評価される。こうした種類の投資の償却期間は最長で15年である。償却の対象となる商標は、5年間にわたって償却されている。償却期間は新規取得時において個別に検証されるが、耐用年数が変化した可能性があることを示す兆候がある場合にも継続的に検証が行われる。確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産の減損が示唆される場合に減損について検証が行われる。減損テストは耐用年数を確定できない無形資産と同様の原則、すなわち資産の回収可能価額を算定することにより実施される。

15. 不動産及び器具備品

当行グループの有形固定資産は不動産及び器具備品で構成される。債権の保全のために担保権が実行された資産を除き、これらの資産は減価償却累計額及び減損損失控除後の取得原価で計上される。

減価償却は通常、資産の見積耐用年数に基づく定額法が適用されている。見積耐用年数は年次でテストされる。見積耐用年数が異なる構成要素から成る有形資産は、償却方法の異なる区分に分割され、別個に償却される。そのような構成要素の償却は通常、不動産への適用に限定される。その資産の構成要素の取得原価が、不動産の取得原価合計に対して重要である場合に限り、分割して償却される。当該不動産の残余部分（建造物）はその全体を予想耐用年数で償却する。現行では、建造物の耐用年数は100年、排水設備は35年、屋根は30年、間口、暖房、換気及び配電設備は25年、エレベーターは20年、建物の恒久的設備、サービス施設は10年である。パーソナル・コンピューター及びその他のIT機器は通常3年間にわたり償却される。また、銀行の金庫室及び類似する建物附属設備への投資は10年間にわたり償却される。その他の機器は通常5年間で償却される。

不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。減損損失は回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に認識される。減損損失は損益計算書に直ちに計上される。減損損失は、減損損失がもはや存在せず、前提となる見積回収可能額の仮定に変化があったことが示される場合に戻入れられる。

16. 引当金

引当金は、当行グループから認識済みの資源が流出することが予想されるものの、その時期又は金額が不確実なもので構成されている。引当金は、過去の事象の結果として当行グループが法的又は推定的債務を有しており、その債務を決済するために資源の流出を要する可能性が高い場合に報告される。認識にあたり、その金額を信頼性をもって見積もることが可能でなければならない。引当金として認識された金額は、貸借対照表日においてその債務を決済するために必要な支出の最善の見積りに相当するものである。見積りにおいては予想される決済日も考慮されている。

リストラクチャリングについて引当金が計上される。リストラクチャリングとは、例えば従業員が早期退職に関する解雇給付を受ける場合や支店が閉鎖される場合等、主要な組織改革を示す。引当金を計上するには、企業が当該リストラクチャリングを実施するためにリストラクチャリング計画を設定し、影響を受ける人々が予測できるように伝達しておく必要がある。リストラクチャリング引当金に含まれるものは、リストラクチャリングから発生する直接費用で、将来の業務に関連しないものに限定される。

17. 資本

資本には、下記の構成要素が含まれている。

資本剰余金

資本剰余金は発行済転換可能負債性金融商品のオプション部分並びに株式発行及び転換可能負債性金融商品の転換において調整額面金額を超過する金額が含まれている。

ヘッジ準備金

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段で構成されるデリバティブ商品の未実現の価値変動はヘッジ準備金に含まれている。

公正価値評価差額準備金

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された金融資産の未実現価値変動は、公正価値評価差額準備金に計上される。さらに、公正価値評価差額準備金は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された負債性金融商品の予想信用損失引当金を含む。これらの負債性金融商品の実現価値変動は、公正価値評価差額準備金から損益計算書に振り替えられる。その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品の実現価値変動は、公正価値評価差額準備金から利益剰余金に振り替えられる。

為替換算調整準備金

為替換算調整準備金は海外ユニットの業績を連結財務諸表の通貨に換算することによって生じた未実現の外貨換算による影響で構成される。さらに在外営業活動体への純投資に関するヘッジの有効部分は、為替換算調整準備金に計上される。

確定給付年金制度

確定給付年金制度の項目は、年金債務の数理計算上の差異に加え、割引率を適用して算定された収益を上回る又は下回る制度資産に係る運用収益より構成されている。

当期利益を含む利益剰余金

利益剰余金には当期及び過年度の利益が含まれている。配当及び自己株式の再取得は「利益剰余金」の控除として計上される。

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品に起因する実現損益は、公正価値評価差額準備金から利益剰余金に振り替えられる。

非支配株主持分

非支配株主持分は、当行グループの純資産のうち、親会社の普通株式保有者に直接又は間接的に所有されていない部分で構成される。非支配株主持分は、資本における個別の構成要素として計上される。

自己株式の会計処理

買戻した自己株式は資産として認識されず、資本の「利益剰余金」と相殺される。

18. 収益

純利息収益

利息収益及び利息費用は、損益計算書の「純利息収益」に計上される。但し、トレーディング勘定の取引活動全般が認識される「金融取引による純損益」に認識されるような、純損益を通じて公正価値で測定することが強制される金融商品から生じる利息を除く。

償却原価で測定される金融商品に係る利息収益及び利息費用は、実効金利法又は適切であると認められた場合は、実効金利法に基づく計算の合理的な見積りとなる方法を用いて算定され計上される。実効金利は、金融商品の実効金利に不可欠な部分とみなされる手数料（一般的に、リスクの対価として受領する手数料）を含む。実効金利は、契約上の将来キャッシュ・フローを金融資産又は金融負債の帳簿価額まで割り引く際に用いられる利率に相当する。

純利息収益にはまた、ヘッジ対象の金利が「純利息収益」に計上される、ヘッジ会計を通じて認識されるデリバティブ商品からの利息及び経済ヘッジのデリバティブからの利息も含まれる。

利息収益及び利息費用に加えて、純利息収益には預金保証及び安定手数料といった政府保証料が含まれる。

顧客との契約から生じる収益

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」は、主に損益計算書の「手数料及びコミッション収益」に計上される、異なる種類のサービスに適用される。IFRS第15号は「その他収益」の項目に含まれる特定のサービスにも適用される。しかし、「その他収益」はすべての重要な点からみて、顧客との契約から生じる収益を指すことはない。

収益は、サービスに対する支配が顧客に移転された時点となる、履行義務が充足される一時点で認識される。収益合計は各サービス間で配分され、収益内での認識はサービスが特定の時点で履行されたか、特定期間にわたって履行されたかで異なる。

収益認識のタイミングには以下の原則が用いられる。

- ・ 例えば資産運用における管理報酬など、サービスを履行する都度、段階的に稼得した収益は、これらのサービスが提供されるレートで、すなわち期間全体において定額法で損益計算書に計上される。これは、顧客がサービスを受けると同時に消費するという事実によるもので、当行がサービスを提供すると同時に当行のサービス履行義務も充足されていることを意味している。
- ・ 特定のサービス又は活動に起因する収益は、サービスが履行された際、すなわち、特定の時点で認識される。こうした収益の例としては仲介料及び支払コミッションがある。

認識される収益は予想される収益を反映したものでなければならない。収益が払戻、ボーナス又は業績連動型の要素などの可変的な還付を含む場合、収益は金額の払戻が発生する可能性がほとんどない場合に限り認識される。

支払はサービスが履行されるに伴い定期的に行われ、前払は最長12カ月後までの将来の支払をいう。履行されたものの、まだ支払われていないサービスに対しては、未収収益が計上される。まだ履行されていないサービスに対する支払に対しては繰延収益が認識される。顧客との契約から生じる収益は、「未収収益」及び「繰延収益」の項目のうちの、重要性がない部分である。顧客との契約を獲得する上で必要とされる追加費用は資産（前払費用）としては計上されず、当該費用が生じた会計期間の費用として計上される。

純手数料及びコミッション収益

様々な種類のサービスからの収益及び費用は、損益計算書の「手数料及びコミッション収益」並びに「手数料及びコミッション費用」にそれぞれ計上される。これは仲介収益及び様々な種類の管理手数料がコミッションとして認識されることを意味する。コミッションとして認識されるその他の形式の収益は、受取コミッショ

ン及びカード手数料、金融保証の発行に対するプレミアム、並びに保険事業からのコミッションである。保険事業における正の利回り分割分もまた、コミッションとして認識される。利息に相当する保証コミッション、及び複合金融商品の一部に対する手数料として実効金利の計算に含まれるものは、コミッションではなく「純利息収益」として認識される。「手数料及びコミッション費用」は取引ベースであり、収益が「手数料及びコミッション収益」として計上される取引に直接関連する。

その他収益

「その他収益」の項目は主に、賃料収入のほか、子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する参加持分の処分により発生するキャピタルゲイン/ロスで構成される。したがって、「その他収益」の項目はすべての重要な点からみて、顧客との契約から生じる収益を指すことはない。

金融取引による純損益

金融取引による純損益には、金融資産及び金融負債を純損益を通じて公正価値で測定する際や金融資産及び金融負債が処分又は決済された際（その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品を除く）に発生する、損益に影響するすべての項目が含まれる。

- ・ 償却原価で計上される金融商品に係る損益は、期限前償還される貸出金の早期償還手数料や当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスなど、償却原価で測定されるものとして分類される金融資産及び負債に係る実現損益から構成される。
- ・ その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された利付証券の実現損益から構成される。実現損益は、処分/売却に伴いその他包括利益から「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。この項目には、これらの資産に関する信用損失（予想損失及び実損失）も含まれる。
- ・ 公正価値オプションの利用を選択した純損益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定されるものとして分類された金融資産及び負債の実現及び未実現価値変動から構成される。
- ・ 純損益を通じて公正価値で測定されることが強制される金融商品に係る損益は、トレーディング目的保有、又は公正価値で管理・評価される金融資産及び金融負債に係る実現及び未実現価値変動、配当収益及び利息（ヘッジ対象の金利が「純利息収益」で計上されるデリバティブから生じた利息を除く）から構成される。
- ・ 公正価値ヘッジは、ヘッジ手段及び、公正価値ヘッジのヘッジ対象となる金融資産・負債のヘッジ対象リスク要素の実現・未実現の価値変動から構成される。キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分は、ヘッジ対象に起因する将来キャッシュ・フローとは対応しないヘッジ手段の価値変動部分から成る。
- ・ 保険契約の金融要素に係る損益は、リターンが保証金利を下回る場合に生じた損益から構成される。

配当金

その他包括利益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、「その他配当金収益」として損益計算書に計上される。純損益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。関連会社及びジョイント・ベンチャーの株式の配当金は損益計算書の配当金項目に含まれない。関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益の認識についてはセクション4に記載されている。

19. 従業員給付

人件費

人件費には給与、年金費用及び社会保障費、年金費用にかかる特別給与税を含むその他の形式の直接人件費、並びに給与関連のその他の形式の間接費が含まれている。解雇に関連する給付は、合意に達した時に負債として認識され、残存雇用期間にわたって償却される。

退職給付会計

退職後給付は、確定拠出制度及び確定給付制度で構成されている。当行グループが別の事業体に固定額の保険料を支払うことで、その後に法的及び推定的に支払義務を負わない給付制度は確定拠出制度として会計処理される。資金が支払われるまでの間の価値変動リスクは従業員が負うことになる。確定拠出制度に支払われる保険料は、従業員が会社に役務を提供し、その役務に対する報酬が支払われることによって発生した人件費として損益計算書に計上される。

その他の退職後給付制度は、確定給付制度として会計処理される。確定給付制度の未払給付金は、給与及び雇用期間に基づいており、雇用主が年金債務の履行に係るすべての重要なリスクを負担することを意味する。確定給付制度については、年金債務の現在価値が年金負債として認識されている。確定給付制度の大部分について、当行グループは支払債務に充当する目的で年金基金及び年金ファンドに制度資産を積み立てている。確定給付制度の貸借対照表上の純負債は、年金債務から制度資産の公正価値を控除した金額である。その他の包括利益には、実際の結果と仮定との差から生じた確定給付債務の数理計算上の損益のほか、制度資産の実際の収益と制度資産の期待収益との差が計上されている。

確定給付制度の年金費用は、損益計算書の「人件費」に計上され、以下の項目により構成されている。

- + 当年度に発生した年金の権利費用。計算された年金額の最終合計のうちの当期部分。未払年金権利の計算は、見積最終給与に基づいており、年金数理計算上の仮定の対象となっている。
- + 支給までの期間が減少し、年金負債の現在価値が当期において増加したことにより発生した年金債務に係る当期利息費用。当期の利息費用の計算に適用される金利は、年金債務の支払までの残存期間に相当する満期を有する社債の最新の金利（年度当初の金利）である。
- 制度資産の見積利息収益（利回り）。年金債務に係る当期の利息費用を算定と同じ金利が適用される。
- + 見積特別給与税は、該当する年金費用と同じ原則で未払い計上される。

当行グループの確定給付制度の費用及び債務の算定は、報告値に重要な影響を及ぼす可能性のあるいくつかの評価及び仮定に左右される。これらの仮定及び評価の詳細な記述はセクション21及び注記G8に示されている。

20. 税金

当期の税金費用は当期税金及び繰延税金で構成される。当期税金は当期又は過去の期間の課税所得に関する税金を示す。繰延税金は資産又は負債の帳簿価額とその税務上の価額との間の一時差異に関する税金である。繰延税金はその項目が実現する時に適用するとみなされる税率で評価される。将来減算一時差異及び繰越欠損金にかかる繰延税金資産は、これらが利用される可能性が高い場合に限り認識されるが、繰延税金負債は計算額で計上される。税金費用は関連する取引が報告される項目により損益計算書のその他包括利益又は直接資本のいずれかに計上される。

21. 見積り及び重要な評価

一部のケースにおいては、報告値に重要な影響を及ぼす当行グループの会計方針の適用について評価を必要とされる。計上値はまた、多くのケースにおいて将来に関する見積り及び仮定の影響を受ける。このような仮

定には、資産及び負債の計上額が調整されるリスクが常に含まれている。適用される評価及び仮定は常に経営陣の最善及び最良の評価を反映し、継続的に検査及び検証の対象となる。

財務諸表に重要な影響を及ぼした評価及び仮定については下記に記載されている。

以下の領域に関する見積り及び重要な評価は、関連する注記にも記載されている。

- ・公正価値で測定される金融商品については注記G41「金融商品の公正価値測定」を参照のこと。
- ・のれんの減損テストについては注記G24「無形資産」を参照のこと。
- ・民事訴訟については注記G35「引当金」を参照のこと。

年次報告書の作成に際し、新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の潜在的な影響の問題を取り巻く不確実性ゆえに一部で重要な評価を行った。具体的には、のれん、一般顧客への貸付金及び金融機関への貸付金の減損テストである。他の範囲については、新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) による影響はないと評価された。当行の継続企業の前提に影響を及ぼす新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の影響もないと評価された。上記の詳細については、注記G2、G10及びG24を参照のこと。

確定給付制度の年金数理計算

当行グループの費用及び確定給付債務の計算は、認識額に重要な影響を及ぼすいくつかの数理的、統計的及び財務的な仮定に基づいている。注記G8には当期の債務の計算に使用された仮定のリストが含まれている。スウェーデン従業員の確定給付年金債務の計算は、市場で一般的に認められた死亡率の仮定であるDUS14に基づいている。DUS14はスウェーデン保険連盟により作成された統計に基づく仮定である。将来の昇給率及びインフレーションの仮定は長期予測トレンドに基づいている。

割引率は、満期が異なる多数の優良社債に基づいている。年金債務の見積平均残存期間に相当する満期を有する社債は20年間とされ、割引率は市場金利に基づいて決定される。年金債務の見積平均残存期間に相当する満期を有する優良社債が稀であることから、当行は補完的に割引率を決定する方法として満期がより短い優良社債を用いている。ここではイールド・カーブに基づく割引率が設定されている。イールド・カーブは、スウェーデン・クローネのスワップ・カーブに対するスプレッドとして構築されている。自社発行のものを除く社債に基づいた当該スプレッドは、スワップ・カーブに反映される。このようにして、イールド・カーブはモデル化されており、20年の利回りはこのモデルから導き出すことができる。

注記G8では、当行グループの確定給付年金債務のすべての主要な数理計算上の仮定に対する感応度分析を提供している。この分析は、これらの仮定に合理的に実現可能な変化によって年金債務がどのような影響を受けるかを示している。

信用損失

予想信用損失の算定は、多くの仮定と評価を伴う。予想信用損失の評価には、本質的にある程度不確実性が伴っている。高度な仮定と評価を伴う領域は、以下の個々の項目で記述している。

マクロ経済シナリオにおける将来予測的な情報

当行は特に自国市場に重点を置いたマクロ経済上の動向を継続的にモニターしている。こうしたモニタリングにより、当行はモデルベースの予想信用損失の算定に用いる将来予測的な情報の基礎となる、マクロ経済シナリオを策定している。契約上の支払を履行する当行顧客の能力は、マクロ経済上の動向に合わせて変動する。それゆえ、将来のマクロ経済上の動向は、当行が予想信用損失をカバーする上で必要な引当金の見通しに影響を及ぼす。予想信用損失の引当必要額の算定は、当行のマクロ経済調査部門による基本 (中立) シナリオに基づいている。損失は将来の経済動向の好転よりも悪化から受ける可能性がある影響のほうが大きい。この

ため、当行は少なくとも二つの代替的なシナリオを用いて、予想信用損失の非線形的な側面を考慮している。これらの代替的なシナリオは、一つは基本（中立）シナリオを大幅に下回るシナリオ、もう一つは大幅に上回るシナリオによる、二つの考え得る動向を表したものである。最も重要なマクロ経済上のリスク要因は、経験に基づく評価を加味した過去10年間にわたる当行の損失実績に基づいて選択されている。その後これらのマクロ経済上のリスク要因が、遷移、デフォルト、損失率及びエクスポージャーを予測する当行の定量的な統計モデルのマクロ経済上のリスク要因として用いられる。マクロ経済上のリスク要因には、失業率、主要行又は中央銀行金利、国内総生産（GDP）、インフレ率及び不動産価格が含まれる。返済能力が高い顧客向けに信用供与するという当行の事業モデルは、マクロ経済上の動向と引当必要額との関連性が必ずしも特に強いわけではないことを意味している。マクロ経済情報の詳細な内容については注記G2の「信用リスク」のセクションを、感応度分析については注記G10を参照のこと。

信用リスクの著しい増大

当行は当初認識以降、信用リスクの著しい増大があったかどうかについて、各報告期間末に債権単位での評価を行っている。信用リスクの著しい増大に関する詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。

モデルベースの算定

ステージ1及びステージ2債権の予想信用損失の算定の基礎となる定量モデルは、いくつかの仮定と評価を用いている。過去データのマクロ経済上のリスク要因とリスク・パラメーターの間の計量可能な関係が、将来の事象を表していることが一つの重要な前提である。用いられる定量モデルは、約10年間の過去データに基づいているが、過去の結果の入手可能性に一貫性がないことにより、この過去データの内容も商品や地域によりさまざまである。観測値はリスク要因によって独立して条件付けられるという仮定を適用し、定量モデルは経済モデルを利用して構築されている。これは、歪曲されずにリスク・パラメーターの予測が可能であることを意味している。さらに、マクロ経済上のリスク要因は個々のリスク・パラメーターを実証し得るという根拠に基づいて、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済上のリスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、実証能力及び安定性の間でバランスを取り決定される。

マニュアル及びエキスパートベースの算定

原則として、ステージ3の同種の債権からなる少額のポートフォリオを除き、ステージ3債権にはマニュアルの算定が用いられる。マニュアルで評価されるステージ3債権と同様に、モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響を織り込むため、ステージ1及びステージ2債権に対するモデル評価結果にもエキスパートベースの算定が行われる。マニュアル及びエキスパートベースの算定に関する詳細な説明は、上記10の「マニュアルの算定」及び「エキスパートベースの算定」を参照のこと。

22. 会社情報

ハンデルスバンケンの年次報告書及び連結財務諸表は、2022年2月9日に取締役会及び当行グループ最高経営責任者により発行が承認され、2022年3月23日の年次株主総会（AGM）で採択のため提示される予定である。親会社であるハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの登録事務所の所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70ストックホルム クングストラッドゴードシュガータン 2である。ハンデルスバンケンは、スウェーデン、英国、ノルウェー及びオランダを拠点市場とし、金融サービス及び金融商品を提供している金融機関である。業務については業務報告書に詳細を記述している。

[次へ](#)

注記G2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケンのリスク許容度が低いことは、当行が事業を行ううえでの中心的な要素である。このリスク許容度が低いことが、分散化された事業モデル、安定した財務、サステナビリティ上の問題に対する説明責任に加え、ハンデルスバンケンが顧客との長期的な関係を築くための基礎となっている。過去数十年間にわたり、ハンデルスバンケンの信用損失実績率は、他の北欧銀行の平均よりも非常に低い水準にあった。当行は、損失に結び付く与信案件を無くすことを常に目標として定めている。このアプローチは、支店の与信業務及び与信ポートフォリオの取扱いに影響力を与えている。

潤沢な流動性準備金を維持し、資金繰りを調整することによって、当行は長期にわたり流動性リスクを制限することに取り組んできた。流動性リスクを制限することはまた、当行のリスク許容度が低水準であることによる当然の結果でもある。

また、ハンデルスバンケンの市場リスクもきわめて低い。

本注記の情報には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更され、非継続事業となった処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

リスク許容度

ハンデルスバンケンのリスク許容度は低い。当行は、返済能力が高く財政状態が健全な顧客と長期的な関係を築くことに焦点を置いている。与信取引高の向上、料金の引上げ又は市場シェアの拡大を達成するために質的要件は必ず検討しなければならない。

貸付業務固有の性質により信用リスクが生じる。市場リスク及び流動性リスクの許容度は低い。また市場リスクは当行の資金調達及び流動性管理に関連した顧客事業の一環として、及びマーケット・メーカーとしての役割においてのみ生じる。市場リスクは年金制度においても発生する。

市場リスクに関する当行の許容度が低いことにより、当行の収益のうち、金融取引による純損益の占める割合は比較的低くなっている。資金調達及び流動性管理はすべてグループ・トレジャリー部で集中管理されている。流動性リスクは、キャッシュ・フローのマッチング及び高品質な流動性準備金の十分な確保に関する要件によって抑えられている。

オペレーショナル・リスク及びコンプライアンス・リスクに対する許容度も低い。当行は、可能な限りこれらリスクの防止及びこの領域における損失削減に努めている。

サステナビリティ・リスクは、ハンデルスバンケンの低いリスク許容度に沿って、また、サステナビリティ・リスクがリスク評価の不可欠な部分となっているリスク区分の枠組みの中で管理されている。サステナビリティ・リスクの詳細については、当行のサステナビリティ・レポートを参照のこと。

リスク戦略

当行の業務は様々なリスクを伴うが、グループ全体で組織的にリスクの特定、測定、管理及び報告が行われている。ハンデルスバンケンのリスク制限アプローチによって、たとえ予想される取引時の経済価値が高額であったとしても、当行は高リスクの取引を慎重に回避することができる。

当行の低いリスク許容度は、厳格なリスク管理カルチャーを通じて維持されているが、それは、長期的に持続可能であり、かつ当行グループのすべての分野に適用されている。そのリスクカルチャーは、当行業務のあらゆる側面で不可欠な部分であり、当行の従業員に深く根付いているものである。当行は、事業活動において各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。結果として、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。但し、分散化された事業モデルは強力な中央管理と併用される。低いリスク許容度はまた、報酬の観点にも反映されている。報酬は基本的に固定とすることを原則としており、これはハンデルスバンケンの事業モデルの主な特徴である長期的な視点に貢献している。当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員は業績連動型変動報酬を受け取ることを認められていない。

貸付業務においては、緊密な顧客関係及び現地の知識を活用して信用リスクを低水準に抑えることができおり、現地で積極的な関与を行っている。さらに、当行グループは、金融市場において資金調達が可能となるような財務上のストレス下における状況を含めた事業リスクに対して十分な資本を常に準備し、支払期限到来時の支払義務の履行がいつでも可能となるように流動資産を保有しておく必要がある。このように、ハンデルスバンケンは景気動向の影響を受けない事業モデルを目指している。

また、このリスク制限アプローチにより、当行は、景気動向及び市況にかかわらず、顧客にとって安定的かつ長期的なビジネス・パートナーになることができる。このアプローチによって、リスク管理が健全なものとなると同時に、事業及び当行が事業を行っている市場が逼迫した場合でも、高水準のサービスを維持することができる。当行のリスクに対するアプローチと同じ原則が、当行が事業を行っているすべての国に適用されている。

強固なリスク管理

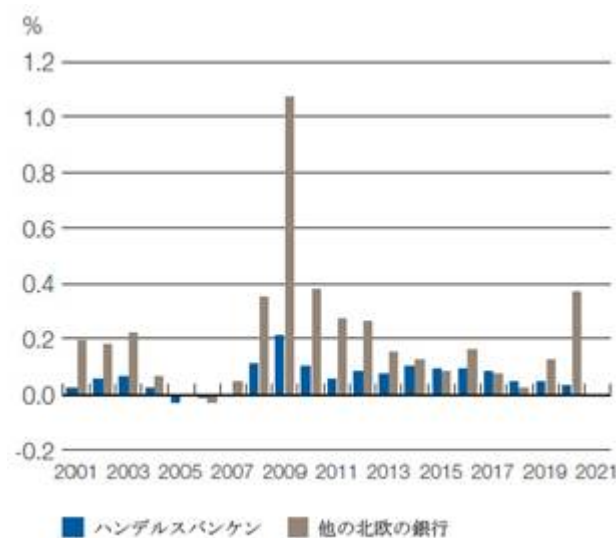
ハンデルスバンケンの資本及び流動性の状況は良好である。当行は、短期及び長期の資金調達プログラムを通じて、引き続き金融市場へのアクセスを保持している。当行は高品質な流動性準備金を潤沢に有しており、金融市場の混乱の可能性に対して高いレベルの予防策が提供されている。当行の流動性準備金の一部であるグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオは低リスクであり、主として中央銀行預け金、国債及びカバード・ボンドより構成されている。さらに、スタッドフィポテックの発行済カバード・ボンドの未使用額が十分にあり、流動性準備金は当行のすべての主要通貨について維持されている。流動性準備金の合計額は、当行が市場から新規に資金を調達することがまったくできないというストレス・シナリオにおいても3年超、当行の流動性要件をカバーできる水準である。また、外国為替市場がクローズするような極端な状況においても、かなりの期間にわたって業務を維持することができる。

当行の資本状況は引き続き堅固である。当年度の収益が安定し、信用損失が少ないことによるものである。

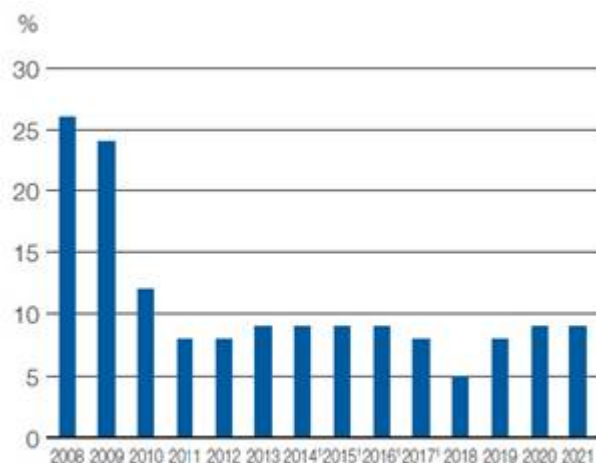
ハンデルスバンケンの低いリスク許容度、良好な資本状況及び揺るぎない流動性状況によって、当行は事業体制を十分に整えることができ、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの初期段階に生じたリスクに対応することが可能となった。ローンコミットメントの利用の増加と全般的な資金需要により、流動性はネットベースで資金流出となったものの、新型コロナウイルス感染症危機の間の流動性状況は良好であった。2020年第2四半期後、この状況は正常に戻り、潤沢な準備金により困難な市況を乗り切ることが可能になっている。当行はパンデミックを受けて流動性ストレス・テストを見直し、この期間に得た知見に基づいていくつかの仮定を調整した。新型コロナウイルス感染症のパンデミックの期間における信用損失は極めて少なく、信用にも流

動性状況にも影響を与えていない。新型コロナウイルス感染症のパンデミックの拡大以降、状況が再度悪化した場合にも初期段階で対応ができるよう、当行は特別なストレス・テストを実施し、様々な指標を注意深くモニターし、市況の最新情報を入手している。パンデミックの期間にリモートによる就業が増加したにもかかわらず、セキュリティの更新を含むITの更新やセキュリティの監視は、以前と同様に高度な水準で継続している。

図AR:1 貸付における信用損失の割合 2001 - 2021年



図AR:2 金融取引による純損益の利益に対する割合 2008年 - 2021年



出典：年次報告書

※非経常項目を除く

図AR:3 ハンデルスバンケンのリスク

説明

信用リスク	信用リスクとは、当行の取引相手が契約上の義務を履行できなくなることにより当行が経済的損失に直面するリスクである。 信用リスクにはカウンターパーティ・リスク、すなわち、取引相手先が取引に伴うキャッシュ・フローの最終決済前に債務不履行に陥るリスクが含まれる。
市場リスク	市場リスクは、金融市場の価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。
流動性リスク	流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払い義務を履行することができないリスクである。
オペレーショナル・リスク	オペレーショナル・リスクとは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的なミス、システムエラー、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、IT及び情報セキュリティ・リスク（ICTリスク）に加え、法務リスクも含まれている。
コンプライアンス・リスク	コンプライアンス・リスクとは、不適切な規制遵守に関連したリスクをいう。この場合、コンプライアンスとは、許認可対象となるすべての業務に関連する一般的な実務や基準をはじめ、法令、指令、所轄官庁による勧告、内部規則を遵守することである。
報酬リスク	報酬リスクとは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害によるリスクである。
保険リスク	保険リスクとは、被保険者の余命又は健康状態によって変動する保険の結果のリスクである。
サステナビリティ・リスク	サステナビリティ・リスクは、当行が環境、気候、社会情勢、コーポレート・ガバナンスに関連するリスクについて、当該分野の方針、ガイドライン、前提条件に従って特定・管理できないことにより、最終的に当行に財政上のマイナスの影響をもたらす、又は当行の評判を損ねる可能性があるリスクをいう。

リスク体制

ハンデルスバンケンの取締役会は当行のリスク管理に対する全般的な責任を有し、これに関する内部規則を策定している。取締役会は方針文書を定め、最高経営責任者はさまざまなリスクの管理及び報告手法を明記したガイドラインを策定している。当行の統制のフレームワークの詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の74-91ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2021年の年次報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。

取締役会は、最高経営責任者及びチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）のほか取締役会メンバー数名から構成され、特定の信用事案の決裁を行う与信委員会に加え、取締役会会長、最高経営責任者のほか一部の取締役会メンバー及び経営幹部数名から構成され、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの業務に関して、組織立った継続的なフォローアップを円滑に進めるための英国委員会を設立している。

取締役会は、取締役会の決定事項に対応するリスク委員会、監査委員会及び報酬委員会も設立している。リスク委員会は、IRB手法に紐づけられた当行のリスク分類と推計プロセスの重要な部分に関する決定など、独自の決定も行っている。リスク委員会、監査委員会及び報酬委員会のメンバーは全員が取締役である。さらに、最高経営責任者はリスク・フォーラムを設立し、当行グループの最も重要なリスクを明らかにし、それに対する意見を求めることで、これらのリスクを効果的に管理するよう確実にしている。リスク・フォーラムは、最高経営責任者が事案を取締役会又はリスク委員会と話し合う場でもある。これらの委員会とリスク・フォーラムの業務についての詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の74ページから91ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2021年の年次報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。当行は最高経営責任者に対する助言を行う立場として、リスク委員会、流動性委員会、資本委員会及び評価委員会という内部委員会を擁している。

リスクと資本の状況に関する報告と監視

2021年度には、最高リスク責任者は当行グループのリスクに関し、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に最低でも四半期ごとに報告を行っている。報告はリスク・フォーラムにおいても行われている。当行グループのリスク報告書には、当行のリスク許容度に関するフォローアップや、当行グループの重要なリスクに関する最高リスク責任者による評価と、報告と対応が必要な事業活動上の重大な不備の有無に関する評価が含まれている。当報告書には適宜、従前に報告されたリスクと不備に関する行動計画案とフォローアップも含まれる。当行グループのリスク報告書は将来予測的なリスク評価を含んでいるほか、ハンデルスバンケンが取締役会の決定したリスク戦略やリスク許容度を実行しているかについての評価ができるようにしなければならない。当行グループのリスク報告書は取締役会が決定したリスク管理方針に沿って作成されている。上述のリスク報告書に加え、リスク・コントロール部及び本部の与信部門は、カウンターパーティ・リスクを含む当行の信用リスクの状況及びIRB手法について、当行の経営幹部、取締役会のリスク委員会、リスク委員会、本部の取締役会並びに関連子会社の取締役会に対し、継続的かつ年次の双方で報告を実施している。これらの報告書は、残高の推移、リスク報告された与信のほか、当行のIRBモデルの結果及び検証を含んでいる。

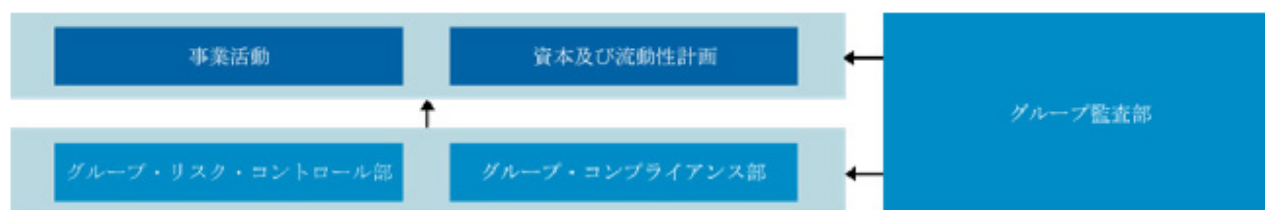
当行の最高リスク責任者が委員長を務めるリスク委員会は、最高経営責任者及び最高財務責任者へのアドバイザー機能としての役割を果たし、2021年には10回会議を開催している。リスク委員会では、当行グループの信用リスク、財務リスク、オペレーショナル・リスク及び保険業務におけるリスクに関する現在のリスク状況、潜在的なリスク及び対応策について徹底的なフォローアップが行われる。また、必要に応じて他の種類のリスクにも言及される。再建計画が必要となる指標は都度報告され、必要に応じて対応策の可能性について協議が行われる。さらに、財務リスクの限度額に対するエクスポージャーは、グループ全体としてフォローアップ対象となる。資本状況、市場リスク限度額に対するエクスポージャーや流動性の状況については少なくとも四半期ごとに取締役会で報告が行われる。

市場リスク及び流動性リスクの上限額に対するエクスポージャーは、グループ・リスク・コントロール部が日次で取りまとめ、確認している。上限額を超過した場合には直ちに上限額に関する決定者に報告が行われる。流動性リスクについてはグループ・リスク・コントロール部が取りまとめ、最高財務責任者には日次で、最高経営責任者には週次で、取締役会には定例取締役会で報告が行われる。グループ・トレジャリー部長が議長を務める流動性委員会は、最高経営責任者及び最高財務責任者に対するアドバイザーとしての役割を果たしており、定例取締役会開催前、又は必要に応じ他の機会にも会議を開催している。会議では現在の流動性の状況やストレス・テストの結果、シナリオ分析のほか、当行グループの流動性の状況の評価に関連する他の情報に関して報告が行われる。

オペレーショナル・リスクと発生したインシデントは、ハンデルスバンケン・グループ全体の支店及びユニットがリスク・コントロール部に継続的に報告を行い、その後リスク・コントロール部が監視を行う。次にグループ・リスク・コントロール部がオペレーショナル・リスクと発生したインシデントを、最高経営責任者、取締役会、及び取締役会のリスク委員会に報告する。報酬制度のリスクは毎年評価され、取締役会の報酬委員会とリスク委員会に報告される。オペレーショナル・リスクの報告には、重大な事象、主要な損失、重要な未然防止策及び当行グループ・レベルで集計したリスク評価が含まれる。さらに、グループ・リスク・コントロール部は、決定され、実施された対応策についても監視を行う。2021年度に、チーフ・コンプライアンス・オフィサーは少なくとも四半期ごとに最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会にコンプライアンス・リスクに関する報告を行った。報告書はリスク・フォーラムにも提出された。

当行の資本の状況は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に、四半期に一度は取締役会に報告される。さまざまな基準値を超過した際、又はグループ・キャピタル・マネジメント部長若しくは最高財務責任者が他の理由から適切であると考え、適切な対応案が最高経営責任者に提案される。中・長期的な資本状況は資本委員会が四半期ごとに取りまとめている。グループ・キャピタル・マネジメント部は四半期ごと、又は当行に重大な変化が生じた際に、資本予測を全面的に更新している。

図AR:4 ハンデルスバンケンのリスク管理とリスク・コントロール



事業活動

当行は、それぞれの事業活動及び全てのリスク管理において各部門が全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。顧客及び市場の状況を最もよく知る人物がリスク評価者として適任であり、また、諸問題の発生時に早い段階で措置を講じることが可能である。発生した問題は各支店及び収益部門が対応する責任を負っている。これにより、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。

但し、このように分散化した組織が与信決定を行うには、共同与信プロセスを経る必要がある。共同与信プロセスについてはグループ与信部が責任を負っている。グループ与信部は、取締役会又は取締役会の与信委員会が行った与信限度額の決定を取りまとめている。グループ与信部はまた、当行グループ全体の与信評価が一貫していること、及び貸出金が取締役会の決定した与信方針に従って実行されていることを確認している。

当行の事業活動における財務リスクは主にグループ・トレジャリー部、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びハンデルスバンケン・リヴにおいて生じており、それぞれ管理されている。ハンデルスバンケンは分散化された事業モデルを有しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべてグループ・トレジャリー部に集約されている。債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する市場リスクは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで管理されている。オペレーショナル・リスクは、当行のすべての業務において発生する。そのため、オペレーショナル・リスクの管理に関する責任は、ハンデルスバンケンのすべての階層において必要とされる。市場リスクの管理及び当行のオペレーショナル・リスクの管理並びに資金調達及び流動性リスク管理はすべて、取締役会が策定した方針によって管理されている。

ストレス・テスト - 資本及び流動性計画

ハンデルスバンケンは、通常時に加え極端な事象の発生後であっても、確実に存続できるだけの資本及び流動性準備金を保有している。資本計画は、規制資本の要件に経済資本及びストレス・テストを合わせて資本の状況の評価したものである。流動性計画は、当行グループが、金融市場において資金調達が不可能となるような財務上のストレス状況下においても支払期限が到来した支払義務の履行が常に可能であることを確実にするものである。ストレス・テスト及びシナリオ分析は、常に十分な流動性及び資本を確保しておくために準備又は導入すべき対策、並びに深刻な危機後の回復状況において当行グループの資本及び流動性を回復するためにどのような対策が必要であるかを特定するためのものである。

グループ・リスク・コントロール部及びグループ・コンプライアンス部

ハンデルスバンケンのリスク・コントロール部署は、監視対象先の部署から独立している。リスク・コントロール部署は、当行グループがさらされている、又は将来さらされる可能性のあるすべての重要なリスクを関連部署が識別・管理していることを検証している。リスク・コントロール部は、当行グループのリスク管理を監視、検証し、リスク管理に関する内部規則、プロセス及び手続が取られていることを確実にしている。同時に、リスクが取締役会の設定するリスク許容度の範囲内にあることを確実にするとともに、危機的な状況におけるリスク管理の根拠として、経営者が信頼できる情報を用いることを確実にしている。クレジット・リスク・コントロール部は、当行の所要自己資本の算出に用いた手法が目的にかなっており、スウェーデン金融監督庁による許可や適用規則に準拠するよう確実にするため、定期的な評価を実施しなければならない。リスク・コントロール部の責務には、市場リスク、流動性リスク及びカウンターパーティ・リスク並びにオペレーショナル・リスクに対する限度額を監視することや、リスクの限度額や与信限度額の違反を評価することも含まれる。リスク・コントロール部は、新商品のほか、重要な変更が行われた商品やサービス、市場、プロセス及びITシステムに対して、さらに事業や組織の重要な変更に関して行われたリスク分析も評価しなければならない。

事業に関する意思決定の分散化が進んでいるため、リスクと資本の状況を監視する必要性が大きくなっている。したがって、リスク・コントロールが、おのずと当行のビジネス・モデルの重要な構成要素となっている。グループ・リスク・コントロール部は、当行グループの現在のリスク状況を経営陣と取締役会に継続的に報告する責任や、リスクがグループにわたって目的にかなった、一貫した方法で測定されるよう確実にする責任を負っている。

マネーロンダリング及びテロリスト資金調達防止の手続と指針に関連するリスクは、グループ・コンプライアンス部が統制を実施する。グループ・コンプライアンス部は事業活動から独立し、統制の対象となる部門や領域から組織上分離している。グループ・コンプライアンス部は高度なコンプライアンスの実施と、当行のコンプライアンス・リスクに対する低い許容度の達成に向けて、積極的な活動を行っている。グループ・コンプライアンス部は規制上のコンプライアンスに関連するリスク及び不備を識別・監視・管理し、当行スタッフや経営陣、各部署に対しコンプライアンス関連事項について提言や助言及び支援を提供するとともに、経営陣及び取締役会に対しコンプライアンスの課題に関する報告を行っている。

取締役会による、リスクに関する宣言及びリスクステートメント

取締役会は以下のリスクに関する宣言及びリスクステートメントを決定した。

リスクに関する宣言

ハンデルスバンケンは業務に関して取締役会が決定した当行の事業目標、リスク・プロファイル全般及びリスク戦略の点から、目的にかなった十分なリスク管理上の取決めを行っている。

リスクステートメント

ハンデルスバンケンの事業目標は、拠点市場の競合行の平均を上回る収益性を上げることにある。この目標は、主に他行よりも顧客の満足度を高め、コストを引き下げることによって達成される。ハンデルスバンケンは地域における強固なつながりと、分散化された業務形態を有する銀行である。

リスクは低水準に維持することが当行の全体的なリスク・プロファイルである。また当行グループは、短・長期的な財務上のストレス下を含め支払義務を履行できるよう、リスクに対し十分な資本を常に維持し、当局が課す要件を充足し、流動資産を保有しておく必要がある。このリスク戦略と当行の全体的なリスク・プロファイルが、景気変動に左右されない事業モデルを持つというハンデルスバンケンの目標を裏打ちしている。

当行は現在も将来においても信用リスクを低水準に抑える意向である。これは、地域における強固なつながりと緊密な顧客との関係を維持することにより達成される。与信残高又は利鞘の拡大を優先するあまり、信用の質を蔑ろにしてはならない。当行は、借手の返済能力が高いという要件を基準に顧客を選別している。その結果、当行の信用ポートフォリオは明らかに、損失発生確率が低いリスク・クラスに集中している。当行のこのような一貫したアプローチは、過去の当行の信用損失率が低いことに反映されている。2021年の融資の信用損失率は0.00%(0.03%)であった。

当行がリスクに対して十分な資本を有し、良好な流動性を維持するよう確実にするため、取締役会は当行の資本及び流動性に対するリスク許容度を規定している。資本のリスク許容度を決定するにあたり、資本の尺度は法定要件と、単一の測定基準により当行グループのすべてのリスクを捉えた当行の経済資本(以下、「EC」という。)モデルに基づいてハンデルスバンケンが評価した所要自己資本により定められる。当行の流動性リスクに関するリスク許容度は、当行がストレス状況下でも一定期間事業を継続できるように、流動資産及び担保差入れ可能な資産を加えた流動性創出策により十分かつ多額の流動性準備金を持たなければならないという要件と、異なる期間内のキャッシュフロー純流入及び流出累計額に関する要件により決定される。

取締役会は、通常の状況下の普通株式等Tier1資本比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率を1から3パーセンテージ・ポイント上回るものと定めている。レバレッジ比率に関しては、スウェーデン金融監督庁が当行に通知したレバレッジ比率を最低でも0.6パーセンテージ・ポイント上回らなければならない。

第二の柱に基づくスウェーデン金融監督庁の指針である1.5%を踏まえると、当行の評価による2021年度末現在のスウェーデン金融監督庁の普通株式等Tier1資本比率は13.9%(13.8%)であった。同様に、第二の柱に基づくスウェーデン金融監督庁の指針である0.45%を踏まえると、当行の評価によるレバレッジ比率は3.45%であった。取締役会は、利用可能な財源(以下、「AFR」という。)とECとの比率は120%を上回らなければならない旨も定めている。

2021年度末現在の普通株式等Tier1資本比率は19.4%(20.3%)であり、AFR/EC比率は384%(324%)であった。取締役会は流動性準備金を考慮し、家計及び企業からの定期預金以外の預金の一部が最初の1ヶ月以内に解約されることを仮定したうえで、当行が少なくとも1年間にわたりプラスの正味キャッシュ・フローを積み増さなければならないという目標を定めている。ハンデルスバンケンの流動性準備金の総額と流動性創出策により、こうしたストレス状況下でも3年を超える期間にわたり、流動性要件をカバーできる水準にある。当行のリスク・プロファイルは取締役会が策定したリスク戦略に準拠している。

信用リスク

信用リスクは、当行の取引相手が契約上の義務を履行することができなくなるにより当行が経済的損失に直面するリスクである。

信用リスク戦略

ハンデルスバンケンの与信プロセスは、現地につながりを持つ分散型の組織が高度な与信決定を確実に行うという理念に基づいている。当行は、支店が通常の顧客窓口となる形式の取引銀行であり、そうした顧客との取引を通じて、支店は各顧客に関する知識を深めるとともに、顧客の財政状態の実態を継続的に把握している。

ハンデルスバンケンは、マスマーケットを対象とした銀行ではなく、顧客の選別に注意を払っている。すなわち、当行は信用度の高い顧客を選別している。与信取引高の向上又は収益性の向上を達成するために、質的要件は必ず考慮しなければならない。当行はまた、複雑な顧客群又は複雑で不明瞭な取引の場合、若しくはESGリスクが高い場合には、融資に参画しない。

ハンデルスバンケンが特定顧客の信用リスクを評価する際は、借手の返済能力から評価しなければならない。当行の与信方針によれば、返済能力の低さが良質な担保によって補われることはない。但し、借手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。したがって、通常、与信は適切に担保されていないといけない。

また、支店現地のつながりや顧客との緊密な関係により、支店は即座に問題を識別し、その問題に対する措置を講じることが可能になる。このことは、多くの場合、当行がより中央集約化された不良債権管理を行うよりも迅速な措置を講じることが可能であることを意味している。支店はまた、与信決定に関する財務上の全責任を負っている。このため、返済困難に陥った顧客に発生する問題に対処し、信用損失は支店が負うことになる。現地の支店は、必要に応じてローカルの与信部門及び中央部門からの支援を受ける。当行の手法は、信用リスクに関連する取引を行うすべての従業員が、この種のリスクに対する堅実かつ系統立ったアプローチを取ることを確認している。当該アプローチは、当行の企業カルチャーの重要な一部を形成している。ここで説明している対処方法及びアプローチは、当行の信用損失の計上額が長期にわたって非常に低いことを示す重要な根拠となっている。

与信組織

ハンデルスバンケンの分散型の組織においては、顧客を担当する現地の支店が、全面的な与信責任を負っている。顧客及び与信責任は、支店長又は支店長が同業務を委任した支店の従業員にある。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信の最終判断が支店、県域又は国レベル、取締役会の与信委員会、あるいは取締役会であっても、与信判断の根拠となる文書は与信を担当する支店が必ず作成する。与信判断の文書化には、借手に関する一般情報及び財務情報、返済能力の評価、貸出金及び与信条件の評価並びに担保の評価が含まれる。

各国の取締役会、当行取締役会の与信委員会及び当行の取締役会では、与信決定額とは無担保の与信の許容額を合わせた与信限度額の合計をいう。貸付総額が5百万スウェーデン・クローネを超える借手については、与信限度額に照らして与信判断が行われる。個人への住宅用不動産担保付貸出金の場合、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。住宅用不動産の担保付きの住宅協同組合に対する貸出については、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。

承認された与信限度額は、通常は1年間にわたって有効である。ただし、特定の状況では、住宅協同組合に対する与信限度額は最長3年間適用可能となる。与信の継続は、新規貸出と同じ要件で手続が行われる。

支店長及び支店のほとんどの行員には、担当顧客に対する与信判断のために個別に決裁限度額が設定されている。

それらの与信限度額を上回る判断については、県域単位及び国単位並びに中央単位的意思決定機関に委ねられる。そうしたニーズに関する判断には、それぞれ与信に関する専門的知識が必要となる。それぞれの意思決定権者は、自らが意思決定権を有する水準に関して、また、自らに意思決定権がない場合にはより上位者の意思決定に委ねられる与信水準に関しても、与信限度額を拒否する権限を有している。与信の責任を負う意思決定プロセスに関与するすべての者は、意思決定権の水準にかかわらず、肯定的な与信限度額の決定を行うには意見を一致させなければならない。これらの者から僅かであっても疑念が提起された場合には、与信申請は却下される。大口与信案件はグループ与信部でレビューされ、取締役会又は取締役会の与信委員会で決定される。ただし、自動与信モデルにより行われた与信判断を除き、当該与信に責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。こうした決定に用いられる自動与信モデルには、最高経営責任者の承認が必要となる。

与信及び与信限度額の決定手続は図AR:5「ハンデルスバンケンにおける信用プロセス及び決定水準」に示している。この図はまた、与信限度額の判断割合及び様々な決定階層における金額の割合を示している。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信及び与信限度額の大部分の決定が個々の支店において行われているため、高度な与信判断を確実に行うためには適切なレビュープロセスがきわめて重要となる。支店長は、行員が下した判断が適切であるか調査し、ローカルの与信部門は、支店長が下した決定の妥当性について調査する。

このような品質レビューの目的は、当行の与信方針及び内部インストラクションの遵守を確認すること、またこれにより信用の質が維持され、与信及び与信限度額の決定には正しい与信判断及び健全なビジネス・アプローチがあることを示すことにある。同様の品質レビューは、当行のより高いレベルで行われた与信限度額決定に対しても行われている。県域単位又は国単位の与信委員会及び各国の取締役会が付与した与信限度額については、グループ与信部によって調査が行われる。グループ与信部ではまた、当行の取締役会又は取締役会が設けた与信委員会が決定した与信限度額についても調査を行う。

Ecster

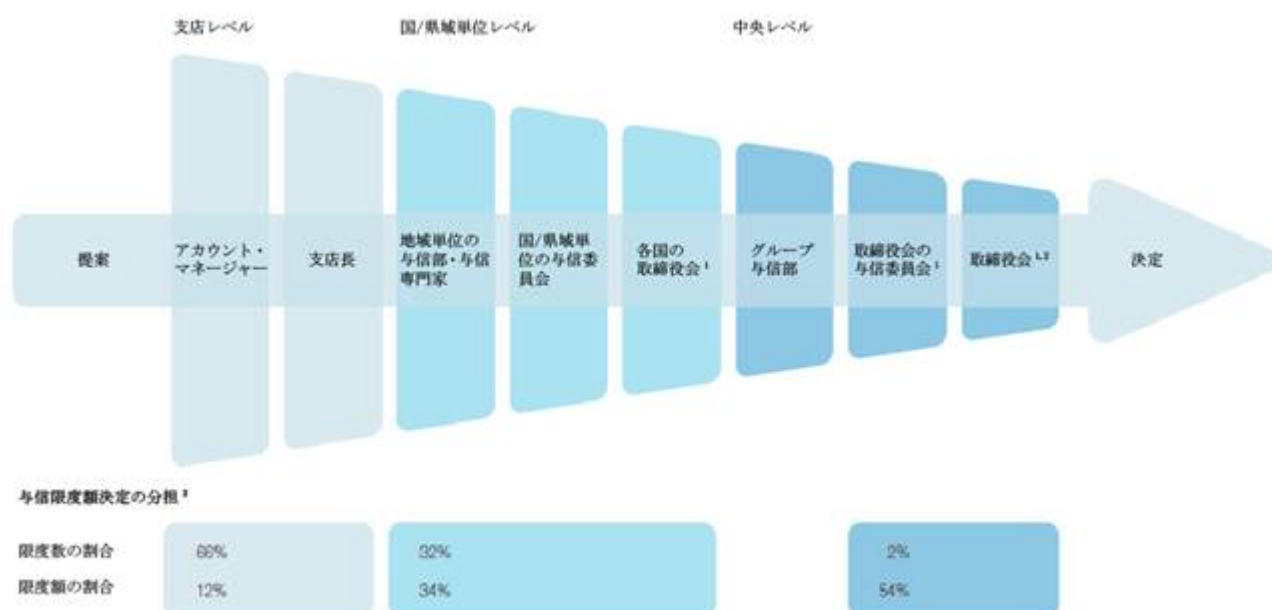
当行子会社であるEcster ABIは、スウェーデン全土に拠点を置く特定ベンダーに支払ソリューションを提供している。こうした種類の貸付には、年間を通じて常に、迅速かつ正確な与信決定が行われることが必要であり、与信の決定の大半が自動与信モデルを通じて行われている。これらの自動与信モデルで対応できない与信決定は手作業で行われ、担当従業員は個別に決定される与信限度に従う。与信限度額の大きな案件はEcsterの与信委員会又は取締役会により決定される。顧客がハンデルスバンケンの既存顧客の場合、与信額の引き上げについての決定は、当該顧客の担当支店又は当行の関連部署により行われる。

信用ポートフォリオ

当行の信用ポートフォリオは、貸借対照表項目のカテゴリーに基づいて、本セクションに表示されている。信用リスクに係る所要自己資本のセクションでは、自己資本比率規制(CRR)に基づく信用ポートフォリオについて説明している。

連結貸借対照表項目のカテゴリーに基づき、与信は一般顧客への貸出金、又は金融機関への貸出金に分類され、オフバランスシート項目は商品種類別に分類される。エクスポージャーは、オンバランスシート及びオフバランスシート上の項目の合計を意味している。一般顧客への貸出金が太宗を占めている。表AR:6「信用エクスポージャー、地域別内訳」を参照のこと。

図AR:5 ハンデルスバンケンの与信プロセスと決定水準



1) 与信決定額は無担保与信枠を合わせた与信限度額の合計をいう。

2) 特別目的の案件か一般目的の案件かどうかを判定したうえで、取締役及び一部の執行役員向けの与信を決定する。

3) 本部レベルで決定されたソブリン及び銀行の限度額を除く。

表AR:6 信用エクスポージャー、地域別内訳

信用エクスポージャー、地域別内訳、2021年

(百万スウェーデン・クローネ)		スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金		93,293	101,195	4,579	28,282	120,098	27,315	65,202	439,964
中央銀行へのその他貸出金	注記G14	-	1,255	-	207	-	-	0	1,462
その他金融機関への貸出金	注記G15	19,684	1,043	170	36	57	168	680	21,838
一般顧客への貸出金	注記G16	1,540,763	246,470	289,075	111,380	141,430	75,606	9,105	2,413,829
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G17	100,538	-	-	24	-	-	0	100,562
債券及びその他利付証券	注記G17	33,317	-	-	17	-	-	0	33,334
デリバティブ商品	注記G21	28,416	-	-	37	-	7	58	28,518
合計		1,816,011	349,963	293,824	139,983	261,585	103,096	75,045	3,039,507
オフバランスシート項目									
偶発債務	注記G43	350,973	48,922	59,932	31,938	33,633	5,819	27,056	558,273
うち、保証コミットメント		33,440	5,680	4,821	7,838	4,707	77	15,193	71,756
うち、債務		317,533	43,242	55,111	24,100	28,926	5,742	11,863	486,517
合計		350,973	48,922	59,932	31,938	33,633	5,819	27,056	558,273
貸借対照表項目及び オフバランスシート項目									
オフバランスシート項目		2,166,984	398,885	353,756	171,921	295,218	108,915	102,101	3,597,780

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

信用エクスポージャー、地域別内訳、2020年

(百万スウェーデン・クローネ)		スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金		84,525	100,280	18,026	217	114,600	11,035	68,959	397,642
中央銀行へのその他貸出金	注記G14	-	1,094	2,862	17,370	-	-	-	21,326
その他金融機関への貸出金	注記G15	19,165	391	451	52	64	155	1,642	21,920
一般顧客への貸出金	注記G16	1,458,989	232,246	260,374	100,634	141,639	63,905	11,825	2,269,612
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G17	98,353	-	-	18	-	-	762	99,133
債券及びその他利付証券	注記G17	44,550	-	-	16	-	-	-	44,566
デリバティブ商品	注記G21	30,475	-	-	27	-	-	112	30,614
合計		1,736,057	334,011	281,713	118,334	256,303	75,095	83,300	2,884,813
オフバランスシート項目									
偶発債務	注記G43	331,443	47,296	57,851	31,340	35,546	7,503	32,340	543,319
うち、保証コミットメント		35,882	6,424	5,023	7,311	4,925	121	20,209	79,895
うち、債務		295,561	40,872	52,828	24,029	30,621	7,382	12,131	463,424
合計		331,443	47,296	57,851	31,340	35,546	7,503	32,340	543,319
貸借対照表項目及び オフバランスシート項目									
オフバランスシート項目		2,067,500	381,307	339,564	149,674	291,849	82,598	115,640	3,428,132

地理的分布はエクスポージャーが計上されている国を指す。

表AR:7 減損テスト対象の一般顧客への貸出金、地域別内訳

一般顧客への貸出金、 地域別内訳 2021年	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
スウェーデン	1,509,172	30,491	2,331	-173	-297	-761	1,540,763
英国	232,774	12,717	1,253	-60	-117	-97	246,470
ノルウェー	275,208	12,975	1,567	-47	-109	-519	289,075
デンマーク	108,295	2,982	424	-39	-95	-187	111,380
フィンランド	135,685	4,601	1,765	-65	-67	-489	141,430
オランダ	75,056	556	11	-10	-4	-3	75,606
その他諸国	9,006	68	70	-1	-1	-37	9,105
合計	2,345,196	64,390	7,421	-395	-690	-2,093	2,413,829

上表の一般顧客への貸出金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

一般顧客への貸出金、 地域別内訳 2020年	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
スウェーデン	1,427,814	30,336	2,327	-182	-357	-949	1,458,989
英国	213,758	17,977	908	-59	-191	-147	232,246
ノルウェー	245,560	13,933	1,371	-39	-116	-335	260,374
デンマーク	93,530	6,953	523	-46	-75	-251	100,634
フィンランド	133,982	6,536	1,781	-49	-91	-520	141,639
オランダ	63,353	563	-	-8	-3	-	63,905
その他諸国	11,686	86	92	-2	-1	-36	11,825
合計	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238	2,269,612

ハンデルスバンケンは、長年他行と比べて低水準な信用損失を維持してきており、これが当行の収益目標の達成に貢献し、健全な財政状態が保たれている。信用供与にあたり、当行は既定の件数や特定セクターでの市場シェアといった目標の達成に努めるのではなく、顧客を選択する際に与信顧客は優良でなければならないと考えることにより、顧客を厳選している。与信残高の増大を達成しようとするあまり品質に対する要求を蔑ろにしてはならない。これは取締役会で毎年承認される与信方針に明記されている。

2021年は世界が新型コロナウイルス感染症によるパンデミック色となった。当年度中にローン返済の一時的な免除や政府保証が終了した。

減損の必要性を特定し限定するため、ハンデルスバンケンは定期的に信用ポートフォリオの質を評価している。新型コロナウイルス感染症それ自体は、当行の信用リスクへの取組みに変更をもたらしてはいない。当行の新型コロナウイルス感染症の影響への対応手法についての詳細は、IFRS第9号に基づく対応に関する注記G1及びG10を参照のこと。

表AR:8 減損テスト対象の一般顧客への貸出金、セクター及び業種別内訳

一般顧客への貸出金、 セクター別 2021年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
個人	1,219,581	16,838	3,057	-159	-107	-758	1,238,452
うち、住宅抵当ローン	1,022,645	12,832	1,021	-30	-20	-52	1,036,396
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	154,163	2,677	911	-10	-7	-144	157,590
うち、その他の貸出金 (個人)	42,773	1,329	1,125	-119	-80	-562	44,466
住宅共同組合	266,467	931	22	-7	-2	-11	267,400
うち、住宅抵当ローン	245,393	515	11	-3	0	-7	245,909
不動産管理	643,423	32,704	1,734	-96	-207	-237	677,321
製造	21,106	1,735	65	-12	-13	-39	22,842
リテール	30,086	760	387	-19	-41	-94	31,079
ホテル及びレストラン	3,933	4,986	59	-5	-137	-5	8,831
海運	2,369	604	1,205	-1	-8	-468	3,701
その他運輸及び通信	7,864	325	85	-10	-14	-63	8,187
建設	17,873	852	135	-23	-16	-73	18,748
電気、ガス及び水道	11,375	1,204	5	-4	-9	-3	12,568
農業、狩猟及び林業	22,029	979	73	-13	-11	-31	23,026
その他サービス	16,296	1,501	116	-20	-38	-91	17,764
持株会社、投資会社、保険会 社、ミューチャルファンド等	60,868	634	177	-16	-10	-125	61,528
ソブリン及び地方自治体	7,305	89	-	-	-1	-	7,393
うち、スウェーデン国債局	2,173			-			2,173
その他の法人向け貸付	14,621	248	301	-10	-76	-95	14,989
合計	2,345,196	64,390	7,421	-395	-690	-2,093	2,413,829

上表の一般顧客への貸出金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

一般顧客への貸出金、 セクター別 2020年	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
個人	1,149,125	18,737	2,236	-155	-169	-756	1,169,018
うち、住宅抵当ローン	962,972	12,734	601	-37	-28	-56	976,186
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	145,738	4,330	591	-13	-19	-139	150,488
うち、その他の貸出金 (個人)	40,415	1,673	1,044	-105	-122	-561	42,344
住宅共同組合	248,889	1,405	98	-6	-3	-43	250,340
うち、住宅抵当ローン	225,561	678	18	-4	-1	-7	226,245
不動産管理	600,483	33,375	1,674	-96	-267	-328	634,841
製造	22,332	3,747	174	-16	-21	-107	26,109
リテール	17,894	2,206	379	-17	-59	-96	20,307
ホテル及びレストラン	4,584	5,804	37	-10	-145	-9	10,261
海運	2,394	2,077	1,162	-1	-6	-288	5,338
その他運輸及び通信	9,025	601	102	-9	-24	-80	9,615
建設	15,655	1,977	166	-19	-41	-86	17,652
電気、ガス及び水道	12,946	754	3	-3	-10	-1	13,689
農業、狩猟及び林業	20,223	1,312	61	-12	-20	-42	21,522
その他サービス	14,616	1,491	318	-18	-43	-211	16,153
持株会社、投資会社、保険会 社、ミューチャルファンド等	46,772	2,011	155	-16	-14	-108	48,800
ソブリン及び地方自治体	7,086	91	-	0	-1	-	7,176
うち、スウェーデン国債局	474	-	-	-	-	-	474
その他の法人向け貸付	17,659	796	437	-7	-11	-83	18,791
合計	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238	2,269,612

担保

与信には通常、十分な担保を確保することが当行の与信方針に定められている。当行に良質な担保が差し入れられたことが理由で、返済能力の低さが受け入れられるわけではない。但し、借手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。

信用リスクを限定するための当行の対策には、顧客からの差入担保が含まれる。当行における信用リスクを低減するための主な手段は、住宅用不動産や他の不動産などの資産、資産に係る浮動担保（フローティングチャージ）、保証（保証者によるコミットメントを含む）の受入れやネットティング契約の利用である（詳細はカウンターパーティ・リスクのセクションを参照のこと）。

不動産ファイナンスに関しては、与信は不動産の形式により担保でカバーするという基本方針が適用されている。不動産を担保としたエクスポージャーについては、信用エクスポージャーを担保の市場価値で除すことにより借入金比率(LTV)が算定される。当行は不動産担保貸出の最大額に上限を設ける内部の進言及び外部規制に従っている。

担保価値は毎年見直され、見積られた市場価値に基づく。市場価値が低下した結果担保価値が減少したとみなされる場合には、より頻繁に見直しが行われる。IFRS第9号導入後も当行の担保に関するインストラクションには変更が必要とされなかった。通常、借手が深刻な返済困難に直面しない限り担保は利用されないため、担

保価値の評価は、支払不能となったことによる、不利な状況での売却における予想担保価値に基づいて行われる。

企業に対する無担保の長期信用コミットメントにおいて、当行は、多くの場合、業績不振の際に当行が貸付の再交渉又は契約解除が可能となる特別な与信条件で顧客と契約を締結する。

特別な状況において、当行は債権の信用リスクをヘッジするためクレジット・デリバティブ又は金融保証を購入する場合があるが、これは当行の通常の貸出プロセスの一部ではない。

金融機関に対する貸出の少数部分は、リバース・レポにより構成されている。リバース・レポは、当行がリバース・レポに基づいて利付証券又は株式を特別な契約(証券が特定の日に特定の価格で売り手に再売却される契約)で購入する買戻取引である。ハンデルスバンケンは、リバース・レポを担保付貸出とみなしている。

信用リスクに対する所要自己資本の算定に用いられる担保のみが以下の表に記載されている。

表AR:9 減損テスト対象の一般顧客への貸出金の地域別、セクター別内訳

一般顧客への貸出金(引当金 控除後) 地域別、セクター別内訳、 2021年 百万スウェーデン・クローネ								
	スウェー デン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	その他諸国	合計
個人	915,223	75,951	112,312	62,773	42,983	22,780	6,430	1,238,452
うち、住宅抵当ローン	881,747	-	86,240	49,801	18,608	-	-	1,036,396
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	5,974	72,264	23,949	9,119	18,046	22,426	5,812	157,590
うち、その他の貸出金 (個人)	27,502	3,687	2,123	3,853	6,329	354	618	44,466
住宅協同組合	201,084	-	25,635	906	39,775	-	-	267,400
うち、住宅抵当ローン	195,336	-	25,028	-	25,545	-	-	245,909
不動産管理	278,288	149,495	127,276	23,834	46,112	51,460	856	677,321
製造	8,885	1,689	1,435	8,347	1,372	3	1,111	22,842
リテール	22,514	3,358	3,637	844	709	12	5	31,079
ホテル及びレストラン	2,986	3,783	290	1,723	43	6	-	8,831
海運	1,613	15	1,206	3	864	-	-	3,701
その他運輸及び通信	4,459	1,281	968	321	592	565	1	8,187
建設	6,943	2,146	7,204	1,869	570	16	-	18,748
電気、ガス及び水道	5,543	290	3,946	48	2,638	103	-	12,568
農業、狩猟業及び林業	20,884	1,469	274	229	150	8	12	23,026
その他サービス	8,113	4,682	2,676	1,508	715	68	2	17,764
持株会社、投資会社、 保険会社、 ミューチュアルファンド等	47,702	2,058	1,320	8,527	881	547	493	61,528
ソブリン及び地方自治体	3,446	-	286	0	3,661	-	-	7,393
うち、スウェーデン国債局	2,173	-	-	-	-	-	-	2,173
その他の法人向け貸付	13,080	253	610	448	365	38	195	14,989
一般顧客への貸出金純額	1,540,763	246,470	289,075	111,380	141,430	75,606	9,105	2,413,829
うち、予想信用損失引当金 合計(ステージ1-3)	-1,231	-274	-675	-321	-621	-17	-39	-3,178
一般顧客への貸出金合計	1,541,994	246,744	289,750	111,701	142,051	75,623	9,144	2,417,007

上表の一般顧客への貸出金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

一般顧客への貸出金(引当金

控除後)

地域別、セクター別内訳、

2020年

百万スウェーデン・クローネ

	スウェー デン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	その他諸国	合計
個人	870,056	71,836	99,217	61,620	41,037	18,550	6,702	1,169,018
うち、住宅抵当ローン	836,966	-	72,781	47,767	18,672	-	-	976,186
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	6,015	68,506	24,691	10,004	17,436	17,833	6,003	150,488
うち、その他の貸出金 (個人)	27,075	3,330	1,745	3,849	4,929	717	699	42,344
住宅協同組合	191,168	-	21,800	872	36,500	-	-	250,340
うち、住宅抵当ローン	184,697	-	21,235	-	20,313	-	-	226,245
不動産管理	269,765	138,246	113,522	23,290	44,530	43,230	2,258	634,841
製造	9,856	1,838	3,038	6,543	1,694	1,008	2,132	26,109
リテール	12,414	3,009	3,196	860	776	33	19	20,307
ホテル及びレストラン	3,627	3,750	1,043	1,795	40	6	-	10,261
海運	1,572	20	1,965	3	1,778	-	0	5,338
その他運輸及び通信	4,938	1,234	1,530	211	1,090	611	1	9,615
建設	7,250	2,403	6,622	547	812	18	0	17,652
電気、ガス及び水道	5,791	278	3,132	51	4,337	100	0	13,689
農業、狩猟業及び林業	19,405	1,374	271	305	148	8	11	21,522
その他サービス	7,256	4,614	2,752	637	819	62	13	16,153
持株会社、投資会社、 保険会社、 ミューチュアルファンド等	37,887	2,463	1,293	3,236	3,199	246	476	48,800
ソブリン及び地方自治体	2,302	-	289	7	4,578	-	-	7,176
うち、スウェーデン国債局	474							474
その他の法人向け貸付	15,702	1,181	704	657	301	33	213	18,791
一般顧客への貸出金純額	1,458,989	232,246	260,374	100,634	141,639	63,905	11,825	2,269,612
うち、予想信用損失引当金 合計(ステージ1-3)	-1,488	-397	-490	-372	-660	-11	-39	-3,457
一般顧客への貸出金合計	1,460,477	232,643	260,864	101,006	142,299	63,916	11,864	2,273,069

表AR:10 信用エクスポージャー、担保別内訳

信用エクスポージャー 担保別、2021年 百万スウェーデン・ クローネ	住宅用 不動産 ¹	その他の 不動産	ソプリ ン、地方 自治体及 び県域 自治体 ²	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 ³	金融担保	資産担保	その他の 担保	無担保	合計	
貸借対照表項目										
現金及び中央銀行預け金	-	-	439,964	-	-	-	-	-	439,964	
中央銀行へのその他の 貸出金	注記G14	-	-	1,462	-	-	-	-	1,462	
その他金融機関への 貸出金	注記G15	-	-	15	-	-	-	21,823	21,838	
一般顧客への貸出金	注記G16	1,794,921	352,383	47,978	9,901	20,025	22,312	8,919	157,390	2,413,829
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G17	-	-	99,252	-	-	-	-	1,310	100,562
債券及びその他利付証券	注記G17	-	-	117	818	-	-	-	32,399	33,334
デリバティブ商品	注記G21	833	1,541	1,947	65	150	-	-	23,982	28,518
合計	1,795,754	353,924	590,735	10,784	20,175	22,312	8,919	236,904	3,039,507	
オフバランスシート項目										
偶発債務	注記G43	100,836	59,444	34,269	6,577	15,491	674	9,390	331,592	558,273
うち、保証コミット メント	4,337	1,284	1,910	1,868	1,046	-	910	60,401	71,756	
うち、債務	96,499	58,160	32,359	4,709	14,445	674	8,480	271,191	486,517	
合計	100,836	59,444	34,269	6,577	15,491	674	9,390	331,592	558,273	
貸借対照表項目及び オフバランスシート項目										
合計	1,896,590	413,368	625,004	17,361	35,666	22,986	18,309	568,496	3,597,780	

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

信用エクスポージャー 担保別、2020年 百万スウェーデン・ クローネ	住宅用 不動産 ¹	その他の 不動産	ソプリ ン、地方 自治体及 び県域 自治体 ²	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 ³	金融担保	資産担保	その他の 担保	無担保	合計
貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金			397,642						397,642
中央銀行へのその他の 貸出金	注記G14		21,326						21,326
その他金融機関への 貸出金	注記G15	-	-	365	978	-	-	-	21,920
一般顧客への貸出金	注記G16	1,681,764	347,413	49,766	7,475	13,270	24,383	11,123	2,269,612
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G17			99,133					99,133
債券及びその他利付証券	注記G17	-	-	2,563	-	-	-	-	44,566
デリバティブ商品	注記G21	972	1,688	2,047	81	15,013	-	-	30,614
合計		1,682,736	349,101	572,842	8,534	28,283	24,383	11,123	2,884,813
オフバランスシート項目									
偶発債務	注記G43	89,874	51,353	34,779	6,024	10,134	455	11,224	543,319
うち、保証コミット メント		4,482	1,528	1,883	2,860	1,201	-	1,024	79,895

うち、債務	85,392	49,825	32,896	3,164	8,933	455	10,200	272,559	463,424
合計	89,874	51,353	34,779	6,024	10,134	455	11,224	339,476	543,319
貸借対照表項目及び									
オフバランスシート項目									
合計	1,772,610	400,454	607,621	14,558	38,417	24,838	22,347	547,287	3,428,132

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証を含まない。

表AR:11 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別、2021年

		2021年					
		総額			引当金		
百万スウェーデン・クローネ		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		439,932	-	-	0	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		439,932	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他の貸出金	注記G14	1,462	-	-	-	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		1,462	-	-	-	-	-
その他金融機関への貸出金	注記G15	21,833	10	-	-2	-3	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		15	-	-			
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		-	-	-	-	-	-
無担保		21,818	10	-	-2	-3	-
一般顧客への貸出金	注記G16	2,345,196	64,390	7,421	-395	-690	-2,093
住宅用不動産 ¹		1,768,368	24,534	2,533	-101	-93	-320
その他の不動産		323,470	28,049	1,447	-85	-247	-251
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		45,980	1,674	334	-3	-7	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		8,952	953	6	-3	-7	-
金融担保		19,474	566	1	-5	-11	0
資産担保		21,294	1,087	49	-44	-59	-15
その他担保		7,779	1,126	363	-23	-54	-272
無担保		149,879	6,401	2,688	-131	-212	-1,235
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記17	421	-	-	-	-	-
債券及びその他利付証券	注記17	9,016	-	-	-2	-	-
合計		2,817,860	64,400	7,421	-399	-693	-2,093
オフバランスシート項目							
偶発債務	注記G43	406,024	9,477	336	-109	-144	-91
うち、保証コミットメント		70,375	1,265	116	-9	-10	-39
住宅用不動産 ¹		4,242	87	8	-5	-1	-3
その他の不動産		1,216	66	3	-1	-1	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		1,831	69	10	0	0	-
自己の債務の担保として差し入れた保証		1,778	90	0	0	0	-
金融担保		959	83	5	0	-1	-
資産担保		-	-	-	-	-	-
その他担保		805	77	28	0	-2	-17
無担保		59,544	793	62	-3	-5	-19
うち、債務		335,649	8,212	220	-100	-134	-52
住宅用不動産 ¹		95,531	937	31	-15	-5	-13
その他の不動産		56,618	1,527	15	-7	-14	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		31,967	392	-	0	0	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		4,522	187	0	-1	-1	-
金融担保		14,079	366	-	-1	-4	-
資産担保		668	6	-	-1	0	-
その他担保		7,647	814	19	-11	-31	-3
無担保		124,617	3,983	155	-64	-79	-36
合計		406,024	9,477	336	-109	-144	-91
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計		3,223,884	73,877	7,757	-508	-837	-2,184

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
 3) 政府保証を含まない。

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別、2020年

		2020年					
		総額			引当金		
百万スウェーデン・クローネ		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		397,642	-	-	0	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		397,642	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他の貸出金	注記G14	21,326	-	-	-	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		21,326	-	-	-	-	-
その他金融機関への貸出金	注記G15	21,911	17	-	-2	-6	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		362	3	-	-	-	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		978	-	-	-	-	-
無担保		20,571	14	-	-2	-6	-
一般顧客への貸出金	注記G16	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238
住宅用不動産 ²		1,654,107	26,285	1,985	-109	-128	-376
その他の不動産		312,690	34,317	1,214	-81	-369	-358
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		48,392	1,062	317	-2	-3	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		7,237	239	8	-3	-6	-
金融担保		12,803	471	2	-3	-3	-
資産担保		22,644	1,815	45	-37	-66	-18
その他担保		9,333	1,740	449	-21	-77	-301
無担保		122,477	10,455	2,982	-129	-182	-1,185
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記17	1,181	-	-	0	-	-
債券及びその他利付証券	注記17	7,964	-	-	-2	-	-
合計		2,639,707	76,401	7,002	-389	-840	-2,238
オフバランスシート項目							
偶発債務	注記G43	391,266	10,743	433	-90	-157	-119
うち、保証コミットメント		77,829	1,910	156	-8	-16	-70
住宅用不動産 ¹		4,387	87	9	-5	-2	-3
その他の不動産		1,380	136	12	-	-1	-5
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		1,762	101	20	-	-2	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		2,780	78	1	-	-1	-
金融担保		1,088	107	6	-	-1	-
資産担保		-	-	-	-	-	-
その他担保		819	179	26	-	-2	-14
無担保		65,613	1,222	82	-3	-7	-48
うち、債務		313,437	8,833	277	-82	-141	-49
住宅用不動産 ¹		85,050	335	7	-5	-2	-
その他の不動産		48,196	1,515	113	-5	-18	-4
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		32,753	144	-	-	-1	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		2,874	290	-	-1	-6	-
金融担保		8,858	75	-	-1	-1	-
資産担保		445	10	-	-1	-	-
その他担保		8,879	1,289	32	-11	-44	-8
無担保		126,382	5,175	125	-58	-69	-37
合計		391,266	10,743	433	-90	-157	-119
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計		3,030,973	87,144	7,435	-479	-997	-2,357

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
 3) 政府保証を含まない。

信用リスクの集中

ハンデルスバンケンの支店は、健全な信用力を有する優良顧客と長期的な関係を築くことに大きな重点を置いている。支店は優良顧客を見出した場合、その顧客が属するセクターに対する当行全体のエクスポージャーの大きさに拘わらず、この顧客と取引を行うことができる。その結果、当行の取引は相対的に特定のセクターに集中する傾向がある。しかしながら、当行は信用ポートフォリオのパフォーマンスと質を監視し、様々な事業セクターや地域に対する集中を算定している。当行はまた、主要な個々の取引相手に対するエクスポージャーを測定し監視している。当行はまた、信用リスク評価を補完するために、個々の取引相手に対する最大信用エクスポージャーを制限する特別な限度額も適用している。リスクの増加が想定される特定のセクターや取引相手に信用ポートフォリオが集中している場合には、この集中が監視される。集中リスクは当行の信用リスクに対する経済資本の算定や自己資本充実度の内部評価で実施されるストレス・テストに加え、当行のリスク許容度に関するフォローアップの一環として特定される。信用ポートフォリオにおけるリスクの集中に関し、第二の柱に基づき、スウェーデン金融監督庁も別途、所要自己資本を計算している。これにより、ハンデルスバンケンは、リスクの集中も考慮した十分な資本を有していることを確認している。リスクの集中が過剰であると判断される場合には、当行は様々なリスク軽減策を用いてリスクを軽減する機会及び能力がある。

住宅ローン及び住宅協同組合への貸付に加え、ハンデルスバンケンは不動産管理部門に関してかなりの貸付業務を行っており、その金額は 677(635)十億スウェーデン・クローネである。ここでの不動産管理部門とは、リスク評価上「不動産会社」として分類されているすべての会社を指す。他の業界で事業を行っている企業グループの不動産管理子会社が、当該企業グループの事業不動産を管理することは一般的に行われているが、そうした不動産会社もここでは不動産管理部門に属しているとみなされる。但し、取引相手の返済能力は不動産管理以外の事業活動によって決定されるため、そうした場合に存在する信用リスクは、不動産関連のリスクのみではない。さらに、相当な不動産を保有している個人について、リスク評価では不動産会社として分類される。

不動産貸出の大半は、借入金比率 (LTV) の低い不動産抵当貸付で構成されており、当行の信用損失リスクを軽減する。さらに、不動産貸出の大部分は、借手のキャッシュ・フローが堅調であり、信用力が非常に高い、国有の不動産会社、地方自治体所有の住宅会社及びその他の住宅関連会社向けである。したがって、不動産部門への貸出の大部分は、返済困難に陥る確率が非常に低い会社に対する貸出である。当行の不動産セクターに対するエクスポージャーは、下表に明記されている。

当行においてリスク区分が5 (正常リスク) よりも低い格付の不動産関連の取引相手に対するエクスポージャーは非常に低いものになっている。スウェーデンにおける不動産貸出全体の98(99)%は、リスク区分が5以上の水準となっている。不動産貸出に占めるリスク区分が5以上のエクスポージャーは、ノルウェー99(99)%、デンマーク98(98)%及びフィンランド97(98)%となっている。英国及びオランダに関する所要自己資本は、所定のリスク加重を用いる標準的手法を用いて計算されており、リスク区分は所要自己資本の算定とは関連していない。リスク区分が正常よりも低い水準にある取引相手のうち、大半がリスク区分6及び7に属しており、ごく一部がより高いリスク区分である8及び9に属している。ハンデルスバンケンのリスク区分に関する情報については、注記G2「信用リスクに関する所要自己資本の算定」セクションを参照のこと。

ここ数年でのハンデルスバンケンによる不動産会社に対する貸付は、支店網の拡充に伴い当行の英国における与信額が大幅に増加したことによっても増加した。この増加の大半は、不動産関連の与信業務によるものである。ハンデルスバンケンは、英国において返済能力、LTV及び担保の質に関する評価において、他市場と同様に厳密な要件を設けている。

表AR:12 減損テスト対象の一般顧客への貸出金、 - 不動産管理

一般顧客への貸出金、不動産管理 2021年	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	7,894	14	-	0	0	-	7,908
地方自治体が所有する不動産会社	8,174	160	-	0	0	-	8,334
住宅用不動産会社	128,135	1,713	43	-5	-5	-7	129,874
うち、住宅抵当ローン	115,843	1,613	18	-4	-4	-4	117,462
その他の不動産管理	119,415	12,676	250	-11	-57	-101	132,172
うち、住宅抵当ローン	63,522	3,130	21	-3	-8	-3	66,659
合計	263,618	14,563	293	-16	-62	-108	278,288
スウェーデン国外における貸出金							
英国	141,682	7,216	758	-38	-57	-66	149,495
ノルウェー	120,215	7,101	41	-21	-57	-3	127,276
デンマーク	23,186	594	99	-7	-13	-25	23,834
フィンランド	42,929	2,700	532	-5	-14	-30	46,112
オランダ	50,956	516	-	-9	-3	-	51,460
その他諸国	837	14	11	0	-1	-5	856
合計	379,805	18,141	1,441	-80	-145	-129	399,033
一般顧客への貸出金に占める							
不動産管理合計	643,423	32,704	1,734	-96	-207	-237	677,321

上表の一般顧客への貸出金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

一般顧客への貸出金、不動産管理 2020年	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	7,895	14	-	0	0	-	7,909
地方自治体が所有する不動産会社	7,635	-	-	0	-	-	7,635
住宅用不動産会社	124,320	1,274	57	-5	-8	-47	125,591
うち、住宅抵当ローン	113,335	1,107	12	-4	-6	-6	114,438
その他の不動産管理	118,593	10,026	218	-20	-101	-86	128,630
うち、住宅抵当ローン	63,899	1,920	29	-3	-12	-10	65,823
合計	258,443	11,314	275	-25	-109	-133	269,765
スウェーデン国外における貸出金							
英国	127,793	10,051	622	-37	-76	-107	138,246
ノルウェー	105,806	7,731	61	-16	-56	-4	113,522
デンマーク	21,133	2,087	125	-7	-14	-34	23,290
フィンランド	42,328	1,684	577	-3	-9	-47	44,530
オランダ	42,742	498	-	-8	-2	-	43,230
その他諸国	2,238	10	14	0	-1	-3	2,258
合計	342,040	22,061	1,399	-71	-158	-195	365,076
一般顧客への貸出金に占める 不動産管理合計	600,483	33,375	1,674	-96	-267	-328	634,841

表AR:13 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、担保の種類及び国別（総額）

一般顧客への貸出金 の内訳 - 不動産管理 担保の種類及び 国別	2021年					2020年				
	貸出金	国 及び地方 自治体 ¹	住宅用 不動産	商業用 不動産 及び その他の 担保	無担保	貸出金	国 及び地方 自治体 ¹	住宅用 不動産	商業用 不動産 及び その他の 担保	無担保
百万スウェーデン・ クローネ										
スウェーデン	278,474	17,310	150,555	98,134	12,475	270,032	16,324	146,083	101,866	5,759
英国	149,656	10	85,934	63,287	425	138,466	9	71,953	66,197	307
ノルウェー	127,357	25	22,599	97,482	7,251	113,598	23	20,557	85,723	7,295
デンマーク	23,879	-	14,731	8,843	305	23,345	-	14,135	8,857	353
フィンランド	46,161	25,966	6,722	13,244	229	44,589	23,110	7,368	13,573	538
オランダ	51,472	-	35,925	15,317	230	43,240	-	27,959	14,212	1,069
その他諸国	862	-	479	352	31	2,262	447	708	506	601
合計	677,861	43,311	316,945	296,659	20,946	635,532	39,913	288,763	290,934	15,922

1) 政府及び地方自治体、又は政府及び地方自治体が保証する不動産融資が保有する企業

上表の一般顧客への貸出金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

表AR:14 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別、2021年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
1	15,300	-	818	22	13,044	-	-	29,184	4.31
2	86,418	-	29,492	1,026	7,428	-	-	124,364	18.35
3	114,156	-	61,254	10,740	13,427	-	-	199,577	29.44
4	36,186	-	25,665	9,534	7,229	-	-	78,614	11.60
5	19,278	-	8,892	2,085	3,638	-	-	33,893	5.00
6	5,010	-	797	96	465	-	-	6,368	0.94
7	533	-	353	239	231	-	-	1,356	0.20
8	96	-	7	12	41	-	-	156	0.02
9	71	-	36	18	12	-	-	137	0.02
デフォルト	294	-	41	99	532	-	-	966	0.14
標準的手法	1,132	149,656	2	8	114	51,472	862	203,246	29.98
合計	278,474	149,656	127,357	23,879	46,161	51,472	862	677,861	100

上表の一般顧客への貸出金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別、2020年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
1	15,390	327	772	12	12,562	-	-	29,063	4.57
2	79,954	18,556	19,972	1,259	7,775	-	3	127,519	20.06
3	113,753	52,180	57,077	8,634	10,505	-	-	242,149	38.10
4	36,228	49,852	25,928	11,030	9,731	-	-	132,769	20.89
5	20,985	14,351	8,395	1,835	2,701	-	-	48,267	7.60
6	1,451	1,899	1,157	138	257	-	-	4,902	0.77
7	473	279	164	283	100	-	-	1,299	0.20
8	215	16	23	1	33	-	-	288	0.05
9	185	-	42	25	105	-	-	357	0.06
デフォルト	274	622	60	125	577	-	-	1,658	0.26
標準的手法	1,124	384	8	3	243	43,240	2,259	47,261	7.44
合計	270,032	138,466	113,598	23,345	44,589	43,240	2,262	635,532	100

表AR:15 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2021年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		政府及び地方自治体からの				
		住宅用不動産	商業用不動産	保証 ¹	その他の担保	無担保
1	29,184	8,013	3,039	17,089	262	781
2	124,364	58,878	46,589	12,634	1,223	5,040
3	199,577	86,467	95,579	7,231	744	9,556
4	78,614	30,676	41,304	4,294	219	2,121
5	33,893	9,320	20,671	1,374	622	1,906
6	6,368	489	5,442	351	17	69
7	1,356	455	864	7	6	24
8	156	41	113	-	0	2
9	137	38	68	-	7	24
デフォルト	966	229	364	321	15	37
標準的手法 ¹	203,246	122,339	78,609	10	902	1,386
合計	677,861	316,945	292,642	43,311	4,017	20,946

上表の一般顧客への貸出金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保別、2020年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		政府及び地方自治体からの				
		住宅用不動産	商業用不動産	保証 ¹	その他の担保	無担保
1	29,063	9,555	3,262	15,283	251	712
2	127,519	62,540	46,543	12,800	1,320	4,316
3	242,149	111,830	121,069	4,151	629	4,470
4	132,769	57,887	65,805	5,736	472	2,869
5	48,267	15,040	30,685	1,021	442	1,079
6	4,902	1,741	2,887	164	30	80
7	1,299	486	758	-	8	47
8	288	57	226	-	1	4
9	357	94	228	4	6	25
デフォルト	1,658	567	597	305	19	170
標準的手法 ¹	47,261	28,966	15,221	449	475	2,150
合計	635,532	288,763	287,281	39,913	3,653	15,922

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

信用リスクに関する所要自己資本の算定

リスク格付制度

信用リスクに対する所要自己資本は、欧州委員会委任規則575/2013（CRR）に従い標準的手法及びIRB手法に基づいて算定される。標準的手法では、信用リスクの所要自己資本の算定に用いるリスク加重が同規則に定められている。これに対し、IRB手法では金融機関が所要自己資本の算定に際して自行のIRBモデルを使用することでリスク・パラメータを見積もる。IRB手法を適用する際には、基礎的手法と先進的手法という二つの異なる手法がある。基礎的手法は同規則に定められているLGD（デフォルト時損失率）や掛目（CCF）を用いる。CCFは未使用の当座貸越契約枠やローン・コミットメント、保証等のオフ・バランスシート・コミットメントのエクスポージャー額の計算に用いられる。先進的手法では、PD、LGD、CCFはそれぞれ、内部IRBモデルを適用することにより計算される。ハンデルスバンケンの内部リスク格付制度（IRB手法）は、当行の信用リスクの分類及び定量化に対応するためのいくつかの異なるシステム、手法、プロセス及び手順より構成されている。

顧客の与信評価を行う際、顧客にはIRB手法で用いる格付等級に紐づけられた格付けが割り当てられる。

格付には、財務逼迫リスク（A）と、こうした逼迫に対する取引相手の経済的耐久力（B）という二つの側面があり、極めて低いリスクからきわめて高いリスクまでを5段階で評価している。

IRB手法の適用にあたって、この格付は各国政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャー（ソブリン・エクスポージャー）同様、法人及び機関に対するエクスポージャーに関しても、内部リスク区分に変換されている（A+B-1）。

リテール・エクスポージャーの格付は1から5までの5段階で構成され、法人エクスポージャーのようにリスク区分に直接転換されるわけではない。代わりに、異なるエクスポージャーが特定の要因に基づいて、いくつかのより小規模なグループに分類される。こうした要因には、与信の種類、取引相手の返済履歴のほか、複数の借手の有無などが含まれる。平均的なデフォルト確率は各小規模なグループについて算定され、これに基づき、グループごとに10段階のリスク区分のいずれかに分類される。個人向けエクスポージャーと中小企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている（どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている）が、原則は同じである。

IRB手法に用いられるリスク区分は、このように1から10までの段階に分類される。

当行のエクスポージャーの大半はリスク区分1 - 4に属し、これは、信用ポートフォリオの平均的なリスク水準が正常リスクとして評価されるレベルよりも著しく低いことを意味している。リスク区分5は正常リスクに相当し、リスク区分10は取引相手がデフォルト状態に陥っていることである。

このIRB手法は、業務における信用リスクを信頼性及び一貫性をもって測定するために使用される。

エクスポージャー区分

エクスポージャー区分は信用リスク算定に用いる手法により異なる。標準的手法で算定されるエクスポージャーは、17の異なるエクスポージャー区分に分類される。一方、IRB手法では7つのエクスポージャー区分が用いられる。

当行は信用リスクを算定する際、エクスポージャーの種類により異なる手法を用いる。IRB手法による全体のエクスポージャー区分は、ソブリン・エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、株式エクスポージャー及び証券化ポジションのエクスポージャーからなる。さらに、有形固定資産などの取引相手による行為が一切必要とされない非信用債務資産がある。

政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャーはソブリン・エクスポージャーに分類される。機関エクスポージャーは、銀行及びその他の金融機関並びに特定の投資会社に分類される取引相手に対するエクスポージャーをいう。

リテール・エクスポージャーには、個人及び中小企業の両方に対するエクスポージャーが含まれ、この場合の当行グループのエクスポージャー合計は5百万スウェーデン・クローネを超えないものとする。リテール・エクスポージャーは、不動産貸付エクスポージャーとその他のリテール・エクスポージャーの二つの小区分に分類される。

法人エクスポージャーは、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の法人、売上が50百万スウェーデン・クローネ超の企業、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の中小企業などの金融機関以外に対するエクスポージャーをいう。一般的な金融機関以外の企業とは別に、このエクスポージャー区分には保険会社、住宅共同組合のエクスポージャー及び「スペシャライズド・レンディング」形式によるエクスポージャーが含まれる。

株式エクスポージャーは、トレーディング勘定に含まれない当行の株式保有をいう。

標準的手法を用いる場合には、当行の資産は、国際開発銀行エクスポージャー、国際機関エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、不動産担保付エクスポージャー、デフォルトエクスポージャー、その他及び株式エクスポージャーのエクスポージャー区分に分類される。

表AR:16 リスク区分別信用リスクのエクスポージャー

リスク区分別 信用エクスポージャー、 2021年	貸借対照表項目						オフバランスシート項目		
	一般顧客へ の貸出金	その他 金融機関へ の貸出金	現金及び 中央銀行 預け金	中央銀行へ のその他 の貸出金	デリバ ティブ商品	利付証券	偶発債務	債務	合計
百万スウェーデン・クローネ									
リスク区分									
1	547,778	61	439,904	1,462	8,636	101,489	5,547	56,348	1,161,225
2	622,873	17,553	-	-	9,599	27,788	25,869	126,583	830,265
3	563,523	1,221	60	-	4,718	2,194	16,030	148,583	736,329
4	218,567	15	-	-	1,818	-	17,259	41,238	278,897
5	70,963	1	-	-	508	-	3,818	29,692	104,982
6	18,037	29	-	-	20	-	198	5,744	24,028
7	22,310	-	-	-	6	-	251	5,420	27,987
8	2,223	-	-	-	-	-	37	4,745	7,005
9	7,084	-	-	-	-	-	36	2,487	9,607
デフォルト	3,814	-	-	-	-	-	62	215	4,091
標準的手法 ¹	336,657	2,958	-	-	3,213	2,425	2,649	65,462	413,364
合計	2,413,829	21,838	439,964	1,462	28,518	133,896	71,756	486,517	3,597,780

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。

注記G13を参照のこと。

リスク区分別 信用エクスポージャー、 2020年	貸借対照表項目						オフバランスシート項目		
	一般顧客へ の貸出金	その他 金融機関へ の貸出金	現金及び 中央銀行 預け金	中央銀行へ のその他 の貸出金	デリバ ティブ商品	利付証券	偶発債務	債務	合計
百万スウェーデン・クローネ									
リスク区分									
1	479,918	5,068	396,840	21,326	3,295	106,022	7,041	53,056	1,072,566
2	590,700	13,404	762	-	8,747	21,528	28,595	136,432	800,168
3	587,579	465	40	-	4,272	15,173	18,215	129,448	755,192
4	285,396	38	-	-	2,686	-	16,349	60,683	365,152
5	103,797	37	-	-	414	-	5,383	35,281	144,912
6	24,293	7	-	-	234	-	752	8,371	33,657
7	22,536	1	-	-	20	-	130	5,076	27,763
8	2,090	-	-	-	4	-	77	4,190	6,361
9	9,525	-	-	-	-	-	69	2,674	12,268
デフォルト	3,914	-	-	-	-	-	73	333	4,320
標準的手法 ¹	159,864	2,900	-	-	10,942	976	3,211	27,880	205,773
合計	2,269,612	21,920	397,642	21,326	30,614	143,699	79,895	463,424	3,428,132

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

リスク分類方法

当行は、信用リスクを定量化するために、デフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）、デフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）を算定している。借手が重要な支払を90日超延滞している場合、又は借手が当行に対する債務を履行する可能性が低いと当行がみなす場合に、デフォルト（債務不履行）が発生したと考えられる。PD値はパーセントで表され、例えば、PD値が0.5%である場合は、PD値が同一である200人のうちの1人の借手が、1年以内にデフォルトに陥ると予想されることを意味する。

取引相手に対して用いられる事業評価テンプレートに基づき、法人エクスポージャーは4つの取引相手区分に、ソブリン・エクスポージャーは2つの取引相手区分に分類される。PDは、リスク区分及び取引相手の分類別にそれぞれ算定される。デフォルト時損失率（LGD）及び掛目（CCF）の自行推計値を用いないIRB手法に従って自己資本を算定する必要があるエクスポージャーについては、LGDに規定値を適用する。ここで使用される可能性のある規定値は、各エクスポージャーに対して差し入れられた担保によって決定されている。

リテール・エクスポージャーにも同様に、リスク区分ごとに平均デフォルト率が算定されている。個人向けエクスポージャーと中小規模企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている（どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている）が、原則は同じである。

リテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する法人エクスポージャーについては、自行の損失実績を用いてLGDを算定する。LGD及びCCFの自行推計値を用いるIRB手法を使用して自己資本比率を算定する必要がある大企業に対するエクスポージャーについては、内部損失及び外部の観察可能な指標に基づいてLGDが算定される。スウェーデンの不動産担保が付されているリテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合（法人）に対する不動産エクスポージャーについては、当該担保価値に対する借入金比率に応じて、異なるLGD値が適用される。その他のエクスポージャーについては、LGD値は担保の有無、担保価値、商品の種類及び類似する要因に基づいて決定される。

エクスポージャーの各区分に関しては、債務不履行に陥っていない取引相手又は契約のリスク区分のそれぞれについてPDが算定されている。PDは、エクスポージャーの異なる種類別の過去のデフォルト確率に基づいて算定される。その後、平均デフォルト確率は、様々な保守的に加えるマージンを使用して調整される。

2017年にハンデルスバンケンは、IRB手法の対象企業に対し、新たなPDモデルを用いることを許可された。当モデルは、リスク区分とポートフォリオ別に見た過去のデフォルト頻度に基づくものである。各ポートフォリオの推計PDは、当行の内部データ及び外部信用格付機関などの他の情報源からのデータに加え、5年間のうち1年間の景気後退期を含む景気循環の周期に基づいており、スウェーデン金融監督庁が定めるとおり、1990年台のスウェーデンの銀行危機を織り込んだものである。これらの推計には保守的に大幅なマージンが加えられ、ポートフォリオのPDは、年ごとに変動しないことが見込まれている。リスク区分別の推計は、当行の内部貸倒データ、及び異なるリスク区分間のデフォルト確率（PD）の関係性を決定するモデルに基づいている。その後、各ポートフォリオのPD合計値がポートフォリオPDの推計と一致するようにマージンが加算される。これは、ポートフォリオのPDが変動しない場合でも、カウンターパーティが時間の経過に伴いリスク区分間を移動する可能性があることから、リスク区分毎のPDは時間の経過とともに変動する可能性があることを意味している。

LGDを算定する際のリスク尺度は、経済的に不利な状況における損失率（「景気後退期を勘案したLGD」として知られている）を反映しなければならない。不動産担保の場合、この景気後退期を勘案したLGDは1990年代初頭の不動産危機によって生じた損失に基づいて算定されている。リテール・エクスポージャーに関するその他の担保について、このLGDはPD及び商品の種類ごとの要因に応じて景気後退を勘案して調整される。自行推計のLGDとCCFを用いるIRB手法で算定する法人エクスポージャーに関しては、LGDが景気後退を勘案して調整されるため、1991年から1996年にかけての景気後退期における当行の損失が考慮に入れられている。不動産担保付きエクスポージャーのLGDは、多くの場合、当該不動産の借入金比率に基づき見積もられる。不動産価値及びその

影響により借入金比率も通常景気循環とともに変動するため、自己資本比率もある程度の景気循環との相関関係を持つことになる。

表AR:17 減損テスト対象の貸借対照表項目、リスク区分別

減損テスト対象の貸借対照表項目、 リスク区分別、2021年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	853,060	1,897	-	-4	-3	-
2	660,621	5,649	-	-24	-9	-
3	569,652	3,816	-	-44	-11	-
4	215,350	5,141	-	-71	-21	-
5	53,929	17,807	-	-78	-186	-
6	12,530	5,643	-	-26	-61	-
7	17,647	4,776	-	-10	-97	-
8	400	1,919	-	-2	-94	-
9	3,854	3,300	-	-18	-52	-
デフォルト	-	-	5,641	-	-	-1,827
標準的手法 ¹	430,817	14,452	1,780	-122	-159	-266
合計	2,817,860	64,400	7,421	-399	-693	-2,093

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。

注記G13を参照のこと。

減損テスト対象の貸借対照表項目、 リスク区分別、2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	841,863	2,045	-	-5	-3	-
2	630,307	3,783	-	-24	-6	-
3	607,480	4,462	-	-46	-10	-
4	278,936	9,312	-	-97	-30	-
5	74,216	30,500	-	-99	-243	-
6	14,688	10,059	-	-33	-181	-
7	17,129	5,562	-	-10	-124	-
8	624	1,528	-	-3	-55	-
9	4,367	5,285	-	-21	-106	-
デフォルト	-	-	5,993	-	-	-2,079
標準的手法 ¹	170,097	3,865	1,009	-51	-82	-159
合計	2,639,707	76,401	7,002	-389	-840	-2,238

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

表AR:18 減損テスト対象の一般顧客への貸出金、リスク区分別

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、 リスク区分別、2021年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	545,888	1,897	-	-4	-3	-
2	617,255	5,649	-	-22	-9	-
3	559,761	3,816	-	-43	-11	-
4	213,518	5,141	-	-71	-21	-
5	53,419	17,807	-	-78	-185	-
6	12,481	5,643	-	-26	-61	-
7	17,641	4,776	-	-10	-97	-
8	400	1,919	-	-2	-94	-
9	3,854	3,300	-	-18	-52	-
デフォルト	-	-	5,641	-	-	-1,827
標準的手法 ¹	320,979	14,442	1,780	-121	-157	-266
合計	2,345,196	64,390	7,421	-395	-690	-2,093

上表の一般顧客への貸出金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、 リスク区分別、2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	477,881	2,045	-	-5	-3	-
2	586,946	3,782	-	-22	-6	-
3	583,172	4,462	-	-45	-10	-
4	276,211	9,312	-	-97	-30	-
5	73,634	30,500	-	-99	-238	-
6	14,448	10,059	-	-33	-181	-
7	17,109	5,561	-	-10	-124	-
8	620	1,528	-	-3	-55	-
9	4,367	5,285	-	-21	-106	-
デフォルト	-	-	5,993	-	-	-2,079
標準的手法 ¹	155,295	3,850	1,009	-50	-81	-159
合計	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

表AR:19 減損テスト対象のオフバランスシート項目、リスク区分別

減損テスト対象の オフバランスシート項目 リスク区分別、2021年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	44,810	387	-	-1	-1	-
2	103,835	544	-	-5	-1	-
3	111,041	290	-	-9	-1	-
4	41,445	1,629	-	-16	-6	-
5	22,903	2,133	-	-29	-29	-
6	5,575	330	-	-5	-9	-
7	4,880	768	-	-5	-22	-
8	3,756	964	-	-3	-34	-
9	2,318	170	-	-4	-11	-
デフォルト	-	-	268	-	-	-89
標準的手法 ¹	65,746	2,262	68	-32	-30	-2
合計	406,310	9,477	336	-109	-144	-91

減損テスト対象の オフバランスシート項目、 リスク区分別、2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	43,265	170	-	-1	0	-
2	115,428	675	-	-6	-2	-
3	102,844	719	-	-8	-1	-
4	54,880	1,035	-	-17	-2	-
5	25,923	4,826	-	-23	-45	-
6	7,601	1,501	-	-6	-24	-
7	4,569	609	-	-3	-19	-
8	3,886	350	-	-1	-17	-
9	2,437	278	-	-2	-19	-
デフォルト	-	-	402	-	-	-117
標準的手法 ¹	30,432	580	31	-23	-28	-2
合計	391,266	10,743	433	-90	-157	-119

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

デフォルト時エクスポージャー（EAD）が算定される場合、帳簿価額に対して一定の調整が行われる。例えば、顧客が将来において一定金額まで借入れを行うことを当行との間で合意しているローン・コミットメントやリボルビング・クレジット等である。このようなコミットメントは、十分な資本によってカバーされなければならない信用リスクに含まれる。一般的にこれは、付与された与信枠のうちの報告時点では未使用の部分が一定の掛目（CCF）を用いて調整されることを意味する。法人エクスポージャー及び機関エクスポージャーに関する特定の商品カテゴリーについて、掛目（CCF）は規制によって決定されるが、リテール・エクスポージャー並びに大企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合の特定の商品区分に関しては、当行は独自に算定した掛目（CCF）を用いている。ここで掛目（CCF）に主に影響するのは商品であるが、利用水準も関連する可能

性がある。IRB手法における株式エクスポージャーの所要自己資本は、簡便なリスク加重手法に従い算出されている。

リスク・パラメーター（PD、EAD、LGD）は、自己資本比率の計算だけでなく、個々の取引の資本コスト及び経済資本（以下、「EC」という。）の算定にも用いられる。

外部格付との比較

当行のリスク区分は外部信用格付機関が採用する格付とは直接比較することができない。外部格付機関の格付は、当行の格付モデルが実施しているような、取引相手先の債務不履行に陥る可能性を直接分類したものと一致していない。また、外部格付機関が債務不履行がもたらす損失の深刻さを織り込む程度はさまざまである。当行が信用度を評価する対象期間は、信用格付機関が用いる対象期間と同一であるとは限らない。当行のリスク区分は一貫したスケールによるわけではなく、特定のリスク区分は特定のデフォルト確率と常に一致している。また異なるPDのスケールが信用ポートフォリオの異なる部分に適用されるほか、PD値は経年変化する。

一般的に、内部リスク区分を明確かつ一貫性を持って外部格付に変換することは不可能である。しかし、格付機関Moody'sの外部格付区分のデフォルト確率と、ハンデルスバンケンのリスク区分における過去のデフォルト確率を比較分析することにより、明確な比較対照表を入手し得る。

信用リスクモデルの品質管理

当行はリスク格付システムを毎年レビューしている。このレビューでは、当行のリスク格付の根拠となる内部格付が、一貫して正確にかつ目的に適合した方法で用いられ（評価）、また使用されたモデルが満足の行く方法でリスクを測定している（検証）ことを確認する。

予想信用損失の算定

IFRS第9号で示された減損に関する規則は、償却原価で計上される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で計上される金融資産、並びに金融保証及び取消不能のコミットメントに適用されている。本セクションでは、ハンデルスバンケンの予想信用損失（ECL）引当金に関するモデルベースの算定に用いるプロセスと手法を説明している。

予想信用損失の推計は債権レベルで行われ、債権とカウンターパーティの性質が引当必要額の分類と定量化に決定的な影響を与える。推計はモデルベース、マニュアルによる算定のいずれかにより行われ、手法の選択は主に、債権が信用減損しているとみなされているか否かにより決定する。

予想信用損失の認識と測定に関する情報と定義については、注記G1及びセクション10「信用損失」を参照のこと。

ステージ1及びステージ2債権に対するモデルベースの算定

モデルベースの予想信用損失の算定におけるハンデルスバンケンのグループ規模の中央集権的なプロセスは、ステージ1及びステージ2債権の引当必要額の定量化に対応する、多くの異なるプロセスと手法を組み込んでいる。

このモデルベースの算定は、過去と現在に加え将来予測的なデータを織り込んでいる。過去データは用いられるモデル構築とパラメーター設定の基礎となり、現在データは報告日現在の公表済の残高データ（算定要件に含まれる通り）、将来予測的なデータは将来のリスク・パラメーター及びエクスポージャーの算定に用いられるマクロ経済シナリオである。

このモデルはIRBモデルと同じ過去のリスクデータを用いており、これは引当金の会計処理と自己資本比率の算定が同一の基礎的な損失実績に基づくことを示している。リスク格付制度が自己資本比率の算定に与える影響と同様に、（リスク格付が導出される）内部格付は予想信用損失算定モデルの重要な一部分である。予想信用損失の算定は、主にデフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）及び、デフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）というリスク・パラメーターの影響を受ける。将来の予想信用損失は、EADの現在価値にPD及びLGDを乗じて算定される。リスク・パラメーターであるPD、EAD、LGDを用いる自己資本比率規制における信用損失の算定とは異なり、IFRS第9号に基づく予想信用損失の推計は現在の将来予測的な評価に基づいている。規制の目的はそれぞれ異なるため、算定モデルもリスク・パラメーターの設定手法や構築手法の点で異なっている。IFRS第9号及びIRB手法の主な相違点については、表AR:20「IFRS第9号とIRB手法の相違点」を参照のこと。

マクロ経済関連情報

信用リスクの著しい増大と予想信用損失のモデルベースの評価は、モデルに個々のリスク・パラメーター（PD、EAD及びLGD）を適用して算定される。この算定が非線型的な側面を考慮するよう確実にするため、モデルには3つの将来予測なマクロ経済シナリオ（基本（中立）シナリオ、上方シナリオ、下方シナリオ）が用いられる。各シナリオには各国別の失業率、国内総生産（GDP）、不動産価格、主要行又は中央銀行の基準金利、インフレ率をはじめとする重要なマクロ経済上のリスク要因が含まれる。重要なマクロ経済上のリスク要因は当行の過去データを評価して特定され、リスク・パラメーターとの関連性は同じ過去データを用いて見積もられる。適用されるリスク・パラメーターの調整にはさまざまなシナリオが用いられる。それぞれのマクロ経済シナリオには当行が決定する（発生）確率が当てられている。これらの確率は現在、基本（中立）シナリオが70%（70%）、上方シナリオが15%（15%）及び下方シナリオが15%（15%）となっている。予想信用損失は各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として認識される。

マクロ経済シナリオは全て当行の経済調査部署により作成され、同部署が社内外の使用を問わず、ハンデルスバンケンが公表するすべての経済分析の責任を負う。これらのマクロ経済シナリオは、世界経済の予測に加え、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマーク、英国、ユーロ圏諸国、米国の各地域固有の30年予測から構成される。マクロ経済シナリオの変更や用いられる確率加重の変更は、信用リスクの著しい増大の評価や予想信用損失の推計に大きな影響を与える。各シナリオは当行の経済調査部署により四半期ごとに更新され、ECL算定に用いる前に関連意思決定者に提出され承認を得る。

ポートフォリオの分類

モデルベースの評価には統計モデルが用いられる。これらの統計モデルはポートフォリオの異なる分類のために開発されたもので、各分類は類似したリスク・エクスポージャーから構成され、共通したリスク要因の組合せを基にリスク・パラメーターが見積もられる。リテール・エクスポージャーのポートフォリオは商品の種類に基づいて分類され、他のエクスポージャーはカウンターパーティの種類に基づいて分類される。この分類は統計分析と専門家による評価を基に行われている。リテール・エクスポージャーについては、ポートフォリオは以下の9つの区分、すなわち住宅不動産担保個人向けエクスポージャー、個人及び中小企業向けのクレジットカード・エクスポージャーを含むリボルビング・クレジット、個人及び中小企業向けのその他のエクスポージャー、個人及び中小企業向けのクレジットカード金融、個人及び中小企業向けの割賦販売金融に分類される。他のエクスポージャーは、不動産会社、住宅協同組合、他の大手非金融会社、他の非金融会社、金融会社・銀行及び政府の6つの区分に分類されている。

個々のポートフォリオの区分内で、内部格付、返済履歴、国との関連、担保の種類、借入金比率などのリスク要因に基づき、債権は異なる状況に応じてさらに細分化される。これらの状態は過去の結果に係る統計分析

に基づいて決定されている。デフォルト率 (PD)、デフォルト時損失率 (LGD)、デフォルト時エクスポージャー (EAD) などのリスク・パラメーターの将来予測的な確率を算定するため、すべての状態について、統計モデルが状態間の遷移に用いられる。これらの状態に関する重要なリスク要因の一つにカウンターパーティの内部格付がある。これは与信の決定時に与えられ、最低でも毎年、カウンターパーティの返済能力に変化の兆候がある場合はいつでも更新される。気候関連リスク及び特定の他の環境リスクは与信プロセスで評価され、取引相手先レベルの内部格付に影響を及ぼす。これらの状態には、「非デフォルト」エクスポージャー、「デフォルト」エクスポージャー、及び「早期償還」エクスポージャーがある。リテール・エクスポージャーは9つの異なる状態に、他のエクスポージャーは12の状態に分類される。

信用リスクの著しい増大

信用リスクの著しい増大は、デフォルトリスクを反映したもので、当初認識時以降の債権の信用リスクの相対的变化により測定される。信用リスクの著しい増大を算定するために、ハンデルスバンケンでは予想信用損失の算定に用いるのと同じ、過去、現在及び将来予測的な情報を考慮に入れた原モデルを用いている。この評価では担保は考慮されない。各報告日において、グループ規模の中央集権的なモデルベースのプロセスでは、全ての債権に対し、当初認識時（契約開始日）以降、信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。この評価によって、予想信用損失を報告日以降12ヶ月の期間で認識するか（ステージ1）、当該債権の残存期間（にわたって認識する（ステージ2））かが決定される。したがって、どのような要因と閾値がステージ1からステージ2への振替のトリガーとして定められているかが、信用損失引当金の規模に影響を与える重要なポイントになる。ステージ2への振替を決定付ける信用リスクの著しい増大に関する当行の定義は、定性的及び定量的双方の要因に基づいて決められている。

主に信用リスクの変化を評価するために用いられる定量的指標は、当該商品の当初認識時と直近の報告日までの当該債権の残存期間におけるデフォルト確率 (PD) の相対的変動である。金融商品の当初認識にあたりPDを確定するために非合理的な費用又は労力が必要とされた場合、当初認識以降のカウンターパーティ又は債権の内部格付若しくはリスク格付の変化が、信用リスクの著しい変化を評価するために用いられる。2018年1月1日以降に当初認識された債権について、デフォルトリスクに関する予測は3つのシナリオに基づく。2018年1月1日より前に認識された債権については、同じ分類が適用されるが、当初認識時に公表された当行の最新の経済分析に基づいたシナリオが用いられる。

債権に信用リスクの著しい増大が生じたとみられた結果、ステージ2へと振り替えるかを評価する際の最も重要な基準は、ハンデルスバンクンの定義では、報告日現在の残存デフォルト確率 (PD) の推計値が、当初認識時に算定したデフォルト確率を2.5倍上回るかどうかである。この2.5倍という閾値は当行の過去データの統計分析に基づくもので、カウンターパーティが債務不履行となる残存リスクの増大を、当該債権の当初認識時に見積もられたリスクと比較したものである。また、債権の返済が30日超延滞している、又はカウンターパーティの信用格付の悪化の結果、コンセッション（譲歩）が与えられているなど信用リスクの著しい増大を引き起こしていると当行が評価する他の定性的な要因がある。

当初認識時以降に信用リスクの著しい増大が生じた場合、残存期間全体の予想信用損失に相当する引当金が計上され、当該債権はステージ2に振り替えられる。このモデルは対称的であり、すなわち、当該金融商品の信用リスクが減少し、その結果当初認識以降信用リスクの著しい増大が認められなくなった場合、当該金融資産はステージ1に戻されることを意味している。

リスク・パラメーターのモデルと予想期間

リスク・パラメーターであるPD、LGD及びEADは、統計モデルに基づき、債権ごとに将来のある時点で算定される。これらのモデルは、可能な限り、当行の損失実績データで識別可能な重要なリスク要因と関連リスクの

結果との関係に基づいて策定されている。定量化されているリスク・パラメーターの大半は、約10年間にわたる内部データに基づいている。当行が、デフォルトがほとんど生じないことなどにより、十分な情報を入手できない場合には、このデータは外部情報で補完される。過去の結果は、商品の種類、内部格付、顧客との取引期間、担保の種類、借入金比率、失業率、GDP成長率などの債権特有、カウンターパーティ特有及び地域特有のリスク要因の共変動について分析が行われている。特定のリスク・パラメーターにとって重要であるとされるリスク要因は、モデルに含まれ、過去の相関関係が定量化されている。

デフォルト確率 (PD)

デフォルト確率 (PD) は資産の残存期間のある時点で、顧客又は債権が債務不履行に陥る確率をいう。12ヶ月PDは、今後12ヶ月の間に債務不履行が生じる確率であり、全期間PDは当該資産の残存期間 (最長30年まで) における債務不履行の発生確率である。将来PDは将来予測的なマクロ経済シナリオ並びに現在の債権及び取引相手の情報を用いた、報告日における予測である。デフォルトリスクの予測は、シナリオの策定と時間の経過に伴う異なる状況間の遷移確率を考慮に入れている。このモデルは毎年の遷移及び債務不履行の確率を算定するもので、これにより遷移モデルでは、当該債権が債務不履行リスクにより、将来的に特定の状況に属する確率を表す。特定年度における債権の予想PDは、全ての考え得る状況とシナリオを包含した確率加重PDとして算定される。残存期間の予想PDは、毎年のデフォルト予想と当該債権の期限前返済が行われる確率に基づく。各シナリオのマクロ経済上のリスク要因予想に基づく景気予測の悪化、又はマイナスシナリオの実現可能性の増大により、PDは上昇する。

デフォルト時エクスポージャー (EAD)

EADはデフォルト時の予想信用エクスポージャーをいう。報告日において、将来のデフォルト時エクスポージャーは、現在の返済計画や期限前返済の可能性に加え、クレジット・ファシリティ、金融保証やローン・コミットメントの引出可能性などに基づく予想である。EADは年次で予想され、将来のデフォルトに関連した損失額及び回収額から構成される。

予想期間

金融商品の予想期間は、予想残存期間に債務不履行に陥る可能性 (PD) を考慮した信用リスクの著しい増大の評価と、当該資産の予想残存期間における予想信用損失の測定の二つの評価に関連している。残存期間のPDを算定する際には、当該債権の契約期間における予想年間PD値を、当該債権がデフォルト前に早期償還されない確率と比較検討することによって、予想期間が考慮される。

表AR:20 IFRS第9号とIRB手法の相違点

リスク・パラメーター	IRB	IFRS第9号
デフォルト確率 (PD)	一つの景気循環における12ヶ月内の平均デフォルトリスク。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 自己資本規制上のデフォルト(債務不履行)の定義が、リテール・エクスポージャーでは債権レベル、他のエクスポージャーではカウンターパーティ・レベルで用いられる。	景気循環に左右される(「PIT」)12ヶ月内のデフォルトリスク。 全期間PDは当該債権の予想残存期間におけるデフォルトリスクをいう。 自己資本規制上のデフォルト(債務不履行)の定義が、リテール・エクスポージャーでは債権レベル、他のエクスポージャーではカウンターパーティ・レベルで用いられる。
デフォルト時損失率 (LGD)	長期間及び景気後退期における、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーに関する予想最大損失率。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 法人エクスポージャーの損失の定量化は、12ヶ月内の回収額及び残存準備金(リテール・エクスポージャーについては24ヶ月)に基づいている。	景気循環に左右されるデフォルト時エクスポージャーの予想損失率。 LGDは将来予測的なマクロ経済シナリオを基に調整される。
デフォルト時エクスポージャー (EAD)	長期間及び景気後退期における、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーの予想最大値。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。	景気循環に左右される12ヶ月内のデフォルト時予エクスポージャーの予想額。 EADは契約条件及び将来予測的なマクロ経済シナリオに基づいて調整される。
全期間	顧客による継続の選択肢を考慮に入れた、当該債権の契約上の満期。	予想される全期間。早期償還の可能性を考慮に入れた、当該債権の契約上の期限。
予想期間	12ヶ月	12ヶ月以内又は残存期間(ステージ1又はステージ2-3かによる)。
割引	予想損失額は報告日まで割り引かれない。回収率を算定する際、実際の回収額は平均資本コストを用いてデフォルト日まで割り引かれる。	予想損失額は、当該債権に係る当初報告日時点の実効金利を用いて割り引かれる。回収率を算定する際、実際の回収額は平均資本コストを用いてデフォルト日まで割り引かれる。
信用リスクの著しい増大	該当なし	報告日における債務不履行の現在残余リスクと当初報告日において算定された債務不履行の予想現在残余リスクの関係に基づく。
将来予測シナリオ	該当なし	将来予測的なリスク・パラメーター(PD、LGD、EAD)の算定は、ローカルのベースシナリオ(基本(中立)マクロ経済シナリオ)及び代替的な二つのローカルのマクロ経済シナリオ(上方シナリオ及び下方シナリオ)を用いる。
当初報告(計上)日	該当なし	当該債権の当初報告(計上)日

早期償還対象の当該債権の確率は、統計分析と過去約10年間にわたる当行の内部実績データに基づき、EADモデルの構成要素に含まれている。債権、カウンターパーティ及びマクロ経済上のリスク要因による潜在的なリスク要因は、統計分析で評価されている。重要と判断されるリスク要因は当該モデルに含まれている。いくつかのケースでは、カウンターパーティの種類と格付以外に、早期償還に関する重要なリスク要因は識別されていない。しかし、これらのリスク要因は将来予測的なマクロ経済シナリオによる影響を受ける。つまり、早期償還は間接的に将来予測的なマクロ経済シナリオに依拠することを意味している。

クレジットカードなどの満期のないリボルビング債権や固定金利期間が最長3ヶ月の住宅抵当ローンには、報告日から30年間の満期が用いられており、これは、予想期間が実際には行動ベースの統計モデルで定義されていることを意味している。

デフォルト時損失率 (LGD)

デフォルト時損失率 (LGD) は、デフォルトに際して当行が被ると予想される財務上の損失を表す。LGDを算出する際に最も重要なリスク要因は、担保価値とその種類及びカウンターパーティの性質である。将来予測的

なマクロ経済上のリスク要因は、担保価値及び借入金比率に与える影響を通じてLGDの算出に反映される。損失を定量化する場合、カウンターパーティが当行に財務上の損失を一切与えず立ち直る確率と、カウンターパーティが立ち直らない場合の回収率の二つに分別される。借入金比率が高ければ回収率は低下するという意味で、回収率は借入金比率の影響を受けている。担保の市場価値はLGDモデルの大半に織り込まれている。不動産の担保価値、そして借入金比率及び回収率は不動産の価格動向の影響を受けるため、不動産価値の下落が見込まれる場合は借入金比率とデフォルト時損失率も高まる可能性がある。

IFRS第9号とIRB手法の相違点

ハンデルスバンケンのIFRS第9号のモデルは当行のIRBモデルと同じ過去データ、及び同じ全体的なモデルベースの手法に基づき、PD、LGD及びEADというリスク・パラメーターを用いるものである。規則の目的はそれぞれ異なっていることから、リスク・パラメーターの設定方法や構築方法に関しては算定モデルによって異なる。このため場合によっては、IFRS第9号の要件を満たす別のモデルが導入されている。IFRS第9号とIRB手法の主な相違点は上表に示されている。

IFRS第9号モデルとモデルベースの算定の検証

これらに用いられるモデルとリスク・パラメーターは毎年検証され、モデルベースの算定が正確な予測を行っていること及び、予測と最新の結果の間の予想外の逸脱が特定されていることを確認している。検証はいくつかの集計レベルで行うほか、全ての重要なリスク・パラメーターと同時に、個別及び集計レベルの加重予想信用損失を対象とする。この検証はチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）、最高リスク責任者、及び最高財務責任者に報告される。

モデルの評価と検証に関する原則はグループ・リスク・コントロール部が決定し、モデル開発プロセスとは関係ない立場の人物が検証の実施やレビューを行う。2021年の検証では適用手法に関して発見事項があったが、それにより、計上された引当金に対し、これまで検討しなかった重要な影響が生じるとは考えられていない。この件については、2022年の検討課題として対応が行われる予定である。

ステージ3債権に関するマニュアルによる算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルによる算定を用いた減損テストが行われる（ステージ3に分類され、モデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオを除く）。この減損テストは、業務責任を有する当行の支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的実施されるほか、各報告日にも実施され、各県域又は国レベルの与信委員会又はグループ与信部により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延又は不払、内部格付の変更、若しくは借手の破産の可能性等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。取引相手の返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、二以上の予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割り引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

ガバナンスと内部統制

ステージ1及びステージ2債権の予想信用損失を算定する際に、ハンデルスバンケンでは内製した統計モデルを用いた、グループ規模の中央集権的なプロセスを用いる（モデルベースの算定）。ステージ3債権についてはマニュアルによる算定が行われる。以下は主にモデル算定による予想信用損失の引当金について述べたものである。このプロセスは多くの内部統制がカバーしており、それについても後述されている。また、このプロセスの様々な段階では異なる承認や採択が行われ、ガバナンス体制を構築しており、これについても後述されている。

報告における入力データの検証

各報告日において、予想信用損失の算定根拠となる情報の正確性及び網羅性がチェックされている。これは、配信元から取り込まれたデータの自動照合により行われている。さらに、システム上の残高を従前の報告日現在の計上残高と比較することにより、妥当性評価が行われている。最終的に用いられる残高が、次に総勘定元帳に計上された金額と照合される。

モデル

新しい定量的モデルがモデルシステム全体に含められる前に、バリデーション（妥当性検証）を行い、チーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）による使用承認を得なければならない。報告日にはこのモデルシステムしか算定に用いることはできず、これはつまり、承認を受けたモデルのみが使用可能であることを意味している。

予想信用損失の算定根拠となる定量的モデルには複数の仮定と評価が関わっている。マクロ経済上のリスク要因と過去データのリスク・パラメータとの関係性を定量化した結果が将来の事象を表しているという仮定や、債権の予想残存期間は過去の行動関連データに基づき得るという仮定などがその例である。これらの関係が気候関連リスクによる影響を受けるかどうか、モデル化作業において評価されている。報告日現在、特にこのような要因はモデルに含まれていないが、この問題は継続的に評価対象となっている。さらに、マクロ経済上のリスク要因が個々のリスク・パラメータの十分な根拠となるという前提に基づいて、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済リスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、説明力、安定性の間でバランスを取ることでより決定される。全ての仮定と裁量判断は最高与信責任者に報告され、承認を受ける。

モデルを用いたステージ1債権、ステージ2債権のエキスパート評価による算定、又はステージ3債権のマニュアルによる算定には、適用の前に最高与信責任者の承認が必要となる。

マクロ経済シナリオ

マクロ経済シナリオは、最高与信責任者の指示に基づき当行の経済調査部署により作成されている。この指示には、望ましいマクロ経済上のリスク要因、対象地域、シナリオ数とシナリオ別の確率加重値が含まれる。

各報告日の前に、最新のマクロ経済シナリオが最高与信責任者及び最高財務責任者に提出され、財務報告プロセスに用いるシナリオを承認する。承認されたマクロ経済シナリオは、財務報告のフローに自動的に読み込まれる。

引当金の規模

ステージ1及びステージ2債権の引当金見積額合計には、最高与信責任者及び最高財務責任者の承認が必要とされる。ステージ3債権の引当金見積額は業務責任を有する当行支店（顧客と与信の所管部署）により提出され、引当金の規模により県域又は国レベルの与信委員会又は本部の部署による承認を受ける。地域（ローカル）レベルで承認されたステージ3債権に係る引当金のうち、一部はその後、グループ与信部によるレビュー又は品質管理の対象となる。さらに、グループ・リスク・コントロール部は各報告日現在で、本部の承認を受けた信用引当金の一部について独立したレビューを提出している。

コントロール・ファンクションの役割

グループ・リスク・コントロール部は検証の原則を決定し、モデルが確実に検証されるようにしている。本部が承認したステージ3債権に対する引当金の一部について、報告日ごとに独立したレビューが実施される。グループ・リスク・コントロール部については77ページ及び82ページ（英文）に詳細が記載されている。グループ監査部は、内部のガバナンスと統制に関する独立した調査を行い、当行グループの財務報告の信頼性を評価するという業務の一環として、予想信用損失の推計の検証を行っている。グループ監査部については77ページ及び82-83ページ（英文）に詳細を示している。

カウンターパーティ・リスク

カウンターパーティ・リスクは、当行が取引相手との間でデリバティブ契約や有価証券の貸付契約を締結する場合に発生する。よってデリバティブに加え、自己資本比率規制は買戻取引及びエクイティ・ローンの双方をカウンターパーティ・リスクとして取り扱う。

自己資本比率及び経済資本（EC）の双方を算定するに当たり、自己資本比率規制に明記されているエクスポージャー金額に基づいて、カウンターパーティ・エクスポージャーが考慮される。ハンデルスバンケンは、自己資本の計算目的でデリバティブ契約に関するエクスポージャー金額を計算する際には標準的手法（以下、「SA CCR」という。）を適用している。カウンターパーティ・リスクは、その契約の市場価値によってエクスポージャーの規模が決まる場合には信用リスクとみなされる。その契約の価値が正の値である場合、取引相手のデフォルトは当行の潜在的損失を意味する。

カウンターパーティ・リスクの軽減

カウンターパーティ・リスクは、取引日から受渡しまでの間に発生し、取引相手がその義務を履行できない場合、当行は解約手数料を請求される可能性がある。このリスクはすべてのデリバティブ取引、及び当行が支払を確保していない有価証券取引に存在する。

カウンターパーティ・エクスポージャーの規模は、通常の与信プロセスにおいて与信限度額を設定することによって制限されている。当該エクスポージャーの規模は、原資産の価格変動により著しく変動する可能性がある。エクスポージャーの増加リスクに備えるため、与信限度額を設定する際に該当するエクスポージャーの価値に対して補完が行われる。当該エクスポージャーは日次で計算され、フォローアップされている。

デリバティブのカウンターパーティ・リスクは、クローズアウト・ネットリング契約を通じて軽減される。クローズアウト・ネットリング契約では、同一取引相手とのすべてのデリバティブ取引において、正の値と負の値が相殺される。ネットリング契約は、正味エクスポージャーに対して担保の取決めを設定するクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）で補完されており、信用リスクはさらに軽減されている。これらの取引に対する担保は主に現金であるが、国債も使用される。現金の割合が大きいため、担保におけるリスクの集中は限定的である。

ハンデルスバンケンの契約の大部分には、クローズアウト・ネットリングが含まれ、大口エクスポージャーの契約にはCSAも含まれている。

中央清算機関を通じて清算されるデリバティブについても、所要自己資本が生じる。中央清算機関とは、種々の取引において買手と売手の双方の取引相手としての役割を果たし、双方の義務を履行する責任を負っている清算機関である。中央清算機関を利用するすべての当事者は、すべての取引に対して担保を差し入れなければならない。中央清算機関で清算されるデリバティブに対するリスク加重は、多くの場合他の種類のデリバティブよりも大幅に低い水準である。

表AR:21 カウンターパーティ・リスクの内訳 - IRB手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額

エクスポージャー額はデリバティブ、レポ、エクイティ・ローンからなる。

カウンターパーティ・リスクの内訳 - IRB手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額	2021年		2020年	
	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額
百万スウェーデン・クローネ				
エクスポージャー区分、IRB手法				
機関エクスポージャー	9,895	4,618	21,275	5,404
法人エクスポージャー	16,586	4,612	10,727	3,183
ソブリン・エクスポージャー	7,084	177	4,306	72
IRB手法合計	33,565	9,407	36,308	8,659

表AR:22 カウンターパーティ・リスクの内訳 - 標準的手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額

エクスポージャー額はデリバティブ、レポ、エクイティ・ローンからなる。

カウンターパーティ・リスクの内訳 - 標準的手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額	2021年		2020年	
	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額
百万スウェーデン・クローネ				
エクスポージャー区分、標準的手法				
機関エクスポージャー	3,160	73	6,444	172
うち、中央清算機関を通じて清算されるもの	3,105	62	6,210	124
その他エクスポージャー	48	21	63	21
標準的手法合計	3,208	94	6,507	193
IRB及び標準的手法合計	36,773	9,501	42,815	8,852

表AR:23 デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク（潜在的な将来エクスポージャーに関する標準的なアドオンを除く）

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク
（潜在的な将来エクスポージャーに関する標準的なアドオンを除く）

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
デリバティブ契約に関する正の市場価値総額	48,543	55,958
ネットティングによる利益	-26,014	-32,860
相殺後のカレントエクスポージャー	22,529	23,098
担保 ¹	-16,637	-14,833
デリバティブに関する正味信用エクスポージャー	5,892	8,265

1) 貸借対照表において時価で相殺される担保を含む。

表AR:24デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク（潜在的な将来エクスポージャーを含む）

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・ リスク (潜在的な将来エクスポージャーを含む)、2021年 百万スウェーデン・クローネ	相殺後の カレント エク スポー ジャー	潜在的な 将来エク スポー ジャー	エクスポ ジャー額	リスク加重 エクスポ ジャー額	所要 自己資本
ソブリン・エクスポージャー	3,530	1,498	5,028	177	14
機関エクスポージャー	3,440	5,153	8,593	4,320	346
法人エクスポージャー	8,936	8,998	17,934	4,480	358
その他	13	11	24	15	1
合計	15,919	15,660	31,579	8,992	719
うち、トレーディング勘定における取引	13,229	11,187	24,417	6,352	508

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・ リスク (潜在的な将来エクスポージャーを含む)、2020年 百万スウェーデン・クローネ	相殺後の カレント エク スポー ジャー	潜在的な 将来エク スポー ジャー	エクスポ ジャー額	リスク加重 エクスポ ジャー額	所要 自己資本
ソブリン・エクスポージャー	1,460	619	2,079	72	6
機関エクスポージャー	10,283	14,596	24,879	5,243	419
法人エクスポージャー	7,444	4,649	12,093	3,192	255
その他	2	12	14	9	1
合計	19,189	19,876	39,065	8,516	681
うち、トレーディング勘定における取引	10,493	8,712	19,204	4,157	333

市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

ハンデルスバンケンの業務では、柔軟な資金調達が必要なサービスを当行の顧客が求める場合に市場リスクが発生する。当行はまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達源を多様化し、資金調達対象の資産とは金利期間が異なる資金を調達することもできる。さらに、市場リスクは、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にすぐに流動資産に転換できるグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオでも発生することがある。当該ポートフォリオにより、日次清算業務における当行グループの支払が確実になるとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。

市場リスクはまた、債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。このため、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行がマーケット・メーカーとしての役割を果たし金融商品の市場価格を形成する場合にこのような状況になる。

当行の業務における市場リスクは、主にグループ・トレジャリー部及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットズで生じている。加えて、市場リスクはハンデルスバンケン・リヴの事業の一部としても発生する。ハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスクは、別のセクションに記載されている。そのため、本セクションに記載されている市場リスクに関する情報は、ハンデルスバンケン・リヴを除くリスクについて言及している。

市場リスク戦略

ハンデルスバンケンは、市場リスクを厳しく制限している。基本的に、銀行業務における市場リスクは顧客の投資ニーズ及びリスク管理ニーズに限定している。市場リスクは、キャッシュ・フローと金利期間を一致させ、オープン・ポジションをヘッジし、リスクを制限するその他の措置を講じることにより制限する必要がある。

このように、ハンデルスバンケンの市場リスクはきわめて小さい。市場リスクの低下により、当行の利益のうち金融取引による純損益の占める割合が大幅に少なくなっている。

組織構造

当行の限度額制度により、市場リスクに対するエクスポージャーの規模を制限している。市場リスクの測定方法及び限度額は、取締役会が決定している。最高財務責任者は、流動性及び資金調達の組織上の責任を負い、最高財務責任者の直属であるグループ・トレジャリー部長は当行グループの流動性及び資金調達の責任を負う。この責任には当行グループの銀行業務における流動性リスク、為替リスク及び金利リスクの管理が含まれる。金利リスク、為替リスク及び流動性リスクに対する限度額は、当行の最高経営責任者及び最高財務責任者からグループ・トレジャリー部長に割り振られる。その後、グループ・トレジャリー部長は、これらを各業務ユニットへ割り振る。株価リスクとコモディティ・リスクの限度額は、最高財務責任者によって直接キャピタル・マーケットに割り振られる。

当行の最高経営責任者及び最高財務責任者はまた、補完的リスク尺度、日中限度額を設定し、詳細にわたるガイドラインの策定を行う。補完的リスク尺度の限度額は、主に金融市場におけるボラティリティの変動に対する当行の感応度を低減し、特定のポートフォリオに対するリスク及び通貨ごとの流動性リスクの制限を目的としている。これらの尺度はまた、満期の観点から生じるリスクを制限している。当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会は、継続的に市場リスク及び限度額の活用状況に関する報告書を受領している。

ハンデルスバンケンにおける市場リスク

市場リスクは、複数の異なる手法を利用して測定されている。用いられている感応度の測定は、あらかじめ定義された価格及びボラティリティの変動によって、どのような価値の変動が起きるかを示している。ポジションに関連したリスク尺度及び確率に基づくバリュー・アット・リスク・モデル（以下、「VaR」という。）も用いられている。

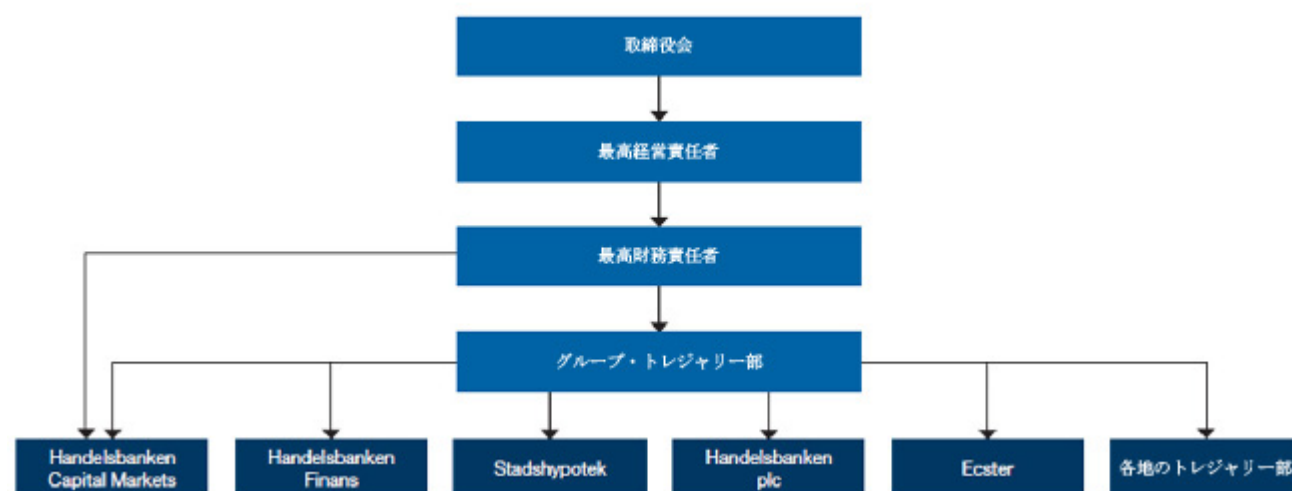
VaR

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部においてトレーディング勘定として分類されているポートフォリオについて、バリュー・アット・リスク（以下、「VaR」という。）が算定されている。VaRは確率に基づいた測定で、対象市場における一定の保有期間にわたる変動から一定の信頼度でリスク・ポジションに生じる可能性のある損失をスウェーデン・クローネ建てで示すものである。VaRは過去のシミュレーションを用いて算定され、個別のリスク要因、リスク区分及びポートフォリオに関し保有期間を1日とした99%の信頼度にて決定される。これは、当行が取引日100日ごとに1日、VaRの結果を上回る損失が発生すると予想していることを意味する。このモデルは、様々なリスク区分を1つの方法で取り扱うことができるため、それぞれを比較することが可能になると同時に、市場リスクの合計を算定することができる。トレーディング勘定として分類されているポートフォリオの全体的なリスクは、年度末現在において6(14)百万スウェーデン・クローネであった。VaRは、定期的に当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会に報告される。

VaRモデルは過去及び実際の結果を用いるもので、すべての潜在的な結果をカバーするわけでも、極端で急激な市場変動のリスクを常にカバーするわけでもない。したがって、このリスク計算はストレス・テストで補完

され、テストは、ポートフォリオに対して1994年以降の金融市場において発生したすべての事象に基づくシナリオにより行われる。これらのストレス・テストの結果もまた、当行の最高財務責任者、最高経営責任者、及び取締役会に報告される。

図AR:25 市場リスク及び流動性リスクの決定水準



表AR:26 トレーディング勘定のVaR - ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部¹

トレーディング勘定、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部のVaR¹

	合計		株式		債券		通貨		コモディティ	
百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
平均	11	15	1	1	13	17	3	3	1	1
最高	26	30	3	3	25	31	8	8	12	3
最低	5	5	0	0	4	5	1	1	0	0
当年度末	6	14	0	1	5	21	2	2	0	1

1) トレーディング勘定に分類されているポートフォリオは特別なインストラクション及びガイドラインの対象となる。

表AR27 トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果 - ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部
トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果 - ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
平均	99	85
最高	369	264
最低	36	28
当年度末	67	69

金利リスク

金利リスクは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ・トレジャリー部及び貸出業務において生じる。当行における金利リスクは、複数の方法で測定されている。一般的な金利リスクは日々測定され、すべての金利について、瞬時の1パーセンテージ・ポイントの上昇又は下落という平行移動が生じた場合の通貨別の公正価値の有利な変動の最小値の合計として限度額が設定されている。年度末現在の当行の一般的な金利リスクの合計は、1,332(1,423)百万スウェーデン・クローネであった。契約上の満期のない預金の金利期間は内部手法を用いて設定される。このような預金の基本的な出発点は契約上の金利期間であり、過去の観察に基づき、安定的で金利変動に対する感応度が低いとみなされる部分により長期の金利期間が適用される。このリスク測定には、市場価値で測定される利付商品も市場価値で測定されない商品も含まれている。したがって、貸借対照表及び損益計算書に認識される金額に与える影響を評価する際にこのリスク測定を用いることは適切ではない。その代わりに、個々の業種に応じた補完的な措置や限度額が設けられている。

特定の金利リスクは、クレジットスプレッド（すなわち、現在のポートフォリオの金利と満期が同一である国債の利回りとの差額）の変動に対する感応度を用いて測定され、限度額が設定されている。このリスクは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオにおいて生じる。

このリスクは、異なる格付区分別に測定及び限度額が設定され、クレジットスプレッドが1ベース・ポイント上下に移動した場合における市場価値の有利な変動の最小値として計算される。この計算は取引相手別に実施され、その計算結果は絶対値の合計として集計される。当年度末における特定の金利リスク総額は、6(7)百万スウェーデン・クローネであった。

様々なイールド・カーブが仮想的に変化した場合のリスクの推移を示すイールド・カーブのツイストリスクについては、定期的に測定と見直しが行われている。

トレーディング勘定における金利リスク

ハンデルスバンケンのトレーディング勘定は、トレーディング勘定に分類されているキャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部のポートフォリオから構成されている。トレーディング勘定の一般的な金利リスクは84(35)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは2(4)百万スウェーデン・クローネであった。例えば、金利オプションのリスクの一部である非線形金利リスクは、マトリックスであらかじめ定義されたストレス・シナリオを用いて測定され、限度額が設定されている。すなわち、このリスクは、基礎となる市場金利及びボラティリティの変動として測定されている。トレーディング勘定には、様々なストレス・シナリオによって補完されているVaR及びその他のリスク指標も用いられている。

非トレーディング勘定における金利リスク

金利リスクは、資金調達期間と金利期間の一部が異なることにより生じる。金利リスクは、主に金利スワップ契約によって管理されている。一般に金利リスク・エクスポージャーは、流動性の高い市場に存在する。非トレーディング勘定における一般的な金利リスクは1,391(1,415)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは4(3)百万スウェーデン・クローネであった。

金利の変動による損益計算書への影響を見積るために、純利息収益の影響も測定されている。金利が変動した場合の純利息収益の影響は、一般市場金利が1パーセンテージ・ポイント上昇した場合の12ヶ月間にわたる純利息収益の変動として測定されている。この影響は、貸借対照表の規模が一定であることを前提とした場合の金利期間の差異、並びにトレーディング勘定に含まれない資産、負債及びデリバティブの残高構成の差異を反映している。この計算においては、契約上の満期のない預金の金利期間は、内部手法を用いて設定される。同モデルは過去の観察に基づいており、安定的で金利変動に対する感応度が低い部分に限定して調整が行われる。年度末現在の純利息収益の影響は、1,359(1,091)百万スウェーデン・クローネであった。

表AR:28 非トレーディング勘定における一般的な金利リスク

非トレーディング勘定における一般的な金利リスク（すべての金利が1パーセンテージ・ポイント平行移動した場合の最悪の結果としての公正価値の変動）

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
スウェーデン・クローネ	482	275
デンマーク・クローネ	133	264
ユーロ	188	163
ノルウェー・クローネ	70	223
米ドル	281	95
英ポンド	231	388
その他通貨	6	6
合計	1,391	1,415

表AR:29 資産及び負債に関する金利期間

本表は、2021年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利期間を示したものである。

資産及び負債に関する金利期間、2021年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1 - 5年	5年超	合計
現金及び中央銀行預け金	439,971	0	0	0	0	439,971
債券及びその他の利付証券	94,553	5,310	1,520	22,009	10,220	133,612
金融機関への貸出金	22,394	894	0	0	0	23,288
一般顧客への貸出金	1,352,796	164,121	182,379	644,475	67,481	2,411,252
その他資産	338,641					338,641
資産合計	2,248,355	170,325	183,899	666,484	77,701	3,346,764
金融機関からの預り金	55,453	19,674	6,391	367	1,735	83,621
一般顧客からの預金及び借入金	1,255,043	9,612	1,539	134,405	51	1,400,650
発行済証券	339,597	176,987	216,164	519,803	128,511	1,381,062
その他負債	481,431					481,431
負債合計	2,131,525	206,274	224,094	654,574	130,297	3,346,764
オフバランスシート項目	1,652,711	-25,792	40,472	-29,398	56,434	1,694,427

上表の貸借対照表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

資産及び負債に関する金利期間、2020年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1 - 5年	5年超	合計
現金及び中央銀行預け金	397,662	0	0	0	0	397,662
債券及びその他の利付証券	83,135	3,010	6,015	43,100	8,059	143,319
金融機関への貸出金	38,598	3,974	654	0	0	43,226
一般顧客への貸出金	1,288,093	148,525	175,612	600,276	54,571	2,267,076
その他資産	284,005					284,005
資産合計	2,091,493	155,508	182,281	643,376	62,630	3,135,288
金融機関からの預り金	105,063	13,316	4,493	520	1,335	124,727
一般顧客からの預金及び借入金	1,085,489	6,801	3,002	133,933	42	1,229,267
発行済証券	412,972	118,557	195,388	506,251	113,570	1,346,738
その他負債	434,556					434,556
負債合計	2,038,080	138,674	202,883	640,704	114,947	3,135,288
オフバランスシート項目	1,474,787	-19,425	38,279	-22,511	60,781	1,531,911

2021年度の年次報告書には無利子資産及び負債も含まれている。過年度には、金利期間は測定され限定された一般的な金利リスクに基づいて報告されていた。2021年度の年次報告書では、代わりに基礎となる金利期間が報告されている。

株価リスク

当行の株価リスクは、主にハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の株式ポートフォリオにおいて生じている。

株価リスクの表では、株価及びボラティリティが瞬時に+/-10%及び+/-25%変動した場合の当行の株式ポジション合計における市場価値の変動を示している。当年度末現在、このリスクについて当行における最悪のケースは71(65)百万スウェーデン・クローネであった。株式の最大エクスポージャーは英国市場にて発生している。

トレーディング勘定に内在する株価リスク

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクは、顧客主導の取引において生じる。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは仕組商品のマーケット・メーカーであり、線形及び非線形の双方の株価リスクが発生する。非線形株価リスクは、仕組商品に含まれているオプションを通じて生じる。

当行は、マトリクスを用いてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクを制限及び測定している。この手法の利点は、非線形リスクを含む株価リスクを効果的に特定することである。他のリスク測定手法及びストレス・シナリオとあわせて、VaRが株価リスク測定の補完として使用される。年度末現在、トレーディング勘定に内在する株価リスクに関する当行のVaRは、0(1)百万スウェーデン・クローネであった。

トレーディング勘定外の株価リスク

トレーディング勘定以外で当行グループが保有する株式は、主に当行の中核事業に関連する種々の当行全体の事業で構成されているレベル3株式を含む。これらの保有株式は、貸借対照表上「その他包括利益を通じて公正価値で測定するもの」に分類され、公正価値で測定されている。このような保有株式は、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分、又は代替的に最新の取引における決済価格によって評価されており、株価リスクは低い。

表AR:30 株価リスク

株価リスク 百万スウェーデン・クローネ	ボラティリティの変動					
	2021年			2020年		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
株価の変動						
10%	81	81	81	74	73	72
-10%	-71	-69	-67	-65	-64	-63

表AR:31 トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される		
株式持分	454	800
うち、レベル1及び2	300	286
うち、レベル3	154	514
その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される		
株式持分	454	800
うち、事業関連	254	645
うち、その他の持分	200	155
期首現在における公正価値評価差額準備金	140	712
新規購入分と期末保有分に関して当年度中に生じた未実現の市場価値の変動	60	155
当年度中の売却及び決済による実現額	-1	-727
期末現在における公正価値評価差額準備金	199	140
Tier2資本に含まれるもの	0	0

為替リスク

当行はスウェーデン以外にも数カ国で事業を行っており、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されているため、構造上の為替エクスポージャーが生じる。この構造上のリスクは、為替変動が自己資本比率と資本のどちらに影響を与えるかについてのトレードオフを考慮し、管理されている。取締役会は、構造上の為替ポジションが普通株式等Tier1資本比率のヘッジとなることが認められる、資本に与える最大影響額を設定している。当行の資本に影響を与える他の為替リスクの変動については、96ページ（訳注：原文のページ番号である）の持分変動計算書（当行グループ）に記載されている。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。この取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで行われる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、この為替リスクに関してVaR限度額を設定している。

顧客の支払フローの一環として通常の銀行業務において、またグループ・トレジャリー部の資金調達業務において、ある程度のが為替エクスポージャーが生じている。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのエクスポージャーに対して、ポジション限度額を割り当てている。当年度末現在、構造上の為替ポジションを含まない正味ポジション総額は、344(393)百万スウェーデン・クローネであった。この為替リスクは、個別通貨又は通貨グループの傾向に応じて変動するわけではない。これは、ポジションが非常に短期であり、顧客主導のフロー管理において生じているためである。トレーディング勘定及び非トレーディング勘定における為替リスク総額は、13(18)百万スウェーデン・クローネであるが、これはスウェーデン・クローネが瞬時に5%変動した場合に当行の損益に及ぼす影響として測定されたものである。

表AR:32 為替感応度

為替感応度(各通貨に対してスウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果)

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
ユーロ	3	6
ノルウェー・クローネ	8	3
デンマーク・クローネ	0	4
米ドル	0	0
英ポンド	5	4
その他通貨	5	2

コモディティ・リスク

コモディティ取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのみで行われている。コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客取引の結果からのみ発生する。線形及び非線形コモディティ価格リスクは双方とも、すべてのコモディティについて当行がさらされているリスク合計の絶対値として測定されている。当年度末現在、コモディティ価格リスクは、1(2)百万スウェーデン・クローネで、対象コモディティの価格変動の上限を20%及びボラティリティの上限を35%とした場合の価格変動に係る最大損失として測定されている。当年度末現在、当行のコモディティ価格リスクのVaRは、0(1)百万スウェーデン・クローネであった。

その他の市場リスク

市場リスクは当行の年金制度においても発生する（年金リスク）。このリスクは割引率の変動とともに、当行の年金債務に対応するための年金資産の価値が変動するリスクにより構成される。

公正価値測定

リスク・コントロール部は、当行グループの金融商品が正確に評価されていることを確認している。この確認には、評価の基準となる市場データを確認する責任や、その確認がリスクを有する当事者からは独立して行われたものであることを確認する責任が含まれる。市場データの情報源は事業活動とは切り離されたものである。市場データを事業活動から取得する場合、外部の情報源に対し文書化された統制が行われ、データの合理性が評価される。モデルに用いられる市場価格及び市場データは、少なくとも一ヶ月に一度は検証が行われるものとされるが、基本的には日次で検証が行われる。評価モデルは、モデルの開発部門とは別のリスク管理部門において検証が行われる。評価委員会は、ハンデルスバンケン・グループの評価事項を取り纏めることを目的とし、各評価が正確であり、現行の市場慣行に準拠していることを確かめる重要な役割を果たしている。

公正価値で測定される金融商品の評価は、IFRS第13号に従って行われる。公正価値で測定される資産及び負債に関する詳細並びに当行の評価技法に関する情報については、注記G41を参照のこと。

慎重な評価

CRR第105条に従い、当行は規制上の自己資本の調整を目的として追加的な評価調整を算定する必要がある。同第34条では、適用範囲をこれまでのトレーディング勘定のポジションのみから、公正価値測定されるすべてのポジションへと拡大している。これらの追加的な評価調整の要件と手法は、欧州委員会委任規則2016/101の第105条(14)のテクニカル基準に明記されている。ハンデルスバンケンは公正価値で測定されるすべてのポジ

ションについて追加的な評価調整を算定するため、テクニカル基準で定義される基本的な手法を採用している。

資金調達及び流動性リスク

流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払義務を履行することができないリスクである。

資金調達戦略

ハンデルスバンケンの総計レベル及び個別通貨の双方における流動性リスクに対する許容度は低い。。こうした活動により、ハンデルスバンケンは困難な状況においても、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出をうまくマッチングさせると共に質量において十分な流動性準備金を維持することによって達成される。したがって、当行は資金調達における経済的リスクを最小限に抑え、業務ユニットの安定した長期の資金調達を維持することができる。

また、当行は、資金調達プログラムとその利用に幅をもたせることを目指している。こうすることによって、当行は、金融市場における混乱が長引いたとしても、中核事業において、長期にわたる損失が生じないようにしている。

この作業の結果、安定資金を用いて調達された流動がない資産により、十分に調和のとれた貸借対照表が作成される。この流動性がない資産は、個人及び法人に対する与信より構成され、これらの与信業務は当行の中核事業を構成している。これら資産に関する長期安定資金には、スタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド、ハンデルスバンケンが発行したシニア債、個人からの預金、法人からの一定額の預金、劣後債及び株式より構成されている。中核業務の一部は、個人及び法人への短期貸付であるが、負債の部におけるこれら顧客からの預金の一部はより短期間なものとなっている。

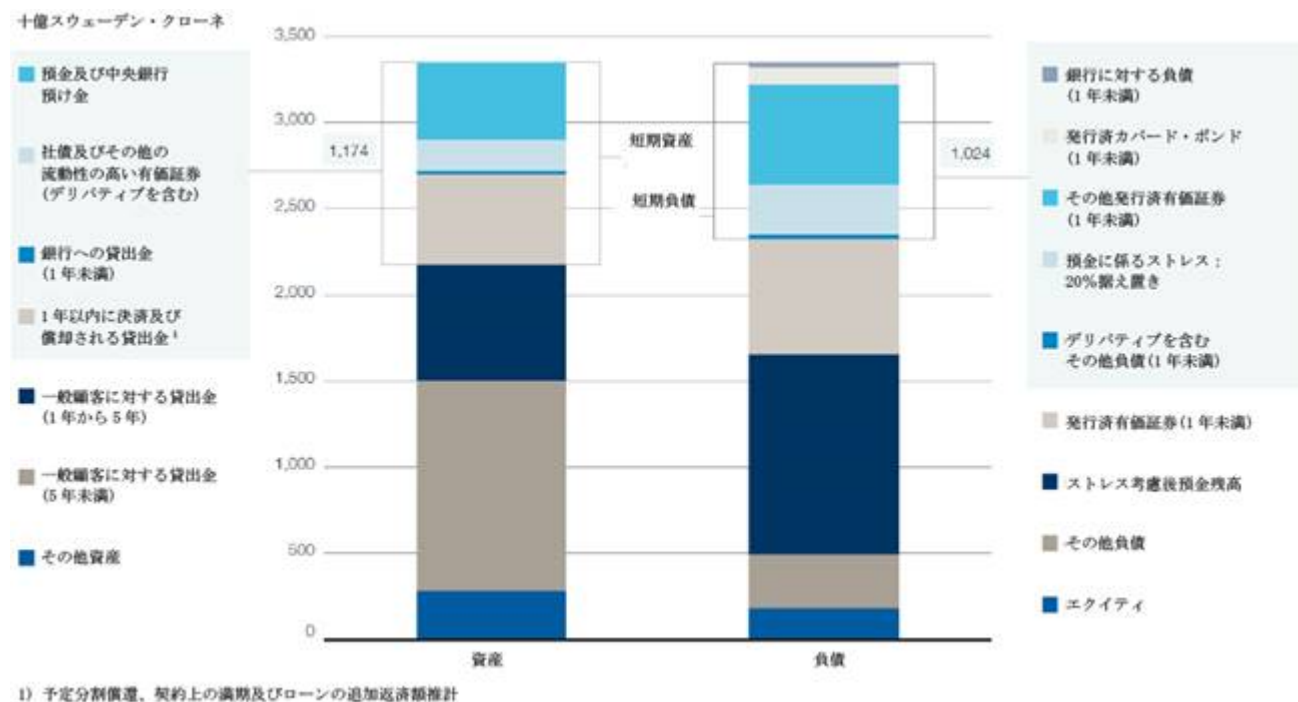
貸借対照表は、資産及び負債の一時点の記録である。当行が顧客及び投資家に対する債務を確実に履行するためには、資金調達及び流動性リスク管理に未来志向の視点を取り入れることが重要である。したがって、金融市場において長期的なストレスにさらされている状況にあっても、企業及び家計という形態の実体経済の参加者及び彼らの与信ニーズに対する支援が可能な方法で財務基盤が構築されている。これは、短期資産が十分なマージンで短期負債をカバーしていることによって確実にになっている。図AR:33では、預金の20%が1年以内に消滅し、市場で新規の資金調達を行う手段が一切なくなるというストレス・シナリオにおける貸借対照表を掲載している。このようなストレス下にもかかわらず、当年度末現在の短期資産は短期負債を大幅に上回ることが見込まれる。長期的な危機においては、中核事業は維持しつつも、財務基盤は縮小する可能性があり、短期資産残高は徐々に満期を迎える短期負債の償還に用いられる。より深刻な危機の状況下においても、当行グループの事業活動をさらに支援するための流動性を高める手段が用意されている。

市場はハンデルスバンケンに多大な信頼を寄せており、ハンデルスバンケンの信用リスクは低いと評価されている。これを示す例の一つに、当行の信用リスクに対する保険コスト（CDSスプレッドとして知られる）が引き続き欧州銀行の中で最も低い銀行の一つとなっていることが挙げられる。ハンデルスバンケンの資金調達コストは同業他社の中でも概ね低い。ハンデルスバンケンは外部格付機関により引き続き高格付を付与されており、欧州内のすべての同業他社の中で最も格付が高い銀行の一つである。

様々な市場、通貨及び資金調達対象となる商品の形態において、異なる資金調達源から多様な資金調達を行うことは、資金調達戦略における重要な構成要素である。これは、個別市場又は資金調達源からの重要な影響を軽減している。当行は近年、長期的かつ国際的な資金調達をかなり拡大しており、特に米ドル、ユーロ、英国ポンド、豪ドル及び円建てにより、多くの債券を発行している。最も重要な資金調達源は、個人及び法人が

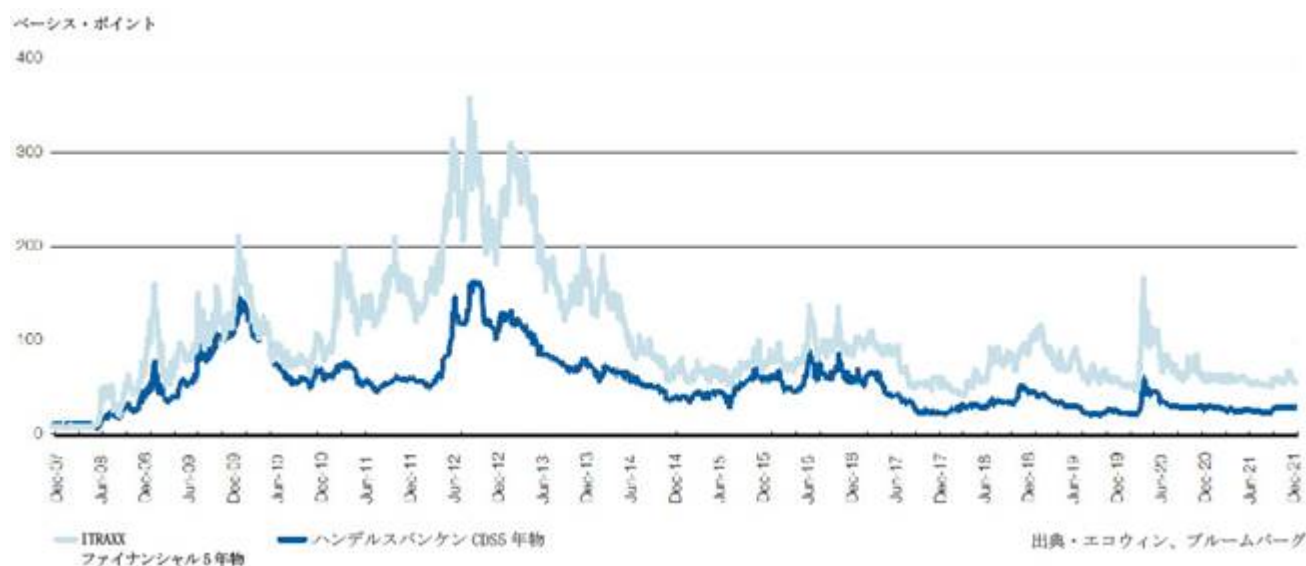
らの預金並びにカバード・ボンド及びシニア債である。短期的な資金調達は、主に、金融関連会社及び機関からの預り金並びにコマーシャル・ペーパー及び譲渡性預金証書の発行による。グループ・トレジャリー部は、自らの裁量による市場からの資金調達に関して様々な資金調達プログラムを有している。債券、預金証書及びコマーシャル・ペーパーは、これらのプログラムに基づき、当行、スタッドフィボテック及びハンデルスバンケン・ピーエルシーの名前で発行されている。当該資金調達プログラムにより、様々な通貨、投資家数、負債形態及び地域分布といった面で十分に多様化された資金調達手段が確保されている。

図AR:33 満期分類別の貸借対照表の構成



図AR:34 ITRAXXファイナンシャルズと比較したハンデルスバンケンの5年物CDSのスプレッド

ITRAXXファイナンシャルズは、欧州の銀行・保険部門における25の大手債券発行体のCDSスプレッドの指標であり、企業の信用リスクを受け入れるために投資家が必要とする平均的なプレミアムを表している。



組織体制

ハンデルスバンケンは分散化された事業モデルを有しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべてグループ・トレジャリー部に集約されている。資金調達及び流動性管理業務は、取締役会が策定した方針によって管理されている。取締役会はまた、リスク限度額も決定している。この方針は、最高経営責任者によるガイドライン及び最高財務責任者による指示によって補完されている。この指示は、リスク限度額等のパラメーター、資金調達構成及び資金調達市場の混乱時におけるベンチマークを規定している。さらにすべての流動性リスク限度額は、グループ・トレジャリー部を通じて、各事業部へと伝達されている。

グループ・トレジャリー部はまた、異なる支払システムや決済システムでの保有が求められる担保資産を含む、当行の流動性準備金に対する責任を持ち、日中の流動性を監視し、当行が支払債務を履行するための十分な担保を支払システムに随時有していることを確認する。当行は、流動性の監視を取引に近い地域で行っており、当行グループ全体の担保及び流動性準備金を扱う中央管理によってその監視が補完されている。

決済システムにおける担保の規模は、通常の状態及びストレス状況下で当行が債務履行に必要と考える水準に基づいて決定される。こうした状況が変化した場合には担保の規模及び流動性が調整され、危機の際には担保の再分配が行われ、流動性準備金も活用される。当行は、予想される支払い及び決済の実行に備えて、積極的な流動性計画及びすべての通貨の監視を通じてノストロ勘定の流動性を確保している。

市場からの資金調達 - 構成

当年度において、ハンデルスバンケンは当行における重要な通貨において、市場から合計193(355)百万スウェーデン・クローネの長期資金を調達した。市場からの長期的な資金調達の重要な構成要素は、カバード・ボンドの発行である。通貨別のカバード・ボンド発行残高の内訳は図AR:36に示している。短期資金調達は、主に欧州及び米国において、様々な資金調達プログラムに基づいて、譲渡性預金証書及びコマーシャル・ペーパーの発行によって行われている。これらの資金調達プログラムは、金融及び非金融大手企業による定期預金によって補完されている。資金調達業務に関連して、当行は引き続き以前と同様の投資家との面会、資金調達プログラムの更新、及び他の点においても世界中のすべての関連資金調達市場での資金調達条件を維持していた。これにより、年度を通じて資金調達業務を通常通り行うことが可能となった。

図AR:35 長期資金調達の満期プロファイル

2021年12月31日現在、当初満期が長期¹⁾の発行済証券

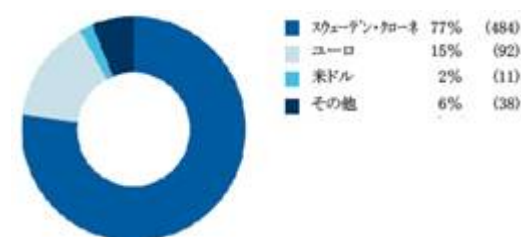


1) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

図AR:36 2021年の通貨別カバード・ボンドによる市場からの資金調達

2021年12月31日現在の通貨別発行済カバード・ボンドの内訳

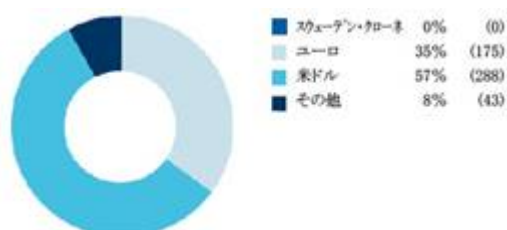
括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ



図AR:37 2021年の通貨別短期資金調達

2021年12月31日現在の当初満期が短期²の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ

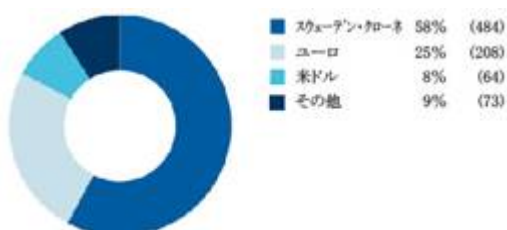


2) 短期の満期とは、満期が1年1ヶ月未満のものをいう。

図AR:38 2021年の通貨別長期資金調達

2021年12月31日現在の当初満期が長期³の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ



3) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

図AR:39 2021年の金融商品別長期資金調達

2021年12月31日現在の当初満期が長期⁴の発行済証券に関する金融商品別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ



4) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

担保資産及びカバー・プール

また、ハンデルスバンケンの流動性管理上、金融市場の混乱時において利用可能な担保を十分に確保することも重要である。追加担保の設定を可能にするために必要な条件の1つは、当行が当初から処分可能な担保を確保していることである。したがって、当行は、信用格付の非常に高いカバード・ボンド及び流動証券を発行する際に、担保として利用可能な抵当に入っていない十分な額の資産を確保している。

当行は、一定の条件により当行からカウンターパーティに対して担保提供が強制されるような契約、例えばCSA契約を金融機関以外の当事者と締結することを制限している。デリバティブ残高に関するCSA契約に基づき差し入れた現金担保は合計3,077(17,049)百万スウェーデン・クローネであった。当行の担保資産に関する詳細については、ハンデルスバンケンのファクトブックの担保資産の表を参照のこと。さらに、当行の流動性の確保に加え、このリスク制限アプローチにより当行のシニアレンダーがカバード・ボンドに投資している貸手よりも優先順位が低くなる（いわゆる、地位劣後の問題）範囲を制限することができる。

無担保資金調達への投資家と担保付資金調達への投資家との間の劣後関係を評価する上では、担保負担がない資産の量及び信用の質が関連する評価要素となる。ハンデルスバンケンのリスク負担に関する厳格なアプローチにより、担保負担のない資産は非常に優良なものとなっている。ハンデルスバンケンはカバード・ボンドとシニア債をバランスよく利用したいと考えているため、担保負担のない住宅抵当ローンがかなりの額で存在している。他の担保負担のない貸出も、例えば当行の内部格付では非常にリスクが低いと評価されている。

表AR:40は、ハンデルスバンケンの担保負担のない資産の金額が、無担保資金調達残高の268(269)%に相当することを示している。

スタッドフィポテックのカバー・プールで構成されている担保負担のある資産の大部分は、発行済カバード・ボンドの担保として供された住宅抵当ローンより構成されている。当行はまた、当該プールに8%の任意のOC(超過担保、すなわち発行済債券をカバーするために必要な担保に加えた追加資産、法定要件の2%に追加した部分)を加えている。この追加資産は、住宅抵当ローンの価値が追加資産を要する水準まで下落した場合に、発行済債券の金額と見合うようにするために存在する。

追加資産が必要となるリスクを評価する場合、基本的にカバー・プールにおける住宅抵当ローンの借入金比率（以下、「LTV」という。）がきわめて重要になる。不動産市場における価格が下落している場合、LTVが低ければ低いほど、当該プールにより多くの住宅抵当ローンが必要になるリスクは低減される。ハンデルスバンケンの出来高加重平均LTV（最大LTV）は、スウェーデンのカバー・プールでは49.4(52.4)%であり、ノルウェーのカバー・プールでは50.0(53.4)%であり、フィンランドのカバー・プールでは49.8(49.5)%であった。これはすなわち、当行は、住宅抵当ローンを当該プールに追加するまでもなく、該当する不動産価格の大幅な下落に対応することができることを示している。

当行がカバー・プール外で保有することを選択した資産は表AR:40に示されており、当該資産は必要に応じてカバード・ボンドの発行に使用することができる。

表AR:40 担保負担がない資産/担保に供されていない資産

担保負担がない資産/担保に供されていない資産	2021年		2020年	
	無担保資金 調達に対する 累積カバー率、		無担保資金 調達に対する 累積カバー率、	
	NEA ¹	% ²	NEA ¹	% ²
十億スウェーデン・クローネ				
現金及び中央銀行預け金	439	50	418	51
流動性ポートフォリオにおける流動性のある債券 ³	157	68	145	69
個人向け貸出金(デリバティブを含む)	598		558	
うち、住宅抵当ローン	406	114	390	117
うち、不動産を担保とした貸出金	4	114	4	118
うち、その他個人向け貸付	188	136	164	138
法人向け貸出金(デリバティブを含む)	1,103		1,040	
うち、住宅抵当ローン	386	180	375	184
うち、住宅協同組合への貸出金(住宅抵当ローンを除く)	58	186	57	191
うち、不動産会社への貸出金(住宅ローンを除く)				
- リスク・クラス1~3	298	220	261	223
- リスク・クラス4~5	149	237	152	242
- うち、リスク・クラス5超	9	238	7	243
うち、その他の法人向け貸出金				
- リスク・クラス1~3	122	252	108	256
- リスク・クラス4~5	73	260	66	264
- リスク・クラス5超	8	261	14	266
金融機関への貸出金(デリバティブを含む)	29		11	
- リスク・クラス1~3	28	264	10	267
- リスク・クラス3超	1	264	1	267
その他の貸出金	36	268	17	269
その他資産	0	268	0	269
合計	2,362	268	2,189	269
裏付けとなる負債を伴わない担保権が設定されている資産 ⁴	65		62	
裏付けとなる負債を伴う担保権が設定されている資産	920		884	
資産合計、当行グループ	3,347		3,135	

1) NEA：担保負担のない資産

2) 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務

3) 中央銀行への担保として適格なもの

4) カバー・プールにおける超過担保額(OC)及び英国の破綻処理時の業務継続要件に対応する資産(2021年現在)

表AR:41 カバー・プール・データ

カバー・プール・データ

百万スウェーデン・クローネ

	スウェーデン		ノルウェー		フィンランド	
	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
スタッドフィボテック貸付総額(一般顧客)	1,301,712	1,239,819	115,928	97,359	57,849	53,749
カバー・プールに関して利用可能な資産	1,205,881	1,148,999	110,019	91,675	55,515	50,629
カバー・プールで使用した資産	617,417	606,455	56,746	37,822	18,048	17,673
代替資産(制限勘定の現金)	5,000	5,000	-	-	-	-
最大LTV加重平均、ASCBの定義による ¹	49.38	52.43	50.03	53.42	49.77	49.52

LTVの内訳

0-10%	24.6	23.1	27.1	24.3	27.4	27.6
10-20%	21.7	20.6	20.9	20.2	23.7	23.6
20-30%	18.5	17.8	16.3	16.2	19.9	19.8
30-40%	14.6	14.7	13.5	13.8	12.5	12.7
40-50%	10.2	11.1	10.3	11.2	8.4	8.4
50-60%	6.1	7.4	7.1	8.3	5.1	5.0
60-70%	3.3	4.3	3.8	5.0	2.4	2.3
70-75%	0.9	1.2	1.0	1.1	0.6	0.6

貸出金額、加重平均、スウェーデン・

クローネ	717,800	680,300	4,443,666	3,990,523	1,197,739	1,116,604
------	---------	---------	-----------	-----------	-----------	-----------

貸出期間、加重平均、月数²

	71	69	28	26	61	61
--	----	----	----	----	----	----

金利期間、内訳

変動金利、%	36.0	39.7	96.7	97.7	100.0	100.0
固定金利、%	64.0	60.3	3.3	2.3	0.0	0.0

1) スウェーデン・カバード・ボンド発行者協会 (Association of Swedish Covered Bond issuers)

2) 貸出金の実行日から計算されている。

流動性リスク

当行は業務の一環として、日次で大量のキャッシュ・フローの流入及び流出を取り扱っている。流動性管理におけるリスクを抑えるために、当行は流動性リスクの限度額と定性的目標を含む、堅固なリスク許容度の枠組みを有している。グループ・リスク・コントロール部はリスクを計測し、リスクの利用状況について、日次で最高財務責任者、週次で最高経営責任者、定期的に取り締役に報告する責任がある。

流動性計画は、個別の通貨に対するキャッシュ・フローの分析に基づいている。一般的に、流動性の高い通貨の方が、流動性の低い通貨よりもより大きなエクスポージャーが許容される。資金調達戦略は、流動性がない資産は安定した長期資金で手当てし、ストレス状況下においても正の流動性ポジション(キャッシュ・フロー及び流動資産)が維持されなければならないというものである。このギャップ分析は、シナリオによって補完されており、そこでは様々な仮定を用いて流動性への影響にさらにストレスをかけた分析を行っている。

したがって、当行の流動性管理はストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対しては個別レベルでも行われる。ストレス・テストでは、様々なストレ

ス・シナリオを想定し、当行の再建計画を反映した様々な流動性創出策を講じることで、短期・長期ともに当行が十分な流動性を確保できるよう確実にしている。ストレス・テストは市場全体のストレスと特異なストレスの双方を、定期的及び個別に適用して実施される。これらは住宅価格の大幅な下落を考慮したシナリオ分析によっても補完される。これらのストレス・テストでは、当行が金融市場での資金調達ができないと同時に、個人及び法人の預金の一部が1ヶ月以内に徐々に解約されることを仮定している。さらに、当行はコア事業を継続し、個人及び法人への貸出金が満期時に継続され、顧客がコミットメント及び与信枠の一部を使用すると仮定する。

ストレス・テストでは、流動性準備金の現金資産が使用され有価証券が主に市場における担保として、また最後の手段として中央銀行から緊急の流動性供給を受けることができると仮定している。

さらに、当行はカバード・ボンドの未使用発行額を使用することや、流動性を徐々に提供する他の流動性創出策を実施することにより、流動性の創出が可能である。未使用の担保の残高及び質は、危機の際に当行が必要とする流動性を提供する上で十分なものでなければならない。このような状況により、当行の流動性は3年を超えて高水準に保たれ、当行は深刻な長期のストレスに対しても十分に持ちこたえられることになる。

当行が上述の金融市場における混乱に十分に持ちこたえられる状況とは、バランスシート構成が適切な状態に維持されていることである。「図AR:33 満期分類別の貸借対照表の構成要素」によれば、預金の20%が1年以内に消滅すると想定したストレス・シナリオでも、流動資産の残高が流動負債の残高を大幅に上回っている。

表AR:42 流動性創出策を含む流動性ストレス・テスト - 流動性ポジション累計額



「表AR:45金融資産及び負債の満期分析」は、遅くとも当該分析表に示す各期間内に支払期限が到来する契約上の支払債務(利息キャッシュ・フローを含む)に係るキャッシュ・フローを示している。本表は、債券及びその他の利付証券が担保として供される又は売却される場合に流動性が確保される期間別を示したものである。また、資産・負債・利息のフローが約定満期日までの期間別に示されている。住宅抵当貸付の利息のフローは、当該貸付の資金調達元となっている負債の期間と一致している。金融保証、ローン・コミットメント及び未使用の当座借越契約はすべて30日以内の期間に計上されている。これらの契約残高総額は、必ずしも将来における資金調達が必要なことを表しているわけではない。デリバティブ商品に関して、金利スワップのキャッシュ・フローは純額で計上され、為替スワップ等でキャッシュ・フロー総額が受け払いされる商品のキャッシュ・フローは総額で計上される。

欧州委員会が委任規則を導入後、EUの銀行には流動性カバレッジ比率（以下「LCR」という。）という拘束力のある要件が設けられた。この尺度は、当行の流動性バッファと30日間の厳しいストレス下における正味キャッシュ・フローとの比率を示しており、この要件は総計レベルのLCRに適用され、比率は100%を超えなければならない。また、スウェーデン金融監督庁は、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組みにおいて、各通貨のLCRを規定している。年度末現在、当行グループの総計レベルのLCRは152(150)%であり、これは、当行が資金調達市場の短期的な混乱に十分に持ちこたえられることを示している。

構造的流動性尺度である安定調達比率（NSFR）（利用可能な安定調達資金と安定調達需要の比率）の最低要件が2021年6月28日にEUで発効し、通常時及び及びストレス時の双方において、1年間にわたり当行の資金調達ニーズをカバーできる十分に安定した資金調達能力を有することが要求されている。この最低要件は総計レベルに適用され、比率は100%を超えなければならない。2021年度末時点で、当行グループ・レベルのNSFRは114%であった（117%）。

流動性リスクのプライシング

流動性リスク管理の重要部分は、発生可能性のある流動性リスクを考慮して預金及び貸付が内部で価格設定されていることである。当行が長期の貸出を行う場合、追加的な長期資金調達が必要になる（通常は短期の資金調達より調達コストがより高くなる）。これは、当行の長期債券を購入した投資家は通常、満期までの期間に対してより高額な対価を要求するためである。このことは、当行の内部価格の設定において考慮される。当行の内部ユニットは、グループ・トレジャリー部からの資金調達に対して、満期等の要素に応じて変動する支払いを行わなければならない。内部の価格設定は、適切なインセンティブを創出し、不健全なリスク負担を回避するために重要である。当行は、長い間、満期に基づく内部の金利設定を行ってきた。契約によって生じた流動性リスクを考慮に入れて契約単位で価格設定するシステムが確立されている。

表AR:43 流動性カバレッジ比率(LCR) - 内訳

流動性カバレッジ比率(LCR) - 内訳		
百万スウェーデン・クローネ		
	2021年12月31日現在	2020年12月31日現在
高品質な流動資産	592,122	559,278
現金流出	431,300	413,024
一般顧客及び小企業からの預金	66,550	61,299
資本市場からの無担保資金調達	289,879	273,375
資本市場からの有担保資金調達	11,305	5,245
他の現金流出	63,566	73,105
現金流入	41,849	41,027
正常なエクスポージャーからの流入	22,375	27,536
他の現金流入	19,474	13,491
流動性カバレッジ比率(LCR)、%	152%	150%

内訳はEU委員会委任立法(EU)2015/61で定義されているものと同じである。

表AR:44 安定調達比率(NSFR) - 内訳

安定調達比率(NSFR) - 内訳		
百万スウェーデン・クローネ		
	2021年12月31日現在	2020年12月31日現在
利用可能な安定調達資金	2,026,413	1,920,899
資本項目及び資本調達手段	202,877	194,185
一般顧客からの預金	704,382	649,122
資本市場からの調達資金	1,113,915	1,063,599
その他負債	5,239	13,993
所要安定調達額	1,774,542	1,644,683
高品質な流動資産合計	7,927	19,917
担保グループ内の満期までの残存期間が一年以上である処分制約のある資産	449,323	397,205
正常貸出金及び証券	1,223,354	1,177,109
その他資産	69,258	27,335
オフバランスシート項目	24,680	23,117
安定調達比率(NSFR)、%	114%	117%

表AR:45 金融資産及び負債の満期分析

「満期の指定なし」の欄の預金は要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息を除く外貨建てキャッシュ・フローを含めた満期表は、ファクトブック (handelsbanken.com/ir) に記載されている。

金融資産及び負債の満期分析、 2021年								
百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月以内	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の指定 なし	合計
現金及び中央銀行預け金	439,983	-	-	-	-	-	-	439,983
中央銀行への担保として適格な利付 証券 ¹	100,563	-	-	-	-	-	-	100,563
債券及びその他の利付証券 ²	33,333	-	-	-	-	-	-	33,333
金融機関への貸出金	19,246	176	200	615	1,497	2,371	-	24,105
うち、リバース・レボ	12,126	-	-	-	-	-	-	12,126
一般顧客への貸出金	52,107	274,819	218,002	252,736	469,331	1,236,095	-	2,503,090
うち、リバース・レボ	13,648	-	-	-	-	-	-	13,648
その他	22,701	-	-	-	-	-	315,940	338,641
うち、株式及び参加持分	19,934	-	-	-	-	-	-	19,934
うち、投資銀行の決済業務に係る 債権	2,767	-	-	-	-	-	-	2,767
資産合計	667,933	274,995	218,202	253,351	470,828	1,238,466	315,940	3,439,715
金融機関からの預り金	34,370	36,257	4,077	1,276	359	1,176	6,541	84,056
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行からの預り金	21,832	28,676	-	-	-	-	344	50,852
一般顧客からの預金及び借入金	18,300	35,306	1,781	483	371	6,263	1,338,153	1,400,657
うち、レボ	213	-	-	-	-	-	-	213
発行済証券 ³	58,526	368,375	263,962	155,320	412,914	122,439	-	1,381,536
うち、カバード・ボンド	26	40,329	73,743	104,740	339,886	89,447	-	648,171
うち、当初満期が1年未満の預金証 書(CD)	22,077	137,708	51,998	-	-	-	-	211,783
うち、当初満期が1年未満のコマー シャル・ペーパー(CP)	27,128	166,516	106,409	-	-	-	-	300,053
うち、当初満期が1年超の預金証書 (CD)及びコマーシャル・ペ ーパー(CP)	4,184	2,550	931	-	-	-	-	7,665
うち、非優先シニア債	-	115	69	184	17,568	15,887	-	33,823
うち、当初満期が1年超のシニア債 及びその他の証券	5,111	21,157	30,812	50,396	55,460	17,105	-	180,041
劣後負債	-	926	2,960	8,507	13,698	10,195	-	36,286
その他	7,064	365	369	700	1,514	841	470,599	481,452
うち、ショートポジション	4,126	-	-	-	-	-	-	4,126
うち、投資銀行の決済業務に係る 債務	2,927	-	-	-	-	-	-	2,927
負債合計	118,260	441,229	273,149	166,286	428,856	140,914	1,815,293	3,383,987
オフバランスシート項目								
金融保証及び未使用のローン・ コミットメント	486,517							

デリバティブ、2021年		31日から	6ヶ月から	1年から	2年から		
百万スウェーデン・クローネ	30日以内	6ヶ月以内	12ヶ月	2年	5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流入合計	220,594	487,565	83,775	99,046	145,200	78,969	1,115,149
デリバティブに係る現金流出合計	218,965	483,166	80,840	97,391	147,217	80,891	1,108,470
純額	1,629	4,399	2,935	1,655	-2,017	-1,922	6,679

上表の金融資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

金融資産及び負債の満期分析、

2020年

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月以内	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の指定 なし	合計
現金及び中央銀行預け金	397,660	-	-	-	-	-	-	397,660
中央銀行への担保として適格な利付 証券 ¹	99,133	-	-	-	-	-	-	99,133
債券及びその他の利付証券 ²	44,566	-	-	-	-	-	-	44,566
金融機関への貸出金	38,713	1,380	538	312	944	2,474	-	44,361
うち、リバース・レボ	523	-	-	-	-	-	-	523
一般顧客への貸出金	66,169	260,975	202,186	222,073	424,043	1,167,829	-	2,343,275
うち、リバース・レボ	11,626	-	-	-	-	-	-	11,626
その他	24,319	-	-	-	-	-	259,686	284,005
うち、株式及び参加持分	21,045	-	-	-	-	-	-	21,045
うち、投資銀行の決済業務に係る 債権	3,274	-	-	-	-	-	-	3,274
資産合計	670,560	262,355	202,724	222,385	424,987	1,170,303	259,686	3,213,000

金融機関からの預り金	40,506	44,451	4,606	2,504	338	1,169	31,683	125,257
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行からの預り金	17,334	23,110	-	-	-	-	314	40,758
一般顧客からの預金及び借入金	18,033	24,782	3,292	512	370	6,478	1,175,828	1,229,295
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
発行済証券 ³	65,211	308,234	292,213	177,502	390,714	108,727	-	1,342,601
うち、カバード・ボンド	4,422	52,689	75,622	118,283	317,032	78,624	-	646,672
うち、当初満期が1年未満の証書 及びその他の証券	53,895	215,445	190,593	-	-	-	-	459,933
うち、当初満期が1年超のシニア 債及びその他の証券	6,894	40,100	25,998	59,219	73,682	30,103	-	235,996
劣後負債	-	9,937	-	2,935	19,014	8,281	-	40,167
その他	5,700	363	367	694	1,644	1,151	424,642	434,561
うち、ショートポジション	1,687	-	-	-	-	-	-	1,687
うち、投資銀行の決済業務に係る 債務	4,001	-	-	-	-	-	-	4,001
負債合計	129,450	387,767	300,478	184,147	412,080	125,806	1,632,153	3,171,881

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のローン・
コミットメント

463,424

デリバティブ、2020年

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月以内	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流入合計	203,291	407,858	107,490	71,824	148,247	75,337	1,014,047
デリバティブに係る現金流出合計	206,606	413,822	104,701	71,671	145,949	76,657	1,019,406
純額	-3,315	-5,964	2,789	153	2,298	-1,320	-5,359

- 1) この金額（利息を除く）のうち、83,610(75,526)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。
- 2) この金額（利息を除く）のうち、4,601(7,184)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。
- 3) この金額（利息を除く）のうち、679,352(652,957)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

流動性準備金

ストレス状況下における中核事業を支援するための十分な流動性を確保するため、当行は取り扱っているすべての通貨で多額の流動性準備金を保有している。当該流動性準備金は、資金調達市場や外国為替市場とは関係なく、随時、当行に流動性を提供するものである。このうち一部は、即時提供され、その他は一定期間にわたって徐々に提供される。

当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券より構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出策より構成される。

表AR:46 中央銀行に対する残高、及び流動性準備金における有価証券保有残高（市場価値）

中央銀行に対する残高及び流動性準備金における 有価証券残高(市場価値)、2021年 (百万スウェーデン・クローネ)	スウェー デン・ クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
レベル1資産	210,882	157,572	65,123	159,399	592,976
現金及び中央銀行預け金	92,645	149,369	63,000	133,654	438,668
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び 国際機関が発行又は保証する証券	95,122	8,013	2,123	5,068	110,326
地方債及びその他公的機関発行債	616	-	-	-	616
きわめて高品質なカバード・ボンド	22,499	190	-	20,677	43,366
レベル2資産	569	587	473	1,020	2,649
<i>レベル2A資産</i>	<i>568</i>	<i>388</i>	<i>473</i>	<i>1,020</i>	<i>2,449</i>
ソブリン、中央銀行、地方自治体及び その他公的機関が発行又は保証する証券	-	-	-	617	617
高品質なカバード・ボンド	568	388	473	403	1,832
社債（格付がAA-以上）	-	-	-	-	-
<i>レベル2B資産</i>	<i>1</i>	<i>199</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>200</i>
資産担保証券	-	-	-	-	-
高品質なカバード・ボンド	-	-	-	-	-
社債（格付がA+からBBB-）	1	199	-	-	200
株式（主要株式指数）	-	-	-	-	-
流動資産合計	211,451	158,159	65,596	160,419	595,625

中央銀行に対する残高及び流動性準備金における 有価証券残高(市場価値)、2020年 (百万スウェーデン・クローネ)	スウェー デン・ クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
レベル1資産	208,731	131,749	67,923	149,683	558,086
現金及び中央銀行預け金	84,525	128,225	65,479	139,660	417,889
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び 国際機関が発行又は保証する証券	93,585	2,935	2,444	1,400	100,364
地方債及びその他公的機関発行債	645	-	-	-	645
きわめて高品質なカバード・ボンド	29,976	589	-	8,623	39,188
レベル2資産	1,066	654	1,978	952	4,650
<i>レベル2A資産</i>	<i>1,064</i>	<i>605</i>	<i>1,978</i>	<i>952</i>	<i>4,599</i>
ソブリン、中央銀行、地方自治体及び その他公的機関が発行又は保証する証券	-	-	-	881	881
高品質なカバード・ボンド	1,064	605	1,978	71	3,718
社債(格付がAA-以上)	-	-	-	-	-
<i>レベル2B資産</i>	<i>2</i>	<i>49</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>51</i>
資産担保証券	-	-	-	-	-
高品質なカバード・ボンド	-	-	-	-	-
社債(格付がA+からBBB-)	2	49	-	-	51
株式(主要株式指数)	-	-	-	-	-
流動資産合計	209,797	132,403	69,901	150,635	562,736

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、誤ったシステム、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスクに加え、ITリスク及び情報セキュリティ・リスク(以下、「ICTリスク」という。)も含まれている。

取締役会は、オペレーショナル・リスクに対するハンデルスバンケン・グループのリスク許容度を策定している。オペレーショナル・リスクは当行の業務において避けることのできない要素ではあるが、ハンデルスバンケンのオペレーショナル・リスクに対するリスク許容度は低い。可能な限り、ハンデルスバンケンはいくらのリスクを防ぎ、この分野の損失を低減するよう努める必要がある。インシデントが発生した際、当行グループの利益の重大な低下につながる可能性のあるオペレーショナル・リスクは、低水準まで軽減されなければならない。リスクが許容可能となるよう、リスク軽減策が取られなければならない。オペレーショナル・リスク事象からの損失は保険又は他の手段で対応され得る。事象発生の影響と蓋然性を1から5までの5段階で評価することによってリスク評価が行われる。事象発生の影響の蓋然性の評価に加え、影響を評価することにより、必要なリスク軽減策の対象範囲が決定される。アクションプランが策定されていない場合、又は作業に時間がかかりすぎる、又は計画通りに進捗していないとリスク・コントロール部が判断した場合、当該リスクは当行のリスク許容度を超えていると考えられる。

2021年の、25,000スウェーデン・クローネを超える、オペレーションによる潜在的及び実際の損失並びに復旧で構成されるハンデルスバンケンのオペレーションからの損失は合計38(88)百万スウェーデン・クローネであった。オペレーションからの損失の水準が、復旧により時間の経過とともに調整される、あるいは過去に報告されたインシデントに関連した他の損失が加わることは珍しいことではない。これにより、過去に報告された損失の比較数値が影響を受ける可能性がある。

組織体制

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理に関する責任は、ハンデルスバンケン・グループのすべての階層の管理者に課される責任に欠くことができないものである。当行の業務の分権的な手法とコスト意識によりオペレーショナル・リスクの良好な管理が推進され、日々の手続や事象における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながっている。

オペレーショナル・リスクの管理は業務活動において実施され、その取組みはリスク・コントロール部によって管理される。特別に任命されたローカルのオペレーショナル・リスク・コーディネーター（以下、「ローカル・オペリスク・コーディネーター」という。）は、オペレーショナル・リスクを管理する上で管理者を支援するために設置されている。彼らの責任は、業務活動において既存のオペレーショナル・リスクの管理手法及び手続が使用されていることを確認し、報告されたインシデントに関して必要な対策を講じ、業務活動を支援し、オペレーショナル・リスクに関して決定した活動のフォローアップを行うことである。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理に適用する方法及び手続に対して全般的な責任を負っている。これにはオペレーショナル・リスクの定期的な評価方法及び手続、並びに業務への適用も含まれる。グループ・リスク・コントロール部は、業務部門がオペレーショナル・リスクを特定、評価、報告及び管理し、決定された活動が実施されるようフォローアップを行っていることを確認しなければならない。またグループ・リスク・コントロール部は、新規又は大きく変更のある商品、サービス、市場、プロセス、ITシステムや、当行グループの業務又は組織体制の重要な変更に関する意思決定が行われる前にリスクが評価されていることを確かめる責任を負っている。さらにグループ・リスク・コントロール部は、グループ・レベルですべての重要なオペレーショナル・リスク及びその状況を特定、評価、分析し、経営陣及び取締役会に報告する責任を負っている。経営陣及び取締役会に提出されるリスク報告には、重大なインシデント及びリスク軽減策に関する情報も含まれる。

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の方法

業務部門は、部門内で関連するリスクの事実を収集することにより、日常的な業務活動に伴うリスクに当事者意識を持って主体的に取り組み、管理する責任を負っている。当行は以下の区分に従い、オペレーショナル・リスクの動向を監視している。

- ・ 執行・受渡・プロセス管理
- ・ 事業活動の中断・システム障害
- ・ 顧客・商品及び取引慣行
- ・ 外部犯罪
- ・ 有形資産に対する損傷
- ・ 労務慣行・職場の安全
- ・ 内部不正

オペレーショナル・リスクを特定、評価、測定及び管理するためのグループ共通の手法には、インシデントの報告、リスク指標及びオペレーショナル・リスクの自己点検がある。

インシデントの報告

25,000スウェーデン・クローネを超える直接的な金銭的損失をもたらしたオペレーショナル・リスクのインシデントに関する報告は必須である。重要なオペレーショナル・リスクを表す他のインシデントも報告義務があり、リスクの事実が収集されなければならない。

リスク指標

リスク指標はオペレーショナル・リスクの増加を警告するために監視されている。リスク指標の閾値を超えた場合、講じるべきリスク管理手法を評価する際の根拠とするためリスク評価を実施する必要がある。特定のリスク指標については、最高経営責任者が閾値を決定している。

OPRAリスク分析による自己点検

OPRAリスク分析とは、オペレーショナル・リスクを文書化し評価するための手法と自己点検手続である。これはすべてのユニットにおいて、少なくとも年に一度実施される。OPRAリスク分析はイベントドリブン型とすることも可能であり、重大なインシデントや閾値違反、又は重大な外部事象が発生した場合に手続を実施する。

図AR:47 3つの防衛線



ORX

当行はORX（オペレーショナル・リスクデータ・エクスチェンジ・アソシエーション）のメンバーである。ORXの主要目的は、オペレーションからの損失につながるインシデントに関する匿名データの交換に銀行を参加させることである。ORXはまた、オペレーショナル・リスクに関するデータの品質の標準化及び確保においても重要な機能を果たしている。オペレーショナル・リスクに関する手法については幅広い調査が行われており、ORXは重要な情報交換の場となっている。

ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務

当行の業務は、ITサービスが利用可能であること、及びそのセキュリティが確保されていることに依拠している。テクノロジーの発展と銀行サービスのデジタル化は、この領域の重要性が高まりつつあることを示している。ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務の全体的な目標及び戦略に関するガイドラインが最高経営責任者によって策定される。この領域のオペレーショナル・リスクは、当行の他の手続きと同様のものに加えて、対象となる領域における特定の種類のリスクを管理するための特別な手続に従って管理されている。特別な手続には、例えば以下のものが含まれる。

- ・ 本番稼働中のITシステムの監視
- ・ ITインシデントの管理
- ・ 新規又は変更後のITシステムの管理
- ・ サイバー・リスクの管理
- ・ セキュリティ・テストの実施
- ・ ITシステムのリスク分析の実施
- ・ 外部委託契約等の外部業者との契約の評価
- ・ ITシステムの継続管理

情報セキュリティ及びITセキュリティ

ハンデルスバンケンのセキュリティ業務は、従業員及び顧客の生命、健康及び完全性を守り、顧客及び当行グループの名声及び評判を守ることを目的としている。業務において、当行は顧客や顧客との関係に係る機密情報を継続的に処理している。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ及びITセキュリティの取り組みは、可用性、正確性、機密性、追跡可能性を基盤としている。情報システム及び業務システムは業務要件に応じて利用可能な状態でなければならない。ハンデルスバンケンの情報セキュリティに関するガイドラインは当行グループの最高経営責任者によって策定されている。当行の全従業員が情報保護に関する規則の遵守義務を負っており、すべての管理者は各担当分野における規則の遵守義務を負っている。当行は起こり得る脅威を阻止する効果的なセキュリティ業務を実践しており、いかなる不備も生じることがないように、IT環境における変更管理手続を策定している。情報の処理に誤りがあった場合や情報が誤って公表された場合、当行の信用低下や財務上の損失等、被害は深刻なものとなり得る。体系的なセキュリティ業務の枠組の中で、情報セキュリティの脅威やリスクに関する従業員及び顧客の意識向上を図るため、当行においてプレゼンテーション、研修プログラムや情報に関するイニシアティブなどを通じた組織的な取り組みが行われている。

当行の情報セキュリティ及びITセキュリティは、顧客情報や取引に加え当行のIT環境を保護することを目的としている。情報セキュリティ及びITセキュリティには技術的なセキュリティ対応に加え、規則やインストラクションといった、事務的な対応も含まれる。

情報セキュリティに関する取り組みは国際規格であるISO 27001に従って行われている。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ業務はISO 27001(No.0092311)の認証を取得している。また、当行の情報セキュリティ規定は、世界の大企業の大半が会員となっている組織である情報セキュリティ推進団体 (ISF) が策定したグッドプラクティス標準に基づいている。情報セキュリティ及びITセキュリティに関する取り組みは組織的に行われており、当行ではリスク分析を主体とするプロセスが適用されている。リスク分析ではISFの情報リスク分析手法 (IRAM2) が用いられている。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックはある種の変化をもたらしており、当行はこれまでその動向を注視してきたが、今後もそれを継続する予定である。リモートワークを目的として、既存のセキュリティ・インストラクションには新たな更新が行われた。技術環境の安全を確保し、エラーの発生を防ぐため、セキュリティの更新を含むITの変更は、パンデミック時のリモートワークの多寡にかかわらず、高水準で継続して行われてきた。これは、リスクや脅威を特定するためのセキュリティモニタリングについても同様である。

物理的な安全性

ハンデルスバンケングループの物理的安全対策には、防火設備や手続に加え、従業員への脅威、従業員の保護、旅行上の安全、周辺保護、当行の賠償責任及び損害保険に関するプロセスと手続、並びに外部環境の監視と指示が含まれる。

物理的な安全性に関するグループ内での指示により、特に、セキュリティのレビューが少なくとも毎年行われ、その後年次の就業環境調査を通じてフォローアップが行われる。

金融犯罪

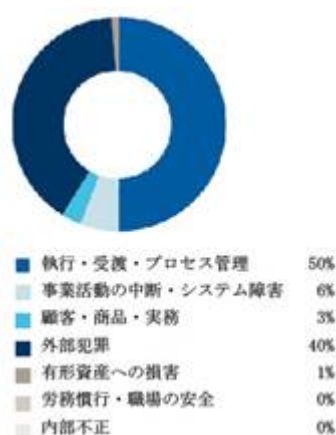
当行は、自らの顧客や商品、サービスが金融犯罪に悪用されるリスクを最小限に抑えるよう努めている。金融犯罪には、マネーロンダリング、テロリズムへの資金供与、脱税、贈収賄、不正及び国際的制裁に対する違反が含まれる。この業務は、グループ全体の金融犯罪防止への取り組みに関して責任を負う、当行の特命役員が率いる中央部門が管理している。金融犯罪を防ぐこれらの取り組みの重要な第一歩となるのが、当行のリスク許容度の低さと、当行が事業を展開する各国の金融犯罪に対応する外部規制機関である。当行には金融犯罪を所管する別のコンプライアンス部署があり、金融犯罪を監視するとともに、金融犯罪を防ぐ当行の取り組みに対す

るアドバイザーの役割を果たしている。同部署のトップは、当行の本部部門の責任者が務めている。当行の金融犯罪防止のための取組みの詳細については、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス・レポートの74-91ページを参照のこと。

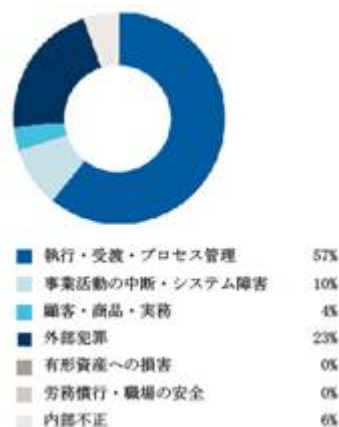
変更管理

変更管理は新規又は大幅に変更された商品、サービス、市場、プロセス、ITシステム、若しくは当行グループの業務又は組織体制の重要な変更が行われる際に用いられる。各プロセスの活動と主体は当行のインストラクションに定められ、変更管理の承認プロセスには、統制部門がいつ、どのように関与すべきかが記載されている。承認プロセスには、リスク分析が実施される要件も含まれ、これらは、例えば金融犯罪、サステナビリティ、情報セキュリティ、データ品質などの領域を考慮したものとなっている。また、変更管理に関する意思決定は文書化されなければならない。

図AR:48 25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（件数）、2017年 - 2021年



図AR:49 25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（金額）、2017年 - 2021年



重要なプロセス

重要なプロセスとは、当行の重要な業務に対する支援を提供する上できわめて重要なプロセスを言う。当行の重要プロセスは目的適合性について年次で、また重要な変更について見直され、リスク評価の対象とされるほか、必要に応じて改定される。重要なプロセスの特定は、当行の事業継続計画の対象範囲、すなわち、混乱や業務停止といった事象が起きた場合に業務のどの部分を優先させるかを決定する際に欠かせないものである。

事業継続計画及び危機管理

当行の事業継続計画及び危機管理の目的は、危機的な状況が発生した場合、事業継続のために当行が万全な準備をしておくようにすることである。これは、事業の深刻な混乱の影響を低減するため、混乱の期間においても、許容できる水準で事業を継続できるような予備手段を講じておかなければならないことを意味している。最高経営責任者による事業継続及び危機管理の指針並びに追加的な指示では、どの業務とITシステムが重要で事業継続を必要とするかを確認する上で、毎年結果分析を行わなければならないと規定している。

事業継続計画は、混乱時及び通常業務への回復期における事業維持に関する計画を含む。重要なプロセスに関しては、事業継続計画の中に認められる最長の事業停止期間を含める必要がある。当行グループには本部危機管理チーム (Central Crisis Team) が存在し、さらに、最高経営責任者は、特定のユニットが指定された危機管理機能を担う必要があると規定している。危機管理機能における手続は、特別な危機マニュアルに従って実施しなければならない。

事業継続計画及び危機マニュアルについては最低でも毎年見直しを行わなければならない。事業継続計画は最低でも毎年テストを実施し、危機管理機能を持つことを求められる各ユニットは、危機管理訓練を実施しなければならない。この手続は毎年評価が行われ、本部の取締役会に報告される。当行の事業継続管理戦略も本部の取締役会に報告される。

ハンデルスバンケンは金融セクターの混乱と業務停止への対応力の強化を目的とした、FSPOS (Finansiella Sektorns Privat-Offentliga Samverkan : スウェーデンの金融セクターの官民連携によるパートナーシップ組織) が企画する訓練にも任意参加している。当行は、万全な準備状況における金融セクターの事業継続能力を評価することを目的としてFSPOSが企画した本年度の訓練にも参加した。

サプライヤー契約

当行は、当行グループ内での業務委託契約を含む、サプライヤー契約を管理するための指定されたプロセスを有している。出発点として、当行はサプライ - 契約やその管理を決定する前の評価において、当行の低いリスク許容度を考慮した、リスクベースの業務手法を適用している。最高経営責任者は、重要性の高い業務を外部委託契約する際の条件及び要件を定めた業務委託契約のガイドラインを公表している。本ガイドラインはハンデルスバンケン・グループ全体及び当行グループの子会社にも適用される。

風評リスク、コンダクトリスク及び研修

風評リスクとは当行の信頼低下によってもたらされる損失リスクを指す。風評リスクは倫理基準の欠陥、不適切な行動、情報の不足や新商品や改訂商品の設計ミス等が原因で発生する。ハンデルスバンケンは積極的なビジネス・インテリジェンスを通じ、必要に応じて関連する是正措置を実施し、高い倫理基準で業務を遂行することにより、業務の中の風評リスクを管理し、これを最小限に抑えている。2021年には当行グループの全従業員に対し、金融犯罪、一般データ保護規則 (GDPR)、金融セクターにおけるサステナビリティ、市場濫用行為、セキュリティ研修 - サイバー・セキュリティ及びセキュリティ研修 - フィジカル・セキュリティの6つの研修が義務付けられている。

ハンデルスバンケンのリスク許容度の低さは従業員給付の面にも反映されている。当行では固定報酬が健全な業務に寄与していると考えており、それを基本原則としている。

コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクは、法規制の遵守が適切に行われないことに関連するリスクをいう。

ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクに対する許容度は低く、適切な管理体制、倫理基準並びに法規制への遵守に関して高い目標を掲げている。

コンプライアンスとは規制、法令、指令及び所轄官庁からの勧告、内部規則並びに許認可対象となるすべての業務に関する、一般に認められている事業慣行若しくは基準の遵守をいう。コンプライアンスが適切に行われない場合、オペレーショナル・リスクの増大、所轄官庁による制裁や他の介入が行われるリスク、財務上の損失、当行グループの事業活動に対する信頼の低下などの形でコンプライアンス・リスクにつながる可能性がある。コンプライアンス・リスクはグループ内で防止すべきもので、観察されたリスクの軽減に必要な取組みには、優先して行わなければならない。

金融機関のガバナンス、リスク管理及びコントロールに関するスウェーデン金融監督庁の規定及び一般指針（FFFS 2014年第1号）、内部ガバナンスに関する欧州銀行監督機構のガイドライン並びにMiFID（金融商品市場指令）のコンプライアンス機能要件の特定の側面に関する欧州証券市場監督局のガイドラインでは、規制当局がどのようにコンプライアンス機能を設定すべきと考えているか、及び金融機関がコンプライアンス問題にどのように取り組むべきかについて概要を策定している。バーゼル委員会の「コンプライアンス及び銀行のコンプライアンス機能」の枠組みもまた、銀行のコンプライアンス部署をどのように構築すべきかについてのガイドラインを定めている。ハンデルスバンケンは、その方針、指針及びインストラクションを通じ、規定、勧告及び指針に準拠してコンプライアンス部署を組織し、その作業手法を体系化している。

組織体制

当行グループのコンプライアンス部署は、グループ・コンプライアンス部と子会社及びその他事業体のコンプライアンス・ユニットの双方により組織されている。グループ・コンプライアンス部は本部と海外支店のローカルユニットの双方に置かれている。すべてのコンプライアンス・ユニットは業務から独立しており、組織上、監視及び統制の対象となる部署及び領域から分離している。コンプライアンス・ユニットの従業員は、監視及び統制責任のある業務の一部である職務は一切行っていない。

責任

コンプライアンス・リスクの特定、評価及び管理に関する責任は全階層における管理責任の不可欠な部分であり、ユニット又は部門レベルで割り当てられている。部署の管理者及びプロダクツの管理者には、業務とプロダクツが内外の規則に準拠して組成されることを確実にするための特別な責任がある。この責任には、内外の規則の遵守を確実にするために必要な統制活動の実施も含まれる。ハンデルスバンケン・グループにおいて、管理者と従業員は、規制遵守が適切に行われないことに伴うコンプライアンス・リスクに加え、内外の規則を通じて課された要件を正しく認識し、理解する必要がある。コンプライアンス部署の責任は、高水準のコンプライアンスを確実にするための活動を進めるとともに、ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクに対する低い許容度が確実に遵守されることにある。コンプライアンスの業務は、規制遵守に関連するコンプライアンス・リスク及び不備の特定、監視及び統制、コンプライアンス関連事項における当行スタッフ、経営陣及びユニットへの勧告、助言及び支援の提供、並びにコンプライアンス上の課題に関する経営陣及び取締役会への報告である。チーフ・コンプライアンス・オフィサーは、コンプライアンス部署及び当行グループにおけるコンプライアンス関連事項の報告に責任を負っている。

リスク・ベースのコンプライアンス業務

コンプライアンス部署は、業務にリスク・ベースの手法を適用している。実際には、これは、同部署が当行の業務とコンプライアンスに関する全体的なリスク評価を実施することを意味する。コンプライアンス部署はコンプライアンスが不十分であるリスクが高い領域を優先してコンプライアンス活動を計画し、実施している。発見事項が特定された場合には、それらについて「小」、「中」、「大」及び「重大」という4段階の評価尺度を用いて評価され報告される。グループ・コンプライアンス部は、当行グループ内の現在のリスク状況について、当行のグループ最高経営責任者、リスク委員会及び取締役에게報告を行う。報告書は当行のグループ最高経営責任者のリスク・フォーラムにも提示される。

報酬制度におけるリスク

報酬リスクは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害のリスクである。

報酬制度

ハンデルスバンケンでは、従業員が新たな職階に就いた際、報酬は個別に現地水準で設定される。報酬はハンデルスバンケンに対する拘束力を持つ労働協約のほか、類似した現地の標準的な契約や協定を考慮に入れ、当行の給与決定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とは業務内容及び難易度、能力及びスキル、実績及び成果、指導力、市場の需給関係、並びに当行の企業カルチャーの代表者としての役割である。

これらの原則は何年もの間、適用されている。ここでは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与プロセスに参加し、当行の給与方針に対する責任を持ち、各自の部門のスタッフ費用の増加に責任を持つことを意味している。

ハンデルスバンケンが適切に設計された報酬制度を確実に維持するため、報酬制度のリスクは、他の種類のリスクと同様の責任分担によるリスク管理を行う、個別のリスク区分として管理されている。ハンデルスバンクンの報酬リスクについての許容度は低く、報酬リスクを低水準に抑えるために積極的に活動している。実績型変動報酬は細心の注意を払った上で利用されなければならない、当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員には支給しない。

2021年には、57(55)百万スウェーデン・クローネの業績連動型変動報酬が稼得された。

組織体制及び責任

当行の報酬制度の原則は、取締役会で決定される報酬方針に規定されている。より詳細にわたる指針及び導入指令は、最高経営責任者が決定している。グループ・コンプライアンス部はこの領域に適用される規則を確実に遵守するため、これらの方針文書をレビューしている。報酬リスクの特定及び管理責任は、その業務の責任者である各マネージャーにある。グループ・リスク・コントロール部はリスクの観点から、報酬制度及びその適用状況が毎年評価されていることを確認している。また、この評価は、当報酬制度が当行のリスク、資本及び流動性の状況に与える影響の分析も含まなければならないとしている。

報酬制度におけるリスク

ハンデルスバンクンの報酬方針及び報酬制度におけるリスクは低く、当行の低いリスク許容度に沿ったもので、当行の長期的な利益を支えるものとみなされている。当該報酬制度による、当行の財務リスク、資本及び流動性の状況への影響は少ない。ハンデルスバンケン・グループの従業員に対する業績連動型変動報酬として引き当てられる合計額は、所与の年度の当行の普通株式等Tier1資本の0.4%を超えてはならない。変動報酬の

計算データは、現在及び将来のリスク評価に基づいてリスク調整されたものである。業績連動型変動報酬の支払延期や割り当てられた繰延変動報酬の全額又は一部の減額に関する規則が存在する。

当行の報酬制度に関する詳細情報及び統計に関しては、コーポレート・ガバナンス・レポート及び年次報告書の注記G8を参照のこと。

表AR:50 業績連動型変動報酬

業績連動型変動報酬	2021年	2020年
業績連動型変動報酬稼得額 ¹ 、百万スウェーデン・クローネ	57	55
給与及び報酬、百万スウェーデン・クローネ	9,278	9,378
業績連動型変動報酬を稼得し得る人数 ²	130	163
平均従業員数	12,240	12,563
給与及び報酬合計に占める業績連動型変動報酬稼得額の割合、%	0.6	0.6
普通株式等Tier1資本に占める業績連動型変動報酬引当金の割合、%	0.04	0.04
平均従業員数に占める業績連動型変動報酬を稼得できる人数の割合、%	1.1	1.3

1) これらの金額は社会保障費を除いたものである。これらの金額は年次報告書の公表後に決定される。

2) 業績連動型変動報酬を割り当てられる人数は年次報告書の公表後に決定される。2020年に変動報酬を稼得し得る163人のうち、120人が割当を受けた。

保険事業におけるリスク

保険事業におけるリスクは、主として、市場リスク及び保険リスクより構成されている。

保険事業における事業活動及びリスク

ハンデルスバンケン・リヴは、従来型運用を行う生命保険事業のほか、ユニットリンク保険契約、ポートフォリオ・ボンド保険契約及びリスク保険等の保険事業を行っている。従来型運用を行う保険の新規販売は行っていない。リスク・プロファイルはソルベンシー2で規定されている標準フォーミュラを用いて測定される。リスク・プロファイルの大半は、市場リスクと保険リスクである。

市場リスク

市場リスクとは、金利や不動産価格、株価、為替の変動といった、金融市場のリスク要因の変動が企業の運用資産やコミットメントの価値の変動をもたらす複合的なリスクである。市場リスクは保証商品に関連した従来型保険契約において発生するほか、保険契約者自身がリスクを負っているものの、企業の利益が商品に含まれている運用資産に左右される、貯蓄型商品、ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約からも間接的に発生する。

技術的準備金はリスク・フリー金利を用いて割り引かれるため、金利リスクは保険負債からも発生する。

ハンデルスバンケン・リヴのリスク許容度は低い。ハンデルスバンケン・リヴの投資ガイドライン及びリスク針を通して、ハンデルスバンケン・リヴの取締役会は、保険契約者に対する事業及び法定要件、投資に関するガバナンスやコントロールの実施方法、会社の総資産と事業を合わせたリスク水準の管理方法を考慮して、全体的な資産運用方法について指示する。リスクの特定、測定、分析及び報告が可能な資産及び商品に対してのみ、資産が慎重に投資される。

流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして企業が期日の到来した支払債務を履行できないリスクである。流動性リスクは将来の支払に関する日々の監視や、会社の運用資産の大部分を流動性の高い上場証券で運用することにより管理されている。

保険リスク

保険リスクは主に生命保険及び障害保険に関するリスクで構成されており、以下の区分に分類される。

リスク区分

死亡リスク

死亡リスクとは、死亡の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。死亡率が上昇することにより、保険契約債務が増加する。

長寿リスク

長寿リスクとは、死亡の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約の価値の低下リスクである。死亡率が低下することにより、保険契約債務が増加する。

障害リスク及び疾病リスク

障害リスク及び疾病リスクとは、罹患及び回復の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

解約・失効リスク

解約・失効リスクとは、解約、終了、更新及び解約払戻の水準やボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

営業費用リスク

営業費用リスクとは、保険契約の営業費用に関する水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

訂料リスク

訂料リスクとは、規制要件、法環境、被保険者の健康状態の変化による定期払込保険料の改定率の水準や推移の変化によって発生する、損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

大災害リスク

大災害リスクとは、重大な又は例外的な事象に関連した保険料設定の重大な不確実性及や仮定の引当金設定によって発生する、損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

また、ハンデルスバンケン・リヴ・グループは事故保険に関連したリスクにもさらされている。

一方で、上記のリスクは他のリスクよりは重要であるとみなされていない。ハンデルスバンケン・リヴの保険契約の大部分は、小規模企業及び個人顧客によって締結されている。ほとんどの契約がスウェーデンで締結されているという点を除いて、保険リスクに関しては、リスクの集中は発生していない。

保険事業では、保険市場及び保険リスク並びにオペレーショナル・リスクについて、保険会社の取締役会及び最高経営責任者、当行のグループ・リスク・コントロール部、並びに当行の最高財務責任者及び最高経営責任者に対するアドバイザーとして活動する当行のリスク委員会に報告される。

ハンデルスバンケン・リヴのコーポレート・ガバナンス体制及びリスク管理に関する詳細な情報は、ハンデルスバンケン・リヴが公表する「Gemensam rapport om solvens och finansiell ställning」（スウェーデン語のみ）に記載されており、この文書はhandelsbanken.comにて入手可能である。

経済資本

ハンデルスバンケンの経済資本算定モデルは、当行グループ全体のリスクに対する1つの尺度を提供しているほか、当該モデルは、高い可能性で予想外の損失又は価値の下落をカバーできる資本を示している。

グループ・リスク・コントロール部は、当行グループの様々なリスクについて総合的に監視する責任を有している。当行の経済資本（以下、「EC」という。）モデルは、当該監視における手段である。このモデルは、四半期ごとに取締役会に報告される当行の所要自己資本評価の一部でもある。この評価の目的は、当行グループが、当行グループのすべてのリスクに関連して、十分な資本を常に保有しておくことを確実にすることである。当行グループの見解では、経済資本は、保険事業におけるリスク及び当行の年金債務におけるリスクも含んでいる。

経済資本は、1年間の対象期間にわたって、容認可能なリスク水準及び望ましい格付を反映した信頼水準で計算される。取締役会は、経済資本の算定を当行にとって極端に不利な事象を取り込み、99.97%の信頼水準で行われなければならないと決定している。ECは平均的な年（収益があり当行の資産価値が増加する年）における結果と99.97%の信頼水準での結果との差額である。

異なるリスク区分間への分散効果は、ECを算定する際に考慮されている。リスクの一部が相互に独立しているため、リスク全体に対する所要自己資本は、個別リスクに対する経済資本の合計を下回る。

負の結果を吸収できるバッファを形成している資本及びその他の財源は、利用可能な財源（以下、「AFR」という。）と呼ばれる。AFRは、オンバランスシート及びオフバランスシートのその他の財務的価値の他に、1年間の対象期間にわたって損失をカバーするために利用可能なハンデルスバンケンの資本である。

当行グループは、株主の観点からのリスク管理及び資本管理を採用している。経済資本モデルは当行グループの全体的な見解を示すものであり、これにより株主から見たリスク及び資本の状態を最適化することができる。計算結果は新規取引又は構造上の変更が検討される場合に重要な役割を果たしている。

信用リスクは、当行グループのすべての取引相手及びエクスポージャーに対する債務不履行のシミュレーション結果を用いて算定される。

市場リスクは、トレーディング勘定に分類されている資産のリスク、非トレーディング勘定における金利リスク、保険事業における市場リスク及び非トレーディング勘定の所有株式におけるリスクより構成されている。

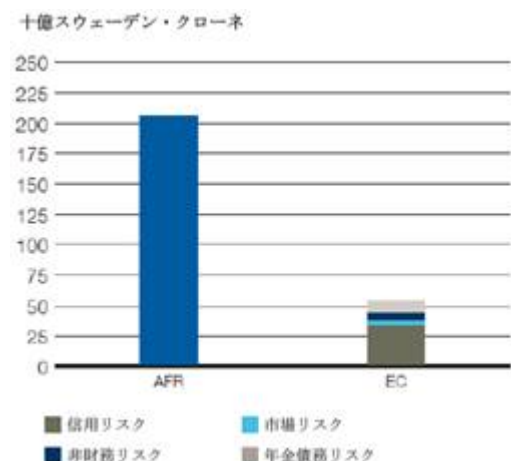
年金債務におけるリスクは、主として、当行の確定給付年金を引き受けるために存在する資産価値の減少リスク、及びこれらの年金債務の価値が金利の影響を受けるという事実により構成されている。年金債務のほとんどはスウェーデンにおけるものであり、年金基金及び職業年金組合により保険がかけられている。

他のリスクは、オペレーショナル・リスク、事業リスク、不動産リスク及び保険リスクである。事業リスクは、各事業分野における財務成績の予想外の変動に関連している。例えば、事業リスクは、需要又は競争環境が予想外に変化し、結果として取引高の低下及び利鞘の縮小につながってしまったために生じる可能性がある。不動産リスクは、当行が所有している不動産価値の下落のリスクである。

当年度末において、ECは53.6(57.2)十億スウェーデン・クローネであり、このうち信用リスクが全リスクの重要な部分を占めていた。取締役会は、AFR/EC比率は120%以上とすると規定している。当年度末における比率は、384(324)%であり、当行がリスク全般に関して十分な資本を準備していることを示している。スウェーデン金融監督庁は、当行の資本評価全般について、同じ結論に至っている。

報告されたリスク及び資本状態は、リスクの算定に景気変動に対する保守主義的な余裕率が含まれているとはいえ、あくまでも断片的なものである。当行グループの自己資本比率の最終評価を実施するに当たっては、当行の資本計画の一環として実行されたストレス及びシナリオ分析も考慮されなければならない。

表AR:51 2021年におけるAFR及びECの総額と内訳



資本計画

ハンデルスバンケンの資本計画は、当行グループの適切な額の財源を常に利用可能な状態にすることを目的としている。

所要自己資本は、当行グループのリスク、予想される進展、規制、目標比率、ハンデルスバンケンの経済資本（以下、「EC」という。）モデル及びストレス・テストの関数である。当行の所要自己資本は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、少なくとも四半期ごとに取締役会に報告される。

当行には、積極的な資本計画の一環として、当行が資本状況を改善する必要がある場合に講じることができる具体的な対策を盛り込んだ危機管理計画及び行動計画がある。危機管理計画及び行動計画の目的は、早い段階で潜在的な脅威を特定し、当行グループが必要に応じて迅速に行動する準備をするための警告システムを確保することにある。

長期資本計画は、少なくとも毎年策定され、当行グループの現在の資本状況、予想される資本効率及び様々なシナリオにおける結果についての包括的な概要を提示することを目的に策定されている。これらのシナリオは、予想される事象とは大きく異なるように作成されているため、当行グループの厳格なリスク許容度と調和している。資本計画にはまた、規制上の見解及び株主の見解の双方を考慮し、極端に不利な事業環境において十分な資本水準を維持する方法についての提案も含まれている。

資本計画は、短期及び中長期的な予測に分けられている。資本計画の一部は最大2年後までの短期予測より構成されており、主に現状の業績と所要自己資本の分析に重点を置いている。当該予測は、自己資本の規模及び構成を継続的に調整可能にするために必要である。

資本計画は、取引高、リスク及び業績の変動についての継続的な分析を通じて、また所要自己資本及び資本金額に影響を及ぼす可能性のある事象を監視することによって実行される。短期予測の対象には、当行グループの自己資本を構成するすべてのサブ・コンポーネントが含まれており、また、資本要件には、規制上の最低資本要件及びバッファに加え、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及び自己資本・適格債務に関する最

低要件 (MREL) が含まれている。当該予測作業にはまた、短期的な視点から自己資本比率及び自己資本において予想される変動についての様々な感応度分析を行うことも含まれている。したがって、当行は、例えば市場操作を通じて、必要に応じて自己資本の規模及び構成を変更する準備を整えることができる。

短期分析の結果は、実施される資本運営の基礎を形成しており、週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、必要に応じて取締役会に報告される。当該分析は、既存の収益能力が取引高の様々な変動にいかに対処できるか、及び資本運営から生じる可能性のある影響についての近い将来における判断のポイントを伴った慎重な基本シナリオに基づくものである。

中長期的な予測より構成される資本計画の部分では、法定自己資本比率要件に確実に準拠することを目的としており、当行グループの利用可能な財源 (AFR) が、ECモデルに従って計算されたすべてのリスクに関する適切な余裕率を常にカバーすることを目的としている。

また、長期的な予測にはその期間にわたる当行の全体的な資本の推移、最低資本要件、連結資本バッファ要件、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及びMRELの要件の評価が含まれる。その目的は業績を予測することであり、様々なシナリオにおける当行の耐性が十分な水準にあるか否か判断することである。計画期間は最低5年間で、当行グループの事業の業績傾向全般を考慮に入れている。

基本シナリオは、長期的な資本予測の基礎を形成している。当該シナリオは利益、取引高の増加、信用損失等財政上の仮定並びに株式市場、不動産市場及び債券市場に関する今後5年間の予想される業績より取得されている。基本シナリオは、その後、いくつかの景気循環及び危機シナリオにおける結果と比較される。ストレス・シナリオは、異なるマクロ経済変数が金融市場に与えた影響の関連性を過去に遡って分析することにより策定され、ハンデルスバンケンに最も不利な影響をもたらすと予想されるシナリオを用いて選定される。

2021年度末現在の普通株式等Tier1比率は19.4%(20.3)%であった。同日現在のAFR/EC比率は、384%(324)%であった。したがって、AFRは、内部所要自己資本 (EC) 評価額を上回る程の非常に十分な余裕をもって計上されている。

さらに、当行の強さは、ハンデルスバンケンの長期的な資本状況が財政上及び規制上の観点から非常に安定していることを示している、将来予測的な様々なストレス・シナリオの結果からも明らかである。

また資本計画では、規制動向の進展をモニタリングするとともに、新規要件による影響及び所要額を評価している。

規制資本に関する当行グループの目標

取締役会は、継続的に当行の資本構成に関する目標を設定している。規制資本の状況に関する所要自己資本評価の基礎は、当行の状況 (長期及び短期の両方を含む) に関するストレス及びシナリオ分析である。使用するシナリオは、主に当行の内部的なリスク許容度並びに規制及びその他の公的機関による規定に由来する直接的な要件に基づいている。所要自己資本に関する内部評価に加えて、スウェーデン金融監督庁は、銀行による内部の算定数値にかかわらず、スウェーデンの銀行の目標数値が当局の計算した所要自己資本合計を下回ってはならないことを通知した。新規則が施行された2021年現在、所要自己資本は主に最低要件から構成されている。当行は、規制資本に関する目標数値を設定する際には、このことを考慮している。

取締役会の決定では、現行の規制の枠組みに基づく当行のガバナンスに最も適した測定数値である普通株式等Tier 1比率は、通常の下では、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率よりも1から3パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。その他の自己資本の階層 (Tier 1自己資本比率及び総資本比率) は、それぞれの自己資本の階層について同監督庁が当行に通知した比率よりも少なくとも1パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。レバレッジ比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に通知したレバレッジ比率を最低でも0.6パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。さらに、当行は公的機関が課す他の資本要件をすべて満たす必要がある。さらに、取締役会は、「配当水準により、自己

資本比率がスウェーデン金融監督庁が通知した要件よりも1パーセンテージ・ポイント高い水準を下回ってはならない」と決定している。

当行の評価では、スウェーデン金融監督庁の規定する2021年第4四半期末現在における普通株式等Tier1資本比率は13.9%であった。

[次へ](#)

注記G3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	284	1,254
一般顧客への貸出金	35,094	38,547
中央銀行への担保として適格な利付証券	306	291
社債及びその他の利付証券	279	380
デリバティブ商品	-1,245	1,172
その他利息収益	1,111	1,074
合計	35,829	42,718
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	-3	-112
利息収益合計	35,832	42,830
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息	34,483	39,496
利息費用		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-112	-573
一般顧客からの預金及び借入金	-371	-1,396
発行済証券	-6,569	-11,786
デリバティブ商品	3,073	2,690
劣後負債	-1,097	-1,186
政府手数料	-1,171	-1,224
その他利息費用	-232	-192
合計	-6,479	-13,667
金融取引による純損益に計上された利息費用の控除	-38	84
利息費用合計	-6,441	-13,751
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-5,010	-11,658
純利息収益	29,391	29,079

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これは利息収益及び利息費用に正負双方の影響を及ぼす可能性がある。

注記G4 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
仲介及びその他証券コミッション	555	577
ミューチュアル・ファンド	5,842	4,304
カストディ及びその他資産管理手数料	905	744

アドバイザーサービス	230	203
保険	803	679
決済	2,647	2,695
貸出金及び預金	1,155	1,185
保証	207	263
その他	560	555
手数料及びコミッション収益合計	12,904	11,205
証券	-211	-221
決済	-1,168	-1,247
その他	-67	-67
手数料及びコミッション費用合計	-1,446	-1,535
純手数料及びコミッション収益	11,458	9,670

セグメント別手数料及びコミッション

収益2021年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・ マーケット	その他	調整及び消 去	合計
仲介及びその他証券コミッション	245	7	21	7	290	-4	-11	555
ミューチャル・ファンド	4,655	317	231	135	350	194	-40	5,842
カストディ及びその他の資産管理 手数料	659	33	105	73	47	3	-15	905
アドバイザリーサービス	2	46	0	-	213	-6	-25	230
保険	828	-	43	-	-33	-8	-27	803
決済	2,130	270	239	2	16	-8	-2	2,647
貸出金及び預金	752	122	88	18	47	128	0	1,155
保証	101	16	40	1	51	-	-2	207
その他	523	5	4	0	279	1	-252	560
手数料及びコミッション収益合計	9,895	816	771	236	1,260	300	-374	12,904

セグメント別手数料及びコミッション

収益2020年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・ マーケット	その他	調整及び消 去	合計
仲介及びその他証券コミッション	230	7	18	13	315	7	-13	577
ミューチャル・ファンド	3,353	267	151	48	414	137	-66	4,304
カストディ及びその他の資産管理 手数料	491	36	68	60	133	-43	-1	744
アドバイザリーサービス	0	39	1	-	188	-24	-1	203
保険	837	0	37	-	-159	-13	-23	679
決済	2,185	262	229	2	27	-7	-3	2,695
貸出金及び預金	737	143	79	19	50	158	-1	1,185
保証	126	19	43	1	74	-	-	263
その他	506	4	3	1	276	3	-238	555
手数料及びコミッション収益合計	8,465	777	629	144	1,318	218	-346	11,205

手数料及びコミッション収益は顧客との契約から生じる収益である。仲介及びその他証券コミッション、アドバイザリーサービス、支払、貸出金及び預金からの収益は通常、サービスの提供時となる特定の時点で認識される。決済にはクレジットカードの発行及び取得も含まれる。ミューチャル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険並びに保証は通常、サービスの提供時となるサービス提供期間にわたり定額法で認識される。

注記G5 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
償却原価で計上	300	139
うち、貸出金	396	266
うち、利付証券	-	0
うち、発行済証券	-96	-127
その他包括利益を通じて公正価値で計上	0	-1
うち、予想信用損失	0	-1
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	-900	304
うち、利付証券	-900	304
純損益を通じて公正価値で計上(強制)(外貨換算影響額を含む)	2,347	844
ヘッジ会計	0	49
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	7	49
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	-7	0
保険契約の金融部分に係る損益	-48	-118
合計	1,699	1,217

「純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション」として計上された金融資産の、当初認識時からの信用リスクの変動による価値変動累計額は-166(257)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G6 保険リスク

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
保険料収入	498	493
支払保険金	-332	-358
未払保険金の変動	-8	9
その他	21	50
合計	179	194

注記G7 その他収益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
賃料収入	34	32
その他営業収益 ¹	521	105
合計	555	137

1) スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、2021年10月18日にアクワイアリング事業をワールドラインへ売却した。この売却により、2021年にはその他営業収益に対し408百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

注記G8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
給与及び報酬	-8,196	-8,256
社会保障費	-2,049	-2,044

年金費用 ¹	-1,849	-1,757
利益分配制度に対する準備金	-69	-213
その他人件費	-289	-1,637
合計	-12,452	-13,907

デンマーク及びフィンランドの非継続事業に係る人件費は、注記13「売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業」に表示されている。

1) 年金費用の構成要素は、年金費用の表に示されている。

給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
執行役員 ²	-113	-121
その他	-8,083	-8,135
合計	-8,196	-8,256

2) 親会社の執行役員及び取締役並びに子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役（平均で44名）。

男女別分布

%	2021年		2020年	
	男性	女性	男性	女性
執行役員（取締役を除く）	71	29	69	31
うち親会社	70	30	80	20
うち子会社	71	29	63	37
取締役	65	35	66	34
うち親会社	50	50	50	50
うち子会社	68	32	68	32

平均従業員数

	2021年	男性	女性	2020年	男性	女性
スウェーデン	6,984	3,372	3,612	7,320	3,498	3,822
英国	2,667	1,512	1,155	2,574	1,445	1,129
ノルウェー	801	414	387	788	418	370
オランダ	361	231	130	352	229	123
米国	55	34	21	59	38	21
中国	16	8	8	58	23	35
ルクセンブルグ	47	25	22	45	24	21
シンガポール	5	1	4	23	7	16
ドイツ	21	9	12	34	17	17
ポーランド	16	4	12	24	9	15
その他諸国	66	28	38	77	32	45
合計	11,039	5,638	5,401	11,354	5,740	5,614

デンマーク及びフィンランドの非継続事業に係る平均従業員数は、注記13「売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業」に表示されている。

百万ユーロを超える報酬³

人数	2021年	2020年
1.0-1.5百万ユーロ	2	2
1.5-2.0百万ユーロ	1	1
2.0-2.5百万ユーロ	-	-
2.5百万ユーロ超	-	-
合計	3	3

3) 年金及びその他の給与手当を含む。

特定職員²に対する報酬¹、事業セグメント

百万スウェーデン・クローネ	2021年		2020年	
	報酬	人数	報酬	人数
スウェーデンにおける支店業務	498	377	545	436
英国における支店業務	400	253	425	274
ノルウェーにおける支店業務	113	59	104	58
オランダにおける支店業務	71	48	74	48
キャピタル・マーケット	188	59	177	48
非継続事業 ³	170	107	204	123
その他	321	131	313	133
合計	1,761	1,034	1,842	1,120

特定職員²に対する報酬¹

	2021年		2020年	
	経営幹部 ⁴	その他の 特定職員	経営幹部 ⁴	その他の 特定職員
固定報酬稼得額 (百万スウェーデン・クローネ)	74	1,630	78	1,719
業績連動型変動報酬稼得額 (百万スウェーデン・クローネ)	-	-	-	-
その他の変動報酬稼得額 (百万スウェーデン・クローネ)	0	57	0	45
合計	74	1,687	78	1,764
固定報酬のみの人数	-	-	12	1,089
固定報酬及び業績連動型報酬の双方の受給が可能な人数	-	-	-	-
固定報酬及び変動報酬の双方の受給が可能な人数	11	1,023	-	19
合計人数	11	1,023	12	1,108

新規雇用に関連する費用として認識される変動報酬保証額
(百万スウェーデン・クローネ)

- - - -

新規雇用に関連する費用として認識される契約上の
変動報酬保証額 (百万スウェーデン・クローネ)

- - - -

1) 稼得された報酬は、年金及びその他給付を含め、全額費用として認識されている。業績連動型変動報酬は、当行の変動報酬に関する方針に従って、稼得が決まった後の事業年度に個人単位で割り当てられ、支払われ、又は繰延べられる。職務内容から特定職員と認定さ

れた中で、2021年と2020年のいずれの年度にも業績連動型変動報酬を稼得した従業員はいなかった。2020年度には、報酬水準から特定職員と識別された従業員1名に対し、業績連動型変動報酬1百万スウェーデン・クローネが支払われた。又、2020年度には、2017年度以前に稼得された繰延業績連動型変動報酬2百万スウェーデン・クローネが、職務内容に基づいて特定職員に支払われ、これらの特定職員に対する繰延報酬は全額が支払われた。報酬水準により識別された特定職員に支払われた繰延報酬額は、-(0.5)百万スウェーデン・クローネであった。繰延報酬の処分権は支払時に従業員に移転する。すべての業績連動型変動報酬は、現金又は金融商品で支払われ、当該金額から社会保障費は除かれている。その他の変動報酬は、オクトゴーネン利益分配制度からの支給と解雇給付である。オクトゴーネン利益分配制度からの報酬の支給は14(-)百万スウェーデン・クローネであり、当該金額から社会保障費は除かれている。当年度の契約における解雇給付の総額は43(45)百万スウェーデン・クローネであり、個人に支払われた最高額は4.0(7.8)百万クローネであった。当年度中に、特定職員47(12)名に対する解雇給付67(15)百万スウェーデン・クローネが支払われた。変動報酬保証額の支給はなかった。

- 2) 当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を担う従業員（委員会委任規則(EU)923/2021）。報酬方針が他のEU規則又はスウェーデン金融監督庁が発表した他の規則の対象となる、変動報酬を受ける特定職員又は他の特別指定従業員が子会社にいる可能性がある。
- 3) デンマーク及びフィンランドの非継続事業。
- 4) スウェーデン金融監督庁は、規則（FFFS 2011年第1号）において、上級経営陣という用語を用いている。ハンデルスバンケンにおける上級経営陣とは、当行の執行役員に相当する。

従業員給付

ハンデルスバンケン・グループのすべての従業員への報酬に関する方針についての詳細な情報は、コーポレート・ガバナンス・レポートの85ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2021年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

スウェーデン金融監督庁指令FFFS 2011年第1号並びに欧州委員会委任規則575/2013及び923/2021に従い、銀行は、そのリスク・プロファイルに大きな影響を与える専門的な職務を行う従業員を特定する必要がある。ハンデルスバンケンはこのような職務を行う従業員1,034(1,120)名を特定し、「特定職員」に指定している。上述の規定の開示要件に準拠したハンデルスバンケン・グループのこれらの特定職員に対する報酬が、上表に記載されている。2021年に、ハンデルスバンケン・グループには、当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を負っている従業員のうち、業績連動型変動報酬を受給した従業員はいなかった。

2021年度には、ハンデルスバンケンがオクトゴーネン利益分配制度に88百万スウェーデン・クローネを引き当てた。2020年度には、オクトゴーネン利益分配制度に213百万スウェーデン・クローネを引き当てた。

オクトゴーネン利益分配制度

オクトゴーネン利益分配制度は、ハンデルスバンケン・グループの全従業員を対象としており、本制度は変動報酬に分類され、ハンデルスバンケンの企業目標の達成に連動する収益性指標と、当行の業績に関する取締役会の総合評価に基づいて決定される。支給は主として従業員に対する現金で行われるか、又は年金制度、貯蓄制度若しくはその両者の組み合わせで行われる。

株式報酬

2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は、適用される英国法に基づき、株式報酬プログラム（「SIP」）の対象となっている。本制度の報酬は、親会社であるハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式という形式で決済される。SIPでは、英国を拠点とする信託が会社の代わりに株式報酬プログラムを管理することが要求されているため、信託が設立されSIP受託人が管理している。信託は株式を取得し、従業員に割り当て、その後は従業員に代わって割り当てられた株式を保有している。従業員に割り当てられた株式は、従業員への課税を回避するため、SIPで年間以上にわたって権利確定するものとし、権利確定期間中に受け取る配当金は、従業員に発生する。

SIPへの割当条件と収益条件はオクトゴーネン利益分配制度と同じであることから、対象期間は前年度である。「ハンデルスバンケンにおける報酬原則」の項を参照のこと。ハンデルスバンケン・ピーエルシーの取締役会は、株式報酬プログラムへの最終的な配分を決定する。2021年度には、37.5百万クローネの株式報酬が2020年度に係る費用として計上され、資本の増加として認識されている。当行の株式報酬費用は、その後変更することはできない。

この支払は、信託がハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式395,865株を1株当たり平均市場価格97.3スウェーデン・クローネで市場から買い入れることで決済され、株式は従業員に割り当てられた。当行グループにとっては、ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式の取得は自己株式の買戻しに相当し、資本が減少した。持分変動計算書を参照のこと。

執行役員に対する報酬

ハンデルスバンケンの執行役員は、取締役、経営幹部、副最高経営責任者、グループ・リスク・コントロール長及びグループ・コンプライアンス長である。コーポレート・ガバナンス報告書88ページから91

ページも参照のこと（訳注：ハンデルスバンケンの2021年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）。親会社の執行役員に対する報酬は、2021年年次株主総会で策定された報酬に関するガイドラインに従っている。86ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2021年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）も参照のこと。

ハンデルスバンケンの執行役員に対する報酬、年金債務、与信及び預り金は、これらのページに記載されている。また、子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役もこれに含まれる。

ハンデルスバンケン・グループの執行役員に対する報酬は固定給及び年金給付の形式のみで支給されるが、社用車等の慣習的な給付もある。取締役会の特別決議に基づき、当行は報酬の一部として住宅を提供することができる。当執行役員は、当行の全従業員と同じ条件でオクトゴーネン利益分配制度の対象となっている。業績連動型変動報酬の支給は行われない。当行の従業員である執行役員は、すべての従業員と同じ条件で給与を年金に転換する権利も有している。

当行の従業員でもなく当行の子会社の従業員でもない取締役は、年次株主総会の決議に従った報酬のみを受け取る。

当行又は当行の子会社の従業員である取締役は、雇用の事由により報酬及び年金給付を受け取る。取締役を務めることによって追加的に報酬も年金給付も支給されることはない。親会社の取締役に対する報酬については、コーポレート・ガバナンス報告書の88ページから91ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2021年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

執行役員に関する以下の報酬情報において当行が記載した年金費用は、IAS第19号に準拠した確定給付年金に関する勤務費用、確定拠出年金に関して合意された保険料、及び給与から転換された年金保険料で構成される。

当行を代表して他の会社の取締役を務めたことによる外部報酬は、当行に支払われている。

グループ最高経営責任者、副最高経営責任者、経営幹部及び統制部門長に対する報酬

(百万スウェーデン・ クローネ)	固定報酬				変動報酬		年金費用、確定給 付制度及び確定拠 出制度		年金費用を含む 固定報酬及び 変動報酬		報酬合計に占める 固定報酬の割合	
	基本給		手当									
	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
グループ最高経営責任者												
カリナ・オーケストレム ¹	13.3	12.5	0.5	0.4	0.0	-	4.6	4.4	18.4	17.3	100%	100%
副最高経営責任者												
カール・セダーシオルト ^{8,9}	6.4	-	0.1	-	0.0	-	2.1	-	8.6	-	100%	-
ベール・ベックマン ²	6.2	6.1	0.3	0.3	0.0	-	4.3	4.1	10.8	10.5	100%	100%
ダグ・イエルスモ ^{2,3}	-	4.0	-	0.3	-	-	-	3.2	-	7.5	-	100%
ニナ・アーキラーティ ^{4,5}	-	0.6	-	0.0	-	-	-	0.2	-	0.8	-	100%
ラース・モエスガード ^{3,5}	-	4.3	-	0.3	-	-	-	1.7	-	6.3	-	100%
ミカエル・ソーレンセン ^{3,6,7}	-	9.4	-	1.7	-	-	-	-	-	11.1	-	100%
経営幹部及び統制部門の他の メンバー¹⁰	25.7	30.9	1.5	1.4	0.1	-	8.2	7.3	35.5	39.6	100%	100%
平均人数：												

グループ最高経営責任者、	10	12
副最高経営責任者、		
経営幹部及び統制部門		

12月現在の人数：

グループ最高経営責任者、	10	10
副最高経営責任者、		
経営幹部及び統制部門		

年金費用とは、IAS第19号に準拠し、確定給付年金制度に基づいて積み立てた年金、又は確定拠出年金制度に備えて支払った保険料をいう。積み立てられた確定給付年金は権利確定され、当行の年金基金又は当行の年金基金で確保される。退職年齢より前に退職する場合には、積み立てられた確定給付年金に係る払込済保険及び/又は稼得済みの確定拠出年金を受け取る。オクトゴーネン利益分配制度の形式による変動報酬の支給が2021年度に実施された。地方税及び社会保障費控除前の金額は、従業員一人当たり16,742スウェーデン・クローネであった。

- 1) グループ最高経営責任者に就任以降は給与の35%を確定拠出年金として受給する。退職年齢は65歳である。従前に権利確定した確定給付年金は払込済保険契約として受け取る。
- 2) 60歳時給与の65%を確定給付年金として受給し、給与の2%を年金拠出とする。確定給付型の退職年金は在職期間中に段階的に稼得され、60歳に達するまでに全額が稼得される。
- 3) 2020年12月15日からは副最高経営責任者に就任。
- 4) 2020年1月29日からは副最高経営責任者に就任し、2020年7月28日をもって退任した。
- 5) 給与の35%を確定拠出年金として受給する。退職年齢は65歳である。
- 6) ハンデルスバンケン・ピーエルシーからの報酬。
- 7) 年金は発生しない。
- 8) 2021年2月2日に副最高経営責任者に就任。
- 9) 労働協約に基づく確定給付年金と、確定拠出年金（所得基準額が30を上回る場合には給与の30%を上限とする）を受給している。退職年齢は65歳であり、確定給付型年金は退職年齢に達するまでに全額が稼得される。
- 10) 当行の他の執行役員は、労働協約に基づく確定給付年金又は確定拠出年金（給与の35%を上限とする）を受給している。退職年齢は65歳であり、退職年齢に達した時点で確定給付年金の全額が稼得される。基本給及び年金額は給与控除前の金額である。他の経営幹部及び統制部門長のうち、3名が2.8百万スウェーデン・クローネの給与を年金に転換した。

子会社における報酬

子会社の取締役のうち当行の従業員でも当行の子会社の従業員でもない者16(19)名に対する報酬は、8.0(6.6)百万スウェーデン・クローネであった。

2021年に、子会社の最高経営責任者及び副最高経営責任者である14(15)名は、年金転換後で46.5(50.9)百万スウェーデン・クローネの固定給を受領した。その他給付は3.3(3.8)百万スウェーデン・クローネで、当行の年金費用は6.2(9.7)百万スウェーデン・クローネであった。年金転換前の年金費用は5.6(9.3)百万スウェーデン・クローネであり、給与の12.0(18.2)%に相当した。オクトゴーネン利益分配制度の形式による変動報酬は0.2(0.0)百万スウェーデン・クローネであった。

子会社の最高経営責任者及び副最高経営責任者のうち、主要業務がハンデルスバンケンにおける他の役割である者には、報酬は支給されていない。

執行役員に対する年金債務

2021年12月31日現在、最高経営責任者であるカリナ・オーケストレーム氏が最高経営責任者に就任する以前に稼得し、払込済となった年金債務¹は92.3(101.4)百万スウェーデン・クローネであった。2021年12月31日現在、副最高経営責任者であるパー・ベックマン氏に対する年金債務は、114.7(122.0)百万スウェーデン・クローネであり、その他の親会社の業務執行取締役8(10)名に対する年金債務は、72.2(70.2)百万スウェーデン・クローネであった。

2021年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,722(3,062)百万スウェーデン・クローネであった。そのうち2021年12月31日現在、親会社の現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,544(2,882)百万スウェーデン・クローネであった。当行グ

グループのこれらの債務の対象となる人数は89(85)名であり、そのうち71(68)名は年金受給者である。これに該当する親会社の人数は74(71)名であり、そのうち 64(61)名は年金受給者である。

*) 年金債務とは、IAS第19号に従って、当行が将来の確定給付年金の支払いに備えて引き当てている金額である。その金額の規模は財務上及び人口統計上の仮定の変動に応じて毎年変わる可能性がある。

執行役員への与信及び執行役員からの預金

2021年12月31日現在、執行役員への与信額は、親会社で1.3(1.4)百万スウェーデン・クローネ、子会社で98.4(90.1)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金額は、合計で263.1(433.1)百万スウェーデン・クローネであった。2021年のこれらの人員に対する与信に係る当行の利息収益は、親会社で合計0.0(0.1)百万スウェーデン・クローネ、子会社で合計1.2(1.2)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金に係る利息費用は、0.9(1.6)百万スウェーデン・クローネであった。

2021年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの子会社の執行役員に対する与信額は、104.8(123.2)百万スウェーデン・クローネであった。

ハンデルスバンケン・グループに雇用されている執行役員への与信及び執行役員からの預金の契約条件は、ハンデルスバンケン・グループの他の全従業員と同じ方針に従ったものである。すべての与信は、与信評価の対象となる。

年金

正味年金債務

百万スウェーデン・クローネ

年金債務

制度資産の公正価値

正味年金

2021年	2020年
34,841	37,761
43,607	39,766
8,766	2,005

上表の確定給付年金債務及び制度資産に加えて、1989年から2004年までの期間においては、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）の特例付加年金(SKP)に対する引当金が計上された。この引当金には、市場価値が8,948(9,692)百万スウェーデン・クローネである制度資産が含まれている。この特例付加年金によって、当行はその制度資産と同額の債務を負担することになっている。

この債務のうち、6,694(7,276)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

ドイツにおける業務終了に伴い、2020年11月30日までに積み立てられた全ての確定給付年金 61百万スウェーデン・クローネは、BVV(Branchenversorgungswerk der Banken und Finanzdienstleistungsinstitute)に移管された。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ

勤務費用

過去勤務費用

年金債務に係る利息

制度資産に係る利息

清算及び縮小による利益及び損失¹

社会保障負担額、確定給付年金制度

年金費用、確定給付年金制度

年金費用、確定拠出年金制度²社会保障費、確定拠出年金制度²

年金費用合計

2021年	2020年
-947	-982
0	0
-563	-614
597	626
0	48
0	0
-913	-922
-674	-645
-262	-191
-1,849	-1,758

1) 2020年度にドイツの確定給付制度が移管されたことにより、2020年12月31日現在、年金費用に対し48百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。

2) デンマーク及びフィンランドの非継続事業に係る年金費用は、注記13「売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業」に表示されている。

確定給付年金債務

百万スウェーデン・クローネ

期首残高

勤務費用

過去勤務費用

年金債務に係る利息

給付金支払額

2021年	2020年
37,761	35,724
988	982
0	0
563	614
-1,062	-1,006

清算及び縮小による利益及び損失	0	-56
数理計算上の利益(-)/損失(+)	-3,725	1,810
外貨換算影響額	316	-307
期末残高	34,841	37,761

制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
期首残高	39,766	36,378
過去勤務費用	-	-
制度資産に係る利息	597	626
雇用主の拠出による積立金	871	625
雇用主に対する報酬	-674	-545
清算及び縮小による利益及び損失	0	-8
従業員に直接支払われる積立金	-329	-417
数理計算上の利益(+)/損失(-)	3,095	3,376
外貨換算影響額	281	-269
期末残高	43,607	39,766

制度資産に係る収益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
制度資産に係る利息	597	626
数理計算上の利益(+)/損失(-)	3,095	3,376
実際の収益	3,692	4,002

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
活発な市場における株式及びファンド株式 ³	33,269	32,484
活発な市場に上場していない株式	1,709	711
活発な市場に上場している利付証券	7,595	5,219
その他制度資産	1,034	1,352
合計	43,607	39,766

3) ファンド株式は21,299(11,180)百万スウェーデン・クローネであり、そのうち債券ファンドは16,287(10,172)百万スウェーデン・クローネである。

制度資産には、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの株式が含まれており、貸借対照表日である2021年12月31日現在の市場価値は-(101)百万スウェーデン・クローネである。その他制度資産には、主に流動性資金及びまだ年金基金から支払われていない報酬債務が含まれている。

数理計算上の利益(-)/損失(+)、年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
人口統計上の仮定の変更	219	-100

財務上の仮定の変更	-3,873	1,735
実績に基づく調整	-71	175
合計	-3,725	1,810

将来キャッシュ・フロー

百万スウェーデン・クローネ	2021年実績	2022年予測
給付金支払額	-1,062	-967
雇用主の拠出による積立金	871	731

確定給付年金は、主としてスウェーデンの従業員に対して支払われる。正味年金債務の合計のうち、スウェーデンの制度は31,681 (34,662)百万スウェーデン・クローネ、英国の制度（新規の積立を終了）は3,089 (3,036)百万スウェーデン・クローネである。また、ノルウェーとドイツにも小規模の確定給付年金制度があるが、規模の面から重要性はないとみなされるため、詳細な開示は行っていない。

制度資産総額のうち、スウェーデンの制度資産は40,437 (36,968)百万スウェーデン・クローネであり、3,170 (2,799)百万スウェーデン・クローネが英国で廃止された年金制度によるものである。

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BAO」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額が7.5までは年収の10%としている。所得基準額が7.5から20の給与部分については、退職年金は65%で、所得基準額の20から30の給与部分については、退職年金は32.5%である。所得基準額が30を上回る給与については、退職年金は支給されない。2020年3月1日現在、全ての新入社員及び25歳未満の従業員は、確定拠出年金制度の対象となる。2020年3月1日より前に雇用された従業員は、引き続き確定給付年金制度の対象となる。

年金制度は、外部で積立てが行われている。すなわち、制度資産は年金基金、信託会社又は類似の法人が保有している。信託会社（又は同等の機関）の活動は、当行グループと制度資産を運用している信託会社（又は同等の機関）との間の関係に適用される国内法及び実務慣行、並びに制度資産の投資方法に関する枠組みによって規制されている。スウェーデンでは年金債務法及び企業年金制度に関する法律が主な国内法及び慣行として適用される。英国では標準的な英国年金及び課税に関する法令が適用される。

重要な仮定

	スウェーデン		英国	
	2021年	2020年	2021年	2020年
割引率（%）	2.1	1.50	1.80	1.30
予想昇給率（%）	3.5	3.5	N/A	N/A
年金指標（%）	2.0	2.0	3.3	3.0
所得基準額（%）	3.0	3.0	N/A	N/A
インフレ率（%）	2.0	2.0	3.5	3.1
離職率（%）	4.0	4.0	N/A	N/A
退職時の年齢を基準にした平均余命（年）	23.1	23.1	24.0	24.0
平均デュレーション（マコーリー）（年）	17.3	18.7	19.0	20.0

確定給付年金債務への影響

感応度分析	仮定の変化	確定給付年金債務の増加		確定給付年金債務の減少	
		百万スウェーデン・クローネ		百万スウェーデン・クローネ	
		2021年	2020年	2021年	2020年
割引率（％）	0.5	3,201	3,959	-2,998	-3,454
予想昇給率（％）	1.0	1,638	1,477	-1,369	-2,349
年金指標（％）	0.5	1,875	2,220	-1,742	-2,052
退職時の年齢を基準にした 平均余命（年）	1.0	1,238	1,474	-1,232	-1,456

上表の感応度分析は、1つの仮定が変化し、それ以外の仮定がすべて一定であることを前提としている。実務上このような場合が起こる可能性は低く、一部の仮定の変化には相関関係がある可能性がある。確定給付年金債務の重要な数理計算上の仮定に対する感応度を計算する際には、貸借対照表に認識される年金負債を計算する際と同様の手法を適用している。その手法は、会計方針（注記G1のセクション19を参照）に記載されている。2020年度の年次報告書と比較して、感応度分析を作成する際に用いた手法は変更されていない。

当行は、確定給付年金制度において、いくつかのリスクにさらされている。そのうち、最も重要なリスクは以下のとおりである。

資産のボラティリティ：制度負債は、社債利回りを参照して設定される割引率を用いて計算されている。制度資産の運用実績がこの利回りを下回る場合、制度資産には余剰価値があることから、債務超過に陥るリスクは低い。年金制度のかかなりの割合を株式が占めており、これらは長期的には社債利回りを上回る程の実績が見込めるものの、短期においてはボラティリティ及びリスクをもたらしている。制度負債は長期的な性質を有していることから、当行は、株式投資の比率を高くすることが当行の長期にわたる年金制度の効率的運用のために戦略上適切であると考えている。

社債利回りの変動：社債利回りが減少すると、その減少の一部は年金制度で保有する社債の価値の増加によって相殺されるものの、制度負債が増加することになる。

インフレ・リスク：年金債務はインフレ率と連動しており、インフレ率が上昇すると負債は増加することになる。制度資産の評価額はインフレ率による直接の重大な影響を受けることはない。すなわち、インフレ率が上昇すると、制度資産の赤字幅もおそらく拡大することになる。

平均余命：年金制度は、加入者の生涯にわたって給付を提供するためのものである。したがって、平均余命が延びると、年金債務は増加することになる。

資産負債マッチング（ALM）：制度資産の構成は、年金債務の構成及び予想される推移と整合している。ALMの全般的な目標は、中長期にわたって、少なくとも年金債務の推移に対応できる程の運用収益を生み出すことである。制度資産の大部分は株式への投資であるが、固定利付商品や現金への投資も行われている。株式の割合を多くすることが、年金制度の効果的な運用のために適切であると考えている。

拠出額に関する取決め：最低拠出額に関する規定は制度によって異なるが、この規定が団体契約又は内部方針に基づく場合、現地の規定に従って測定される年金債務は原則として全額カバーされる。拠出額の水準は、定期的に監視されている。当行は、現行の拠出率は妥当であると考えている。

[次へ](#)

注記G9 その他費用

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
不動産及び建物設備	-545	-574
外部IT費用	-2,188	-1,720
通信費	-257	-284
旅費及びマーケティング費用	-128	-130
購入したサービス	-1,884	-1,785
備品費	-140	-159
その他管理費用	-435	-593
合計	-5,577	-5,245

監査人及び監査法人に対する報酬	アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ビー		プライスウォーターハウス クーパース・エイ・ビー	
	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-26	-26	-4	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	-2	-2	0	-
税務アドバイス	0	0	-	-
その他サービス	-	0	-	-

注記G10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
貸借対照表項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-403	-551
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の、 過年度に他のステージに分類された貸出金に対する引当金の戻入	173	394
ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	-230	-157
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	188	-423
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-9	-31
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する 当年度の予想信用損失合計	179	-454
貸借対照表項目に係る予想信用損失合計	-51	-611
オフバランスシート項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	26	4
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	11	-82
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	-18	-22
オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計	19	-100
償却		
当年度の実際の信用損失 ¹	-363	-1,738
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	281	1,670
償却合計	-82	-68
回収	71	130
正味信用損失	-43	-649
うち、一般顧客への貸出金	-65	-546

1) 当年度の実際の信用損失のうち、105(283)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。

新型コロナウイルス感染症の信用リスクへの影響

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
1) ステージ3に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に係る予想信用損失	-204	-153
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの引当金の変動額		
マクロ経済シナリオ及びリスク要因の更新	45	-5
影響を受けた業種のエクスポージャーのステージ1からステージ2への振替 ¹	2	-41
ポートフォリオのデフォルトリスクの変動(格付の正味変動)	-36	-153
エクスポージャーの変動の影響(既存/新規/終了したエクスポージャー)	49	114
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するその他の予想信用損失	128	38
除外：非継続事業	-13	-15
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの信用損失	175	-62
新型コロナウイルス感染症に関するエキスパートベースの引当金 (ステージ1及びステージ2におけるストレス下の12ヶ月ECL)		
仮定に基づく、影響を受けた業種に係るストレス分の引当金	-675	-663
控除：80%のストレス確率に基づく金額(英国については90%、 宿泊業については100%)	98	99
除外：非継続事業	78	68
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するエキスパートベースの信用損失	-499	-496
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するエキスパートベースの信用損失(前年度と比較した引当金の変動)	-3	-496
2) ステージ1及びステージ2に分類された貸借対照表項目及び オフバランスシート項目に係る予想信用損失	172	-558
3) 償却	-82	-68
4) 回収	71	130
正味信用損失(1+2+3+4)	-43	-649

1) 信用リスクの著しい増大に関するエキスパートベースの評価

2021年の引当額は減少した。これは主に、規模の類似した4つの項目によるものである。その一つは、昨年度末の予想に比べGDPが上方修正され、失業率が低下し、将来の担保価値が増加しているという、マクロ経済上のリスク要因に関する数値を更新したことである。他の3つの主要な要因は、相対的に信用力の低い顧客に対する与信残高が減少したこと、債務不履行の定義変更により与信残高がステージ3に振り替えられ

たこと、及び為替換算の影響である。これらの要因は、現行のポートフォリオの格付がマイナスに遷移したことによりある程度相殺されている。また、当年度には、新型コロナウイルス感染症の影響に関するエキスパートベースの評価による引当必要額は安定していた。

マクロ経済シナリオは、現在の市況に合わせ、年間を通じて定期的に更新されている。マクロ経済リスク要因の選択及び、下降/基本(中立)/上昇のシナリオの確率加重は15%/70%/15% (15%/70%/15%)に関し、期中の変更はなかった。

モデルでは考慮されていないと考えられる要因による、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが及ぼすと見込まれる影響を織り込むために、2020年度より一部のサブ・ポートフォリオに対し、モデルベースの算定を調整するため、エキスパートベースの算定が総計レベルで行われた。これらのサブ・ポートフォリオのストレス・シナリオと2021年12月31日現在のモデルベースの算定と比較した差がエキスパートベースの算定結果である。その後、当行はエキスパートベースの算定結果が発生する蓋然性を検討し、追加の引当必要額を499(496)百万スウェーデン・クローネと見積もった。ストレスを受けたサブ・ポートフォリオは、すべての個人顧客(住宅ローンを除く)のほか、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより特に影響を受けたセクターの企業を含んでいる。影響を受けたのは、主に宿泊飲食業及び小売業である。特定のセクターの特定のカウンターパーティについては、モデルベースの算定において引当必要額が十分に考慮されているとみなされることから、専門的評価に基づき、除外されている。企業と個人双方のデフォルト確率(PD)は今後12ヶ月にわたりストレスを受ける。このストレスに加えて、特に新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響を受け、通常よりも信用リスクが高いセクターの企業について、エキスパートベースの評価が追加された。これらの企業は、そのセクターと格付だけで信用リスクが著しく増大したとみなされ、信用供与後のモデル化された信用リスクの変化の大きさに関係なく、ステージ2に分類されている。個人については、失業率の上昇可能性を踏まえて引当金が算定されている。

ステージ3に分類された貸出金の減損テストプロセスは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを理由に変更されておらず、個別評価の手続は従来通りに行われている。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2021年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	439,932	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他貸出金	1,462	-	-	-	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	421	-	-	-	-	-
その他金融機関への貸出金	21,833	10	-	-2	-3	-
一般顧客への貸出金	2,345,196	64,390	7,421	-395	-690	-2,093
社債及びその他の利付証券	9,016	-	-	-2	-	-
合計	2,817,860	64,400	7,421	-399	-693	-2,093
オフバランスシート項目						
偶発債務	406,024	9,477	336	-109	-144	-91
うち、保証コミットメント	70,375	1,265	116	-9	-10	-39
うち、債務	335,649	8,212	220	-100	-134	-52
合計	406,024	9,477	336	-109	-144	-91

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2020年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	397,642	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他貸出金	21,326	-	-	-	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	1,181	-	-	0	-	-
その他金融機関への貸出金	21,911	17	-	-2	-6	-
一般顧客への貸出金	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238
社債及びその他の利付証券	7,964	-	-	-2	-	-
合計	2,639,707	76,401	7,002	-389	-840	-2,238
オフバランスシート項目						
偶発債務	391,266	10,743	433	-90	-157	-119
うち、保証コミットメント	77,829	1,910	156	-8	-16	-70
うち、債務	313,437	8,833	277	-82	-141	-49
合計	391,266	10,743	433	-90	-157	-119

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は3,259(2,097)百万スウェーデン・クローネであった。

一般顧客への貸出金に対する信用損失の主要数値²

	2021年	2020年
信用損失率、ACC、全事業、%	0.00	0.03
信用損失率、ACC、継続事業、%	0.00	0.02
信用損失引当率合計、%	0.13	0.15
ステージ1に分類された貸出金に対する引当率、%	0.02	0.02
ステージ2に分類された貸出金に対する引当率、%	1.07	1.09
ステージ3に分類された貸出金に対する引当率、%	28.20	31.97
ステージ3に分類された貸出金の割合、%	0.22	0.21

2) 以下の主要な数値には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

変動分析

減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-389	-840	-2,238	-3,467

認識中止した資産	43	86	143	272
償却	0	2	391	393
信用リスクの変動による再測定	-123	151	-72	-44
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-13	-23	-60	-96
購入又は組成した資産	-61	-22	-21	-104
ステージ1への振替	-29	45	2	18
ステージ2への振替	59	-234	7	-168
ステージ3への振替	114	142	-245	11
期末現在引当金	-399	-693	-2,093	-3,185

減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-363	-444	-3,767	-4,574
認識中止した資産	68	106	156	330
償却	0	2	1,755	1,757
信用リスクの変動による再測定	-235	-123	-71	-429
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	19	21	76	116
購入又は組成した資産	-81	-78	-20	-179
ステージ1への振替	-16	28	3	15
ステージ2への振替	109	-501	9	-383
ステージ3への振替	110	149	-379	-120
期末現在引当金	-389	-840	-2,238	-3,467

減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-385	-834	-2,238	-3,457
認識中止した資産	43	86	143	272
償却	0	2	391	393
信用リスクの変動による再測定	-124	148	-72	-48
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-13	-23	-60	-96
購入又は組成した資産	-60	-22	-21	-103
ステージ1への振替	-29	45	2	18
ステージ2への振替	59	-234	7	-168
ステージ3への振替	114	142	-245	11
期末現在引当金	-395	-690	-2,093	-3,178

減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-360	-441	-3,767	-4,568
認識中止した資産	68	104	156	328
償却	0	2	1,755	1,757
信用リスクの変動による再測定	-235	-125	-71	-431
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	19	21	76	116
購入又は組成した資産	-80	-77	-20	-177
ステージ1への振替	-16	28	3	15
ステージ2への振替	109	-495	9	-377
ステージ3への振替	110	149	-379	-120
期末現在引当金	-385	-834	-2,238	-3,457

上表の予想信用損失引当金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-90	-157	-119	-366
認識中止した資産	14	27	-	41
償却	-	-	-	-
信用リスクの変動による再測定	0	23	28	51
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-7	-25	-	-32
購入又は組成した資産	-28	-6	-	-34
ステージ1への振替	-9	19	-	10
ステージ2への振替	5	-33	-	-28
ステージ3への振替	6	8	-	14
期末現在引当金	-109	-144	-91	-344

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-69	-66	-106	-241
認識中止した資産	22	17	-	39
償却	0	0	-	0
信用リスクの変動による再測定	-26	-23	-13	-62
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	2	3	-	5
購入又は組成した資産	-31	-25	-	-56
ステージ1への振替	-3	5	-	2
ステージ2への振替	12	-74	-	-62
ステージ3への振替	3	6	-	9
期末現在引当金	-90	-157	-119	-366

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は生成された資産及びステージ間で振替られた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表している。

減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,639,707	76,401	7,002	2,723,110
認識中止した資産	-167,405	-8,830	-825	-177,060
償却	-13	-10	-463	-486
信用リスクの変動による再測定	-99,663	-8,086	-914	-108,663
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	82,718	3,605	273	86,596
購入又は組成した資産	363,244	2,839	101	366,184
ステージ1への振替	41,290	-41,207	-83	-
ステージ2への振替	-41,089	41,221	-132	-
ステージ3への振替	-929	-1,533	2,462	-
期末現在の総額	2,817,860	64,400	7,421	2,889,681

減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,608,306	51,862	8,831	2,668,999
認識中止した資産	-204,174	-8,898	-840	-213,912
償却	-14	-12	-1,808	-1,834
信用リスクの変動による再測定	161,261	-3,211	-803	157,247
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-100,082	-2,595	-271	-102,948
購入又は組成した資産	211,329	3,965	264	215,558
ステージ1への振替	31,460	-31,425	-35	-
ステージ2への振替	-67,551	67,945	-394	-
ステージ3への振替	-828	-1,230	2,058	-
期末現在の総額	2,639,707	76,401	7,002	2,723,110

減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,189,683	76,384	7,002	2,273,069
認識中止した資産	-161,245	-8,821	-825	-170,891
償却	-13	-10	-463	-486
信用リスクの変動による再測定	47,220	-8,705	-914	37,601
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	41,251	3,430	273	44,954
購入又は組成した資産	229,820	2,839	101	232,760
ステージ1への振替	40,495	-40,412	-83	-
ステージ2への振替	-41,086	41,218	-132	-
ステージ3への振替	-929	-1,533	2,462	-
期末現在の総額	2,345,196	64,390	7,421	2,417,007

減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,236,671	51,669	8,831	2,297,171
認識中止した資産	-164,212	-8,745	-831	-173,788
償却	-14	-12	-1,808	-1,834
信用リスクの変動による再測定	5,561	-1,523	-812	3,226
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-56,060	-2,595	-271	-58,926
購入又は組成した資産	202,994	3,962	264	207,220
ステージ1への振替	31,460	-31,425	-35	-
ステージ2への振替	-65,889	66,283	-394	-
ステージ3への振替	-828	-1,230	2,058	-
期末現在の総額	2,189,683	76,384	7,002	2,273,069

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	391,266	10,743	433	402,442
認識中止した資産	-31,851	-1,777	-56	-33,684
償却	-1	0	-1	-2
信用リスクの変動による再測定	-71,440	-3,992	-138	-75,570
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	46,219	9,627	5	55,851
購入又は組成した資産	66,070	727	3	66,800
ステージ1への振替	12,747	-12,743	-4	-
ステージ2への振替	-6,947	6,950	-3	-
ステージ3への振替	-39	-58	97	-
期末現在の総額	406,024	9,477	336	415,837

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	400,479	7,985	712	409,176
認識中止した資産	-36,733	-1,511	-56	-38,300
償却	-	-	0	0
信用リスクの変動による再測定	4,468	1,374	-324	5,518
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-8,487	-293	-5	-8,785
購入又は組成した資産	34,353	463	17	34,833
ステージ1への振替	7,409	-7,405	-4	-
ステージ2への振替	-10,197	10,202	-5	-
ステージ3への振替	-26	-72	98	-
期末現在の総額	391,266	10,743	433	402,442

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在における各ステージの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージへの影響を表している。

感応度分析

感応度分析、マクロ経済シナリオ

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は3つのシナリオにおける見積り予想の確率加重平均値である。基本(中立)シナリオの予想確率加重は70(70)%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は15(15)%、景気の下降シナリオの予想確率加重は15(15)%としている。これらは、2021年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーの予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の 要因	下降シナリオ			基本（中立）シナリオ			上昇シナリオ		
	2021年	2022年	2023年	2021年	2022年	2023年	2021年	2022年	2023年
GDP成長率									
スウェーデン	4.38	-0.55	1.06	4.38	3.85	2.06	4.38	6.85	3.56
英国	6.70	-0.19	0.38	6.70	5.20	1.30	6.70	7.61	2.78
ノルウェー	3.92	-0.28	0.06	3.92	3.85	1.06	3.92	5.86	2.56
デンマーク	4.18	-1.65	0.72	4.18	2.64	1.72	4.18	5.65	3.22
フィンランド	3.51	-1.39	0.80	3.51	3.00	1.80	3.51	6.01	3.30
EU諸国	5.18	0.00	0.91	5.18	4.39	1.91	5.18	7.44	3.41
米国	5.52	0.04	1.57	5.52	4.22	2.57	5.52	7.66	4.17
失業率									
スウェーデン	8.81	9.88	10.41	8.81	7.56	7.16	8.81	6.58	6.36
英国	4.80	6.84	8.40	4.80	4.50	4.80	4.80	3.34	3.40
ノルウェー	3.13	4.52	5.33	3.13	2.30	2.23	3.13	1.90	1.93
デンマーク	5.10	6.52	7.46	5.10	4.19	4.06	5.10	3.42	3.36
フィンランド	7.78	9.24	9.90	7.78	7.00	6.50	7.78	5.94	5.70
EU諸国	7.87	10.24	10.90	7.87	7.70	7.50	7.87	6.93	6.90
米国	5.46	6.72	7.05	5.46	4.08	3.55	5.46	3.41	2.95
政策金利									
スウェーデン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.50
英国	0.10	0.10	0.10	0.10	0.50	0.50	0.10	0.75	1.00
ノルウェー	0.50	0.00	0.00	0.50	1.25	1.50	0.50	1.75	2.00
デンマーク	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.30
フィンランド	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
EU諸国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
米国	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.63	0.13	0.38	1.13
オフィス不動産 価格の上昇率									
スウェーデン	11.14	-12.68	-6.97	11.14	9.10	6.30	11.14	16.99	15.62
英国	12.43	-9.95	-5.04	12.43	0.71	-0.74	12.43	5.66	1.14
ノルウェー	2.52	-13.68	-8.53	2.52	4.07	-0.11	2.52	8.92	6.38
デンマーク	6.28	-9.70	-6.55	6.28	4.69	2.62	6.28	9.28	8.81
フィンランド	6.04	-12.66	-5.35	6.04	7.62	5.65	6.04	14.81	13.62
EU諸国	0.71	-14.46	-6.82	0.71	4.25	3.02	0.71	9.74	10.48
米国	5.52	4.22	2.57	-2.86	1.36	-4.48	5.52	4.22	2.57
住宅価格の上昇率									
スウェーデン	17.27	-4.98	0.83	17.27	5.01	1.73	17.27	11.11	2.15
英国	12.94	-6.25	-0.70	12.94	4.03	3.09	12.94	9.36	5.40
ノルウェー	7.17	-5.30	4.44	9.97	2.99	1.48	12.47	8.35	2.62
デンマーク	10.84	-3.40	-0.14	13.00	3.57	1.54	14.17	8.70	3.15
フィンランド	0.91	0.18	-0.29	1.42	3.50	2.50	4.71	3.80	1.63
EU諸国	-4.42	3.56	2.95	3.56	2.63	2.40	6.35	2.14	2.10

下表は、12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

	2021年		2020年	
	下降シナリオに おける 引当金の増加	上昇シナリオに おける 引当金の減少	下降シナリオに おける 引当金の増加	上昇シナリオに おける 引当金の減少
%				
スウェーデン	18.30	-10.05	13.65	-7.55
英国	11.31	-6.30	11.08	-6.97
ノルウェー	12.31	-6.82	11.78	-6.08
デンマーク	15.00	-8.07	12.15	-6.82
フィンランド	3.91	-1.95	2.33	-1.12
オランダ	3.48	-1.80	2.75	-1.54
米国	50.58	-32.07	41.52	-24.50
その他諸国	5.88	-2.76	14.29	-7.16

感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5高く又は低く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2の債権に対する引当金がどのような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。詳細な情報は注記G2の「信用リスク」の項目を参照のこと。

ステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対する 引当金総額の変動、%閾値

	2021年	2020年
2	3.28%	2.77%
2.5	0.00%	0.00%
3	-1.92%	-1.77%

PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目

2021年

PD値¹

	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,515,847	12,508	-
0.15～0.25未満	201,420	4,445	-
0.25～0.50未満	53,792	6,616	-
0.50～0.75未満	15,502	2,778	-
0.75～2.50未満	22,142	22,002	-
2.50～10.00未満	8,618	14,371	-
10.00～100未満	539	1,680	-
100(デフォルト)	-	-	7,421
合計	2,817,860	64,400	7,421

PDの範囲別貸借対照表項目

2020年

PD値¹

	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,299,717	17,628	-
0.15～0.25未満	222,255	5,703	-
0.25～0.50未満	54,813	10,076	-
0.50～0.75未満	23,011	3,594	-
0.75～2.50未満	28,433	20,148	-
2.50～10.00未満	10,908	16,299	-
10.00～100未満	570	2,953	-
100(デフォルト)	-	-	7,002
合計	2,639,707	76,401	7,002

PDの範囲別一般顧客への貸出金

2021年

PD値¹

	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,093,842	12,506	-
0.15～0.25未満	167,635	4,444	-
0.25～0.50未満	44,769	6,615	-
0.50～0.75未満	12,902	2,777	-
0.75～2.50未満	18,428	21,999	-
2.50～10.00未満	7,172	14,369	-
10.00～100未満	448	1,680	-
100(デフォルト)	-	-	7,421
合計	2,345,196	64,390	7,421

PDの範囲別一般顧客への貸出金

2020年

PD値 ¹	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,907,655	17,624	-
0.15～0.25未満	184,364	5,702	-
0.25～0.50未満	45,469	10,074	-
0.50～0.75未満	19,088	3,593	-
0.75～2.50未満	23,586	20,144	-
2.50～10.00未満	9,048	16,295	-
10.00～100未満	473	2,952	-
100(デフォルト)	-	-	7,002
合計	2,189,683	76,384	7,002

PD値の範囲別オフバランスシート項目

2021年

PD値 ¹	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	357,043	4,073	-
0.15～0.25未満	17,621	799	-
0.25～0.50未満	15,381	401	-
0.50～0.75未満	6,973	1,081	-
0.75～2.50未満	7,563	1,175	-
2.50～10.00未満	1,275	1,694	-
10.00～100未満	168	254	-
100(デフォルト)	-	-	336
合計	406,024	9,477	336

PD値の範囲別オフバランスシート項目

2020年

PD値 ¹	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	330,056	2,903	-
0.15～0.25未満	20,485	989	-
0.25～0.50未満	17,502	1,719	-
0.50～0.75未満	5,979	932	-
0.75～2.50未満	15,250	2,464	-
2.50～10.00未満	1,832	1,326	-
10.00～100未満	162	410	-
100(デフォルト)	-	-	433

合計	391,266	10,743	433
----	---------	--------	-----

1) 報告日現在の12ヶ月PD値を指す。

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
不動産	-	2
動産	0	2
株式	0	0
帳簿価額	0	4

動産は主として担保権が実行されたリース資産より構成されている。債権保全を目的として担保権が実行された資産及び負債の評価原則については注記G1に記載されている。

注記G11 不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
器具備品	14	3
不動産	-	2
合計	14	5

注記G12 一株当たり利益

	2021年	2020年
当期利益、百万スウェーデン・クローネ	19,543	15,588
うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用、税引後	0	0
期中に転換された株式の平均株式数(百万株)	-	-
トレーディング勘定における自己株式の平均保有数(百万株)	-	-
発行済株式の平均株式数(百万株)	1,980.0	1,980.0
希薄化効果のある株式の平均株式数(百万株)	0.0	0.0
希薄化後発行済株式の平均株式数(百万株)	1,980.0	1,980.0
一株当たり利益(事業合計)、スウェーデン・クローネ	9.86	7.87
希薄化後	9.86	7.87
一株当たり利益(継続事業)、スウェーデン・クローネ	9.51	7.35
希薄化後	9.51	7.35
一株当たり利益(非継続事業)、スウェーデン・クローネ	0.35	0.52
希薄化後	0.35	0.52

希薄化後一株当たり利益は、発行済転換可能株式の転換による影響を考慮に入れて測定される。これは、発行済株式の平均株式数に潜在的な転換可能株式数が加算され、当期利益が転換可能劣後ローン残高(税引後)に係る当期利息費用に関して調整されることを示唆している。

注記G13 売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業

当行のデンマーク及びフィンランドの事業における資産並びに負債は、「売却目的で保有する資産及び負債」を構成し、IFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に準拠する処分グループである。デンマーク及びフィンランドにおける事業は、非継続事業も構成している。当該会計方針の詳細については注記G1を参照のこと。

デンマークの処分グループ及び非継続事業は以下のユニットから成る。

- ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのデンマークにおける海外支店
- ・Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S
- ・Lokalbolig A/S
- ・Handelsbanken Kredit (スタッドフィポテックABプブリクトのデンマークにおける海外支店)
- ・Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S
- ・Handelsbanken Forsikringsformidling A/S

フィンランドの処分グループ及び非継続事業は以下のユニットから成る。

- ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのフィンランドにおける海外支店
- ・Handelsbanken Asuntoluottopankki (スタッドフィポテックABプブリクトのフィンランドにおける海外支店)
- ・ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビーのフィンランドにおける海外支店
- ・フィンランドにおけるハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー

売却目的で保有する資産及び負債、2021年

(百万スウェーデン・クローネ)

	デンマーク	フィンランド	売却目的で保有 するその他資産	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	28,282	120,098		148,380
中央銀行へのその他貸出金	207	0		207
中央銀行への担保として適格な利付証券	24	0		24
その他金融機関への貸出金	36	57		93
一般顧客への貸出金	111,380	139,314	302	250,996
うち、個人	64,292	43,253	1	107,546
うち、企業	47,088	96,061	301	143,450
債券及びその他の利付証券	17	0		17
株式 ¹	462	1		463
顧客が価値変動リスクを負う資産	6,770	10,457		17,227
無形資産	2,628	113		2,741
不動産及び器具備品	241	336	62	639
その他	313	317		630
合計	150,360	270,693	364	421,417
負債				
金融機関からの預り金	230	344		574
一般顧客からの預金及び借入金	54,135	59,984		114,119
うち、個人	23,662	19,699		43,361
うち、法人	30,473	40,285		70,757
顧客が価値変動リスクを負う負債	6,770	10,457		17,227

引当金	57	78	135
その他	514	1,353	1,867
合計	61,706	72,216	133,922

1) これらの資産に関連する2021年通期の金額46百万スウェーデン・クローネは、「その他包括利益」及び「資本の公正価値評価差額準備金」に計上されている。

当行はデンマーク及びフィンランドにおけるユニットの売却プロセスを開始している。デンマーク及びフィンランドは、従前は独自の事業セグメントを構成していた。

売却目的で保有するその他資産364 (1,657) 百万スウェーデン・クローネは、主にHandelsbanken Rahoitus Oyにおけるファイナンス・リースから構成され、貸借対照表上、貸出金として認識されている。G1の12を参照のこと。計画では、2022年度第1四半期に当該リースを売却する予定である。2021年12月、当行は、ヨーテボリ、イエブレ及びウメオにそれぞれ不動産を所有する子会社3社の売却契約を締結した。本取引により1.1十億スウェーデン・クローネのキャピタルゲインが生じ、2022年度第1四半期に決済が行われる予定である。

売却費用控除後の公正価値と帳簿価額のいずれか低い額による各処分グループの評価では、減損損失は一切生じていない。

非継続事業からの収益、費用及び利益

デンマーク

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
純利息収益	1,540	1,661
純手数料及びコミッション収益	757	681
金融取引による純損益	171	168
リスク費用	1	2
その他収益	40	8
収益合計	2,509	2,520
人件費	-885	-899
その他費用	-554	-449
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-44	-60
費用合計	-1,483	-1,408
正味信用損失	23	-39
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分益/損	-2	2
非継続事業からの税引前当期利益	1,047	1,075
法人税等	-193	-166
非継続事業からの税引後当期利益	854	909

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引¹

収益	-142	-209
費用	-88	-71

フィンランド

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
純利息収益	915	866
純手数料及びコミッション収益	433	435
金融取引による純損益	54	52
リスク費用	7	-1
その他収益	140	8
収益合計	1,549	1,360
人件費	-542	-537
その他費用	-630	-391
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-260	-71
費用合計	-1,432	-999
正味信用損失	41	-93
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分益/損	-	-5
非継続事業からの税引前当期利益	158	263
法人税等	-317	-141

非継続事業からの税引後当期利益	-159	122
-----------------	------	-----

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引¹⁾

収益	594	485
費用	-137	-114

- 1) 本年度の継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てスウェーデンのグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。

非継続事業からの税引後当期利益	695	1,031
-----------------	-----	-------

非継続事業からの商品別手数料及びコミッション収益

	2021年		2020年	
	デンマーク	フィンランド	デンマーク	フィンランド
百万スウェーデン・クローネ				
仲介及びその他証券コミッション	60	27	54	25
ミューチュアル・ファンド	173	7	123	5
カストディ及びその他資産管理手数料	179	48	161	74
アドバイザリーサービス	19	4	35	2
保険	24	87	25	75
決済	171	297	169	319
貸出金及び預金	61	90	69	99
保証	72	20	65	24
その他	83	15	79	14
手数料及びコミッション収益合計	842	595	780	637

非継続事業の人件費

デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
給与及び報酬 ²	-1,082	-1,121
社会保障費	-108	-123
年金費用	-146	-151
利益分配制度に対する準備金	-19	0
その他人件費	-72	-41
合計	-1,427	-1,436

2) このうち、執行役員(子会社の最高経営責任者及び取締役、並びに2020年度に関しては親会社の副最高経営責任者も含む)に対する給与及び報酬は7.0(8.2)百万スウェーデン・クローネであった。

平均従業員数	2021年	男性	女性	2020年	男性	女性
デンマーク	632	325	307	644	331	313
フィンランド	569	256	313	565	249	316
合計	1,201	581	620	1,209	580	629

非継続事業からのキャッシュ・フロー

デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
営業活動からのキャッシュ・フロー	28,015	8,587
投資活動からのキャッシュ・フロー	-189	54
財務活動からのキャッシュ・フロー	-45	-
非継続事業からの当期キャッシュ・フロー	27,781	8,641

注記G14 中央銀行へのその他貸出金

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	-	-
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	1,255	21,326
合計	1,255	21,326
予想信用損失引当金	-	-
中央銀行へのその他貸出金合計	1,255	21,326
うち、未収利息収益	-	0
うち、リバース・レボ	-	-

平均取引高

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	5,894	27,226
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	5,872	21,838
合計	11,766	49,064
うち、リバース・レボ	-	-

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する中央銀行へのその他貸出金は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G15 その他金融機関への貸出金

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	903	1,489
その他金融機関	171	595
合計	1,074	2,084
貸出金（外貨建て）		
銀行	14,292	16,305
その他金融機関	6,384	3,539
合計	20,676	19,844
予想信用損失引当金	-5	-8
その他金融機関への貸出金合計	21,745	21,920
うち、未収利息収益	12	20
うち、リバース・レボ	12,127	523

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

その他金融機関への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）

その他金融機関への貸出金（外貨建て）

合計

うち、リバース・レボ

2021年**2020年**

2,998

3,963

46,539

40,137

49,537**44,100**

16,061

3,649

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属するその他金融機関への貸出金は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は訂正されていない。

注記G16 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
貸出金(スウェーデン・クローネ建て)		
個人	959,910	912,706
法人	535,531	506,969
国債局	2,173	474
合計	1,497,614	1,420,149
貸出金(外貨建て)		
個人	244,391	325,854
法人	423,569	527,066
国債局	-	-
合計	667,960	852,920
予想信用損失引当金	-2,439	-3,457
一般顧客への貸出金合計	2,163,135	2,269,612
うち、未収利息収益	2,429	2,635
うち、リバース・レボ	13,649	11,627
うち、劣後ローン	-	-
平均取引高(国債局を除く)		
百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	1,470,257	1,419,122
一般顧客への貸出金(外貨建て)	812,840	886,921
合計	2,283,097	2,306,043
うち、リバース・レボ	19,690	18,349

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する一般顧客への貸出金は、「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G17 利付証券

	2021年			2020年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
百万スウェーデン・クローネ						
中央銀行への担保として適格な						
利付証券	100,538	100,538	103,881	99,133	99,133	97,169
うち、未収利息収益	160			195		
社債及びその他の利付証券	33,317	33,317	29,611	44,566	44,566	41,498
うち、未収利息収益	124			185		
合計	133,855	133,855	133,492	143,699	143,699	138,667
うち、劣後証券	-	-		4	4	

	2021年			2020年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
百万スウェーデン・クローネ						
政府	100,538	100,538	103,881	99,133	99,133	97,169
金融機関	6,590	6,590	6,118	9,091	9,091	8,656
住宅金融専門機関	20,516	20,516	19,147	29,347	29,347	26,962
その他	6,211	6,211	4,346	6,128	6,128	5,880
合計	133,855	133,855	133,491	143,699	143,699	138,667

減損テスト対象の利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
中央銀行への担保として適格な利付証券		
その他包括利益を通じて公正価値で測定	397	401
償却原価で測定	-	780
総額合計	397	1,181
償却原価で測定される金融商品の予想信用損失引当金	-	-
帳簿価額合計	397	1,181

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	-	-
-------------------------------	---	---

社債及びその他利付証券

その他包括利益を通じて公正価値で測定	9,016	7,964
帳簿価額合計	9,016	7,964

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	-2	-2
-------------------------------	----	----

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
利付証券	155,427	167,535

利付証券、保険事業	-	-
合計	155,427	167,535

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する利付証券は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G18 株式

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
純損益を通じて公正価値で測定、強制	19,017	20,245
その他包括利益を通じて公正価値で測定	454	800
株式合計	19,471	21,045

その他包括利益を通じて公正価値で測定される保有株式

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
BEC	-	295
Visa Inc	170	155
VIPPS A/S	62	26
その他の保有	222	324
合計	454	800

ハンデルスバンケンは、上記の株式保有について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。当年度中に、ハンデルスバンケンは報告期間末現在保有する株式から配当のみを受け取っている。これらの配当は合計で2(52)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は合計1(1,688)百万スウェーデン・クローネで、Visa Sweden Ekonomisk Förening及び多数の住宅共同組合の保有株式を処分した。この処分の主な理由は、再配分、支店の閉鎖及び参加持分に対する持分の調整であった。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、当行グループの持分変動計算書を参照のこと。

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する株式は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G19 関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

ハンデルスバンケンは、個別に重要な関連会社やジョイント・ベンチャーに対する投資はないが、決済サービス等の提供を通じ、当行グループの銀行業務にとって戦略的に重要と考えられるいくつかの企業がある。すべての投資は非上場である。

関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在帳簿価額	386	285
当年度持分利益	63	18
法人税	-22	-13
株主の拠出	51	12
取得	-	84
期末現在帳簿価額	478	386

関連会社及びジョイント・ベンチャーからの収益

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
当年度利益	63	18
その他包括利益	-	-
当年度包括利益合計	63	18

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・クローネ	
					2021年	2020年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	88	77
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,382	25.54	278	197
Dyson Group plc	00163096	シェフィールド	74,333,672	24.01	31	22
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	30	22
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	19	16
USE Intressenter AB	559161-9464	ストックホルム	2,448	24.48	0	0
合計					446	334

ジョイント・ベンチャー	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・クローネ	
					2021年	2020年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストックホルム	10,000	16.67	25	39
Invidem AB	559210-0779	ストックホルム	10,000	16.67	7	13
合計					32	52

注記G20 顧客が価値変動リスクを負う資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
ユニットリンク及びポートフォリオ社債保険資産	235,209	191,035
その他ファンド資産	552	6,177
合計	235,761	197,212

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する顧客が価値変動リスクを負う資産は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G21 デリバティブ商品

百万スウェーデン・ クローネ	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
トレーディング目的で 保有するデリバ ティブ									
金利関連契約									
オプション	7,566	12,511	2,273	22,350	24,650	50	9	51	14
FRA/先物	388,452	153,608	-	542,060	318,439	76	52	64	40
スワップ	441,845	1,307,547	332,595	2,081,987	1,630,962	15,902	20,504	16,307	21,365
通貨関連契約									
オプション	20,614	36	22	20,672	24,729	69	118	131	195
先物	76,491	5,988	395	82,874	69,687	907	920	661	1,344
スワップ	574,511	51,203	6,348	632,062	559,695	10,576	5,892	5,131	17,548
株式関連契約									
オプション	3,126	560	84	3,770	5,194	375	255	189	136
先物	580	-	-	580	855	9	15	11	16
スワップ	11,561	3,122	-	14,683	16,150	341	137	723	1,569
コモディティ関連契約									
オプション	341	-	14	355	671	41	22	55	60
先物	835	100	-	935	3,654	111	390	237	312
信用関連契約									
スワップ	84	4,751	18	4,853	6,501	294	229	169	158
合計	1,526,006	1,539,426	341,749	3,407,181	2,661,187	28,751	28,543	23,729	42,757
公正価値ヘッジの デリバティブ									
金利関連契約									
オプション	697	364	-	1,061	2,806	1	-	-	-
スワップ	60,642	296,260	101,557	458,459	304,085	3,406	3,106	2,428	630
通貨関連契約									
スワップ	-	566	896	1,462	1,377	156	101	-	-
合計	61,339	297,190	102,453	460,982	308,268	3,563	3,207	2,428	630
キャッシュフロー・ヘッ ジのデリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	102,555	188,778	26,909	318,242	432,761	5,625	11,677	1,023	2,727
通貨関連契約									
スワップ	84,690	137,056	48,081	269,827	281,914	10,604	12,531	3,660	7,751
合計	187,245	325,834	74,990	588,069	714,675	16,229	24,208	4,683	10,478
デリバティブ商品合計	1,774,590	2,162,450	519,192	4,456,232	3,684,130	48,543	55,958	30,840	53,865
うち、取引所上場 デリバティブ									
				182,857	108,653	130	332	804	756

うち、CCPで決済されるOTC						
デリバティブ	2,982,431	2,245,982	18,731	22,987	15,867	18,717
うち、CCPで決済されないOTC						
デリバティブ	1,290,944	1,329,495	29,682	32,639	14,169	34,392
相殺された金額	-2,691,986	-2,110,391	-20,035	-25,344	-17,056	-21,046
純額	1,764,246	1,573,739	28,508	30,614	13,784	32,819
市場価値の通貨別内訳						
スウェーデン・クローネ			-242,957	41,263	517	301,858
米ドル			299,987	-70,582	-19,297	-381,894
ユーロ			115,908	129,283	-94,250	-94,785
その他			-124,395	-44,006	143,870	228,686
合計			48,543	55,958	30,840	53,865

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約(中央清算される契約を含む)の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額(取引日利得/損失)をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利得は、489(538)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G22 ヘッジ会計

当行グループのリスク管理及びヘッジ会計の一般的な目的は、金利及び為替レートの変動から乗じる貸出及び借入に帰属する将来キャッシュ・フロー及び公正価値の変動リスクから自らを守るためである。この目的を達成するために当行はデリバティブを使用している。当行グループのリスク管理戦略を財務報告に確実に反映するため、ヘッジ会計が用いられている。当行グループの市場リスク管理に関する情報は、注記G2を参照のこと。当行グループが用いるヘッジ戦略及び様々な種類のヘッジ会計については、リスク区分別に以下に述べられている。ヘッジ会計の会計方針の詳細については注記G1を参照のこと。

キャッシュフロー・ヘッジ

変動金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、変動金利の変動から生じる利息の受取・支払に係る不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる固定金利による金額を受け取り、支払うことである。ヘッジ対象は、変動金利による一般顧客への貸出金及び発行済変動利付債券に関連する、将来流入及び流出する可能性の高い支払いから構成されている。ヘッジ対象のリスクは、各通貨の変動参照金利であり、金利の観察可能な要素である。このヘッジ手段は金利スワップである。ここでは固定金利を受け取り変動金利を支払うか、固定金利を支払い変動金利を受け取る。

資金調達における為替リスク

このヘッジ戦略は、為替レートの変動から生じる将来の利払に関連する不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる為替レートで機能通貨による利払を行うことを意図するものである。ヘッジ対象は機能通貨以外の通貨で発行された証券に起因する、可能性の高い将来の利払及び額面価額の返済である。ヘッジ対象リスクは資金調達通貨及び機能通貨間の為替レートの変動により発生するこれらの将来の支払いの変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。

在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替リスク

このヘッジ戦略の目的は、在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替レートの変動に関連するボラティリティ・リスクを最小限にすることである。このヘッジ対象は当行グループのトレジャリー部と在外営業活動体の間で在外営業活動体の機能通貨で発行された内部貸出の額面価額から構成される。ヘッジ対象リスクは、内部貸出の通貨と親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネとの為替換算レート之差から生じる、利払いと元本返済に係るキャッシュ・フローが変動するリスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。

有効性の測定

ヘッジ関係の有効性は、ヘッジ関係の開始時及びその後四半期毎にテストされる。ヘッジの有効性は、有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的にはヘッジ対象リスク及びヘッジ手段の条件が十分に整合していない場合に、回帰分析によりテストされる。この文脈で「十分に整合している」とは、キャッシュ・フロー及び割引となる要因が常に同一であることである。有効性が測定される際、ヘッジ対象リスクは完全に有効な仮想デリバティブ(PEH)により表され、これはヘッジ対象の重要な条件と一致する。仮想デリバティブ(PEH)の公正価値はヘッジ関係の開始時にはゼロである。有効性の測定には、仮想デリバティブ(PEH)の公正価値の変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することにより行われる。

有効性の測定の適用基準

ヘッジ会計に適格となるためには、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動と、実際のデリバティブの比率が80-125パーセントの範囲内でなければならない。これが回帰分析を通じて調査される場合、有効なヘッジ関係を確立するためには以下の基準を満たす必要がある。

- ・カーブの勾配が $0.8 < b < 1.25$
- ・ R^2 が > 0.96

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

百万スウェーデン・クローネ

金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)

	1年未満	1年以上5年以内	5年超
想定元本	21,876	55,029	13,677
平均固定金利(%)	0.57	0.47	0.76

金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	80,679	133,749	13,232
------	--------	---------	--------

平均固定金利(%)	2.06	1.28	2.10
為替リスク			
為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ			
想定元本	14,725	51,011	1,028
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	0.1066	0.0986	0.0970
為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ			
想定元本	10,899	30,223	35,027
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1187	0.1038	0.0964
為替デリバティブ、英ポンド/スウェーデン・クローネ			
想定元本	-	7,553	-
平均為替レート、英ポンド/スウェーデン・クローネ	-	0.0907	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド			
想定元本	-	6,942	918
平均為替レート、米ドル/英ポンド	-	1.2930	1.3157
為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ			
想定元本	14,409	22,140	-
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1178	0.1137	-
為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ			
想定元本	35,654	2,264	9,057
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1169	0.1105	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル			
想定元本	-	5,923	-
平均為替レート、豪ドル/米ドル	-	1.3770	-
為替デリバティブ、他の通貨ペア			
想定元本	9,003	11,000	2,051
合計	187,245	325,834	74,990

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

百万スウェーデン・クローネ

2020年

1年未満

1年以上5年以内

5年超

金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)

想定元本	13,181	70,910	16,070
平均固定金利(%)	0.48	0.48	0.73

金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	110,939	193,987	27,674
平均固定金利(%)	2.28	1.62	1.40

為替リスク

為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ

想定元本	24,147	52,180	13,880
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	1.0825	0.7212	0.9693

為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ

想定元本	4,344	29,590	17,590
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1310	0.1110	0.3905

為替デリバティブ、英ポンド/スウェーデン・クローネ

想定元本	-	7,195	-
平均為替レート、英ポンド/スウェーデン・クローネ	-	1.0079	-

為替デリバティブ、米ドル/英ポンド

想定元本	11,011	6,289	831
平均為替レート、米ドル/英ポンド	1.3860	1.2930	1.3150

為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ

想定元本	40,197	12,901	-
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1170	0.1260	-

為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ

想定元本	9,206	12,805	8,613
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1166	0.5162	0.11

為替デリバティブ、豪ドル/米ドル

想定元本	3,034	5,492	-
平均為替レート、豪ドル/米ドル	1.3930	1.3770	-

為替デリバティブ、他の通貨ペア

想定元本	11,573	11,036	-
------	--------	--------	---

合計	227,632	402,385	84,658
-----------	----------------	----------------	---------------

非有効性

ヘッジの非有効性は、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することで測定される。デリバティブの公正価値変動が仮想デリバティブ(PEH)の価値変動を絶対的に上回る場合、当該ヘッジは非有効と判定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は、主としてヘッジ関係の開始日とデリバティブの取引日間の市場金利と為替レートの差によるものである。また非有効性は、ヘッジ対象リスクに含まれない、デリバティブの特定の金利の構成要素に起因する公正価値の変動からも生じる。

キャッシュフロー・ヘッジにおける
ヘッジ手段と非有効性
2021年

百万スウェーデン・クローネ

金利リスク

金利スワップ

(固定金利支払・変動金利受取)

ヘッジ手段の
想定元本

ヘッジ手段の帳簿価額

資産

負債

非有効性の
算定に
用いられた
公正価値
変動

その他包括
利益で認識
されたヘッ
ジ手段の
価値変動

損益計算書で
認識された
非有効性

ヘッジ準備
金から損益
計算書への
振替

90,582

248

1,019

1,946

1,952

-6

-

金利スワップ

(変動金利支払・固定金利受取)

227,660

5,377

4

-4,272

-4,272

-

175

為替リスク¹

為替デリバティブ、ユーロ/
スウェーデン・クローネ

66,764

2,333

997

190

190

-

-

為替デリバティブ、ユーロ/
デンマーク・クローネ

2,051

3

-

8

8

-

-

為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド

6,514

606

-

34

32

2

-

為替デリバティブ、ユーロ/
ノルウェー・クローネ

76,150

2,750

1,429

-14

-11

-3

-

為替デリバティブ、英ポンド/
スウェーデン・クローネ

7,553

758

-

-8

-8

-

-

為替デリバティブ、米ドル/
デンマーク・クローネ

6,918

330

87

60

60

-

-

為替デリバティブ、米ドル/英ポンド

7,859

-

339

8

8

-

-

為替デリバティブ、米ドル/
ノルウェー・クローネ

36,549

1,303

721

47

47

-

-

為替デリバティブ、米ドル/
スウェーデン・クローネ

46,976

2,041

-

295

295

-

-

為替デリバティブ、豪ドル/米ドル

5,923

50

-

-77

-77

-

3

為替デリバティブ、他の通貨ペア

6,570

430

87

-15

-15

-

1

合計

588,069

16,229

4,683

-1,798

-1,791

-7

179

キャッシュフロー・ヘッジにおける
ヘッジ手段と非有効性、2020年

百万スウェーデン・クローネ

金利リスク

金利スワップ

(固定金利支払・変動金利受取)

ヘッジ手段
の想定元本

ヘッジ手段の帳簿価額

資産

負債

非有効性の
算定に
用いられた
公正価値
変動

その他包括
利益で認識
されたヘッ
ジ手段の
価値変動

損益計算書で
認識された
非有効性

ヘッジ準備
金から損益
計算書への
振替

100,161

1

2,727

-1,031

-1,031

-

-

金利スワップ

(変動金利支払・固定金利受取)

332,600

11,676

-

380

379

1

211

為替リスク¹

為替デリバティブ、ユーロ/
スウェーデン・クローネ

90,207

3,327

1,700

-83

-83

-

-

為替デリバティブ、ユーロ/
デンマーク・クローネ

3,516

-

9

-33

-33

-

-

為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド

9,628

1,123

-

81

81

-

-

為替デリバティブ、ユーロ/
ノルウェー・クローネ

51,524

5,559

259

234

231

3

-

為替デリバティブ、英ポンド/
スウェーデン・クローネ

7,195

40

-

-4

-4

-

-

為替デリバティブ、米ドル/英ポンド

18,131

271

448

-60

-57

-3

-

為替デリバティブ、米ドル/
ノルウェー・クローネ

53,098

1,142

1,903

-52

-52

-

-

為替デリバティブ、米ドル/
スウェーデン・クローネ

30,624

-

2,704

-364

-364

-

-

為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	8,526	621	-	45	45	-	-5
為替デリバティブ、他の通貨ペア	9,465	448	728	12	13	-1	43
合計	714,675	24,208	10,478	-875	-875	0	249

1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション(補完)が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション(補完)は上記の想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は、貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれる。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれる。

損益計算書への振替は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

2021年

	非有効性の算定に 用いられた 価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されな かったヘッジ関係からの ヘッジ準備金残余额
百万スウェーデン・クローネ			
金利リスク			
発行済変動利付証券	-1,952	-600	-
変動金利による一般顧客への貸出金	4,272	3,468	1,153
為替リスク			
ユーロ建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、 英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	-218	-553	-
米ドル建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、 ユーロ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部 貸出	-410	-16	88
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	99	-46	10
合計	1,791	2,253	1,251

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

2020年

	非有効性の算定に 用いられた 価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されな かったヘッジ関係からの ヘッジ準備金残余额
百万スウェーデン・クローネ			
金利リスク			
発行済変動利付証券	1,031	-2,576	-
変動金利による一般顧客への貸出金	-379	7,946	1,327
為替リスク			
ユーロ建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、 英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	-87	-779	-
米ドル建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、 ユーロ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部 貸出	499	-427	86
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-189	59	17
合計	875	4,223	1,430

公正価値ヘッジ

固定金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金と借入金の公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、観察可能な金利の構成要素となる各通貨の参照金利である。ヘッジ対象は、固定金利による一般顧客への貸出金と発行済固定利付証券である。ヘッジ手段は、固定金利を支払い変動金利を受け取るか、固定金利を受け取り変動金利を支払う金利スワップである。

有効性の測定

ヘッジの有効性は、貸出金と借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動を、金利スワップの公正価値変動と比較することにより測定される。有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的には回帰分析を実施することにより測定される。ヘッジ関係の有効性テストは、ヘッジ関係の開始時とそれ以降の四半期毎に行われる。ヘッジ会計の適格性を満たす要件は、上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションに記載している要件と同じである。

非有効性

非有効性は、ヘッジ関係の開始日から報告期間末日までの期間の、金利スワップの公正価値変動を、貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動と比較することにより測定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は主として金利スワップの変動金利より生じる公正価値変動が貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの価値変動と一致しないことによる。

金利リスクに関する公正価値のポートフォリオ・ヘッジ

固定金利貸出金ポートフォリオの金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金ポートフォリオの公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、各通貨の参照金利の変動に関する固定金利貸出金ポートフォリオの一部の公正価値変動である。ヘッジ対象は、固定金利貸出金ポートフォリオに基づき決定された通貨建の金額である。貸出金ポートフォリオは金利固定期間に分けられる。ヘッジ額は、選択された金利固定期間において当行がヘッジを望む金利リスクに基づいて設定されている。ヘッジ手段は、金利スワップ(変動金利受取、固定金利支払)により構成されており、各金利固定期間に1以上のヘッジ手段が設定されている。

有効性及び非有効性の測定の詳細については、上記の公正価値ヘッジの項に記載されている。

金利キャップのある変動金利貸出金ポートフォリオの金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、借り手に金利キャップがあり、金利調整期間が3ヶ月の貸出金ポートフォリオの公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは合意された金利キャップの参照金利である。ヘッジ手段は金利オプション(キャップ)である。

一定期間ヘッジされる貸出金の額面総額は、四半期毎に決定される。有効性は、当該期間の金利キャップの公正価値変動を金利オプション(キャップ)の公正価値変動と比較することにより算定される。ヘッジ会計の適格性を満たすためには、この比率が80-125パーセントの範囲内でなければならない。

これらのヘッジ関係の非有効性は、主に貸出金の金利キャップと金利オプション(キャップ)間の満期と金利の乖離による。というのも、各キャップに係る規模は個々の貸出金ではなく、金利キャップがついた貸出金のポートフォリオごとに決定されるためである。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段	2021年			2020年		
	1年未満	1年以上 5年以内	5年超	1年未満	1年以上 5年以内	5年超
百万スウェーデン・クローネ						
金利リスク						
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)						
想定元本	-	-	-	31,706	148,863	1,698
平均固定金利%	-	-	-	0.06	0.03	0.28
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	904	111,407	74,265	-	53,834	60,040
平均固定金利%	0.22	0.76	0.94	-	0.97	1.03
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	-	566	896	-	534	843
平均固定金利%	-	3.26	3.69	-	3.26	3.69

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性 2021年	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
	ヘッジ手段の 想定元本	資産	負債	
百万スウェーデン・クローネ				
金利リスク				
金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	-	-	-	-
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)	186,576	1,406	2,271	-3,891
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	1,462	156	-	-54
合計	188,038	1,562	2,271	-3,945

ポートフォリオの公正価値ヘッジ

金利リスク					
金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	271,883	2,000	157	2,285	40
金利オプション(キャップ)	1,061	1	-	8	-
合計	272,944	2,001	157	2,293	40

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性

2020年

百万スウェーデン・クローネ

金利リスク

	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	182,267	72	442	-222	-7
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)	113,874	3,030	169	1,143	56
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	1,377	101	-	100	0
合計	297,518	3,203	611	1,021	49

ポートフォリオの公正価値ヘッジ

金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	7,944	4	19	-13	0
金利オプション(キャップ)	2,806	0	-	13	0
合計	10,750	4	19	0	0

公正価値ヘッジにおける

ヘッジ対象、

2021年

	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動	公正価値変動が 調整されなく なったヘッジ対 象の貸借対照表 に認識されてい る公正価値ヘッ ジ調整累計額
	資産	負債	資産	負債		
金利リスク						
顧客に対する固定金利貸出金	-		-		-	-
発行済固定利付証券及び 劣後負債		188,536		-2,656	3,912	-
合計	-	188,536	-	-2,656	3,912	-

ポートフォリオの

公正価値ヘッジ¹

金利リスク

顧客に対する固定金利貸出金	-1,904				-2,245	-
変動金利貸出金に係る金利 キャップ	4				-8	-
合計	-1,900				-2,253	-

1) 2021年12月31日現在の原貸出金ポートフォリオの総額は、272,277(10,691)百万スウェーデン・クローネであった。

公正価値ヘッジにおける

ヘッジ対象、

2020年

	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動	公正価値変動が 調整されなく なったヘッジ対 象の貸借対照表 に認識されてい る公正価値ヘッ ジ調整累計額
	資産	負債	資産	負債		
金利リスク						
顧客に対する固定金利貸出金	188,468		329		215	-
発行済固定利付証券及び 劣後負債		119,410		1,110	-1,187	-

合計	188,468	119,410	329	1,110	-972	-
ポートフォリオの 公正価値ヘッジ						
金利リスク						
顧客に対する固定金利貸出金	13				13	-
変動金利貸出金に係る金利 キャップ	12				-13	-
合計	25				0	

在外営業活動体への純投資における為替リスクのヘッジ

このヘッジ戦略の目的は、在外営業活動体への純投資の為替エクスポージャーを減らすことである。このヘッジ対象は、在外営業活動体の機能通貨で発行された、当行グループのトレジャリー部門と在外営業活動体との間の長期の内部貸出の額面価額である。在外営業活動体への投資の一部としての適格要件は、内部貸出の返済が予見可能な将来に計画されておらず、その可能性も小さいことである。ヘッジ対象リスクは、在外営業活動体の機能通貨と親会社の機能通貨、すなわちスウェーデン・クローネとの間の為替レートの変動から生じる、在外営業活動体への純投資の価値変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。このカテゴリーにあるすべてのヘッジ関係は、実際は古くからあり、当行はこのヘッジ戦略では新たなヘッジ関係を開始していない。そのため、当ヘッジ戦略に関し表形式による開示は行わない。

有効性の測定

在外営業活動体への純投資ヘッジの有効性を測定する際には、上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションで説明しているキャッシュフロー・ヘッジの有効性の測定と同じ手続きが適用される。

非有効性

上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションで説明しているキャッシュフロー・ヘッジと同じ方法で非有効性が算定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は主として、ヘッジ関係の開始日とデリバティブの取引日間の為替レート差による。

ヘッジ準備金及び為替換算調整準備金の変動の詳細は、G39を参照のこと。

金利指標改革

IFRS第9号「金融商品」及びIAS第39号「金融商品：認識及び測定」の改訂

2020年度より、金利指標改革により直接影響を受けるヘッジ関係に対し、特定のヘッジ会計の要求事項の適用に一時的な例外を設けるIAS第39号の改訂が導入されている。当行はIAS第39号に認められている通り、2019年度の年次報告書において同改訂の早期適用を選択した。この例外適用の目的は、金利指標改革から生じる不確実性のみを理由としてヘッジ関係が中止されることを防ぐことにある。注記G1の11を参照のこと。

2021年度から、金利指標改革の直接の結果として金融資産及び金融負債の条件変更が行われる場合にIFRS第9号の改訂が適用されている。条件変更とは実効金利の変更であり、この条件変更により生じる損益は認識されない。さらに、IAS第39号の改訂により、ヘッジ関係における既存の指標金利が代替指標金利に置き換えられた場合にヘッジ会計の要件を一部免除することが認められている。注記G1の2及び11を参照のこと。

金利指標改革への対応

「リスク・フリーに近い金利」(「RFR」)からなる代替参照金利を策定するために、世界中で多数の取組みが行われている。EUでは、ベンチマーク規制((EU) 2016/1011)の要求事項を満たすために銀行間取引金利の調整が進んでおり、同時に代替RFRの策定も進んでいる。

現在当行は、RFRへの移行に向け、デリバティブや銀行間取引金利による貸出金に関してはITシステムに対する本部集約的に対応を行い、各国における貸出金商品に対してはITシステムへ局所的に対応するなど、広範な取組みを実施している。本部集約的なプロジェクトでは、ISDA及び基本契約などの契約更新、顧客やカウンターパーティとのコミュニケーション計画の作成も行われている。また、この取組みには、RFRへの移行がもたらす会計や金融商品の測定、リスク測定への影響の検討も含まれている。

当年度に当行は、主にグループ・トレジャリー部及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおける証券発行、デリバティブ取引、及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで管理されるローン商品に係るITシステムへの対応と開発に取り組んできた。既存の銀行間取引金利は前決めで算出されているのに対し、代替参照金利(RFR)は過去の取引データを参照して(後決めで)算出されることにより、ITシステムへの対応と開発がある程度必要とされている。ITシステムへの対応と開発は、スウェーデンの本部で実施されるとともに、当行の英国及び米国の海外拠点においてもローカルに実施されている。対応作業では、子会社であるハンデルスバンケン・ピーエルシーが、イングランド銀行の基準金利又は代替RFRにそれぞれ連動する金利により貸出金を確実に提供できるようにすることに重点が置かれている。2021年4月から、ハンデルスバンケン・ピーエルシーはイングランド銀行の基準金利に連動した金利によるローン及びデリバティブ商品を提供できるようになっている。

当年度には、英ポンド建て債券の未償還残高がLiborからSONIA(ポンド翌日物平均金利)に変換された。さらに、当行はSOFR(有担保翌日物調達金利)を参照金利とする多数のドル建ての新商品(ニューヨークの譲渡性預金など)を発行した。英ポンドLibor、ユーロLibor、スイス・フランLibor又は円Liborを参照し、ロンドン・クリアリングハウス(LCH)を通じて決済される、金利スワップ及びクロスカレンシー・スワップは、12月から代替RFRを参照している。

金利指標改革が重要な銀行間金利及びヘッジ関係に与える影響の評価

当行の拠点市場及び米国における銀行間取引金利は、当行に重要であるとみなされており、Stibor、英ポンドLibor、米ドルLibor、Euribor及びNiborが相当する。

Stiborが参照金利として廃止されるという発表はない。スウェーデン国立銀行は、2021年9月1日から金融契約で参照金利として使用できる、T/N、Swestr(スウェーデン・クローネ短期金利)に対するスウェーデン・クローネのRFRを策定した。Stiborはベンチマーク規制の要求事項を満たし、スウェーデン金融監督庁の承認を得る必要がある。ベンチマーク規制においてStiborは重大な参照金利に分類されていることから、承認申請期限は2021年末である。スウェーデン金融ベンチマーク機関(Swedish Financial Benchmark Facility)では、ベンチマーク規制に従ってStiborの承認申請を準備するプロジェクトが進行中であり、承認申請は2021年12月27日にスウェーデン金融監督庁に提出された。当行は現在、Stiborはベンチマーク規制に従って承認され、参照金利として存続すると評価している。

英国金融行為規制機構(FCA)は、英ポンド、ユーロ、スイス・フラン及び円の全てのLIBOR+1週間物及び2ヶ月物米ドルLIBORは、2021年12月31日より運営機関による公表が中止される、又は代表性を失うことを確認している。残りの米ドルLiborは、2023年6月30日をもって直接中止される。英ポンドLiborはSONIA(英ポンド翌日物平均金利)に置き換わり、米ドルLiborはSOFR(米ドル有担保翌日物調達金利)に置き換わる予定である。

改革後のEuriborは、ベンチマーク規制に従って指標金利として構築され、承認された。ESTER(ユーロ短期金利)はユーロのRFRとして確認され、2019年10月2日より公表されている。2021年まで、ESTERは現行の翌日物銀行間取引金利であるEONIAと並行して公表される予定である。

EONIAは2022年1月3日をもって廃止される予定である。改革されたEuriborは承認され、今後も公表が継続される。当行は、Euriborが参照金利として存続すると評価している。

ノルウェーの銀行間取引金利であるNiborは、ノルウェーの監督当局がベンチマーク規制に従い承認している。当行は、Niborが参照金利として存続すると評価している。

ベンチマーク改革に起因する不確実性の有無を評価するにあたり、当行は、所轄の公的機関が銀行間取引金利を特定の時点で廃止すると決定した場合にのみ、不確実性が発生することを起点と考えている。従って、2023年6月30日より後に満期を迎えるヘッジ関係について、米ドルLiborがヘッジ対象やヘッジ手段に直接影響を及ぼすことにより、指標改革による不確実性がもたらされると当行は評価している。その結果、指標改革のもたらす不確実性の影響を直接受けるヘッジ対象リスクは、米ドル建ての貸付及び資金調達に係る変動参照金利である。さらに、米ドルLiborに基づくデリバティブ商品並びに貸付及び資金調達に起因するキャッシュ・フローも影響を受ける。金利指標改革による不確実性は、ヘッジ対象及びヘッジ手段に係る新しい金利が確定し、個々の契約に規定された時点で解消されるものと見込まれる。

英ポンドLiborを参照するヘッジ手段やヘッジ対象は、2021年末、あるいは2022年度第1四半期に代替参照金利に移行する予定であり、指標改革から生じる不確実性の影響は受けなくなる。所轄の公的機関は、当行にとって極めて重要な銀行間取引金利の公表停止をこの他には決定していないことから、これらの銀行間取引金利に関して、現在、指標改革による不確実性が存在するとは考えられていない。

2021年12月31日現在、代替参照金利(RFR)に移行していない金融商品

下表は、代替参照金利(RFR)への移行が予定されているものの、年度末現在で移行が完了していない重要な参照金利を参照している金融商品を特定したものである。

代替参照金利(RFR)への移行の結果、当行グループがさらされているリスク

移行により、当行の多数の業務が影響を受け、異なる地域拠点や多数の部署の業務分野が影響を受けている。フォールバック条項や他の契約上の問題、評価やリスク分析のための算定、会計及び報告、顧客とのコミュニケーションなど、新たな要件を満たすために、複数のITシステムに対し変更の必要がある。変更は相当量にのぼり、連携が必要となることから、当行は、代替参照金利への移行に関する全事項を取り纏める、グループ規模のベンチマーク委員会を設立している。

オペレーショナル・リスク

上述のプロセス、契約及びITシステムの変更は、オペレーショナル・リスクをもたらす可能性がある。市場は、多数の参照金利の多様なパラメーターに関して流動的であることから、ITシステムにはビジネスリスクやオペレーショナル・リスクが発生しないような対応を実施する必要がある。例えば、当行が技術的な制約を理由に取引を拒否せざるを得ない場合にビジネスリスクが生じる。

廃止予定、又は廃止の可能性がある参照金利を参照する契約や取引は特定されている。これらを新しい代替参照金利に更新又は修正する作業、若しくは関連性があると考えられる場合のフォールバック条項を締結する作業が進行中であり、基本的には新しい参照金利へのそれぞれの移行に間に合うように完了する見込みである。

代替参照金利への移行に伴うオペレーショナル・リスクは、オペレーショナル・リスクを特定、評価し管理するための当行の慣習的な手続に従って管理されている(G2「リスク及び資本管理」、オペレーショナル・リスクを参照のこと。)。

市場リスク

異なる金融商品やプロダクトごとに異なる時点で新しい代替参照金利への移行が行われた場合に、金利リスクが若干変化し、ベースス・リスクが発生する。これらのリスクは変更が発生する際、当行のリスク許容度内で管理される。

カウンターパーティ・リスク

エクスポージャーに大きな変動はなく、カウンターパーティ・リスクは当行のリスク許容度内で管理される。

金利指標改革がもたらす不確実性により影響を受けるヘッジ関係に含まれるヘッジ手段

	2021年12月31日現在 の想定元本
百万スウェーデン・クローネ	
金利スワップ、米ドル	48,268
クロスカレンシー金利スワップ、豪ドル/米ドル	5,923
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/デンマーク・クローネ	6,188
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/ユーロ	896
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/英ポンド	7,859
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/ノルウェー・クローネ	12,712
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/スウェーデン・クローネ	11,321
合計	93,167

2021年12月31日現在、代替参照金利(RFR)への移行を終了していない、重要な銀行間取引金利を参照する金融商品

銀行間取引金利	金融資産、 非デリバ ティブ、 帳簿価額	金融負債、 非デリバ ティブ、 帳簿価額	デリバティブ商品、想定元本額		
			金利 スワップ	金利 オプション	クロスカレン シー金利 スワップ
百万スウェーデン・クローネ					
米ドルLibor					
米ドルLibor3ヶ月物	6,641	-	66,886	-	
米ドルLiborの他のテナー	733	-	326	-	
米ドルLibor3ヶ月物/ユーロEuribor3ヶ月物					5,469
米ドルLibor3ヶ月物/ノルウェー・クローネ Nibor3ヶ月物					17,701
米ドルLibor3ヶ月物/スウェーデン・クローネ Stibor3ヶ月物					18,891
米ドルLibor3ヶ月物/英ポンドLibor3ヶ月物					12,511
米ドルLibor3ヶ月物/他の通貨					7,294
他の通貨/米ドルLibor3ヶ月物					6,741
英ポンドLibor¹					
英ポンドLibor3ヶ月物	88,364	-	10,498	4,632	
英ポンドLiborの他のテナー	2,008	-	-	-	
ユーロLibor3ヶ月物/英ポンドLibor3ヶ月物					6,514
英ポンドLibor3ヶ月物/米ドルLibor3ヶ月物					1,370
他の通貨/英ポンドLibor3ヶ月物					332
合計	97,746	-	77,710	4,632	76,823

上表には、銀行間取引金利が停止される前に満期を迎える金融資産及び負債もデリバティブも含まれていない。

1) 英ポンドLiborを参照する金融資産及び負債の大半は、2022年度第1四半期に代替参照金利に移行する予定である。

注記G23 金融商品の相殺

2021年 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融資産			
総額	48,543	33,836	82,379
相殺される金額	-20,035	-7,110	-27,145
貸借対照表計上額	28,508	26,726	55,234
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-9,294		-9,294
担保として受領した金融資産	-13,322	-26,700	-40,022
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-22,616	-26,700	-49,316
純額	5,892	26	5,918
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融負債			
総額	30,840	7,323	38,163
相殺される金額	-17,056	-7,110	-24,166
貸借対照表計上額	13,784	213	13,997
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-9,294		-9,294
担保として差し入れた金融資産	-1,467	-213	-1,680
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-10,761	-213	-10,974
純額	3,023	-	3,023
2020年 百万スウェーデン・クローネ			
	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融資産			
総額	55,958	14,692	70,650
相殺される金額	-25,344	-2,014	-27,358
貸借対照表計上額	30,614	12,678	43,292
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-14,846	-	-14,846
担保として受領した金融資産	-7,503	-12,669	-20,172
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-22,349	-12,669	-35,018
純額	8,265	9	8,274
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融負債			
総額	53,865	2,014	55,879
相殺される金額	-21,046	-2,014	-23,060

貸借対照表計上額	32,819	-	32,819
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-14,846	-	-14,846
担保として差し入れた金融資産	-13,310	-	-13,310
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-28,156	-	-28,156
純額	4,663	-	4,663

デリバティブ商品は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。中央清算機関との買戻契約及び売戻契約は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブ資産について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客からの預金及び借入金による現金担保3,315 (7,330)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。デリバティブ負債について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客への貸出金による現金担保335(3,032)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。

デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて(すなわち、倒産時に同一の取引相手とのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって)軽減されている。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。

注記G24 無形資産

2021年 百万スウェーデン・クローネ	のれん	商標及び その他の権利	顧客契約	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2021年
期首現在取得原価	6,822	188	801	5,530	164	13,505
無形資産の取得原価の増加	-	-	-	539	-	539
処分及び除却	-	-	-	-176	-	-176
売却目的で保有する資産への 分類変更	-2,569	-	-165	-341	-	-3,075
外貨換算影響額	122	8	35	53	-	218
期末現在取得原価	4,375	196	671	5,605	164	11,011
期首現在減価償却累計額及び 減損がい	-	-168	-277	-1,697	-33	-2,175
処分及び除却	0	-	-	176	-	176
当年度の償却		-17	-33	-576	-33	-659
当年度の減損	-18	-	-	-100	-	-118
売却目的で保有する資産への 分類変更	-	-	107	227	-	334
売却目的で保有する資産へ分 類変更した資産に係る償却及 び減損	-	-	-6	-217	-	-223
外貨換算影響額	-	-8	-14	-22	-	-44
期末現在減価償却累計額及び 減損額	-18	-193	-223	-2,209	-66	-2,709
帳簿価額	4,357	3	448	3,396	98	8,302

2021年度には、2,144(1,578) 百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2020年	商標及び		内部開発		合計	
百万スウェーデン・クローネ	のれん	その他の権利	顧客契約	ソフトウェア	その他	2020年
期首現在取得原価	7,007	199	847	4,854	0	12,907
無形資産の取得原価の増加	-	-	-	867	164	1,031
処分及び除却	-	-	-	-135	-	-135
外貨換算影響額	-185	-11	-46	-56	-	-298
期末現在取得原価	6,822	188	801	5,530	164	13,505
期首現在償却累計額及び減損額	-	-151	-251	-1,320	0	-1,722
処分及び除却	-	-	-	135	-	135
当年度の償却	-	-27	-42	-447	-33	-549
当年度の減損	-	-	-	-82	-	-82
外貨換算影響額	-	10	16	17	-	43
期末現在償却累計額及び減損額	-	-168	-277	-1,697	-33	-2,175
帳簿価額	6,822	20	524	3,833	131	11,330

百万スウェーデン・クローネ	のれん		耐用年数を確定できない無形資産	
	2021年	2020年	2021年	2020年
ハンデルスバンケン・スウェーデン	3,331	3,331	-	-
ハンデルスバンケン・英国	175	159	-	-
ハンデルスバンケン・フィンランド	-	17	-	-
ハンデルスバンケン・デンマーク	-	2,515	-	-
ハンデルスバンケン・ノルウェー	678	630	-	-
ハンデルスバンケン・オランダ	163	160	-	-
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット	10	10	3	3
合計	4,357	6,822	3	3

のれん及び耐用年数を確定できない無形資産に関する減損テスト

認識済みののれんは、主にハンデルスバンケンの拠点市場における伝統的な銀行業務から導出されている。のれん及び耐用年数を確定できない無形資産には、毎年、年次決算にあたり減損テストが実施される。減損テストを実施する際に、のれんが割り当てられている単位の使用価値は、見積将来キャッシュ・フロー及び最終価値を割り引くことによって算定されている。上表ののれんは、事業セグメント間で配分されている。

最初の5年間の見積将来キャッシュ・フローは、リスク加重取引高、収益、費用及び信用損失についての予測に基づいている。この予測は主として、将来の収益及び費用の推移、経済情勢、予想される金利及び予想される将来の規制の影響についての内部評価に基づくものである。最初の5年間経過後、長期成長率の仮定に基づいて予測が行われる。見積キャッシュ・フローは、過去のGDP成長実績及びスウェーデン中央銀

行の長期インフレ目標に基づいている。当年度の減損テストは、2(2)%の長期成長率の仮定に基づいている。合計予想期間は20年間である。使用される最終価値は、テスト対象単位の純資産価額の予測である。見積キャッシュ・フローは、リスク・フリー金利及び市場の平均収益要件を加味したリスク調整に基づく金利により割引かれている。年次減損テストでは、税引後の割引率は6.4(6.9)%であった。税引前の割引率は9.1(9.4)%であった。

のれんの年次減損テストにおける回収可能額と帳簿価額との差額は、満足できるものとみなされている。算定されたのれんの使用価値は、予想キャッシュ・フロー及び割引率に対して重要ないくつかの異なる変数からの影響を受けやすい。計算において最も重要な変数は、金利、景気循環、将来マージン及び費用削減に関する仮定である。重要な仮定に合理的に起こり得る変化が生じて、のれんの計上額に影響はない。

新型コロナウイルス感染症に起因する最も重要な仮定に合理的に起こり得る変化は、2パーセント・ポイントの割引率の上昇、又は2パーセント・ポイントの将来の成長率の低下が考えられるが、それにより減損の必要性が生じることはない。

注記G25 不動産及び器具備品

不動産及び器具備品

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
器具備品	715	869
不動産	4,557	5,361
債権の保全のために担保権が実行された不動産	0	2
合計	5,272	6,232

債権の保全のために担保権が実行された不動産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、2(2)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現評価差額により、当期純利益に0(0)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、利回り要件及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的な利用可能性に基づいて行われている。当行は原則として、商業用及び事務所用ビル並びに工業用不動産を評価する際には公認独立鑑定人を常に使用する。市場の観測値のみに基づく評価2(2)百万スウェーデン・クローネは、注記G1に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に区分されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価0(0)百万スウェーデン・クローネは、評価ヒエラルキーのレベル3に区分されている。経常的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値変動による当年度利益への影響は0(0)百万スウェーデン・クローネであった。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は1(10)百万スウェーデン・クローネであり、このうち0(2)百万スウェーデン・クローネは、売却前はレベル3に区分されていた。当年度の新規不動産の増加額は0(2)百万スウェーデン・クローネであり、このうち0(0)百万スウェーデン・クローネはレベル3に区分された。

器具備品

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
---------------	-------	-------

期首現在取得原価	2,141	2,234
当年度の取得原価の増加	218	298
処分及び除却	-369	-325
売却目的で保有する資産への分類変更	-115	-
外貨換算影響額	79	-66
期末現在取得原価	1,954	2,141

期首現在減価償却累計額及び減損額	-1,325	-1,285
当年度の予定減価償却	-315	-373
処分及び除却	329	304
売却目的で保有する資産への分類変更	57	-
売却目的で保有する資産へ分類変更した資産に係る償却及び減損 ²	14	-
外貨換算影響額	-47	29
期末現在減価償却累計額及び減損額	-1,287	-1,325

帳簿価額	667	816
-------------	------------	------------

帳簿価額、使用権資産¹	48	53
-------------------------------	-----------	-----------

帳簿価額合計	715	869
---------------	------------	------------

不動産

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
期首現在取得原価	2,509	2,415
新規建設及び改築	67	107
処分及び除却	-530	-4
売却目的で保有する資産への分類変更	-301	-
外貨換算影響額	30	-9
期末現在取得原価	1,775	2,509

期首現在減価償却累計額及び減損額	-1,084	-1,046
当年度の予定減価償却	-38	-41
処分及び除却	476	1
売却目的で保有する資産への分類変更	127	-
売却目的で保有する資産へ分類変更した資産に係る償却及び減損 ²	2	-
外貨換算影響額	-1	2
期末現在減価償却累計額及び減損額	-518	-1,084

帳簿価額	1,257	1,425
-------------	--------------	--------------

帳簿価額、使用権資産 ¹	3,300	3,936
帳簿価額合計	4,557	5,361

- 1) 処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する使用権資産は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の帳簿価額には含まれていない。G13を参照のこと。
- 2) 2021年1月-9月期、すなわち「売却目的で保有する資産」に分類変更される前の期間の償却費及び減損損失を参照のこと。

注記G26 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
投資銀行の決済業務に係る債権	2,629	3,273
再保険資産	20	11
その他	3,136	2,840
合計	5,785	6,124

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属するその他資産は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G27 前払費用及び未収金

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
未収収益	1,280	1,460
前払費用	736	793
合計	2,016	2,253

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する前払費用及び未収金は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G28 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
預り金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	4,409	36,933
その他金融機関	8,485	11,265
合計	12,894	48,198

預り金（外貨建て）

銀行	69,982	75,952
その他金融機関	158	573
合計	70,140	76,525

金融機関からの預り金合計	83,034	124,723
うち、未払利息費用	-29	2
うち、レボ	-	-

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
金融機関からの預り金（スウェーデン・クローネ建て）	48,286	52,783
金融機関からの預り金（外貨建て）	118,074	172,661
合計	166,360	225,444
うち、レボ	371	650

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する金融機関からの預り金は「売却目的で保有する負債」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G29 一般顧客からの預金及び借入金

一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

預金(スウェーデン・クローネ建て)

	2021年	2020年
個人	445,736	410,578
法人	366,155	297,529
国債局	1	1
合計	811,892	708,108

預金(外貨建て)

個人	115,329	138,567
法人	310,530	341,362
合計	425,859	479,929

一般顧客からの預金合計

1,237,751 1,188,037

一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

借入金(スウェーデン・クローネ建て)

	2021年	2020年
借入金(スウェーデン・クローネ建て)	29,335	24,677
借入金(外貨建て)	19,551	17,049
一般顧客からの借入金合計	48,886	41,726

一般顧客からの預金及び借入金合計

1,286,637 1,229,763

うち、未払利息費用

95 497

うち、レボ

213 -

うち、保険事業

6,623 6,863

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客からの預金

	2021年	2020年
一般顧客からの預金(スウェーデン・クローネ建て)	745,860	675,329
一般顧客からの預金(外貨建て)	490,229	488,470
合計	1,236,089	1,163,799

一般顧客からの借入金

借入金(スウェーデン・クローネ建て)	54,673	31,257
借入金(スウェーデン・クローネ建て)、保険事業	6,739	7,038
借入金(外貨建て)	153,982	99,934
合計	215,394	138,229

うち、レボ

19,209 6,425

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する一般顧客からの預金及び借入金は「売却目的で保有する負債」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。
比較数値は変更されていない。

注記G30 顧客が価値変動リスクを負う負債

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
ユニットリンク及びポートフォリオ社債保険負債	235,209	191,035
その他のファンド負債	552	6,177
合計	235,761	197,212

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する顧客が価値変動リスクを負う負債は「売却目的で保有する負債」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G31 発行済証券

	2021年		2020年	
	帳簿価額	額面価格	帳簿価額	額面価格
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー				
(スウェーデン・クローネ建て)	567	489	391	423
うち、純損益を通じて公正価値で計上	567	489	391	423
コマーシャル・ペーパー(外貨建て)	513,697	513,441	474,804	506,892
うち、償却原価で計上	512,583	512,332	472,980	505,798
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	905	906		
うち、純損益を通じて公正価値で計上	1,114	1,109	1,824	1,094
合計	514,264	513,930	475,195	507,315
社債				
社債(スウェーデン・クローネ建て)	500,296	487,761	478,412	461,154
うち、償却原価で計上	500,296	487,761	478,412	461,154
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	40,225	39,200	22,985	21,850
社債(外貨建て)	339,208	339,801	357,130	355,947
うち、償却原価で計上	339,208	339,801	357,130	355,947
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	134,588	135,498	92,645	90,578
合計	839,504	827,562	835,542	817,101
発行済証券合計	1,353,768	1,341,492	1,310,737	1,324,416
うち、未払利息費用	4,194		4,396	

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	1,310,737	1,384,961
発行済	1,015,801	944,015
買戻	-54,381	-72,852

満期が到来したもの	-939,884	-880,712
外貨換算影響額等	21,495	-64,675
期末現在発行済証券	1,353,768	1,310,737

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
スウェーデン・クローネ	491,228	494,056
外貨	882,947	908,636
合計	1,374,175	1,402,692

注記G32 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
公正価値で計上されるショートポジション		
株式	835	658
利付証券	3,270	1,024
合計	4,105	1,682

うち、未払利息費用	21	5
-----------	----	---

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
スウェーデン・クローネ	21,824	10,977
外貨	229	97
合計	22,053	11,074

注記G33 保険負債

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
疾病年金に係る負債	162	151
終身年金に係る負債	199	224
その他未払保険金に係る負債	131	130
前払保険料に係る負債	40	52
合計	532	557

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する保険負債は「売却目的で保有する負債」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G34 税金

繰延税金資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
ヘッジ手段	-	563
無形資産	-	-
不動産及び器具備品	18	14
年金	295	221
その他	532	420
合計	845	1,218

繰延税金負債

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
一般顧客への貸出金 ¹	2,759	3,212
ヘッジ手段	369	1,528
無形資産	74	70
不動産及び器具備品	93	111
年金	1,754	367
その他	227	65
合計	5,276	5,353

繰延税金負債純額

	4,431	4,135
--	-------	-------

繰延税金の変動、2021年	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	売却目的で 保有する資 産及び負債 に分類変更	外貨換算 影響額	期末残高
百万スウェーデン・クローネ						
一般顧客への貸出金 ¹	3,212	-453	-	-	-	2,759
ヘッジ手段	965	-	-596	-	-	369
無形資産	70	4	-	-	-	74
不動産及び器具備品	97	-22	-	-	-	75
年金	146	-72	1,398	-	-13	1,459
その他	-355	-139	195	-4	-2	-305
合計	4,135	-682	997	-4	-15	4,431

繰延税金の変動、2020年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹	3,745	-533	-	-	3,212
ヘッジ手段	1,059	-	-94	-	965
無形資産	158	-88	-	-	70

不動産及び器具備品	96	1	-	-	97
年金	-97	-33	267	9	146
その他	-20	-329	-	-6	-355
合計	4,941	-982	173	3	4,135

1) うち、リース資産は2,759(3,212)百万スウェーデン・クローネである。

損益計算書に計上された税金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
当期税金		
当期税金費用	-5,188	-5,205
過年度に関する税金の調整	-121	-16
繰延税金		
一時差異の変動	682	1,059
税率変更による変動	-	-78
税金費用合計(継続事業)	-4,627	-4,240
税金費用合計(非継続事業)	-510	-307

継続事業による税引前利益に対する税率、20.6(21.4)%

差異	209	-217
-----------	------------	-------------

差異の詳細項目

各種損金不算入費用	-20	-21
劣後ローン利息の損金不算入額	-226	-254
保険事業に係る税率の相違	259	184
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	-	10
他国の税率との相違	-121	-102
税率変更による繰延税金の再測定	-	-78
その他	317	44
合計	209	-217

[次へ](#)

注記G35 引当金

引当金、2021年	オフバランス シート項目に 係る予想信用 損失引当金 ¹	リストラクチャ リングに係る 引当金 ²	その他引当金 ³	合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	366	1,829	107	2,302
当期の引当金繰入		-	53	53
取崩		-1,171	0	-1,171
戻入		-	-1	-1
売却目的で保有する負債への分類変更	-94	-41	-	-135
予想信用損失の変動（純額）	-22			-22
期末現在引当金	250	617	159	1,026

引当金、2020年	オフバランス シート項目に 係る予想信用 損失引当金 ¹	リストラクチャ リングに係る 引当金 ²	その他引当金 ³	合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	241	864	36	1,141
当期の引当金繰入		1,370	112	1,482
取崩		-405	-13	-418
戻入		-	-28	-28
予想信用損失の変動（純額）	125			125
期末現在引当金	366	1,829	107	2,302

1) 詳細は注記G10及びG43を参照のこと。

2) リストラクチャリングに係る引当金は当行のリストラクチャリングに関連する費用である。引当額の大半は当年度中に決済されている。残りに関しては2022年末までに決済されると見込まれている。

3) 当行に対する債権の決済に将来必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

注記G36 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
投資銀行の決済業務に係る負債	2,789	4,001
リース負債	3,414	4,008
再保険負債	83	69
その他	5,018	5,850
合計	11,304	13,928

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属するその他負債は「売却目的で保有する負債」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G37 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
未払費用	2,198	2,179
繰延収益	1,321	1,453
合計	3,519	3,632

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する未払費用及び繰延収益は「売却目的で保有する負債」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

注記G38 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	3,003	3,002
劣後ローン(外貨建て)	29,254	38,080
合計	32,257	41,082
うち、未払利息費用	769	915

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	2,898	3,009
劣後ローン(外貨建て)	30,125	34,062
合計	33,023	37,071

劣後ローン、内訳

発行年	満期	通貨	各通貨別の 当初額面金額	金利、%	残高
スウェーデン・クローネ 建て					
2017年	期限付	スウェーデン・ク ローネ	1,700	0.950%	1,701
2017年	期限付	スウェーデン・ク ローネ	1,300	1.410%	1,302
合計					3,003

外貨建て

2018年	期限付	ユーロ	750	1.630%	7,785
2018年	期限付	ユーロ	750	1.250%	7,764
2019年	永久	米ドル	500	6.250%	4,908
2020年	永久	米ドル	500	4.380%	4,454
2020年	永久	米ドル	500	4.750%	4,343
合計					29,254

劣後負債合計**32,257**

劣後ローンに関する詳細は、第三の柱に関する報告書を参照のこと。

劣後負債の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
期首現在劣後ローン	41,082	35,546
発行済	-	8,916
買戻	-	-2
満期が到来したもの	-9,711	-
外貨換算影響額等	886	-3,378
期末現在劣後ローン	32,257	41,082

注記G39 持分変動の内訳**ヘッジ準備金の変動**

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
期首ヘッジ準備金	3,353	4,203

キャッシュフロー・ヘッジ

公正価値変動の有効部分

金利リスク	-2,319	-652
為替リスク	528	-223
未実現評価差額		
損益計算書への振替額 ¹	-179	-249
法人税	406	274
期末ヘッジ準備金	1,789	3,353

公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
期首公正価値評価差額準備金	94	660
未実現評価差額 - 資本性金融商品	59	-572
実現評価差額 - 資本性金融商品	0	684
未実現評価差額 - 負債性金融商品	5	5
予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品	0	1
損益計算書への振替額 - 資本性金融商品 ²	0	-684
損益計算書への振替額 - 負債性金融商品 ³	-	-
期末公正価値評価差額準備金	158	94

為替換算調整準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
期首為替換算調整準備金	-806	3,643
支店における為替換算差額の変動	1,220	-2,292
子会社における為替換算差額の変動	2,247	-2,183
損益計算書への振替額 ⁴	-9	6
利益準備金への振替額 ⁵	-67	20
期末為替換算調整準備金	2,585	-806

- 1) 本項目に係る税金37(53)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
2) 本項目に係る税金0(43)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。
3) 本項目に係る税金 -(0)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
4) 本項目に係る税金2(-1)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
5) 本項目に係る税金17(-9)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

注記G40 金融資産及び負債の分類

2021年	純損益を通じて公正価値で計上						
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					439,964	439,964	439,964
中央銀行へのその他の貸出金					1,462	1,462	1,462
中央銀行への担保として適格な利付証券	2,513	97,628		397	24	100,562	100,562
その他金融機関への貸出金					21,838	21,838	21,839
一般顧客への貸出金					2,413,829	2,413,829	2,416,796
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動					-1,900	-1,900	
債券及びその他の利付証券	5,310	19,008		9,016		33,334	33,334
株式	19,026			908		19,934	19,934
顧客が価値変動リスクを負う資産	252,924				64	252,988	252,988
デリバティブ商品	17,300		11,218			28,518	28,518
その他資産	18				6,147	6,165	6,165
合計	297,091	116,636	11,218	10,321	2,881,428	3,316,694	3,321,562
関連会社及びジョイント・ベンチャーに 対する投資						478	
非金融資産						29,592	
資産合計						3,346,764	
負債							
金融機関からの預り金					83,608	83,608	83,992
一般顧客からの預金及び借入金					1,400,757	1,400,757	1,400,721
顧客が価値変動リスクを負う負債		252,924			64	252,988	252,988
発行済証券	1,681				1,352,087	1,353,768	1,359,934
デリバティブ商品	8,843		4,966			13,809	13,809
ショートポジション	4,105					4,105	4,105
その他負債	7				12,405	12,412	12,412

劣後負債					32,257	32,257	33,645
合計	14,636	252,924	4,966		2,881,178	3,153,704	3,161,606
非金融負債						11,329	
負債合計						3,165,033	

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

2020年

純損益を通じて公正価値で計上

百万スウェーデン・クローネ	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
資産							
現金及び中央銀行預け金					397,642	397,642	397,642
中央銀行へのその他の貸出金					21,326	21,326	21,326
中央銀行への担保として適格な利付証券	3,928	94,024		401	780	99,133	99,133
その他金融機関への貸出金					21,920	21,920	21,918
一般顧客への貸出金					2,269,612	2,269,612	2,281,897
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動					25	25	
債券及びその他の利付証券	9,962	26,640		7,964		44,566	44,566
株式	20,245			800		21,045	21,045
顧客が価値変動リスクを負う資産	197,152				60	197,212	197,212
デリバティブ商品	16,834		13,780			30,614	30,614
その他資産	30				6,083	6,113	6,113
合計	248,151	120,664	13,780	9,165	2,717,448	3,109,208	3,121,466
関連会社及びジョイント・ベンチャーに 対する投資						386	
非金融資産						25,694	
資産合計						3,135,288	
負債							
金融機関からの預り金					124,723	124,723	125,220
一般顧客からの預金及び借入金					1,229,763	1,229,763	1,229,741
顧客が価値変動リスクを負う負債		197,152			60	197,212	197,212
発行済証券	2,215				1,308,522	1,310,737	1,326,970
デリバティブ商品	23,851		8,968			32,819	32,819
ショートポジション	1,682					1,682	1,682
その他負債	38				13,890	13,928	13,928
劣後負債					41,082	41,082	42,675
合計	27,786	197,152	8,968		2,718,040	2,951,946	2,970,247
非金融負債						11,869	
負債合計						2,963,815	

注記G41 金融商品の公正価値測定

公正価値で計上される金融商品、2021年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	2,188	325	-	2,513

純損益を通じて公正価値で測定

（公正価値オプション）	97,628	-	-	97,628
-------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定

	397	-	-	397
--	-----	---	---	-----

債券及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	4,262	1,048	-	5,310
--------------------	-------	-------	---	-------

純損益を通じて公正価値で測定

（公正価値オプション）	19,008	-	-	19,008
-------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定

	2,291	6,725	-	9,016
--	-------	-------	---	-------

株式

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	18,286	709	31	19,026
--------------------	--------	-----	----	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定

	100	200	608	908
--	-----	-----	-----	-----

顧客が価値変動リスクを負う資産

	251,977	463	484	252,924
--	---------	-----	-----	---------

デリバティブ商品

	22	28,453	43	28,518
--	----	--------	----	--------

合計

	396,159	37,923	1,166	435,248
--	---------	--------	-------	---------

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債

	251,977	463	484	252,924
--	---------	-----	-----	---------

発行済証券

	-	1,681	-	1,681
--	---	-------	---	-------

デリバティブ商品

	46	13,720	43	13,809
--	----	--------	----	--------

ショートポジション

	3,903	202	-	4,105
--	-------	-----	---	-------

合計

	255,926	16,066	527	272,519
--	---------	--------	-----	---------

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている。注記G13を参照のこと。

公正価値で計上される金融商品、2020年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	3,088	840	-	3,928
--------------------	-------	-----	---	-------

純損益を通じて公正価値で測定

（公正価値オプション）	94,024	-	-	94,024
-------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定

	401	-	-	401
--	-----	---	---	-----

債券及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	8,200	1,762	-	9,962
--------------------	-------	-------	---	-------

純損益を通じて公正価値で測定

（公正価値オプション）	26,640	-	-	26,640
-------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	3,091	4,873	-	7,964
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	19,792	417	36	20,245
その他包括利益を通じて公正価値で測定	100	186	514	800
顧客が価値変動リスクを負う資産	196,244	434	474	197,152
デリバティブ商品	267	30,267	80	30,614
合計	351,847	38,779	1,104	391,730

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	196,244	434	474	197,152
発行済証券	-	2,215	-	2,215
デリバティブ商品	255	32,484	80	32,819
ショートポジション	1,488	194	-	1,682
合計	197,987	35,327	554	233,868

評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に使用した市場データの透明性の程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。直接的かつ流動性が高い市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び資産に対応する短期ポジションで構成されている。レベル1にはまた、ミューチュアル・ファンドにおける大部分の株式、ユニットリンク保険契約及び類似契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に利付証券、金利及び通貨関連デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することのできないインプット・データが、その価値に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に区分される。レベル3には、非上場の株式、プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有及び特定のデリバティブが含まれる。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日（2020年12月31日）以降に変更された場合には、その金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。2021年度に市場活動を新たに評価した結果、一部の金融商品がレベル1とレベル2の間で振り替えられている。資産サイドでは、823百万スウェーデン・クローネ相当の利付証券がレベル1からレベル2に振り替えられた。また、59百万スウェーデン・クローネ相当の利付証券が、レベル2からレベル1に振り替えられた。負債サイドでは、レベル1からレベル2への振替、レベル2からレベル1への振替はなかった。2021年度において、新型コロナウイルス感染症の状況のみを理由としたレベル間の振替はなかった。当年度のレベル3の保有の変動は、下表に別途表示されている。

レベル3の保有商品は、主に非上場の株式で構成されている。当行グループが保有している非上場株式は、主に当行に対して業務支援を行っている会社に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの拠点市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、一般に当該会社における純資産価値に占める当行の持分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式はすべての重要な点から見

て、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。したがって、これらのポートフォリオの価値変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有はレベル3に分類されている。これらは主に、同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資との比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数（例：株価収益率）に基づいて評価される。これらのポートフォリオの大部分は、当行グループの保険事業における投資資産に関するものである。投資資産の価値変動は、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められているため、損益計算書に直接計上されない。

当行が発行した特定の仕組債券におけるデリバティブ部分及び関連するヘッジ目的デリバティブは、レベル3に分類された。これらのデリバティブでは、社内の見積りが公正価値の算定に大きな影響を与える。レベル3のヘッジ目的デリバティブは、当行の取引相手との間で市場価値が日次で検証され確認されるクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）に基づいて取引される。

損益計算書に計上された当年度のレベル3における金融商品の実現評価差額は、2(8)百万スウェーデン・クローネである。このうち全額が保険事業における利回り分割の計算に含められている。

取引価格と評価モデルを用いて算出された価値との差額

注記G1の会計方針に記載されているとおり、デリバティブ評価にモデルを適用する場合、当初認識時の評価と取引価格との間の重要な正の差額（取引日利得/損失）がデリバティブの契約期間にわたって償却されている。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額から生じた未実現額（取引日利得/損失）は、当行の利鞘のほか、資本コストや管理費用などの対価から構成されている。この原則を適用した結果、当年度において172(171)百万スウェーデン・クローネが金融取引による純損益に認識された。当年度末現在、未認識の取引日利得、489(538)百万スウェーデン・クローネであった。

レベル3の保有金融商品の変動、2021年

百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値変動 リスクを 負う資産	顧客が価値変動 リスクを 負う負債
期首現在帳簿価額	550	80	-80	474	-474
取得	33	1	-2	-	-
買戻/売却	-3	9	-7	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額(損益計算書に計上)	51	-131	130	10	-10
未実現評価差額(その他包括利益に計上)	8	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	10	-10	-	-
レベル1又は2への振替	-	74	-74	-	-
期末現在帳簿価額	639	43	-43	484	-484

レベル3の保有金融商品の変動、2020年

百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値変動 リスクを 負う資産	顧客が価値変動 リスクを 負う負債
期首現在帳簿価額	1,308	69	-70	493	-493
取得	6	9	-13	-	-
買戻/売却	-704	-	5	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-	-	-

未実現評価差額(損益計算書に計上)	-22	-16	16	-19	19
未実現評価差額(その他包括利益に計上)	-38	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	17	-17	-	-
レベル1又は2への振替	-	1	-1	-	-
期末現在帳簿価額	550	80	-80	474	-474

償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報についての原則

償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報は、注記G40及び以下の表に記載されている。これらの金融商品は、基本的に貸出金、預金及び借入金で構成されている。決済手段及び短期の債権債務の帳簿価額は、これらの項目の公正価値の妥当な推定値とみなされている。満期日又は次回の金利更改日が30日以内に到来する債権債務は、短期項目と定義されている。

固定金利の貸出金の評価は、市場で想定される信用リスク及び流動性リスクに関するプレミアムを調整した最新の市場金利を基礎としている。このプレミアムは、測定時における新規貸出の平均マージンに等しいと仮定されている。利付証券は、入手可能な最新の市場価格で評価されている。市場価格に関する情報が入手不能な資金調達及び利付証券は、類似金融商品の価格又は金利等の市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価されている。

以下の表における償却原価で計上される金融商品の公正価値情報で使用された評価は、上述の評価ヒエラルキーで区分されている。決済手段及び預金は、現金同等物とみなされており、レベル1に区分されている。レベル1には、最新の市場価格がある利付証券（資産及び負債）も含まれている。信用及び流動性プレミアムに関する仮定が公正価値情報に重大な影響を及ぼす貸出金は、レベル3に区分されている。その他の金融商品は、レベル2に区分されている。

償却原価で計上される金融商品の公正価値、 2021年

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	439,964	-	-	439,964
中央銀行へのその他の貸出金	1,462	-	-	1,462
中央銀行への担保として適格な利付証券	-	24	-	24
その他金融機関への貸出金	3,689	17,757	393	21,839
一般顧客への貸出金	12,192	1,533,836	870,768	2,416,796
顧客が価値変動リスクを負う資産	64	-	-	64
合計	457,371	1,551,617	871,161	2,880,149

負債

金融機関からの預り金	9,507	74,485	-	83,992
一般顧客からの預金及び借入金	1,385,232	15,489	-	1,400,721
顧客が価値変動リスクを負う負債	64	-	-	64
発行済証券	178,038	1,180,215	-	1,358,253
劣後負債	-	33,645	-	33,645
合計	1,572,841	1,303,834	-	2,876,675

償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2020年

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	397,642	-	-	397,642
中央銀行へのその他の貸出金	21,326	-	-	21,326
中央銀行への担保として適格な利付証券	727	53	-	780
その他金融機関への貸出金	13,259	8,071	588	21,918
一般顧客への貸出金	4,254	2,045	2,275,598	2,281,897
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	60	-	60
合計	437,208	10,229	2,276,186	2,723,623

負債

金融機関からの預り金	38,870	86,350	-	125,220
一般顧客からの預金及び借入金	1,202,742	26,999	-	1,229,741
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	60	-	60
発行済証券	737,828	586,927	-	1,324,755
劣後負債	-	42,675	-	42,675
合計	1,979,440	743,011	-	2,722,451

注記G42 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産

自己の債務の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
現金	14,600	28,157
国債及び債券	6,460	2,398
一般顧客への貸出金	692,211	661,950
株式	6,597	6,680
顧客が価値変動リスクを負う資産	248,066	193,198
その他	3,499	5,524
合計	971,433	897,907
うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産	25	28

その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
現金	1,456	1,298
国債及び債券	5,767	40,844
株式	7,007	6,285
その他	0	3
合計	14,230	48,430

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産

3,563

37,504

その他担保資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

担保資産

担保資産は貸借対照表上、資産として計上される。担保として差し入れた利付証券は、主に支払制度、トレーディング及び決済のための担保として中央銀行及びその他金融機関へ差し入れられた有価証券、並びに拘束力のある買戻契約（レボ）に基づいて売却された有価証券で構成されている。担保として差し入れた株式は、主に貸付有価証券及び保険事業における株式より構成される。

担保として差し入れた一般顧客への貸出金は、主にスタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド保有者のために登記された担保より構成されている。当該担保は、主に一世帯向け住宅、セカンド・ハウス、多世帯住居又は住宅共同組合アパートメントの住宅ローンで融資された貸出金より構成されており、不動産価値に対する融資比率は、市場価値の75%以内となっている。会社が破綻した際には、カバード・ボンド法及び優先権法に従ってカバード・ボンドの所有者が担保資産の優先権をもつ。破産決定時に担保として差し入れたすべての資産が当該優先権法の条件を満たす場合、これらは、破産財団のその他資産及び負債とは別個に保持される。その後、当該ボンドの保有者は、引き続きボンドの契約条件に基づいた支払を満期まで受け取ることになる。

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にハンデルスバンケン・リヴの保険契約者が優先権を有するユニットリンク保険契約のユニットより構成される。

受け入れた担保

受け入れた担保は貸借対照表に計上されない。売戻契約及びエクイティ・ローンについて、担保は、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な有価証券の形態で受領している。売戻契約及びエクイティ・ローン契約に基づいて受け入れた担保の公正価値は、事業年度末現在において、63,709(23,451)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた担保の価値は、26,632(8,400)百万スウェーデン・クローネであった。貸出金に関して受け入れた担保及びその他の受け入れた担保に関する情報については、注記G2に示されている。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産

譲渡金融資産は貸借対照表上資産として認識されているものの、将来キャッシュ・フローに関する権利が直接又は間接的に外部のカウンターパーティに譲渡されている。貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産の大部分は、利付証券より構成されており、拘束力のある買戻契約に基づいて売却したもの又は貸付有価証券である。通常、拘束力のある買戻契約又はエクイティ・ローンの条件は、当行と各カウンターパーティとの間の基本契約において規定されている。

拘束力のある買戻契約は、将来の予め設定した時期に固定価格で有価証券を買い戻すことを前提として有価証券を売却することを意味している。したがって、有価証券の売り手は、契約期間中、価値変動リスクにさらされることとなる。買戻契約に基づいて売却された有価証券は、契約期間を通じて、貸借対照表上に市場価格で計上される。受領した代価は、カウンターパーティに対する負債として計上される。買戻契約の標準的な条件に従って、売却された有価証券の所有権はすべて売り手から買い手に譲渡される。これは、買い手が購入した有価証券の売却、再担保又は処分の権利を有していることを意味している。

エクイティ・ローンの標準的な契約に従って、貸付有価証券の価値変動に対するエクスポージャーは、貸手にある。したがって、貸付有価証券は、貸付期間を通じて貸借対照表に計上される。貸付有価証券の担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。受け入れた現金担保は、貸借対照表上に負債として計上される。買戻契約と同様に、エクイティ・ローンで用いられる標準契約により、借り手は貸付期間中に借り入れた有価証券を売却、再担保又は処分する権利を有することになる。

有価証券トレーディング、決済等の目的で担保として差し入れた国債、債券及び株式は、その権利がカウンターパーティに譲渡される場合、その他譲渡金融資産として計上されている。譲渡金融資産にはまた、顧客が価値変動リスクを負う特定の資産も含まれている。これらの資産は、当行が正式な所有権を有しているものの、資産に関連するリスクも将来キャッシュ・フローに関する権利も第三者に譲渡された金融商品ポートフォリオから構成されている。これらの資産の評価は、対応する負債項目の評価を反映している。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産 百万スウェーデン・クローネ	2021年		2020年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額
株式、証券貸付	7,349	284 ¹⁾	6,526	306 ¹⁾
国債及び債券、買戻契約	4,142	67	386	-
国債及び債券、その他	1,946	-	1,108	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	552	552	538	538
合計	13,989	903	8,558	844

1) 現金で受領した担保

注記G43 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
偶発債務		
保証、貸出金	7,839	9,802
保証、その他	61,579	67,156
取消不能信用状	1,035	2,299
その他	1,303	638
合計	71,756	79,895
うち、減損テスト対象となるもの	71,756	79,895
コミットメント		
ローン・コミットメント	346,556	331,230
当座貸越枠の未使用部分	116,839	118,066
その他	23,122	14,128
合計	486,517	463,424
うち、減損テスト対象となるもの	344,081	322,547
偶発債務合計	558,273	543,319
引当金として計上される予想信用損失引当金（注記G35参照）	344	366

偶発債務

偶発債務は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関による出資を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主として入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。偶発債務には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

請求

当行グループ内の会社は、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。これらの裁判は、基本的に当行に有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行グループの財政状態にも損益にも大きな影響を及ぼさないと評価されている。

報酬

事業売却日まで当行に在籍するデンマーク及びフィンランドの従業員は追加報酬を受け取る。現時点で当該報酬額を見積もることは不可能であるが、目下当行グループの損益にも財政状態にも重要な影響を与えることはないとは評価されている。

注記G44 リース

貸手としてのハンデルスバンケン

ファイナンス・リース

百万スウェーデン・クローネ

投資純額からの金融収益

変動リース料

2021年

2020年

218

277

113

158

満期別及び投資純額別、割引前リース債権の内訳

百万スウェーデン・クローネ

2021年

2020年

1年以内

3,426

3,462

1年超2年以内

3,931

5,202

2年超3年以内

4,204

4,606

3年超4年以内

2,084

3,731

4年超5年以内

1,098

2,521

5年超

4,717

3,088

割引前リース債権合計

19,460

22,610

前受金融収益

-351

-330

投資純額

19,109

22,280

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する投資純額は「売却目的で保有する資産」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

当行グループが貸手であるすべてのリースは、ファイナンス・リースとして定義されている。この種類のリース契約は、貸借対照表上、当初は投資純額に相当する額が貸出金として計上される。前年度からの変更は、主に業務の縮小に起因するリース残高の減少(-3十億スウェーデン・クローネ)によるものである。リース資産は主に車両及び機械から構成される。すべてのリースは残存価値が保証されている。当年度末において、当行グループのリース・エクスポージャーのうち、個別の帳簿価額が1十億スウェーデン・クローネを超えるものは3件であった。

借手としてのハンデルスバンケン

損益計算書項目

百万スウェーデン・クローネ

リース負債の利息費用

合計¹

2021年

2020年

-64

-69

-64

-69

使用権資産の減価償却費及び減損損失

不動産

-668

-750

器具備品

-16

-17

合計²

-684

-767

短期リース費用

-31

-35

低額リース費用

-15

-15

リース負債の算定に含まれていない変動リース料

-100

-102

合計³

-146

-152

リース費用合計

-894

-988

貸借対照表項目

百万スウェーデン・クローネ

使用権資産⁴

2021年

2020年

不動産

3,300

3,936

器具備品

48

53

合計

3,348

3,989

新規使用権資産⁵

97

321

リース負債⁶

3,412

4,008

リースのキャッシュ・アウトフロー総額

-807

-946

処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する使用権資産及びリース負債は、「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」に分類変更されており、2021年12月31日現在の上記の貸借対照表項目には含まれていない。G13を参照のこと。比較数値は変更されていない。

- 1) 損益計算書項目の利息費用に含まれている。
- 2) 損益計算書項目の不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失に含まれており、うち55(-107)百万スウェーデン・クローネが減損損失である。
- 3) 損益計算書項目のその他費用に含まれている。
- 4) 使用権資産は貸借対照表項目の不動産及び器具備品に含まれている。
- 5) 当年度の新規リース契約は使用権資産に含まれている。
- 6) リース負債は貸借対照表項目のその他負債に含まれている。

リース負債に係る満期までの期間

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
6カ月以内	338	375
6カ月超1年以内	333	366
1年超2年以内	633	694
2年超5年以内	1,401	1,644
5年超	689	1,151
合計	3,394	4,230

当行のリース契約は主に建物設備の賃借契約によるものである。このような契約を除き、その他のリース契約は主に多機能プリンター、PC及びその他の事務所設備である。

建物設備の賃借契約期間の大半は3年から10年である。当行の建物設備の賃借契約の中には契約期間延長に関するオプションが含まれているものがあり、特定の時点までに契約が解消されない限り、当該契約は特定期間延長される。また、当行が契約期間満了前に契約を解消できるオプションを含む建物設備の賃借契約もある。リース期間を決定するにあたり、契約期間の延長又は契約期間満了前の契約解消のオプションは、これらのオプションが行使される可能性が高い場合に限りリース期間に含められる。

当行は期間が12カ月以内のリース契約及び原資産が低額なリース契約を締結している。これらのリース契約はIFRS第16号「リース」の免除規定に従い費用として認識されるため、リース負債にも使用权資産にも含まれない。

注記G45 セグメント報告

セグメント報告、2021年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・ マーケット	その他	調整及び消去	合計
純利息収益	18,140	5,452	3,698	1,045	268	788		29,391
純手数料及びコミッション収益	8,614	751	643	224	1,006	220		11,458
金融取引による純損益	509	189	55	32	1,155	-241		1,699
保険リスク					187	-8		179
関連会社及びジョイント・ ベンチャーの持分利益						63		63
その他の収益	470	0	26	0	10	51		557
収益合計	27,733	6,392	4,422	1,301	2,626	873		43,347
人件費	-3,201	-2,467	-891	-395	-2,012	-3,317	-169	-12,452
その他費用	-845	-1,045	-186	-76	-746	-2,679		-5,577
内部購入及び売却されたサービス	-5,465	-912	-526	-176	801	6,278		
不動産及び器具備品並びに 無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-316	-316	-84	-50	-274	-727	-47	-1,814
費用合計	-9,827	-4,740	-1,687	-697	-2,231	-445	-216	-19,843
信用損失控除前利益	17,906	1,652	2,735	604	395	428	-216	23,504
正味信用損失	16	95	-150	-5	10	-9		-43
不動産及び器具備品並びに 無形資産の処分損益	9	9	7	-	-10	-1		14
営業利益	17,931	1,756	2,592	599	395	418	-216	23,475
利益配分	390	46	54	1	-527	36		
利益配分後の営業利益	18,321	1,802	2,646	600	-132	454	-216	23,475
内部収益 ¹	-381	-961	-1,423	-386	-420	3,571		
C/I比率、%	34.9	73.6	37.7	53.5	106.3			45.8
信用損失実績率、%	0.00	-0.04	0.06	0.01	-0.01			0.00
資産	2,322,088	488,025	291,064	111,145	357,822	2,524,556	-2,747,936	3,346,764
負債	2,221,421	467,478	273,086	108,132	351,467	2,509,418	-2,765,969	3,165,033
割当済資本	100,667	20,547	17,978	3,013	6,355	15,138	18,033	181,731
割当済資本に係る利益率、%	15.2	7.0	11.3	16.7	-1.7			11.4
当年度の非金融固定資産への投資	-77	77	29	2	138	528		697
当年度の関連会社及び ジョイント・ベンチャーへの投資						51		51
平均従業員数	3,359	2,509	731	337	1,156	2,947		11,039

- 1) 収益総額に含まれている内部収益は、他の事業セグメント及び「その他」との取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上されていることから、内部収益には、セグメント及び「その他」との間の内部資金調達費用が純額で含まれることを意味する。

上表の「その他」の項目は、処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する資産、負債、割当済資本、及び貸借対照表項目の変更を含む。比較数値は調整されている。

セグメント報告

2020年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・ マーケット	その他	調整及び消去	合計
純利息収益	18,166	5,683	3,481	908	355	486		29,079
純手数料及びコミッション収益	7,112	713	504	125	1,032	184		9,670
金融取引による純損益	458	176	57	25	1,039	-538		1,217
保険リスク					195	-1		194

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益						18		18
その他の収益	33	1	32	2	23	99		190
収益合計	25,769	6,573	4,074	1,060	2,644	248		40,368
人件費	-3,284	-2,465	-822	-395	-2,203	-4,598	-140	-13,907
その他費用	-827	-864	-203	-146	-791	-2,414		-5,245
内部購入及び売却されたサービス	-5,017	-761	-509	-143	603	5,827		
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失	-321	-267	-88	-56	-123	-920		-1,775
費用合計	-9,449	-4,357	-1,622	-740	-2,514	-2,105	-140	-20,927
信用損失控除前利益	16,320	2,216	2,452	320	130	-1,857	-140	19,441
正味信用損失	-177	-119	-270	-4	11	-90		-649
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	8	-7	7	0	-3	0		5
営業利益	16,151	2,090	2,189	316	138	-1,947	-140	18,797
利益配分	333	49	40	5	-466	39		
利益配分後の営業利益	16,484	2,139	2,229	321	-328	-1,908	-140	18,797
内部収益 ¹	88	-1,193	-2,420	-387	-1,563	5,475		
C/I比率、%	36.2	65.8	39.4	69.5	115.4			51.8
信用損失実績率、%	0.01	0.04	0.10	0.01	-0.01			0.02
資産	2,096,300	451,009	268,295	81,722	344,485	2,382,147	-2,488,670	3,135,288
負債	1,999,887	431,703	248,309	79,110	338,642	2,367,156	-2,500,992	2,963,815
割当済資本	96,413	19,306	19,986	2,612	5,843	14,991	12,322	171,473
割当済資本に係る利益率、%	14.0	8.9	8.8	10.0	-4.2			9.3
当年度の非金融固定資産への投資	242	119	6	7	181	881		1,436
当年度の関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資						96		96
平均従業員数	3,672	2,462	709	329	1,317	2,865		11,354

2021年度第1四半期に、スウェーデンでは地域銀行5行が顧客中心型の新組織に置き換えられた。これにより、現在、支店は国別の本部長が率いる共通の全国組織の下で、24の県単位に分けられている。この再編に伴い、これまで5つの地域本社に勤務していた職員の一部はキャピタル・マーケットのほか、本部の財務会計、法務、人事、金融犯罪防止部門に移管された。2021年から、直接保有する子会社株式の消去は各セグメントではなく、「調整及び消去」の欄に認識されている。そのため、表の比較数値は再計算されている。

事業セグメントは、IFRS第8号「事業セグメント」に準拠して認識されている。これは、セグメント情報がコーポレート・ガバナンスの一環として内部的に採用される方法と類似した方法で表示されていることを意味する。ハンデルスバンケンの事業は、スウェーデン、英国、ノルウェー、オランダ及びキャピタル・マーケットのセグメントに区分して表示されている。ハンデルスバンケンの支店業務は、融資、決済、ファイナンシャル・アドバイザリーサービス、預金及び年金に特化したサービスを提供している。各国では独立した収益部門として業務が行われ、各国の支店長が業務を統括する。スウェーデン及び英国では、各国の支店長が統括する支店業務は、県域自治体及び地域別にそれぞれ編成されている。キャピタル・マーケット・セグメントは、有価証券売買及び投資アドバイザリーサービスを含む、ハンデルスバンケンの投資銀行である。その事業にはまた、資産運用、保険事業及び拠点市場以外の当行の国際事業も含まれる。

セグメントに関する利益／損失は、内部利益の配分前と配分後の両方について報告されている。内部利益の配分において、当行と顧客との取引によって生じた利益は、取引の実施セグメントにかかわらず、す

べてその顧客を担当するユニットに配分される。ただし、内部サービスに関する収益及び費用は、別個の項目である「内部購入及び売却されたサービス」に純額で報告される。セグメント間取引は、主として原価基準で報告される。その他並びに調整及び消去の欄は、特定のセグメントに属さない項目又は当行グループ・レベルで消去されている項目を示している。その他には、専らトレジャリー及び中央部門が含まれ、同時にオクトゴーネン利益分配制度への引当に起因する取引も含まれている。調整及び消去の欄には、人件費に対する調整が含まれている。人件費に対する調整は、IAS第19号「従業員給付」に従って計算される当行グループの年金費用と現地で算定された年金費用を含んでいる。

内部収益は、主に内部利息及びコミッションより構成されている。セグメントの損益計算書には、内部サービスの提供に対する支払といった内部項目も含まれている。内部付替えは、主に原価法に従っている。

支店業務においては、資産は主に一般顧客への貸出金より構成され、負債は一般顧客からの預金並びに内部借入より構成されている。キャピタル・マーケット・セグメントにおいては、資産は主に資産運用及び保険事業において管理されている有価証券より構成される。「その他」の欄に含まれている資産は、主に様々なセグメントへの内部貸付であるが、「その他」の欄に含まれている負債は、主に外部借入である。各セグメントに関する割当済資本は、内部の財務管理モデルによる資本割当と同様のものである。

商品分野別の収益

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
個人からの預金及び個人への貸出金	14,591	14,504
法人からの預金及び法人への貸出金	15,074	15,200
決済事業、純額	1,479	1,448
資産運用	6,747	5,048
年金及び保険	929	751
投資銀行	2,975	1,431
その他の事業	1,549	1,986
合計	43,344	40,368

注記G46 地域別情報

地域別情報、2021年 百万スウェーデン・クローネ	収益	営業利益	法人税等	非継続事業からの当期利益 (税引後)	資産
スウェーデン	30,450	18,803	-3,445		2,865,613
英国	6,287	1,543	-415		398,272
ノルウェー	4,137	2,296	-606		331,696
オランダ	1,317	622	-151		105,022
米国	260	167	-4		273,070
ルクセンブルク	156	47	-12		34,550
中国	9	-34	0		1
ドイツ	4	-33	-		64
フランス	54	12	-2		3,251
シンガポール	0	-2	0		-
ポーランド	-12	-78	-		459
エストニア					
ラトビア					
リトアニア					
デンマーク				854	149,950
フィンランド				-159	274,415
内部消去	685	132	8		-1,089,599
グループ	43,347	23,475	-4,627	695	3,346,764

地域別情報に表示されている収益、営業利益及び非継続事業からの当期利益（税引後）並びに資産は、各国における内部・外部収益、費用及び資産より構成されている。地域別収益及び費用配分は取引実施国に基づいているため、報告されたセグメント情報と比較することはできない。法人税等には当期税金及び繰延税金が含まれる。子会社及び関連会社の本拠地については注記P16に、国別平均従業員数については注記G8に、追加の地域別情報が記載されている。

地域別情報、2020年 百万スウェーデン・クローネ	収益	営業利益	法人税等	非継続事業からの当期利益 (税引後)	資産
スウェーデン	27,858	14,522	-3,747		2,685,867
英国	6,318	1,926	-487		352,299
ノルウェー	3,844	1,991	-470		314,086
オランダ	1,088	309	-75		76,657
米国	206	66	-2		219,199
ルクセンブルク	184	80	-8		38,252
中国	107	11	0		1,443
ドイツ	85	-136	4		8,869
フランス	61	30	-4		3,859
シンガポール	9	-14	0		774

ポーランド	4	-76	-2		523
エストニア	0	-13	-		-
ラトビア	1	-2	-		-
リトアニア	0	-2	-		-
デンマーク				909	139,552
フィンランド				122	268,118
内部消去	603	105	551	0	-974,210
グループ	40,368	18,797	-4,240	1,031	3,135,288

注記G47 通貨別資産及び負債

2021年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	93,293	149,547	4,578	28,282	101,196	63,008	60	439,964
中央銀行へのその他の貸出金	-	-	-	207	1,255	-	-	1,462
その他金融機関への貸出金	1,073	3,587	12,122	51	1,140	3,335	530	21,838
一般顧客への貸出金	1,496,800	245,760	294,946	107,914	251,793	13,567	3,049	2,413,829
うち、法人	537,399	149,031	183,442	43,663	174,344	13,376	1,555	1,102,810
うち、個人	959,401	96,729	111,504	64,251	77,449	191	1,494	1,311,019
中央銀行への担保として適格な 利付証券	91,630	5,658	335	26	-	2,913	-	100,562
債券及びその他の利付証券	23,131	965	8,741	17	-	480	-	33,334
その他項目(通貨別内訳なし)	335,775							335,775
資産合計	2,041,702	405,517	320,722	136,497	355,384	83,303	3,639	3,346,764
負債								
金融機関からの預り金	12,903	49,968	14,376	248	79	5,984	50	83,608
一般顧客からの預金及び借入金	842,173	151,481	89,516	52,166	231,861	31,233	2,327	1,400,757
うち、法人	386,274	120,367	59,662	28,818	162,303	26,964	1,605	785,993
うち、個人	455,899	31,114	29,854	23,348	69,558	4,269	722	614,764
発行済証券	500,864	385,000	30,207	7	69,192	351,169	17,329	1,353,768
劣後負債	3,003	15,547	-	-	0	13,707	-	32,257
その他項目(通貨別内訳なし、 資本含む)	476,374							476,374
負債及び資本合計	1,835,317	601,996	134,099	52,421	301,132	402,093	19,706	3,346,764
通貨別その他資産及び負債、正味								
		196,428	-186,467	-84,073	-54,145	318,781	16,124	
正味外貨ポジション								
		-51	156	3	107	-9	57	263

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更されている、処分グループのデンマーク及びフィンランドが含まれている。G13を参照のこと。

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

2020年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	84,525	128,206	18,025	212	100,280	65,480	914	397,642
中央銀行へのその他の貸出金	-	-	2,862	17,371	1,093	-	-	21,326
その他金融機関への貸出金	2,083	10,886	1,280	294	1,394	4,534	1,449	21,920

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

一般顧客への貸出金	1,418,660	239,227	259,469	97,781	236,368	15,441	2,666	2,269,612
うち、法人	506,541	151,899	161,117	34,499	161,817	15,273	1,125	1,032,271
うち、個人	912,119	87,328	98,352	63,282	74,551	168	1,541	1,237,341
中央銀行への担保として適格な 利付証券	89,688	5,457	839	19	-	2,368	762	99,133
債券及びその他の利付証券	33,813	1,420	7,285	16	0	2,032	-	44,566
その他項目(通貨別内訳なし)	281,089							281,089
資産合計	1,909,858	385,196	289,760	115,693	339,135	89,855	5,791	3,135,288
負債								
金融機関からの預り金	48,198	36,846	20,498	229	5,087	13,396	469	124,723
一般顧客からの預金及び借入金	732,785	132,828	83,757	47,247	208,449	22,651	2,046	1,229,763
うち、法人	310,737	106,377	58,415	24,285	149,183	18,513	1,365	668,875
うち、個人	422,048	26,451	25,342	22,962	59,266	4,138	681	560,888
発行済証券	478,803	390,814	24,709	104	68,531	331,087	16,689	1,310,737
劣後負債	3,002	15,213	-	-	0	22,867	-	41,082
その他項目(通貨別内訳なし、 資本含む)	428,983							428,983
負債及び資本合計	1,691,771	575,701	128,964	47,580	282,067	390,001	19,204	3,135,288
通貨別その他資産及び負債、正味		190,618	-160,732	-68,039	-56,983	300,144	13,444	
正味外貨ポジション		113	64	74	85	-2	31	365

注記G48 非連結の組成された事業体における持分

百万スウェーデン・クローネ	保有ファンド	
	2021年	2020年
資産¹		
持分	6,556	6,543
顧客が価値変動リスクを負う資産	230,792	177,754
非連結の組成された事業体における持分合計	237,348	184,297

1) うち、1,020(-)百万スウェーデン・クローネは処分グループであるデンマーク及びフィンランドに含まれており、「売却目的で保有する資産」に分類変更されている。G13を参照のこと。

組成された事業体は、議決権又は同様の権利が、その事業体を支配している企業を判定する上で決め手となる要因ではないとされている事業体のことである。例えば、議決権が管理業務にしか関連しない場合や関連活動が契約上の取決めによって制限される場合などがある。非連結の組成された事業体におけるハンデルスバンケンの持分は限定されており、ファンド持分より構成されている。ファンドは、ハンデルスバンケン・リヴにおける主にユニットリンク保険契約、及び他社との類似の契約を通じて所有されている。ユニットリンク契約を通じたファンドへの投資が連結されることはないため、これらのファンドは非連結の組成された事業体となる（注記G1を参照のこと。）。ハンデルスバンケンはまだ、マーケット・メーカーとしての役割を果たしながら、複数のファンドの持分を所有している。こうした所有が連結されない場合は、非連結事業体に対する持分となる。非連結の組成された事業体におけるすべての持分の損失に対する最大エクスポージャーは、その持分の現在の帳簿価額である。これらの事業体の資産合計は、関連リスクを理解する上では重要とみなされないため、表示されていない。

[次へ](#)

注記G49 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ				
一般顧客への貸出金	439	493	-	-
その他資産	29	32	572	560
合計	468	525	572	560
一般顧客からの預金及び借入金	113	116	1,058	853
劣後負債	-	-	-	-
その他負債	-	-	-	-
合計	113	116	1,058	853

関連当事者 - 収益及び費用	関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ				
利息収益	25	9	-	-
利息費用	0	0	-	-
手数料及びコミッション収益	-	-	-	-
手数料及びコミッション費用	-237	-216	-	-
公正価値で評価される金融項目からの純損益	0	0	-	-
その他収益	-	0	17	19
その他費用	-73	-55	-102	-80
合計	-285	-262	-85	-61

上記の数値は全事業を対象としている。

注記19には、関連会社及びジョイント・ベンチャーのリスト及び関連会社に対する資本拠出に関する情報が記載されている。関連会社及びジョイント・ベンチャーの事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）及びPensionskassan SHB Tjänstepensionsförening（年金ファンド）の各社は、その他関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピーを利用している。

2021年10月21日、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピーは、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseからAB IndustrivärdenのクラスA株式 30,461,977株を8,548百万スウェーデン・クローネで取得した。これらの株式は、その後、特別配当として当行の株主に分配された。関連会社との商取引はすべて市場ベースの条件で行われている。

親会社のスウェーデン子会社は、年金ファンドに確定給付年金に関連する年金保険料104(79)百万スウェーデン・クローネを支払った。この年金ファンドの子会社従業員に対する債務は親会社によって保証されているため、年金ファンドが債務を支払えない場合には、親会社がその債務を引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は、7,281(7,704)百万スウェーデン・クローネである。スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・

エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseに対し、年金費用の568(545)百万スウェーデン・クローネ及び特別補足年金(-)百万スウェーデン・クローネを請求し、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelseに対し、従業員のための給付費用として63(43)百万スウェーデン・クローネを請求した。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記G50 重要な後発事象

2021年12月10に、ハンデルスバンケンは、プレスリリースにより、ヨーテボリ、イエブレ及びウメオにそれぞれ不動産を所有する子会社3社の売却を公表した。本取引により総額1.1十億スウェーデン・クローネのキャピタルゲインが生じ、本譲渡に関連してその他収益に認識され、2022年度第1四半期に決済が行われる予定である。本取引は、子会社（事業目的による保有）の譲渡という形式をとっている。

注記G51 自己資本比率

資本方針

当行は、当行グループの業務に伴うリスクに対応し、法律で定められた最低要件を上回る堅実な資本水準を維持することを目的としている。健全な資本水準は、金融逼迫状態並びに買収及び取引高の大幅な増加等その他の事象に対処するために必要となる。

自己資本規制

自己資本比率規制である規制(EU)575/2013（以下、「CRR」という。）及び指令2013/36/EU（以下、「CRD」という。）に従って、当行は、少なくとも信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー合計金額の個別要件に対応した普通株式等Tier 1資本、Tier 1資本及び自己資本合計を保有しなければならない。当行は、最低要件に従って資本を保有することに加え、スウェーデンにおいて、資本保全バッファ、カウンターシクリカル・バッファ、システミック・リスク・バッファ及びその他の金融システム上重要な金融機関バッファの合計より構成される結合バッファ要件に準拠する普通株式等Tier 1資本も保有しなければならない。また、当行は、第二の柱に基づく最低所要自己資本を定めている。この第二の柱の要件は、スウェーデン金融監督庁が決定した個別の要件であり、過小評価されているリスク、または規制上の最低要件及び結合バッファ要件の対象とならないリスクのカバーを目的としたものである。スウェーデン金融監督庁が決定した第二の柱には、これらの要件に関するガイダンスもあり、所与の所要自己資本に加え、当行の最低バッファ要件に関する当局の見解が示されている。また、同行は自己資本比率の内部評価を行わなければならない。ハンデルスバンケンの資本方針では、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。当行はまた、金融コングロマリット(特別監督)法(2006年:第531号)に従って、金融コングロマリットレベルでの所要自己資本にも準拠しなければならない。2016年2月1日以降、破綻整理機構（スウェーデンでは、国債局）により、当行に対し、自己資本及び適格負債の最低基準（MREL）が設定されている。2021年において当行は、当行の規制上の最低水準及びバッファ水準のすべてを十分な余裕をもって満たしていた。当行の自己資本及び所要自己資本に関するより詳細な情報については、注記G2「リスク及び資本管理」並びに当行の「リスク及び資本 - 第三の柱に関する情報」から入手可能である(handelsbanken.com/irを参照のこと)。当出版物はハンデルスバンケンのすべての自己資本及び適格負債に適用される条件の詳細な情報も掲載している。

連結ベースの情報

規制上の連結（以下、「連結ベース」という。）は、親会社並びに当該連結財務諸表の表EU L13「連結ベースに含まれる会社」に示されている子会社及び関連会社より構成されている。連結財務諸表に含まれているものの連結ベースから除外されている会社についても、表EU L13「連結ベースに含まれる会社」に示されている。連結財務諸表と同様、連結ベースにおいて関連会社は持分法を用いて連結されている。子会社もまた、取得法に従って連結されている。規制対象のすべての子会社は連結ベースに含まれている。ハンデルスバンケンにおいて、実際の自己資本が所定の自己資本を満たしていない子会社は存在しない。

連結ベースの自己資本に関する情報

自己資本は、Tier 1資本及びTier 2資本により構成される。Tier 1資本は、普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。普通株式等Tier 1資本は、主に、連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金により構成されている。残りのTier 1資本はその他Tier 1項目により構成されている。Tier 2資本は、主に劣後ローンにより構成されている。その後、自己資本からの一定の控除が行われる。当該控除は、普通株式等Tier 1資本から行われる。当行のリスク管理においては、リスクの観点から当行グループ及び規制上の連結の双方が一つの単位とみなされることが重要である。当行グループにおいて効果的なリスク管理を行うために、当行グループの様々な会社間で資本の再配分が必要になる可能性がある。通常、ハンデルスバンケンは、法律で許容されている範囲（例えば、自己資本比率規制及び会社法における制限等）で当行グループ会社間において資本の再配分を行うことができる。当行は、自己資本からの資金の迅速な振替又は親会社と子会社の間での債務の返済に関して、他の重要な障害も法的な障害もないとみている。

Tier 1資本

Tier 1資本は、主に普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。

普通株式等Tier 1 (CET1) 資本

普通株式等Tier 1資本は、主に、規制上の連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金で構成されている。当行グループの保険会社は連結されないため（205ページの表を参照（訳注：原文のページ番号である。））、保険会社の利益剰余金は普通株式等Tier 1資本に含まれていない。普通株式等Tier 1資本から除外される項目は、主として、のれん及びその他無形資産、並びに普通株式等Tier 1資本の10%を超える当行グループの保険会社への資本拠出又は繰延税金資産である。資本拠出及び繰延税金資産の合計額は普通株式等Tier 1資本の15%を超えてはならない。当行グループの保険会社への資本拠出及び繰延税金資産は閾値を超えていないため、これらの資本拠出及び繰延税金資産は、普通株式等Tier 1資本から減額されない。キャッシュフロー・ヘッジの資本への影響に関しては、中立的調整が行われる。また、価格調整の計算が義務付けられるが、公正価値で計上される金融商品についても必要に応じて慎重に評価される。内部格付に基づくモデルの使用を許可されている金融機関は、IRB手法に基づく予想信用損失が、計上された信用損失引当金を超えた場合、その差額を控除しなければならない。また、年金資産について純額で認識した余剰価値についても控除しなければならない。但し、当該控除は、ハンデルスバンケンの年金基金から年金費用を補填する当行の権利に相当する金額を減額することができる。さらに、マーケットメーカーとして許可された自社株の保有についても、控除しなければならない。当該控除は許可される範囲で最も高い市場価格に相当するものでなければならない。最後に、証券化に対する投資額についても控除が行われ、デリバティブ商品における自己の信用リスクの変動による影響についても調整が行われる。

その他Tier 1資本

その他Tier 1資本は、その他Tier 1資本に関する要件を満たす金融商品で構成されている。この資本は永久債であり、最低でも5年後に、監督当局の許可を得た場合のみ償還可能なものに限られる。また、普通株式等Tier 1資本が所定の水準に達した場合に、普通株式等Tier 1資本を創出するために額面価値を減額するか、株式に転換すること、また無条件に利払いを停止することが可能でなければならない。

当行のその他Tier 1資本合計は、13.5十億スウェーデン・クローネである。このうち、2020年に9.0十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本が、2019年に5十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本が発行されたが、これらはCRR要件を満たしている。分配可能な資金がない場合は、その他Tier 1資本のクーポンの支払が一時停止されなければならない。

Tier 2資本

Tier 2資本は、償還期限まで5年以上の期間を有する劣後ローンにより構成されている。当行グループの保険会社に対する劣後ローンの拠出に関して控除が行われている。

所要自己資本

信用リスク

信用リスクに関する所要自己資本は、CRRに従い、標準的手法及びIRB手法に基づいて計算される。IRB手法では、自行推計によるLGD及び掛目（以下、「CCF」という。）を用いないIRB手法(基礎的手法)と、自行推計のLGD及びCCFを用いるIRB手法(先進的手法)の二つの異なる手法が用いられる。

基礎的IRB手法では、当行は1年以内に顧客が債務不履行に陥る可能性を判断するために独自のIRBモデルを用いるが、その他のパラメーターはCRRによって指定される。先進的IRB手法では、当行は債務不履行時の損失（LGD）及びCCFの算定に独自のIRBモデルを用いる。

ハンデルスバンケンは、金融機関向けエクスポージャー、特定の商品及び担保の種類に対する法人エクスポージャーに加え、子会社であるスタッドフィポテックAB、Handelsbanken Finans AB及びEcster ABの特定の特定のエクスポート・エクスポージャーに対し、基礎的IRB手法を使用している。

先進的IRB手法は、大企業、中規模企業、不動産企業及び住宅共同組合に対する大部分のエクスポート・エクスポージャーに加え、スタッドフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABにおける大部分のエクスポート・エクスポージャーに対して適用されている。また、スウェーデンとノルウェーのリテール・エクスポージャー、子会社であるスタッドフィポテック及びHandelsbanken Finansに対するエクスポージャー、処分グループであるデンマーク、フィンランドのほか、子会社のEcster ABに対するエクスポージャーにも同様に適用されている。IRB手法による株式エクスポージャーの所要自己資本は、簡便なリスク加重手法に基づいて算出されている。

ハンデルスバンケンの子会社であるハンデルスバンケン・ピーエルシーの全てのエクスポージャーに関する信用リスクは、標準的手法を用いて単体及び連結レベルで算定されている。

当事業年度末現在、IRB手法は信用リスクに対するリスク加重エクスポージャー額合計の74(86)%に適用された。残りの信用リスク・エクスポージャーの所要自己資本は標準的手法を用いて算定されている。

当年度において、IRB手法の使用が認められたエクスポージャーに関する平均リスク加重合計は減少して10.1(11.7)%となった。この減少は主に、ソブリン、住宅協同組合及び個人などリスク加重が低いエクスポージャーの割合が、リスク加重が高いエクスポージャーの割合よりも若干大きくなったというポートフォリオの内訳に起因している。第一の柱に基づくスウェーデンとノルウェーの住宅ローンに係るリスク加重フロアを含む、平均リスク加重合計は18.2(18.4)%となっている。

信用の質は良好である。ハンデルスバンケンの法人エクスポージャーのうち、99(98)%は返済能力が正常又は正常より良い(すなわち、当行の10段階のリスク格付けで1から5の間の格付け)と査定された顧客向けである。

市場リスク

市場リスクに関する所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク及び株価リスクに関する所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに関する所要自己資本の計算では、標準的手法が用いられる。

オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本の計算に標準的手法を使用している。所要自己資本は、標準的手法に従って、規則で定められた係数を直近3事業年度の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

連結ベースのオペレーショナル・リスクに係る所要自己資本合計は、2021年度末現在、5,573(5,489)百万スウェーデン・クローネであった。

金融コングロマリットに関する自己資本比率

金融コングロマリットの一部である金融機関及び保険会社は、金融コングロマリットの所要自己資本に関して適切な自己資本を有していなければならない。金融コングロマリットの自己資本及び所要自己資本は、引去合算法（指令2002/87/EC、付属文書1、手法2）に従って算出されている。金融コングロマリットの自己資本合計は、金融コングロマリットの所要自己資本を上回っている。

自己資本及び適格負債の最低所要額（MREL）

銀行再建・破綻処理指令(BRRD)(2014/59/EU)が、破綻処理法（2015:1016）としてスウェーデンで国内法制化された。これらの規制には銀行危機への対応措置が定められており、当局は、既定の枠組み内に基づき銀行の全体又は一部を、清算又は破綻させずに再編・売却することが可能となる。この対応措置に加え、本規制では危機に直面した銀行の資本増強を図るために、一部の負債性金融商品の評価減を認めている。

本規制により、減損が可能な負債に関する最低所要額（MREL）が2018年1月1日から導入された。この最低所要額は、スウェーデン国家債務局及びスウェーデン金融監督庁により策定された当行の破綻処理計画に定められている。本所要額は、損失吸収額及び資本増強額から構成される。

2021年に、新しいEU銀行パッケージに合わせ、スウェーデンで使用される用語の変更を伴う規制の改訂が行われ、MRELは、リスク加重比率とレバレッジ比率の2つの比率によって表される。結合バッファ要件は普通株式等Tier1資本（MRELに使用される普通株式等Tier1資本を含まない）で満たさなければならず、強制劣後要件も導入される。劣後要件に対応する形で、2018年12月に新しいクラスの負債性金融商品がスウェーデンの法律に追加された。このクラスは、既存のシニア負債性金融商品に劣後するが、破綻処理プロセスの一部として自己資本調達手段に優先する。ハンデルスバンケンはこのクラスの劣後負債性金融商品を2019年から2021年にかけて発行している。新しい要件は2024年1月1日までに充足する必要があるものの、2022年1月1日からは経過措置が適用される。2022年のハンデルスバンケンのMREL所要額の合計は、連結レベルでリスク加重比率が19.9%、非リスク加重比率が5.0%であり、劣後要件はそれぞれ13.5%と5.0%である。ハンデルスバンケンはMREL所要額をすべて満たしている。

[次へ](#)

EU LI3 連結ベースに含まれる会社 - 連結範囲の相違の概要（企業別）

下表は、期末現在の連結対象企業の連結範囲の概要を示している。

連結範囲の相違の概要（企業別）2021年

	企業識別番号	所有持分(%)	会計上の 連結方法	規制上の連結方法					業態
				全部連結	比例連結	持分法	連結も除外も されていない	除外	
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト	502007-7862	該当なし	親会社	該当なし					金融機関
Handelsbanken Finans AB	556053-0841	100	全部連結	x					金融機関
スタッドフィパテック・エイ・ビー	556459-6715	100	全部連結	x					金融機関
Svenska Intecknings Garanti AB Sigab (休眠会社)	556432-7285	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S	12930879	100	全部連結	x					その他金融会社
Xact Kapitalförvaltning AB	556997-8140	100	全部連結	x					他の金融機関
AB Handel och Industri	556013-5336	100	全部連結	x					非金融会社
Ecster AB	556993-2311	100	全部連結	x					金融機関
Handelsbanken plc ¹	11305395	100	全部連結	x					金融機関
Handelsbanken Wealth & Asset Management	04132340	100	全部連結	x					その他金融会社
Heartwood Nominees Limited (休眠会社)	2299877	100	全部連結	x					非金融会社
Heartwood Second Nominees Limited (休眠会社)	3193458	100	全部連結	x					非金融会社
Heartwood ACD Limited (休眠会社)	4332528	100	全部連結	x					非金融会社
Svenska Property Nominees Limited (休眠会社)	2308524	100	全部連結	x					非金融会社
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	100	全部連結	x					その他金融会社
Add Value Fund Management B.V.	19196768	80	全部連結	x					その他金融会社
Optimix Beheer en Belegging B.V. (休眠会社)	33186584	100	全部連結	x					非金融会社
Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	100	全部連結	x					非金融会社

Forva AS	945812141	100	全部連結	x		非金融会社
Handelsbanken Markets Securities, Inc ¹	11-3257438	100	全部連結	x		その他金融会社
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	100	全部連結	x		その他金融会社
Lokalbolig A/S	78488018	71.52	全部連結	x		非金融会社
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	100	全部連結	x		非金融会社
Ägir 7 AB	559337-1627	100	全部連結	x		非金融会社
Norr 22:2 AB	559337-1635	100	全部連結	x		非金融会社
Inom Vallgraven 15:13 AB	559337-1643	100	全部連結	x		非金融会社
Rådstuplass 4 AS	910508423	100	全部連結	x		非金融会社
Handelsbanken Venture AB	556993-9357	100	全部連結	x		非金融会社
Bidtruster AB	556993-9084	100	全部連結	x		非金融会社
Bankomat AB	556817-9716	20	持分法		x	非金融会社
BGC Holding AB	556607-0933	25.54	持分法		x	非金融会社
Bankgirocentralen BGC AB	556047-3521	100	持分法		x	非金融会社
Torig AB	556564-5404	100	持分法		x	非金融会社
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	28.3	持分法		x	非金融会社
USE Intressenter AB	559161-9464	24.48	持分法		x	非金融会社
Getswish AB	556913-7382	20	持分法		x	非金融会社
P27 Nordic Payments Platform AB	559198-9610	16.7	持分法		x	非金融会社
Invidem AB	559210-0779	16.7	持分法		x	非金融会社
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー						
(Handelsbanken Fastigheter ABを除く当行グループ)	516401-8284	100	非連結		x	保険会社
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	100	非連結		x	保険会社
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	100	非連結		x	保険会社
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	100	非連結		x	保険会社

Svenska RKA International Insurance Services AB (休眠会社)	556324-2964	100	非連結	x	保険会社
Dyson Group plc	00163096	27	非連結	x	非金融会社
Dyson Industries Ltd	1187031	100	非連結	x	非金融会社
Beepart Ltd	177682	100	非連結	x	非金融会社
Pickford Holland & Company Ltd	128414	100	非連結	x	非金融会社
Millennium Materials Inc	-	100	非連結	x	非金融会社
Dyson US holdings Inc	-	100	非連結	x	非金融会社
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	100	非連結	x	非金融会社
Handelsbanken Forsikringsformidling A/S	42767808	100	非連結	x	非金融会社

[次へ](#)

EU LI2 規制上のエクスポージャー額と財務諸表上の簿価との主な差額の内訳

下表は、規制上の連結範囲に含まれる帳簿価額と規制上考慮されるエクスポージャーとの差額を示したものである。

規制上のエクスポージャー額と財務諸表上の簿価との主な差額の内訳 2021年 百万スウェーデン・クローネ		対象項目				
		合計	信用リスクの 枠組み	証券化の 枠組み	CCRの枠組み	市場リスクの 枠組み
1	規制上の連結による資産の帳簿価額（表EU LI1）	3,093,320	3,018,811	55,074	372	19,063
2	規制上の連結による負債の帳簿価額（表EU LI1）	25,219				25,219
3	規制上の連結範囲による純額合計	3,068,101	3,018,811	55,074	372	-6,156
4	オフバランスシートの金額	536,874	536,874			
5	バリュエーションによる差額					
6	ネットィングルールの相違による差額（2行目に含まれているものを除く）	23,012		-9,294		32,306
7	引当金の考慮による差額	1,917	1,917	0		
8	信用リスク削減手法(CRM)による差額	-54,124	-14,485	-39,639		
9	掛目による差額	-294,634	-294,634			
10	リスク移転を伴う証券化による差額					
11	その他の差額	30,636		30,636		
12	規制上考慮されるエクスポージャー額	3,311,782	3,248,483	36,777	372	26,150

EU CC2 監査済財務書類の貸借対照表から規制上の自己資本への調整

監査済財務書類の貸借対照表から規制上の自己資本への調整		公表財務書類の 貸借対照表	規制上の 連結範囲	参照条項
百万スウェーデン・クローネ				
資産				
A-1	現金及び中央銀行預け金	291,584	439,964	
A-2	中央銀行へのその他貸出金	1,255	1,462	
A-3	中央銀行への担保として適格な利付証券	100,538	100,562	
A-4	その他金融機関への貸出金	21,745	21,833	
A-5	一般顧客への貸出金	2,163,135	2,414,961	55, 57
A-6	ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動	-1,900	-1,900	
A-7	債券及びその他の利付証券	33,317	33,334	
A-8	うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類される 利付商品（帳簿価額）	9,016	9,016	
A-9	うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類される 利付商品、変動累計額	-61	-61	
A-10	株式	19,471	13,490	
A-11	うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類される 株式（帳簿価額）	454	808	
A-12	うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類される 株式、変動累計額	218	218	
A-13	関連会社に対する投資	478	6,723	
A-14	顧客が価値変動リスクを負う資産	235,761	9,082	
A-15	デリバティブ商品	28,508	28,518	
A-16	うち、キャッシュフロー・ヘッジ	1,789	1,789	
A-17	再保険資産	0	0	
A-18	無形資産	8,302	10,860	8
A-19	不動産及び器具備品	5,272	5,834	
A-20	当期税金資産	469	598	
A-21	繰延税金資産	845	845	
A-22	うち、キャッシュフロー・ヘッジに関連するもの	-	-	
A-23	うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類される 利付商品に関連するもの	17	17	15
A-24	年金資産	8,766	8,785	
A-25	売却目的で保有する資産	421,417	352	
A-26	その他資産	5,785	5,743	
A-27	前払費用及び未収収益	2,016	2,097	
A-28	資産合計	3,346,764	3,103,143	
負債及び資本				
L-1	金融機関からの預り金	83,034	83,540	
L-2	一般顧客からの預金及び借入金	1,286,637	1,403,076	

L-3	顧客が価値変動リスクを負う負債	235,761	9,082	
L-4	発行済証券	1,353,768	1,353,768	
L-5	デリバティブ商品	13,784	13,809	
L-6	うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	
L-7	ショートポジション	4,105	4,105	
L-8	保険負債	532	0	
L-9	当期税金負債	108	312	
L-10	繰延税金負債	5,276	5,239	
L-11	うち、キャッシュフロー・ヘッジに関連するもの	464	464	
L-12	うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類される 利付商品に関連するもの	19	19	
L-13	引当金	1,026	1,152	
L-14	年金債務	0	0	
L-15	売却目的で保有する資産にかかる負債	133,922	-	
L-16	その他負債	11,304	12,020	
L-17	未払費用及び繰延収益	3,519	3,883	
L-18	劣後負債	32,257	32,257	
L-19	うち、Tier1資本貸出金	13,513	13,513	30, 32, 36
L-20	うち、満期までの残存期間が5年超の貸出金	18,364	18,364	46, 51
L-21	うち、満期までの残存期間が5年未満の貸出金	-	-	
L-22	うち、その他貸付	-	-	
L-23	負債合計	3,165,033	2,922,243	
E-1	非支配株主持分	25	25	
E-2	株式資本	3,069	3,069	1
E-3	自己株式の保有	-36	-36	
E-4	資本剰余金	8,758	8,758	
E-5	うち、複合金融商品による資本	-	-	
E-6	その他準備金	15,845	15,821	3, 11
E-7	利益剰余金	134,507	135,109	2
E-8	当期利益（スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの 株主に帰属）	19,527	18,118	5a
E-9	資本合計	181,731	180,900	
LE-1	負債及び資本合計	3,346,764	3,103,143	

EU CC1 規制上の自己資本の構成

本表示は、欧州委員会実施規則(EU)637/2021の要件に準拠しており、現在、ハンデルスバンケンに関連していないと考えられる行は削除されている。

自己資本の内訳		2021年		2020年	
		開示日現在の金額	規制上の連結範囲の貸借対照表上の参照番号/参照条項に基づく情報	開示日現在の金額	規制上の連結範囲の貸借対照表上の参照番号/参照条項に基づく情報
百万スウェーデン・クローネ					
普通株式等Tier 1 資本：資本調達手段及び準備金					
1	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	11,827	E-2, E-4	11,827	E-2, E-4
	うち、株式資本	11,827	E-2, E-4	11,827	E-2, E-4
	うち、転換証券				
2	利益剰余金	135,109	E-7	137,177	E-7
3	その他包括利益累計額（及びその他準備金）	15,822	E-6	8,562	E-6
5a	独立してレビューされる中間利益（予測可能な費用又は配当金控除後）	8,218	E-8	6,414	E-8
6	規制上の調整前の普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	170,976		163,980	
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：規制上の調整					
7	追加的な評価調整（負の金額）	-421		-399	
8	無形資産（関連する税金負債控除後）（負の金額）	-10,927	A-18	-11,217	A-18
11	キャッシュフロー・ヘッジに係る損益に関する公正価値評価差額準備金	-1,789	E-6	-3,353	E-6
12	予想損失額の算定から生じた負の金額	-731		-779	
14	自己の信用力の变化に起因する公正価値で計上する負債に係る損益	4		9	
15	確定給付年金基金資産（負の金額）	-6,976	A-24	-1,615	A-24
16	金融機関による自己のCET1資本調達手段の直接及び間接保有（負の金額）	-427		-466	
19	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接、間接及び合成的な手法による保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-		-	
20a	金融機関が他の控除方法を選択した場合に1,250%のリスク加重が適用される、下記項目のエクスポージャー額	-		-	
20c	うち、証券化ポジション（負の金額）	-		-	
21	一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を上回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後）（負の金額）	-		-	
22	基準値の17.65%を超過した金額（負の金額）	-		-	
23	うち、金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接及び間接保有	-		-	
25	うち、一時差異によって生じた繰延税金資産	-		-	
25a	当年度の損失（負の金額）	-		-	
25b	CET1項目に関連して予測される税金費用（負の金額）	-		-	
27	金融機関のAT1資本を超過する適格AT1控除（負の金額）	-		-	
28	普通株式等Tier 1 (CET1) 資本に対する規制上の調整合計	-21,267		-17,820	

29	普通株式等Tier 1資本	149,709		146,160	
その他Tier 1 (AT1) 資本：資本調達手段					
30	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	13,513	L-19	21,980	L-19
32	うち、適用される会計基準に基づき負債に分類されるもの	13,513	L-19	21,980	L-19
33	AT 1 から段階的に除外される第484(4)条の適格項目及び関連資本剰余金勘定の金額	-		-	
36	規制上の調整前その他Tier 1 (AT1) 資本	13,513	L-19	21,980	L-19
その他Tier 1 (AT1) 資本：規制上の調整					
37	金融機関による自己のAT1資本調達手段の直接及び間接保有（負の金額）	-		-9,808	
40	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するAT1資本調達手段の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-		-	
42	金融機関のTier 2 (T2) 資本を超過する適格T2控除（負の金額）	-		-	
43	その他Tier 1 (AT1) 資本の規制上の調整合計	-		-9,808	
44	その他Tier 1 (AT1) 資本	13,513		12,172	
45	Tier 1資本（T1=CET1+AT1）	163,222		158,332	
Tier 2 (T2) 資本：資本調達手段及び引当金					
46	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	18,364	L-20	18,032	L-20
50	信用リスク調整	1		10	
51	規制上の調整前のTier 2 (T2) 資本	18,365	L-20	18,042	L-20
Tier 2 (T2) 資本：規制上の調整					
52	金融機関による自己のT2資本調達手段及び劣後ローンの直接及び間接保有（負の金額）	-		-	
55	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するT2資本調達手段及び劣後ローンの直接及び間接保有（適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-1,129	A-5	-1,129	A-5
57	Tier 2 (T2) 資本の規制上の調整合計	-1,129	A-5	-1,129	A-5
58	Tier 2 (T2) 資本	17,236		16,913	
59	資本合計（TC=T1+T2）	180,458		175,245	
60	リスク加重資産合計	773,158		721,403	
自己資本比率及びバッファ					
61	普通株式等Tier 1比率（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	19.4		20.3	
62	Tier 1資本（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	21.1		21.9	
63	資本合計（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	23.3		24.3	
64	金融機関特有のバッファ要件	6.6		6.6	
65	うち、資本保全バッファ要件	2.5		2.5	

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

66	うち、カウンターシクリカル・バッファ要件	0.1	0.1
67	うち、システミック・リスク・バッファ要件	3.0	3.0
67a	うち、グローバルに金融システム上重要な金融機関 (G-SII) 又はその他の金融システム上重要な金融機関 (O-SII) バッファ	1.0	1.0
68	バッファ要件を満たすために利用可能な普通株式等Tier 資本 (リスク・エクスポージャー額に対する割合)	14.9	15.8
72	金融機関の重要な投資先ではない金融機関等が発行する資本の直接及び間接保有 (基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後)	0	0
73	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接及び間接保有 (基準値の17.65%を下回る金額、適格ショートポジション 控除後)	6,254	-
75	一時差異によって生じた繰延税金資産 (基準値の17.65%を下回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後)	0	0

Tier 2資本における引当金の算入に適用される上限額

76	標準的手法の対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれている信用リスク調整 (上限額適用前)	-	-
77	標準的手法に基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	2,235	1,629
78	内部格付手法の対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれる信用リスク調整 (上限額適用前)	-	-
79	内部格付手法に基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	3,090	3,074

段階的廃止対象の資本調達手段 (2013年1月1日から2022年1月1日までの期間のみに適用)

80	段階的廃止の対象となるCET1資本調達手段に係る現在の上限額	-	-
81	上限を上回りCET1から除外された金額 (償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-
82	段階的廃止対象のAT1資本調達手段に係る現在の上限額	-	-
83	上限を上回りAT1から除外された金額 (償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-
84	段階的廃止対象のT2資本調達手段に係る現在の上限額	-	-
85	上限を上回りT2から除外された金額 (償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-

EU INS2 金融コングロマリットの自己資本及び自己資本比率に関する情報**金融コングロマリットの自己資本及び自己資本比率**

百万スウェーデン・クローネ		2021年
1	金融コングロマリットの補完的自己資本	14,387
2	金融コングロマリットの自己資本比率	20.90%

EU KM1 - 主要指標

主要指標、2021年		2021年	2020年
利用可能な自己資本（金額）			
1	普通株式等Tier 1 資本	149,709	158,332
2	Tier 1 資本	163,222	146,160
3	資本合計	180,458	175,245
リスク加重エクスポージャー額			
4	リスク加重エクスポージャー合計額	773,158	721,403
自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)			
5	普通株式等Tier 1 資本比率(%)	19.4%	20.3%
6	Tier 1 資本比率(%)	21.1%	21.9%
7	総自己資本比率(%)	23.3%	24.3%
過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)			
EU7a	過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	1.9%	
EU7b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.2%	
EU7c	うち、Tier 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.5%	
EU7d	SREPに基づく所要自己資本合計(%)	9.9%	8.0%
結合バッファー要件(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)			
8	資本保全バッファー(%)	2.5%	2.5%
EU8a	加盟国単位で特定されたマクロ・プルーデンスのリスク又はシステミック・リスクに対する保全バッファー(%)		
9	金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファー(%)	0.1%	0.1%
EU9a	システミック・リスク・バッファー(%)	3.0%	3.0%
10	グローバルにシステム上重要な金融機関バッファー(%)		
EU10a	その他の金融システム上重要な金融機関バッファー(%)	1.0%	1.0%
11	結合バッファー要件(%)	6.6%	6.6%
EU11a	所要自己資本合計(%)	16.5%	14.6%
12	SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET 1 (%)	13.9%	
レバレッジ比率			
13	総エクスポージャーの額	3,232,291	3,051,376

14	レバレッジ比率(%)	5.0%	5.2%
過大レバレッジに対処するための追加所要自己資本（エクスポージャー合計額に対する割合）			
EU14a	過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)		
EU14b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)		
EU14c	SREPに基づくレバレッジ比率要件(%)	3.0%	3.0%
EU14d	レバレッジ比率バッファー要件(%)		
EU14e	レバレッジ比率要件合計(%)		
流動性カバレッジ比率			
15	高品質な流動資産(HQLA)合計(加重平均)	778,654	736,681
EU16a	資金流出額(加重平均)	595,289	546,265
EU16b	資金流入額(加重平均)	68,295	65,548
16	純資金流出額(調整額)	526,994	480,717
17	流動性カバレッジ比率(%)	149%	154%
安定調達比率			
18	利用可能な安定調達資金	2,026,413	1,920,899
19	所要安定調達額	1,774,542	1,644,683
20	NSFR(%)	114%	117%

EU OV1 - RWA (リスク加重エクスポージャー額) の概要

下表は、2021年度末における信用リスク、カウンターパーティリスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額（RWA）を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法により算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法により算出される。

EU OV1 - リスク加重エクスポージャー額の概要		リスク加重エクスポージャー合計額（TREA）		最低所要自己資本
百万スウェーデン・クローネ		2021年		2021年
1	信用リスク（カウンターパーティ信用リスク(CCR)を除く）	684,075		54,727
2	うち、標準的手法	178,552		14,284
3	うち、基礎的IRB手法(F-IRB)	48,100		3,849
4	うち、スロットティング方式			
EU4a	うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	3,427		274
5	うち、先進的IRB手法(A-IRB)	224,096		17,928
5a		229,900		18,392
6	カウンターパーティ信用リスク	12,255		980
7	うち、標準的手法	8,924		714
8	うち、内部モデル方式(IMM)			
EU8a	うち、CCPに対するエクスポージャー	212		17
EU8b	うち、信用評価調整 - CVA	2,614		209
9	うち、他のCCR	505		40
10	該当なし			
11	該当なし			
12	該当なし			
13	該当なし			
14	該当なし			
15	決済リスク	15		1
16	非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー（上限適用後）			
17	うち、SEC-IRBA手法			
18	うち、SEC-ERBA手法(IAAを含む)			
19	うち、SEC-SA手法			
19a	うち、250%控除			
20	ポジション、外国為替、コモディティ・リスク（市場リスク）	7,145		572
21	うち、標準的手法	7,145		572
22	うち、IMA			
23	オペレーショナル・リスク	69,668		5,573
EU23a	うち、基礎的指標手法			
EU23b	うち、標準的手法	69,668		5,573
EU23c	うち、先進的計測手法			
24	控除の基準値未満の額（リスクウェイトは250%）			
25	該当なし			
26	該当なし			
27	該当なし			
28	該当なし			
29	合計	773,158		61,853

標準的手法に基づいた市場リスク

下表は、2021年度末現在の標準的手法に基づいた市場リスクに係る所要自己資本を示したものである。

標準的手法に基づいた市場リスク 百万スウェーデン・クローネ	所要自己資本	
	2021年	2020年
アウトライト商品		
金利リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	199	596
株価リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	1	2
為替リスク	357	-
コモディティ・リスク	1	1
オプション		
簡易法	-	-
デルタプラス法	-	-
シナリオ・アプローチ	14	2
証券化（特定のリスク）	-	-
市場リスクに係る所要自己資本合計	572	601

適格負債の最低所要額（MREL）

MREL所要額は、自己資本及び適格負債のリスク加重エクスポージャー額と非リスク加重エクスポージャー額に対する割合としてそれぞれ表される（SFS2015:1016）。当行の所要額は、スウェーデン国債局により年単位で決定され、最終的な所要額は、2022年1月1日から2024年1月1日までの経過期間中に直線的に段階的に導入される予定である。下記の所要額は、2022年1月1日現在で適用されている最低要件である。

%	2022年	
リスク加重MREL所要額		19.9
利用可能自己資本及び適格負債		35.4
リスク加重しないMREL所要額		5.0
利用可能自己資本及び適格負債		10.1
%	2022年	
リスク加重劣後部分所要額		13.5
利用可能自己資本及び劣後適格負債		20.9
リスク加重しない劣後部分所要額		5.0
利用可能自己資本及び劣後適格負債		6.6

適格負債の最低所要額(MREL)

2022年1月1日よりも前に策定された要求事項による負債及び自己資本合計に関するMREL所要額（SFS2015:1016）。

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
MREL所要額	175,219	179,066
適格負債及び自己資本	326,256	332,573
負債及び自己資本合計	3,061,662	3,110,867
%	2021年	2020年
負債及び自己資本合計額に対するMRELの割合	5.7	5.8
負債及び自己資本合計額に対する適格負債及び自己資本の割合	10.7	10.4

IRB手法が容認された信用リスク・エクスポージャー

IRB手法が容認された信用リスク・エクスポージャー	エクスポージャー額		うち、 オフバランスシート		リスク加重 エクスポージャー額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ										
ソブリン・エクスポージャー	515,567	490,718	11,723	14,002	8,101	7,214	648	577	1.6	1.5
法人エクスポージャー	764,318	854,312	134,254	111,944	163,190	211,791	13,055	16,943	21.4	24.8
法人貸付	747,732	843,585	134,254	111,944	158,578	208,608	12,686	16,689	21.2	24.7
うち、その他貸付（自行推計のLGD及びCCFを使用しないIRB手法）	92,903	93,833	54,807	57,203	21,500	26,186	1,720	2,094	23.1	27.9
うち、その他貸付（自行推計のLGD及びCCFを使用するIRB手法）	654,829	749,752	79,447	54,741	137,078	182,422	10,966	14,594	20.9	24.3
うち、大企業	145,210	125,572	48,705	33,017	45,668	48,644	3,653	3,892	31.4	38.7
うち、中企業	71,945	84,512	6,479	8,206	21,448	27,212	1,716	2,177	29.8	32.2
うち、不動産会社	437,674	539,668	24,263	13,518	69,962	106,566	5,597	8,525	16.0	19.7
カウンターパーティリスク	16,586	10,727	-	-	4,612	3,183	369	255	27.8	29.7
住宅協同組合	263,913	245,789	3,310	2,494	8,567	7,997	686	641	3.2	3.3
リテール・エクスポージャー	1,220,684	1,154,770	76,963	71,160	78,659	78,540	6,293	6,283	6.4	6.8
個人	1,200,080	1,132,800	71,116	64,940	72,569	71,797	5,806	5,744	6.0	6.3
うち、不動産貸付	1,156,868	1,091,524	57,903	52,045	63,346	63,586	5,068	5,087	5.5	5.8
うち、その他	43,212	41,276	13,213	12,895	9,223	8,211	738	657	21.3	19.9
小規模企業	20,604	21,970	5,847	6,220	6,090	6,743	487	539	29.6	30.7
うち、不動産貸付	10,232	10,918	927	991	3,272	3,644	262	292	32.0	33.4
うち、その他	10,372	11,052	4,920	5,229	2,818	3,099	225	247	27.2	28.0
金融機関エクスポージャー	44,506	38,453	4,042	5,857	11,228	10,683	898	855	25.2	28.0
金融機関への貸付	34,611	17,178	4,042	5,857	6,609	5,279	529	422	19.1	30.7
カウンターパーティリスク	9,895	21,275	-	-	4,619	5,404	369	433	46.7	25.4
株式エクスポージャー	926	799	-	-	3,427	2,955	274	236	370	370.0
うち、上場株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、その他株式	926	799	-	-	3,427	2,955	274	236	370	370.0
非信用債務資産のエクスポージャー	11,959	6,417	753	-	11,859	6,417	949	513	99.2	100.0
証券化ポジション	-	16	-	-	-	49	-	4	-	312.3

うち、伝統的証券化	-	16	-	-	-	49	-	4	-	312.3
うち、合成的証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IRB手法合計	2,821,873	2,791,274	231,045	205,457	285,031	325,646	22,803	26,052	10.1	11.7
スウェーデンにおける住宅ローンのリスク加重フロア ¹										
					199,666	186,614	15,973	14,929		
ノルウェーにおける住宅ローンのリスク加重フロア ²										
					12,716	12,255	1,017	980		
ノルウェー企業の不動産担保に係るリスク加重フロア ³										
					17,518	17,134	1,402	1,371		
IRB手法合計及び住宅ローンのリスク加重フロアの影響	2,821,873	2,791,274	231,045	205,457	514,931	512,260	41,195	40,981	18.2	18.4

- 1) 2021年12月31日現在、スウェーデンにおける住宅ローンのリスク加重フロアの規定により影響を受けるエクスポージャー額は938,688百万スウェーデン・クローネである。
- 2) 2021年12月31日現在、ノルウェーにおける住宅ローンのリスク加重フロアの規定により影響を受けるエクスポージャー額は115,842百万スウェーデン・クローネである。
- 3) 2021年12月31日現在、ノルウェー企業の不動産担保に係るリスク加重フロアの規定により影響を受けるエクスポージャー額は128,529百万スウェーデン・クローネである。

標準的手法による信用リスク・エクスポージャー¹

標準的手法による信用リスク・エクスポージャー ¹	エクスポージャー額		うち、オフバランスシート		リスク加重エクスポージャー額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
ソブリン及び中央銀行	103,210	1,827	239	49	0	0	0	0	0	0
地方自治体	120	-	0	-	0	-	0	-	0	-
国際開発銀行	2,441	956	0	0	0	0	0	0	0	0
国際機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金融機関	4,928	9,561	9	169	427	902	34	72	8.7	9.0
法人	12,311	7,339	2,766	1,749	11,534	6,929	923	554	93.7	94.4
個人	7,723	9,885	2,404	2,434	5,696	7,250	456	580	73.8	73.0
不動産抵当貸付	321,248	138,617	5,321	2,745	141,879	48,405	11,350	3,872	44.2	35.0
延滞項目	1,217	857	16	5	1,406	973	112	78	115.5	113.6
高リスク項目	740	28	133	-	1,110	41	89	3	150.0	150.0
ミューチュアル・ファンド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株式	6,614	6,541	-	-	15,995	15,923	1,280	1,274	241.8	243.4
うち、上場株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、その他株式	6,614	6,541	-	-	15,995	15,923	1,280	1,274	241.8	243.4

その他項目	3,206	6,278	4	37	738	3,510	59	282	23.0	56.0
標準的手法合計	463,759	181,889	10,892	7,188	178,785	83,933	14,303	6,715	38.6	46.1

1) エクスポージャーがある場合に、その区分毎に集約し所要自己資本の詳細を示したもの。

EU LR2- LRCOM: レバレッジ比率共通開示

下表は当年度のレバレッジ比率を示したものである。オンバランスシート、デリバティブ、証券金融取引、及びオフバランスシートの分類ごとにエクスポージャーが記載されている。下表はTier 1資本をエクスポージャー総額で除したレバレッジ比率を表示している。レバレッジ比率は前年度から上昇している。

LRCOM: レバレッジ比率共通開示

百万スウェーデン・クロネ

		2021年
オンバランスシート・エクスポージャー（デリバティブ及び証券金融取引を除く）		
1	オンバランスシート項目（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除くが担保は含む）	3,035,785
2	関連会計基準に従い貸借対照表上の資産から控除した、デリバティブに関して差し入れた担保のグロスアップ	0
3	（デリバティブ取引で差し入れた変動証拠金に係る受取債権の控除）	-2,996
4	（資産として認識される証券金融取引に対して受け取った証券に係る調整）	0
5	（貸借対照表項目に対する一般的な信用リスク調整）	0
6	（Tier1資本の算定において控除された資産額）	-21,266
7	オンバランスシート・エクスポージャー合計（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除く）	3,011,523
デリバティブ・エクスポージャー		
8	SA-CCRで算出されたデリバティブ取引の再構築コスト（適格変動証拠金控除後）	16,104
EU-8a	デリバティブの特例：簡易的な標準的手法（SSA）で算出された再構築コストの影響	0
9	SA-CCRで算出されたデリバティブ取引の潜在的な将来のエクスポージャーに係るアドオン額	21,924
EU-9a	デリバティブの特例：簡易的な標準的手法（SSA）で算出された潜在的な将来のエクスポージャーの影響	0
EU-9b	オリジナル・エクスポージャー方式で算出されたエクスポージャー	0
10	（顧客取引エクスポージャーのうちCCP(中央清算機関)との間のレグの控除額）(SA-CCR)	0
EU-10a	（顧客取引エクスポージャーのうちCCP(中央清算機関)との間のレグの控除額）(簡易的な標準的手法(SSA))	0
EU-10b	（顧客取引エクスポージャーのうちCCP(中央清算機関)との間のレグの控除額）(オリジナル・エクスポージャー方式）	0
11	売建信用デリバティブの想定元本の調整による影響	3,379
12	（売建信用デリバティブの想定元本の相殺及びアドオン額の控除の調整）	-30
13	デリバティブ・エクスポージャー合計	41,377
証券金融取引エクスポージャー		
14	証券金融取引資産総額（相殺の認識なし）、売却取引控除後	38,849
15	（証券金融取引資産総額の現金授受による相殺額）	0
16	証券金融取引資産に関するカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー	5,194
EU-16a	証券金融取引の特例：CRR第429e(5)条及び第222条に基づくカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー	0
17	代理人取引エクスポージャー	0
EU-17a	（顧客取引証券金融取引エクスポージャーのうち、中央清算機関(CCP)との間のレグの控除額）	0
18	証券金融取引エクスポージャー合計	44,043
その他のオフバランスシート・エクスポージャー		
19	オフバランスシート・エクスポージャーの想定元本総額	535,702
20	（与信相当額への換算に対する調整）	-399,564
21	（Tier 1 資本の算定時に控除される一般引当金及びオフバランスシート・エクスポージャーに関連する個別引当金）	0
22	オフバランスシート・エクスポージャー	136,138
適用除外のエクスポージャー		
EU-22a	（CRR第429a(1)条の(c)に基づきエクスポージャー合計額から除外されたエクスポージャー）	0
EU-22b	（CRR第429a(1)条に基づき適用除外となったエクスポージャー(オンバランス及びオフバランスシート))	0
EU-22c	（公的開発銀行(又は部門)の適用除外エクスポージャー - 公共部門への投資）	0

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

EU-22d	(公的開発銀行(又は部門)の適用除外エクスポージャー - プロモーションナル・ローン)	0
EU-22e	(公的開発銀行(又は部門)以外によるバススルー・プロモーションナルローン・エクスポージャーを除く)	0
EU-22f	(輸出信用から生じるエクスポージャーの保証部分を除く)	-790
EU-22g	(トライパーティー・エージェントに預託された超過担保を除く)	0
EU-22h	(CRR第429a(1)条の(o)に基づくCSD/機関のCSD関連サービスを除く)	0
EU-22i	(CRR第429a(1)条の(p)に基づく指定金融機関のCSD関連サービスを除く)	0
EU-22j	(プレファイナンス・ローン又はインターメディエイト・ローンのエクスポージャー値の引下げ)	0
EU-22k	(適用除外のエクスポージャー合計)	-790
資本及びエクスポージャー合計		
23	Tier1資本	163,222
24	エクスポージャー合計	3,232,290
レバレッジ比率		
25	レバレッジ比率(%)	5.05%
EU-25	レバレッジ比率((公的部門投融資及びプロモーションナル・ローンの適用除外による影響を除く)) (%)	5.05%
25a	レバレッジ比率(中央銀行準備金の(該当する)一時免除の影響を除く) (%)	5.05%
26	規制上必要な最低レバレッジ比率(%)	3.00%
EU-26a	レバレッジの積み上がりリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	0.00%
EU-26b	うち：CET1資本で構成される割合	0.00%
27	レバレッジ比率バッファー要件(%)	3.00%
EU-27a	レバレッジ比率要件合計(%)	
経過措置の選択及び関連エクスポージャー		
EU-27b	資本計測の定義に関する経過措置の選択	NA
	平均値の開示	
28	SFT資産総額の日次平均値(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)	39,184
29	SFT資産総額の四半期末残高(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)	38,849
30	28行目のSFT資産総額(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)の平均値を反映させたエクスポージャー総額(中央銀行準備金の適用可能な一時的免除の影響を含む)	3,232,625
30a	28行目のSFT資産総額(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)の平均値を反映させたエクスポージャー総額(中央銀行準備金の適用可能な一時的免除の影響を除く)	3,232,625
31	28行目のSFT資産総額(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)の平均値を反映させたレバレッジ比率(中央銀行準備金の適用可能な一時的免除の影響を含む)	5.05%
31a	28行目のSFT資産総額(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)の平均値を反映させたレバレッジ比率(中央銀行準備金の適用可能な一時的免除の影響を除く)	5.05%

EU LR1-LRSum：会計上の資産からレバレッジ比率エクスポージャーへの調整の要約

下表は会計上の資産からレバレッジ比率エクスポージャーへの調整を示したものである。レバレッジ比率に係るエクスポージャー合計額は前年度から減少している。

LRSum：会計上の資産からレバレッジ比率エクスポージャーへの調整の要約

百万スウェーデン・クロネ

	該当金額
1 公表された財務諸表の資産合計	3,103,143
2 会計上連結されているが、銀行規制上は連結対象外の事業体に関する調整	243,622
3 (リスク移転の認識に係るオペレーション上の要件を満たす証券化エクスポージャーに関する調整)	0
4 (中央銀行に対するエクスポージャーの一時的な除外に関する調整 (該当がある場合))	0
5 (関連会計基準に従い貸借対照表に認識されているが、CRR第429a(1)条の(i)に準拠してエクスポージャーの計測から除外された信託資産に関する調整)	0
6 取引日会計の対象となる金融資産の通常の方法による売買に関する調整	0
7 適格なキャッシュ・プーリング取引に関する調整	0
8 デリバティブ取引に関する調整	12,869
9 証券金融取引 (SFTs) に関する調整	18,268
10 オフバランスシート項目に関する調整 (オフバランスシート・エクスポージャーの与信相当額への換算)	136,138
11 Tier1資本を減額させる慎重な評価調整並びに個別引当金及び一般引当金に関する調整	-421
EU-11a (CRR第429a(1)条の(c)に従いエクスポージャーの測定額から除外されたエクスポージャーに関する調整)	0
EU-11b (CRR第429a(1)条の(j)に従いエクスポージャーの測定額から除外されたエクスポージャーに関する調整)	0
12 その他の調整	-281,327
13 レバレッジ比率エクスポージャー合計	3,232,291

EU LR3 - LRSpl：オンバランスシート・エクスポージャーの内訳 (デリバティブ、証券金融取引、対象外のエクスポージャーを除く)

下表は、会計上の資産及びレバレッジ比率エクスポージャーを示したものである。レバレッジ比率エクスポージャー合計額は前年度から増加している。

LRSpl：オンバランスシート・エクスポージャーの内訳

(デリバティブ、証券金融取引、対象外のエクスポージャーを除く)

百万スウェーデン・クロネ

	2021年	2020年
EU-1 オンバランスシート・エクスポージャー合計 (デリバティブ、証券金融取引、対象外のエクスポージャーを除く)	3,100,045	2,877,552
EU-2 トレーディング勘定エクスポージャー	98,799	155,116
EU-3 非トレーディング勘定エクスポージャー、うち、	3,001,246	2,722,436
EU-4 カバード・ボンド	26,683	7,038
EU-5 ソブリンとして取り扱われるエクスポージャー	555,070	475,107
EU-6 地方政府、国際開発金融機関、国際機関及びソブリンとして取り扱われない公共機関に対するエクスポージャー	0	0
EU-7 金融機関	7,661	7,227
EU-8 不動産抵当	2,137,930	2,004,442
EU-9 リテール・エクスポージャー	48,387	47,450
EU-10 法人	207,596	155,006
EU-11 債務不履行のエクスポージャー	5,077	4,366
EU-12 他のエクスポージャー (株式、証券化、他の非信用債務資産等)	12,844	21,802

[次へ](#)

(2) 個別財務書類

損益計算書(親会社)

		2021年		2020年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記P3	14,325	184,936	20,350	262,719
リース収益	注記P3	1,899	24,516	1,963	25,342
利息費用	注記P3	-3,088	-39,866	-9,242	-119,314
受取配当金	注記P4	17,611	227,358	15,937	205,747
手数料及びコミッション収益	注記P5	6,877	88,782	7,485	96,631
手数料及びコミッション費用	注記P5	-1,647	-21,263	-1,793	-23,148
金融取引による純損益	注記P6	1,808	23,341	1,869	24,129
その他営業収益	注記P7	3,576	46,166	2,790	36,019
営業収益合計		41,361	533,971	39,359	508,125
一般管理費用					
人件費	注記P8	-10,242	-132,224	-11,689	-150,905
その他管理費用	注記P9	-6,002	-77,486	-5,684	-73,380
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記P20、P21	-2,803	-36,187	-2,672	-34,496
信用損失控除前費用合計		-19,047	-245,897	-20,045	-258,781
信用損失控除前利益		22,314	288,074	19,314	249,344
正味信用損失	注記P10	-55	-710	-477	-6,158
非流動金融資産の減損損失		-1,180	-15,234	-79	-1,020
営業利益		21,079	272,130	18,758	242,166
繰入	注記P11	227	2,931	743	9,592
税引前利益		21,306	275,060	19,501	251,758
法人税等	注記P28	-4,618	-59,618	-4,275	-55,190
当期利益		16,688	215,442	15,226	196,568

包括利益計算書（親会社）

	2021年		2020年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	16,688	215,442	15,226	196,568
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
資本性金融商品	62	800	-583	-7,527
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-3	-39	11	142
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
資本性金融商品	-3	-39	11	142
損益計算書に組み替えられない項目合計	59	762	-572	-7,385
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	246	3,176	-1,677	-21,650
その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
負債性金融商品	6	77	7	90
当期為替換算差額	1,034	13,349	-2,184	-28,195
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-63	-813	-256	-3,305
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
に係る税金	-39	-503	420	5,422
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-51	-658	365	4,712
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
負債性金融商品	-1	-13	-1	-13
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	13	168	56	723
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	1,247	16,099	-3,434	-44,333
その他包括利益合計	1,306	16,860	-4,006	-51,717
当期包括利益合計	17,994	232,303	11,220	144,850

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

貸借対照表(親会社)

		2021年		2020年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		338,768	4,373,495	297,362	3,838,943
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P14	100,538	1,297,946	99,115	1,279,575
金融機関への貸出金	注記P12	986,897	12,740,840	953,650	12,311,622
一般顧客への貸出金	注記P13	611,852	7,899,009	566,145	7,308,932
ポートフォリオヘッジにおける金利ヘッジ					
対象の価値変動		-1,904	-24,581	13	168
債券及びその他の利付証券	注記P14	34,323	443,110	46,533	600,741
株式	注記P15	13,481	174,040	14,313	184,781
子会社株式及び関連会社並びにジョイント・ベンチャーに対する投資	注記P16	71,967	929,094	73,057	943,166
顧客が価値変動リスクを負う資産		8,952	115,570	7,405	95,599
デリバティブ商品	注記P17	30,946	399,513	33,031	426,430
無形資産	注記P20	3,129	40,395	3,459	44,656
不動産、器具備品及びリース資産	注記P21	7,043	90,925	7,381	95,289
当期税金資産		0	0	154	1,988
繰延税金資産	注記P28	668	8,624	1,173	15,143
その他資産	注記P22	22,287	287,725	20,775	268,205
前払費用及び未収金	注記P23	1,187	15,324	1,297	16,744
資産合計	注記P35	2,230,134	28,791,030	2,124,863	27,431,981
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記P24	153,490	1,981,556	193,054	2,492,327
一般顧客からの預金及び借入金	注記P25	1,173,172	15,145,651	1,021,130	13,182,788
顧客が価値変動リスクを負う負債		8,952	115,570	7,405	95,599
発行済証券等	注記P26	679,808	8,776,321	657,520	8,488,583
デリバティブ商品	注記P17	21,033	271,536	44,774	578,032
ショートポジション	注記P27	4,105	52,996	1,682	21,715
当期税金負債		264	3,408	-	-
繰延税金負債	注記P28	436	5,629	777	10,031
引当金	注記P29	1,011	13,052	2,276	29,383
その他負債	注記P30	7,631	98,516	9,125	117,804
未払費用及び繰延収益	注記P31	3,049	39,363	2,266	29,254
劣後負債	注記P32	32,257	416,438	41,082	530,369
負債合計	注記P35	2,085,208	26,920,035	1,981,091	25,575,885
非課税剰余金	注記P33	706	9,114	933	12,045

株式資本	3,069	39,621	3,069	39,621
資本剰余金	8,758	113,066	8,758	113,066
その他積立金	<i>注記P34</i> 7,651	98,774	6,706	86,574
利益剰余金	108,054	1,394,977	109,080	1,408,223
当期利益	16,688	215,442	15,226	196,568
資本合計	144,220	1,861,880	142,839	1,844,051
負債及び資本合計	2,230,134	28,791,030	2,124,863	27,431,981

持分変動計算書（親会社）

(百万スウェーデン・ クローネ)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 ¹	公正価値 評価差額 準備金 ¹	為替換算 調整準備金 ¹	利益剰余金 (当期利益を 含む)	
2021年期首資本	3,069	2,682	3,274	8,758	628	94	28	124,306	142,839
当期利益								16,688	16,688
その他包括利益					195	64	1,047		1,306
うち、資本の中での 分類変更							-53		-53
当期包括利益合計					195	64	1,047	16,688	17,994
利益剰余金への振替								53	53
配当金 ²								-16,666	-16,666
内部開発ソフトウェア積 立金			-361					361	-
2021年期末資本	3,069	2,682	2,913	8,758	823	158	1,075	124,742	144,220
(百万スウェーデン・ クローネ)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 ¹	公正価値 評価差額 準備金 ¹	為替換算 調整準備金 ¹	利益剰余金 (当期利益を 含む)	
2020年期首資本	3,069	2,682	3,034	8,758	1,940	660	2,156	108,636	130,935
当期利益								15,226	15,226
その他包括利益					-1,312	-566	-2,128		-4,006
うち、資本の中での 分類変更						-684			-684
当期包括利益合計					-1,312	-566	-2,128	15,226	11,220
利益剰余金への振替								684	684
配当金								-	-
当行グループからの 拠出								-	-
当行グループからの拠出 に関する税効果								-	-
転換劣後ローンの影響	-			-				-	-
内部開発ソフトウェア積 立金			240					-240	-
2020年期末資本	3,069	2,682	3,274	8,758	628	94	28	124,306	142,839

1) 公正価値ファンドに含まれている。

2) 普通配当8,118百万スウェーデン・クローネ及び特別配当8,548百万スウェーデン・クローネ。株主は、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーが買収したAB Industrivärdenの株式という形でスウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから特別配当を受け取っている。注記P41を参照。

持分変動計算書（親会社）（続き）

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金(当期利益を含む)	
2021年期首資本	39,621	34,625	42,267	113,066	8,107	1,214	361	1,604,790	1,844,051
当期利益								215,442	215,442
その他包括利益					2,517	826	13,517		16,860
うち、資本の中での分類変更							-684		-684
当期包括利益合計					2,517	826	13,517	215,442	232,303
利益剰余金への振替								684	684
配当金 ²								-215,158	-215,158
内部開発ソフトウェア積立金			-4,661					4,661	-
2021年期末資本	39,621	34,625	37,607	113,066	10,625	2,040	13,878	1,610,419	1,861,880

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金(当期利益を含む)	
2020年期首資本	39,621	34,625	39,169	113,066	25,045	8,521	27,834	1,402,491	1,690,371
当期利益								196,568	196,568
その他包括利益					-16,938	-7,307	-27,472		-51,717
うち、資本の中での分類変更						-8,830			-8,830
当期包括利益合計					-16,938	-7,307	-27,472	196,568	144,850
利益剰余金への振替								8,830	8,830
配当金								-	-
当行グループからの拠出								-	-
当行グループからの拠出に関する税効果								-	-
転換劣後ローンの影響	-			-				-	-
内部開発ソフトウェア積立金			3,098					-3,098	-
2020年期末資本	39,621	34,625	42,267	113,066	8,107	1,214	361	1,604,790	1,844,051

1) 公正価値ファンドに含まれている。

2) 普通配当104,803百万円及び特別配当110,355百万円。株主は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピーが買収したAB Industrivärdenの株式という形でスヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから特別配当を受け取っている。注記P41を参照。

キャッシュ・フロー計算書（親会社）

	2021年		2020年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益	21,079	272,130	18,757	242,153
うち、受取利息	14,248	183,942	21,017	271,329
うち、支払利息	-3,898	-50,323	-9,909	-127,925
うち、受取配当金	17,611	227,358	15,937	205,747
損益における非現金項目の調整				
信用損失	85	1,097	553	7,139
未実現評価差額	418	5,396	-645	-8,327
減価償却費、償却費及び減損	3,983	51,421	2,746	35,451
グループ利益分配	-16,685	-215,403	-15,135	-195,393
法人税の支払	-4,269	-55,113	-4,910	-63,388
営業活動による資産及び負債の変動				
金融機関への貸出金	-33,248	-429,232	-63,093	-814,531
一般顧客への貸出金	-43,873	-566,400	53,465	690,233
利付証券及び株式	10,388	134,109	9,595	123,871
金融機関からの預り金	-39,564	-510,771	-14,309	-184,729
一般顧客からの預金及び借入金	152,043	1,962,875	101,650	1,312,302
発行済証券	22,288	287,738	-67,120	-866,519
デリバティブの正味ポジション	-21,476	-277,255	15,201	196,245
ショートポジション	2,476	31,965	-197	-2,543
投資銀行業務の決済における債権及び債務	-553	-7,139	871	11,245
その他	-8,746	-112,911	11,261	145,380
営業活動からのキャッシュ・フロー	44,346	572,507	48,690	628,588
投資活動				
関連会社及びジョイント・ベンチャーに係る取得及び拠出	-108	-1,394	-984	-12,703
株式の売却	1	13	1,688	21,792
不動産及び器具備品の取得	-5,019	-64,795	-4,577	-59,089
不動産及び器具備品の処分	3,457	44,630	3,030	39,117
無形資産の取得	-450	-5,810	-852	-10,999
投資活動からのキャッシュ・フロー	-2,119	-27,356	-1,695	-21,882
財務活動				
劣後ローンの返済	-10,130	-130,778	-2	-26
劣後ローンの発行	-	-	8,176	105,552
配当金の支払	-16,666	-215,158	-	-
当行グループ会社からの受取配当金	15,135	195,393	15,992	206,457
財務活動からのキャッシュ・フロー	-11,661	-150,544	24,166	311,983
うち、為替換算差額	-320	-4,131	-819	-10,573
当期キャッシュ・フロー	30,566	394,607	71,161	918,689

期首流動資金	297,362	3,838,943	242,889	3,135,697
営業活動からのキャッシュ・フロー	44,346	572,507	48,690	628,588
投資活動からのキャッシュ・フロー	-2,119	-27,356	-1,695	-21,882
財務活動からのキャッシュ・フロー	-11,661	-150,544	24,166	311,983
流動資金の為替換算差額	10,840	139,944	-16,688	-215,442
期末流動資金	338,768	4,373,495	297,362	3,838,943

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について営業利益が調整されていることを意味している。

流動資金は、現金及び中央銀行預け金である。

5年間の概要(親会社)

損益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年
純利息収益	13,136	13,071	13,039	17,234	16,326
受取配当金	17,611	15,937	17,338	11,023	13,705
純手数料及びコミッション収益	5,230	5,692	6,011	6,218	6,592
金融取引による純損益	1,808	1,869	618	1,020	1,339
その他営業収益	3,576	2,790	2,638	2,805	1,690
営業収益合計	41,361	39,359	39,644	38,300	39,652
一般管理費用					
人件費	-10,242	-11,689	-10,148	-12,255	-10,938
その他管理費用	-6,002	-5,684	-5,808	-6,332	-5,702
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2,803	-2,672	-2,156	-1,350	-1,094
信用損失控除前費用合計	-19,047	-20,045	-18,112	-19,937	-17,734
信用損失控除前利益	22,314	19,314	21,532	18,363	21,918
正味信用損失	-55	-477	-1,059	-835	-1,685
金融固定資産の減損損失	-1,180	-79	-148	-	-
営業利益	21,079	18,758	20,325	17,528	20,233
繰入	227	743	-380	332	115
税引前利益	21,306	19,501	19,945	17,860	20,348
法人税等	-4,618	-4,275	-4,297	-4,005	-4,662
当期利益	16,688	15,226	15,648	13,855	15,686
当期配当金	9,900 ¹	16,666	-	10,693	14,581

1) 取締役会の処分案によるものである。

包括利益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年
当期利益	16,688	15,226	15,648	13,855	15,686

その他包括利益

損益計算書に組み替えられない項目

その他包括利益を通じて公正価値で測定される

資本性金融商品	62	-583	372	-188	
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-3	11	-21	1	
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-3	11	-21	1	
損益計算書に組み替えられない項目合計	59	-572	351	-187	

その後に損益計算書に組み替えられる

可能性のある項目

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)

有価証券報告書

キャッシュフロー・ヘッジ	246	-1,677	1,751	829	41
その他包括利益を通じて公正価値で測定される					
負債性金融商品	6	7	7	-12	
売却可能金融商品 (IAS第39号)					-470
当期為替換算差額	1,034	-2,184	-259	41	-2,261
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-63	-256	-826	-848	-1,476
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	-39	420	-200	19	311
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-51	365	-375	-178	-9
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-1	-1	-2	3	
うち、売却可能金融商品 (IAS第39号)					-5
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	13	56	177	194	325
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	1,247	-3,434	1,299	877	-2,379
その他包括利益合計	1,306	-4,006	1,650	690	-2,379
当期包括利益合計	17,994	11,220	17,298	14,545	13,307

貸借対照表

(百万スウェーデン・クローネ)

資産

	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年
一般顧客への貸出金	611,852	566,145	620,175	611,699	795,691
金融機関への貸出金	986,897	953,650	890,557	841,085	664,018
利付証券	134,861	145,648	156,466	169,911	172,107
その他資産	496,524	459,420	412,307	431,004	381,060
資産合計	2,230,134	2,124,863	2,079,505	2,053,699	2,012,876

負債及び資本

一般顧客からの預金及び借入金	1,173,172	1,021,130	918,146	839,835	941,401
金融機関からの預り金	153,490	193,054	208,697	261,735	193,822
発行済証券	679,808	657,520	724,640	716,531	654,637
劣後負債	32,257	41,082	35,546	51,085	32,896
その他負債	46,481	68,305	59,863	62,565	69,237
非課税剰余金	706	933	1,678	886	683
資本	144,220	142,839	130,935	121,062	120,200
負債及び資本合計	2,230,134	2,124,863	2,079,505	2,053,699	2,012,876

重要な数値

	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年
減損貸出金引当率 (%)					65.7
減損貸出金の割合 (%)					0.18
CRRによる普通株式等Tier1比率 (%)	30.2	31.7	20.2	18.7	21.4
CRRによるTier1比率 (%)	33.4	34.6	23.0	21.0	23.9
CRRによる自己資本比率合計 (%)	37.4	38.8	26.2	24.1	27.5
使用資本利益率 (%)	0.72	0.65	0.74	0.63	0.74

代替的な数値の定義については277ページ（訳注：原文のページ番号である。）を参照のこと。また、これらの重要な数値の計算については、handelsbanken.com/irから入手可能な「ファクト・ブック」を参照のこと。

[次へ](#)

注記P1 会計方針

準拠表明

親会社の年次報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号）、信用機関及び証券会社における年次報告に準拠して作成されている。親会社はまたスウェーデンの財務報告審議会によるRFR第2号「事業体に関する会計処理」の勧告と意見書を適用している。スウェーデン金融監督庁の一般的な指針に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれら基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り適用されていることを意味する。

親会社及び当行グループの会計方針における関連性

親会社の会計方針は、概ね当行グループの会計方針と一致している。以下は当行グループの会計方針と異なっている親会社の会計方針に限定して報告するものである。その他については注記G1の会計方針を参照のこと。

表示

親会社は損益計算書及び貸借対照表について信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した表示モデルを採用している。これは当行グループの表示モデルと比較して、主に以下の相違があることを意味する。

- ・ 要求払い可能な中央銀行に対する債権は、親会社の貸借対照表において金融機関への貸出金として報告されている。これらは当行グループにおいて中央銀行へのその他の貸出金として報告されている。
- ・ 仲介及び株式取引費用は親会社においてコミッション費用として報告されている。
- ・ 受取配当金は親会社の損益計算書において個別の科目で報告されている。
- ・ 親会社における不動産、器具備品及び無形固定資産を処分する際の損益は、その他収益又は費用に報告されている。
- ・ 非課税剰余金は親会社において個別の貸借対照表項目として計上されている。これらは当行グループにおいて持分資本と税金負債に分割されている。

外貨建て資産及び負債

親会社の借入金で在外営業活動体における純投資をヘッジするものは、当初の換算レートで測定される。

売却目的で保有する資産及び非継続事業

耐用年数が確定している非流動資産は、スウェーデン年次報告法に基づき、売却目的保有に分類されるまでの期間、その耐用年数にわたって減価償却/償却される。非継続事業からの税引後純利益は親会社の損益計算書において個別に認識されない。また売却目的で保有する資産も売却目的で保有する負債も貸借対照表上個別に表示されない。売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業に関する開示については、注記P45を参照のこと。

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資は取得原価で測定される。すべての保有について減損の要否を評価するため、各貸借対照表日に減損のテストが実施される。価値が下落している場合、連結された価値まで調整する様に減損が認識される。減損費用は、損益計算書上の金融資産の減損損失として

分類される。子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーの株式に対する配当金は収益として損益計算書の受取配当金に計上される。

金融保証

保証コミットメントの形式による子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーのための金融保証は、親会社に履行義務が存在し、当該履行義務を清算するための支払いが求められる可能性が高い場合、親会社の貸借対照表に引当金として計上される。

無形資産

親会社において、資産及び耐用年数を確定出来ないその他の無形資産の取得は、前述の年次報告法の規定に準拠して償却される。経験上、買収により取得した顧客関係は非常に長期にわたるため、その結果、買収におけるのれんの耐用年数も長期となる。償却期間は20年と定められている。

リース

当行が貸手の場合

親会社は、ファイナンス・リースをオペレーティングリースとして認識している。したがって、当該資産は、リース資産として計上され、減価償却費は損益計算書上の「不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用」に計上される。賃料収入は、損益計算書上の純利息収益にリース料として認識される。

リース資産は、主に車両及び機械で構成されている。リース資産は、年金法に従ってリース契約期間にわたり減価償却される。

当行が借手の場合

親会社はリース期間にわたり、リース料を定額法により費用として認識する。

配当金

受取配当金項目は、子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーからの配当金並びにグループ利益分配の受領を含む、親会社が受領したすべての配当金で構成されている。

配当予想は、親会社に配当金額を決定する権利があり、財務報告の公表前に決定されている場合に限り認識される。

退職給付会計

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わりに、親会社の年金費用は、年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した年金数理計算を基に計算される。これは主に、割引率の設定方法及び将来債務の計算に将来の昇給が考慮されていないことに関して差異があることを意味する。正味年金費用認識額は、年金基金からの拠出控除後の年金支給額、年金保険料及び年金基金への分配額の合計として算定される。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積り年金債務を超過したことによる超過額は親会社の貸借対照表において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

法人税等

親会社において、非課税剰余金は貸借対照表において個別項目として認識される。非課税剰余金の一部は、繰延税金負債に計上され、残りは資本に計上されている。

注記P2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケン・グループのリスク管理は、注記G2に記載されている。親会社のリスクに関する具体的な情報については以下に示されている。その他の定義については、277から279ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2021年度の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）を参照のこと。

信用エクスポージャー、地域別、 2021年 百万スウェーデン・クローネ		スウェー デン	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目								
現金及び中央銀行預け金		93,293	4,579	28,282	120,098	27,314	65,202	338,768
金融機関への貸出金	注記P12	934,765	2,788	4,957	43,020	755	612	986,897
一般顧客への貸出金	注記P13	211,575	173,148	60,953	81,465	75,606	9,105	611,852
中央銀行への担保として適格な利付 証券	注記P14	100,538	-	-	-	-	-	100,538
債券及びその他の利付証券	注記P14	34,323	-	-	-	-	-	34,323
デリバティブ商品 ¹	注記P17	30,844	-	37	-	7	58	30,946
合計		1,405,338	180,515	94,229	244,583	103,682	74,977	2,103,324
オフバランスシート項目								
偶発債務	注記 P38	561,270	61,091	33,208	35,301	5,819	27,056	723,745
うち保証コミットメント		48,975	5,980	9,108	8,169	77	15,193	87,502
うち債務		512,295	55,111	24,100	27,132	5,742	11,863	636,243
合計		561,270	61,091	33,208	35,301	5,819	27,056	723,745
貸借対照表項目及びオフバランス シート項目合計		1,966,608	241,606	127,437	279,884	109,501	102,033	2,827,069

信用エクスポージャー、地域別、 2020年 百万スウェーデン・クローネ		スウェー デン	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目								
現金及び中央銀行預け金		84,525	18,026	217	114,600	11,035	68,959	297,362
金融機関への貸出金	注記P12	883,811	3,330	23,679	40,780	225	1,825	953,650
一般顧客への貸出金	注記P13	193,657	163,015	52,232	81,511	63,905	11,825	566,145
中央銀行への担保として適格な利付 証券	注記P14	98,353	-	-	-	-	762	99,115
債券及びその他の利付証券	注記P14	46,533	-	-	-	-	-	46,533
デリバティブ商品	注記P17	32,907	-	12	-	-	112	33,031
合計		1,339,786	184,371	76,140	236,891	75,165	83,483	1,995,836
オフバランスシート項目								
偶発債務	注記P38	388,950	58,529	33,013	39,374	7,503	32,340	559,709
うち保証コミットメント		53,417	5,702	8,984	11,041	121	20,209	99,474
うち債務		335,533	52,827	24,029	28,333	7,382	12,131	460,235
合計		388,950	58,529	33,013	39,374	7,503	32,340	559,709
貸借対照表項目及びオフバランス シート項目合計		1,728,736	242,900	109,153	276,265	82,668	115,823	2,555,545

地域別内訳とはエクスポージャーが計上されている国の内訳をいう。

一般顧客への貸出金、 セクター別内訳、2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	112,017	2,053	959	-22	-23	-443	114,541
住宅協同組合	21,073	416	11	-3	-1	-4	21,492
不動産管理	292,651	20,368	926	-50	-186	-163	313,546
製造	17,977	1,625	65	-10	-11	-39	19,607
リテール	25,434	433	372	-16	-34	-90	26,099
ホテル及びレストラン	2,625	1,722	20	-3	-101	-5	4,258
海運	1,676	594	1,205	-1	-8	-464	3,002
その他運輸及び通信	4,233	230	83	-8	-10	-63	4,465
建設	13,842	596	131	-20	-12	-72	14,465
電気、ガス及び水道	7,708	1,196	5	-3	-8	-3	8,895
農業、狩猟業及び林業	5,162	129	67	-6	-4	-31	5,317
その他サービス	8,821	524	96	-12	-19	-88	9,322
持株会社、投資会社、保険会 社、ミューチュアル・ファン ド等	48,759	370	171	-12	-8	-122	49,158
ソブリン及び地方自治体	263	16	0	0	-1	0	278
その他法人貸付	17,079	118	296	-3	-5	-78	17,407
合計	579,320	30,390	4,407	-169	-431	-1,665	611,852

一般顧客への貸出金、 セクター別内訳、2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	106,333	3,025	879	-28	-31	-482	109,696
住宅協同組合	23,329	727	79	-2	-2	-35	24,096
不動産管理	267,249	20,050	996	-48	-183	-204	287,860
製造	19,235	3,339	173	-13	-18	-106	22,610
リテール	13,969	1,565	364	-13	-50	-92	15,743
ホテル及びレストラン	3,520	2,206	8	-15	-62	-4	5,653
海運	1,675	2,064	1,162	-1	-6	-288	4,606
その他運輸及び通信	5,333	456	101	-6	-18	-79	5,787
建設	11,697	1,430	137	-14	-31	-83	13,136
電気、ガス及び水道	7,676	737	3	-2	-9	-1	8,404
農業、狩猟業及び林業	5,307	346	52	-5	-11	-41	5,648
その他サービス	7,334	577	309	-10	-27	-209	7,974
持株会社、投資会社、保険会 社、ミューチュアル・ファン ド等	33,880	1,696	151	-12	-10	-105	35,600
ソブリン及び地方自治体	1,594	16	-	0	-1	-	1,609
その他法人貸付	17,319	142	337	-3	-5	-67	17,723
合計	525,450	38,376	4,751	-172	-464	-1,796	566,145

信用エクスポージャー、担保別内訳、2021年 百万スウェーデン・クローネ	住宅用 不動産 ¹	その他の 不動産	ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	自己の債務の担保として差し入れた保証 ³	金融担保	資産担保	その他の担保	無担保 ⁴	合計	
貸借対照表										
項目										
現金及び中央銀行預け金			338,768						338,768	
金融機関への貸出金	注記 P12	-	-	60,381	-	-	-	926,516	986,897	
一般顧客への貸出金	注記 P13	189,813	209,790	26,062	7,532	19,224	5,297	8,379	611,852	
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記 P14			100,538					100,538	
債券及びその他の利付証券	注記 P14	-	-	1,106	818	-	-	32,399	34,323	
デリバティブ商品	注記 P17	833	1,541	5,012	65	150	-	23,345	30,946	
合計		190,646	211,331	531,867	8,415	19,374	5,297	8,379	1,128,015	2,103,324
オフバランスシート項目										
偶発債務	注記 P38	93,494	49,986	40,739	8,889	15,468	648	9,000	505,521	723,745
うち保証コミットメント		6,395	1,687	9,565	4,199	1,093	394	934	63,235	87,502
うち債務		87,099	48,299	31,174	4,690	14,375	254	8,066	442,286	636,243
合計		93,494	49,986	40,739	8,889	15,468	648	9,000	505,521	723,745
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目										
合計		284,140	261,317	572,606	17,304	34,842	5,945	17,379	1,633,536	2,827,069
信用エクスポージャー、担保別内訳、2020年 百万スウェーデン・クローネ	住宅用 不動産 ¹	その他の 不動産	ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	自己の債務の担保として差し入れた保証 ³	金融担保	資産担保	その他の担保	無担保 ⁴	合計	
貸借対照表項目										
現金及び中央銀行預け金			297,362						297,362	
金融機関への貸出金	注記 P12	-	-	51,860	978	39,685	-	861,127	953,650	
一般顧客への貸出金	注記 P13	180,123	204,290	23,974	7,426	12,432	5,364	10,258	566,145	
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記 P14			99,115					99,115	
債券及びその他の利付証券	注記 P14	-	-	2,563	-	-	-	43,970	46,533	

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

デリバティブ 商品	注記 P17	972	1,688	2,047	81	15,013	-	-	13,230	33,031
合計		181,095	205,978	476,921	8,485	67,130	5,364	10,258	1,040,605	1,995,836
オフバランス シート項目										
偶発債務	注記 P38	83,062	42,372	44,050	5,986	10,104	3,026	9,754	361,355	559,709
うち保証 コミット メント		6,207	1,712	12,239	2,864	1,255	2,906	1,034	71,257	99,474
うち債務		76,855	40,660	31,811	3,122	8,849	120	8,720	290,098	460,235
合計		83,062	42,372	44,050	5,986	10,104	3,026	9,754	361,355	559,709
貸借対照表項 目及びオフバ ランスシート 項目										
合計		264,157	248,350	520,971	14,471	77,234	8,390	20,012	1,401,960	2,555,545

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
3) 政府保証は含まない。
4) この列は親会社によるグループ子会社への内部貸出及びコミットメントを含む。貸借対照表項目では、この内部貸出は969,362(913,321)百万クローネ、オフバランスシート項目は203,798(54,244)百万クローネであった。

市場リスク

市場リスク

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
金利リスク	1,215	1,242
為替リスク ¹	14	18
株価リスク	71	65
コモディティ・リスク	1	2

- 1) スウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果

流動性リスク

金融資産及び負債の

満期分析、

2021年

百万スウェーデン・ クローネ	30日以内	30日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	338,787	-	-	-	-	-	-	338,787
中央銀行への担保として 適格な利付証券 ¹	100,538	-	-	-	-	-	-	100,538
債券及びその他の利付証券 ²	34,323	-	-	-	-	-	-	34,323
金融機関への貸出金	49,836	176,974	101,553	189,635	458,214	30,184	-	1,006,396
うち、リバース・レボ	20,203	-	-	-	-	-	-	20,203
一般顧客への貸出金	43,431	119,413	94,365	93,529	143,086	141,627	-	635,451
うち、リバース・レボ	13,648	-	-	-	-	-	-	13,648
その他	16,217	-	-	-	-	-	142,644	158,861
うち、株式及び参加持分	13,481	-	-	-	-	-	-	13,481
うち、投資銀行業務の 決済に係る債権	2,736	-	-	-	-	-	-	2,736
資産合計	583,132	296,387	195,918	283,164	601,300	171,811	142,644	2,274,356

金融機関からの預り金	89,515	36,435	3,733	137	362	1,010	22,706	153,898
------------	--------	--------	-------	-----	-----	-------	--------	---------

うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	0
うち、中央銀行	21,832	28,676	-	-	-	-	344	50,852
一般顧客からの預金及び借入金	12,414	22,154	1,575	4,184	369	48	1,132,318	1,173,062
うち、レボ	213	-	-	-	-	-	-	213
発行済証券 ³	51,797	292,149	187,128	49,821	71,984	32,210	-	685,089
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	0
うち、当初満期が1年未満の証券及びその他の証券	42,648	268,927	155,791	-	-	-	-	467,366
うち、当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	9,149	23,222	31,337	49,821	71,984	32,210	-	217,723
劣後負債	-	926	2,960	8,507	13,698	10,195	-	36,286
その他	7,038	-	-	-	-	-	186,017	193,055
うち、ショートポジション	4,126	-	-	-	-	-	-	4,126
うち、投資銀行業務の決済債務	2,912	-	-	-	-	-	-	2,912
負債合計	160,764	351,664	195,396	62,649	86,413	43,463	1,341,041	2,241,390
オフバランスシート項目								
金融保証及び未使用のローンコミットメント	636,243							

デリバティブ、2021年

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	30日から6ヶ月	6ヶ月から12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流入合計	220,640	508,215	84,162	119,321	180,126	103,895	1,216,359
デリバティブに係る現金流出合計	219,001	505,556	82,124	119,581	180,424	103,869	1,210,555
純額	1,639	2,659	2,038	-260	-298	26	5,804

金融資産及び負債の**満期分析、****2020年**

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	30日から6ヶ月	6ヶ月から12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	満期の指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	297,384	-	-	-	-	-	-	297,384
中央銀行への担保として適格な利付証券 ¹	99,115	-	-	-	-	-	-	99,115
債券及びその他の利付証券 ²	46,533	-	-	-	-	-	-	46,533
金融機関への貸出金	67,827	150,334	109,066	153,276	198,555	287,836	-	966,894
うち、リバース・レボ	2,776	-	-	-	-	-	-	2,776
一般顧客への貸出金	53,542	108,156	84,934	74,517	130,785	133,380	-	585,314
うち、リバース・レボ	11,626	-	-	-	-	-	-	11,626
その他	17,551	-	-	-	-	-	145,639	163,190
うち、株式及び参加持分	14,313	-	-	-	-	-	-	14,313
うち、投資銀行業務の決済に係る債権	3,238	-	-	-	-	-	-	3,238

資産合計	581,952	258,490	194,000	227,793	329,340	421,216	145,639	2,158,430
金融機関からの預り金	96,859	43,238	4,549	568	420	1,205	46,779	193,618
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行	17,334	23,110	-	-	-	-	314	40,758
一般顧客からの預金及び借入金	15,076	9,861	1,977	3,655	360	38	989,695	1,020,662
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
発行済証券 ³	49,558	235,277	216,590	59,219	73,682	30,103	-	664,429
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、当初満期が1年未満の証書及びその他の証券	42,664	195,176	190,592	-	-	-	-	428,432
うち、当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	6,894	40,101	25,998	59,219	73,682	30,103	-	235,997
劣後負債	-	9,937	-	2,935	19,014	8,281	-	40,167
その他	5,654	-	-	-	-	-	208,665	214,319
うち、ショートポジション	1,687	-	-	-	-	-	-	1,687
うち、投資銀行業務の決済債務	3,967	-	-	-	-	-	-	3,967
負債合計	167,147	298,313	223,116	66,377	93,476	39,627	1,245,139	2,133,195

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のローンコミットメント	460,235
----------------------	---------

デリバティブ、2020年

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	30日から6ヶ月	6ヶ月から12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流入合計	203,343	419,683	119,243	92,612	186,031	100,891	1,121,803
デリバティブに係る現金流出合計	206,625	427,457	118,845	93,932	185,640	101,596	1,134,095
純額	-3,282	-7,774	398	-1,320	391	-705	-12,292

1) この金額（利息を除く）のうち、83,610(75,526)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、4,601(7,184)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、528,573(498,032)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「満期の指定なし」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は親会社の貸借対照表上の金額と一致していない。

注記P3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	3,562	5,368
一般顧客への貸出金	10,586	12,215
中央銀行への担保として適格な利付証券	306	291
債券及びその他の利付証券	279	381

デリバティブ商品	-1,246	1,172
その他利息収益	835	811
合計	14,322	20,238
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	-3	-112
利息収益合計	14,325	20,350
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息	13,203	17,293
リース収益	1,899	1,963
利息費用		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-109	-567
一般顧客からの預金及び借入金	-173	-871
発行済証券	-2,992	-7,239
デリバティブ商品	2,245	1,813
劣後負債	-1,099	-1,185
政府手数料	-632	-762
その他利息費用	-366	-347
合計	-3,126	-9,158
金融取引による純損益に計上された利息費用の控除	-38	84
利息費用合計	-3,088	-9,242
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-2,196	-7,610
純利息収益	13,136	13,071
ファイナンス・リースの予定減価償却費 ¹	-1,751	-1,795
純利息収益（ファイナンス・リースの予定減価償却費控除後）	11,385	11,276

1) 不動産、器具備品及び無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用を計上。

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象資産及び負債に関連する純利息収益が含まれている。これらは利息収益及び費用に正負双方の影響を与えた可能性がある。

注記P4 受取配当金

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
配当金	60	76
関連会社からの配当金	-	-
グループ会社からの配当金 ¹	866	726
グループ利益分配受領額	16,685	15,135
合計	17,611	15,937

1) うち、515(540)百万スウェーデン・クローネは、Stadshypotekが資本性金融商品として分類するTier 1 資本ローンに係る配当である。

注記P5 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
仲介及びその他証券コミッション	634	645
ミューチュアル・ファンド	274	926
カストディ及びその他資産管理手数料	1,030	888
アドバイザリーサービス	199	184
決済	2,840	2,915
貸出金及び預金	917	905
保証	284	335
その他	699	687
手数料及びコミッション収益合計	6,877	7,485
証券	-242	-265
決済	-1,342	-1,464
その他	-63	-64
手数料及びコミッション費用合計	-1,647	-1,793
純手数料及びコミッション収益	5,230	5,692

手数料及びコミッション収益は、顧客との契約により生じる収益をいう。仲介及びその他の証券コミッション、アドバイザリーサービス、決済、貸出金及び預金は通常、サービスの提供に伴い、すなわち特定時に認識される。決済にはクレジットカードの発行及び取得も含まれる。ミューチュアル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険及び保証から生じる収益は通常、サービスの提供時、すなわち時間の経過とともに定額法で計上される。

注記P6 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
償却原価で計上される金融商品	108	106
うち、貸出金	108	106
うち、利付証券	-	0
うち、発行済証券	-	0
その他包括利益を通じて公正価値で計上	0	-1
うち、予想信用損失	0	-1
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	-900	304
うち、利付証券	-900	304
純損益を通じて公正価値で計上(強制)(外貨換算影響額を含む)	2,578	1,427
ヘッジ会計	22	33

うち、公正価値ヘッジに係る純損益	28	34
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	-6	-1
合計	1,808	1,869

注記P7 その他営業収益

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
賃料収入	21	26
その他営業収益 ¹	3,555	2,764
合計	3,576	2,790

1) スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、2021年10月18日にアクワイアリング事業をワールドラインへ売却した。この売却により、2021年にはその他営業収益に対し574百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2021年及び2020年の本項目には親会社の子会社に販売したサービスの対価が含まれる。

注記P8 人件費

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
給与及び報酬	-6,824	-6,963
社会保障費	-1,774	-1,809
年金費用 ¹	-1,545	-1,235
利益分配制度に対する準備金	-38	-213
その他人件費	-61	-1,469
合計	-10,242	-11,689

1) 年金費用に関する情報については、注記P39に示されている。

給与及び報酬

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
執行役員 ² 、18(20)名	-66	-72
その他	-6,758	-6,891
合計	-6,824	-6,963

2) 取締役を含む執行役員

男女別分布、%

	2021年		2020年	
	男性	女性	男性	女性
取締役	50	50	50	50
取締役を除く執行役員	70	30	80	20

平均従業員数	2021年	男性	女性	2020年	男性	女性
スウェーデン	6,564	3,146	3,418	6,903	3,289	3,614
英国	0	0	0	0	0	0
ノルウェー	793	411	382	779	414	365
デンマーク	627	321	306	639	327	312
フィンランド	558	250	308	557	245	312
オランダ	325	201	124	315	198	117
米国	50	31	19	53	34	19
中国	16	8	8	59	23	36
ルクセンブルグ	47	25	22	45	24	21
シンガポール	5	1	4	23	7	16
ドイツ	21	9	12	34	17	17
ポーランド	16	4	12	24	9	15
その他諸国	8	2	6	21	5	16
合計	9,030	4,409	4,621	9,452	4,592	4,860

親会社の執行役員に対する報酬の原則に関する情報については、注記G8に示されている。

注記P9 その他管理費用

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
不動産及び建物設備	-1,219	-1,240
外部IT費用	-2,729	-2,086
通信費	-209	-235
旅費及びマーケティング費用	-97	-110
購入したサービス	-1,150	-1,202
備品費	-125	-142
その他管理費用	-473	-669
合計	-6,002	-5,684
うち、オペレーティング・リースに係る費用		
リース料	-563	-562
変動リース料	-42	-97
合計	-605	-659

オペレーティング・リースは主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。

解約不能オペレーティング・リース契約における将来リース料、支払期限別

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
---------------	-------	-------

1年未満	-723	-970
1年から5年	-2,413	-3,270
5年超	-2,546	-3,375
合計	-5,682	-7,615

監査人及び監査法人に対する報酬	アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ビー		プライスウォーター ハウスクーパース・エイビー	
	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-6	-8	-3	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	0	-	0	-
税務アドバイス	0	0	-	-
その他サービス	-	0	-	-

注記P10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
貸借対照表項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-366	-699
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の過年度からの戻入	262	526
ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	-104	-173
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	46	-237
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	8	-23
ステージ1及び2に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	54	-260
貸借対照表項目に係る予想信用損失合計	-50	-433
オフバランスシート項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	29	-20
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-6	-62
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-15	-15
オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計	8	-97
償却		
当年度の実際の信用損失 ¹	-331	-1,648
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	284	1,622
償却合計	-47	-26
回収	34	79
信用損失（純額）	-55	-477
うち、一般顧客への貸出金	-67	-378

1) 当年度の実際の信用損失のうち、130(223)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目

2021年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	338,736	-	-	0	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	397	-	-	-	-	-
金融機関への貸出金	986,562	10	-	-1	-3	-
一般顧客への貸出金	579,320	30,390	4,407	-169	-431	-1,665
債券及びその他の利付証券	9,016	-	-	-2	-	-
合計	1,914,031	30,400	4,407	-172	-434	-1,665
オフバランスシート項目						
偶発債務	573,613	7,399	297	-67	-118	-92
うち、保証コミットメント	86,058	1,314	130	-9	-10	-39
うち、債務	487,555	6,085	167	-58	-108	-53
合計	573,613	7,399	297	-67	-118	-92

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目

2020年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	297,362	-	-	0	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	1,163	-	-	-	-	-
金融機関への貸出金	953,640	17	-	-1	-6	-
一般顧客への貸出金	525,450	38,376	4,751	-172	-464	-1,796
債券及びその他の利付証券	7,964	-	-	-2	-	-
合計	1,785,579	38,393	4,751	-175	-470	-1,796
オフバランスシート項目						
偶発債務	409,604	8,890	440	-51	-110	-119
うち、保証コミットメント	97,320	1,970	184	-10	-17	-70
うち、債務	312,284	6,920	256	-41	-93	-49
合計	409,604	8,890	440	-51	-110	-119

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は1,459(1,173)百万スウェーデン・クローネであった。

一般顧客への貸出金に対する信用損失の主要数値

	2021年	2020年
信用損失率、ACC、%	0.01	0.06
信用損失引当率合計、%	0.37	0.43
ステージ1に分類された貸出金に対する引当率、%	0.03	0.03
ステージ2に分類された貸出金に対する引当率、%	1.42	1.21
ステージ3に分類された貸出金に対する引当率、%	37.78	37.80
ステージ3に分類された貸出金の割合、%	0.45	0.52

変動分析

減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

	2021年				2020年			
百万スウェーデン・ クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-175	-470	-1,796	-2,441	-162	-250	-3,325	-3,737
認識中止した資産	22	41	116	179	20	48	95	163
償却	0	1	283	284	0	1	1,621	1,622
信用リスクの変動による再 測定	-19	80	-91	-30	-115	-99	53	-161
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-4	-10	-52	-66	8	12	61	81
購入又は組成した資産	-29	-10	-11	-50	-21	-8	-7	-36
ステージ1への振替	-13	17	1	5	-8	11	3	6
ステージ2への振替	21	-144	5	-118	46	-283	3	-234
ステージ3への振替	25	61	-120	-34	57	98	-300	-145
期末現在引当金	-172	-434	-1,665	-2,271	-175	-470	-1,796	-2,441

一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

	2021年				2020年			
百万スウェーデン・ クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-172	-464	-1,796	-2,432	-159	-247	-3,325	-3,731
認識中止した資産	22	41	116	179	19	46	95	160
償却	0	1	283	284	0	1	1,621	1,622
信用リスクの変動による再 測定	-19	76	-91	-34	-114	-100	53	-161
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-4	-9	-52	-65	8	12	61	81
購入又は組成した資産	-29	-10	-11	-50	-20	-8	-7	-35
ステージ1への振替	-13	17	1	5	-8	11	3	6
ステージ2への振替	21	-144	5	-118	45	-277	3	-229

ステージ3への振替	25	61	-120	-34	57	98	-300	-145
期末現在引当金	-169	-431	-1,665	-2,265	-172	-464	-1,796	-2,432

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2021年				2020年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-51	-110	-119	-280	-38	-50	-106	-194
認識中止した資産	6	17	-	23	4	7	-	11
償却	-	-	-	-	0	0	-	0
信用リスクの変動による再 測定	4	14	27	45	-18	-24	-13	-55
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-6	-23	-	-29	1	2	-	3
購入又は組成した資産	-20	-5	-	-25	-7	-1	-	-8
ステージ1への振替	-5	11	-	6	-2	3	-	1
ステージ2への振替	4	-26	-	-22	7	-53	-	-46
ステージ3への振替	1	4	-	5	2	6	-	8
期末現在引当金	-67	-118	-92	-277	-51	-110	-119	-280

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は生成された資産及びステージ間で振り替えられた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表す。

減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2021年				2020年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	1,785,579	38,393	4,751	1,828,723	1,735,696	21,561	6,462	1,763,719
認識中止した資産	-70,662	-4,933	-381	-75,976	-108,135	-4,592	-282	-113,009
償却	-3	-6	-317	-326	-3	-7	-1,636	-1,646
信用リスクの変化による 再測定	-64,840	-8,838	-631	-74,309	169,943	-886	-651	168,406
推計手法の更新による 変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	45,491	1,324	218	47,033	-55,998	-1,214	-198	-57,410
購入又は組成した資産	222,172	1,467	54	223,693	66,245	2,395	23	68,663
ステージ1への振替	14,896	-14,878	-18	-	10,469	-10,455	-14	-
ステージ2への振替	-18,403	18,427	-24	-	-32,222	32,283	-61	-

ステージ3への振替	-199	-556	755	-	-416	-692	1,108	-
期末現在の総額	1,914,031	30,400	4,407	1,948,838	1,785,579	38,393	4,751	1,828,723

減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

	2021年				2020年			
百万スウェーデン・ クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	525,450	38,376	4,751	568,577	596,076	21,368	6,462	623,906
認識中止した資産	-65,607	-4,924	-381	-70,912	-68,578	-4,442	-274	-73,294
償却	-3	-6	-317	-326	-3	-7	-1,636	-1,646
信用リスクの変動による再 測定	21,846	-9,460	-631	11,755	-19,898	805	-658	-19,751
推計手法の更新による 変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	13,378	1,149	218	14,745	-22,344	-1,215	-198	-23,757
購入又は組成した資産	88,757	1,467	54	90,278	60,704	2,392	23	63,119
ステージ1への振替	14,101	-14,083	-18	-	10,469	-10,455	-14	-
ステージ2への振替	-18,403	18,427	-24	-	-30,560	30,621	-61	-
ステージ3への振替	-199	-556	755	-	-416	-691	1,107	-
期末現在の総額	579,320	30,390	4,407	614,117	525,450	38,376	4,751	568,577

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

	2021年				2020年			
百万スウェーデン・ クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	409,604	8,890	440	418,934	435,921	7,921	685	444,527
認識中止した資産	-26,769	-1,576	-48	-28,393	-26,575	-1,346	-25	-27,946
償却	0	0	-5	-5	0	0	-2	-2
信用リスクの変動による再 測定	80,419	-4,622	-146	75,651	-17,412	1,215	-298	-16,495
推計手法の更新による 変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	42,961	9,387	5	52,353	-5,344	-220	-5	-5,569
購入又は組成した資産	62,069	699	1	62,769	24,185	233	1	24,419
ステージ1への振替	11,691	-11,691	0	-	6,885	-6,882	-3	-
ステージ2への振替	-6,346	6,348	-2	-	-8,034	8,039	-5	-
ステージ3への振替	-16	-36	52	-	-22	-70	92	-
期末現在の総額	573,613	7,399	297	581,309	409,604	8,890	440	418,934

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在の各ステージの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージへの影響を表している。

[次へ](#)

感応度分析、マクロ経済シナリオ

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は3つのシナリオにおける見積り予想の確率加重平均値である。基本(中立)シナリオの予想確率は70(70)%としている一方、景気の上昇シナリオの確率は15(15)%、下降シナリオの確率は15(15)%としている。これらは、2021年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の 要因	下降シナリオ			基本(中立)シナリオ			上昇シナリオ		
	2021年	2022年	2023年	2021年	2022年	2023年	2021年	2022年	2023年
GDP成長率									
スウェーデン	4.38	-0.55	1.06	4.38	3.85	2.06	4.38	6.85	3.56
ノルウェー	3.92	-0.28	0.06	3.92	3.85	1.06	3.92	5.86	2.56
デンマーク	4.18	-1.65	0.72	4.18	2.64	1.72	4.18	5.65	3.22
フィンランド	3.51	-1.39	0.80	3.51	3.00	1.80	3.51	6.01	3.30
EU諸国	5.18	0.00	0.91	5.18	4.39	1.91	5.18	7.44	3.41
米国	5.52	0.04	1.57	5.52	4.22	2.57	5.52	7.66	4.17
失業率									
スウェーデン	8.81	9.88	10.41	8.81	7.56	7.16	8.81	6.58	6.36
ノルウェー	3.13	4.52	5.33	3.13	2.30	2.23	3.13	1.90	1.93
デンマーク	5.10	6.52	7.46	5.10	4.19	4.06	5.10	3.42	3.36
フィンランド	7.78	9.24	9.90	7.78	7.00	6.50	7.78	5.94	5.70
EU諸国	7.87	10.24	10.90	7.87	7.70	7.50	7.87	6.93	6.90
米国	5.46	6.72	7.05	5.46	4.08	3.55	5.46	3.41	2.95
政策金利									
スウェーデン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.50
ノルウェー	0.50	0.00	0.00	0.50	1.25	1.50	0.50	1.75	2.00
デンマーク	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.30
フィンランド	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
EU諸国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
米国	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.63	0.13	0.38	1.13
オフィス不動産 価格の上昇率									
スウェーデン	11.14	-12.68	-6.97	11.14	9.10	6.30	11.14	16.99	15.62
ノルウェー	2.52	-13.68	-8.53	2.52	4.07	-0.11	2.52	8.92	6.38
デンマーク	6.28	-9.70	-6.55	6.28	4.69	2.62	6.28	9.28	8.81
フィンランド	6.04	-12.66	-5.35	6.04	7.62	5.65	6.04	14.81	13.62
EU諸国	0.71	-14.46	-6.82	0.71	4.25	3.02	0.71	9.74	10.48
米国	5.52	4.22	2.57	-2.86	1.36	-4.48	5.52	4.22	2.57
住宅価格の上昇率									
スウェーデン	17.27	-4.98	0.83	17.27	5.01	1.73	17.27	11.11	2.15
ノルウェー	7.17	-5.30	4.44	9.97	2.99	1.48	12.47	8.35	2.62

デンマーク	10.84	-3.40	-0.14	13.00	3.57	1.54	14.17	8.70	3.15
フィンランド	0.91	0.18	-0.29	1.42	3.50	2.50	4.71	3.80	1.63
EU諸国	-4.42	3.56	2.95	3.56	2.63	2.40	6.35	2.14	2.10

[次へ](#)

下表は、12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

	2021年		2020年	
	下降シナリオにおける引当金の増加、%表示	上昇シナリオにおける引当金の減少、%表示	下降シナリオにおける引当金の増加、%表示	上昇シナリオにおける引当金の減少、%表示
スウェーデン	22.05	-13.35	15.50	-8.97
ノルウェー	12.21	-6.90	11.61	-6.32
デンマーク	14.63	-8.31	11.07	-6.35
フィンランド	10.73	-6.29	10.75	-6.07
オランダ	3.48	-1.80	2.75	-1.54
米国	50.58	-32.07	41.52	-24.50
その他諸国	5.88	-2.76	14.29	-7.16

感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5高く又は低く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2の債権に対する引当金がどのような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。詳細な情報は注記G2の「信用リスク」の項目を参照のこと。

ステージ1及び2に分類された債権に対する

引当金総額の変動、%

閾値	2021年	2020年
2	3.79%	3.80%
2.5	0.00%	0.00%
3	-2.93%	-2.23%

PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目	2021年			2020年		
	総額			総額		
	百万スウェーデン・クローネ			百万スウェーデン・クローネ		
PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,778,879	5,861	-	1,607,252	12,169	-
0.15～0.25未満	55,679	1,264	-	77,581	2,086	-
0.25～0.50未満	42,963	4,106	-	49,972	6,938	-
0.50～0.75未満	12,432	738	-	19,043	2,258	-
0.75～2.50未満	20,475	12,755	-	27,016	9,072	-
2.50～10.00未満	3,353	4,918	-	4,380	4,597	-
10.00～100未満	250	758	-	335	1,273	-
100（デフォルト）	-	-	4,407	-	-	4,751
合計	1,914,031	30,400	4,407	1,785,579	38,393	4,751

PDの範囲別一般顧客への 貸出金	2021年			2020年		
	総額			総額		
	百万スウェーデン・クローネ			百万スウェーデン・クローネ		
PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	487,720	5,960	-	472,973	12,165	-
0.15～0.25未満	37,794	1,301	-	22,830	2,085	-
0.25～0.50未満	29,162	3,427	-	14,705	6,935	-
0.50～0.75未満	8,435	760	-	5,604	2,257	-
0.75～2.50未満	13,763	13,099	-	7,950	9,068	-
2.50～10.00未満	2,276	5,062	-	1,289	4,594	-
10.00～100未満	170	781	-	99	1,272	-
100（デフォルト）	-	-	4,407	-	-	4,751
合計	579,320	30,390	4,407	525,450	38,376	4,751

PDの範囲別 オフバランスシート項目	2021年			2020年		
	総額			総額		
	百万スウェーデン・クローネ			百万スウェーデン・クローネ		
PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	510,314	2,635	-	352,268	2,890	-
0.15～0.25未満	23,326	729	-	20,207	841	-
0.25～0.50未満	20,620	343	-	15,068	1,531	-
0.50～0.75未満	9,072	899	-	5,586	781	-
0.75～2.50未満	9,260	966	-	15,434	1,358	-
2.50～10.00未満	974	1,614	-	1,017	1,154	-

10.00～100未満	47	213	-	24	335	-
100（デフォルト）	-	-	297	-	-	440
合計	573,613	7,399	297	409,604	8,890	440

1 報告日現在の12カ月PD値を指す。

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ

不動産

動産

株式

帳簿価額

2021年

2020年

-

-

0

2

0

0

0

2

注記P11 繰入

百万スウェーデン・クローネ

機械装置、器具備品及びリース資産の加速減価償却の変動

純資産の取得に係るのれんの加速償却の変動

合計

2021年

2020年

195

650

32

93

227

743

注記P12 金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ

貸出金（スウェーデン・クローネ建て）

銀行

その他金融機関¹

合計

2021年

2020年

903

1,490

709,033

649,050

709,936

650,540

貸出金（外貨建て）

銀行

その他金融機関

合計

13,312

35,926

263,653

267,191

276,965

303,117

予想信用損失引当金

金融機関への貸出金合計

-4

-7

986,897

953,650

うち、未収利息収益

うち、リバース・レボ

うち、劣後分

967

869

20,204

2,776

39,041

28,394

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

2021年

2020年

金融機関への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	599,441	630,019
金融機関への貸出金（外貨建て）	405,878	339,627
合計	1,005,319	969,646

うち、リバース・レボ 20,892 10,486

1 うち、21,812(21,335)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィボテックが資本性金融商品に分類したTier1資本貸出金である。

注記P13 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
個人	28,466	28,799
法人	142,487	132,242
国債局	2,173	474
合計	173,126	161,515

貸出金（外貨建て）

個人	116,213	108,223
法人	324,778	298,838
国債局	-	-
合計	440,991	407,061

予想信用損失引当金	-2,265	-2,431
一般顧客への貸出金合計	611,852	566,145

うち、未収利息収益 1,778 760

うち、リバース・レボ 13,649 11,627

うち、劣後ローン 22,594 1,132

平均取引高（国債局を除く）

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
一般顧客への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	170,850	188,619
一般顧客への貸出金（外貨建て）	415,348	423,692
合計	586,198	612,311

うち、リバース・レボ 19,690 18,349

注記P14 利付証券

	2021年			2020年		
百万スウェーデン・クローネ	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格

中央銀行への担保として適格な利付

証券	100,538	100,538	103,881	99,115	99,115	97,152
うち、未収利息収益	160			195		
債券及びその他の利付証券	34,323	34,323	30,601	46,533	46,533	43,351
うち、未収利息収益	185			185		
合計	134,861	134,861	134,482	145,648	145,648	140,503

うち、劣後証券

-

-

4

4

利付証券、発行者別内訳

	2021年			2020年		
	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格
百万スウェーデン・クローネ						
政府	100,538	100,538	103,881	99,115	99,115	97,152
金融機関	6,590	6,590	6,118	9,091	9,091	8,656
住宅金融専門機関	21,522	21,522	20,137	31,317	31,317	28,819
その他	6,211	6,211	4,346	6,125	6,125	5,876
合計	134,861	134,861	134,482	145,648	145,648	140,503

減損テスト対象の利付証券

百万スウェーデン・クローネ

中央銀行への担保として適格な利付証券

	2021年	2020年
その他包括利益を通じて公正価値で測定	397	401
償却原価で測定	-	762
総額合計	397	1,163

償却原価で測定される金融商品の予想信用損失引当金

	-	-
帳簿価額合計	397	1,163

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金

-

-

債券及びその他の利付証券

その他包括利益を通じて公正価値で測定	9,016	7,964
帳簿価額合計	9,016	7,964

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金

-2

-2

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
利付証券	155,399	167,504

注記P15 株式

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
純損益を通じて公正価値で測定、強制	12,674	13,614
その他包括利益を通じて公正価値で測定	807	699
株式合計	13,481	14,313

その他包括利益を通じて公正価値で測定された保有株式

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
BEC	329	295
Visa Inc	170	155
VIPPS A/S	62	26
その他の保有株式	246	223
合計	807	699

ハンデルスバンケンは、上記の保有株式について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。当年度中に、ハンデルスバンケンは報告期間末現在保有する株式から配当のみを受け取っている。これらの配当は合計で2(53)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は、Visa Sweden Ekonomisk Förening及び多数の住宅協同組合の保有部式を1(1,688)百万スウェーデン・クローネで処分した。この処分は、再配分、支店閉鎖及び参加持分に関する持分の調整を主な理由として行われた。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、親会社の持分変動計算書を参照のこと。

注記P16 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
子会社（非上場）	71,608	72,749
関連会社（非上場）	213	213
ジョイント・ベンチャー（非上場）	146	95
合計	71,967	73,057

子会社	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%	帳簿価額 百万スウェーデン・クローネ	
					2021年	2020年
Handelsbanken Finans AB ¹	556053-0841	ストックホルム	1,550,000	100	10,492	11,672
Stadshypotek AB ¹	556459-6715	ストックホルム	162,000	100	26,870	26,870
Handelsbanken						
Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	ストックホルム	10,000	100	1	1
Xact Kapitalförvaltning AB	556997-8140	ストックホルム		100		

Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	ストックホルム		100	2	
Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S	12930879	コペンハーゲン		100	8	
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	ストックホルム	100,000	100	6,189	6,189
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	ストックホルム		100		
Ecster AB	556993-2311	ストックホルム	50,000	100	1,750	1,750
Handelsbanken plc ¹	11305395	ロンドン	5,050,401	100	24,087	24,087
Heartwood Wealth & Asset Management Limited ³	04132340	ロンドン	1,319,206	100		
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	アムステルダム	10,209	100	655	642
Add Value Fund Management BV	19196768	アムステルダム		80		
その他の子会社						
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	ストックホルム	100	100	0	0
Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	ヒレレズ	2,700,000	100	128	128
Forva AS	945812141	オスロ	4,000,000	100	1	1
AB Handel och Industri	556013-5336	ストックホルム	100,000	100	12	12
Handelsbanken Forsikringsformidling A/S	42767808	コペンハーゲン		100	1	
Handelsbanken Markets Securities, Inc. ¹	11-3257438	ニューヨーク	1,000	100	30	30
Handelsbanken Rahotitus Oy	0112308-8	ヘルシンキ	37,026,871	100	1,276	1,276
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	ストックホルム	1,500	100	31	31
Lokalbolig A/S	78488018	ヒレレズ	540,000	71.52	1	1
Rådstuplass 4 AS	910508423	ベルゲン	40,000	100	0	0
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ	20,000	100	35	35
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	ストックホルム	50	100	39	24
合計					71,608	72,749

当行グループ会社のリストには、直接所有子会社及びこれらの会社の大規模な子会社が含まれている。

1) 金融機関

関連会社						帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%		2021年	2020年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00		67	67
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,542	25.54		81	80
Dyson Group plc	00163096	シェフィールド	74,333,672	27.00		21	21
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30		24	24
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00		21	21
USE Intressenter AB	559161-9464	ストックホルム	2,448	24.48		0	0
合計						214	213

ジョイント・ベンチャー						帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%		2021年	2020年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストックホルム	10,000	16.67		88	63
Invidem AB	559210-0779	ストックホルム	10,000	16.67		58	32
合計						146	95

注記P17 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
百万スウェーデン・クローネ	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
トレーディング目的で 保有するデリバティブ									
金利関連契約									
オプション	8,960	13,239	2,273	24,472	30,274	51	9	52	16
FRA/先物	388,452	153,608	-	542,060	318,439	76	52	62	38
スワップ	522,714	1,594,020	440,270	2,557,004	2,156,167	21,064	29,544	21,468	30,403
通貨関連契約									
オプション	20,614	36	22	20,672	24,729	69	118	131	195
先物	76,491	5,988	395	82,874	69,687	916	920	687	1,344
スワップ	616,509	152,605	50,321	819,435	770,784	15,066	11,226	9,622	22,882
株式関連契約									
オプション	3,126	560	84	3,770	5,194	375	255	189	136
先物	580	-	-	580	855	9	15	11	16
スワップ	11,561	3,122	-	14,683	16,150	341	137	723	1,569
コモディティ関連契約									
オプション	341	-	14	355	671	41	22	55	60
先物	835	100	-	935	3,654	111	389	237	312
信用関連契約									
スワップ	84	4,751	18	4,853	6,500	294	229	169	158
合計	1,650,267	1,928,029	493,397	4,071,693	3,403,104	38,413	42,916	33,406	57,129
公正価値ヘッジの デリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	60,642	262,806	60,045	383,493	257,078	2,836	1,704	1,610	607
通貨関連契約									
スワップ	-	566	896	1,462	1,377	156	101	-	-
合計	60,642	263,372	60,941	384,955	258,455	2,992	1,805	1,610	607
キャッシュフロー・ ヘッジのデリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	62,118	78,997	14,583	155,698	217,166	1,935	4,234	940	2,556
通貨関連契約									
スワップ	63,692	86,355	26,095	176,142	176,369	7,641	9,420	2,133	5,528
合計	125,810	165,352	40,678	331,840	393,535	9,576	13,654	3,073	8,084
デリバティブ商品									
合計	1,836,719	2,356,753	595,016	4,788,488	4,055,094	50,981	58,375	38,089	65,820
うち、取引所上場 デリバティブ									
				182,858	108,653	130	332	804	756

うち、CCPで決済されるOTCデリバティブ	2,982,430	2,245,982	18,731	22,987	15,867	18,717
うち、CCPで決済されないOTCデリバティブ	1,623,200	1,700,459	32,120	35,056	21,418	46,347
相殺された金額	-2,691,986	-2,110,391	-20,035	-25,344	-17,056	-21,046
純額	2,096,502	1,944,703	30,946	33,031	21,033	44,774
市場価値の通貨別内訳						
スウェーデン・クローネ			-217,533	77,516	-44,025	247,879
米ドル			300,159	-80,871	-7,642	-381,625
ユーロ			71,169	95,348	-62,235	-36,368
その他			-102,814	-33,618	151,991	235,934
合計			50,981	58,375	38,089	65,820

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（中央清算される契約を含む）の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表上、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益/（損失））をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末現在、これらの未認識の取引日利益は、489(538)百万スウェーデン・クローネであった。

注記P18 ヘッジ会計

ヘッジ会計のリスク区分と種類 百万スウェーデン・クローネ

	2021年			2020年		
	1年以内	1年超 5年以内	5年超	1年以内	1年超 5年以内	5年超
金利リスク						
金利スワップ（固定金利支払・変動金利受取）						
想定元本	18,875	37,280	13,677	13,181	50,160	16,070
平均固定金利(%)	0.63	0.58	0.76	0.48	0.58	0.73
金利スワップ（変動金利支払・固定金利受取）						
想定元本	43,243	41,717	906	55,335	81,602	818
平均固定金利(%)	1.53	1.87	3.98	3.53	1.66	3.98
為替リスク						
為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ						
想定元本	10,899	30,223	14,069	4,344	29,590	7,435
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1187	0.1038	0.0970	0.1310	0.1110	0.0970
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド						
想定元本	-	6,942	917	11,011	6,289	831
平均為替レート、米ドル/英ポンド	-	1.2930	1.3157	1.3860	1.2930	1.3150

為替デリバティブ、米ドル/

ノルウェー・クローネ

想定元本	14,409	22,140	-	40,197	12,901	-
------	--------	--------	---	--------	--------	---

平均為替レート、米ドル/

ノルウェー・クローネ

0.1178	0.1137	-	0.1170	0.1260	-
--------	--------	---	--------	--------	---

為替デリバティブ、米ドル/

スウェーデン・クローネ

想定元本	24,446	2,265	9,057	9,206	2,153	8,613
------	--------	-------	-------	-------	-------	-------

平均為替レート、米ドル/

スウェーデン・クローネ

0.1187	0.1105	0.1105	0.1170	0.1105	0.1105
--------	--------	--------	--------	--------	--------

為替デリバティブ、豪ドル/米ドル

想定元本	-	5,923	-	3,034	5,492	-
------	---	-------	---	-------	-------	---

平均為替レート、豪ドル/米ドル

-	1.3770	-	1.3930	1.3770	-
---	--------	---	--------	--------	---

為替デリバティブ、他の通貨ペア

想定元本	13,938	18,862	2,052	11,573	23,700	-
------	--------	--------	-------	--------	--------	---

合計	125,810	165,352	40,678	147,881	211,887	33,767
-----------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	---------------

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性、 2021年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
金利リスク		資産	負債				
金利スワップ（固定金利支払・ 変動金利受取）	69,832	247	940	1,852	1,858	-6	-
金利スワップ（変動金利支払・ 固定金利受取）	85,866	1,688	-	-1,939	-1,939	0	59
為替リスク ¹							
為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	2,051	3	-	8	8	0	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド	6,514	606	-	34	32	2	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	55,191	2,750	491	1	3	-2	-
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	12,797	376	408	32	32	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ デンマーク・クローネ	6,919	330	87	60	60	0	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	7,859	-	339	8	8	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	36,549	1,303	721	47	47	0	-
為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	35,768	1,793	-	292	292	0	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	5,923	50	-	-77	-77	-	3
為替デリバティブ、他の通貨ペア	6,571	430	87	-15	-15	0	1
合計	331,840	9,576	3,073	303	309	-6	63

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性、 2020年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
金利リスク							
金利スワップ（固定金利支払・ 変動金利受取）	79,411	1	2,556	-941	-941	-	-
金利スワップ（変動金利支払・ 固定金利受取）	137,755	4,233	-	-461	-461	-	96
為替リスク ¹							
為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	3,516	-	9	-33	-33	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド	9,628	1,123	-	81	81	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	41,369	5,559	16	240	237	3	-
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	12,664	256	586	-26	-26	-	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	18,131	271	448	-60	-57	-3	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	53,098	1,142	1,903	-52	-52	0	-

為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	19,972	-	1,838	-349	-349	0	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	8,526	621	-	45	45	-	-5
為替デリバティブ、他の通貨ペア	9,465	448	728	12	13	-1	43
合計	393,535	13,654	8,084	-1,544	-1,543	-1	134

- 1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション（補完）が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション（補完）は上記に示す想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表上の「デリバティブ商品」に含まれる。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれる。

損益計算書への振替額は「金融取引による純損益」に含まれ、満期日より前に終了したキャッシュフロー・ヘッジをいう。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象	2021年			2020年		
	非有効性の算定に用いられた公正価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されなくなったヘッジ関係からのヘッジ準備金残余額	非有効性の算定に用いられた公正価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されなくなったヘッジ関係からのヘッジ準備金残余額
百万スウェーデン・クローネ						
金利リスク						
発行済変動金利有価証券	-1,858	-553	-	941	-2,435	-
変動金利による一般顧客への貸出金	1,939	1,777	484	461	3,799	543
為替リスク						
ユーロ建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	-75	-172	-	-150	-234	-
米ドル建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、ユーロ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	-407	-10	88	485	-416	86
豪ドル建て発行済証券	77	48	-1	-46	128	2
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	15	-54	11	-148	-51	15
合計	-309	1,036	582	1,543	791	646

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段	2021年			2020年		
	1年以内	1年超5年以内	5年超	1年以内	1年超5年以内	5年超
百万スウェーデン・クローネ						
金利リスク						
金利スワップ（固定金利支払・変動金利受取）						
想定元本	-	-	-	31,706	148,864	1,698
平均固定金利（%）	-	-	-	0.06	0.03	0.28
金利スワップ（変動金利支払・固定金利受取）						
想定元本	904	77,952	32,753	-	35,214	31,652
平均固定金利（%）	0.22	0.97	1.65	-	1.31	1.67
クロス・カレンシー金利スワップ（変動金利支払・固定金利受取）						

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

想定元本	-	566	896	-	533	843
平均固定金利(%)	-	3.26	3.69	-	3.26	3.69
合計	904	78,518	33,649	31,706	184,611	34,193

**公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段と
非有効性、2021年**

百万スウェーデン・クローネ

金利リスク

金利スワップ

(固定金利支払・変動金利受取)

金利スワップ

(変動金利支払・固定金利受取)

クロス・カレンシー金利スワップ

(変動金利支払・固定金利受取)

合計

ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
	資産	負債		
-	-	-	-	-
111,609	836	1,453	-2,323	-16
1,462	156	-	-54	4
113,071	992	1,453	-2,377	-12

ポートフォリオ公正価値ヘッジ**金利リスク**

金利スワップ

(固定金利支払・変動金利受取)

合計

271,884	2,000	157	2,285	40
271,884	2,000	157	2,285	40

**公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段と
非有効性、2020年**

百万スウェーデン・クローネ

金利リスク

金利スワップ

(固定金利支払・変動金利受取)

金利スワップ

(変動金利支払・固定金利受取)

クロス・カレンシー金利スワップ

(変動金利支払・固定金利受取)

合計

ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
	資産	負債		
182,268	72	442	-222	-8
66,866	1,628	146	773	42
1,376	101	-	100	0
250,510	1,801	588	651	34

ポートフォリオ公正価値ヘッジ**金利リスク**

金利スワップ

(固定金利支払・変動金利受取)

合計

7,945	4	19	-13	0
7,945	4	19	-13	0

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。
損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

公正価値ヘッジにおける**ヘッジ対象、**

2021年

百万スウェーデン・
クローネ**金利リスク**

固定金利による一般顧客

への貸出金

発行済利付証券及び劣後

負債

合計

ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた 価値変動	公正価値変動が調整されなくなっ たヘッジ対象について貸借対照表 に残る公正価値ヘッジの調整累計 額
資産	負債	資産	負債		
-	-	-	-	-	-
	112,116		-1,572	2,365	-
-	112,116	-	-1,572	2,365	-

**ポートフォリオ公正価値
ヘッジ**
金利リスク

固定金利による一般顧客 への貸出金	-1,904				-2,245	-
合計	-1,904				-2,245	-

公正価値ヘッジにおける

ヘッジ対象、 2020年 百万スウェーデン・ クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた 価値変動	公正価値変動が調整されなくなっ たヘッジ対象について貸借対照表 に残る公正価値ヘッジの調整累計 額
	資産	負債	資産	負債		

金利リスク

固定金利による一般顧客 への貸出金	188,468		329		215	-
発行済利付証券及び劣後 負債		69,716		794	-832	-
合計	188,468	69,716	329	794	-617	-

**ポートフォリオ公正価値
ヘッジ**
金利リスク

固定金利による一般顧客 への貸出金	13				13	-
合計	13				13	-

注記P19 金融商品の相殺
2021年

百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
---------------	--------	----------------	----

**相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産**

総額	50,981	41,913	92,894
相殺される金額	-20,035	-7,110	-27,145
貸借対照表計上額	30,946	34,803	65,749

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-9,294	-	-9,294
担保として受領した金融資産	-13,322	-34,777	-48,099
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-22,616	-34,777	-57,393

純額	8,330	26	8,356
-----------	--------------	-----------	--------------

**相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債**

総額	38,089	7,323	45,412
相殺される金額	-17,056	-7,110	-24,166
貸借対照表計上額	21,033	213	21,246

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-9,294	-	-9,294
担保として差し入れた金融資産	-1,467	-213	-1,680
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-10,761	-213	-10,974
純額	10,272	-	10,272

2020年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	58,375	16,946	75,321
相殺される金額	-25,344	-2,014	-27,358
貸借対照表計上額	33,031	14,932	47,963

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-14,846	-	-14,846
担保として受領した金融資産	-7,503	-14,923	-22,426
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-22,349	-14,923	-37,272

純額	10,682	9	10,691
----	--------	---	--------

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債

総額	65,820	2,014	67,834
相殺される金額	-21,046	-2,014	-23,060
貸借対照表計上額	44,774	-	44,774

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-14,846	-	-14,846
担保として差し入れた金融資産	-13,310	-	-13,310
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-28,156	-	-28,156

純額	16,618	-	16,618
----	--------	---	--------

注記P20 無形資産

2021年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2021年
期首現在取得原価	2,314	4,686	164	7,164
無形資産取得原価追加分	-	451	-	451
処分及び除却	-	-171	-	-171
外貨換算影響額	76	9	-	85
期末現在取得原価	2,390	4,975	164	7,529
期首現在償却及び減損累計額	-2,259	-1,413	-33	-3,705
処分及び除却	-	171		171
当年度の予定償却	-34	-479	-33	-546
当年度の減損	-	-239	-	-239
外貨換算影響額	-76	-5	-	-81
期末現在償却及び減損累計額	-2,369	-1,965	-66	-4,400
帳簿価額	21	3,010	98	3,129

2021年度には、1,959(1,483)百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2020年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2020年
期首現在取得原価	2,434	4,132	0	6,566
無形資産取得原価追加分	-	689	164	853
処分及び除却	-	-120		-120
外貨換算影響額	-120	-15		-135
期末現在取得原価	2,314	4,686	164	7,164
期首現在償却及び減損累計額	-2,277	-1,099	0	-3,376
処分及び除却	-	120		120
当年度の予定償却	-100	-383	-33	-516
当年度の減損	-	-55		-55
外貨換算影響額	118	4		122
期末現在償却及び減損累計額	-2,259	-1,413	-33	-3,705
帳簿価額	55	3,273	131	3,459

注記P21 不動産、器具備品及びリース資産

不動産、器具備品及びリース資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
器具備品	454	552
不動産	27	126
リース資産	6,562	6,701
担保権が実行された不動産	0	2
合計	7,043	7,381

債権の保全のために担保権が実行された不動産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、0(0)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現価値変動による当期利益への影響は 0(0)百万スウェーデン・クローネであった。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、利回り要件及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的な利用可能性に基づいて行われている。当行は原則として、商業用不動産及び事務所用ビル並びに工業用不動産を評価する際には、独立公認鑑定人を常に使用している。市場の観測値のみに基づく評価0(0)百万スウェーデン・クローネは、注記G1に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に分類されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価0(0)百万スウェーデン・クローネは、評価ヒエラルキーのレベル3に分類されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値変動による当期利益への影響は 0(0)百万スウェーデン・クローネであった。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額0(2)百万スウェーデン・クローネであり、このうち、0(2)百万スウェーデン・クローネは売却前はレベル3に分類されていた。当年度の新規不動産の増加額は0(0)百万スウェーデン・クローネであり、このうち、0(0)百万スウェーデン・クローネはレベル3に分類された。

器具備品

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
期首現在取得原価	1,481	1,527
当年度の取得原価の増加	178	252
処分及び除却	-348	-296
外貨換算影響額	15	-2
期末現在取得価額	1,326	1,481
期首現在減価償却及び減損累計額	-929	-903
当年度の予定減価償却	-260	-298
処分及び除却	311	280
外貨換算影響額	6	-8
期末現在減価償却及び減損累計額	-872	-929
帳簿価額	454	552

不動産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
期首現在取得原価	239	238
新規建設及び改築	1	1
処分及び除却	-186	-
期末現在取得価額	54	239

期首現在減価償却及び減損累計額	-113	-105
当年度の予定減価償却	-7	-8
処分及び除却	93	-
期末現在減価償却及び減損累計額	-27	-113

帳簿価額	27	126
-------------	-----------	------------

リース資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
期首現在取得原価	11,606	12,370
当年度の取得原価の増加	2,497	2,265
処分及び除却	-2,923	-2,734
外貨換算影響額	185	-295
期末現在取得価額	11,365	11,606

期首現在減価償却及び減損償却累計額	-4,905	-4,985
当年度の予定減価償却	-1,759	-1,792
当年度中の減損	-26	-26
処分及び除却	1,939	1,779
外貨換算影響額	-52	119
期末現在減価償却及び減損累計額	-4,803	-4,905

帳簿価額	6,562	6,701
-------------	--------------	--------------

期日別の将来リース料の内訳

百万スウェーデン・クローネ

	1年以内	1年から5年	5年超	合計
2021年				
将来のリース支払額の内訳	1,468	4,702	577	6,747
2020年				
将来のリース支払額の内訳	1,423	4,980	548	6,951

リース資産は主に車両及び機械から構成される。リース資産はリース契約期間中にわたり年金法に従い減価償却される。当年度の収益として認識されるリース料は 148(168)百万スウェーデン・クローネであり、このうちリース収益の変動部分は 131(150)百万スウェーデン・クローネである。

注記P22 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
投資銀行業務の決済業務に係る債権	2,736	3,238
その他	19,551	17,537
合計	22,287	20,775

注記P23 前払費用及び未収金

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
未収収益	478	514
前払費用	709	783
合計	1,187	1,297

注記P24 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
預り金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	4,417	36,929
その他金融機関	25,273	28,644
合計	29,690	65,573

預り金（外貨建て）

銀行	69,683	76,198
その他金融機関	54,117	51,283
合計	123,800	127,481

金融機関からの預り金合計	153,490	193,054
---------------------	----------------	----------------

うち、未払利息費用	-15	-4
-----------	-----	----

うち、レボ	-	-
-------	---	---

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
金融機関からの預り金（スウェーデン・クローネ建て）	83,354	70,633
金融機関からの預り金（外貨建て）	150,151	218,297
合計	233,505	288,930

うち、レボ

371

650

[次へ](#)

注記P25 一般顧客からの預金及び借入金

一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

預金（スウェーデン・クローネ建て）

	2021年	2020年
個人	445,912	410,527
法人	379,374	306,855
国債局	1	1
合計	825,287	717,383

預金（外貨建て）

個人	87,562	78,842
法人	218,756	194,911
国債局	-	-
合計	306,318	273,753

一般顧客からの預金合計	1,131,605	991,136
-------------	-----------	---------

一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

借入金（スウェーデン・クローネ建て）

	2021年	2020年
借入金（スウェーデン・クローネ建て）	22,712	17,814
借入金（外貨建て）	18,855	12,180
一般顧客からの借入金合計	41,567	29,994

一般顧客からの預金及び借入金合計	1,173,172	1,021,130
------------------	-----------	-----------

うち、未払利息費用	105	492
-----------	-----	-----

うち、レボ	213	-
-------	-----	---

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客からの預金

	2021年	2020年
一般顧客からの預金（スウェーデン・クローネ建て）	762,006	683,465
一般顧客からの預金（外貨建て）	292,043	287,841
合計	1,054,049	971,306

一般顧客からの借入金

一般顧客からの借入金（スウェーデン・クローネ建て）	54,672	31,257
一般顧客からの借入金（外貨建て）	150,900	93,149
合計	205,572	124,406

うち、レボ	19,209	6,425
-------	--------	-------

注記P26 発行済証券

	2021年		2020年	
	帳簿価額	額面金額	帳簿価額	額面金額
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー				
(スウェーデン・クローネ建て)	567	489	391	423
うち、純損益を通じて公正価値で計上	567	489	391	423
コマーシャル・ペーパー(外貨建て)	477,335	477,085	441,687	440,659
うち、償却原価で計上	476,221	475,976	439,863	438,565
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	905	906	-	-
うち、純損益を通じて公正価値で計上	1,114	1,109	1,824	1,094
合計	477,902	477,574	442,078	441,082
社債				
社債(スウェーデン・クローネ建て)	3,903	3,838	5,217	5,543
うち、償却原価で計上	3,903	3,838	5,217	5,543
社債(外貨建て)	198,003	198,966	210,225	209,242
うち、償却原価で計上	198,003	198,966	210,225	209,242
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	97,422	98,581	65,034	64,470
合計	201,906	202,804	215,442	214,785
発行済証券合計	679,808	680,378	657,520	655,867
うち、未払利息費用	768		1,061	

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	657,520	724,640
発行済	758,776	777,275
買戻	-2,787	-2,666
満期が到来したもの	-765,190	-790,402
外貨換算影響額等	31,489	-51,327
期末現在発行済証券	679,808	657,520

平均残高

	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		
スウェーデン・クローネ	6,150	7,540
外貨	707,114	714,136
合計	713,264	721,676

注記P27 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ

公正価値で計上されるショートポジション

	2021年	2020年
株式	835	658
利付証券	3,270	1,024
合計	4,105	1,682

うち、未払利息費用

21

5

平均残高

百万スウェーデン・クローネ

スウェーデン・クローネ

外貨

	2021年	2020年
スウェーデン・クローネ	21,824	10,977
外貨	229	97
合計	22,053	11,074

注記P28 税金

繰延税金資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
ヘッジ手段	-	563
その他	668	610
合計	668	1,173

繰延税金負債

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
不動産及び器具備品	11	22
ヘッジ手段	230	755
その他	195	-
合計	436	777

繰延税金負債純額

-232

-396

繰延税金の変動、2021年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	22	-11	-	11
ヘッジ手段	192	-	38	230
その他	-610	-56	193	-473
合計	-396	-67	231	-232

繰延税金の変動、2020年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	期末残高
--	------	--------------	----------------	------

不動産及び器具備品	22	0	-	22
ヘッジ手段	613	-	-421	192
その他	-332	-278	-	-610
合計	303	-278	-421	-396

損益計算書に計上された税金費用

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
当期税金		
当期税金費用	-4,672	-4,536
過年度に関する税金の調整	-13	-17
繰延税金		
一時差異の変動	67	278
合計	-4,618	-4,275

税引前利益に対する税率、20.6(21.4)%	-4,389	-4,173
差異	-229	-102

差異の詳細項目

各種損金不算入費用	-262	-37
劣後ローン利息の損金不算入額	-226	-254
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	178	166
税率変更による繰延税金の再測定	-	-7
その他	81	30
合計	-229	-102

注記P29 引当金

引当金、2021年	オフバランスシート項目に対する 予想	リストラクチャリングに係る引当金 ²	その他引当金 ³	合計
百万スウェーデン・クローネ	信用損失引当金 ¹			
期首現在引当金	280	1,929	67	2,276
当期の引当金繰入			35	35
取崩		-1,288	-2	-1,290
戻入			-7	-7
予想信用損失の変動（純額）	-3			-3
期末現在引当金	277	641	93	1,011

引当金、2020年	オフバランスシート項目に対する			合計
	予想	リストラクチャリングに係る引当金 ²	その他引当金 ³	
百万スウェーデン・クローネ	信用損失引当金 ¹			
期首現在引当金	194	864	42	1,100
当期の引当金繰入		1,470	68	1,538
取崩		-405	-8	-413
戻入			-35	-35
予想信用損失の変動（純額）	86			86
期末現在引当金	280	1,929	67	2,276

1) 詳細は、注記P10及びP38を参照のこと。

2) リストラクチャリングに係る引当金は当行のリストラクチャリングに関連する費用である。引当額の大半は当年度中に決済されている。残りの引当金に関しては2022年末までに決済されると見込まれている。

3) 当行に対する債権の決済に将来必要になることが予想される金額はその他引当金として表示されている。

注記P30 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
投資銀行業務の決済業務に係る負債	2,912	3,967
その他	4,719	5,158
合計	7,631	9,125

注記P31 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
未払費用	1,671	1,603
繰延収益	1,378	663
合計	3,049	2,266

注記P32 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	3,003	3,002
劣後ローン(外貨建て)	29,254	38,080
合計	32,257	41,082

うち、未払利息費用	769	915
-----------	-----	-----

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	2,898	3,009
劣後ローン(外貨建て)	30,125	34,062
合計	33,023	37,071

劣後ローン、内訳

発行	満期	通貨	各通貨別の 当初名目金額	金利、%	残高
スウェーデン・ クローネ建て					
2017年	期限付	スウェーデン・クローネ	1,700	0.950%	1,701
2017年	期限付	スウェーデン・クローネ	1,300	1.410%	1,302
合計					3,003

外貨建て

2018年	期限付	ユーロ	750	1.630%	7,785
2018年	期限付	ユーロ	750	1.250%	7,764
2019年	永久	米ドル	500	6.250%	4,908
2020年	永久	米ドル	500	4.380%	4,454
2020年	永久	米ドル	500	4.750%	4,343
合計					29,254

劣後負債合計

32,257

劣後ローンに関する詳細は、第三の柱に関する報告書を参照のこと。

劣後負債の変動

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
期首現在劣後ローン	41,082	35,546
発行済	-	8,916
買戻	-	-2
満期が到来したもの	-9,711	-
外貨換算影響額等	886	-3,378
期末現在劣後ローン	32,257	41,082

注記P33 非課税剰余金

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
器具備品及びリース資産の加速減価償却累計額	687	882
純資産の取得に係るのれんの加速償却累計額	19	51
合計	706	933

注記P34 持分変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

期首ヘッジ準備金

2021年

628

2020年

1,940

キャッシュフロー・ヘッジ

公正価値変動の有効部分

金利リスク

-81

1,402

為替リスク

390

-141

未実現評価差額

損益計算書への振替額¹

-63

-134

法人税

-51

365

期末ヘッジ準備金

823

628

公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

2021年

2020年

期首公正価値評価差額準備金

94

660

未実現評価差額 - 資本性金融商品

59

-572

実現評価差額 - 資本性金融商品

0

684

未実現評価差額 - 負債性金融商品

5

5

予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品

0

1

損益計算書への振替額 - 資本性金融商品²

0

-684

損益計算書への振替額 - 負債性金融商品³

-

-

期末公正価値評価差額準備金

158

94

為替換算調整準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

2021年

2020年

期首為替換算調整準備金

28

2,156

為替換算差額の変動

1,109

-2,129

損益計算書への振替額 - 資本性金融商品⁴

-9

1

利益準備金への振替額 - 負債性金融商品⁵

-53

-

期末為替換算調整準備金

1,075

28

1) 本項目に係る税金37(53)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) 本項目に係る税金0(43)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

3) 本項目に係る税金-(0)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

4) 本項目に係る税金2(-1)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

5) 本項目に係る税金17(-9)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

注記P35 金融資産及び負債の分類

2021年	純損益を通じて公正価値で計上						
百万スウェーデン・ クローネ	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
資産							
現金及び中央銀行 預け金					338,768	338,768	338,768
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	2,513	97,628		397		100,538	100,538
金融機関への貸出金	18,029				968,868	986,897	986,899
一般顧客への貸出金					611,852	611,852	613,972
ポートフォリオ・ヘッ ジにおける金利ヘッ ジ対象の価値変動					-1,904	-1,904	
債券及びその他の 利付証券	6,299	19,008		9,016		34,323	34,323
株式	12,674			807		13,481	13,481
顧客が価値変動リスク を負う資産	8,888				64	8,952	8,952
デリバティブ商品	22,989		7,957			30,946	30,946
その他資産	18				22,269	22,287	22,287
合計	71,410	116,636	7,957	10,220	1,939,917	2,146,140	2,150,166
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						71,967	
非金融資産						12,027	
資産合計						2,230,134	
負債							
金融機関からの預り金					153,490	153,490	153,874
一般顧客からの預金 及び借入金					1,173,172	1,173,172	1,173,158
顧客が価値変動リスク を負う負債		8,888			64	8,952	8,952
発行済証券	1,681				678,127	679,808	684,331
デリバティブ商品	18,104		2,929			21,033	21,033
ショートポジション	4,105					4,105	4,105
その他負債	7				7,624	7,631	7,631
劣後負債					32,257	32,257	33,645
合計	23,897	8,888	2,929		2,044,734	2,080,448	2,086,729
非金融負債						4,760	
負債合計						2,085,208	

2020年	純損益を通じて公正価値で計上						
百万スウェーデン・ クローネ	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
資産							
現金及び中央銀行 預け金					297,362	297,362	297,362
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	3,928	94,024		401	762	99,115	99,115
金融機関への貸出金	21,812				931,838	953,650	959,434
一般顧客への貸出金					566,145	566,145	569,895
ポートフォリオ・ヘッ ジにおける金利ヘッ ジ対象の価値変動					13	13	
債券及びその他の 利付証券	11,929	26,640		7,964		46,533	46,533
株式	13,614			699		14,313	14,313
顧客が価値変動リスク を負う資産	7,345				60	7,405	7,405
デリバティブ商品	22,332		10,699			33,031	33,031
その他資産	30				20,745	20,775	20,775
合計	80,990	120,664	10,699	9,064	1,816,92	2,038,342	2,047,863
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						73,057	
非金融資産						13,464	
資産合計						2,124,863	
負債							
金融機関からの預り金					193,054	193,054	193,552
一般顧客からの預金 及び借入金					1,021,130	1,021,130	1,021,118
顧客が価値変動リスク を負う負債		7,345			60	7,405	7,405
発行済証券	2,215				655,305	657,520	664,277
デリバティブ商品	38,074		6,700			44,774	44,774
ショートポジション	1,682					1,682	1,682
その他負債	38				9,087	9,125	9,125
劣後負債					41,082	41,082	42,674
合計	42,009	7,345	6,700		1,919,718	1,975,772	1,984,607
非金融負債						5,319	
負債合計						1,981,091	

注記P36 金融商品の公正価値測定

公正価値で計上される金融商品、2021年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	2,188	325	-	2,513

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	97,628	-	-	97,628
---------------------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	327	-	-	327
--------------------	-----	---	---	-----

金融機関への貸出金	-	18,029	-	18,029
-----------	---	--------	---	--------

債券及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	5,251	1,048	-	6,299
--------------------	-------	-------	---	-------

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	19,008	-	-	19,008
---------------------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	2,291	6,725	-	9,016
--------------------	-------	-------	---	-------

株式

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	11,965	709	-	12,674
--------------------	--------	-----	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	-	200	607	807
--------------------	---	-----	-----	-----

顧客が価値変動リスクを負う資産	8,404	-	484	8,888
-----------------	-------	---	-----	-------

デリバティブ商品	22	30,881	43	30,946
----------	----	--------	----	--------

合計	147,154	57,917	1,135	206,205
----	---------	--------	-------	---------

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	8,404	-	484	8,888
-----------------	-------	---	-----	-------

発行済証券	-	1,681	-	1,681
-------	---	-------	---	-------

デリバティブ商品	51	20,939	43	21,033
----------	----	--------	----	--------

ショートポジション	3,903	202	-	4,105
-----------	-------	-----	---	-------

合計	12,358	22,822	527	35,707
----	--------	--------	-----	--------

公正価値で計上される金融商品、2020年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	3,088	840	-	3,928

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	94,024	-	-	94,024
---------------------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	401	-	-	401
--------------------	-----	---	---	-----

金融機関への貸出金	-	21,812	-	21,812
-----------	---	--------	---	--------

債券及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	10,167	1,762	-	11,929
--------------------	--------	-------	---	--------

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	26,640	-	-	26,640
その他包括利益を通じて公正価値で測定	3,090	4,874	-	7,964
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	13,196	417	-	13,613
その他包括利益を通じて公正価値で測定	-	186	514	700
顧客が価値変動リスクを負う資産	6,871	-	474	7,345
デリバティブ商品	267	32,684	80	33,031
合計	157,745	62,574	1,068	221,387

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	6,871	-	474	7,345
発行済証券	-	2,215	-	2,215
デリバティブ商品	253	44,441	80	44,774
ショートポジション	1,488	194	-	1,682
合計	8,612	46,850	554	56,016

レベル3の保有金融商品の変動

2021年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ資産	デリバティブ負債	顧客が価値変動リスクを負う資産	顧客が価値変動リスクを負う負債
期首現在帳簿価額	514	80	-80	474	-474
取得	32	1	-2	-	-
買戻/売却	-	9	-7	-	-
満期が到来したもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額（損益計算書に計上）	54	-131	130	10	-10
未実現評価差額(その他包括利益に計上)	8	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	10	-10	-	-
レベル1又は2への振替	-	74	-74	-	-
期末現在帳簿価額	608	43	-43	484	-484

レベル3の保有金融商品の変動

2020年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ資産	デリバティブ負債	顧客が価値変動リスクを負う資産	顧客が価値変動リスクを負う負債
期首現在帳簿価額	1,252	69	-70	493	-493
取得	6	9	-13	-	-
買戻/売却	-698	-	5	-	-
満期が到来したもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額（損益計算書に計上）	-8	-16	16	-	-

未実現評価差額(その他包括利益 に計上)	-38	-	-	-19	19
レベル1又は2からの振替	-	17	-17	-	-
レベル1又は2への振替	-	1	-1	-	-
期末現在帳簿価額	514	80	-80	474	-474

償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2021年

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	338,768	-	-	338,768
中央銀行への担保として適格な利付証券	-	-	-	-
金融機関への貸出金	3,891	964,586	393	968,870
一般顧客への貸出金	13,345	6,781	593,846	613,972
顧客が価値変動リスクを負う資産	64	-	-	64
合計	356,068	971,367	594,239	1,921,764

負債

金融機関からの預り金	9,507	144,367	-	153,874
一般顧客からの預金及び借入金	1,157,669	15,489	-	1,173,158
顧客が価値変動リスクを負う負債	64	-	-	64
発行済証券	179,044	503,606	-	682,650
劣後負債	-	33,645	-	33,645
合計	1,346,284	697,107	-	2,043,391

償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2020年

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	297,362	-	-	297,362
中央銀行への担保として適格な利付証券	709	53	-	762
金融機関への貸出金	33,508	903,591	523	937,622
一般顧客への貸出金	4,254	1,667	563,974	569,895
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	60	-	60
合計	335,833	905,371	564,497	1,805,701

負債

金融機関からの預り金	47,239	146,313	-	193,552
一般顧客からの預金及び借入金	998,466	22,652	-	1,021,118
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	60	-	60
発行済証券	129,949	532,113	-	662,062
劣後負債	-	42,674	-	42,674
合計	1,175,654	743,812	-	1,919,466

注記P37 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産

自己の負債の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
現金	5,016	19,121
国債及び債券	6,460	2,398
株式	448	297
その他	683	614
合計	12,607	22,430

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 25 28

その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
現金	201	204
国債及び債券	5,767	40,844
株式	7,008	6,285
その他	391	213
合計	13,367	47,546

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 3,556 37,504

その他担保資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

受け入れた担保

売戻契約及び証券貸付の構成要素として、当行グループは、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な資産を受領している。この種の受取った資産の公正価値は、当年度末現在において、63,709(25,704)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた資産の価値は、26,632(10,653)百万スウェーデン・クローネであった。

貸借対照表に計上されている譲渡金融資産

	2021年		2020年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
株式、証券貸付	7,349	284 ¹	6,526	306 ¹
国債及び債券、買戻契約	4,142	67	386	-
国債及び債券、その他	1,946	-	1,108	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	552	552	538	538
合計	13,989	903	8,558	844

1) 現金で受領した担保

注記P38 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
偶発債務		
保証、貸出金	19,047	24,096
保証、その他	67,422	73,084
取消不能な信用状	1,033	2,294
その他	-	-
合計	87,502	99,474
うち、減損テスト対象となるもの	87,502	99,474
債務		
ローン・コミットメント	310,883	299,910
当座貸越枠の未使用分	114,829	111,887
その他 ¹	210,531	48,438
合計	636,243	460,235
うち、減損テストの対象となるもの	493,807	319,460
偶発債務合計	723,745	559,709
引当金として計上される予想信用損失引当金（注記P29参照）	277	280

1) 「その他」には、子会社に対する流動性の内部保証187,934(34,896)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

偶発債務

偶発債務は、主に様々な種類の保証より構成されている。信用保証は、信用機関及び年金機関の債務を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主として入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。偶発債務には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

請求

ハンデルスバンケンは、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。これらの裁判は、基本的に当行に有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行の財政状態にも損益にも大きな影響を及ぼさないと評価されている。

報酬

事業売却日まで当行に在籍するデンマーク及びフィンランドの従業員は追加報酬を受け取る。現時点で当該報酬額を見積もることは不可能であるが、目下当行グループの損益にも財政状態にも重要な影響を与えることはないとは評価されている。

注記P39 年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
制度資産の公正価値	35,174	33,554
年金債務	35,142	34,899
正味年金¹	32	-1,345

年金債務は、スウェーデン金融監督庁の規定に従って算定されている。スウェーデンにおける年金債務は年金債務保護法に従って算定され、国外における年金債務は現地の規則に従って算定される。制度資産は、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse、Pensionskassan SHB及びTjänstepensionsförening、のほか、海外の年金契約に関する制度資産は類似する法人が保有している。Pensionskassanの資産も保険数理上の準備金もPensionskassanとの保険契約を有する会社に割り当てることはできないため、これらの資産及び準備金は上表にも含まれていない。当行の年金基金（Pensionskassan SHB、Tjänstepensionsförening）における年金債務は、7,281(7,704)百万スウェーデン・クローネであり、年金資産の市場価値は、17,085(15,600)百万スウェーデン・クローネである。したがって、Pensionskassan SHB、Tjänstepensionsföreningにおける余剰金は、9,804(7,896)百万スウェーデン・クローネである。

スウェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseの制度資産の公正価値の8,948(9,692)百万スウェーデン・クローネは、1989年から2004年にかけて特例付加年金（以下、「SKP」という。）に対して計上された引当金である。当該債務には、制度資産の公正価値と同額のSKPに関する債務が含まれている。

この債務のうち、6,694(7,276)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

1) Pensionskassan SHB、Tjänstepensionsföreningにおける余剰金は親会社の年金債務を補うために使用可能であり、債務の一部は条件付債務であるため、親会社の不足分は2020年の貸借対照表上に負債として計上されていない。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
年金支払額	-1,345	-1,068
年金保険料 ²	-514	-469
社会保障費	-209	-169
当行の年金信託からの報酬	568	545
当行の年金信託への支払額	-45	-73
年金費用合計	-1,545	-1,234

確定給付年金制度の翌年度の支払予定額は、1,359百万スウェーデン・クローネである。年金保険料費用には、BTPK制度（確定拠出年金制度）への保険料94(95)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
期首残高	33,554	31,212
運用収益	2,143	2,814
年金基金への拠出	45	73
年金基金からの補償	-568	-545
期末残高	35,174	33,554

制度資産の収益率 6% 9%

年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
期首残高	34,899	32,799
管理手数料	963	989
利息	115	213
指数化	98	326
早期退職	193	154
年金支払額	-1,345	-1,068
仮定の変更 ³	196	1,448
条件付債務の価値変動	141	114
制度変更による影響 ²	-	-8
元本価値のその他の変動	-118	-68
期末残高	35,142	34,899

2) 2020年にドイツの確定給付年金制度を移管したことにより、2020年12月31日現在でドイツの年金債務が8百万スウェーデン・クローネ減少し、年金費用に14百万スウェーデン・クローネのプラスの効果が生じた。詳細については注記G8を参照のこと。

3) 主に、スウェーデン金融監督庁の指令に基づく仮定の変更の影響である。

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
株式及びファンドの持分 ⁴	32,806	31,039
利付証券	2,066	2,016
その他制度資産 ⁵	302	499
合計	35,174	33,554

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BAO」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額7.5までは年収の10%としている。所得基準額の7.5から20の給与部分については、退職年金は65%で、所得基準額の20から30の給与部分については、退職年金は32.5%である。所得基準額30を上回る給与については、退職年金は支給されない。当該年金債務の価値は、年金数理上の仮定に基づいて、毎年、貸借対照表日に計算される。2020年3月1日から、すべての新入従業員及び25歳未満の従業員の年金は確定拠出年金制度で積み立てられる。2020年3月1日より前に雇用された従業員はこの影響を受けず、依然として確定給付年金制度の対象となっている。

スウェーデンにおいて最も重要な算定上の仮定は死亡率及び割引率である。死亡率及び割引率の仮定は、年金債務保護法の仮定に従っている。割引率は、税金及び一般管理費用に関する考慮後で0.0(0.0)%である。海外の年金債務は現地の会計処理上の規定に従って算定されている。

4) ファンドの持分は主に債券ファンドに投資されており、金額は19,962(14,619)百万スウェーデン・クローネに上る。

5) その他制度資産には、主に流動資金と年金基金からの未払報酬に関する負債が含まれている。

注記P40 通貨別資産及び負債

2021年 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デン マーク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	93,293	149,547	4,578	28,282	-	63,008	60	338,768
金融機関への貸出金	709,934	49,326	75,885	51,749	96,217	3,258	528	986,897
一般顧客への貸出金	172,273	182,170	177,558	57,164	6,790	12,961	2,936	611,852
うち、法人	144,009	106,658	152,752	43,339	6,745	12,773	1,463	467,739
うち、個人	28,264	75,512	24,806	13,825	45	188	1,473	144,113
中央銀行への担保として適格な 利付証券	91,630	5,658	335	2	-	2,913	-	100,538
債券及びその他の利付証券	24,137	965	8,741	-	-	480	-	34,323
その他項目（通貨別内訳なし）	157,756							157,756
資産合計	1,249,023	387,666	267,097	137,197	103,007	82,620	3,524	2,230,134
負債								
金融機関からの預り金	29,690	55,754	16,264	2,366	40,309	9,015	92	153,490
一般顧客からの預金及び借入金	847,998	148,403	89,683	52,164	5,163	27,588	2,173	1,173,172
うち、法人	394,558	118,457	59,863	28,857	4,046	24,261	1,471	631,513
うち、個人	453,440	29,946	29,820	23,307	1,117	3,327	702	541,659
発行済証券	4,470	293,135	205	7	24,887	339,775	17,329	679,808
劣後負債	3,003	15,547	-	-	0	13,707	-	32,257
その他項目（通貨別内訳なし、 資本含む）	191,407							191,407
負債及び資本合計	1,076,568	512,839	106,152	54,537	70,359	390,085	19,594	2,230,134
通貨別その他資産及び負債、純額		125,131	-160,782	-82,658	-32,524	307,452	16,124	
正味外貨ポジション		-42	163	2	124	-13	54	288

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

2020年 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デン マーク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	84,525	128,206	18,025	212	0	65,480	914	297,362
金融機関への貸出金	650,539	55,109	71,127	67,369	103,644	4,479	1,383	953,650
一般顧客への貸出金	160,420	172,429	160,731	49,041	6,518	14,473	2,533	566,145
うち、法人	130,748	106,470	135,476	34,160	6,457	14,308	1,011	428,630
うち、個人	29,672	65,959	25,255	14,881	61	165	1,522	137,515
中央銀行への担保として適格な 利付証券	89,688	5,457	839	1	-	2,368	762	99,115
債券及びその他の利付証券	35,796	1,420	7,285	-	0	2,032	-	46,533
その他項目（通貨別内訳なし）	162,058							162,058
資産合計	1,183,026	362,621	258,007	116,623	110,162	88,832	5,592	2,124,863
負債								
金融機関からの預り金	65,573	42,256	26,461	2,619	39,574	16,101	470	193,054
一般顧客からの預金及び借入金	735,197	128,970	83,919	47,218	4,967	18,987	1,872	1,021,130

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

うち、法人	315,675	103,484	58,601	24,296	3,296	15,881	1,260	522,493
うち、個人	419,522	25,486	25,318	22,922	1,671	3,106	612	498,637
発行済証券	5,608	285,743	368	104	28,193	320,815	16,689	657,520
劣後負債	3,002	15,213	-	-	0	22,867	-	41,082
その他項目（通貨別内訳なし、 資本含む）	212,077							212,077
負債及び資本合計	1,021,457	472,182	110,748	49,941	72,734	378,770	19,031	2,124,863
通貨別その他資産及び負債、純額		109,673	-147,195	-66,608	-37,333	289,927	13,466	
正味外貨ポジション		112	64	74	95	-11	27	361

注記P41 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	子会社		関連会社及びジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ						
金融機関への貸出金	965,802	911,996	-	-	-	-
一般顧客への貸出金	1,132	1,132	439	493	-	-
デリバティブ	2,428	2,417	-	-	-	-
その他資産	16,792	15,194	29	32	572	560
合計	986,154	930,739	468	525	572	560
金融機関からの預り金	72,395	71,570	-	-	-	-
一般顧客からの預金及び借入金	13,594	10,236	113	115	1,058	853
デリバティブ	7,236	11,956	-	-	-	-
劣後負債	-	-	-	-	-	-
その他負債	84	101	-	-	-	-
合計	93,309	93,863	113	115	1,058	853
偶発債務	15,853	18,968	-	-	7,281	7,704
デリバティブ、想定元本	566,710	367,382	-	-	-	-

関連当事者 - 収益及び費用	子会社		関連会社及びジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ						
利息収益	4,023	5,092	25	9	-	-
利息費用	-281	-364	0	0	-	-
手数料及びコミッション収益	-	0	-	0	-	-
手数料及びコミッション費用	-	0	-227	-205	-	-
公正価値で評価される金融項目からの 純損益	-	0	0	0	-	-
その他収益	2,848	2,648	-	0	17	19
その他費用	-423	-386	-73	-54	-	-

合計	6,167	6,990	-275	-250	17	19
----	-------	-------	------	------	----	----

注記P16には、子会社及び関連会社に関する情報が記載されている。関連会社の事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）、Pensionskassan SHB及びFörsäkringsförening（年金ファンド）の各社は、その他の関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。当行グループ及び関連会社に対する株主の拠出に関する情報は、注記P16に開示されている。

2021年10月21日、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseからAB IndustrivärdenのクラスA株式 30,461,977株を8,548百万スウェーデン・クローネで取得した。これらの株式は、その後、特別配当として当行の株主に分配された。関連会社との商取引はすべて市場ベースの条件で行われている。

子会社従業員に対するこの年金ファンドの債務は親会社によって保証されているため、年金ファンドが債務を支払えない場合には、親会社がその債務を引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は7,281(7,704)百万スウェーデン・クローネである。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseに対し、年金費用の568(545)百万スウェーデン・クローネ及び特別補足年金(-)百万スウェーデン・クローネを請求し、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelseからは従業員のための給付費用として63(43)百万スウェーデン・クローネを請求した。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記P42 利益処分案

取締役会は、一株当たり5.00スウェーデン・クローネ(2020年度は8.42スウェーデン・クローネ、うち普通株式は4.10スウェーデン・クローネ)の配当金を提案している。取締役会の利益処分案は、217ページ（訳注：原文のページ数である。）に記載されている。

注記P43 株式情報

2021年12月31日	資本の割合		議決権の割合		1株当たりの
株式のクラス	株式数	%	%	株式資本	価値
クラスA	1,944,777,165	98.22	99.82	3,014,404,606	1.55
クラスB	35,251,329	1.78	0.18	54,639,560	1.55
	1,980,028,494	100.00	100.00	3,069,044,166	

注記P44 重要な後発事象

貸借対照表日以降、重要な後発事象はなかった。

注記P45 売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業

当行のデンマーク及びフィンランドの事業における資産並びに負債は、「売却目的で保有する資産及び負債」を構成し、IFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に準拠する処分グループである。デンマーク及びフィンランドにおける事業は、非継続事業も構成している。当該会計方針の詳細については注記P1を参照のこと。

・デンマークの処分グループ及び非継続事業は、ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのデンマークにおける海外支店から成る。

・フィンランドの処分グループ及び非継続事業は、ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのフィンランドにおける海外支店から成る。

また、子会社であるEjendomselskabet af 1. maj 2009 A/S、Handelsinvest investeringsforvaltning A/S、Handelsbanken Forsikringsformidling A/S及びLokalbolig A/Sの株式も、売却目的で保有する資産を構成している。

売却目的で保有する資産及び負債に関する開示**売却目的で保有する資産及び負債、2021年**

(百万スウェーデン・クローネ)

資産

	デンマーク	フィンランド	合計
現金及び中央銀行預け金	28,282	120,098	148,380
中央銀行へのその他貸出金	207	0	207
中央銀行への担保として適格な利付証券	0	0	0
その他金融機関への貸出金	36	57	93
一般顧客への貸出金	60,953	81,465	142,418
うち、個人	13,864	24,214	38,078
うち、企業	47,089	57,251	104,340
債券及びその他の利付証券	0	0	0
株式 ¹	454	0	454
子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	139	-	139
顧客が価値変動リスクを負う資産	6,770	0	6,770
無形資産	21	110	131
不動産及び器具備品	22	16	38
その他	306	314	620
合計	97,190	202,060	299,250

負債

金融機関からの預り金	230	344	574
一般顧客からの預金及び借入金	54,135	59,984	114,119
うち、個人	23,663	19,699	43,362
うち、法人	30,472	40,285	70,757
顧客が価値変動リスクを負う負債	6,770	0	6,770
引当金	57	78	135
その他	290	960	1,250
合計	61,482	61,366	122,848

これらの資産に関連する2021年通期の金額46百万スウェーデン・クローネは、「その他包括利益」及び「資本の公正価値評価差額準備金」に計上されている。

当行はデンマーク及びフィンランドのユニットの売却プロセスを開始している。

売却費用控除後の公正価値と帳簿価額のいずれか低い額による各処分グループの評価では、減損損失は一切生じていない。売却費用控除後の公正価値と帳簿価額のいずれか低い額による、子会社である Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S、Handelsinvest investeringsforvaltning A/S、Handelsbanken Forsikringsformidling A/S及びLokalbolig A/Sの株式の評価では、減損損失は一切生じていない。

非継続事業

非継続事業からの収益、費用及び利益

デンマーク

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
純利息収益	1,031	1,093
純手数料及びコミッション収益	724	648
金融取引による純損益	171	168
リスク費用	0	0
その他収益	34	3
収益合計	1,960	1,912
人件費	-870	-884
その他費用	-584	-484
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-41	-106
費用合計	-1,495	-1,474
正味信用損失	20	-33
営業利益	485	405
処分	32	94
非継続事業からの税引前当期利益	517	499
法人税等	-87	-57
非継続事業からの税引後当期利益	430	442
上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引 ¹		
収益	-122	-157
費用	-69	-55

フィンランド

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
純利息収益	484	424
純手数料及びコミッション収益	338	350
金融取引による純損益	51	53

リスク費用	0	0
その他収益	141	7
収益合計	1,014	834
人件費	-532	-530
その他費用	-670	-442
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-233	-21
費用合計	-1,435	-993
正味信用損失	40	-94
非継続事業からの税引前当期利益	-381	-253
法人税等	-186	-33
非継続事業からの税引後当期利益	-567	-286

上記損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引¹

収益	442	362
費用	-158	-163

- 1) 本年度の継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てスウェーデンのグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。

非継続事業からの税引後当期利益	-137	156
------------------------	-------------	------------

非継続事業からのキャッシュ・フロー

デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ

	2021年	2020年
営業活動からのキャッシュ・フロー	30,979	13,153
投資活動からのキャッシュ・フロー	-189	54
財務活動からのキャッシュ・フロー	-	-
非継続事業からの当期キャッシュ・フロー	30,790	13,207

注記P46 自己資本比率

この表示は、欧州委員会実施規則(EU)637/2021の要件に準拠している。現在、ハンデルスバンケンに関連していないと考えられる行は削除されている。

規制上の自己資本の構成 - 親会社		2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ		開示日現在の金額	開示日現在の金額
普通株式等Tier 1資本：資本調達手段及び準備金			
1	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	11,827	11,827
	うち、株式資本	11,827	11,827
	うち、転換証券		
2	利益剰余金	113,648	115,034
3	その他包括利益累計額（及び適用される会計基準による未実現損益を含むその他準備金）	2,058	752
5a	独立してレビューされる中間利益（予測可能な費用又は配当金控除後）	6,788	7,108
6	規制上の調整前の普通株式等Tier 1(CET1)資本	134,321	134,721
普通株式等Tier 1(CET1)資本：規制上の調整			
7	追加的な評価調整（負の金額）	-430	-239
8	無形資産（関連する税金負債控除後）（負の金額）	-3,110	-3,408
11	キャッシュフロー・ヘッジに係る損益に関する公正価値評価差額準備金	-823	-628
12	予想損失額の算定から生じた負の金額	-480	-445
14	自己の信用力の変化に起因する公正価値で計上する負債に係る損益	4	9
15	確定給付年金基金資産（負の金額）	-	-
16	金融機関による自己のCET1資本調達手段の直接及び間接保有（負の金額）	-427	-466
19	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接、間接及び合成的な手法による保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-
20a	金融機関が他の控除方法を選択した場合に1,250%のリスク加重が適用される、下記項目のエクスポージャー額	-	-
20c	うち、証券化ポジション（負の金額）	-	-
21	一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を上回る金額、第38(3)条の条件を満たす関連税金負債控除後）（負の金額）	-	-
22	基準値の17.65%を超過した金額（負の金額）	-	-
23	うち、金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接及び間接保有	-	-
25	うち、一時差異によって生じた繰延税金資産	-	-
25a	当年度の損失（負の金額）	-	-
25b	CET1項目に関連して予測される税金費用（負の金額）	-	-
27	金融機関のAT1資本を超過する適格AT1控除（負の金額）	-	-
28	普通株式等Tier 1 (CET1) 資本に対する規制上の調整合計	-5,266	-5,177
29	普通株式等Tier 1資本	129,055	129,544
その他Tier 1 (AT1) 資本：資本調達手段			
30	資本調達手段及び関連資本剰余金勘定	13,513	21,980

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

32	うち、適用される会計基準に基づき負債に分類されるもの	13,513	21,980
33	AT1から段階的に除外される第484(4)条の適格項目及び関連資本剰余金勘定の金額	-	-
36	規制上の調整前のその他Tier 1 (AT1) 資本	13,513	21,980
その他Tier 1 (AT1) 資本：規制上の調整			
37	金融機関による自己のAT1資本調達手段の直接及び間接保有（負の金額）	-	-9,808
40	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するAT1資本調達手段の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-
42	金融機関のTier 2 (T2) 資本を超過する適格T2の控除（負の金額）	-	-
43	その他Tier 1 (AT1) 資本に対する規制上の調整合計	-	-9,808
44	その他Tier 1 (AT1) 資本	13,513	12,172
45	Tier 1資本 (T1=CET1+AT1)	142,568	141,716
Tier 2 (T2) 資本：資本調達手段及び引当金			
46	資本調達手段及び関連資本剰余金勘定	18,364	18,032
50	信用リスク調整	1	16
51	規制上の調整前のTier 2 (T2) 資本	18,365	18,048
Tier 2 (T2) 資本：規制上の調整			
52	金融機関による自己のT2資本調達手段及び劣後ローンの直接及び間接保有（負の金額）	-	-
55	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するT2資本調達手段及び劣後ローンの直接及び間接保有（適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-1,129	-1,129
57	Tier 2 (T2) 資本の規制上の調整合計	-1,129	-1,129
58	Tier 2 (T2) 資本	17,236	16,919
59	資本合計 (TC=T1+T2)	159,804	158,635
60	リスク加重資産合計	426,749	409,265
自己資本比率及びバッファ			
61	普通株式等Tier 1比率（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	30.2	31.7
62	Tier 1（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	33.4	34.6
63	資本合計（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	37.4	38.8
64	金融機関特有のバッファ要件（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合として表される第92(1)(a)条によるCET1要件、資本保全及びカウンターシクリカル・バッファ要件、システムミック・リスク・バッファ、金融システム上重要な金融機関バッファ（G-SII又はO-SIIバッファ））	2.6	2.6
65	うち、資本保全バッファ要件	2.5	2.5
66	うち、カウンターシクリカル・バッファ要件	0.1	0.1
67	うち、システムミック・リスク・バッファ要件	0.0	0.0
67a	うち、グローバルにシステム上重要な金融機関（G-SII）又はその他のシステム上重要な金融機関（O-SII）バッファ	0.0	0.0
68	バッファ要件を満たすために利用可能な普通株式等Tier 1資本（リスク・エクスポージャー額に対する割合）	25.7	27.2

72	金融機関の重要な投資先ではない金融機関等が発行する資本の直接及び間接保有 (基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後)	0	0
73	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接及び 間接保有(基準値の17.65%を下回る金額、適格ショートポジション控除後)	6,254	-
75	一時差異によって生じた繰延税金資産(基準値の17.65%を下回る金額、第38(3)条 の条件を満たしている関連税金負債控除後)	-231	0

Tier 2における引当金の算入に適用される上限額

76	標準的手法の対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれている信用リスク調 整(上限額適用前)	-	-
77	標準的手法に基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	1,836	2,025
78	内部格付手法の対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれる信用リスク調整 (上限額適用前)	-	-
79	内部格付手法に基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	1,316	1,138

**段階的廃止対象の資本調達手段(2013年1月1日から2022年1月1日までの期間のみに
適用)**

80	段階的廃止対象のCET1資本調達手段に係る現在の上限額	-	-
81	上限を上回りCET1から除外された金額(償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-
82	段階的廃止対象のAT1資本調達手段に係る現在の上限額	-	-
83	上限を上回りAT1から除外された金額(償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-
84	段階的廃止対象のT2資本調達手段に係る現在の上限額	-	-
85	上限を上回りT2から除外された金額(償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-

EU KM1 - 主要指標

主要指標、2021年		2021年
利用可能な自己資本（金額）		
1	普通株式等Tier 1 資本	129,054
2	Tier 1 資本	142,567
3	資本合計	159,803
リスク加重エクスポージャー額		
4	リスク加重エクスポージャー合計額	426,749
自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)		
5	普通株式等Tier 1 資本比率(%)	30.2%
6	Tier 1 資本比率(%)	33.4%
7	総自己資本比率(%)	37.4%
過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)		
EU7a	過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	1.6%
EU7b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	0.9%
EU7c	うち、Tier 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.2%
EU7d	SREPに基づく所要自己資本合計(%)	9.6%
結合バッファ要件(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)		
8	資本保全バッファ(%)	2.5%
EU8a	加盟国単位で特定されたマクロ・ブルーデンスのリスク又はシステムミック・リスクに対する保全バッファ(%)	
9	金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファ(%)	0.2%
EU9a	システムミック・リスク・バッファ(%)	
10	グローバルにシステム上重要な金融機関バッファ(%)	
EU10a	その他の金融システム上重要な金融機関バッファ(%)	
11	結合バッファ要件(%)	2.7%
EU11a	所要自己資本合計(%)	12.2%
12	SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET 1 (%)	23.8%
レバレッジ比率		
13	総エクスポージャーの額	1,500,320
14	レバレッジ比率(%)	9.5%
過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本（エクスポージャー合計額に対する割合）		
EU14a	過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	
EU14b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	
EU14c	SREPに基づくレバレッジ比率要件(%)	3.0%
EU14d	レバレッジ比率バッファ要件(%)	
EU14e	レバレッジ比率要件合計(%)	
流動性カバレッジ比率		
15	高品質な流動資産(HQLA)合計(加重平均)	682,980
EU16a	資金流出額(加重平均)	593,559
EU16b	資金流入額(加重平均)	118,459
16	純資金流出額(調整額)	475,100
17	流動性カバレッジ比率(%)	144%
安定調達比率		

18	利用可能な安定調達資金	1,271,284
19	所要安定調達額	1,293,235
20	NSFR(%)	98%

EU 0V1 - リスク加重エクスポージャー額の概要

1. 下表は、2021年度末における信用リスク、カウンターパーティ・リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額（RWA）を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法により算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法により算出される。信用リスクに係るリスク加重エクスポージャー額（RWA）は前年度に比べ減少した。カウンターパーティ・リスクに係るRWAは前年度に比べ増加した。市場リスクに係るRWAは前年度に比べ減少した。

リスク加重エクスポージャー額の概要		リスク加重エクスポージャー合計額 (TREA) 2021年	リスク加重エクスポージャー合計額 (TREA)	最低所要自己資本 2021年
百万スウェーデン・クローネ				
1	信用リスク（カウンターパーティ信用リスク(CCR)を除く）	356,666		28,534
2	うち、標準的手法	146,667		11,734
3	うち、基礎的IRB手法(F-IRB)	40,123		3,209
4	うち、スロットティング方式			
EU4a	うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	3,310		265
5	うち、先進的IRB手法(A-IRB)	136,021		10,882
5a		30,545		2,444
6	カウンターパーティ信用リスク(CCR)	12,255		980
7	うち、標準的手法	8,924		714
8	うち、内部モデル方式(IMM)			
EU8a	うち、CCPに対するエクスポージャー	212		17
EU8b	うち、信用評価調整 - CVA	2,614		209
9	うち、他のCCR	505		40
10	該当なし			
11	該当なし			
12	該当なし			
13	該当なし			
14	該当なし			
15	決済リスク	15		1
16	非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー（上限適用後）			
17	うち、SEC-IRBA手法			
18	うち、SEC-ERBA手法（IAAを含む）			
19	うち、SEC-SA手法			
EU19a	うち、1250% / 控除			
20	ポジション、外国為替及びコモディティ・リスク（市場リスク）	18,696		1,496
21	うち、標準的手法	18,696		1,496
22	うち、IMA			
23	オペレーショナル・リスク	39,118		3,129
EU23a	うち、基礎的指標手法			
EU23b	うち、標準的手法	39,118		3,129
EU23c	うち、先進的計測手法			
24	控除の基準値未満の額（リスクウェイトは250%）			
25	該当なし			
26	該当なし			
27	該当なし			
28	該当なし			

29	合計	426,749	34,140
----	----	---------	--------

標準的手法に基づいた市場リスク

下表は、2021年度末現在の標準的手法に基づいた市場リスクに係る所要自己資本を示したものである。

標準的手法に基づいた市場リスク

百万スウェーデン・クローネ

アウトライト商品

金利リスク（一般的ナリスク及び特定のリスク）

199

596

株価リスク（一般的ナリスク及び特定のリスク）

1

2

為替リスク

1,281

455

コモディティ・リスク

1

1

オプション

簡便法

-

-

データプラス法

-

-

シナリオ・アプローチ

14

11

証券化（特定のリスク）

-

-

合計

1,496

1,065

IRB手法が容認された 信用リスク・エクスポージャー	エクスポージャー額		リスク加重 エクスポージャー額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ								
ソブリン・エクスポージャー	501,686	372,232	7,050	5,067	564	405	1.4	1.4
法人エクスポージャー	539,996	469,731	134,649	132,895	10,772	10,632	24.9	28.3
法人貸付	523,410	459,004	130,037	129,712	10,403	10,377	24.8	28.3
うち、その他貸付（自行推計 のLGD及びCCFを使用しないIRB手法）	92,263	86,835	21,401	22,767	1,712	1,821	23.2	26.2
うち、その他貸付（自行推計 のLGD及びCCFを使用するIRB手法）	431,147	372,169	108,636	106,945	8,691	8,556	25.2	28.7
うち、大企業	144,882	116,650	45,387	44,014	3,631	3,521	31.3	37.7
うち、中規模企業	47,473	44,474	17,312	16,884	1,385	1,351	36.5	38.0
うち、不動産会社	238,792	211,045	45,937	46,045	3,675	3,684	19.2	21.8
カウンターパーティリスク	16,586	10,727	4,612	3,183	369	255	27.8	29.7
住宅協同組合	18,954	20,478	1,879	1,943	150	155	9.9	9.5
リテール・エクスポージャー	166,801	160,828	25,711	26,398	2,057	2,112	15.4	16.4
個人	151,957	144,987	20,412	20,555	1,633	1,644	13.4	14.2
うち、不動産貸付	123,037	117,611	14,785	15,083	1,183	1,207	12.0	12.8
うち、その他	28,920	27,376	5,627	5,472	450	437	19.5	20.0
小規模企業	14,844	15,841	5,299	5,843	424	468	35.7	36.9
金融機関エクスポージャー	44,506	38,121	11,228	10,532	898	843	25.2	27.6
金融機関への貸付	34,611	16,846	6,609	5,128	529	410	19.1	30.4
カウンターパーティリスク	9,895	21,275	4,619	5,404	369	433	46.7	25.4
株式エクスポージャー	895	787	3,310	2,911	265	233	370.0	370.0
うち、上場株式	-	-	-	0	-	-	-	-
うち、その他株式	895	787	3,310	2,911	265	233	370	370.0
非信用債務資産のエクスポージャー	5,133	680	5,034	680	403	54	98.1	100.0
証券化ポジション	-	16	-	49	-	4	-	312.3
うち、伝統的証券化	-	16	-	49	-	4	-	312.3
うち、合成的証券化	-	-	-	-	-	-	-	-
IRB手法合計	1,277,971	1,062,873	188,861	180,475	15,109	14,438	14.8	17.0

スウェーデンにおける住宅ロー ンのリスク加重フロア¹

ノルウェーにおける住宅ローン

のリスク加重フロア²

ノルウェーの企業の不動産担保

に係るリスク加重フロア³

IRB手法合計及び住宅ローンの

リスク加重フロアの影響 1,277,971 1,062,873 219,406 189,614 17,553 15,169 17.2 17.8

1) 2021年12月31日現在、スウェーデンにおける住宅ローンのリスク加重フロアの規定により影響を受けるエクスポージャー額は56,646百万スウェーデン・クローネである。

2) 2021年12月31日現在、ノルウェーにおける住宅ローンのリスク加重フロアの規定により影響を受けるエクスポージャー額は30,517百万スウェーデン・クローネである。

- 3) 2021年12月31日現在、ノルウェーの企業の不動産担保に係るリスク加重フロアの規定により影響を受けるエクスポージャー額は124,418百万スウェーデン・クローネである。

標準的手法 ¹ による 信用リスク・エクスポージャー	エクスポージャー額		リスク加重 エクスポージャー額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
百万スウェーデン・クローネ								
ソブリン及び中央銀行	2	1,805	0	0	0	0	0	0
地方自治体	120	-	0	-	0	-	0	-
国際開発銀行	2,441	956	0	0	0	0	0	0
国際機関	-	-	-	-	-	-	-	-
金融機関	885,129	876,654	262	12,920	21	1,034	0	1.5
法人	47,080	6,164	11,242	5,762	899	461	23.9	93.5
個人	2,657	3,595	1,957	2,631	157	211	73.7	73.2
不動産抵当貸付	82,697	68,820	28,364	24,018	2,269	1,921	34.3	34.9
延滞項目	51	290	63	315	5	25	124.2	108.6
高リスク項目	8	8	13	13	1	1	150	150.0
株式	94,794	99,253	104,176	108,634	8,334	8,691	109.9	109.5
うち、上場株式	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、その他株式	94,794	99,253	104,176	108,634	8,334	8,691	109.9	109.5
その他項目	3,201	7,520	824	7,703	66	616	25.8	102.4
標準的手法合計	1,118,180	1,065,065	146,901	161,996	11,752	12,960	13.1	15.2

1) エクスポージャーがある場合に、その区分毎に集約し所要自己資本の詳細を示したものの。

適格負債の最低所要額 (MREL)

下表は負債及び自己資本合計に対するMREL所要額 (SFS 2015:1016) を示したものである。適格負債及び自己資本の最低所要額は、破綻整理機構 (SND0) に従い、スウェーデン金融監督庁との協議のもと、当行の破綻処理計画に定められている。負債及び自己資本合計並びにMRELは第3四半期の数値に基づいている。

百万スウェーデン・クローネ	2021年	2020年
MREL所要額	120,262	138,170
適格負債及び自己資本	305,602	305,963
負債及び自己資本合計	2,203,958	2,280,252
%	2021年	2020年
負債及び自己資本合計に対するMRELの割合	5.5	6.1
負債及び自己資本合計に対する適格負債及び自己資本の割合	13.9	13.4

LRCom：レバレッジ比率共通開示

下表は当年度のレバレッジ比率を示したものである。オンバランスシート、デリバティブ、証券金融取引、及びオフバランスシートの分類ごとにエクスポージャーが記載されている。下表はTier 1資本をエクスポージャー総額で除したレバレッジ比率を表示している。レバレッジ比率は前年度から上昇している。

LRCom：レバレッジ比率共通開示

百万スウェーデン・クローネ

		2021年
オンバランスシート・エクスポージャー（デリバティブ及び証券金融取引を除く）		
1	オンバランスシート項目（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除くが担保は含む）	2,144,183
2	関連会計基準に従い貸借対照表上の資産から控除した、デリバティブに関して差し入れた担保のグロスアップ	0
3	（デリバティブ取引で差し入れた変動証拠金に係る受取債権の控除）	-3,068
4	（資産として認識される証券金融取引に対して受け取った証券に係る調整）	0
5	（オンバランスシート項目に対する一般的な信用リスク調整）	0
6	（Tier1資本の算定において控除された資産額）	-5,266
7	オンバランスシート・エクスポージャー合計（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除く）	2,135,849
デリバティブ・エクスポージャー		
8	SA-CCRで算出されたデリバティブ取引の再構築コスト（適格変動証拠金控除後）	16,104
EU-8a	デリバティブの特例：簡易的な標準的手法（SSA）で算出された再構築コストの影響	0
9	SA-CCRで算出されたデリバティブ取引の潜在的な将来のエクスポージャーに係るアドオン額	28,072
EU-9a	デリバティブの特例：簡易的な標準的手法（SSA）で算出された潜在的な将来のエクスポージャーの影響	0
EU-9b	オリジナル・エクスポージャー方式で算出されたエクスポージャー	0
10	（顧客取引エクスポージャーのうちCCP(中央清算機関)との間のレグの控除額）(SA-CCR)	0
EU-10a	（顧客取引エクスポージャーのうちCCP(中央清算機関)との間のレグの控除額）(簡易的な標準的手法(SSA))	0
EU-10b	（顧客取引エクスポージャーのうちCCP(中央清算機関)との間のレグの控除額）(オリジナル・エクスポージャー方式）	0
11	売建信用デリバティブの想定元本の調整による影響	3,379
12	（売建信用デリバティブの想定元本の相殺及びアドオン額の控除の調整）	-30
13	デリバティブ・エクスポージャー合計	47,525
証券金融取引エクスポージャー		
14	証券金融取引資産総額（相殺の認識なし）、売却取引控除後	55,004
15	（証券金融取引資産総額の現金授受による相殺額）	0
16	証券金融取引資産に関するカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー	13,530
EU-16a	証券金融取引の特例：CRR第429e(5)条及び第222条に基づくカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー	0
17	代理人取引エクスポージャー	0
EU-17a	（顧客取引証券金融取引エクスポージャーのうち、中央清算機関(CCP)との間のレグの控除額）	0
18	証券金融取引エクスポージャー合計	68,534
その他のオフバランスシート・エクスポージャー		
19	オフバランスシート・エクスポージャーの想定元本総額	507,205
20	（与信相当額への換算に対する調整）	-360,825
21	（Tier 1 資本の算定時に控除される一般引当金及びオフバランスシート・エクスポージャーに関連する個別引当金）	0
22	オフバランスシート・エクスポージャー	146,380
適用除外のエクスポージャー		
EU-22a	（CRR第429a(1)条の(c)に基づきエクスポージャー合計額から除外されたエクスポージャー）	-897,178
EU-22b	（CRR第429a(1)条に基づき適用除外となったエクスポージャー(オンバランス及びオフバランス・シート))	0
EU-22c	（公的開発銀行(又は部門)の適用除外エクスポージャー - 公共部門への投資)	0

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

EU-22d	(公的開発銀行(又は部門)の適用除外エクスポージャー・プロモーションルローン)	0
EU-22e	(公的開発銀行(又は部門)以外によるバススルー・プロモーションルローン・エクスポージャーを除く)	0
EU-22f	(輸出信用から生じるエクスポージャーの保証部分を除く)	-790
EU-22g	(トライパーティー・エージェントに預託された超過担保を除く)	0
EU-22h	(CRR第429a(1)条の(o)に基づくCSD/機関のCSD関連サービスを除く)	0
EU-22i	(CRR第429a(1)条の(p)に基づく指定金融機関のCSD関連サービスを除く)	0
EU-22j	(プレファイナンス・ローン又はインターメディエイト・ローンのエクスポージャー値の引下げ)	0
EU-22k	(適用除外のエクスポージャー合計)	-897,968
	資本及びエクスポージャー合計	
23	Tier1資本	142,567
24	エクスポージャー合計	1,500,320
	レバレッジ比率	
25	レバレッジ比率(%)	9.50%
EU-25	レバレッジ比率((公的部門投融資及びプロモーションルローンの適用除外による影響を除く)) (%)	9.50%
25a	レバレッジ比率(中央銀行準備金の(該当する)一時免除の影響を除く) (%)	9.50%
26	規制上必要な最低レバレッジ比率 (%)	3.00%
EU-26a	過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本 (%)	0.00%
EU-26b	うち：CET1資本で構成される割合	0.00%
27	レバレッジ比率バッファ要件 (%)	3.00%
EU-27a	レバレッジ比率要件合計 (%)	
	経過措置の選択及び関連エクスポージャー	
EU-27b	資本計測の定義に関する経過措置の選択	NA
	平均値の開示	
28	SFT資産総額の日次平均値(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)	46,089
29	SFT資産総額の四半期末残高(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)	55,004
30	28行目のSFT資産総額(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)の平均値を反映させたエクスポージャー総額 (中央銀行準備金の適用可能な一時的免除の影響を含む)	1,491,405
30a	28行目のSFT資産総額(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)の平均値を反映させたエクスポージャー総額 (中央銀行準備金の適用可能な一時的免除の影響を除く)	1,491,405
31	28行目のSFT資産総額(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)の平均値を反映させたレバレッジ比率(中央銀行準備金の適用可能な一時的免除の影響を含む)	9.56%
31a	28行目のSFT資産総額(売却会計処理調整及び関連現金授受額相殺後)の平均値を反映させたレバレッジ比率(中央銀行準備金の適用可能な一時的免除の影響を除く)	9.56%

会計上の資産からレバレッジ比率エクスポージャーへの調整の要約

下表は会計上の資産からレバレッジ比率エクスポージャーへの調整を示したものである。レバレッジ比率に係るエクスポージャー合計額は前年度から減少している。

LRSum：会計上の資産からレバレッジ比率エクスポージャーへの調整の要約		2021年
百万スウェーデン・クローネ		
1	公表された財務諸表の資産合計	2,230,134
2	会計上連結されているが、銀行規制上は連結対象外の事業体に関する調整	0
3	(リスク移転の認識に係るオペレーション上の要件を満たす証券化エクスポージャーに関する調整)	0
4	(中央銀行に対するエクスポージャーの一時的な除外に関する調整 (該当がある場合))	0
5	(関連会計基準に従い貸借対照表に認識されているが、CRR第429a(1)条の(i)に準拠してエクスポージャーの計測から除外された信託資産に関する調整)	0

6	取引日会計の対象となる金融資産の通常の方法による売買に関する調整	0
7	適格なキャッシュ・プーリング取引に関する調整	0
8	デリバティブ取引に関する調整	16,579
9	証券金融取引 (SFTs) に関する調整	26,604
10	オフバランスシート項目に関する調整 (オフバランスシート・エクスポージャーの与信相当額への換算)	146,380
11	Tier1資本を減額させる慎重な評価調整並びに個別引当金及び一般引当金に関する調整	-430
EU-11a	(CRR第429a(1)条の(c)に従いエクスポージャーの測定額から除外されたエクスポージャーに関する調整)	-897,178
EU-11b	(CRR第429a(1)条の(j)に従いエクスポージャーの測定額から除外されたエクスポージャーに関する調整)	0
12	その他の調整	-21,768
13	レバレッジ比率エクスポージャー合計	1,500,320

取締役会及び最高経営責任者の署名

我々は、当該連結財務諸表が、国際会計基準の適用に関する欧州議会及び理事会規則(EC)第1606/2002号（2002年7月19日）に示されている国際財務報告基準に従って作成されていること、当行の年次財務諸表が株式会社の健全な会計慣行に従って作成されていること、年次財務諸表及び連結財務諸表が当行グループ及び当行の財政状態及び業績の公正な表示をしていること、法定管理報告書が当行及び当行グループの事業、財政状態及び業績の公正な見解を示しており、当行及び他の会社がさらされている重要なリスク及び不確実性について記載していることをここに宣言する。

ストックホルム、2022年2月8日

パール・ボーマン

取締役会長

フレデリック・ランドバーク

副会長

ジョン・フレデリック・バクサース

取締役

スティナ・バークフォース

取締役

ハンス・ベオーク

取締役

シャスティン・ヘシウス

取締役

アンナ・イェンベリ

取締役

レナ・レンストレム

取締役

ウルフ・リーズ

取締役

アルヤ・ターベニク

取締役

カリナ・オーケストレーム

頭取兼グループ最高経営責任者

[次へ](#)

RESULTATRÄKNING | KONCERNEN

Resultaträkning Koncernen

Koncernen mkr		2021	2020
Ränteintäkter	Not K3	35 832	42 880
varav ränteintäkter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat / säkringsredovisning		34 483	39 496
Räntekostnader	Not K3	-6 441	-13 751
Räntenetto		29 391	29 079
Provisionsintäkter	Not K4	12 904	11 205
Provisionskostnader	Not K4	-1 446	-1 535
Provisionsnetto		11 458	9 670
Nettoreultat av finansiella transaktioner	Not K5	1 699	1 217
Risikoresultat försäkring	Not K6	179	194
Övriga utdelningsintäkter		2	53
Andelar i intresseföretags och joint venture resultat	Not K7.9	63	18
Övriga intäkter	Not K7	555	137
Summa intäkter		43 347	40 368
Personalkostnader	Not K8	-12 452	-13 907
Övriga kostnader	Not K9	-5 577	-5 245
Av- och nadschvningar av materiella och immateriella tillgångar	Not K24, K25	-1 814	-1 775
Summa kostnader		-19 843	-20 927
Resultat före kreditförluster		23 504	19 441
Kreditförluster, netto	Not K7.10	-43	-649
Vinstförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	Not K7.11	14	5
Rörelseresultat		23 475	18 797
Skatter	Not K34	-4 627	-4 240
Årets resultat från kvarvarande verksamhet		18 848	14 557
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, efter skatt	Not K7.13	605	1 031
Årets resultat		19 453	15 588
varav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		19 527	15 585
varav hänförligt till kvarvarande verksamhet		18 834	14 555
varav hänförligt till avvecklad verksamhet		693	1 029
Innehav utan bestämmande inflytande		16	3
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	Not K7.2	9,86	7,87
efter utspädning	Not K7.2	9,86	7,87
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	Not K7.2	9,51	7,35
efter utspädning	Not K7.2	9,51	7,35
Resultat per aktie, avvecklad verksamhet, kr	Not K7.2	0,35	0,52
efter utspädning	Not K7.2	0,35	0,52

TOTALRESULTAT | KONCERNEN

Totalresultat Koncernen

Koncernen mkr	2021	2020
Årets resultat	19 543	15 588
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Förmånsbestämda pensionplaner	6 820	1 523
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	62	- 583
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	- 1 401	- 256
varav förmånsbestämda pensioner	- 1 308	- 267
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	- 3	11
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	5 481	884
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassafödersättningar	- 1 970	- 1 124
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	6	7
Årets omräkningsdifferens	3 201	- 4 269
varav säkring av nettainvestering i utländsk valuta	- 970	848
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	595	93
varav kassafödersättningar	406	274
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	- 1	- 1
varav säkring av nettainvestering i utländsk valuta	190	- 180
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	1 832	- 5 293
Summa övrigt totalresultat	7 313	- 4 409
Årets totalresultat	26 856	10 979
varav tillhör		
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	26 840	10 976
Innehav utan bestämmande inflyande	16	3

Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.

BALANSRÄKNING | KONCERNEN

Balansräkning Koncernen

Koncernen mkr		2021	2020
TILLGÅNGAR			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		291 584	397 642
Övrig utlåning till centralbanker	Not K14	1 255	21 326
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	Not K17	100 538	99 133
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K15	21 745	21 920
Utlåning till allmänheten	Not K16	2 163 135	2 269 612
Värdeförändring på räntebärande post i portföljsäkring		-1 900	25
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K17	33 317	44 566
Aktier och andelar	Not K18	19 471	21 045
Andelar i intresseföretag och joint ventures	Not K19	478	386
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	Not K20	235 761	197 212
Derivatinstrument	Not K21	28 508	30 614
Immateriella tillgångar	Not K24	8 302	11 330
Fastigheter och inventarier	Not K25	5 272	6 232
Aktuella skattefordringar		469	988
Uppskjutna skattefordringar	Not K34	845	1 218
Pensionsstillgångar	Not K8	8 766	2 005
Tillgångar som innehas för försäljning	Not K13	421 417	1 657
Övriga tillgångar	Not K26	5 785	6 124
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not K27	2 016	2 253
Summa tillgångar	Not K40	3 346 764	3 136 288
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
Skulder till kreditinstitut	Not K28	83 034	124 723
In- och upplåning från allmänheten	Not K29	1 286 637	1 229 763
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	Not K30	235 761	197 212
Emitterade värdepapper	Not K31	1 353 768	1 310 737
Derivatinstrument	Not K21	13 784	32 819
Korta positioner	Not K32	4 105	1 682
Försäkringskulder	Not K33	532	557
Aktuella skatteskulder		108	25
Uppskjutna skatteskulder	Not K34	5 276	5 353
Avsättningar	Not K35	1 026	2 302
Övriga skulder	Not K36	11 304	13 928
Skulder som innehas för försäljning	Not K13	133 922	
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not K37	3 519	3 632
Efterställda skulder	Not K38	32 257	41 082
Summa skulder	Not K40	3 166 033	2 963 815
Innehav utan bestämmande inflytande		25	9
Aktiekapital		3 069	3 069
Överkursfond		8 758	8 758
Reserver	Not K39	15 845	8 532
Balanserad vinst		134 507	135 520
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		19 527	15 585
Summa eget kapital		181 731	171 473
Summa skulder och eget kapital		3 346 764	3 136 288

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | KONCERNEN

Förändring i eget kapital Koncernen

Koncernen 2021									
mkr	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Föräldra- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinster/medel inkl. årets resultat	Innehav utan bestämmande inflytande	Totalt
Ingående eget kapital 2021	3 069	8 788	6 891	3 363	94	-806	181 106	9	171 473
Årets resultat							19 527	16	19 543
Övrigt totalresultat			5 422	-1 564	64	3 391		0	7 313
varav omklassificering inom eget kapital					0	-67			-67
Årets totalresultat			5 422	-1 564	64	3 391	19 527	16	26 806
Omklassificerat till balanserat resultat							67		67
Utdelning ¹							-16 666		-16 666
Aktierelaterad ersättning till anställda i Handelsbanken plc ²							37		37
Återköp egna aktier ²							-36		-36
Förändring i innehav utan bestämmande inflytande								-	-
Utgående eget kapital 2021	3 069	8 788	11 313	1 799	158	2 685	164 034	25	181 731
Koncernen 2020									
mkr	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Föräldra- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinster/medel inkl. årets resultat	Innehav utan bestämmande inflytande	Totalt
Ingående eget kapital 2020	3 069	8 788	4 635	4 203	660	3 643	134 866	8	159 832
Årets resultat							15 585	3	15 588
Övrigt totalresultat			1 256	-850	-566	-4 449		0	-4 609
varav omklassificering inom eget kapital					-684	20			-664
Årets totalresultat			1 256	-850	-666	-4 449	15 585	3	10 979
Omklassificerat till balanserat resultat							664		664
Utdelning									-
Effekter av konvertibla förlagslån		-	-						-
Förändring i innehav utan bestämmande inflytande								-2	-2
Utgående eget kapital 2020	3 069	8 788	6 891	3 363	94	-806	181 106	9	171 473

¹ Ordinarie utdelning uppgick till 8 118 mkr medan extrautdelningen uppgick till 8 548 mkr. Extrautdelningen erhöi aktiedeltagarna i form av aktier i AB Industrivärden som Svenska Handelsbanken AB förvärvat från Svenska Handelsbankens Pensionstitulsa, se not K49.

² Från och med inflytandelåret 2020 omfattas samtliga anställda i Handelsbanken plc av ett program för aktierelaterad ersättning (Share Incentive Plan ("SIP")).

KASSAFLÖDESANALYS | KONCERNEN

Kassaflödesanalys Koncernen

Koncernen mkr	2021	2020
LÖPANDE VERKSAMHET		
Röreliseresultat	23 475	18 797
Resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, före skatt	1 204	1 338
varav inbetalda räntor	38 528	46 345
varav utbetalda räntor	-7 257	-15 717
varav inbetalda utdelningar	61	76
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i röreliseresultat och resultat hänförligt till avvecklad verksamhet		
Kreditförluster	80	929
Realiserade värdeförändringar	363	-797
Av- och nedskrivningar	2 118	1 966
Betalda inkomstskatter	-5 086	-7 711
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Övrig utlåning till centralbanker	19 853	-1 778
Utlåning till övriga kreditinstitut	82	-3 980
Utlåning till allmänheten	-142 370	22 071
Räntebärande värdepapper och aktier	9 621	1 611
Skulder till kreditinstitut	-41 114	-23 266
In- och upplåning från allmänheten	170 994	111 938
Emitterade värdepapper	43 031	-74 224
Derivatinstrument, nettopositioner	-16 732	23 394
Korta positioner	2 476	-197
Fondlikvidfordringar och fondlikvidskulder	-567	875
Övrigt	-18 057	16 294
Kassaflöde från löpande verksamhet	40 381	87 280
INVESTERINGSVERKSAMHET		
Förvärf av och tillskott till intressaföretag och joint ventures	-83	-61
Förstärkning av aktier och andelar	1	1 693
Förvärf av materiella anläggningstillgångar	-1 134	-709
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	1 063	328
Förvärf av immateriella anläggningstillgångar	-539	-1 031
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-782	220
FINANSIERINGSVERKSAMHET		
Amortering efterställda skulder	-10 130	-2
Emission efterställda skulder	-	8 176
Utbetald utdelning	-16 666	-
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-26 796	8 174
varav valutakursförändringar	-320	-819
Årets kassaflöde	21 803	96 604
Likvida medel vid årets början	307 642	327 958
Kassaflöde från löpande verksamhet	40 381	87 280
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-752	220
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-26 796	8 174
Kursdifferens i likvida medel	20 489	-25 970
Likvida medel vid årets slut	439 964	397 642

Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att röreliseresultat och resultat för total verksamhet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, t.ex. avskrivningar och kreditförluster.

Kassaflödesanalysen i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehas för förstärkning respektive skulder som innehas för förstärkning, se not K13.

Noter Koncernen

K1 Redovisningsprinciper och andra utgångspunkter vid upprättande av de finansiella rapporterna

INNEHÅLL

1. Lag- och föreskriftsenlighet
2. Förändrade redovisningsprinciper
3. Förändringar i IFRS som ännu inte tillämpats
4. Koncernredovisning och presentation
5. Segmentrapportering
6. Tillgångar och skulder i utländsk valuta
7. Redovisning och bortbokning av finansiella instrument i balansräkningen
8. Finansiella instrument
9. Principer för värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde
10. Kreditförluster
11. Säkringsredovisning och Benchmarkreformen
12. Leasing
13. Försäkringsverksamhet
14. Immateriella tillgångar
15. Fastigheter och inventarier
16. Avsättningar
17. Eget kapital
18. Intäkter
19. Ersättningar till anställda
20. Skatter
21. Uppskattningar och väsentliga bedömningar
22. Företagsinformation

1. LAG- OCH FÖRESKRIFTSENLIGHET

Grunder för redovisningen

Koncernredovisningen är upprättad i enlighet med de internationella redovisningsstandarder (IFRS) och tolkningar av dessa standarder som antagits av EU. Därutöver tillämpas de tillägg som följer av lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRL) och av Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. I koncernredovisningen tillämpas även RFR 1 Kompletterande redovisningsregler för koncerner och uttalanden från Rådet för finansiell rapportering.

Moderbolagets redovisningsprinciper framgår av not M1.

Avgivande och fastställelse av årsredovisningen

Års- och koncernredovisningen godkändes för utfärdande av styrelsen och verkställande direktören den 9 februari 2022 och blir föremål för fastställelse på årsstämman den 23 mars 2022.

2. FÖRÄNDRADE REDOVISNINGSPRINCIPER

Ändringar i IFRS 9 Finansiella instrument, IAS 39 Finansiella instrument: Redovisning och värdering, IFRS 7 Finansiella instrument: Upplysningar samt IFRS 16 Leasing – benchmarkreformen fas 2

Den 1 januari 2021 trädde ändringar i IFRS 9 Finansiella instrument, IAS 39 Finansiella instrument: Redovisning och värdering, IFRS 7 Finansiella instrument: Upplysningar samt IFRS 16 Leasing med avseende på benchmarkreformen fas 2 i kraft. Ändringarna i IFRS 9 innebär att modifieringar av finansiella tillgångar och finansiella skulder, vilka genomförs som en direkt följd av benchmarkreformen redovisas som en ändring i effektivräntan. Modifieringsvinst eller förlust redovisas således ej. Därutöver innebär ändringarna i IFRS 9 och IAS 39 undantag från vissa krav för säkringsredovisning när befintliga referensräntor i säkringsrelationer ersätts med alternativa referensräntor. Ändringarna bedöms således möjliggöra att övergången till nya referensräntor kan genomföras utan väsentliga resultat effekter och därmed utan väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitalkäckning, stora exponeringar eller andra förhållanden enligt tillämpliga rörelseregler. Jämförelsetalen för tidigare perioder har inte räknats om och ingående balanserade vinstmedel har inte påverkats av någon initial effekt vid tillämpningen av ändringarna. Se även not 11 Säkringsredovisning och Benchmarkreformen, Benchmarkreformen.

Övriga förändringar i IFRS

Övriga ändringar som började gälla den 1 januari 2021 har inte haft någon väsentlig påverkan på bankens redovisning.

De redovisningsprinciper och beräkningsmetoder som tillämpats av koncernen under räkenskapsåret överensstämmer i övrigt med de principer som tillämpades i årsredovisningen 2020.

3. FÖRÄNDRINGAR I IFRS SOM ÄNNU INTE TILLÄMPATS

IFRS 17 Försäkringsavtal

IFRS 17 Försäkringsavtal som ersätter IFRS 4 Försäkringsavtal har publicerats av IASB och antagits av EU. Standarden kommer att tillämpas från och med räkenskapsåret 2023. IFRS 17 medför en förändring av hur försäkringsavtal ska redovisas, presenteras och värderas. Den medför även krav på utökade upplysningar.

För att minska skillnaderna i redovisning av försäkringsavtal inför IFRS 17 enhetliga värderingsprinciper med utgångspunkt från tre värderingsmodeller: generella modellen, premiefördelningsmetoden och den rörliga avgiftsmodellen. IFRS 17 föreskriver den generella modellen för värdering av försäkringsavtal där försäkringsåtagandet värderas baserat på förväntade nuvärden av framtida kassaflöden, med beaktande av en riskmarginal och en vinstmarginal. De två andra värderingsmodellerna kan

tillämpas under vissa förutsättningar. Valet av modell beror på villkoren i avtalen (långfristiga, kortfristiga eller vinstutdelande). Banken bedriver ett projekt för implementeringen av IFRS 17 och utvärderar för närvarande de finansiella effekterna av den nya standarden på koncernens redovisning.

4. KONCERNREDOVISNING OCH PRESENTATION

Dotterföretag

I koncernredovisningen har samtliga företag där Handelsbanken direkt eller indirekt har ett bestämmande inflytande (dotterföretag) konsoliderats fullständigt. Banken anses ha ett bestämmande inflytande över ett företag när den exponeras för eller har rätt till rörlig avkastning från sitt innehav i företaget och har möjlighet att påverka avkastningen genom sitt inflytande i företaget. Bestämmande inflytande uppnås i regel om Handelsbanken har mer än 50% av rösterna på årsstämma eller motsvarande.

Dotterföretag konsolideras med tillämpning av förvärvsmetoden. Det innebär att förvärv av ett dotterföretag betraktas som en transaktion där koncernen förvärvar företagets identifierbara tillgångar och tar över dess skulder och förpliktelser. Vid rörelseförvärv upprättas en förvärsbalans där identifierbara tillgångar och skulder värderas till verkligt värde vid förvärvstidpunkten. Anskaffningsvärdet utgörs av det verkliga värdet avseende samtliga tillgångar, skulder och emitterade egetkapitalinstrument som lämnats som vederlag för nettotillgångarna i dotterföretaget. Eventuella överskott till följd av att anskaffningsvärdet överstiger förvärsbalansens identifierbara nettotillgångar redovisas som goodwill i koncernens balansräkning. Förvärsrelaterade utgifter kostnadsförs när de uppstår. Dotterföretagets finansiella rapporter tas in i koncernredovisningen från och med förvärvstidpunkten till det datum bestämmande inflytande upphör. Koncerninterna transaktioner och mellanhanden elimineras vid upprättandet av koncernens finansiella rapporter.

Vid rörelseförvärv redovisas den förvärvade rörelsen i koncernens räkenskaper från förvärvstidpunkten. Förvärvstidpunkten är den tidpunkt då bestämmande inflytande över den förvärvade enheten inträder. Förvärvstidpunkten kan skilja sig från den tidpunkt då transaktionen är lagligt fastställd.

I den mån de redovisningsprinciper som tillämpas i ett enskilt dotterföretag inte överensstämmer med de principer som tillämpas av koncernen, görs en justering av koncernräkenskaper vid konsolidering av dotterföretaget.

K1 Forts

Strukturerade företag

Ett strukturerat företag är ett företag som bildats för att uppnå ett begränsat och värddefinierat syfte, där rösträtten inte är den avgörande faktorn för att avgöra om bestämmande inflytande föreligger. Handelsbankens innehav i strukturerade företag är begränsade till innehav i fonder.

Fonder för vilka banken är kapitalförvaltare och där banken äger mer än 50% av andelarna konsolideras. Bankens innehav i fonder redovisas till verkligt värde på raden Aktier och andelar i balansräkningen. Resterande andel av fondens verkliga värde konsolideras och redovisas på raderna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdeförändringsrisken i balansräkningen. Ägande mellan 20 och 50% konsolideras i vissa fall om omständigheterna gör gällande att banken har ett bestämmande inflytande, exempelvis genom att fonden har ett brett förvaltningsmandat och genererar en hög andel variabel avkastning.

Innehav till följd av fondförsäkringsavtal bedöms inte medföra att koncernen är exponerad emot variabel avkastning. Dessa innehav exkluderas i bedömningen av om det föreligger bestämmande inflytande över fonden. Andelar i fonder till följd av fondförsäkringsavtal redovisas som Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken medan korresponderande skuld för fondförsäkringsavtalen redovisas som Skulder där kunden står värdeförändringsrisken.

Information om innehav i icke konsoliderade strukturerade företag framgår av not K48.

Intresseföretag och joint ventures

Som Intresseföretag redovisas företag där Handelsbanken har ett betydande inflytande. Betydande inflytande är rätten att delta i beslut som rör företagets finansiella och operativa strategier, men ger inte ett bestämmande inflytande över dessa. Betydande inflytande uppnås i regel när röstandelen i företaget är lägst 20% och högst 50% eller när banken genom avtalsvillkor kan utöva ett betydande inflytande. I ett joint venture har banken tillsammans med en eller flera parter ett gemensamt bestämmande inflytande. Intresseföretag och joint ventures redovisas i koncernredovisningen enligt kapitalandelsmetoden. Det innebär att innehavet inledningsvis tas upp till anskaffningsvärdet. Det redovisade värdet ökas eller minskas därefter för att beakta koncernens andel av Intresseföretagets och joint ventures resultat efter förvärvstidpunkten. Eventuella utdelningar från Intresseföretag och joint ventures minskar det redovisade värdet på innehavet. Resultatan- delar i Intresseföretag och joint ventures redovisas som Andelar i Intresseföretags och joint ventures resultat på egen rad i koncernens resultaträkning.

Tillgångar som innehas för försäljning och redovisning av avvecklad verksamhet

Anläggningstillgångar eller en grupp av tillgångar, ibland tillsammans med därtill hänförliga skulder, (avyttringsgrupp) klassificeras som att de innehas för försäljning när det redovisade värdet i huvudsak kommer att återvinnas genom försäljning och när försäljning är mycket sannolik. Om klassificeringen sker som tillgång som innehas för försäljning tillämpas särskilda värderingsprinciper. Dessa innebär i huvudsak att, med undantag för bland annat finansiella tillgångar och skulder (se punkt 8), tillgångar som innehas för försäljning och avyttringsgrupper värderas till det lägsta av det redovisade värdet och verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader. Därmed görs inte några avskrivningar på materiella eller immateriella tillgångar som innehas för försäljning. Eventuella nedskrivningar och efterföljande omvärderingar redovisas direkt i resultaträkningen. En vinst redovisas dock inte till den del som den överstiger tidigare redovisade ackumulerade nedskrivningar. Tillgångar och skulder som innehas för försäljning särredovisas i koncernens balansräkning fram till försäljningstidpunkten.

Som avvecklad verksamhet redovisas självständig verksamhet av väsentlig karaktär som är klart avskiljbar från koncernens övriga verksamhet och som klassificerats som att den innehas för försäljning med tillämpning av de principer som beskrivits ovan. Som avvecklad verksamhet redovisas även dotterföretag som förvärvats uteslutande i syfte att vidareförsäljas. Redovisning som avvecklad verksamhet innebär att verksamhetens resultat särredovisas på egen rad i resultaträkningen skilt från övriga resultatposter. Resultatet från avvecklad verksamhet består av resultatet efter skatt av avvecklade verksamheter, det resultat efter skatt som uppstår vid värdering till verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader av de tillgångar som innehas för försäljning/avyttringsgrupper som ingår i avvecklade verksamheter, samt realiserat resultat från avyttring av avvecklade verksamheter. För upplysningar om tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet se not K13.

5. SEGMENTRAPPORTERING

I segmentrapporteringen presenteras intäkter och kostnader respektive tillgångar och skulder uppdelade på rörelsesegment. Ett rörelsesegment är en sådan del av koncernen som bedriver verksamhet som genererar externa eller interna intäkter och kostnader och vars resultat i styrningsytte regelbundet granskas och följs upp av koncernledningen. Principer för segmentrapportering beskrivs vidare i not K45.

6. TILLGÅNGAR OCH SKULDER I UTLÄNDSK VALUTA

Koncernredovisningen presenteras i svenska kronor, koncernens rapporteringsvaluta. Den funktionella valutan för koncernens verksam-

heter utomlands avviker som regel från koncernens rapporteringsvaluta. Som funktionell valuta betraktas den valuta som används i den ekonomiska miljö där verksamheten primärt bedrivs.

Omräkning av transaktioner i annan valuta än den funktionella valutan

Transaktioner i annan valuta än den funktionella valutan, utländsk valuta, omräknas initialt till den funktionella valutan till transaktionsdagens kurs. Monetära poster i utländsk valuta och icke-monetära poster i utländsk valuta som värderas till verkligt värde omvärderas per balansdagen till då gällande stängningskurs. Vinst och förluster till följd av valutaomräkning av monetära poster och icke-monetära poster som värderas till verkligt värde redovisas i resultaträkningen som valutakurseffekter i Nettoresultat av finansiella transaktioner. Omräkningsdifferenser hänförliga till icke-monetära poster som klassificeras till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ackumuleras i eget kapital. Så redovisas även valutakursdifferenser som uppstår vid omräkning av monetära poster som utgör en del av en nettolämplighet i en utlandsverksamhet.

Omräkning av utländska verksamheter till koncernens rapporteringsvaluta

Vid omräkning av utländska etableringars (där bland filialers) balans- och resultaträkningar från funktionell valuta till koncernens rapporteringsvaluta, tillämpas dagskursmetoden. Det innebär att tillgångar och skulder omräknas till balansdagens kurs. Eget kapital omräknas till kursen vid investerings- respektive intjänandestidpunkten. Resultaträkningen räknas om efter genomsnittskursen under året. Omräkningsdifferenser redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ingår i omräkningsreserven i eget kapital.

7. REDOVISNING OCH BORTBOKNING AV FINANSIELLA INSTRUMENT I BALANSRÄKNINGEN

Köp och försäljning av aktier samt penning- och kapitalmarknadsinstrument på avlåtmarknaden redovisas på affärsdagen vilket är den dag då avtal ingåtts. Motsvarande gäller för derivat. Övriga finansiella tillgångar och skulder redovisas normalt på likviddagen.

Finansiella tillgångar tas bort från balansräkningen när de avtalsenliga rättigheterna till de kassaflöden som hör till tillgången upphör eller när samtliga risker och fördelar förknippade med tillgången överförs till någon annan. En finansiell skuld tas bort från balansräkningen när förpliktelsen fullgjorts, upphör eller annulleras.

Principerna för redovisning av finansiella instrument i balansräkningen har bland annat särskild betydelse för redovisning av återköps-transaktioner, värdepapperslån och leasing (se respektive separat avsnitt).

NOTER | KONCERNEN

K1 Forts

8. FINANSIELLA INSTRUMENT

Värderingskategorier

Alla finansiella tillgångar delas, i enlighet med bestämmelserna i IFRS 9, in i någon av följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
 2. verkligt värde via övrigt totalresultat
 3. verkligt värde via resultaträkningen
- a. obligatoriskt
b. verkligt värdeoptionen.

Utgångspunkten för att klassificera finansiella tillgångar i respektive värderingskategori är företagets affärsmodell för förvaltning av de finansiella instrumenten samt huruvida instrumentens avtalsenliga kassaflöden enbart innehåller betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Finansiella skulder delas in i följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
 2. verkligt värde via resultaträkningen
- a. obligatoriskt
b. verkligt värdeoptionen.

Finansiella skulder ska som huvudregel redovisas till upplupet anskaffningsvärde. Undantaget är finansiella skulder som obligatoriskt ska värderas till verkligt värde via resultaträkningen, exempelvis derivat, samt skulder som vid första redovisningstillfället återkalleligt identifierats att värderas till verkligt värde (verkligt värdeoptionen).

Finansiella tillgångar respektive skulder som redovisas på samma rad i balansräkningen kan klassificeras i olika värderingskategorier, se not K40.

Vid första redovisningstillfället redovisas alla finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde. För tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde via resultaträkningen förs transaktionskostnader direkt till resultaträkningen vid anskaffningstillfället. För övriga finansiella instrument räknas transaktionskostnader in i anskaffningsvärdet.

Bedömning av affärsmodell

Affärsmodellen för förvaltningen av finansiella tillgångar är avgörande för uppdelningen i värderingskategorier. Affärsmodellen fastställs på portföljnivå, eftersom detta bäst avspeglar hur verksamheten styrs och hur information rapporteras till och utvärderas av bankens ledning. Information av betydelse för att kunna göra sammanvägd bedömning av affärsmodellen för en portfölj omfattar angivna riktlinjer och mål med en portfölj och hur dessa genomförs i verksamheten, de risker som påverkar portföljens resultat och hur dessa risker hanteras samt frekvens, volym, orsak och tidpunkt för försäljningar.

Bedömning av om avtalsenliga kassaflöden enbart är betalningar av kapitalbelopp och ränta
Bedömningen av om avtalsenliga kassaflöden enbart är betalningar av kapitalbelopp och ränta har betydelse för uppdelningen i värderings-

kategorier. Vid denna bedömning definieras kapitalbeloppet som den finansiella tillgångens verkliga värde vid första redovisningstillfället. Ränta definieras som ersättning för pengars tidsvärde, kreditrisk, andra grundläggande utlåningsrisker (till exempel likviditetsrisk) och kostnader (till exempel administrativa kostnader) samt vinstmarginal.

För att bedöma om den finansiella tillgångens avtalsenliga kassaflöden enbart innehåller betalningar av kapitalbelopp och ränta görs en bedömning av den finansiella tillgångens avtalsvillkor. Om det finns avtalsvillkor som kan ändra tidpunkten eller beloppet i de avtalsenliga kassaflödena, modifierar ersättningen för pengars tidsvärde eller medför hävstångseffekt eller extra kostnader vid förskotts betalning och förlängning, så bedöms kassaflödena inte enbart bestå av kapitalbelopp och ränta.

Upplupet anskaffningsvärde

En finansiell tillgång ska värderas till upplupet anskaffningsvärde om båda följande villkor är uppfyllda:

- Syftet med affärsmodellen är att erhålla avtalsenliga kassaflöden.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Finansiella tillgångar som redovisas i värderingskategorin upplupet anskaffningsvärde består av utlåning och innehav i räntebärande värdepapper som uppfyller ovanstående villkor. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Finansiella skulder som redovisas i värderingskategorin upplupet anskaffningsvärde består i huvudsak av skulder till kreditinstitut, in- och upplåning från allmänheten samt emitterade värdepapper.

Upplupet anskaffningsvärde utgörs av det diskonterade nuvärdet av alla framtida betalningar hänförliga till instrumentet där diskonteringsräntan utgörs av instrumentets effektivränta vid anskaffningstillfället.

Räntor och kreditförluster avseende finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde redovisas i resultaträkningen i posterna Räntenetto respektive Kreditförluster. Ränteskillnadsersättning för förtidsinlöst utlåning och realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper, redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Även valutakurseffekter redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Verkligt värde via övrigt totalresultat

En finansiell tillgång ska värderas till verkligt värde via övrigt totalresultat om båda följande villkor är uppfyllda:

- Syftet med affärsmodellen är både att erhålla avtalsenliga kassaflöden och att sälja tillgången.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

I värderingskategorin verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas räntebärande värdepapper i bankens likviditetsportfölj som uppfyller ovanstående villkor. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Ränteläntor redovisas i räntenetto, och valutakurseffekter och kreditförluster redovisas i post Nettoresultat av finansiella transaktioner. Realiserade värdeförändringar redovisas i övrigt totalresultat och omklassificeras till resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner vid försäljning.

Vid första redovisningstillfället är det tillåtet att återkalleligt klassificera eget kapitalinstrument som inte innehåller handelsytte till verkligt värde via övrigt totalresultat. Efterföljande värdeförändringar, såväl realiserade som realiserade inklusive valutakursresultat, redovisas då i övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar omklassificeras till balanserade vinstmedel, det vill säga omklassificering inom eget kapital, och inte till resultaträkningen. Endast utdelningsintäkter från dessa innehav redovisas i resultaträkningen. Denna värderingsprincip tillämpas för vissa aktieinnehav i företag som utför stödjande verksamhet för banken. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på bankens hemmamarknader. Aktieinnehaven är långsiktiga och inga större förändringar i innehaven sker från år till år.

Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt

Om en finansiell tillgång inte uppfyller villkoren för värdering till upplupet anskaffningsvärde eller till verkligt värde via övrigt totalresultat, ska den värderas till verkligt värde via resultaträkningen.

Finansiella tillgångar och skulder som innehåller handel klassificeras alltid till verkligt värde via resultaträkningen, liksom finansiella tillgångar som förvaltas och utvärderas baserat på verkliga värden.

Värderingskategorin verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt, består i huvudsak av noterade aktier, fondandelar, räntebärande värdepapper samt derivat. Räntor, utdelningar, valutakurseffekter samt realiserade och realiserade värdeförändringar hänförliga till dessa instrument redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 11.

Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen

Vid första redovisningstillfället finns en möjlighet att återkalleligt identifiera en finansiell tillgång såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om detta eliminerar eller i betydande utsträckning minskar inkonsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av tillgången.

Motsvarande möjlighet finns att vid första redovisningstillfället återkalleligt identifiera

K1 Forts

en finansiell skuld såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om något av följande villkor är uppfyllda:

- Det eliminerar eller i betydande utsträckning minskar inkonsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av skulden.
- En grupp av finansiella skulder eller en grupp av både finansiella tillgångar och finansiella skulder förvaltas och utvärderas baserat på verkligt värde, i enlighet med en dokumenterad riskhanterings- eller investeringsstrategi, och intern information om dessa instrument tillhandahålls till bankens ledning baserat på verkliga värden.

Denna värderingsprincip tillämpas för att undvika inkonsekvens vid värderingen av tillgångar och skulder som utgör motpositioner till varandra och förvaltas på portföljbasis, till exempel skulder till följd av fondförsäkringsavtal och vissa innehav i likviditetsportföljen som säkras med ekonomiska säkringar.

Orealiserade och realiserade värdeförändringar på finansiella instrument som värderas till verkligt värde via resultaträkningen via verkligt värdeceptionen redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ränta på dessa instrument redovisas i räntanettot.

Omklassificeringar av finansiella instrument
Finansiella tillgångar omklassificeras i regel inte efter det första redovisningstillfället. Omklassificering är tillåten om banken i sällsynta fall skulle byta affärsmodell för förvaltningen av en portfölj av finansiella tillgångar. Omklassificering av finansiella skulder är inte tillåtet efter det första redovisningstillfället.

Finansiella garantier och lånelöften
Finansiella garantier är sådana förbindelser som kräver att utställaren gör angivna betalningar för att ersätta innehavaren för en förlust denne ådrar sig på grund av att en angiven gäldenär inte fullgör betalning vid förfall enligt villkoren i ett skuldinstrument (lån och räntebärande värdepapper), exempelvis en kreditgaranti. Det verkliga värdet på en utställd garanti motvaras vid utfärdandet av den mottagna premien. Vid första redovisningstillfället redovisas den mottagna premien för garantin som en skuld på raden Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter i balansräkningen. Därefter värderas garantin till det högre av den periodiserade premien och reserven för den förväntade förlusten. Premier för utställda finansiella garantier periodiseras i provisionsnettot över garantins löptid. Därutöver redovisas det totala garanterade beloppet hänförligt till utställda garantier som en ansvarsförbindelse utanför balansräkningen, se not K43.

Premier för köpta finansiella garantier periodiseras och redovisas som minskad räntetäkt i räntanettot i den mån räntan på det instrument garantin avser redovisas där.

Lånelöften redovisas som ett åtagande utanför balansräkningen fram till lånets likviddag, se not K43. Mottagna avgifter för lånelöften periodiseras i provisionsnettot över åtagandets löptid, såvida det inte är mycket sannolikt att löftet kommer att infrias. I sådana fall räknas mottagna avgifter in i lånets effektivränta.

Finansiella garantier och återkallbara lånelöften är föremål för nedskrivningsprövning.

Sammansatta finansiella instrument

Ett sammansatt finansiellt instrument består av ett inbäddat derivat och ett värdekontrakt som inte är ett derivat. Vissa av det sammansatta instrumentets kassaflöden varierar på ett sätt som liknar kassaflödena för ett fristående derivat.

Om värdekontraktet i ett sammansatt finansiellt instrument är en finansiell skuld ska ett inbäddat derivat skiljas från värdekontraktet och redovisas som ett derivat om alla dessa villkor är uppfyllda:

- Det inbäddade derivatets ekonomiska egenskaper och risker är inte nära förknippade med värdekontraktets ekonomiska egenskaper och risker.
- Ett separat instrument med samma villkor som det inbäddade derivatet skulle uppfylla definitionen på ett derivat.
- Det sammansatta finansiella instrumentet värderas inte till verkligt värde via resultaträkningen. Följaktligen avskiljs inte derivat inbäddade i finansiella skulder värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

Särredovisning sker exempelvis av emitterade aktieindexobligationer och andra strukturerade produkter.

Särredovisning sker inte om värdekontraktet i det sammansatta finansiella instrumentet är en finansiell tillgång. Finansiella tillgångar med inbäddade derivat beaktas i sin helhet vid bedömningen av om avtalsenliga kassaflöden endast är betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Värdet av konverteringsrätten i emitterade konvertibla skuldebrev särredovisas som eget kapital. Värdet av konverteringsrätten fastställs vid emissionsstillfället som skillnaden mellan det verkliga värdet på det konvertibla skuldebrevet som helhet minskat med det verkliga värdet på skuldkomponenten. Konverteringsrättens redovisade värde justeras inte under skuldebrevets löptid. Skuldkomponenten värderas och redovisas till verkligt värde i balansräkningen vid emissionsstillfället. Under löptiden redovisas skuldkomponenten till upplupet anskaffningsvärde baserat på ursprunglig effektivränta.

Återköpsavtal och omvända återköpsavtal

Med återköpsavtal, eller repotransaktioner, avses avtal där parterna samtidigt har kommit överens om försäljning och återköp av ett visst värdepapper till ett i förväg bestämt pris. Värdepapper som säljs i en repotransaktion

(återköpsavtal) kvarstår i balansräkningen under transaktionens löptid eftersom koncernen under transaktionens löptid är exponerad emot värdepapprets värdeförändringsrisk. Det sålda värdepappret redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Erhållen likvid redovisas beroende på motpart som Skuld till kreditinstitut eller in- och upplåning från allmänheten. Värdepapper som köps i en repotransaktion (omvända återköpsavtal) redovisas på motsvarande sätt, det vill säga värdepappret tas inte upp i balansräkningen under transaktionens löptid. Den erlagda likviden redovisas beroende på motpart som Övrig utlåning till centralbanker, Utlåning till övriga kreditinstitut eller Utlåning till allmänheten. Mottagna pantar som sålts vidare under återköpsavtal redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

Avtal om inlåning och utlåning av värdepapper

Värdepapper som lånats ut kvarstår i balansräkningen då koncernen fortsatt är exponerad mot värdepapprets värdeförändringsrisk och redovisas därutöver utanför balansräkningen som Ställd säkerhet. Inlånade värdepapper tas inte upp i balansräkningen, såvida de inte säljs (så kallad blankning). Om de säljs tas ett värde motsvarande det avyttrade värdepapprets verkliga värde upp som skuld. Inlånade värdepapper som vidareutlånats redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

Derivatinstrument

Samtliga derivat redovisas i balansräkningen och värderas till verkligt värde. Derivat med positiva verkliga värden redovisas på tillgångssidan under posten Derivatinstrument. Derivat med negativa verkliga värden redovisas på skuldsidan under posten Derivatinstrument. Realiserade och orealiserade vinster och förluster på derivat redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 11.

Kvittning av finansiella tillgångar och skulder

Finansiella tillgångar och skulder kvittas i balansräkningen om banken har avtalsmässig rätt till kvittning, i den löpande verksamheten och i händelse av konkurs, och om avsikten är att reglera posterna med ett nettobelopp eller att samtidigt realisera tillgången och reglera skulden. Ytterligare upplysningar om kvittning av finansiella tillgångar och skulder lämnas i not K23.

9. PRINCIPER FÖR VÄRDERING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR OCH SKULDER TILL VERKLIGT VÄRDE

Verkligt värde definieras som priset till vilken en tillgång skulle kunna säljas eller en skuld överföras i en normal transaktion mellan oberoende marknadsaktörer.

NOTER | KONCERNEN

KI Forts

För finansiella instrument som handlas på en aktiv marknad likställs verkligt värde med det aktuella marknadspriset. Som aktiv betraktas en sådan marknad där noterade priser med lätthet och regelbundenhet finns tillgängliga på en reglerad marknad, handelsplats, tillförlitlig nyhetstjänst eller motsvarande, och där prisuppgifterna lätt kan verifieras genom regelbundet förekommande transaktioner. Det aktuella marknadspriset motsvaras av den kurs mellan köp- och säljkursen som under omständigheterna ger mest korrekt bild av det verkliga värdet. För grupper av finansiella instrument som förvaltas på basis av bankens nettoexponering för marknadsrisk likställs det aktuella marknadspriset med det pris som skulle erhållas eller betalas vid en avyttring av nettopositionen.

När tillförlitliga uppgifter om marknadspris saknas för finansiella instrument, bestäms verkligt värde med hjälp av värderingsmodeller. De värderingsmodeller som används bygger på indata som i allt väsentligt kan verifieras med marknadsobservationer, exempelvis marknadsräntor och aktiekurser. Vid behov görs en justering för andra variabler som en marknadsaktör förväntas ta i beaktande vid prissättningen. De antaganden som används vid värdering baseras på internt genererad erfarenhet och kontrolleras löpande av riskkontrollfunktionen. Uppföljning görs mot verkliga utfall för att därigenom identifiera eventuella behov av anpassningar av antaganden och prognosverktyg.

Räntebärande värdepapper

Räntebärande värdepapper utgivna av stater och svenska bostadsobligationer värderas med hjälp av aktuella marknadspriser. Företagsobligationer värderas med värderingstekniker som baseras på marknadsräntor för motsvarande löptid med justering för kredit- och likviditetsrisk. Värderingen kontrolleras regelbundet för att säkerställa att den avspeglar gällande marknadspris. Kontrollerna utförs främst genom inhämtning av prisnoteringar från fler oberoende priställare och genom avstämning mot nyligen genomförda transaktioner i samma eller likvärdiga instrument.

Aktier och andelar

Aktier noterade på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Vid värdering av aktier och andelar i nivå 3 styrs valet av värderingsmodell av vad som bedöms lämpligt för det enskilda instrumentet. Innehav av aktier i nivå 3 består i huvudsak av aktier i företag som utför stödjande verksamhet åt banken. Aktier i nivå 3 är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av subetansvärdet i bolaget. För aktier i nivå 3 för vilka bolagsavtalet reglerar det pris till vilket aktierna kan avyttras, värderas innehaven till det i förväg bestämda avyttringspriset.

Vid värdering av andelar i nivå 3 i riskkapitalfonder används på marknaden vedertagna

värderingsmodeller som godkänts av European Venture Capital & Private Equity Association. Dessa modeller innebär att investeringsmarknadsvärde härleds genom relativvärdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Resultatposter som står i jämförelse mellan investeringen och jämförelsebolaget justeras, och därefter beräknas värdet av investeringen på basis av vinstmultiplar som exempelvis P/E och EV/EBITA. Värdeförändringar samt realiserat resultat på innehav i riskkapitalfonder som utgör en del av placerings-tillgångarna i försäkringsrörelsen redovisas inte direkt i resultaträkningen utan ingår i underlaget för beräkning av avkastningsandelning i försäkringsrörelsen, se punkt 13.

Derivat

Derivat som handlas på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Merparten av koncernens derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av inlöjra valutaderivat, värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Värderingen av icke-inlöjra derivatkontrakt som inte handlas aktivt bygger även på en rimlig skattning av marknadsbaserade indata, exempelvis volatilitet.

Vid modellvärdering av derivat förekommer i vissa fall differenser mellan transaktionspriset och det värde som räknats fram med hjälp av en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället. Sådana skillnader orsakas av att den tillämpade värderingsmodellen inte fullt ut fångar upp alla komponenter som påverkar derivatets värde. Realiserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Realiserade positiva dag 1-resultat förs inte till resultatet vid det första redovisningstillfället, utan periodiseras över derivatets löptid.

Tillgångar och skulder där kunden

står värdeförändringsrisken
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar i fondförsäkringsavtal. Sådana fondandelar värderas till fondens aktuella marknadsvärde (NAV). Tillgångarna motsvaras av skulder för vilka kunden står värdeförändringsrisken. Värderingen av dessa skulder speglar värderingen av tillgångarna. Med hänsyn till att försäkringstagarna och fondandelsägarna har förmånsrätt i tillgångsmassan, saknas skäl för att justera värderingen för kreditrisk. Tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken har i allt väsentligt kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

10. KREDITFÖRLUSTER

Förväntade kreditförluster

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och otäckeliga lånelöften, och baseras på en modell för redovisning av förväntade kreditförluster (Expected Credit Losses, ECL). Enligt denna ska reserven spegla ett sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera en rad sannolika utfall med hänsyn tagen till all rimlig och verifierbar information som är tillgänglig på rapporteringsdagen utan orimlig kostnad eller ansträngning. I bedömningen beaktas historiska, nuvarande och framtidsbaserade faktorer. De tillgångar vars nedskrivningsbehov ska provas delas in i följande tre steg, beroende på graden av kreditförsämring:

- Steg 1 omfattar finansiella tillgångar med betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.
- Steg 2 omfattar finansiella tillgångar med betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället men där det vid rapporteringstillfället saknas objektiva belägg för att fordran är kreditförsämrad.
- Steg 3 omfattar finansiella tillgångar för vilka objektiva omständigheter har identifierats för att fordran är kreditförsämrad. För definition av kreditförsämrad tillgång se rubrik Fallissemang/Kreditförsämrad tillgång nedan.

För Steg 1 ska reserveringar som motsvarar förväntade förluster orsakade av fallissemang som förväntas inträffa inom tolv månader redovisas. I Steg 2 och Steg 3 ska reserveringar som motsvarar den förväntade förlust som förväntas inträffa vid fallissemang någon gång under tillgångens hela återstående löptid redovisas.

För avtal i Steg 1 och Steg 2 finns en koncerngemensam central process med modellbaserad beräkning. Processen inleds med att det för samtliga avtal bedöms om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisker. Reserverna i de olika nedskrivningsstegen beräknas på individuell basis. För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3. Vid varje rapporteringstillfälle avgörs på avtalsnivå om ett avtal ska bli föremål för en modellbaserad beräkning eller en manuell beräkning.

Beräkningarna av förväntade kreditförluster påverkas i första hand av riskparametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Förväntade kreditförluster bestäms genom att beräkna PD, EAD och LGD fram till avtalets förväntade slutförfallodag. Dessa tre riskparametrar multipliceras och justeras med överlevnadssannolikheten alterna-

K1 Forts

tivt sannolikheten för att kreditexponeringen inte har fallerat eller blivit återbetald i förtid. De beräknade förväntade kreditförlusterna diskonteras sedan tillbaka till rapporteringsdagen med den ursprungliga effektivräntan och summeras. Summan av kreditförluster för Steg 1 beräknas med sannolikheten för fallissemang under de kommande 12 månaderna. För Steg 2 och Steg 3 beräknas kreditförluster med sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid.

Modellbaserad beräkning

Beräkningen av de förväntade kreditförlusterna tar hänsyn till minst tre makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett positivt och ett negativt scenario) med relevanta makroekonomiska riskfaktorer såsom arbetslöshet, styrt/centralbanksräntor, BNP, Inflation och fastighetspriser, uppdelade per land. De olika scenarierna används för att justera riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario tilldelas en sannolikhet, och de förväntade kreditförlusterna erhålls som ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för varje scenario.

För utförligare information om modellerna för att beräkna förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 (och för en mindre portfölj av homogena fordringar i Steg 3) och för förklaring av begrepp såsom PD, EAD och LGD, förväntad löptid, betydande ökning av kreditrisk och makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisk. För känslighetsanalys för förväntade kreditförluster, se not K10.

Manuell beräkning

Tillgångar i Steg 3 prövas för nedskrivning på individuell basis, och beräkningen är manuell (med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3). Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsrelevanta bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av regional eller central kreditavdelning.

Nedskrivningsprövning utförs då det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktssenliga åtaganden i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad eller utebliven betalning, ändrad intern rating eller om kredittagaren försätts i konkurs.

I nedskrivningsprövningen uppskattas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas normalt till minst två möjliga framåtblickande scenarier för förväntade kassaflöden baserade på både motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsvikts och diskonteras med fordrans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den enskilda

motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde.

Expertbaserad beräkning

Expertbaserad beräkning görs för kreditförluster för att införliva uppskattad effekt från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen (Steg 1, Steg 2 och för en mindre portfölj av homogena fordringar i Steg 3) eller som inte har tagits hänsyn till manuellt (Steg 3). De modellbaserade beräkningarna är konstruerade med ambitionen att göra en så precis skattning som möjligt av de enskilda bidragen till reserveringsbehovet. Det är dock mycket svårt att med generella modeller fånga alla de särdrag som karaktäriserar ett enskilt avtal. Därför görs en manuell analys av de avtal som ger de största bidragen till reserveringsbehovet. Den manuella analysen syftar till att, baserat på expertkunskap om de enskilda krediterna, bedöma om den modellbaserade eller manuella beräkningen ska ersättas med en expertbedömd beräkning. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

Expertbaserad beräkning kan även utföras på en mer aggregerad nivå för att justera de modellbaserade beräkningarna för en delportfölj eller motsvarande. Dessa justeringar fördelas proportionellt över de ingående avtalen. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

Redovisning och presentation av kreditförluster

- Finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde redovisas i balansräkningen till sitt nettobelopp, efter avdrag för förväntade kreditförluster.
- Poster utanför balansräkningen (finansiella garantier och oåterkallbara lånelöften) redovisas till sitt nominella belopp. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas som en avsättning i balansräkningen.
- Finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat är redovisade till verkligt värde i balansräkningen. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas i verkligt värdereserven i eget kapital och minskar således inte redovisat värde på instrumentet.
- För finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde och för poster utanför balansräkningen redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Kreditförluster. Raden Kreditförluster utgörs av periodens reserveringar för förväntade kreditförluster med avdrag för återföringar av tidigare

utförda reserveringar, periodens bortskrivningar och periodens återvinnningar.

- För finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Nettoresultat av finansiella transaktioner.
- Bortskrivningar utgörs av konstaterade kreditförluster med avdrag för återföringar av tidigare gjorda reserveringar för förväntade kreditförluster i Steg 3 och kan avse hela eller delar av en finansiell tillgång. Bortskrivning sker när det inte bedöms finnas någon realistisk möjlighet till återbetalning. Efter bortskrivningen kvarstår normalt kraven mot låntagare och eventuella borgensmän, vilka som regel drivs vidare genom efterbevakning. Efterbevakning vidtas inte i vissa situationer, exempelvis i de fall konkursförvaltare lämnat slutlig redovisning av utdelning i konkurs, när ett ackordsförslag antagits eller när en fordran eftergivits i sin helhet. Fordringar som efterges i samband med omstrukturering av finansiella tillgångar redovisas alltid som konstaterade kreditförluster.
- Betalningar som tillkommer banken för bortskrivna finansiella tillgångar intäktsredovisas som återvinnningar.

Ytterligare information om kreditförluster lämnas i not K10.

Fallissemang/Kreditförsämrad tillgång

Bankens definition av fallissemang överensstämmer med kapitalkräkningsförfordningens (CAR) definition vilket innebär att motparten antingen är mer än 90 dagar sen med en betalning eller att det gjorts en bedömning att motparten inte kommer att kunna betala kontraktssenligt. En sådan bedömning innebär att det ses som mer sannolikt att kredittagaren inte kommer att kunna betala än det motsatta. Bedömningen av detta görs utifrån all tillgänglig information om kredittagarens betalningsförmåga. Hänsyn tas till obeståndssignaler som bristande likviditet, försenade och inställda betalningar, betalningsanmärkningar eller andra tecken på bristande betalningsförmåga. Andra signaler kan vara att kredittagaren försätts i konkurs eller att beslut tas om en betydande anståndsåtgärd som innebär att värdet på bankens fordran mot kredittagaren minskar.

Sannolikheten för fallissemang beräknas inför varje rapporteringstillfälle och ingår vid bedömningen av om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället och vid beräkningen av förväntad kreditförlust för finansiella tillgångar i Steg 1 och Steg 2.

Kreditförsämrad finansiell tillgång, vilket är exponering i Steg 3, definieras som exponering i fallissemang. Det medför att bedömningen för redovisningssyften är i linje med den som används i koncernens kreditriskhantering.

NOTER | KONCERNEN

KI Forts

Ränta

Redovisning av ränteläntäktär hänförliga till poster i balansräkningen som ingår i Steg 1 och Steg 2 bygger på bruttoredovisning, vilket innebär att ränteläntäktär redovisas till sitt fulla belopp i räntenetot.

Ränteläntäktär avseende motsvarande poster i Steg 3 redovisas netto, det vill säga efter beaktande av nedskrivningen. Ränteeffekter som uppstår till följd av diskonterings effekter då perioden fram till förväntad inbetalning minskar, resulterar i en upplösning av tidigare reserverade belopp och redovisas som ränteläntäktär i enlighet med effektivräntemetoden.

Värdering av egendom som övertagits för skyddande av fordran

Vid första redovisningstillfället redovisas övertagen egendom till verkligt värde i balansräkningen. Övertagen egendom (inklusive övertagna leasingobjekt) som förväntas avyttras inom en snar framtid, tas vid efterföljande värdering upp till det lägsta av redovisat värde och verkligt värde med avdrag för kostnader för försäljning. Övertagna fastigheter som inte förväntas avyttras inom en snar framtid redovisas som förvaltningsfastigheter till verkligt värde via resultaträkningen. Onoterade aktieinnehav som övertas för skyddande av fordran redovisas normalt till verkligt värde via resultaträkningen.

Modificerade finansiella tillgångar

Ett lån anses vara modifierat när villkor och bestämmelser som styr kassaflöden ändras jämfört med det ursprungliga avtalet till följd av åtgärder i form av anståndsåtgärder eller affärsrättsliga omförhandlingar. Anståndsåtgärder är villkorsändringar i samband med omstruktureringar eller andra finansiella lättnadsåtgärder. Dessa villkorsändringar utförs för att säkerställa full återbetalning eller för att maximera återbetalningen av det utestående lånebeloppet för låntagare som har, eller står inför, finansiella svårigheter. Affärsrättsliga omförhandlingar är villkorsändringar som inte är relaterade till en låntagares finansiella svårigheter, till exempel ändringar i kassaflödet för ett lån på grund av förändringar i marknadsförhållanden för amorteringar eller ränta.

Om kassaflöden från en finansiell tillgång klassificerad till upplupet anskaffningsvärde har modifierats, men tillgångens kassaflöden inte blir väsentligt annorlunda, resulterar normalt inte modifieringen i att den finansiella tillgången tas bort från balansräkningen. I det fallet omräknas redovisat bruttovärde utifrån den finansiella tillgångens förändrade kassaflöden, och justeringsbeloppet redovisas i resultaträkningen.

Eftersom modifieringar utförs av olika anledningar finns inget ovillkorligt samband mellan modifieringar och bedömd kreditrisk. När en finansiell tillgång beviljats anståndsåtgärd och kvarstår i balansräkningen klassificeras den till

Steg 2 eller Steg 3, baserat på utfallet av den bedömning som utförs i samband med anståndsåtgärden. Bedömningen omfattar kontroll av om det finns behov av reservering för kreditförlust eller annan omständighet som innebär klassificering till Steg 3.

Om en finansiell tillgång modifieras på ett sätt som medför väsentligt förändrade kassaflöden tas den modifierade finansiella tillgången bort från balansräkningen och ersätts med ett nytt avtal. I dessa fall utgör datumet för modifieringen första redovisningstillfället för det nya avtalet och detta datum används vidare vid beräkning av förväntade kreditförluster samt vid bedömning av huruvida det föreligger en betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.

För en beskrivning av redovisningen avseende modifieringar som genomförs till följd av benchmarkreformen, se avsnitt 11 Säkringsredovisning och Benchmarkreformen.

11. SÄKRINGSREDOVISNING OCH BENCHMARKREFORMEN

Handelsbanken har valt att fortsätta tillämpa säkringsredovisningsreglerna i IAS 39, i enlighet med övergångsbestämmelserna i IFRS 9. Koncernen tillämpar olika metoder för säkringsredovisning beroende på syftet med säkringen. Som säkringsinstrument används derivat, i huvudsak ränte- och valutaränteswappar. Vid säkringar av valutarisker kopplade till nettoinvesteringar i utländska enheter används även skulder i respektive utländsk enhets funktionella valuta som säkringsinstrument. Som en del av koncernens säkringsstrategier delas värdet på säkringsinstrument i vissa fall upp och ingår i fler än en säkringsrelation. Ett och samma säkringsinstrument kan därmed säkra olika risker. Sådan uppdelning görs endast om de säkrade riskerna tydligt kan identifieras, om effektiviteten kan mätas tillförlitligt och om den totala värdeförändringen på instrumentet ingår i någon säkringsrelation.

Kassaflödessäkring används för att hantera exponeringar för variationer i kassaflöden hänförliga till förändringar i rörlig ränta på ut- och upplåning. Den förväntade löptiden för sådan ut- och upplåning är i regel betydligt längre än räntebindningstiden som är kort. Kassaflödessäkring används även för att säkra valutarisken i framtida kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning. Även valutarisker hänförliga till koncerninterna monetära poster kan omfattas av denna typ av säkring. I den mån de ger upphov till valutaexponeringar som inte elimineras vid upprättande av koncernredovisningen. Derivat som är säkringsinstrument i kassaflödessäkringar värderas till verkligt värde. I den mån derivatets värdeförändring är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten, redovisas den som en komponent i övrigt totalresultat och i säkringsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av derivatets värdeförändring redovisas i resultat-

räkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Då kassaflödessäkringar avslutas i förtid periodiseras den ackumulerade värdeförändringen, som tidigare redovisats i övrigt totalresultat, i Nettoresultat av finansiella transaktioner under den period de säkrade kassaflödena förväntas inträffa. Avslutas kassaflödessäkringar i förtid, och de säkrade kassaflödena inte längre förväntas inträffa, omklassificeras den ackumulerade värdeförändringen i säkringsreserven till Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkringar av verkligt värde tillämpas i syfte att skydda koncernen mot icke önskvärda resultat-effekter på grund av exponeringar för förändringar i marknadspriser. Säkringar av verkligt värde tillämpas för enskilda tillgångar och skulder samt för portföljer av finansiella instrument. Säkrade risker i säkringspaket till verkligt värde består av ränte- och valutarisk i ut- och upplåning till fast ränta samt i utlåning med räntetak. Säkringsinstrumenten i dessa säkringsrelationer består av ränte- och valutaränteswappar samt räntecptioner. Vid säkring av verkligt värde värderas såväl säkringsinstrumentet som den säkrade risken till verkligt värde. Värdeförändringarna redovisas direkt i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. När portföljsäkring tillämpas redovisas värdet på den säkrade posten på en enskild rad i balansräkningen i anslutning till Utlåning till allmänheten. Då säkringar av verkligt värde avslutas i förtid periodiseras den upparbetade värdeförändringen på den säkrade posten i Nettoresultat av finansiella transaktioner under återstående löptid. Avslutas säkringar av verkligt värde i förtid, och den säkrade posten inte längre kvarstår, återförs den upparbetade värdeförändringen direkt i Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ackumulerade värdeförändringar på portföljsäkringar som avslutas i förtid redovisas i balansräkningen under posten Övriga tillgångar.

Säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet tillämpas för att skydda koncernen mot valutakursdifferenser till följd av verksamhet i utlandet. Som säkringsinstrument används valutaränteswappar och lån i utländsk valuta. Den säkrade posten i dessa säkringar utgörs av nettoinvesteringar i form av direkta investeringar samt fordringar på utlandsverksamhet som inte förväntas regleras inom en överskådlig framtid. Lån i utländsk valuta som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i koncernen till kursen på balansdagen. Den effektiva delen av valutakursdifferenser på sådana lån redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och i omräkningsreserven i eget kapital. Så redovisas även den effektiva delen av värdeförändringar på valutaränteswappar som säkrar valutakursrisk i fordringar på utlandsverksamhet. Ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

K1 Forts

Benchmarkreformen

Det föreligger temporära undantag från att tillämpa vissa specifika krav avseende säkringsredovisning för samtliga säkringsrelationer som direkt påverkas av osäkerheten från benchmarkreformen. De temporära undantagen syftar till att säkringsrelationer, som annars hade varit effektiva, inte ska behöva brytas upp endast till följd av osäkerhet från benchmarkreformen. Det föreligger en direkt påverkan på en säkringsrelation, endast om denna ger upphov till osäkerhet om benchmarkräntan som utgör säkrad risk och/eller tidpunkt eller belopp avseende kassaflöden baserade på benchmarkräntan från den säkrade posten eller säkringsinstrumentet. Osäkerheten om benchmarkräntan kvarstår fram till dess att beslut har fattats om vilken ränta som är den alternativa räntan samt om och när reformen kommer att genomföras, inklusive specificering av dess effekter på enskilda kontrakt.

När modifieringar av finansiella tillgångar och finansiella skulder genomförs, som en direkt följd av benchmarkreformen, redovisas modifieringen som en ändring i effektivräntan. Någon modifieringsvinst eller -förlust redovisas således ej. För att undantaget ska gälla krävs att en ändring är nödvändig som en direkt följd av benchmarkreformen samt att den nya basen för att bestämma kassaflöden är ekonomiskt likvärdig med den tidigare. Därutöver föreligger vissa undantag från krav för säkringsredovisning när befintliga referensräntor i säkringsrelationer ersätts med alternativa referensräntor, vilka syftar till att säkringsrelationer inte ska behöva avbrytas endast till följd av implementeringen av benchmarkreformen.

För ytterligare information se not K22
Säkringsredovisning och Benchmarkreformen.

12. LEASING**Banken som leasegivare**

En leasegivare ska klassificera ett leasingavtal som antingen finansiellt eller operationellt. Finansiella leasingavtal är sådana avtal där de ekonomiska risker och fördelar som förknippas med ägandet av den leasade tillgången i allt väsentligt överförs från leasegivaren till leasetagaren. Övriga leasingavtal klassificeras som operationella leasingavtal. Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utlåning i balansräkningen, initialt till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Erhållna leasingavgifter redovisas löpande som räntetäckter respektive amorteringar.

Nettoinvesteringar i finansiella leasingavtal är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9, på samma sätt som finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde.

Banken som leasetagare

Vid ingången av ett leasingavtal redovisas en leasingsskuld och en nyttjanderätt. Leasingsskulden värderas initialt till nuvärdet av framtida

leasingavgifter, vilka diskonteras med bankens marginella låneränta. Leasingavgifterna som ingår i värderingen av leasingsskulden utgörs i huvudsak av fasta avgifter och variabla avgifter som beror på ett index. Nyttjanderätten värderas initialt till anskaffningsvärdet, vilket motsvarar den ursprungliga värderingen av leasingsskulden, förutbetalda leasingavgifter, eventuella initiala direkta utgifter och en uppskattning av eventuella återställningskostnader. Det är endast när en förpliktelse uppstår för återställningskostnader som dessa utgör en del av anskaffningsvärdet.

Vid efterföljande värdering av leasingsskulden ökar det redovisade värdet med ränta och minskar med utbetalda leasingavgifter. Därutöver ökar eller minskar leasingsskulden vid omprövningar eller ändringar av leasingavtalet. Vid efterföljande värdering av nyttjanderätten värderas denna till anskaffningsvärde minus ackumulerade avskrivningar och eventuella ackumulerade nedskrivningar samt med beaktande av eventuella omvärderingar av leasingsskulden. Nyttjanderätten skrivs av över leasingperiodens längd. Nedskrivningsprövning av nyttjanderätterna utförs i enlighet med IAS 36 Nedskrivningar, se punkt 15 avsnittet om nedskrivningsprövning.

Nyttjanderätterna ingår i balansposten Fastigheter och inventarer och leasingsskulden ingår i balansposten Övriga skulder.

Leasingavtal som är kortare än 12 månader, eller för vilka den underliggande tillgången har ett lågt värde, redovisas som en kostnad linjärt över leasingperioden och ingår således inte i leasingsskulder och nyttjanderätter.

13. FÖRSÄKRINGSVERKSAMHET

Koncernens försäkringsverksamhet bedrivs i dotterbolaget Handelsbanken Liv. Verksamhetens produkter består främst av legala livförsäkringar i form av traditionell livförsäkring och fondförsäkring samt riskförsäkringar i form av sjukförsäkring och premiebefrielse.

Klassificering och uppdelning**av försäkringskontrakt**

I koncernredovisningen klassas sådana avtal som innehåller betydande försäkringsrisk som försäkringskontrakt. Med försäkringsrisk avses risk, annan än finansiell risk, som överförs från avtalets ägare till utföraren. Avtal som inte överför betydande försäkringsrisk klassificeras i sin helhet som investeringsavtal. I regel innebär detta att försäkringar med återbetalningskydd klassas som investeringsavtal, och övriga avtal klassas som försäkringskontrakt. Försäkringskontrakt består av både försäkringskomponenter och sparande (finansiella komponenter) delas upp och så redovisas i enlighet med de principer som beskrivs i det följande.

Redovisning av försäkringskomponenter**i försäkringskontrakt**

Premietäckter och utbetalda försäkringsersättningar för försäkringsavtal redovisas i resultat-

räkningen i nettoposten Riskresultat försäkring. Under denna post redovisas även årets förändring av koncernens försäkringsskulder.

Mottagna premier som ännu inte intäktsförts redovisas som skuld för inbetalda premier under posten Försäkringsskulder i balansräkningen. I balansposten Försäkringsskulder ingår även skulder för sjukräntor, livräntor och andra oreglerade skador. Försäkringsskulden värderas genom diskontering av uppskattade framtida kassaflöden hänförliga till ingångna försäkringsavtal. Värderingen bygger på antaganden om ränta, livslängd, hälsa och framtida avgifter. Livslängdsantaganden varierar med hänsyn till när försäkringen tecknats och beaktar den förväntade framtida ökningen av livslängden. Även avgiftsantaganden beror på när försäkringen tecknats. Det innebär i huvudsak en avgift som är proportionell mot premien och en avgift som är proportionell mot livförsäkringsavsättningen. Tillämpade antaganden om de försäkrades framtida hälsa är baserade på internt genererad erfarenhet och varierar beroende på produkt. Ränteantaganden är baserade på aktuella marknadsräntor och beror på skuldens löptid. Koncernens försäkringsskulder prövas regelbundet och minst årligen i syfte att säkerställa att den redovisade försäkringsskulden är tillräcklig för att täcka förväntade framtida anspråk. Vid behov görs en ytterligare avsättning. Mellanskillnaden redovisas i resultaträkningen.

Redovisning av investeringsavtal och finansiella komponenter i försäkringskontrakt

Inbetalningar och utbetalningar för kunders sparkapital som härrör från investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt redovisas som insättningar respektive uttag direkt i balansräkningen.

Den från försäkringskontrakt separerade finansiella komponenten i traditionella legala livförsäkringar redovisas i balansräkningen som upplåning från allmänheten. Dessa skulder värderas till det högsta av garanterat belopp och försäkringens aktuella värde. Det garanterade beloppet förräntas med garanterad ränta och motsvarar försäkringens upplupna anskaffningsvärde. Försäkringens aktuella värde är lika med värdet av de tillgångar som förväntas för försäkringstagarnas räkning, och förräntas med en avkastning som bestäms från totalavkastningen för tillgångarna med avdrag för eventuell avkastningsdelning. Avkastningsdelningen innebär att försäkringsgivaren tilldelas en avtalad del av totalavkastningen om denna avkastning under kalenderåret överstiger den garanterade räntan. Beräkningen görs årligen och ackumulerat för varje enskilt försäkringskontrakt. Det innebär att den villkorade återbäringen minskar i de fall avkastningen ett enskilt år understiger garantiräntan och vice versa. Den del av avkastningen som enligt modellen för avkastningsdelning tillfaller koncernen redovisas som provisionsintäkt. I det fall avkastningen

NOTER | KONCERNEN

K1. Forts

understiger den per kontrakt garanterade räntan redovisas mellanskillnaden i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar och skulder som härrör från fond-försäkringsavtal redovisas till verkligt värde i balansräkningen i posterna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdet förändringsrisken.

Premieavgifter, kapitalavgifter samt övriga administrativa avgifter för försäkringskontrakt och investeringsavtal redovisas i resultaträkningen i posten Provisionsintäkter. Anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen.

Återförsäkring

Återförsäkrarens andel av koncernens försäkrings-skulder redovisas i posten Återförsäkrings-tillgångar i balansräkningen.

14. IMMATERIELLA TILLGÅNGAR

Redovisning i balansräkningen

En immateriell tillgång är en identifierbar, icke-monetär tillgång utan fysisk form. En immateriell tillgång tas endast upp i balansräkningen om det är troligt att de framtida ekonomiska fördelar som härrör från tillgången kommer att tillfalla koncernen och om det går att beräkna anskaffningsvärdet på ett tillförlitligt sätt. Det innebär att internt upparbetade värden i form av goodwill, varumärken, kundregister och liknande inte redovisas som tillgångar i balansräkningen.

Investeringar i egenutvecklad programvara tas till resultatet löpande i den mån utgifterna avser underhåll av befintlig affärsverksamhet eller befintlig programvara.

Avtal med en leverantör som tillhandahåller banken en molntjänst som innebär tillgång till leverantörens applikation, plattform eller infrastruktur under avtalstiden utgör ett serviskontrakt. Avgift för en molntjänst kostnadsförs löpande under kontraktstiden. Eventuell förutbetalad kostnad, utgifter för konfiguration och anpassningar utgör en integrerad del av molntjänsten och utförs av leverantören av molntjänsten, eller underleverantör till denne, kostnadsförs utgiften löpande under avtalstiden. Eventuell förutbetalad utgift redovisas som en förutbetalad kostnad.

Vid egen utveckling av ny programvara, eller vid utveckling av befintlig programvara för ny affärsverksamhet, aktiveras nedlagda utgifter, som kan beräknas på ett tillförlitligt sätt, från den tidpunkt det är sannolikt att ekonomiska fördelar kommer att uppstå. Utgifter som härrör från lånekostnader aktiveras från den tidpunkt då beslut har fattats om aktivering av utgifter för utveckling av en immateriell tillgång.

Vid ett rörelseförvärv hänförs förvärvspriset till värdet av förvärvade identifierbara tillgångar, skulder och eventualförpliktelser i den förvärvade rörelsen. Bland dessa tillgångar kan även

ingå sådana immateriella tillgångar som inte skulle ha tagits upp i balansräkningen om de förvärvats separat eller upparbetats internt. Den del av förvärvspriset som vid ett rörelseförvärv inte kan hänföras till identifierbara tillgångar och skulder redovisas som goodwill.

Goodwill och immateriella tillgångar

Goodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod redovisas till anskaffningsvärdet med avdrag för eventuella nedskrivningar. Nedskrivningsprövning sker årligen i samband med bokslutet eller när det finns en indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde, det vill säga det högsta av nyttjandevärdet och det verkliga värdet med avdrag för försäljningskostnader. Så länge återvinningsvärdet överstiger redovisat värde är nedskrivning inte befogad. Nedskrivningar redovisas direkt i resultaträkningen.

Med hänsyn till att det inte är möjligt att särskilja de kassaflöden som härrör från goodwill från kassaflöden som härrör från andra tillgångar, sker nedskrivningsprövningen på nivån kassagenererande enhet. En kassagenererande enhet är den minsta grupp tillgångar som ger upphov till inbetalningar som är oberoende av inbetalningar från andra tillgångar eller tillgångsgrupper. Goodwill följs upp på rörelsesegment-nivå. Väsentliga bedömningar och antaganden vid nedskrivningsprövning av goodwill framgår av not K24. Tidigare gjorda nedskrivningar av goodwill återförs inte.

Immateriella tillgångar med

bestämbar nyttjandeperiod

Immateriella tillgångar för vilka det går att fastställa en bedömd nyttjandeperiod är föremål för avskrivning. Avskrivningen sker linjärt över nyttjandeperioden. För närvarande innebär det att kundkontrakt skrivs av på 20 år och att internt utvecklad programvara vanligen skrivs av på fem år. I vissa infrastrukturprojekt bedöms nyttjandeperioden vara längre än fem år. För sådana investerings- är avskrivningstiden upp till 15 år. Varumärken som är föremål för avskrivning skrivs av på fem år. Avskrivningstiden prövas individuellt, dels vid nyanskaffning, dels fortlöpande vid indikation på att nyttjandeperioden kan ha ändrats. Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs enligt samma principer som för immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod, det vill säga genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde.

15. FASTIGHETER OCH INVENTARIER

Koncernens materiella anläggningstillgångar består av fastigheter och inventarier. Med undantag av fastigheter som övertagits för

skydd av fordran, värderas dessa tillgångar till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar.

Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder. Normalt tillämpas en linjär avskrivningsplan. De bedömda nyttjandeperioderna prövas årligen. De materiella tillgångar som består av delkomponenter med olika bedömda nyttjandeperioder, indelas i olika kategorier med separata avskrivningsplaner. Sådan så kallad komponentavskrivning är normalt endast aktuell för fastigheter. Som delkomponenter betraktas då de delar av fastigheten som har ett anskaffningsvärde som är betydande i förhållande till det sammanlagda anskaffningsvärdet. Rasterande delar av fastigheten (stomme) skrivs av som helhet över den förväntade nyttjandeperioden. För närvarande är den bedömda nyttjandeperioden för stomme 100 år, för vatten och avlopp 35 år, för tak 30 år, för fasad, värme, ventilation och el 25 år, för hissar 20 år och för byggnadsinventarier 10 år. Persondatorer och övrig it-utrustning skrivs i regel av på tre år och investeringar i bankvalv och liknande lokalinvesteringar på 10 år. Övriga inventarier skrivs normalt av på fem år.

Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivning görs i det fall återvinningsvärdet understiger det redovisade värdet. Eventuell nedskrivning redovisas omedelbart i resultaträkningen. En nedskrivning reverseras om det finns indikation på att nedskrivningsbehovet inte längre föreligger och det har skett en förändring i de antaganden som låg till grund för beräkningen av återvinningsvärdet.

16. AVSÄTTNINGAR

Posten Avsättningar består av resultatförda förväntade negativa utflöden av resurser från koncernen som är av vissa vad gäller förfallotidpunkt eller belopp. Avsättningar redovisas när koncernen till följd av en inträffad händelse har en legal eller informell förpliktelse som det är sannolikt att det kommer att krävas ett utflöde av resurser för att reglera. För att redovisning ska kunna ske måste det vara möjligt att göra en tillförlitlig uppskattning av beloppet. Avsättningen värderas till det belopp som motsvarar den bästa uppskattningen av vad som krävs för att reglera förpliktelsen på balansdagen. Vid värderingen tas hänsyn till den förväntade framtida tidpunkten för reglering.

Avsättningar redovisas för omstruktureringar. Med omstrukturering avses genomgripande organisationsförändring, till exempel genom att anställda får avgångsvederlag för förtida uppsägning, eller nedläggningar av kontor. För att en avsättning ska redovisas krävs att en omstrukturingsplan har fastställts och tillkännagivits så att det har skapats en välgrundad förväntan hos dem som berörs av att företaget kommer att genomföra omstruktureringen. En avsättning för omstrukturering omfattar enbart

K1 Forts

de direkta utgifter som uppstår vid omstruktureringen och som inte hör samman med den framtida verksamheten.

17. EGET KAPITAL

Eget kapital består av de komponenter som beskrivs i det följande.

Överkursfond

Överkursfonden består dels av optionskomponenten av emitterade konvertibla skuldebrev och dels av det belopp som vid emission av aktier och vid konvertering av konvertibla skuldebrev överstiger de emitterade aktiernas kvotvärde.

Säkringsreserv

I säkringsreserven redovisas orealiserade värdeförändringar på derivatinstrument som utgör säkringsinstrument i kassaflödessäkringar.

Verkligt värdereserv

Orealiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas i verkligt värdereserv. Vidare består verkligt värdereserven av reserveringar för förväntade kreditförluster på skuldinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar på dessa skuldinstrument omklassificeras från verkligt värdereserv till resultaträkningen. Realiserade värdeförändringar på eget kapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från verkligt värdereserv till balanserade vinstmedel.

Omräkningsreserv

Omräkningsreserven består av orealiserade valutakurseffekter som uppstår till följd av omräkning av utländska enheter till koncernens rapporteringsvaluta. Därutöver redovisas effektiva delar för säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet i omräkningsreserven.

Förmånsbestämda pensionsplaner

I posten Förmånsbestämda pensionsplaner redovisas aktuariella vinster och förluster på pensionsförpliktsen samt avkastning på förvaltningsstillgångarna som överstiger eller understiger diskonteringsräntan.

Balanserade vinstmedel inklusive årets resultat

Balanserade vinstmedel består av Intjänat resultat från innevarande och tidigare räkenskapsår. Utdelning och återköp av egna aktier redovisas som avdrag från balanserade vinstmedel.

Realiserade resultat hänförliga till eget kapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från verkligt värdereserv till balanserade vinstmedel.

Innehav utan bestämmande inflytande

Innehav utan bestämmande inflytande utgörs av den andel av koncernens nettotillgångar som

inte direkt eller indirekt ägs av moderföretagets stamaktieägare. Innehav utan bestämmande inflytande redovisas som en separat andel av eget kapital.

Redovisning av egna aktier

Återköpta egna aktier redovisas inte som tillgång utan kvittas mot posten Balanserade vinstmedel i eget kapital.

18. INTÄKTER

Räntenetto

Räntelänet och räntekostnader redovisas i räntenettet i resultaträkningen, med undantag för räntor hänförliga till finansiella instrument som obligatoriskt värderas till verkligt värde via resultaträkningen vilka redovisas i Nettoresultat av finansiella transaktioner där den samlade aktiviteten i handelslagret redovisas.

Räntelänet och räntekostnader för finansiella instrument som värderas till upplupet anskaffningsvärde beräknas och redovisas med tillämpning av effektivräntemetoden eller, om så anses lämpligt, med tillämpning av en metod som resulterar i ett belopp som utgör en rimlig uppskattning av vad en beräkning grundad på effektivräntemetoden skulle ge. Effektivräntan innefattar avgifter som anses vara en integrerad del av effektivräntan för ett finansiellt instrument (vanligen avgifter som kompenserar för risk). Effektivräntan motsvarar den ränta som används för att diskontera avtalsenliga framtida kassaflöden till redovisat värde på den finansiella tillgången eller skulden.

I räntenettet redovisas även räntor från derivat som ingår i säkringsredovisning och räntor från derivat i ekonomiska säkringar, eftersom dessa säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenettet.

Utöver räntelänet och räntekostnader ingår i räntenettet avgifter för statliga garantier, exempelvis insättningsgaranti och resolutionsavgiften.

Intäkter från avtal med kunder

Standarden för intäkter från avtal med kunder, IFRS 15, tillämpas för olika typer av tjänster som i resultaträkningen huvudsakligen redovisas som Provisionsintäkter. IFRS 15 är även tillämplig på vissa tjänster som återfinns i posten Övriga intäkter. Övriga intäkter avser dock i allt väsentligt inte intäkter från avtal med kunder.

Intäkterna redovisas vid den tidpunkt när prestationsåtagandet är uppfyllt, vilket är när kontrollen av tjänsten är överförd till kunden. Den totala intäkten fördelas för varje tjänst, och intäktsfördelningen beror på om tjänsterna är uppfyllda vid en viss specifik tidpunkt eller över tid.

Följande gäller i fråga om tidpunkten för redovisning av intäkter:

- Intäkter som tjänas in successivt genom att tjänster utförs, exempelvis förvaltningsavgifter inom kapitalförvaltningen, redovisas i takt med att dessa tjänster levereras, det vill säga

linjärt över tid. Detta eftersom kunden samtidigt erhåller och förbrukar tjänsten och bankens åtagande då uppfylls under den tid tjänsten utförs.

- Intäkter hänförliga till en specifik tjänst eller handling redovisas när tjänsten utförs, det vill säga vid en viss specifik tidpunkt. Exempel på sådana intäkter är courtage och betalningsprovisioner.

Den intäkt som redovisas ska spegla den förväntade intäkten. När intäkten inkluderar en rörlig ersättning, till exempel rabatt, återbärning eller prestationsbaserade delar, redovisas intäkten först när det är högst troligt att ingen återbetalning av beloppet kommer att ske.

Betalningar sker löpande i takt med att tjänsterna utförs, och förskottsbetalning avser max 12 månader framåt. Upplupna intäkter redovisas för tjänster som har tillhandahållits men ännu inte har betalats. Förutbetalda intäkter redovisas för tjänster som har betalats men ännu inte har tillhandahållits. Intäkter från avtal med kunder utgör en obetydlig andel av posterna Upplupna intäkter och Förutbetalda intäkter. Tillkommande utgifter för att erhålla ett avtal med en kund redovisas inte som en tillgång (förutbetalad kostnad), utan utgifter redovisas som kostnad under den redovisningsperiod de inträffar.

Provisionsnetto

Intäkter och kostnader för olika typer av tjänster redovisas i resultaträkningen i posterna Provisionsintäkter respektive Provisionskostnader. Det innebär bland annat att courtage och olika former av förvaltningsavgifter redovisas som provisioner. Andra typer av intäkter som redovisas som provisioner är betalningsprovisioner och kortavgifter, premier för utställda finansiella garantier och provisioner i försäkringsverksamheten. Räntelånande garantiprovisioner och avgifter som utgör integrerade delar av finansiella instrument och därför räknas in i effektivräntan, redovisas inte som provisioner utan ingår i räntenettet. Provisionskostnader är transaktionsberoende och är direkt relaterade till transaktioner vars intäkter redovisats som Provisionsintäkter.

Övriga intäkter

Posten Övriga intäkter består främst av hyresintäkter och realisationsresultat vid avyttring av ägarandelar i dotterföretag, Intresseföretag och joint ventures. Posten Övriga intäkter avser därmed i allt väsentligt inte intäkter från avtal med kunder.

Nettoresultat av finansiella transaktioner

I posten Nettoresultat av finansiella transaktioner redovisas den resultatpåverkan som uppstår vid värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde via resultaträkningen och vid realisation av finansiella tillgångar och skulder (med undantag för eget kapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat).

NOTER | KONCERNEN

K1 Forts

- Resultat från finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde består av realiserade vinster och förluster på finansiella tillgångar och skulder klassificerade till upplupet anskaffningsvärde, såsom till exempel ränteskillnadsersättning för förtidslånet utlåning och realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via övrigt totalresultat består av realiserade vinster och förluster på räntebärande värdepapper klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade vinster och förluster omklassificeras från övrigt totalresultat till Nettoresultat av finansiella transaktioner i samband med avyttring/försäljning. Vidare består posten av kreditförluster (förväntade och konstaterade) på dessa tillgångar.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, består av realiserade och realiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället identifierats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt, består av realiserade och realiserade värdeförändringar samt utdelningsintäkter och räntor (med undantag för räntor som härrör från derivat som säkrar poster vars ränteflöde redovisas i räntenettot) på finansiella tillgångar och skulder som innehåller för handel eller som förvaltas och utvärderas på basis av verkliga värden.
- Säkring av verkligt värde består av realiserade och realiserade värdeförändringar på säkringsinstrument respektive säkrad riskkomponent i finansiella tillgångar och skulder som är säkrade poster i säkringar till verkligt värde. Ineffektivitet i kassaflödessäkringar består av de värdeförändringar på säkringsinstrumentet som inte motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten.
- Resultat från den finansiella komponenten i försäkringskontrakt består av det resultat som uppstår om avkastningen understiger den garanterade räntan.

Utdelning

Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas i resultaträkningen i posten Övriga utdelningsintäkter. Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via resultaträkningen redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Utdelningar på aktier i intresseföretag och joint ventures ingår inte i posten Utdelningar i resultaträkningen. Redovisning av andelar i intresseföretag och joint ventures resultat beskrivs i punkt 4.

19. ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA
Personalkostnader

Som personalkostnader redovisas löner, pensionskostnader och andra former av direkta personalkostnader inklusive social avgifter, särskild löneskatt på pensionskostnader och andra former av lönebidrag. Eventuella ersättningar i samband med avslutad anställning skuldförs vid avtalets ingång och periodiseras över återstående tjänstgöringstid.

Redovisning av pensioner

Ersättningar till anställda efter anställningens upphörande utgörs av premiebästa planer och förmånsbestämda planer. Med premiebästa planer avses planer där koncernen betalar fastställda premier till en utomstående juridisk enhet och har därefter inga ytterligare förpliktelser, varken rättsliga eller informella. Värdeförändringsrisken fram till dess att medlemn utbetalas faller på den anställde. Premier för premiebästa planer redovisas i resultaträkningen som personalkostnad i den takt de intjänas genom att de anställda utför tjänster åt företaget och avgifterna för tjänsterna förfaller till betalning. Övriga planer för ersättning efter avslutad anställning redovisas som förmånsbestämda planer. Vid förmånsbestämd pensionslösning utgår en pension baserad på lön och anställningstid, vilket innebär att arbetsgivaren bär all väsentliga risker för fullgörandet av pensionsutbetalningen. För förmånsbestämda planer redovisas nuvärdet av pensionsåtagandet som pensionsförpliktelse. För majoriteten av de förmånsbestämda pensionsplanerna har koncernen avsatt förvaltningsstillgångar i pensionsstiftelser och pensionskassa för att täcka förpliktelser. Som nettoskuld i balansräkningen avseende de förmånsbestämda pensionsplanerna redovisas pensionsförpliktelserna minskade med förvaltningsstillgångarnas verkliga värde. I övrigt totalresultat redovisas aktuariella vinster och förluster på pensionsförpliktelser som uppstår på grund av att verkligt utfall avviker från gjorda antaganden samt skillnaden mellan verklig avkastning och beräknad ränta-intäkt på förvaltningsstillgångarna.

Pensionskostnaden för förmånsbestämda planer redovisas i resultaträkningen som en personalkostnad och utgörs av nettot av följande poster:

- Kostnad för under året intjänad pensionsrätt, vilket avser årets andel av den beräknade slutliga totala pensionsutbetalningen. Beräkningen av intjänad pensionsrätt utgår från en beräknad slutlön och är föremål för aktuariella antaganden.
- Räntekostnad på pensionsförpliktelser vilken uppstår på grund av att nuvärdet av pensions-skulden har ökat under året då tiden till utbetalning minskar. För beräkning av årets räntekostnad används aktuell företagsobligationsränta (räntan vid årets början) för en löptid motsvarande återstående tid till utbetalning av pensionskulden.

- Beräknad ränta-intäkt (avkastning) på förvaltningsstillgångar för vilken samma räntesats tillämpas som vid fastställandet av årets räntekostnad på pensionsförpliktelser.
- Beräknade kostnader för särskild löneskatt vilken periodiseras enligt samma principer som tillämpas för den underliggande pensionskostnaden.

Beräkningen av kostnader och åtaganden med anledning av koncernens förmånsbestämda planer är förenad med ett flertal bedömningar och antaganden som kan ha en betydande inverkan på redovisade belopp. En utförligare beskrivning av dessa antaganden och bedömningar lämnas i punkt 21 och i not K8.

20. SKATTER

Periodens skattekostnad utgörs av aktuell skatt och uppskjuten skatt. Som aktuell skatt redovisas skatter som hänför sig till periodens eller tidigare perioders skattepliktiga resultat. Uppskjuten skatt är skatt som hänför sig till temporära skillnader mellan en tillgångs eller skulds redovisade värde och dess skattepliktiga värde. Uppskjutna skatter värderas till den skattesats som bedöms vara tillämplig då posten realiserar. Uppskjutna skattefordringar avseende avdragsgilla temporära skillnader och underskottsavdrag redovisas endast i den mån det är sannolikt att dessa kommer att utnyttjas. Uppskjutna skatteskulder värderas till nominellt värde. Skatt redovisas i resultaträkningen, antingen i övrigt totalresultat eller direkt i eget kapital beroende på var den underliggande transaktionen redovisas.

21. UPPSKATTNINGAR OCH
VÄSENTLIGA BEDÖMNINGAR

Tillämpningen av koncernens redovisningsprinciper innebär i vissa fall att bedömningar måste göras som får en väsentlig inverkan på redovisade belopp. Redovisade belopp påverkas dessutom i ett antal fall av uppskattningar och antaganden om framtiden. Sådana antaganden innebär alltid en risk för en justering av det redovisade värdet för tillgångar och skulder. De bedömningar och antaganden som görs speglar alltid företagsledningens bästa och mest rimliga uppfattning och är kontinuerligt föremål för granskning och validering.

Nedan följer de bedömningar och antaganden som har haft en väsentlig påverkan på de finansiella rapporterna.

Uppskattningar och väsentliga bedömningar som berör följande områden lämnas i not:

- finansiella instrument värderade till verkligt värde, se not K4.1 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde
- nedskrivningsprövning av goodwill, se not K24 Immateriella tillgångar
- krav i civilrättsliga processer, se not K35 Avsättningar.

K1 Forts

Vid upprättandet av årsredovisningen har betydande kritiska bedömningar utförts till följd av osäkerheten i fråga om möjliga effekter av covid-19 på redovisningen. Områden som särskilt beaktats har varit prövningen av nedskrivningsbehov för goodwill, utlåning till allmänheten och utlåning till kreditinstitut. Inga andra områden har bedömts påverkats av covid-19. Inga effekter av covid-19 har bedömts påverka bankens fortlevnad. För mer information om ovanstående områden, se noterna K2, K10 samt K24.

Aktuariell beräkning av förmånsbestämda pensionsplaner

Beräkningen av koncernens kostnader och förpliktelser för förmånsbestämda pensioner bygger på ett flertal aktuariella, demografiska och finansiella antaganden som har betydande inverkan på redovisade belopp. En förteckning över de antaganden som använts vid beräkningen av årets avsättning finns i not K8. Beräkningen av pensionsförpliktelserna för anställda i Sverige bygger på DUS14 som är på marknaden vedertagna antaganden om livslängd baserade på statistik framtagen av Svensk Försäkring. Antagandena om framtida löneökningar och inflation bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen.

Diskonteringsräntan baseras på ett antal förstklassiga företagsobligationer med olika löptider. För företagsobligationer med löptider som överensstämmer med den uppskattade genomsnittliga löptiden för pensionsförpliktelsern vilken uppgår till 20 år fastställs diskonteringsräntan utifrån marknadsräntor. Då det inte finns tillräckligt många emittenter av förstklassiga företagsobligationer med en löptid som överensstämmer med pensionsförpliktelsern använder sig banken även av förstklassiga företagsobligationer med kortare löptid som bas för att fastställa diskonteringsräntan. För dessa fastställs diskonteringsräntan med utgångspunkt från en räntekurva. Räntekurvan är byggd som en spread över den svenska swapkurvan. Spreaden, som är baserad på företagsobligationer exkluderat egna emissioner, appliceras på swapkurvan. På detta sätt modelleras en räntekurva fram utifrån vilken en 20-årig ränta kan härledas.

En känslighetsanalys av koncernens pensionsförpliktelse för varje betydande aktuariellt antagande, som visar hur förpliktelsern skulle ha påverkats av rimligt möjliga förändringar i dessa antaganden, framgår av not K8.

Kreditförluster

Vid beräkning av förväntade kreditförluster används i ett antal fall antaganden och bedömningar. Värderingen av förväntade kreditförluster är till sin natur behäftad med viss osäkerhet. Områden med hög grad av antaganden och bedömningar beskrivs nedan under respektive rubrik.

Framtidsblickande information i makroekonomiska scenarier

Handelsbanken övervakar löpande den makroekonomiska utvecklingen med särskilt fokus på hemmamarknaderna. Denna bevakning sker bland annat för att ta fram de makroekonomiska scenarier som ligger till grund för den framtidsblickande information som används i den modellbaserade beräkningen av förväntade kreditförluster. Förmågan hos bankens kunder att uppfylla sina kontraktsskyldiga betalningar varierar med den makroekonomiska utvecklingen. Det innebär att den framtida makroekonomiska utvecklingen har en påverkan på bankens syn på reservverfingsbehov för förväntade förluster. Beräkningen av reservverfingsbehovet för förväntade kreditförluster utgår från det neutrala scenariot enligt bankens enhet för makroanalys. Eftersom förlusterna kan påverkas mer av en framtida försämring av den ekonomiska utvecklingen än av en motsvarande förbättring, använder banken minst två alternativa scenarier för att fånga olika-linjära aspekter på de förväntade kreditförlusterna. Dessa alternativa scenarier motsvarar tänkbara, men väsentligt sämre respektive bättre, utvecklingar än det neutrala scenariot. Baserat på bankens förlusthistorik under det senaste decenniet kompletterat med erfarenhetsbedömningar har de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna valts ut. Dessa makroekonomiska riskfaktorer ingår sedan som makroekonomiska riskfaktorer i bankens kvantitativa statistiska modeller för prognoser av migrationer, fallse-mang, förlustandelar och exponering. De makroekonomiska riskfaktorerna inkluderar arbetslöshet, styr-/centralbanksräntor, BNP, inflation och fastighetspriser. Bankens affärsmodell, att ge krediter till kunder med stark återbetalningsförmåga, gör att sambanden mellan den makroekonomiska utvecklingen och reservverfingsbehovet inte alltid är framträdande. För utförligare beskrivning av makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisk, och för känslighetsanalys, se not K10.

Betydande ökning av kreditrisk

Banken gör en bedömning på avtalsnivå vid varje rapportperiods slut av om en betydande ökning av kreditrisken har skett sedan det första redovisningstillfället. För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisk.

Modellbaserad beräkning

De kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 utgår från flera antaganden och bedömningar. Ett viktigt antagande är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser. De kvantitativa modeller som tillämpas baseras på cirka 10 års historik, men histo-

riken varierar med produkt och region beroende på tillgång till historiska utfall. De kvantitativa modellerna är konstruerade med hjälp av ekonometrisk modeller under antagande att observationerna är oberoende betingat av de valda riskfaktorerna. Det innebär att riskparametrarna kan predikteras utan snedvridande effekter. Vidare görs ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorer väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet.

Manuell och expertbaserad beräkning

Manuell beräkning används regelmässigt för avtal i Steg 3 med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar i Steg 3. Expertbaserad beräkning görs på modellutfall för avtal i Steg 1 och Steg 2, för att införliva uppekattad effekt från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen samt för manuellt bedömda i Steg 3. För utförligare beskrivning av manuell och expertbaserad beräkning, se punkt 10 rubrik Manuell beräkning och Expertbaserad beräkning.

22. FÖRETAGSINFORMATION

Aktiebolaget Handelsbankens års- och koncernredovisning godkändes för utfärdande av styrelsen och verkställande direktören den 9 februari 2022 och blir föremål för fastställelse på årsstämman den 23 mars 2022.

Moderbolaget Handelsbanken AB (publ) har sitt säte i Stockholm med adress Kungsträdgårdsgatan 2, 106 70 Stockholm, Sverige. Handelsbanken är ett kreditinstitut som erbjuder finansiella tjänster och produkter på hemmamarknaderna Sverige, Storbritannien, Norge och Nederländerna. Verksamheten beskrivs ytterligare i Förvaltningsberättelsen.

K2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankens låga risktolerans är en central del i bankens affärsidé. Den låga risktoleransen tillsammans med ett decentraliserat arbetssätt, stabila finanser och hållbart ansvarstagande utgör grunden i Handelsbankens långsiktiga kundrelationer.

Handelsbankens kreditförlustnivå har under de senaste decennierna varit väsentligt lägre än genomsnittet hos övriga nordiska banker. Bankens mål är alltid att ingen kredit ska medföra en förlust. Detta förhållningssätt är helt styrande för kontorens kreditgivning och arbete med sina kreditportföljer.

Genom stora likviditetsreserver och matchning av kassaflöden har banken sedan lång tid arbetat med att upprätthålla låga likviditetsrisker. Även detta är ett naturligt resultat av bankens låga risktolerans.

Även marknadsriskerna i Handelsbanken är mycket låga.

Informationen i denna not inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning samt utgör avvecklad verksamhet, se not K13.

RISKTOLERANS

Handelsbanken har låg risktolerans. Banken fokuserar på långsiktiga relationer med kunder med god återbetalningsförmåga och stark finansiell ställning. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas till förmån för högre kreditvolymer, högre pris eller marknadsandelar.

Kreditriskerna uppstår som en del i kreditgivningen. Toleransen för marknadsrisker och likviditetsrisker är låg. Marknadsrisker förekommer endast som ett led i kundaffärer, i samband med bankens finansiering och likviditetshandling samt i dess roll som marknadsaktör. Därutöver uppstår marknadsrisker i pensionssystemet.

En konsekvens av bankens låga tolerans för marknadsrisk är att en jämförelsevis låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner. All finansiering och likviditetshandling är centraliserad till Group Treasury. Likviditetsriskerna begränsas genom krav på matchande kassaflöden och betryggande likviditetsreserver av hög kvalitet.

Även för operativa risker och compliance-risker är toleransen låg. Banken strävar efter att så långt som möjligt förebygga dessa risker och reducera förlusterna på området.

Hållbarhetsrisker hanteras i linje med Handelsbankens låga risktolerans och inom ramen för de riskslag där hållbarhetsrisker är en integrerad del av riskbedömningen. För mer information om hållbarhetsrisker, se bankens hållbarhetsredovisning.

RISKSTRATEGI

I bankens verksamhet uppkommer olika risker som identifieras, mäts, hanteras och rapporteras på ett systematiskt sätt inom koncernens

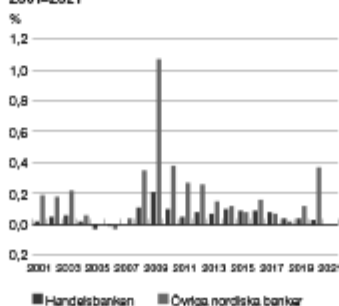
alla delar. Handelsbankens restriktiva förhållningssätt till risk innebär att banken medvetet undviker att delta i affärer med hög risk även om den förväntade ersättningen för tillfället kan vara hög.

Den låga risktoleransen upprätthålls genom en stark riskkultur som är uthållig över tid och som gäller på alla områden i koncernen. Riskkulturen genomsyrar hela bankens arbete och är väl förankrad hos bankens medarbetare. Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att riskerna hanteras. En följd av detta är att det finns starka incitament till hög riskmedvetenhet och försiktighet i affärsverksamheten. Den decentraliserade affärsmodellen är dock kombinerad med starka centraliserade kontroller. Den låga risktoleransen avspeglas också i synen på ersättning. Huvudprincipen är fast ersättning eftersom detta bidrar till den långsiktighet som är en central del av Handelsbankens affärsmodell. Medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil erbjuds inte prestationsbaserad rörlig ersättning.

Kreditgivningen har stark lokal förankring, där den nära kundrelationen och lokala kännedomen verkar för låga kreditrisker. Därutöver ska koncernen vid varje tid vara välkapitaliserad i förhållande till verksamhetens risker och hålla likvida tillgångar för att alltid klara sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, även i en situation av finansiell stress där upplåning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Handelsbanken eftersträvar på så sätt en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturen.

Det restriktiva förhållningssättet till risk innebär att banken är en stabil och uthållig affärspartner till kunderna oavsett konjunktur eller marknadssituation. Det bidrar till både god riskhantering och att en hög servicenivå kan upprätthållas även när verksamheten och de marknader som banken verkar på utsätts för påfrestringar. Samma principer för bankens inställning till risk gäller i alla länder där banken är verksam.

Figur AR:1 Kreditförluster i % av utlåning 2001–2021



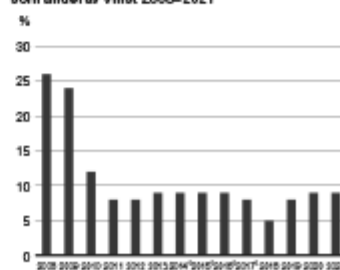
MOTSTÅNDSKRAFTIG RISKHANTERING

Handelsbanken har en stark kapital- och likviditetssituation. Banken har kontinuerlig tillgång till de finansiella marknaderna via sina kort- och långfristiga finansieringsprogram. Banken har en stor likviditetsreserv av hög kvalitet, vilket ger en hög motståndskraft mot eventuella störningar på de finansiella marknaderna. Group Treasurys likviditetsportfölj, som är en del av bankens likviditetsreserv, har en låg riskprofil och består främst av tillgodoavanden i centralbanker, statsobligationer och säkerställda obligationer. Därutöver finns ett mycket omfattande outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer i Stadshypotek. Likviditetsreserver hålls i alla för banken väsentliga valutor. Den totala likviditetsreserven täcker bankens likviditetsbehov i ett stressat scenario i mer än tre år helt utan tillgång till ny marknadsfinansiering. En bibehållen verksamhet kan upprätthållas under en betydande tid även i en extrem situation med stängda marknader för valutaväxling.

Bankens kapitalstatus är fortsatt stark. Till detta har en god intjäning och låga kreditförluster under året bidragit.

Handelsbankens låga risktolerans, goda kapitalisering och starka likviditetssituation innebär att banken varit väl rustad och kunde hantera de risker som uppstod i början av covid-19-pandemin. Likviditetssituationen var god under krisen men ökade löförsnyttjanden och allmän kreditförtroende minskade en nettoförbrukning av likviditet. Efter det andra kvartalet 2020 återgick situationen till det normala med goda reserver för att kunna hantera svåra marknadsförutsättningar. Banken har sett över sina likviditetsstresstester i ljuset av pandemin och har justerat vissa antaganden efter dessa lärdomar. Kreditförlusterna under covid-19-pandemin var mycket begränsade och påverkade inte kapital- eller likviditetssituationen. Sedan covid-19-pandemins utbrott gör banken särskilda stresstester och följer noga olika indikatorer som uppföljning av marknadsläget för att tidigt kunna

Figur AR:2 Nettoresultat av finansiella transaktioner som andel av vinsten 2008–2021



Källa: Årsredovisningar

¹ Exklusive poster av icke återkommande karaktär.

K2 Forts

Figur ARI3 Risker i Handelsbanken

	Beskrivning
Kreditrisk	Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktslämnade förpliktelser. Kreditrisk inkluderar även motpartsrisk, dvs. risken för att motparten i en transaktion fallerar före slutavvecklingen av transaktionens kassastöden.
Marknadsrisk	Marknadsriskerna hänförs till pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktierisker, valutarisker och råvarurisker.
Likviditetsrisk	Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av acceptabla kostnader eller förluster.
Operativ risk	Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyskade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk samt IT- och informations säkerhetsrisker (IKT-risker).
Compliancerisk	Compliancerisk är risker förknippade med bristande regelbaserad. Med regelbaserad menas efterlevnad av förordningar, lagar, myndigheters föreskrifter och allmänna råd, interna regler och god sed eller god standard avseende den tillståndspåliggande verksamheten.
Ersättningsrisk	Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningsystemet.
Försäkringsrisk	Försäkringsrisk är risken i en försäkrings utfall, som beror på den försäkrades livslängd eller hälsa.
Hållbarhetsrisk	Hållbarhetsrisk är risken att banken inte identifierar och hanterar risker relaterade till miljö och klimat, sociala förhållanden samt bolagsstyrning i enlighet med de policyer, riktlinjer, och åtaganden inom området vilket ytterst kan få negativa ekonomiska konsekvenser för banken men också skada bankens anseende.

agera om situationen skulle försämrats igen. It-förändringar inklusive säkerhetsuppdateringar samt säkerhetsövervakningen har skett på samma höga nivå ökat graden av distansarbete under pandemin.

RISKORGANISATION

Handelsbankens styrelse har det övergripande ansvaret för bankens riskhantering och fastställer interna regler för detta. Styrelsen fastställer policydokument och CEO fastställer riktlinjer som beskriver hur olika risker ska hanteras och rapporteras. För en mer detaljerad beskrivning av bankens ramverk för kontroll hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport, sidorna 74–91.

Styrelsen har inrättat en kreditkommitté (bestående av CEO och chefen för Group Credits samt ett antal styrelseledamöter) som beslutar i vissa kreditärenden samt en UK-kommitté (bestående av styrelsens ordförande, CEO och valda medlemmar ur styrelsen och koncernledningen) för uppföljning av verksamheten i Storbritannien.

Styrelsen har även inrättat risk-, revisions- och ersättningsutskottet som bland annat är beredande i frågor som ska beslutas av styrelsen. Riskutskottet tar även själva beslut avseende exempelvis de betydande delarna av bankens riskklassificerings- och estimeringsprocesser kopplade till intermetoden. Risk-, revisions- och ersättningsutskottet består endast av styrelseledamöter. Därtil har CEO inrättat Riskforum som syftar till att belysa och kommentera koncernens mest väsentliga risker för att säkerställa en effektiv hantering av dessa. Riskforum utgör därmed också ett forum för att förbereda CEO avseende frågor som ska behandlas i styrelsen eller riskutskottet. För en mer detaljerad beskrivning av kommittéerna och utskottens arbete samt Riskforum hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport på sidorna 74–91. Därutöver har banken kommittéer som också är rådgivande till CEO: riskkommittén, likviditetskommittén, kapitalkommittén och värderingskommittén.

RAPPORTERING OCH UPPFÖLJNING AV RISK- OCH KAPITALSITUATIONEN

Koncernens risker har under 2021 rapporterats av CFO minst kvartalsvis till CEO, riskutskottet och styrelsen. Rapporterna har även föredragits i Riskforum. Koncernriskrapporterna innehåller uppföljning av bankens risktolerans, CFO:s bedömning av koncernens väsentliga risker och en bedömning av om det finns väsentliga brister i verksamheten att rapportera och åtgärda. I förekommande fall innehåller rapporterna också förslag till åtgärder och uppföljning av tidigare rapporterade risker och brister. Koncernriskrapporterna omfattar framåtblickande riskbedömningar och ska möjliggöra en bedömning av om Handelsbanken uppfyller den riskstrategi och den risktolerans som styrelsen uttalat. Koncernriskrapporterna utformas i enlighet med styrelsens Policy för riskkontroll. Utöver nämnda koncernriskrapporter lämnar riskkontrollen och den centrala kreditavdelningen löpande och årliga rapporter avseende bankens kreditrisksituation (inklusive motpartsrisker) och intermetod till bankens ledningsgrupp, riskkommittén, riskutskottet och centralstyrelsen samt till styrelserna i relevanta dotterbolag. Denna rapportering omfattar bland annat volymutveckling, riskrapporterade krediter samt resultatet av och valideringen av bankens IRK-modeller.

Riskkommittén, med CFO som ordförande, är rådgivande till CEO och CFO och har sammanträtt 10 gånger under 2021. På riskkommitténs möten görs en fördjupad uppföljning av koncernens aktuella risksituation, potentiella risker och åtgärder för kreditrisker, finansiella risker, operativa risker och risker i försäkringsrörelsen. Övriga riskslag kommenteras vid behov. Återhämtningsplanens indikatorer avrapporteras på varje möte och vid behov sker det diskussion kring eventuella åtgärder. Vidare följs limitutnyttjandet för finansiella risker upp för hela koncernen. Kapitalsituationen, utnyttjandet av marknadsrisklimit samt likviditetssituationen rapporteras till styrelsen åtminstone kvartalsvis.

Limitutnyttjandet för marknadsrisker och likviditetsrisker sammanställs och kontrolleras dagligen av Group Risk Control. Limitöverträdelser rapporteras omgående till den som har beslutat om limiterna. Likviditetsrisken sammanställs av Group Risk Control och rapporteras dagligen till CFO, veckovis till CEO samt till styrelsen vid varje ordinarie styrelsemöte. Likviditetskommittén, med Head of Group Treasury som ordförande, är rådgivande till CEO och CFO och sammanträder inför varje ordinarie styrelsemöte och i övrigt vid behov. Där föredras den aktuella likviditetssituationen, resultat av stress tester, scenarionalyser och annan information som är relevant för bedömningen av koncernens likviditetssituation.

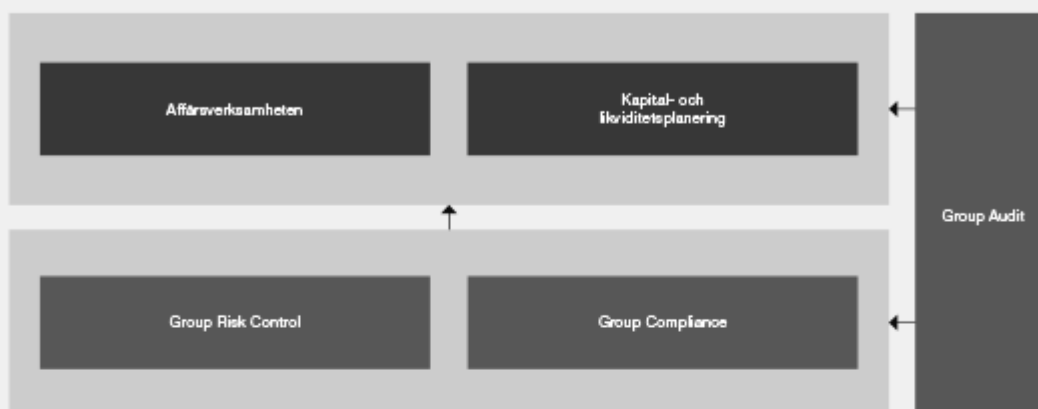
Operativa risker och inträffade incidenter rapporteras löpande från kontor och avdelningar i hela koncernen till riskkontrollen som bevakar dem. Group Risk Control rapporterar i sin tur operativa risker och inträffade incidenter till CEO, styrelsen och till styrelsens riskutskott. Årligen utvärderas risker i ersättningsystemet och rapportering sker till styrelsens ersättnings- och riskutskott. Rapporteringen av operativa risker inkluderar information om väsentliga händelser, större förluster, viktiga proaktiva åtgärder och en aggregerad riskbedömning på koncernnivå. Utöver detta följer Group Risk Control upp att beslutade åtgärder genomförs. Compliance-risker har under 2021 rapporterats av Chief Compliance Officer minst kvartalsvis till CEO, styrelsens riskutskott och styrelsen. Rapporterna har även föredragits i Riskforum.

Bankens kapitalsituation rapporteras veckovis till CFO och CEO och minst kvartalsvis till styrelsen. I händelse av att något gränsvärde passerats eller om Head of Group Capital Management eller CFO av annan anledning bedömer det som lämpligt, ska förslag till lämpliga åtgärder presenteras till CEO. Utifrån ett medel- och långsiktigt perspektiv sammanfattas kapitalsituationen kvartalsvis i kapitalkommittén. Group Capital Management gör en fullständig uppdatering av kapitalprognosen kvartalsvis eller vid signifikanta förändringar i banken.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Figur ÅR4 Handelsbankens riskhantering och riskkontroll

**Affärsverksamheten**

Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att samtliga risker hanteras. Den som bäst känner kunden och marknadsförutsättningarna har bäst möjlighet att bedöma risken och kan också på ett tidigt stadium agera om problem uppkommer. Varje kontor och varje resultatansvarig enhet bär ansvaret för att hantera uppkomna problem. Detta skapar incitament till hög riskmedvetenhet och försiktighet i affärsverksamheten.

Decentraliserade kreditbeslut förutsätter dock en gemensam kreditprocess som Group Credits ansvarar för. Group Credits bereder de kreditlimiterna som styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat fattar beslut om. Group Credits säkerställer också att kreditbedömningarna i hela koncernen sker på ett enhetligt sätt och att kreditgivningen utförs i enlighet med den kreditpolicy som styrelsen har beslutat.

Affärsverksamhetens finansiella risker uppstår och hanteras huvudsakligen i Group Treasury, i Handelsbanken Capital Markets och i Handelsbanken Liv. Handelsbanken har en decentraliserad affärsmodell, men all finansiering och likviditetshandling i koncernen är centraliserad till Group Treasury. De marknadsrisker som uppstår för att möta kunders efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna hanteras i Handelsbanken Capital Markets. Operativa risker förekommer i all verksamhet inom banken, och ansvaret för att hantera operativa risker är en integrerad del av chefsansvaret på alla nivåer i verksamheten. Hantering av marknadsrisker, hantering av bankens operativa risker samt finansierings- och likviditetshandling styrs av policyer fastställda av styrelsen.

Stresstester – kapital- och likviditetsplanering

Handelsbanken håller ett kapital och en likviditetsreserv som säkerställer bankens fortlevnad under såväl normala tider som efter extrema händelser. Det är kapitalsituationen bedömd enligt det legala kapitalkravet som, tillsammans med beräkningen av ekonomiskt kapital och stresstester, utgör grunderna i kapitalplaneringen. Likviditetsplaneringen säkerställer att koncernen alltid klarar sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, även i en situation av finansiell stress där upplåning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Genom stresstester och scenarioanalyser identifieras vilka åtgärder som behöver förberedas eller genomföras för att kapitalseringen och likviditetssituationen vid varje tidpunkt skavara tillfredsställande samt vilka åtgärder som krävs för att återställa koncernens kapital och likviditet i en återhämtningssituation efter en allvarig kris.

Group Risk Control och Group Compliance

Risikontrollen i Handelsbanken är oberoende i förhållande till de funktioner som ska kontrolleras. Risikontrollen kontrollerar att alla väsentliga risker som koncernen exponeras för, eller kan förväntas komma att exponeras för, identifieras och hanteras av berörda funktioner. Risikontrollen övervakar och kontrollerar koncernens riskhantering, och att relevanta interna regler, processer och rutiner för riskhantering följs samt att riskerna är inom den av styrelsen fastlagda risktoleransen och att ledningen har tillförlitliga underlag för hur riskerna ska hanteras vid kritiska situationer. Kreditriskkontrollen ska säkerställa och regelbundet utvärdera att de metoder som används för bankens kapitalkravsberäkning är ändamålsenliga och

i enlighet med myndighets tillstånd och gällande regelverk. I riskkontrollens ansvar ingår också att kontrollera limiterna för marknads-, likviditets-, och motpartsrisker samt operativa risker och utvärdera överträdelser av dessa limiterna samt kreditlimiterna. Risikontrollen ska även utvärdera den riskanalys som verksamheten gör av nya och väsentligt ändrade produkter och tjänster, marknader, processer och IT-system samt vid verksamhets- eller organisationsförändringar av väsentlig karaktär.

Behovet av uppföljning av risk- och kapital-situationen ökar med graden av decentraliserade affärsbeslut. Risikontrollen är således en naturlig och viktig del av bankens affärsmodell. Group Risk Control ansvarar för att löpande rapportera den aktuella risk-situationen i koncernen till bankens ledning och styrelse och för att risker mäts på ett ändamålsenligt och enhetligt sätt.

Risker inom regel efterlevnad och risker relaterade till rutiner och riktlinjer för att motverka penningtvätt och terrorism kontrolleras av Group Compliance. Group Compliance är oberoende i förhållande till affärsverksamheten och organisatoriskt skild från de funktioner och områden som ska kontrolleras. Group Compliance verkar aktivt för god regel efterlevnad och att Handelsbankens låga tolerans för compliance risker uppfylls. Group Compliance identifierar, övervakar och kontrollerar risker och brister i förhållande till regel efterlevnaden, lämnar rekommendationer, ger råd och stöd till bankens personal, ledning och enheter i frågor om regel efterlevnad och rapporterar till ledning och styrelse om regel efterlevnad.

K2 Forts

STYRELSENS RISKDEKLARATION OCH RISKFÖRKLARING

Styrelsen har beslutat om följande riskdeklaration och riskförklaring.

Riskdeklaration:

Handelsbanken har tillfredsställande arrangemang för riskhantering vilka är ändamålsenliga i förhållande till bankens affärs mål, övergripande riskprofil och den riskstrategi som styrelsen beslutat om för verksamheten.

Riskförklaring:

Handelsbankens affärs mål är att ha högre lönsamhet än genomsnittet för jämförbara konkurrenter på hemmamarknaderna. Målet ska främst nås genom nöjdare kunder och lägre kostnader än konkurrenterna. Handelsbanken är en bank med stark lokal förankring och ett decentraliserat arbetssätt.

Bankens övergripande riskprofil är att risker ska hållas låga. Koncernen skapar väl kapitaliserad i förhållande till riskerna, uppfylla de krav som myndigheter ställer och hålla likvida tillgångar för att klara sina betalningsförpliktelser, även i situationer av finansiell stress på kort och lång sikt. Riskstrategin och bankens övergripande riskprofil understödjer Handelsbankens strävan att ha en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturykeln.

Banken har och ska ha låga kreditrisker. Detta uppnås bland annat genom den starka lokala förankringen och de nära kundrelationerna. Krediternas kvalitet får aldrig åsidos-

sättas för att nå högre volym eller högre marginal. Banken är selektiv i sitt kundurval med krav på att kredittagare har en god återbetalningsförmåga. Till följd av detta har kreditportföljen en tydlig koncentration till riskklasser där sannolikheten för förlust är låg. Det konsekventa tillvägagångssättet återspeglas i bankens över tid låga kreditförlustnivåer, vilka för år 2021 uppgick till 0,00% (0,03) i relation till utlåningen.

För att säkerställa att banken är väl kapitaliserad i förhållande till riskerna och har en god likviditetssituation, fastställer styrelsen bankens risktolerans för kapitalisering och likviditet. När risktoleransen för kapitalisering beslutas, ställs kapitalmålet dels i relation till de lagstadgade kraven, dels i relation till Handelsbankens bedömda kapitalbehov utifrån bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC), som i ett mått fångar koncernens samlade risker. Risktoleransen för bankens likviditetsrisk beslutas dels genom krav på att banken under stressade förhållanden ska ha tillräcklig likviditetsreserv i form av likvida och pantsättningsbara tillgångar samt likviditetsskapande åtgärder för att under fastställda tidsperioder kunna fortsätta sin rörelse, dels genom krav på det ackumulerade nettot mellan in- och utgående kassaflöden i olika tidsintervall.

Styrelsen har fastställt att kärnprimärkapitalrelationen under normala förhållanden ska

uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kärnprimärkapitalbehovet. Beträffande bruttosoliditet ska relationstalet överstiga det av Finansinspektionen till banken kommunicerade samlade kapitalbehovet med minst 0,6 procentenheter.

Bankens bedömning av Finansinspektionens kärnprimärkapitalkrav vid utgången av 2021 var 13,9% (13,8), givet att Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelare 2 på 1,5% beaktas, och bankens bedömning av bruttosoliditetskravet var 3,45% givet att Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelare 2 på 0,45% beaktas. Styrelsen har även fastställt att kvoten mellan AFR (Available Financial Resources) och EC ska överstiga 120%.

Vid utgången av 2021 uppgick kärnprimärkapitalrelationen till 19,4% (20,3) och kvoten mellan AFR och EC till 384% (324). Styrelsen har fastställt målet att banken ska ha ackumulerade positiva nettokassaflöden under minst ett år med beaktande av likviditetsreserven och under antagandet att delar av den löstidsbundna inlåningen från hushåll och företag försvinner under första månaden. Handelsbankens samlade likviditetsreserv och likviditetsskapande åtgärder innebär att likviditetsbehovet täcks i mer än tre år under dessa stressade förhållanden. Bankens riskprofil är i enlighet med den riskstrategi som fastlagts av styrelsen.

KREDITRISK

Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktsenliga förpliktelser.

KREDITRISKSTRATEGI

Kreditprocessen i Handelsbanken utgår från övertygelsen att en decentraliserad organisation med lokal förankring ger hög kvalitet i kreditbesluten. Banken är en relationsbank där kontoren håller löpande kontakt med kunden, vilket ger en djup kunskap om varje enskild kund och en kontinuerligt uppdaterad bild av kundens ekonomiska situation.

Handelsbanken är inte en massmarknadsbank utan är selektiv i kundurvalet, vilket innebär att kunderna ska ha en hög kreditkvalitet. Kvalitetskravet åsidosätts aldrig till förmån för högre

kreditvolym eller för att erhålla högre avkastning. Banken undviker även att delta i finansiering där det förekommer komplicerade kundkonstellationer, komplexa och svåröverskådliga affärsupplägg eller höga ESG-risker.

När banken bedömer kreditrisken hos en viss kund bedöms i första hand kredittagarens återbetalningsförmåga. Enligt bankens kreditpolicy kan en svag återbetalningsförmåga aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser. Krediter ska därför normalt vara betryggande säkerställda.

Kontorets lokala förankring och nära relation med kunden innebär att kontoret snabbt kan identifiera och agera vid eventuella problem. Detta medför att banken i många fall kan agera snabbare än vad som hade varit möjligt vid en mer centraliserad hantering av problemkrediter. Kontoret har också det fulla ekonomiska ansvaret för kreditgivningen. Kontoret hanterar således de problem som uppstår närmast kund brister i betalningsförmåga och kontoret bär eventuella kreditförluster. Vid behov får det lokala kontoret stöd från lokal kreditavdelning och från centrala avdelningar. Bankens arbets-

sätt leder till att alla som gör affärer förknippade med kreditrisk tillägnar sig ett väl etablerat synsätt för denna typ av risk. Detta synsätt utgör en viktig del av bankens kultur. De beskrivna arbets- och synsätten är viktiga anledningar till att banken över en lång tid redovisat mycket låga kreditförluster.

KREDITORGANISATIONEN

I Handelsbankens decentraliserade organisation bär varje kundansvarigt kontor det fulla kreditansvaret. Kund- och kreditansvar ligger på kontorschefen eller de medarbetare som kontorschefen utser på det lokala kontoret.

I Handelsbankens decentraliserade organisation ingår också att underlaget för kreditbeslut alltid utarbetas av det kreditansvariga kontoret oavsett om det slutgiltiga beslutet fattas på kontoret, på läns- eller landsnivå, i styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen. Underlaget för kreditbeslut innehåller bland annat allmän och ekonomisk information om kredittagaren, en bedömning av dennes återbetalningsförmåga, krediter och kreditvillkor samt värdering av säkerheter.

För landstyrelse, styrelsens kreditkommitté och styrelsen avser beslutet kreditförtärens total-

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

belopp och eventuellt utrymme för blanko-krediter. För kredittagare vars sammanlagda krediter överstiger 5 mkr fattas kreditbeslut i form av kreditlimit. Vid krediter till privatpersoner mot säkerhet i bostad inträder limitplikten för belopp över 12 mkr. Krediter till bostadsrättsföreningar mot säkerhet i bostadsfastighet blir limitpliktiga för belopp över 12 mkr.

Beviljade kreditlimit gäller i normalfallet ett år, under vissa förutsättningar kan kreditlimit till bostadsrättsföreningar gälla maximalt tre år. Vid förlängning av kreditlimit är kravet på beslutsordning detsamma som för en ny kreditlimit.

Kontorschefer och de flesta medarbetare på kontor har personliga beslutanderätt som gör det möjligt för dem att besluta om krediter till de kunder som de ansvarar för.

Vid beslut om större kreditlimit finns även beslutsinstanser på läns- och landsnivå samt central nivå. Varje högre beslutandenivå tillför ytterligare kreditkompetens. På varje beslutandenivå finns rätt att avstyrka kreditlimit inom såväl den egna beslutandenivån som kreditlimit som annars skulle beslutas på högre beslutandenivåer. Samtliga kreditbeviljare i hela beslutsprocessen, oavsett nivå, måste vara eniga för att ett positivt kreditlimitbeslut ska komma till stånd. Finns minst två av de största krediterna har beretts av Group Credits och beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat. Utan tillstyrkan av kreditansvarig kontorschef kan dock ingen

kreditansökan processas vidare i banken, förutom de kreditbeslut som fattas genom maskinella modeller. Sådana maskinella modeller ska godkännas av verkställande direktören.

Beslutsprocessen när det gäller krediter och kreditlimit illustreras av figur ÅR:5 Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken. I figuren visas även procentuell andel av antal kreditlimitbeslut och beslutade belopp fördelade på olika beslutandenivåer.

I Handelsbankens decentraliserade organisation, där en stor andel av antalet kredit- och kreditlimitbeslut fattas på de enskilda kontoren, är det viktigt att det finns en väl fungerande eftergranskningsprocess som säkerställer att besluten håller en hög kvalitet. Kontorschefen kvalitetsgranskar medarbetarnas beslut och lokala kreditavdelningen kvalitetsgranskar beslut fattade av kontorschefer.

Syftet med kvalitetsgranskningen är att säkerställa att bankens kreditpolicy och interna instruktioner efterlevs, att kreditkvaliteten upprätthålls och att kredit- och kreditlimitbeslut vittnar om gott kreditomdöme och sund affärsmässighet. En motsvarande granskning av kvaliteten utförs även av kreditlimitbeslut som fattas av högre beslutandenivåer i banken. Kreditlimit som beviljas av läns- eller landskreditkommittéer och landstyrelser granskas av Group Credits, som även bereder och granskar kreditlimit som beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat.

Ecster

Dotterbolaget Ecster AB arbetar med att erbjuda betalöningar till utvalda sälj företag över hela Sverige. Finansieringstypens karaktär kräver att snabba och korrekta kreditbesked kan levereras årets alla dagar, dygnet runt, vilket innebär att merparten av besluten fattas av maskinella modeller. För de beslut som inte kan hanteras genom de maskinella modellerna görs manuella beslut där medarbetarna har personliga beslutanderätt. Vid beslut om större kreditlimit fattas besluten i Ecsters kreditkommitté eller i styrelsen. Vid propäer om större engagemang och kunden är en befintlig Handelsbankenkund fattas beslut på det ansvariga kontoret eller i berörd instans som gäller i banken.

KREDITPORTFÖLJEN

Bankens kreditportfölj presenteras i detta avsnitt med utgångspunkt från sammanställda balansräkningsposter. I avsnittet Kapitalkrav för kreditrisker presenteras kreditportföljen med utgångspunkt från CPR.

Med utgångspunkt från koncambalansräkningen kategoriseras krediter i utlåning till allmänhet respektive utlåning till kreditinstitut samt poster utanför balansräkningen fördelade på produkttyp. När begreppet exponering används avses summan av poster i och utanför balansräkningen. Utlåning till allmänheten är den dominerande posten. Se tabell ÅR:6 Kredtexponeringar Geografisk fördelning.

Figur ÅR:5 Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken



¹ Beslutet avser kreditlimitens totalbelopp och eventuellt utrymme för blankokrediter.

² Beslutar endast om ändrat bedöms vara av särskilt eller allmänt intresse samt krediter till styrelseledamöter och vissa ledande befattningshavare.

³ Exklusive stat- och banklimit som beslutas på central nivå.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Tabell ÅR6 Kreditexponeringar Geografisk fördelning

Kreditexponeringar Geografisk fördelning 2021 mkr		Sverige	Stor- britannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		93 293	101 125	4 579	28 282	120 098	27 315	65 202	439 964
Övrig utlåning till centralbanker	Nr K14	-	1 255	-	207	-	-	0	1 462
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nr K15	19 684	1 043	170	36	57	168	680	21 838
Utlåning till allmänheten	Nr K16	1 540 763	246 470	289 075	111 380	141 430	75 606	9 105	2 413 829
Belåningsbara statskultförbindelser mm	Nr K17	100 538	-	-	24	-	-	0	100 562
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nr K17	33 317	-	-	17	-	-	0	33 334
Derivatinstrument	Nr K21	28 416	-	-	37	-	7	58	28 518
Summa		1 818 011	349 083	293 824	139 983	261 685	103 086	76 045	3 039 597
Poster utanför balansräkningen									
Beräknad förplikadialar	Nr K43	350 973	48 922	59 932	31 938	33 633	5 819	27 056	558 273
varav ansvärförbindelser		39 440	5 680	4 821	7 838	4 707	77	15 193	71 756
varav åtaganden		317 533	43 242	55 111	24 100	28 926	5 742	11 863	486 517
Summa		350 973	48 922	59 932	31 938	33 633	5 819	27 056	558 273
Summa poster i och utanför balansräkningen		2 168 984	398 005	353 756	171 921	295 218	108 905	102 101	3 597 790

Poster i balansräkningen i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Kreditexponeringar Geografisk fördelning 2020 mkr		Sverige	Stor- britannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		84 525	100 280	18 026	217	114 600	11 035	68 959	397 642
Övrig utlåning till centralbanker	Nr K14	-	1 094	2 862	17 370	-	-	-	21 326
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nr K15	19 165	391	451	52	64	155	1 642	21 920
Utlåning till allmänheten	Nr K16	1 458 989	232 246	260 374	100 634	141 639	63 905	11 825	2 269 612
Belåningsbara statskultförbindelser mm	Nr K17	98 353	-	-	18	-	-	762	99 133
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nr K17	44 550	-	-	16	-	-	-	44 566
Derivatinstrument	Nr K21	30 475	-	-	27	-	-	112	30 614
Summa		1 738 067	334 011	281 713	118 334	256 308	76 005	83 300	2 884 813
Poster utanför balansräkningen									
Beräknad förplikadialar	Nr K43	331 443	47 296	57 851	31 340	35 546	7 503	32 340	543 319
varav ansvärförbindelser		35 882	6 424	5 023	7 311	4 925	121	20 209	79 895
varav åtaganden		295 561	40 872	52 828	24 029	30 621	7 382	12 131	463 424
Summa		331 443	47 296	57 851	31 340	35 546	7 503	32 340	543 319
Summa poster i och utanför balansräkningen		2 069 500	381 307	339 564	149 674	291 849	82 508	115 640	3 428 132

Med geografisk fördelning avses det land där exponeringarna är redovisade.

Tabell ÅR7 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Geografisk fördelning

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning 2021 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Sverige	1 500 172	30 491	2 331	-173	-297	-761	1 540 763
Storbritannien	232 774	12 717	1 253	-60	-117	-97	246 470
Norge	275 208	12 975	1 567	-47	-109	-519	289 075
Danmark	108 295	2 982	424	-39	-95	-187	111 380
Finland	135 685	4 601	1 765	-65	-67	-489	141 430
Nederländerna	75 056	556	11	-10	-4	-3	75 606
Övriga länder	9 006	68	70	-1	-1	-37	9 105
Summa	2 345 108	64 390	7 421	-395	-690	-2 003	2 413 829

Utlåning till allmänheten i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning 2020 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Sverige	1 427 814	30 336	2 327	-182	-357	-949	1 458 989
Storbritannien	213 758	17 977	908	-59	-191	-147	232 246
Norge	245 560	13 933	1 371	-39	-116	-335	260 374
Danmark	93 530	6 953	523	-46	-75	-251	100 634
Finland	133 982	6 536	1 781	-49	-91	-520	141 639
Nederländerna	63 353	563	-	-8	-3	-	63 905
Övriga länder	11 686	86	92	-2	-1	-36	11 825
Summa	2 189 683	76 384	7 002	-386	-834	-2 238	2 269 612

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Handelsbanken eftersträvar att dess historiskt låga kreditförlustnivå i förhållande till andra banker ska bestå och därmed bidra till Handelsbankens lönsamhetsmål samt till att bibehålla en god finansiell ställning. Banken strävar vid kreditgivning aldrig efter att uppnå bestämda volymer eller marknadsandelar inom olika branscher eller dylikt, utan banken ska vara selektiv i kundurvalet och kreditkunderna ska vara av hög kvalitet. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas för att nå hög kreditvolym. Det här framgår av bankens kreditpolicy som årligen fastställs av styrelsen.

År 2021 har dominerats av den globala covid-19-pandemin. Amorteringslättnader och statliga garantier har under året upphört att gälla.

Handelsbanken granskar kontinuerligt kreditportföljens kvalitet i syfte att identifiera och begränsa nedskrivningsbehov. Covid-19-pandemin har i sig inte förändrat bankens arbete med kreditrisker. För mer information om hantering av effekterna av covid-19 se not K1 och K10 vad gäller åtgärder i enlighet med IFRS 9.

Säkerheter

I bankens kreditpolicy framgår att krediter normalt ska vara betryggande säkerställda. En svag återbetalningsförmåga kan aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser.

Banken begränsar kreditrisken genom att bland annat ta in säkerheter från kunderna. De främsta sätten att reducera kreditrisk i banken är pantsättning av fast egendom såsom bostadsfastigheter och övriga fastigheter.

Tabell ÅR8 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per sektor och bransch

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2021 mil	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	1 219 581	16 838	3 057	-159	-107	-758	1 238 452
varav hypotekslån	1 032 645	12 892	1 021	-30	-20	-52	1 036 396
varav övriga lån säkerställda bostad	154 163	2 677	911	-10	-7	-144	157 590
varav övriga lån till privatpersoner	42 773	1 329	1 125	-119	-80	-562	44 466
Bostadsnäringsföretag	266 467	931	22	-7	-2	-11	267 400
varav hypotekslån	245 393	515	11	-8	0	-7	245 909
Fastighetsförvaltning	643 423	32 704	1 734	-96	-207	-237	677 321
Tillverkningsindustri	21 106	1 735	65	-12	-13	-39	22 842
Handel	30 086	760	387	-19	-41	-94	31 079
Hotell- och restaurangverksamhet	3 933	4 986	59	-5	-137	-5	8 831
Person- och godstransport till sjöss	2 369	604	1 205	-1	-8	-468	3 701
Övrig transport och kommunikation	7 864	325	85	-10	-14	-63	8 187
Byggnadsverksamhet	17 873	852	135	-23	-16	-73	18 748
Elektricitet, gas och vatten	11 375	1 204	5	-4	-9	-3	12 568
Jordbruk, jakt och skogsbruk	22 029	979	73	-13	-11	-31	23 026
Övrig serviceverksamhet	16 296	1 501	116	-20	-38	-91	17 764
Holding-, investem- och försäkringsbolag, fonder m.m.	60 868	634	177	-16	-10	-125	61 528
Stat och kommun	7 305	89	-	-	-1	-	7 393
varav Riksgälden	2 173	-	-	-	-	-	2 173
Övrig företagsutlåning	14 621	248	301	-10	-76	-95	14 989
Summa	2 348 196	64 390	7 421	-395	-690	-2 093	2 413 829

Utlåning till allmänheten i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2020 mil	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	1 149 125	18 737	2 236	-155	-169	-756	1 169 018
varav hypotekslån	962 972	12 734	601	-37	-28	-56	975 186
varav övriga lån säkerställda bostad	145 738	4 330	591	-13	-19	-139	150 488
varav övriga lån till privatpersoner	40 415	1 673	1 044	-105	-122	-561	42 344
Bostadsnäringsföretag	248 889	1 405	98	-6	-3	-43	250 340
varav hypotekslån	225 561	678	18	-4	-1	-7	226 245
Fastighetsförvaltning	603 483	33 375	1 674	-96	-267	-328	634 841
Tillverkningsindustri	22 332	3 747	174	-16	-21	-107	26 109
Handel	17 894	2 206	379	-17	-59	-96	20 307
Hotell- och restaurangverksamhet	4 584	5 804	37	-10	-145	-9	10 261
Person- och godstransport till sjöss	2 394	2 077	1 162	-1	-6	-288	5 338
Övrig transport och kommunikation	9 025	601	102	-9	-24	-80	9 615
Byggnadsverksamhet	15 655	1 977	166	-19	-41	-86	17 652
Elektricitet, gas och vatten	12 946	754	3	-3	-10	-1	13 689
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 223	1 312	61	-12	-20	-42	21 522
Övrig serviceverksamhet	14 616	1 491	318	-18	-43	-211	16 153
Holding-, investem- och försäkringsbolag, fonder m.m.	46 772	2 011	155	-16	-14	-108	48 800
Stat och kommun	7 086	91	-	0	-1	-	7 176
varav Riksgälden	474	-	-	-	-	-	474
Övrig företagsutlåning	17 659	796	437	-7	-11	-83	18 791
Summa	2 189 683	76 384	7 002	-385	-834	-2 238	2 269 612

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

företagshypotek, garantier (inklusive borgen) och användning av nettringsavtal (se vidare Motpartsrisken).

Grundprincipen vid fastighetsfinansiering är att krediter ska vara säkerställda med pant i fastigheter. För exponeringar med fastigheter som säkerhet beräknas en belåningsgrad, Loan To Value (LTV), genom att dividera

kreditexponeringen med säkerhetens marknadsvärde. Banken följer interna rekommendationer och externa regelverk som bland annat begränsar hur mycket som är möjligt att låna med fastighet som säkerhet. Säkerheternas värde kontrolleras årligen och baseras på ett uppskattat marknadsvärde. Om marknadsvärdet bedöms ha sjunkit och värdet på panten

har försämrats sker kontroll oftare. Bankens instruktioner avseende säkerheter har inte förändrats efter införandet av IFRS 9. Då det som regel blir aktuellt att ta säkerheter i anspråk först sedan kredittagaren drabbats av allvariga betalningssvårigheter inriktas värderingen av säkerheter på det värde säkerheterna förväntas ha vid en försäljning under ogynnsamma

Tabel ÅR9 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning per sektor och bransch

Utlåning till allmänheten	Geografisk fördelning per sektor och bransch 2021 mkr						
	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga länder
Privatpersoner	915 223	75 951	112 312	62 773	42 983	22 780	6 430
varav hypotekslån	887 747	-	86 240	49 807	18 608	-	-
varav övriga lån säkerställda i bostad	5 974	72 264	23 949	9 119	18 046	22 426	5 812
varav övriga lån privatpersoner	27 502	3 687	2 123	3 853	6 329	354	618
Bostadsrättsföreningar	201 084	-	25 635	906	39 775	-	-
varav hypotekslån	1 95 336	-	25 028	-	25 545	-	-
Fastighetsförvaltning	278 288	149 495	127 276	23 834	46 112	51 460	856
Tillverkningsindustri	8 885	1 689	1 435	8 347	1 372	3	1 111
Handel	22 514	3 358	3 637	844	709	12	5
Hotell- och restaurationsverksamhet	2 986	3 783	290	1 723	43	6	-
Person- och godstransport till sjöss	1 613	15	1 206	3	864	-	-
Övrig transport och kommunikation	4 459	1 281	968	321	592	565	1
Byggnadsverksamhet	6 943	2 146	7 204	1 869	570	16	-
Elektricitet, gas och värme	5 543	290	3 046	48	2 638	103	-
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 884	1 469	274	229	150	8	12
Övrig serviceverksamhet	8 113	4 682	2 676	1 508	715	68	2
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m.m.	47 702	2 058	1 320	8 527	881	547	493
Stat och kommun	3 446	-	286	0	3 661	-	-
varav Riksgälden	2 173	-	-	-	-	-	-
Övrig företagsutlåning	13 080	253	610	448	365	38	195
Netto utlåning till allmänheten	1 640 783	248 470	289 075	111 380	141 430	75 806	9 105
varav totalreservering för förväntade kreditförluster (Steg 1-3)	- 1 231	-274	-675	-321	-521	-17	-39
Brutto utlåning till allmänheten	1 641 904	248 744	289 760	111 701	142 051	75 823	9 144

Utlåning till allmänheten i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Utlåning till allmänheten	Geografisk fördelning per sektor och bransch 2020 mkr						
	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga länder
Privatpersoner	870 056	71 836	99 217	61 620	41 037	18 550	6 702
varav hypotekslån	836 966	-	72 781	47 767	18 672	-	-
varav övriga lån säkerställda i bostad	6 015	68 506	24 691	10 004	17 436	17 833	6 009
varav övriga lån privatpersoner	27 075	3 330	1 745	3 849	4 029	717	699
Bostadsrättsföreningar	191 168	-	21 800	872	36 500	-	-
varav hypotekslån	1 84 607	-	21 295	-	20 313	-	-
Fastighetsförvaltning	269 765	138 246	113 522	23 290	44 530	43 230	2 258
Tillverkningsindustri	9 856	1 838	3 038	6 543	1 694	1 008	2 132
Handel	12 414	3 009	3 196	860	776	33	19
Hotell- och restaurationsverksamhet	3 627	3 750	1 043	1 795	40	6	-
Person- och godstransport till sjöss	1 572	20	1 965	3	1 778	-	0
Övrig transport och kommunikation	4 938	1 234	1 530	211	1 090	611	1
Byggnadsverksamhet	7 250	2 403	6 622	547	812	18	0
Elektricitet, gas och värme	5 791	278	3 132	51	4 337	100	0
Jordbruk, jakt och skogsbruk	19 405	1 374	271	305	148	8	11
Övrig serviceverksamhet	7 256	4 614	2 752	637	819	62	13
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m.m.	37 887	2 463	1 293	3 236	3 199	246	476
Stat och kommun	2 302	-	289	7	4 578	-	-
varav Riksgälden	474	-	-	-	-	-	-
Övrig företagsutlåning	15 702	1 181	704	657	301	33	213
Netto utlåning till allmänheten	1 488 989	232 248	260 374	100 634	141 639	68 906	11 826
varav totalreservering för förväntade kreditförluster (Steg 1-3)	- 1 488	-327	-490	-372	-660	-11	-39
Brutto utlåning till allmänheten	1 480 477	232 643	260 864	101 006	142 299	68 916	11 864

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

omständigheter i samband med en obeståndssituation.

Vid långfristiga kredittaganden utan säkerhet till företag avtalar banken ofta med kunden om särskilda kreditvillkor som ger rätt till omförhandling eller uppsägning vid ogynnsam utveckling.

Under speciella omständigheter kan banken köpa kreditderivat eller finansiella garantier som

kreditriskskydd för fordringar. Detta förekommer dock inte inom bankens ordinarie kreditgivning.

En mindre del av utlåningen till kreditinstitut är omvända repor. En omvänd repa är en återköpstransaktion som innebär att banken repa in (köper) räntebärande värdepapper eller aktier med särskild överenskommelse att värdepappret ska säljas tillbaka till ett visst pris vid en viss

tidpunkt. Omvända repor betraktas av banken som säkerställd utlåning.

Säkerheterna specificerade i tabellerna nedan är endast sådana som används i kapitalkravsberäkningen för kreditrisker.

Tabell ÅR10 Kreditexponeringar fördelad per säkerhet

Kreditriskexponeringar Fördelad per säkerhet 2021 mkr	Bostads- fastigheter ¹	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting ²	Borgen ³	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Blanko	Summa
Poster i balansräkningen									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	-	-	439 964	-	-	-	-	-	439 964
Övrig utlåning till centralbanker	När K14	-	1 462	-	-	-	-	-	1 462
Utlåning till övriga kreditinstitut	När K15	-	15	-	-	-	-	21 823	21 838
Utlåning till allmänheten	När K16	1 794 921	352 383	47 978	9 901	20 025	22 312	8 919	2 413 829
Balansräkna statskultförbindelser mm	När K17	-	99 252	-	-	-	-	1 310	100 562
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	När K17	-	117	818	-	-	-	32 399	33 334
Derivatinstrument	När K21	833	1 541	1 947	65	150	-	23 982	28 518
Summa		1 796 764	363 924	600 735	10 784	20 176	22 312	8 919	3 039 807
Poster utanför balansräkningen									
Eventuallösläppligheter	När K43	100 836	59 444	34 269	6 577	15 491	674	9 390	558 273
varav ansvarsförbindelser		4 337	1 284	1 910	1 858	1 046	-	910	60 401
varav åtaganden		96 499	58 160	32 359	4 709	14 445	674	8 480	271 191
Summa		100 836	59 444	34 269	6 577	15 491	674	9 390	558 273
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 898 590	413 368	625 004	17 361	35 668	22 986	18 309	3 597 780

Poster i balansräkningen i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning, se not K13.

Kreditriskexponeringar Fördelad per säkerhet 2020 mkr	Bostads- fastigheter ¹	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting ²	Borgen ³	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Blanko	Summa
Poster i balansräkningen									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	-	-	397 642	-	-	-	-	-	397 642
Övrig utlåning till centralbanker	När K14	-	21 326	-	-	-	-	-	21 326
Utlåning till övriga kreditinstitut	När K15	-	365	978	-	-	-	20 577	21 920
Utlåning till allmänheten	När K16	1 681 764	347 413	49 766	7 475	13 270	24 383	11 123	2 259 612
Balansräkna statskultförbindelser mm	När K17	-	99 133	-	-	-	-	-	99 133
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	När K17	-	2 563	-	-	-	-	42 003	44 566
Derivatinstrument	När K21	972	1 589	2 047	81	15 013	-	10 813	30 614
Summa		1 682 736	349 101	572 842	8 534	28 283	24 383	11 123	2 884 813
Poster utanför balansräkningen									
Eventuallösläppligheter	När K43	89 874	51 353	34 779	6 024	10 134	455	11 224	543 319
varav ansvarsförbindelser		4 482	1 528	1 859	2 850	1 201	-	1 024	66 917
varav åtaganden		85 392	49 825	32 896	3 164	8 933	455	10 200	272 559
Summa		89 874	51 353	34 779	6 024	10 134	455	11 224	543 319
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 772 610	400 454	607 621	14 558	38 417	24 838	22 347	3 428 132

¹ Inklusive bostadsrätter.

² Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.

³ Inkluderar ej statsgarantier.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Tabell ÅR11 Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsoptimering, fördelat per säkerhet

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivning fördelat per säkerhet 2021

		2021					
		Brutto			Reserver		
		Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
mkr							
Poster i balansräkningen							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		439 932	-	-	0	-	-
Stat, kommun och landsting ¹		439 932	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	Not K7.4	1 462	-	-	-	-	-
Stat, kommun och landsting ¹		1 462	-	-	-	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K7.5	21 833	10	-	-2	-3	-
Stat, kommun och landsting ¹		15	-	-	-	-	-
Borgen ²		-	-	-	-	-	-
Blanko		21 818	10	-	-2	-3	-
Utlåning till allmänheten	Not K7.6	2 345 198	84 390	7 421	-395	-890	-2 093
Bostadsfastigheter ¹		1 758 368	24 534	2 533	-101	-93	-320
Övriga fastigheter		323 470	28 049	1 447	-85	-247	-251
Stat, kommun och landsting ¹		45 990	1 674	334	-3	-7	0
Borgen ²		8 952	953	6	-3	-7	-
Finansiella säkerheter		19 474	566	1	-5	-11	0
Objekt		21 294	1 087	49	-44	-59	-15
Övriga säkerheter		7 779	1 126	363	-23	-54	-272
Blanko		149 879	6 401	2 688	-131	-212	-1 235
Bekräftade statsskuldförbindelser mm	Not K7.7	421	-	-	-	-	-
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K7.7	9 016	-	-	-2	-	-
Summa		2 817 880	84 400	7 421	-399	-893	-2 093
Poster utanför balansräkningen							
Eventuella förpliktelser	Not K4.3	408 024	9 477	336	-109	-144	-91
varav ansvarsförbindelser		70 375	1 265	116	-9	-10	-39
Bostadsfastigheter ¹		4 242	87	8	-5	-1	-3
Övriga fastigheter		1 216	66	3	-1	-1	-
Stat, kommun och landsting ¹		1 831	69	10	0	0	-
Borgen ²		1 778	90	0	0	0	-
Finansiella säkerheter		959	83	5	0	-1	-
Objekt		-	-	-	-	-	-
Övriga säkerheter		805	77	28	0	-2	-17
Blanko		59 544	793	62	-3	-5	-19
varav Allgälden		335 649	8 212	220	-100	-134	-52
Bostadsfastigheter ¹		95 531	937	31	-15	-5	-13
Övriga fastigheter		56 618	1527	15	-7	-14	-
Stat, kommun och landsting ¹		31 967	392	-	0	0	-
Borgen ²		4 522	187	0	-1	-1	-
Finansiella säkerheter		14 079	366	-	-1	-4	-
Objekt		668	6	-	-1	0	-
Övriga säkerheter		7 647	814	19	-11	-31	-3
Blanko		124 617	3 983	155	-64	-79	-36
Summa		408 024	9 477	336	-109	-144	-91
Summa poster i och utanför balansräkningen		3 225 884	93 877	7 757	-508	-837	-2 184

¹ Inklusive bostadsrätter.² Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.³ Inkluderar ej statsgarantier.

Poster i balansräkningen i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning, se not K13.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivning fördelad per säkerhet 2020

		2020					
		Brutto			Reserver		
mkr		Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen							
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker		397 642	-	-	0	-	-
Stat, kommun och landsting ¹		397 642	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	Not K7.4	21 328	-	-	-	-	-
Stat, kommun och landsting ¹		21 326	-	-	-	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K7.5	21 911	17	-	-2	-8	-
Stat, kommun och landsting ¹		362	3	-	-	-	-
Borgen ²		978	-	-	-	-	-
Blanko		20 571	14	-	-2	-6	-
Utlåning till allmänheten	Not K7.6	2189 688	76 384	7 002	-385	-834	-2 238
Bostadsfastigheter ¹		1 654 107	26 285	1 985	-109	-128	-376
Övriga fastigheter		312 690	34 317	1 214	-81	-369	-358
Stat, kommun och landsting ¹		48 392	1 062	317	-2	-3	-
Borgen ²		7 237	239	8	-3	-6	-
Finansiella säkerheter		12 803	471	2	-3	-3	-
Objekt		22 644	1 815	45	-37	-66	-18
Övriga säkerheter		9 333	1 740	449	-21	-77	-301
Blanko		122 477	10 455	2 982	-129	-182	-1 185
Bekräftade statskuld förbindelser mm	Not K7.7	1 181	-	-	0	-	-
Obligationer och andra rättskrävs värdepapper	Not K7.7	7 984	-	-	-2	-	-
Summa		2 639 707	76 401	7 002	-389	-840	-2 238
Poster utanför balansräkningen							
Eventuella förpliktelser	Not K4.3	301 268	10 743	433	-90	-157	-119
varav ansvärsförbindelser		77 829	1 910	156	-8	-16	-70
Bostadsfastigheter ¹		4 387	87	9	-5	-2	-3
Övriga fastigheter		1 380	136	12	-	-1	-5
Stat, kommun och landsting ¹		1 752	101	20	-	-2	-
Borgen ²		2 780	78	1	-	-1	-
Finansiella säkerheter		1 088	107	6	-	-1	-
Objekt		-	-	-	-	-	-
Övriga säkerheter		819	179	26	-	-2	-14
Blanko		65 613	1 222	82	-3	-7	-48
varav tillägganden		31 343	8 833	277	-82	-141	-49
Bostadsfastigheter ¹		85 050	335	7	-5	-2	-
Övriga fastigheter		48 196	1 515	113	-5	-18	-4
Stat, kommun och landsting ¹		32 753	144	-	-	-1	-
Borgen ²		2 874	290	-	-1	-6	-
Finansiella säkerheter		8 858	75	-	-1	-1	-
Objekt		445	10	-	-1	-	-
Övriga säkerheter		8 879	1 289	32	-11	-44	-8
Blanko		126 382	5 175	125	-58	-69	-37
Summa		301 268	10 743	433	-90	-157	-119
Summa poster i och utanför balansräkningen		3 039 973	87 144	7 435	-479	-997	-2 357

¹ Inklusive bostadsrätter.² Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.³ Inkluderar ej statsgarantier.

K2 Forts

Kreditriskkoncentrationer

Handelsbankens kontor är starkt fokuserade på att etablera långsiktiga relationer med kunder som har hög kreditvärdighet. Om ett kontor identifierar en bra kund ska kontoret kunna göra affärer med kunden oavsett om banken som helhet har en stor exponering mot den bransch som kunden representerar. Som en konsekvens av det har banken relativt stora koncentrationer i enskilda sektorer. Banken följer dock kreditportföljens utveckling och kvalitet och beräknar koncentrationer mot olika typer av branscher och geografiska områden. Banken mäter och följer också exponeringar mot större enskilda motparter. Särskilda limiter tillämpas för att begränsa den maximala kreditexponeringen mot enskilda motparter som ett komplement till kreditriskbedömningen. Om en koncentration i kreditportföljen avseende sektor eller motpart kan

antas utgöra en förhöjd risk, följs denna koncentration upp. Koncentrationsrisker fångas upp i bankens beräkning av ekonomiskt kapital för kreditrisker och i de stresstester som görs i den interna kapitalutvärderingen och som en del av uppföljningen av bankens risktolerans. Finansinspektionen beräknar också ett särskilt kapitalkravspåslag i Pelare 2 för koncentrationsrisker i kreditportföljen. Därigenom säkerställs att banken är väl kapitaliserad med hänsyn också till koncentrationsrisker. Om koncentrationsriskerna skulle bedömas vara för stora har banken både möjlighet och förmåga att reducera riskerna genom olika riskreducerande åtgärder.

Handelsbanken har, utöver bolån och utlåning till bostadsrättsföreningar, en betydande utlåning till fastighetsförvaltning om 677 mdkr (635). Med fastighetsförvaltning avses här alla företag som riskklassificeras som fastighetsbolag. Det är van-

ligt förekommande att koncerner verksamma i andra branscher har dotterbolag som förvaltar de fastigheter som koncernen bedriver verksamhet i, och även sådana fastighetsbolag anses här tillhöra fastighetsförvaltning. Den underliggande kreditrisken i sådana fall är dock inte enbart fastighetsrelaterad eftersom motpartens återbetalningsförmåga bestäms av annan verksamhet än fastighetsförvaltningen. Därutöver riskklassificeras privatpersoner med större fastighetsinnehav som fastighetsbolag.

En mycket stor del av fastighetsutlåningen är säkerställd i fastigheter med låg belåningsgrad vilket minskar bankens risk för kreditförluster. En stor del av fastighetsutlåningen sker dessutom till statliga fastighetsbolag, kommunala bostadsbolag och annan bostadsrelaterad verksamhet där låntagarna genomgående har starka och stabila kassaflöden och därigenom mycket hög kredit-

Tabell ÅR12 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Fastighetsförvaltning

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning 2021 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Utlåning i Sverige							
Statligt ägda fastighetsbolag	7 894	14	-	0	0	-	7 908
Kommunalt ägda fastighetsbolag	8 174	160	-	0	0	-	8 334
Bostadsfastighetsbolag varav hypotekslån	128 135	1 713	43	-5	-5	-7	129 874
Övrig fastighetsförvaltning varav hypotekslån	115 843	1 613	18	-4	-4	-4	117 462
	119 415	12 676	250	-11	-57	-101	132 172
	63 522	3 130	21	-3	-8	-3	65 659
Summa	268 618	14 663	293	-16	-62	-108	278 288
Utlåning utanför Sverige							
Storbritannien	141 682	7 216	758	-38	-57	-66	149 495
Norge	120 215	7 101	41	-21	-57	-3	127 276
Danmark	23 186	594	99	-7	-13	-25	23 834
Finland	42 929	2 700	532	-5	-14	-30	46 112
Nederländerna	50 956	516	-	-9	-3	-	51 450
Övriga länder	837	14	11	0	-1	-5	856
Summa	379 895	18 141	1 441	-80	-145	-129	399 033
Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten	648 423	32 704	1 734	-96	-207	-237	677 321

Utlåning till allmänheten i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller förstått, se not K13.

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning 2020 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Utlåning i Sverige							
Statligt ägda fastighetsbolag	7 895	14	-	0	0	-	7 909
Kommunalt ägda fastighetsbolag	7 635	-	-	0	-	-	7 635
Bostadsfastighetsbolag varav hypotekslån	124 320	1 274	57	-5	-8	-47	125 591
Övrig fastighetsförvaltning varav hypotekslån	113 335	1 107	12	-4	-6	-6	114 438
	118 593	10 026	218	-20	-101	-86	128 630
	63 899	1 920	29	-3	-12	-10	65 823
Summa	268 443	11 314	275	-25	-109	-133	280 765
Utlåning utanför Sverige							
Storbritannien	127 793	10 051	622	-37	-76	-107	138 346
Norge	105 806	7 731	61	-16	-56	-4	113 522
Danmark	21 133	2 087	125	-7	-14	-34	23 290
Finland	42 328	1 684	577	-3	-9	-47	44 530
Nederländerna	42 742	498	-	-8	-2	-	43 230
Övriga länder	2 238	10	14	0	-1	-3	2 258
Summa	342 040	22 061	1 399	-71	-108	-196	365 076
Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten	600 483	33 375	1 674	-96	-217	-329	634 841

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

världighet. En stor del av utlåningen till fastighetssektorn är således till bolag med mycket låg sannolikhet för finansiella svårigheter. Bankens exponering mot fastighetssektorn finns specificerad i tabeller nedan.

Andelen exponeringar hänförliga till fastighetsmotparter som har en sämre rating än bankens riskklass 5 (normal risk) är mycket låg. 99% (99) av total fastighetsutlåning i Sverige återfinns i riskklass 5 eller bättre. Motsvarande uppgift avseende fastighetsutlåningen i Norge uppgår till 99% (99), Danmark 98% (98), Finland 97% (96). Storbritanniens och Nederländernas kapitalkrav

beräknas med schablonmetoden som har föreskrivna riskvikt, vilket innebär att riskklasserna inte är relevanta för kapitalkravsberäkningen. Av de motparter som återfinns i sämre riskklasser än normalt återfinns huvuddelen i riskklasserna 6-7 och endast små volymer i de högre riskklasserna 8-9. För information om Handelsbankens riskklassificering, se not K2 avsnitt Beräkning av kapitalkrav för kreditrisker.

Handelsbankens utlåning till fastighetsbolag har under de senaste åren vuxit dels som en

följd av att banken haft en betydande kredittillväxt i Storbritannien genom en expansion av kontorsnätet. En stor del av tillväxten har varit i fastighetsrelaterade krediter. Handelsbanken har i Storbritannien samma strikta krav på återbetalningsförmåga, belåningsgrader och säkerheternas kvalitet som på övriga marknader.

Tabell ÅR:13 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land (Brutto)

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land	2021					2020				
	Utlåning	Stat och kommun ¹	Borsadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko	Utlåning	Stat och kommun ¹	Borsadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko
mie										
Sverige	278 474	17 310	150 555	98 134	12 475	270 032	16 324	146 083	101 866	5 759
Storbritannien	149 656	10	85 934	63 287	425	138 466	9	71 953	66 197	307
Norge	127 357	25	22 599	97 482	7 251	113 598	23	20 557	85 723	7 295
Danmark	23 879	-	14 731	8 843	305	23 345	-	14 135	8 857	353
Finland	46 161	25 966	6 722	13 244	229	44 589	23 110	7 368	13 573	538
Nederländerna	51 472	-	35 925	15 317	230	43 240	-	27 959	14 212	1 069
Övriga länder	862	-	479	352	31	2 262	447	708	506	601
Summa	677 961	43 311	316 945	298 699	20 946	635 632	39 913	288 763	290 934	15 922

¹ Bolag ägda av stat och kommun/fastighetsutlåning garanterad av stat och kommun

Utlåning till allmänheten i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Tabell ÅR:14 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2021

mie								
Riskklass	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
1	15 300	-	818	22	13 044	-	-	29 184
2	86 418	-	29 492	1 026	7 428	-	-	124 364
3	114 156	-	61 254	10 740	13 427	-	-	199 577
4	96 186	-	25 665	9 534	7 239	-	-	138 614
5	19 278	-	8 892	2 085	3 638	-	-	33 893
6	5 010	-	797	96	465	-	-	6 368
7	533	-	353	239	231	-	-	1 356
8	96	-	7	12	41	-	-	156
9	71	-	36	18	12	-	-	137
Fallsamang	294	-	41	99	532	-	-	966
Schablonmetoden ¹	1 132	149 656	2	8	114	51 472	862	203 246
Summa	278 474	149 656	127 357	23 879	46 161	51 472	862	677 961

Utlåning till allmänheten i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2020

mie								
Riskklass	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
1	15 300	327	772	12	12 562	-	-	29 063
2	79 954	18 556	19 972	1 259	7 775	-	3	127 519
3	113 753	52 180	57 077	8 634	10 505	-	-	242 149
4	96 228	49 852	25 928	11 030	9 731	-	-	192 769
5	20 985	14 351	8 395	1 835	2 701	-	-	48 267
6	1 451	1 899	1 157	138	257	-	-	4 902
7	473	279	164	283	100	-	-	1 299
8	215	16	23	1	33	-	-	288
9	185	-	42	25	105	-	-	357
Fallsamang	274	622	60	125	577	-	-	1 658
Schablonmetoden ¹	1 124	384	8	3	243	43 240	2 259	47 261
Summa	270 032	138 466	113 598	23 345	44 589	43 240	2 262	635 632

K2 Forts

Tabell ÅR-15 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet 2021
mkr

Riskklass	Utlåning		Säkerhet			
		Boetade-fästigheter	Kommersiella fästigheter	Stat och kommun ¹	Övriga säkerheter	Blanko
1	29 184	8 013	3 039	17 089	252	781
2	124 364	58 878	46 589	12 634	1 223	5 040
3	199 577	86 467	95 579	7 231	744	9 556
4	78 614	30 676	41 304	4 294	219	2 121
5	33 893	9 320	20 671	1 374	622	1 906
6	6 368	489	5 442	351	17	69
7	1 356	455	864	7	6	24
8	156	41	113	-	0	2
9	137	38	68	-	7	24
Fallssemang	966	229	364	321	15	37
Schablonmetoden ¹	203 246	122 339	78 609	10	902	1 386
Summa	677 881	318 945	292 642	43 311	4 017	20 948

Utlåning till allmänheten i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet 2020
mkr

Riskklass	Utlåning		Säkerhet			
		Boetade-fästigheter	Kommersiella fästigheter	Stat och kommun ¹	Övriga säkerheter	Blanko
1	29 063	9 555	3 262	15 283	251	712
2	127 519	62 540	46 543	12 800	1 320	4 316
3	242 149	111 830	121 069	4 151	629	4 470
4	132 769	57 887	65 805	5 736	472	2 869
5	48 267	15 040	30 685	1 021	442	1 079
6	4 902	1 741	2 887	164	30	80
7	1 299	486	758	-	8	47
8	288	57	226	-	1	4
9	357	94	228	4	6	25
Fallssemang	1 658	567	597	305	19	170
Schablonmetoden ¹	47 261	28 966	15 221	449	475	2 150
Summa	638 632	288 783	287 281	30 013	3 853	16 922

¹ Schablonmetoden har förekravna riskklasser och är därför ej relevant.BERÄKNING AV KAPITALKRAV
FÖR KREDITRISER
Riskklassificeringssystem

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och internmetoden i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (CRR). Schablonmetoden innebär att riskvikterna vid beräkningen av kapitalkrav för kreditrisk är förekravna i regelverket. Internmetoden innebär att institut vid beräkningen av kapitalkrav för kreditrisk skattar riskparametrar genom användning av egna IRK modeller. Vid tillämpningen av internmetoden finns två olika metoder: den så kallade grundläggande internmetoden och den så kallade avancerade internmetoden. I den grundläggande internmetoden är förlustandel vid fallissemang (LGD) och konverteringsfaktor (KF) givna av regelverket. KF används vid beräkning av exponeringsbelopp för outnyttjade checkkrediter, kreditlöften, garantier och andra åtaganden utanför balansräkningen. I den avancerade internmetoden beräknas såväl PD, LGD som KF genom tillämpning av egna IRK modeller. Handelsbankens interna riskklassificeringssystem (IRK), det vill säga internmetoden, består av ett

antal olika system, metoder, processer och rutiner som stödjer Handelsbankens klassificering och kvantifiering av kreditrisk.

Vid kreditbedömningen av kunder åsätts kunderna en rating, som sin tur har koppling till internmetodens indelning i riskklasser.

Ratingens två dimensioner är risken för finansiella påfrestningar (A) och motpartens finansiella motståndskraft vid sådana påfrestningar (B) i en femgradig skala från mycket låg risk till mycket hög risk.

Ratingen omvandlas till en intern riskklass vid tillämpning av internmetoden (A+B-1) för företags- och institutsexponeringar samt för exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner (statsexponeringar).

Ratingen för hushållsexponeringar sätts bara i en dimension, enligt en femgradig skala, och omvandlas inte direkt till en riskklass som för företagsexponeringar, utan de olika exponeringsarna sorteras i ett antal mindre grupper, beroende på vissa faktorer. Exempel på sådana faktorer är vilken typ av kredit det gäller, motpartens betalningsskötsel och om det finns en eller flera låntagare. För var och en av de

mindre grupperna beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel, och baserat på denna sorteras grupperna in i någon av de tio riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

Internmetodens riskklasser är således olika skolor mellan 1 och 10.

En klar majoritet av bankens exponeringar ligger i riskklass 1–4, vilket betyder att den genomsnittliga risken i kreditportföljen är väsentligt lägre än den nivå som bedöms vara normal risk. Riskklass 5 motsvarar normal risk och riskklass 10 avser fallerade motparter.

Genom IRK mäts kreditrisken i verksamheten på ett tillförlitligt och konsekvent sätt.

Exponeringsklasser

Antalet exponeringsklasser är avhängigt vilken metod som används vid beräkning av kreditrisk. Exponeringar som ska beräknas enligt schablonmetoden kan hänföras till 17 olika exponeringsklasser medan det för internmetoden finns sju exponeringsklasser.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Banken använder olika modeller för beräkningen av kreditrisk beroende på typen av exponering. Den övergripande indelningen i exponeringsklasser enligt internmetoden är stats-, instituts-, företags-, hushålls- och aktieexponeringar samt positioner i värdepappersfonder. Här till kommer så kallade motpartslösa exponeringar, det vill säga tillgångar där det inte krävs någon prestation från motparten, exempelvis materiella anläggningstillgångar.

Till statsexponeringar hänförs exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner. Till institutsexponeringar hänförs exponeringar mot motparter som är definierade såsom banker och övriga kreditinstitut samt vissa värdepappersbolag.

Hushållsexponeringar innefattar dels exponeringar mot privatpersoner, dels exponeringar mot

enskilda näringsidkare och företag där den totala exponeringen inom koncernen uppgår till högst 5 mkr (exklusive bostadskrediter). Hushållsexponeringar delas upp i två undergrupper: fastighetskrediter och övriga hushållsexponeringar.

Till företagsexponeringar hänförs exponeringar mot icke-finansiella företag bestående av juridiska personer som har en total exponering inom koncernen som överstiger 5 mkr eller där företagets omsättning överstiger 50 mkr samt enskilda näringsidkare med en total exponering inom koncernen som överstiger 5 mkr. Förutom vanliga icke-finansiella företag ingår i exponeringsklassen även försäkringsbolag, bostadsrättsföreningar samt exponering i form av så kallad specialfinansiering.

Till aktieexponeringar hänförs bankens innehav i aktier som inte utgör en del av handelslaget.

Vid indelningen i exponeringsklasser enligt schablonmetoden hänförs bankens volymer till någon av exponeringsklasserna multilaterala utvecklingsbanker, internationella organisationer, institut, företag, hushåll, exponering med säkerheter i fastigheter, fallerande exponeringar, övriga poster samt aktier.

Metoder för riskklassificeringen

För att kvantifiera bankens kreditrisker beräknas sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Fallissemang inträffar när kredittagaren är mer än 90 dagar försenad med en väsentlig betalning eller när banken bedömer att det är osannolikt att kredittagaren kommer att fullfölja sina åtaganden mot banken. PD-värdet uttrycks som ett procenttal, där exempelvis ett

Tabell ÅR16 Kreditexponeringar per riskklass

Kreditexponeringar per riskklass 2021 mil	Poster i balansräkningen							Poster utanför balansräkningen		
	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgodo- havanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Ränta- bärande värdepapper	Ansvars- förbindelser	Åtaganden	Summa	
1	547 778	61	439 904	1 462	8 636	101 489	5 547	56 348	1 161 225	
2	622 873	17 553	-	-	9 599	27 788	25 869	126 583	830 265	
3	563 523	1 221	60	-	4 718	2 194	16 030	148 583	736 329	
4	218 567	15	-	-	1 818	-	17 259	41 238	278 897	
5	70 963	1	-	-	508	-	3 818	29 692	104 982	
6	18 037	29	-	-	20	-	198	5 744	24 028	
7	22 910	-	-	-	6	-	251	5 420	27 987	
8	2 223	-	-	-	-	-	37	4 745	7 005	
9	7 084	-	-	-	-	-	36	2 487	9 607	
Fallissemang	3 814	-	-	-	-	-	62	215	4 091	
Schablonmetoden ¹	336 657	2 958	-	-	3 213	2 425	2 649	65 462	413 364	
Summa	2 413 829	21 838	439 964	1 462	28 618	133 808	71 706	486 617	3 097 790	

Poster i balansräkningen i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Kreditexponeringar per riskklass 2020 mkr									
Riskklass	Poster i balansräkningen						Poster utanför balansräkningen		
	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgodo- havanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Ränta- bärande värdepapper	Ansvars- förbindelser	Åtaganden	Summa
1	479 918	5 068	396 840	21 326	3 295	106 022	7 041	53 056	1 072 566
2	590 700	13 404	762	-	8 747	21 528	28 595	136 432	800 168
3	587 579	465	40	-	4 272	15 173	18 215	129 448	755 192
4	285 396	38	-	-	2 686	-	16 340	60 683	365 152
5	103 797	37	-	-	414	-	5 383	35 281	144 912
6	24 293	7	-	-	234	-	752	8 371	33 657
7	22 536	1	-	-	20	-	130	5 076	27 763
8	2 090	-	-	-	4	-	77	4 190	6 361
9	9 525	-	-	-	-	-	69	2 674	12 268
Fallissemang	3 914	-	-	-	-	-	73	333	4 320
Schablonmetoden ¹	159 864	2 900	-	-	10 942	976	3 211	27 880	205 773
Summa	2 269 612	21 920	397 642	21 326	30 614	143 609	79 896	483 434	3 428 132

¹ Schablonmetoden har föreskrivna risker i riskklasserna 1-9 där förväntad relevanta.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

PD-värde på 0,5% innebär att en kredittagare av 200 med samma PD-värde väntas falla inom ett år.

Företagsexponeringarna delas in i fyra motpartstyper och statsexponeringar i två motpartstyper baserat på den affärsbedömningsmall som används för motparten. PD beräknas individuellt för varje riskklass och motpartstyp. För exponeringar som kapitaltäcks enligt Internmetoden utan egna skattningar av LGD och KF tillämpas föreskrivna värden för LGD. Vilket föreskrivet värde som får användas styrs av vilken säkerhet som finns för respektive exponering.

Även för hushållsexponeringar beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel för var och en av riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

För hushållsexponeringar och för exponeringar mot företag som exempelvis medelstora

företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar fastställs LGD från bankens egen förlusthistorik. För exponeringar mot stora företag som kapitaltäcks med Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF fastställs LGD baserat på interna förluster och externa observationer. För hushållsexponeringar med fastighetssäkerhet i Sverige och för fastighetsexponeringar mot medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar (företag) tillämpas olika LGD-värden beroende på säkerhetens belåningsgrad. För övriga exponeringar styrs LGD-värdet av faktorer som kan bero på förekomst av och värde på säkerhet, produkttyp eller liknande.

För varje exponeringsklass beräknas PD för var och en av de riskklasser som avser icke-fallerade motparter eller avtal. PD grundar sig på beräkningar av hur stor andelen fallissemang varit historiskt för olika typer av exponeringar. Den genomsnittliga fallissemangsandelen justeras därefter med olika marginaler, till exempel av försiktighetsskäl.

2017 blev Handelsbanken godkänd för att använda nya PD-modeller för företag i Internmetoden. Dessa modeller utgår från den historiska fallissemangsfrekvensen, både per riskklass och per portfölj. Skattningarna per portfölj är baserade dels på bankens interna data, dels på data från andra källor, såsom till exempel externa kreditvärderingsinstitut, och ska gälla över en tänkt konjunktursykel där ett av fem år är ett nedgångsår och där den svenska bankkrisen på 1990-talet beaktas, enligt krav från Finansinspektionen. Till skattningarna adderas väsentliga försiktighetsmarginaler, och dessa portfölj-PD väntas i normalfallet inte variera mellan åren. Skattningarna per riskklass baseras på bankens interna fallissemangsdata och en modell som fastställer relationen i fallissemangsrisk mellan olika riskklasser. Marginaler adderas sedan så att varje portföljs aggregerade PD sammanfaller med skattningen av portfölj-PD. Detta innebär att PD per riskklass kan komma att variera över tid trots att portfölj-PD inte gör

Tabell AR-17 Poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2021 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	853 060	1 897	-	-4	-3	-
2	660 621	5 649	-	-24	-9	-
3	569 652	3 816	-	-44	-11	-
4	215 350	5 141	-	-71	-21	-
5	53 929	17 807	-	-78	-186	-
6	12 530	5 643	-	-26	-61	-
7	17 647	4 776	-	-10	-97	-
8	400	1 919	-	-2	-94	-
9	3 954	3 300	-	-18	-52	-
Fallissemang	-	-	5 641	-	-	-1 827
Schablonmetoden ¹	430 817	14 452	1 780	-122	-159	-266
Summa	2 817 880	64 400	7 421	-390	-693	-2 093

Poster i balansräkningen i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2020 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	841 963	2 045	-	-5	-3	-
2	630 307	3 783	-	-24	-6	-
3	607 480	4 462	-	-46	-10	-
4	278 936	9 312	-	-97	-30	-
5	74 216	30 500	-	-99	-243	-
6	14 688	10 059	-	-33	-181	-
7	17 129	5 562	-	-10	-124	-
8	624	1 528	-	-3	-55	-
9	4 367	5 285	-	-21	-106	-
Fallissemang	-	-	5 909	-	-	-2 079
Schablonmetoden ¹	170 097	3 865	1 009	-51	-82	-159
Summa	2 639 707	76 401	7 002	-389	-840	-2 238

¹ Schablonmetoden har föreskrivna riskvärden för riskklasserna är därför ej relevanta.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Tabell ÅR:18 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2021 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	545 888	1 897	-	-4	-3	-
2	617 255	5 649	-	-22	-9	-
3	559 761	3 816	-	-43	-11	-
4	213 518	5 141	-	-71	-21	-
5	53 419	17 807	-	-78	-185	-
6	12 481	5 643	-	-26	-61	-
7	17 641	4 776	-	-10	-97	-
8	400	1 919	-	-2	-94	-
9	3 854	3 300	-	-18	-52	-
Fallissemang	-	-	5 641	-	-	-1 827
Schablonmetoden ¹	320 979	14 442	1 780	-121	-157	-266
Summa	2 346 106	64 390	7 421	-306	-690	-2 008

Utlåning till allmänheten i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tilgångar som innehåller försäkring, se not K13.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2020 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	477 881	2 045	-	-5	-3	-
2	586 946	3 782	-	-22	-6	-
3	583 172	4 462	-	-45	-10	-
4	276 211	9 312	-	-97	-30	-
5	73 634	30 500	-	-99	-238	-
6	14 448	10 059	-	-33	-181	-
7	17 109	5 561	-	-10	-124	-
8	620	1 528	-	-3	-55	-
9	4 367	5 285	-	-21	-106	-
Fallissemang	-	-	5 993	-	-	-2 079
Schablonmetoden ¹	155 295	3 850	1 009	-50	-81	-159
Summa	2 189 683	76 384	7 002	-386	-834	-2 238

Tabell ÅR:19 Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2021 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	44 810	387	-	-1	-1	-
2	103 835	544	-	-5	-1	-
3	111 041	250	-	-9	-1	-
4	41 445	1 629	-	-16	-6	-
5	22 903	2 133	-	-29	-29	-
6	5 575	330	-	-5	-9	-
7	4 890	768	-	-5	-22	-
8	3 756	964	-	-3	-34	-
9	2 318	170	-	-4	-11	-
Fallissemang	-	-	268	-	-	-89
Schablonmetoden ¹	65 746	2 262	68	-32	-30	-2
Summa	406 310	9 477	338	-109	-144	-91

Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2020 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	43 265	170	-	-1	0	-
2	115 428	675	-	-6	-2	-
3	102 844	719	-	-8	-1	-
4	54 890	1 035	-	-17	-2	-
5	25 923	4 826	-	-23	-45	-
6	7 601	1 501	-	-6	-24	-
7	4 569	609	-	-3	-19	-
8	3 886	350	-	-1	-17	-
9	2 437	278	-	-2	-19	-
Fallissemang	-	-	402	-	-	-117
Schablonmetoden ¹	30 432	580	31	-23	-28	-2
Summa	391 298	10 743	433	-90	-157	-119

¹ Schablonmetoden har förskrivna riskvikter riskklasserna är därför ej relevanta.

K2 Forts

det, då fördelningen av motparter över riskklasserna varierar över tid.

Vid fastställande av LGD beaktas att riskmätet ska återspegla förlustandelen under ekonomiskt ogynnsamma förhållanden, vilket benämns Nedgångs-LGD. För fastighetssäkerheter baseras Nedgångs-LGD på observerade förlustandelar från fastighetskrisen under början av 1990-talet. För övriga säkerheter avseende hushållsexponeringar nedgångsjusteras observerat LGD med en faktor som beror på PD och produkttyp. För företagsexponeringar inom Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF nedgångsjusteras LGD med beaktande av bankens observerade förluster under krisåren 1991–1996. För exponeringar med fastighetssäkerheter skattas LGD i många fall baserat på fastighetens belåningsgrad. Eftersom fastigheternas värde och därmed även belåningsgraden vanligtvis varierar med konjunkturen innebär detta att även kapitalkravet kommer att uppvisa ett visst konjunkturberoende.

När exponeringsbeloppet ska beräknas sker vissa justeringar av den bokförda exponeringen. Exempel på detta är kreditlöften eller revolverande krediter, där banken avtalar med kunden om att denne får låna upp till ett visst belopp i framtiden. Denna typ av åtaganden utgör en kreditrisk som också ska kapitaltäckas. Normalt betyder det att den beviljade krediten justeras med en viss KF för den del av krediten som inte är utnyttjad vid rapporteringstillfället. När det gäller vissa produktklasser för företagsexponeringar och för institutsexponeringar är konverteringsfaktorerna bestämda av regelverket, men för hushållsexponeringar och vissa produktklasser för stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar använder banken egenberäknade konverteringsfaktorer. Här styrs konverteringsfaktorn framförallt av vilken produkt som avses, men även utnyttjandegrad kan spela in.

Kapitalkravet för aktieexponeringar i Internmetoden beräknas enligt förenklad riskviktsmetod.

Riskparametrarna (PD, EAD, LGD) används förutom vid kapitalkravsberäkningen även för beräkning av kostnaden för kapital i varje enskild affär och vid beräkning av ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC).

Jämförelse med extern rating

Bankens riskklasser är inte direkt jämförbara med den rating som de externa kreditvärderingsföretagen tillämpar. Kreditvärderingsföretagens rating svarar inte mot en direkt klassificering av motparternas sannolikhet för fallissemang på samma sätt som bankens riskklassificering gör. Kreditvärderingsföretagen beaktar i varierande grad också hur allvariga förluster ett fallissemang kan leda till. Den tidshorisont för vilken kreditvärdigheten bedöms är inte alltid densamma för banken som för kreditvärderingsföretagen. Bankens riskklasser anger inte en enhetlig skala där en viss riskklass alltid motsvarar en viss fallissemangssannolikhet.

Dessutom tillämpas olika PD-skalar för olika delar av kreditportföljen och PD-värdet förändras över tiden.

Sammantaget är det inte möjligt att entydigt och konsekvent översätta de interna riskklasserna till en extern rating. Genom att analysera den historiska fallissemangsandelen i Handelsbankens riskklasser i förhållande till fallissemangsandelen i de externa ratingklasserna enligt det externa ratinginstitutet Moody's, kan dock en rimlig jämförelsetabell erhållas.

Kvalitetssäkring av kreditriskmodellen

Banken utför årligen en översyn av riskklassificeringssystemen. Översynen tar sikte dels på att den interna ratingen som ligger till grund för bankens riskklassificering tillämpas på ett konsistent, korrekt och ändamålsenligt sätt (utvärdering), dels på att de modeller som används kvantifierar risk på ett tillfredsställande sätt (validering).

BERÄKNING AV FÖRväNTADE KREDITFÖRLUSTER

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och oåterkallliga löften. I detta avsnitt redogörs huvudsakligen för de processer och metoder som tillämpas i Handelsbankens modellbaserade beräkningar av reserver för förväntade kreditförluster (Expected Credit Losses, ECL).

Bedömningar av förväntade kreditförluster utförs på avtalsnivå där avtalets och motpartens egenskaper styr klassificering och kvantifiering av reserveringsbehovet i Steg 1 och Steg 2. Bedömningen baseras antingen på en modellberäkning eller en manuell beräkning där val av metod främst beror på om avtalet anses vara kreditförsämrat.

För redovisning och värdering av förväntade kreditförluster samt definitioner, se not K1 avsnitt 10 Kreditförluster.

Modellbaserade beräkningar

för avtal i Steg 1 och Steg 2

Handelsbankens koncerngemensamma centrala process för modellbaserade beräkningar av förväntade kreditförluster består av ett antal olika processer och metoder som stödjer kvantifiering av reserveringsbehovet i Steg 1 och Steg 2.

I de modellbaserade beräkningarna tas hänsyn till historisk, aktuell och framtidsbaserad data. Historisk data ligger till grund för modell och parameterkonstruktion, aktuell data är rapporteringstillfällens aktuella balanser (som omfattas av beräkningskraven) och framtidsbaserad data är de makroekonomiska scenarier som tillämpas för att beräkna framtida riskparametrar och exponeringar.

Modellerna baseras på samma historiska riskdata som i IRK-modellerna och således utgår redovisningen och kapitalkravsberäkningarna från samma grundläggande förlusthistorik. I likhet med hur riskklassificeringssystemet

påverkar kapitalkravsberäkningarna så utgör den interna ratingen (från vilken riskklassificeringen härleds) en väsentlig del i modellerna för beräkning av förväntade kreditförluster. Beräkningarna påverkas i första hand av riskparametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Den förväntade kreditförlusten i en framtida period erhålls genom att multiplicera nuvärdet av exponeringen vid fallissemang (EAD) med sannolikheten för fallissemang (PD) och med förlustandel vid fallissemang (LGD). Till skillnad från kapitaltäckningsregelverkets kreditförlusterberäkning, som även den använder riskparametrarna PD, EAD och LGD, utgår kreditförlusterskattningen i IFRS 9 från framtidsbaserade aktuella bedömningar. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparametarsättning och konstruktion. För presentation av huvudsakliga skillnader mellan IFRS 9 och IRK, se tabell AR:20 Skillnader mellan IFRS 9 och IRK.

Makroekonomisk information

Beräkningarna avseende modellbaserad bedömning av betydande ökning av kreditrisk och förväntade kreditförluster utförs med modeller för de respektive riskparametrarna (PD, EAD och LGD). För att säkerställa att beräkningarna tar hänsyn till olika-linjära aspekter används tre framtidsbaserade makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett negativt och ett positivt) i modellerna. Respektive scenario inkluderar väsentliga makroekonomiska riskfaktorer som arbetslöshet, BNP, fastighetspriser, styrr-/centralbankräntor och inflation, uppdelade per land. De väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna har identifierats från bankens historik och relationen till riskparametrarna är skattade på samma historiska material. De olika scenarierna används för att justera de aktuella riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario representerar en av banken beslutad sannolikhet. Dessa sannolikhetsfördelningar är i nuläget 70 (70)% för det neutrala scenariet och 15 (15)% för det positiva samt 15 (15)% för det negativa scenariet. Som förväntade kreditförluster redovisas ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för respektive scenario.

Alla makroscenarier tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys som ansvarar för all ekonomisk analys som levereras av Handelsbanken, både för internt och externt bruk. Dessa makroekonomiska scenarier avser regionspecifika 30-åriga prognoser för Sverige, Norge, Finland, Danmark, England, Euroområdet, USA och världen. En förändring i de makroekonomiska scenarierna, eller i de vikter som tillämpas, påverkar både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk och uppskattningen av den förväntade kreditförlusten. Scenarierna uppdateras kvartalsvis av bankens enhet för ekonomisk analys och presenteras för beslutsfattarna innan de tillämpas i ECL-beräkningarna.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Portföljsegmentering

I den modellbaserade bedömningen används statistiska modeller. Dessa är framtagna för olika segment i portföljen där respektive segment avser riskmässigt likartade exponeringar och riskparametrarna kan skattas baserat på en gemensam uppsättning riskfaktorer. För hushållsexponeringar är portföljsegmenteringen baserad på produkttyp och för övriga exponeringar är den baserad på motpartstyp. Segmenten har identifierats genom statistisk analys och expertbedömningar. För hushållsexponeringar finns följande nio portföljsegment; exponeringar med säkerhet i bostadsfastighet för privatpersoner, revolverande krediter inklusive kreditkortsexponeringar för privatpersoner respektive små företag, övriga exponeringar för privatpersoner respektive små företag, kortkrediter avseende säljfinansiering för privatpersoner respektive små företag, samt avbetalningslån avseende säljfinansiering för privatpersoner respektive små företag. För övriga exponeringar finns följande sex segment; fastighetsbolag, bostadsrättsföreningar, övriga stora icke-finansiella företag, övriga icke-finansiella företag, statar, finansiella företag och banker.

Inom respektive portföljsegment klassificeras avtalen ytterligare till så kallade tillståndsklasser baserat på riskfaktorer som intern rating, betalningshistorik, landtillhörighet, säkerhetstyp och betalningsgrad. Tillståndsklasserna är framtagna baserat på statistisk analys av historiska utfall. För varje tillståndsklass används statistiska modeller för migration mellan tillstånden för att beräkna framtidslokande sannolikheter för riskparametrarna PD, LGD och EAD. En viktig riskfaktor för tillståndsklasserna är motpartens interna rating som sätts vid kreditbeslutsfallet och uppdateras minst årligen eller om det finns tecken på att motpartens återbetalningsförmåga har ändrats. Klimatrelaterade och vissa andra miljörelaterade risker bedöms i kreditprocessen och påverkar den interna ratingen på motpartsnivå. Det finns tillståndsklasser för icke-fallerade, fallerade och förtidslösta exponeringar. Exponeringar mot hushåll klassas i nio tillståndsklasser och övriga exponeringar i tolv tillståndsklasser.

Betydande ökning av kreditrisk

Betydande ökning av kreditrisk avspeglar risken för fallissemang och är ett mått som mäter avtalets relativa förändring av kreditrisk sedan första redovisningstillfället. För beräkning av betydande ökning av kreditrisk används inom Handelsbankens samma underliggande modeller som vid beräkning av förväntade kreditförluster och hänsyn tas till historisk, nuvarande och framtidslokande information. I bedömningen beaktas inte säkerheter. Vid varje rapporteringstillfälle inleds den koncerngemensamma centrala modellbaserade processen med att samtliga avtal bedöms med avseende på om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). Denna bedömning avgör sedan huruvida avtalet får en

förväntad kreditförlust beräknad på 12 månaders horisont (Steg 1) eller för avtalets hela återstående löptid (Steg 2). En viktig del som påverkar kreditförlustreservens storlek är således vilka faktorer och trösklar som definieras som utlösande för överföring av tillgångar från Steg 1 till Steg 2. Bankens definition av betydande ökning av kreditrisk som är avgörande för att förflytta avtalen till Steg 2 grundar sig på såväl kvalitativa som kvantitativa faktorer.

Den kvantitativa indikator som i första hand används för att bedöma förändring i kreditrisken är den relativa förändringen mellan instrumentets första redovisningstillfälle och aktuell rapporteringstidpunkt i sannolikheten för fallissemang (PD) under avtalets återstående löptid. I de fall det har krävts orimlig kostnad och ansträngning för att kunna fastslå PD vid ett instruments första redovisningstillfälle, har förändringar i motpartens eller avtalets interna rating eller riskklassificering sedan första redovisningstillfället använts för att bedöma betydande ökning av kreditrisken. För avtal som redovisas för första gången den 1 januari 2018 eller senare baseras prognoserna av fallissemangsriskerna på tre scenarier. För avtal som redovisats före den 1 januari 2018 tillämpas samma kriterier men baseras på ett scenario som utgår från bankens senast publicerade ekonomiska analys vid tidpunkten för det första redovisningstillfället.

Det huvudsakliga kriteriet för att ett avtal bedöms ha fått en betydande ökning av kreditrisk och förflyttas till Steg 2 enligt Handelsbankens definition är att den beräknade återstående fallissemangsrisk (PD) vid rapporteringstillfället är större än 2,5 gånger motsvarande fallissemangsrisk vid första redovisningstillfället. Gränsvärdet om 2,5 är baserat på statistisk analys av bankens historiska data och jämför ökningen i den återstående risken att motparten fallerar relativt motsvarande förväntad risk vid avtalets första redovisningstillfälle. Därutöver finns det andra kvalitativa faktorer som banken bedömt medför en betydande ökning av kreditrisk, till exempel att motparten har betalningar som är mer än 30 dagar försenade eller att motparten har erhållit eftergifter till följd av försämrad kreditvärdighet.

Om det föreligger en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället redovisas en reserv motsvarande förväntade kreditförluster för hela den återstående löptiden och det finansiella instrumentet flyttas till Steg 2. Modellen är symmetrisk, vilket innebär att om det finansiella instrumentets kreditrisk minskar och det därmed inte längre föreligger en betydande försämring i kreditrisk sedan första redovisningstillfället flyttas den finansiella tillgången tillbaka till Steg 1.

Modeller för riskparametrar och förväntad löptid

Riskparametrarna PD, LGD och EAD beräknas för varje avtal och framtida tidpunkt, baserat på statistiska modeller. Dessa modeller bygger så långt som möjligt på de relationer mellan de väsentliga riskfaktorer och relevanta riskutfall som kan identi-

fieras i bankens egen förlusthistorik. De flesta riskparametrar som kvantifieras baseras på cirka tio års intern data. I de fall banken saknar tillräckligt med information, till exempel på grund av få fallissemang, sker komplettering med hjälp av extern information. De historiska utfallen analyseras med avseende på samvariation med avtals-, motparts- och regionspecifika riskfaktorer, som till exempel produkttyp, intern rating, ålder som kund, säkerhetstyp, betalningsgrad, arbetslöshet och BNP-tillväxt. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga för en viss riskparameter inkluderas i modellen och det historiska sambandet kvantifieras.

Sannolikhet för fallissemang (PD)

PD motsvarar sannolikheten för att en kund eller ett avtal kommer att hamna i fallissemang vid en given tidpunkt under den tillgångens återstående löptid. PD för 12 månader motsvarar sannolikheten för fallissemang under de kommande 12 månaderna. PD för återstående löptid motsvarar sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid (maximalt 30 år). Vid rapporteringstillfället prognostiseras framtida PD baserat på framtidslokande makroscenarier och aktuell avtals- och motpartsinformation. Den prognostiserade fallissemangsriskerna tar hänsyn till utvecklingen av scenarier och sannolikheten för migration mellan olika tillståndsklasser över tid. Modellerna beräknar årsvisa migrations- och fallissemangssannolikheter där migrationsmodellen ger sannolikheten att avtalet befinner sig i en given tillståndsklass med en given fallissemangsrisk framåt i tiden. Avtalets förväntade PD för ett givet år beräknas av sannolikhetsvägda PD över alla tänkbara tillståndsklasser och scenarier. Förväntad PD för återstående löptid baseras på de årsvisa förväntade fallissemangsprognoserna och sannolikheten för att avtalet förtidslöses. En försämring av en ekonomisk framtidsutsikt baserad på prognostiserade makroekonomiska riskfaktorer för varje scenario, eller en ökning i att sannolikheten för att det negativa scenariot ska inträffa, resulterar i ett högre PD.

Exponering vid fallissemang (EAD)

EAD avser förväntad kreditexponering vid fallissemangstidpunkten. Vid rapporteringstillfället prognostiseras framtida exponeringar vid fallissemang baserat på nuvarande amorteringsplaner, sannolikhet för förtidslösen och förväntat utnyttjande av exempelvis kreditutrymmen, finansiella garantier och lånelöften. EAD prognostiseras på årsbasis och utgör det belopp på vilket förluster och återvinningar sker vid framtida fallissemang.

Förväntad löptid

Ett instruments förväntade löptid är relevant för både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk, vilken tar hänsyn till förändringar i PD under förväntad återstående löptid, såväl som för värderingen av förväntade kreditförluster för tillgångens förväntade återstående löptid. Den förväntade löptiden beaktas i

K2 Forts

Tabell AR20 Skillnader mellan IFRS 9 och IRK

Riskparameter	IRK	IFRS 9
PD, Sannolikhet för fallissemang	Gesmanligtlig risk för fallissemang inom 12 månader över en konjunkturscykel, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv. Fallissemangsdefinitionen enligt Kapitalkränkningföreskriften tillämpas på avtalsnivå för hushållsexponeringar och på motpartsnivå för övriga exponeringar.	Konjunkturbärande (kortfristig, "point in time") risk för fallissemang inom 12 månader. "Utvärdas PD" avser risken för fallissemang under avtalets förväntade återstående löptid. Fallissemangsdefinitionen enligt Kapitalkränkningföreskriften tillämpas på avtalsnivå för hushållsexponeringar och på motpartsnivå för övriga exponeringar.
LGD, Förlustandel vid fallissemang	Maxvärdet av förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang inom 12 månader på lång sikt och vid en konjunktumsedgång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv. Kvantifiering av förlust för förlustagsexponeringar baseras på återvinningar inom 12 månader samt kvarstående reserver (24 månader för hushållsexponeringar).	Konjunkturbärande förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang. LGD justeras baserat på framtidsbärande makroekonomiska scenarier.
EAD, Exponering vid fallissemang	Maxvärdet av förväntad exponering vid fallissemang inom 12 månader på lång sikt och vid en konjunktumsedgång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv.	Konjunkturbärande förväntad exponering vid fallissemang inom 12 månader. EAD justeras efter avtalsvillkor och framtidsbärande makroekonomiska scenarier.
Löptid	Avtalskontraktuell löptid med beaktande av kundens option på förlängning.	Den förväntade löptiden. Avtalets kontraktuella löptid med beaktande av sannolikhet för förlösösen.
Prognoshorisont	12 månader.	Upp till 12 månader respektive återstående löptid (beroende på Steg 1 eller Steg 2-3).
Diskontering	Prognostiserade förluster diskonteras inte till rapporteringstidpunkten. Vid kvantifiering av återvinningsgrad diskonteras observerade återvinningar till fallissemangstidpunkten med den genomslutliga kostnaden för eget kapital.	Prognostiserade förluster diskonteras till rapporteringstidpunkt med avtalets effektivränta vid första rapporteringstillfället. Vid kvantifiering av återvinningsgrad diskonteras observerade återvinningar till fallissemangstidpunkten med den genomslutliga kostnaden för eget kapital.
Betydande ökning av kreditrisk	Ej tillämpligt.	Baseras på förhållandet mellan aktuell återstående fallissemangsrisk vid aktuellt rapporteringstillfälle samt förväntad aktuell återstående fallissemangsrisk beräknad vid första rapporteringstillfället.
Framtidsbärande scenarier	Ej tillämpligt.	Beräknas av framtidsbärande riskparametrar (PD, LGD, EAD) baseras på ett lokalt basosenario, ett så kallat neutrall scenario och två alternativa lokala makroekonomiska scenarier (allt positivt och ett negativt).
Första rapporteringstillfället	Ej tillämpligt.	Första rapporteringstillfälle för avtalsidentiteten.

beräkningen av återstående PD genom att väga de prognostiserade årliga PD-värdena under avtalets kontraktuella löptid med sannolikheten att avtalet inte förlösöses innan fallissemang inträffar.

Sannolikheten för förlösösen av avtalet baseras på en statistisk analys och på bankens interna historik cirka tio år bakåt och ingår som en komponent i modellen för EAD. I analysen har potentiella riskfaktorer i form av avtals-, motparts- och makroekonomiska riskfaktorer analyserats. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga inkluderas i modellen. I flera fall kan inga väsentliga riskfaktorer för förlösösen identifieras utöver motpartstyp och rating. Dessa riskfaktorer påverkas dock av framtidsbärande makroekonomiska scenarier, vilket indirekt medför att förlösösen är beroende av framtidsbärande makroekonomiska scenarier.

För revolverande krediter utan förfallodag, till exempel kreditkort, och bolån med räntesättningsperiod på högst tre månader tillämpas en 30-årig löptid från rapporteringstillfället, vilket innebär att den förväntade löptiden i praktiken definieras av den beteendebaserade statistiska modellen.

Förlustandel vid fallissemang (LGD)

LGD speglar den ekonomiska förlustandel som banken förväntar sig vid ett fallissemang. De viktigaste riskfaktorerna vid beräkning av LGD

är säkerhetsvärdet, säkerhetstypen och motpartens egenskaper. Framtidsbärande makroekonomiska riskfaktorer återspeglas i LGD-beräkningarna genom deras inverkan på säkerhetsvärdet och belåningsgraden. Kvantifieringen av förlusten delas in i en sannolikhet för att motparten tillfrisknar utan att orsaka banken några ekonomiska förluster, och en återvinningsgrad då motparten inte tillfrisknar. Återvinningsgraden påverkas av belåningsgraden på så sätt att högre belåningsgrader är associerade med lägre återvinningsgrader. Säkerhetens marknadsvärdering ingår i de flesta LGD-modeller. Säkerhetsvärdet för fastigheter, och därmed belåningsgraden och återvinningsgraden, påverkas av prisutvecklingen på fastigheten så att ett förväntat framtida prisfall på fastigheter driver upp belåningsgraden och den förväntade förlustandelen vid fallissemang.

Skillnader mellan IFRS 9 och IRK

Handelsbankens IFRS 9-modeller bygger på samma historiska data och samma övergripande modellansats som bankens IRK-modeller där riskparametrarna PD, LGD och EAD modelleras. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparametersättning och konstruktion och i vissa fall används separata modeller för att uppfylla kraven enligt IFRS 9. De huvudsakliga skillnaderna mellan IFRS 9 och IRK presenteras i tabellen ovan.

Validering av IFRS 9 modeller och modellbaserade beräkningar

Validering av modellerna och av dess ingående riskparametrar utförs årligen och säkerställer att de modellbaserade beräkningarna uppvisar god prognosförmåga och identifierar oväntade avvikelser mellan prognoser och senast tillgängliga utfall. Valideringen sker på flera aggregeringsnivåer och omfattar alla väsentliga riskparametrar samt den sammanvägda beräknade förväntade kreditförlusten på individuell och aggregerad nivå. Valideringen rapporteras till chefen för Group Credits, CRO och CFO.

Principerna för utvärdering och validering av modellerna är fastställda av Group Risk Control och valideringen utförs eller granskas av oberoende part från modellutvecklingen. De iakttagelser som framkom i valideringen 2021 var av metodmässig karaktär, och bedöms inte medföra några väsentliga effekter på de beräknade reserverna som inte redan har beaktats. Iakttagelserna kommer att hanteras i vidareutvecklingen under 2022.

MANUELL BERÄKNING FÖR AVTAL I STEG 3

Tillgångar i Steg 3 prövas för nedskrivning på individuell nivå och beräkningen är manuell (med undantag för mindre portfölj) av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3). Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsan-

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

svärigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av läns- eller landskreditkommitté eller Group Credits.

Nedskrivningsprövning utförs när det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktssenliga åtaganden i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad eller utebliven betalning, ändrad intern rating eller om kredittagaren försätts i konkurs.

I nedskrivningsprövningen uppekattas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas till normalt minst två möjliga framåtblickande scenarier med förväntade kassaflöden baserade både på motpartens återbetalningsförmåga och på säkerheternas värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsviktas och diskonteras med fordrans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den individuella motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningvärdet understiger bokfört värde.

GOVERNANCE OCH INTERN KONTROLL

För att beräkna ECL för avtal i Steg 1 och Steg 2 använder sig Handelsbanken av en koncerngemensam central process med internt utvecklade statistiska modeller (modellbaserad beräkning). För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning. Beskrivningen nedan avser i huvudsak de modellberäknade reserverna för förväntade kreditförluster. Denna process omgärdas av en samling interna kontroller, vilka beskrivs nedan. I processens steg sker också olika godkännandevastställanden, vilket skapar en struktur för governance, och även den beskrivs nedan.

Kontroll av indata vid rapportering

Vid varje rapporteringstillfälle kontrolleras att den information som utgör grunden för beräkningarna av förväntade kreditförluster är korrekt och komplett. Detta sker genom maskinella avstämlingar av inläst data från levererande källor. Vidare görs en rimlighetsbedömning där systembalanser jämförs med föregående rapporteringstillfälles balanser. De balanser som används stäms slutligen av mot huvudboksvolymer.

Modeller

Innan en ny kvantitativ modell tas in i det övergripande modellsystemet genomgår den validering och godkänns för användning av chefen för Group Credits. Vid rapporteringstillfället kan endast detta modellsystem anropas i samband med beräkning, vilket gör att bara godkända modeller kan användas.

I de kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster ingår flera antaganden och bedömningar. Exempel på antaganden är att de

relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser, samt att avtals förväntade löptid kan baseras på historiskt data om beteenden. Huruvida dessa samband påverkas av klimatrelaterade risker bedöms i arbetet med modellerna. Till dags dato har inga sådana faktorer inkluderats specifikt i modellerna men frågeställningen bedöms fortfarande. Vidare görs ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorer som baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorerna väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet. Samtliga antaganden och avvägningar är presenterade för och beslutade av chefen för Group Credits.

Eventuella expertbedömda beräkningar på modellberäknade avtal i Steg 1 och Steg 2 och av manuellt beräknade avtal i Steg 3 tillstyrks av chefen för Group Credits innan de tillämpas.

Makroekonomiska scenarier

De makroekonomiska scenarierna tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys baserat på en instruktion från chefen för Group Credits. I denna instruktion framgår önskade makroekonomiska riskfaktorer, geografiska områden som ska ingå samt antal scenarier och sannolikhetsfördelningen mellan dessa.

Inför varje rapportering presenteras aktuella makroekonomiska scenarier för chefen för Group Credits och CFO, vilka godkänner scenarierna för användning i rapporteringsprocessen. De godkända makroscenarierna läses sedan in automatiskt i rapporteringsförfloppet.

Reserveringsbeloppens storlek

De totala beräknade reserverna i Steg 1 och Steg 2 tillstyrks av chefen för Group Credits och chefen för Group Finance. Beräknade reserver i Steg 3 föreslås av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av läns- eller landskreditkommitté eller central enhet beroende på reservens storlek. Av kreditreserver i Steg 3 som beslutas lokalt eftergranskas/kvalitetsgranskas ett urval av Group Credits. Därutöver utför Group Risk Control vid varje rapporteringstillfälle en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt.

Kontrollfunktionernas roll

Group Risk Control fastställer principer för validering och säkerställer att validering av modeller utförs. Vid varje rapporteringstillfälle genomförs en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt. Group Risk Control beskrivs närmare på sidorna 77 och 82. Group Audit granskar beräkningen av förväntade kreditförluster som ett led i deras uppdrag att självständigt och oberoende granska den interna styrningen och kontrollen samt utvär-

dera tillförlitligheten i koncernens finansiella rapportering. Group Audit beskrivs närmare på sidorna 77 och 82-83.

MOTPARTSRISKER

Motpartsriser uppkommer när banken har ingått derivatkontrakt eller kontrakt för lån av värdepapper med en motpart. Kapitaltäckningsreglerna behandlar således förutom derivat också repor och aktielån som motpartsriser.

Vid beräkningen av såväl kapitalkrav som ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) beaktas motpartsexponeringarna utifrån de exponeringsbelopp som kapitaltäckningsreglerna ställer upp. Handelsbanken tillämpar schablonmetoden för motpartsrisk (SA_CCR) vid beräkning av exponeringsbelopp på derivatkontrakt för kapitaltäckningsändamål. Motpartsrisken är att betrakta som en kreditrisk, där exponeringens storlek styrs av marknadsvärdet på kontraktet. I det fall det finns ett positivt värde på kontraktet betyder ett fallissemang hos motparten en potentiell förlust för banken.

Reducering av motpartsrisk

Motpartsrisk förekommer från affärsdag fram till leverans och innebär att banken kan drabbas av en avvecklingskostnad om motparten inte kan fullfölja sitt åtagande. Denna risk finns i alla derivattransaktioner och i värdepappersaffärer där banken på förhand inte har säkrat betalning.

Storleken på motpartsexponeringarna begränsas genom kreditlimitering i den ordinarie kreditprocessen. Exponeringarnas storlek kan variera kraftigt med anledning av prisförändringar på den underliggande tillgången. För att beakta risken att exponeringen kan öka, görs vid kreditlimiteringen tillägg till värdet på den aktuella exponeringen. Exponeringarna beräknas och följs upp dagligen.

Motpartsrisken i derivat reduceras genom avtal om så kallad close-out netting, det vill säga kvittning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen (Credit Support Annex, CSA), vilket ytterligare reducerar kreditrisken. I huvudsak används kontanter som säkerhet för dessa transaktioner, men även statspapper förekommer. Till följd av den höga andelen kontanter är koncentrationsriskerna i säkerhetsmassan begränsade.

Majoriteten av Handelsbankens avtal innehåller close-out netting och avtalen med de största exponeringarna innehåller även CSA.

Även derivat som clearas via så kallade centrala motparter ger upphov till kapitalkrav. Centrala motparter är clearinghus som går in som motpart till både köpare och säljare i olika transaktioner och som därmed övertar ansvaret för att fullfölja parternas förpliktelser. Alla som använder en central motpart måste lämna säkerheter för alla transaktioner. I de flesta fall är riskvikten för centralt clearade derivat betydligt lägre än för andra typer av derivat.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Tabell ÅR21 Motpartstiek uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsbelopp och riskvägda exponeringsbelopp, intermetoden

Exponeringsbeloppet består av derivat, repor och aktielån.

Motpartstiek uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsbelopp och riskvägda exponeringsbelopp, intermetoden	2021		2020	
	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp
mk				
Exponeringsklasser intermetoden				
Institutexponeringar	9 825	4 618	21 275	5 404
Förstagsexponeringar	16 586	4 612	10 727	3 183
Statsexponeringar	7 084	177	4 306	72
Summa intermetoden	33 585	9 407	36 308	8 659

Tabell ÅR22 Motpartstiek uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsvärden och riskvägda exponeringsbelopp, schablonmetoden

Exponeringsvärdet består av derivat, repor och aktielån.

Motpartstiek uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsvärden och riskvägda exponeringsbelopp, schablonmetoden	2021		2020	
	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp
mk				
Exponeringsklasser schablonmetoden				
Institutexponeringar	3 160	73	6 444	172
varav Centrala motpartar (CCP)	3 105	62	6 210	124
Övriga exponeringar	48	21	63	21
Summa schablonmetoden	3 208	94	6 507	193
Summa inter- och schablonmetoden	36 773	9 501	42 815	8 852

Tabell ÅR23 Motpartstieker i derivatkontrakt exklusive schablonillägg för potentiell framtida exponering

Motpartstieker i derivatkontrakt exklusive schablonillägg för potentiell framtida exponering			
mk		2021	2020
Positivt bruttomarknadsvärde för derivatkontrakt		48 543	55 958
Nettoringvärden		-26 014	-32 860
Aktuell kvittad exponering		22 529	23 098
Säkerheter ¹		-16 637	-14 833
Nettokreditexponering för derivat		5 892	8 255

¹ Inkluderar säkerheter som kvittats med marknadsvärden i balansräkningen.

Tabell ÅR24 Motpartstieker i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering

Motpartstieker i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering 2021					
mk	Aktuell kvittad exponering	Potentiell framtida exponering	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
Statsexponeringar	3 530	1 428	5 028	177	14
Institutexponeringar	3 440	5 153	8 593	4 330	346
Förstagsexponeringar	8 936	8 928	17 034	4 480	358
Övriga	13	11	24	15	1
Summa	15 919	15 660	31 659	8 902	719
varav verksamhet / handelslagrat	13 229	11 187	24 417	6 352	508

Motpartstieker i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering 2020					
mk	Aktuell kvittad exponering	Potentiell framtida exponering	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
Statsexponeringar	1 450	619	2 079	72	6
Institutexponeringar	10 283	14 526	24 879	5 243	419
Förstagsexponeringar	7 444	4 649	12 093	3 192	255
Övriga	2	12	14	9	1
Summa	19 189	19 876	39 065	8 516	681
varav verksamhet / handelslagrat	10 499	8 712	19 204	4 157	333

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

MARKNADSRISK

Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valuta-kursrisker och råvaruprisrisker.

I Handelsbankens verksamhet uppstår marknadsrisker till följd av att bankens kunder efterfrågar tjänster som kräver att banken har en flexibel finansiering. Vidare kan banken finansiera sig på andra marknader än där den har sin utlåning i syfte att diversifiera finansieringskällorna. Finansieringen kan även ha en annan räntebindningstid än de tillgångar som de finansierar. Marknadsrisker kan därtill ha sitt ursprung i Group Treasurys likviditetsportfölj som med kort varsel kan omsättas till likviditet i samband med eventuella störningar på de marknader där banken bedriver sin verksamhet. Portföljen säkerställer koncernens betalningar i den dagliga clearingverksamheten och är en del av bankens likviditetsreserv.

Marknadsrisker uppstår också för att möta kunders efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna. För att möta denna efterfrågan kan det krävas att banken håller ett visst lager. Denna situation uppstår exempelvis när banken har åtagit sig att ställa priser i en så kallad marknad maker-funktion.

Affärsverksamhetens marknadsrisker uppstår och hanteras således huvudsakligen i Group Treasury och i Handelsbanken Capital Markets. Dessutom uppstår även marknadsrisker som en del av Handelsbankens Live verk-

samhet. Marknadsriskerna i Handelsbanken Liv behandlas i ett särskilt avsnitt. De uppgifter som lämnas i detta avsnitt avser således riskerna exklusive Handelsbanken Liv.

MARKNADSRISKSTRATEGI

Handelsbanken har en restriktiv syn på marknadsrisker. Marknadsrisker i bankens affärsverksamhet tas i all väsentlighet endast som ett led i att lösa kunders placering- och riskhanteringsbehov. Marknadsrisker ska begränsas genom att matcha kassaflöden och räntebindningstider, säkra öppna positioner och vidta andra riskbegränsande åtgärder.

Marknadsriskerna i Handelsbanken är mot denna bakgrund mycket låga. En konsekvens av de låga marknadsriskerna är att en låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

ORGANISATION

Bankens limitssystem begränsar hur stor exponeringen mot marknadsrisker får vara. Mätmetoder och limiters fastställs av styrelsen. CFO har det funktionella ansvaret för likviditet och finansiering, under CFO har Head of Group Treasury ansvaret för koncernens likviditet och finansiering. Ansvaret omfattar att hantera koncernens likviditets-, valutakurs- och ränterisker i bankverksamheten. Limiterna för ränte-, valuta- och likviditetsrisk fördelas av CEO och CFO till Head of Group Treasury, som i sin tur fördelar dessa till de affärsdrivande enheterna. Limiten för aktiekursrisk och råvaruprisrisk fördelas av CFO till Capital Markets.

CEO och CFO beslutar även om kompletterande riskmått, intradagslimiten och närmare riktlinjer. De kompletterande limitmåten syftar till att minska bankens känslighet för volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna samt begränsa riskerna i specifika innehav och likviditetsrisken per valuta. Vidare begränsar de kompletterande limitmåten riskerna ur ett löptids-

perspektiv. Marknadsriskerna och utnyttjande av limiterna rapporteras löpande till CFO, CEO och styrelsen.

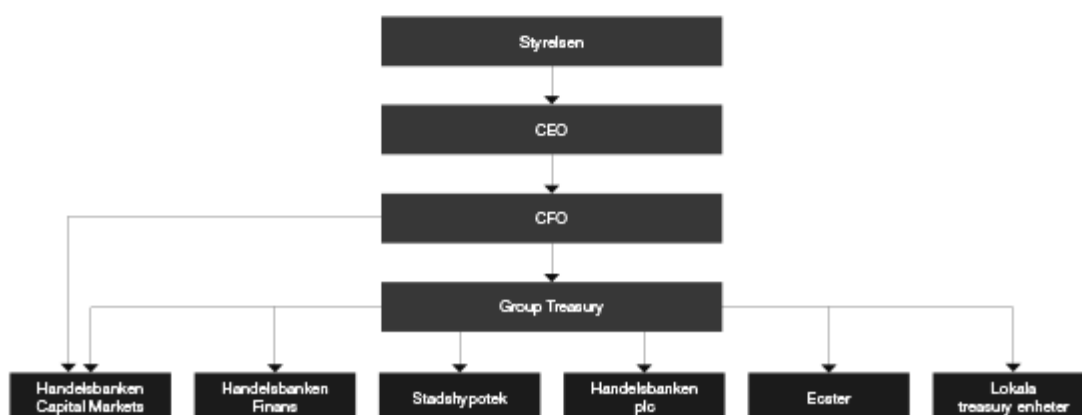
MARKNADSRISKER I HANDELSBANKEN

Marknadsriskerna mäts med flera olika metoder. De känslighetsmått som används visar vilka värdeförändringar som uppstår av fördefinierade förändringar i priser och volatiliteter. Vidare används även positionsrelaterade riskmått och sannolikhetsbaserade Value at Risk-modeller (VaR).

VaR

För de handelslagerklassificerade portföljerna i Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury beräknas Value at Risk (VaR). VaR är ett sannolikhetsbaserat mått och uttrycker i kronor de förluster som kan uppstå i riskpositioner på grund av rörelser i underliggande marknader över en specificerad innehavsperiod och en given konfidenznivå. VaR beräknas med historisk simulering och mäts för enskilda riskfaktorer, riskslag och på portföljnivå med 99% konfidenznivå och en innehavsperiod på en dag. Detta innebär att banken, i förväntan, kommer att göra en förlust som överstiger VaR-uttallet för en av 100 handelsdagar. Modellen medför att olika riskslag kan behandlas på ett enhetligt sätt, vilket möjliggör en jämförelse mellan riskslag och att dessa kan aggregeras till en total marknadsrisk. Den samlade risken i handelslagerklassificerade portföljer var vid årsskiftet 6 mkr (14). VaR redovisas löpande till CFO, CEO och styrelsen. VaR-modellen använder historiskt observerade utfall och fångar därmed inte alla potentiella utfall eller alltid risken vid extrema, snabba, marknadsrörelser. Beräkningarna kompletteras därför med stresstester där portföljerna testas mot scenarier som grundar sig på alla händelser på de finansiella marknaderna sedan 1994. Även resultaten av dessa stresstester redovisas löpande till CFO, CEO och styrelsen.

Figur ÅR:25 Beräknade nivåer för marknads- och likviditetsrisker



K2 Forts

Tabell ÅR:26 VaR för handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury¹VaR för handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury¹

mkr	Totalt		Aktier		Räntor		Värdepapper		Ränteror	
	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020
Genomslut	11	15	1	1	13	17	3	3	1	1
Maximum	26	30	3	3	25	31	8	8	12	3
Minimum	5	5	0	0	4	5	1	1	0	0
Årsskifte	6	14	0	1	5	21	2	2	0	1

¹ Handelslagerklassificerade portföljer omgärdas av särskilda instruktioner och riktlinjer.

Tabell ÅR:27 Värde utfall i stress-test av handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury

Värsta utfall i stress-test av handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury		2021	2020
mkr			
Genomsnitt		99	85
Maximum		369	264
Minimum		36	28
Årsskifte		67	69

Ränterisk

Ränterisken uppstår främst inom Handelsbanken Capital Markets, Group Treasury och i utlåningsverksamheten. Ränterisken mäts på flera sätt inom banken. Generell ränterisk mäts dagligen och limiteras som absolutsumman av de minst gynnsamma förändringarna i verkligt värde per valuta vid momentana parallellskift uppåt eller nedåt på en procentenhet för samtliga räntor. Vid årsskiftet uppgick bankens totala generella ränterisk till 1 392 mkr (1 423). Räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid fastställs med internmetod. Utgångspunkten för sådan inlåning är den kontraktuella räntebindningstiden, där längre räntebindningstid tillämpas för den del som på underlag av observationer kan anses vara såväl stabil som icke räntekänslig. Riskmålet omfattar såväl marknadsvärderade som icke marknadsvärderade räntebärande poster och är därför inte lämpligt för att bedöma resultateffekter på balans- och resultaträkningen. Kompletterande mått och limiter fångar istället detta för respektive affärstyp.

Specifik ränterisk mäts och limiteras med känsligheten för förändringar i kreditspread, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation

med motsvarande löptid. Denna risk uppkommer inom Handelsbanken Capital Markets och i Group Treasurys likviditetsportfölj.

Risken mäts och limiteras utifrån olika rating-kategorier och beräknas som den minst gynnsamma marknadsvärdet förändringen vid en baspunkts förändring uppåt eller nedåt av samtliga kreditspreadar. Detta görs för varje enskild motpart och utfallen absolutsummeras. Total specifik ränterisk uppgick vid årsskiftet till 6 mkr (7).

Hur riskerna utvecklas vid hypotetiska förändringar av olika avkastningskurvor, så kallade kurvvidringsrisker, mäts och följs upp löpande.

Ränterisk i handelslagret

Handelslagret i Handelsbanken utgörs av Capital Markets och Group Treasury's handelslagerklassade portföljer. Den generella ränterisken i handelslagret uppgick till 84 mkr (35) och den specifika ränterisken uppgick till 2 mkr (4). Den icke-inlåna ränterisken, exempelvis en del av risken i ränteooptioner, mäts och limiteras med fördefinierade stressscenarier som uttrycks i matriser. Det innebär att risken mäts som förändringar i underliggande marknadsräntor och volatiliteter. För handelslagret mäts risken även med VaR och andra riskmått som kompletteras med olika stressscenarier.

Ränterisk i övrig verksamhet

Ränterisken uppstår som ett resultat av att utlåningen delvis löper med annan räntebindningstid än finansieringen. Ränterisk hanteras till stor del genom ränteswappar. Generellt gäller att ränterisken i allt väsentligt tas i marknader som kännetecknas av god likviditet. Den generella ränterisken i övrig verksamhet uppgick till 1 391 mkr (1 415) och den specifika ränterisken uppgick till 4 mkr (3).

För att uppskatta effekten av ränteförändringar på resultaträkningen mäts även räntenettoeffekten. Räntenettoeffekten vid ränteförändringar mäts som förändringen av räntenettet över en tolv månadersperiod vid en generell ökning av marknadsräntorna med en procentenhet. Denna effekt speglar de skillnader som finns i räntebindningstider och volym-sammansättning mellan tillgångar, skulder och derivat utanför handelslagret med antagandet att balansräkningens storlek är konstant. I beräkningen fastställs räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid med internmetod. Detta görs på basis av historiska observationer och endast den del som är såväl stabil som inte räntekänslig justeras. Räntenettoeffekten uppgick vid årsskiftet till 1 359 mkr (1 091).

Tabell ÅR:28 Generell ränterisk i övrig verksamhet

Generell ränterisk i övrig verksamhet (förändring i verkligt värde vid värsta utfallet av parallellskift av samtliga räntor med en procentenhet)			
mkr		2021	2020
SEK		482	275
DKK		133	264
EUR		188	163
NOK		70	223
USD		281	95
GBP		231	388
Övriga valutor		6	6
Summa		1 391	1 415

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Tabell ÅR31 Aktieexponeringar utanför handelslagret

Aktieexponeringar utanför handelslagret mkr	2021	2020
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat	454	800
varav Nivå 1 och 2	300	286
varav Nivå 3	154	514
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat	454	800
varav näringsbetingade	254	645
varav övrigt innehav	200	155
Verdighetsändringar vid årets ingång	140	712
Realiserad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	60	155
Realiserat till följd av försäljningar och avvecklingar under perioden	-1	-727
Verdighetsändringar vid årets utgång	199	140
Inbegripet i supplementärt kapital	0	0

Valutakursrisk

Då banken har verksamhet i ett antal länder utanför Sverige uppkommer en valutaexponering av strukturell natur då koncernens räkenskaper är uttryckta i svenska kronor. Denna strukturella risk hanteras genom en avvägning mellan att antingen reducera valutakursförändringars påverkan på kapitalrelationerna eller eget kapital. Styrelsen har fastställt den maximala påverkan på eget kapital som den strukturella valutapositionen får ge upphov till i säkringen av kärnprimärkapitalrelationen. De övriga valutakursförändringar som påverkar bankens

egna kapital framgår av tabellen Förändring i eget kapital Koncernen på sidan 96.

Bankens direkta valutakursexponering uppstår till följd av kunddriven intradaghandel på de internationella valutamarknaderna. Handelsn bedrivs inom Handelsbanken Capital Markets. För denna valutakursrisk har styrelsen, CEO och CFO fastställt VaR-limiter.

En viss valutaexponering uppstår även i den vanliga bankverksamheten som ett led i hantering av kundflöden och inom finansieringsverksamheten i Group Treasury. För dessa risker har styrelsen, CEO och CFO fastställt positionslimi-

ter. Vid årsskiftet uppgick den aggregerade nettopositionen till 344 mkr (393), exklusive strukturella valutapositioner.

Denna valutakursrisk är inte beroende av trendutvecklingen av en enskild valuta eller grupp av valutor, då positionerna är mycket korta och uppkommer i hanteringen av kunddrivna flöden. Den samlade valutakursrisken i handelslagret och övrig verksamhet var 13 mkr (18), mätt som en påverkan på banken vid en momentan förändring av den svenska kronan med 5%.

Tabell ÅR32 Valutakänslighet

Valutakänslighet (väntat utfall +/-5% förändring av SEK mot respektive valuta) mkr	2021	2020
EUR	3	6
NOK	8	3
DKK	0	4
USD	0	0
GBP	5	4
Övriga valutor	5	2

Råvaruprisrisk

Handeln med råvaror bedrivs uteslutande inom Handelsbanken Capital Markets. Exponering i råvarurelaterade instrument uppkommer endast till följd av kunddriven handel på de internationella råvarumarknaderna. Råvaruprisrisk, såväl linjär som icke-linjär, mäts som absolutsumman av risken för alla råvaror där banken har exponering. Råvaruprisrisken var vid årsskiftet 1 mkr (2), mätt som den maximala förlusten vid prisförändringar upp till 20% i underliggande råvaror och volatilitetsförändringar upp till 35%. Vid årsskiftet uppgick VaR för råvaruprisrisk till 0 miljon kronor (1).

Övriga marknadsriskar

Marknadsrisk uppkommer även inom bankens pensionssystem (pensionsrisk). Risken består av risken för värdeförändringar på pensionstillgångarna som tryggar bankens pensionsåtaganden, samt av förändringar i diskonteringsräntor.

Värdering till verkligt värde

Risikkontrollfunktionen kontrollerar att koncernens finansiella instrument värderas korrekt. Detta inbegriper ansvaret för att kontrollera de marknadsdata värderingen grundar sig på och att denna kontroll sker oberoende av risktagarna. Källor för marknadsdata är oberoende från affärsverksamheten. I de fall där marknadsdata erhållits från affärsverksamheten sker dokumenterade kontroller av rimlighet och mot externa källor. Verifiering av marknadspriser och marknadsdata till modeller ska ske åtminstone varje månad men sker i allväsentlighet även dagligen. Värderingsmodeller valideras av riskkontrollfunktionen som är oberoende av den som utvecklat modellen. Värderingskommittén, vars syfte är att samordna värderingsfrågor i Handelsbankenkoncernen, fyller en viktig funktion för att säkerställa, och verka för, att värderingen är korrekt och följer gällande marknadspraxis.

Värderingen av finansiella instrument som värderas till verkligt värde sker enligt IFRS 13.

Se not K41 för närmare information om de tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde samt för ytterligare information om bankens värderingsprocess.

Försiktig värdering

I enlighet med artikel 105 i CRR ska banken beräkna ytterligare värdejusteringar för syftet lagstiftningsjusteringar av kapitalbasen. Artikel 34 utvidgar omfånget från att endast inbegripa handelslagret till att omfatta samtliga positioner som redovisas till verkligt värde. Kraven och metoden för dessa ytterligare värdejusteringar har därefter förtydligats i Europeiska kommissionens delegerade förordning (EU) 2016/101 avseende den tekniska standarden i enlighet med artikel 105 (14). Handelsbanken använder sig av den huvudmetod som definieras i den tekniska standarden för att beräkna ytterligare värdejusteringar för samtliga positioner som redovisas till verkligt värde.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

FINANSIERING OCH LIKVIDITETSRISK

Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.

FINANSIERINGSSTRATEGI

Handelsbanken har låg tolerans för likviditetsrisker, såväl totalt sett såsom i enskilda valutor. Ambitionen är att ha god tillgång till likviditet, låg resultatvariation och stor kapacitet att även i svåra tider kunna tillgodose kundernas finansieringsbehov. Det sker genom att upprätthålla god matchning av ingående och utgående kassaföden över tid i alla för banken väsentliga valutor och genom att upprätthålla stora likviditetsreserver av god kvalitet. Banken minimerar på det sättet de ekonomiska riskerna i finansieringen och kan därmed upprätthålla stabil och långsiktig finansiering till de affärsdrivande enheterna.

Vidare eftersträvas en bredd i finansieringsprogrammen och deras användning. Därigenom säkerställs att banken kan bedriva sin kärnverksamhet intakt under en lång period även om de finansiella marknaderna skulle ha omfattande störningar.

Resultatet av detta arbete är en väl matchad balansräkning där likvida tillgångar finansieras

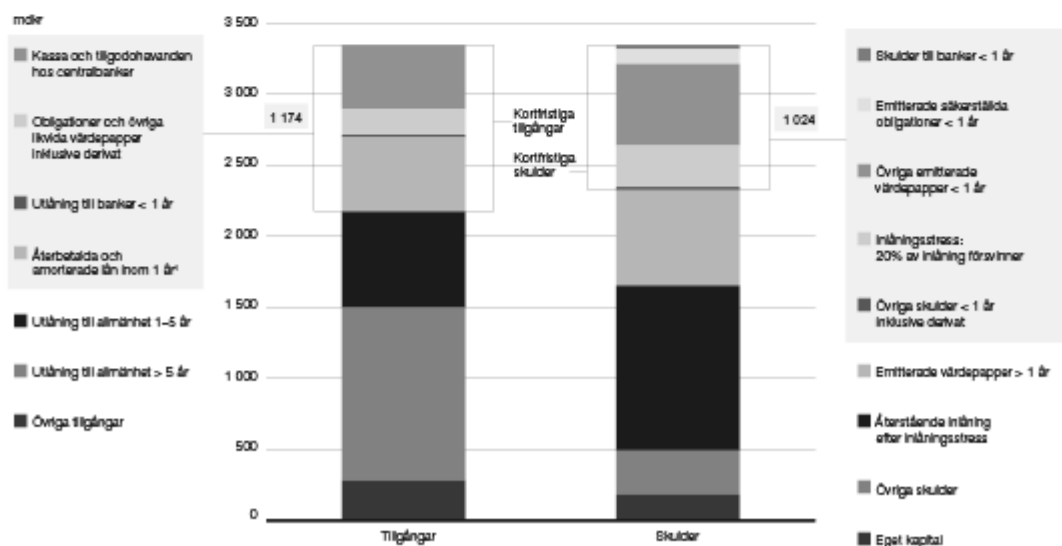
med stabil finansiering. De likvida tillgångarna utgörs av krediter till hushåll och företag. Dessa krediter utgör bankens kärnverksamhet. Den långsiktiga stabila finansieringen av dessa tillgångar utgörs av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek, seniora obligationer emitterade av Handelsbanken, inlåning från hushåll och viss inlåning från företag, efterställda skulder och eget kapital. En del av kärnverksamheten utgörs av utlåning till hushåll och företag på kortare köptider, och på skuldsidan är en del av inlåningen för dessa kunder av mer kortfristig natur.

En balansräkning är en ögonblicksbild av tillgångar och skulder. För att säkerställa bankens åtaganden gentemot kunder och investerare är det viktigt med ett framtblickande perspektiv i finansierings- och likviditetsriskhanteringen. Balansräkningen är därför strukturerad så att den reala ekonomins aktörer i form av företag och hushåll och deras behov av krediter kan understödjas även under en långvarig stress på de finansiella marknaderna. De kortfristiga skulderna täcks med god marginal av de kortfristiga tillgångarna. I figur ÅR:33 beskrivs balansräkningen i ett stressat scenario där 20% av inlåningen antas försvinna inom ett år och all tillgång till ny marknadsfinansiering försvinner. Trots stressen beräknas korta tillgångar vid årets slut väsentligt överstiga korta skulder. Effekten av en långvarig kris skulle bli en krympt balansräkning med bibehållen kärnverksamhet där volymen korta tillgångar successivt används för att återbeta förfallande korta skulder. Skulle en kris bli än mer allvarig finns det likviditetskapande åtgärder förberedda för att stödja verksamheten ytterligare.

Handelsbankens förtroende på marknaden är högt och marknaden bedömer att Handelsbankens kreditrisk är låg. Detta illustreras bland annat av att kostnaden för att försäkra en kreditrisk på banken, den så kallade CDS-spreaden, är fortsatt en av de lägsta bland europeiska banker, och Handelsbanken har låga finansieringskostnader sett generellt till konkurrerande banker. Handelsbanken har en fortsatt hög rating hos de externa ratinginstituten och är en av de högst ratede bankerna globalt utifrån samtliga jämförbara banker.

Ett viktigt inslag i finansieringsstrategin är att ha en god spridning mellan olika typer av finansieringskällor i olika marknader, valutor och typer av upplåningsinstrument. På så vis reduceras betydelsen av enskilda marknader eller finansieringskällor. Banken har en geografiskt väldiversifierad långfristig utlandsfinansiering och har emitterat betydande volymer av obligationer i bland annat amerikanska dollar, euro, brittiska pund, australiska dollar och japanska yen. De viktigaste finansieringskällorna är inlåning från hushåll och företag samt säkerställda och seniora obligationer. Den korta finansieringen utgörs primärt av inlåning från finansiella företag och institutioner samt emissioner av bankcertifikat (CP) och inlåningsbevis (CD). Group Treasury förfogar över ett antal olika finansieringsprogram för marknadsfinansiering. Under dessa program emitteras obligationer, inlåningsbevis och bankcertifikat såväl i bankens namn som för Stadshypotek och Handelsbanken plc. Finansieringsprogrammen säkerställer en väl diversifierad tillgång till finansiering med avseende på olika valutor, antal investerare, skuldtyper och geografisk spridning.

Figur ÅR:33 Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv

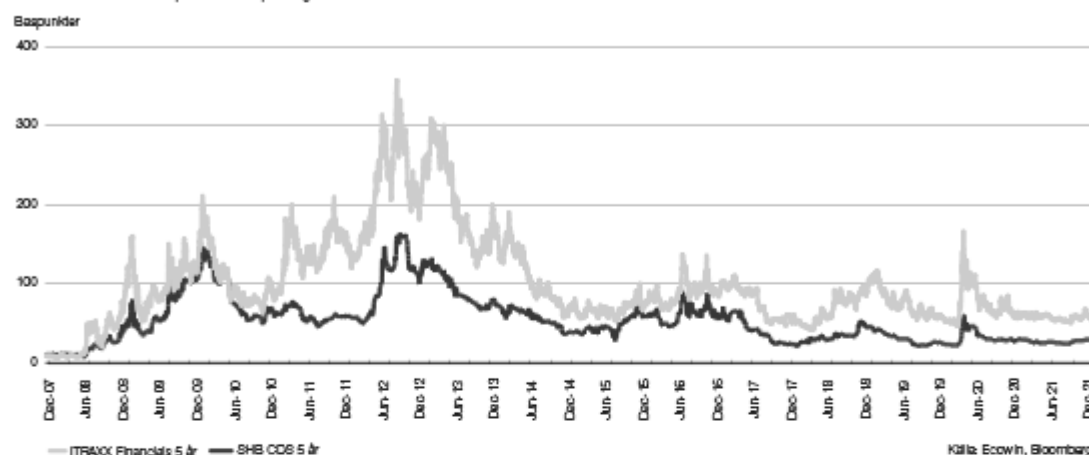


* Enligt amorteringsplaner, kontraktuella förfall och ytterligare återbetalningar av lån enligt prognos.

K2 Forts

Figur AR:34 Handelsbankens 5-åriga CDS-spread jämfört med ITRAXX Financiale

ITRAXX Financials är ett index över CDS-spreadarna för de 25 största obligationsämlingarna inom bank- och försäkringssektorn i Europa och beskriver den genomsnittliga premien som investerare kräver för att acceptera kreditrisk på bolagen.



Källa: Ecowin, Bloomberg

ORGANISATION

Handelsbanken har en decentraliserad affärsmodell, men all finansiering och likviditetshantering i koncernen är centraliserad till Group Treasury. Finansierings- och likviditetshanteringen styrs av policyer fastställda av styrelsen som också beslutar om limit. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av CEO och Instruktioner från CFO. Instruktionerna fastställer bland annat limit, finansierings sammansättning och riktvärden i samband med störningar på finansieringsmarknaderna. Vidare kanaliseras alla likviditetslimit ut i verksamheten via Group Treasury.

Group Treasury ansvarar också för bankens likviditetsreserv. Inklusiva de pantar som måste hållas i olika betalnings- och clearingssystem och övervakar likviditetsflödena under dagen för att säkerställa att banken har tillräckligt med säkerheter i betalningssystemen för att fullfölja bankens betalningsförpliktelser. Bankens likviditetsövervakning sker lokalt nära affärerna och kompletteras med en central hantering av pantar och likviditetsreserv för hela gruppen.

Storleken på pantar i clearingssystemen sätts utifrån den omfattning som banken bedömer behövs för bankens åtagande både vid normala och vid stressade förhållanden. Vid förändringar av dessa förhållanden justeras storleken av pantar och likviditet, och vid krisituationer kan

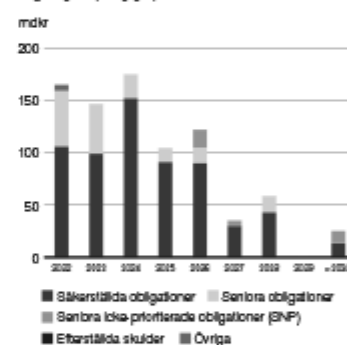
också pantar omfördelas och likviditetsreserven aktiveras. Bankens säkerställer likviditeten på bankens nostrokonton för förväntade betalnings- och avvecklingsåtaganden genom aktiv likviditetsplanering och övervakning i samtliga valutor.

MARKNADSFINANSIERING – SAMMANSÄTTNING

Handelsbanken har under året emitterat totalt 193 mdkr (355) i långfristig marknadsfinansiering fördelat över för banken viktiga valutor. En viktig komponent i den långfristiga marknadsfinansieringen är emissioner av säkerställda obligationer. Valutafördelning över den utestående stocken visas nedan i Figur AR:36. Kortfristig upplåning sker företrädesvis genom emissioner av bankkortfikat och inlåningsbevis under de olika låneprogrammen, främst i Europa och USA. Dessa låneprogram kompletteras av tidsbestämd inlåning från stora företag, finansiella såväl som icke-finansiella. I anslutning till finansieringsverksamheten har banken fortsatt att möta investerare i samma omfattning som tidigare, uppdaterat upplåningsprogram och även i övrigt bibehållit förutsättningarna för en obligationsupplåning på relevanta upplåningsmarknader världen över. Detta har möjliggjort att finansieringsverksamheten kunnat genomföras som normalt under året.

Figur AR:35 Långfristig marknadsfinansiering – förfallostruktur

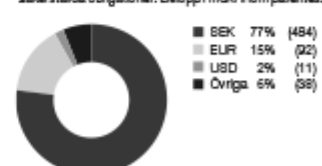
Avser emitterade värdepapper per 2021-12-31 med en långfristig* ursprunglig löptid.



* Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

Figur AR:36 Marknadsfinansiering säkerställda obligationer per valuta 2021

Avser fördelningen av valutor 2021-12-31 för emitterade säkerställda obligationer. Belopp i mdkr inom parentes.



Figur AR:37 Kortfristig marknadsfinansiering per valuta 2021

Avser fördelningen av valutor 2021-12-31 för emitterade värdepapper med en kortfristig* ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parentes.



* Kortfristig löptid motsvarar en löptid understigande ett år och en månad.

Figur AR:38 Långfristig marknadsfinansiering per valuta 2021

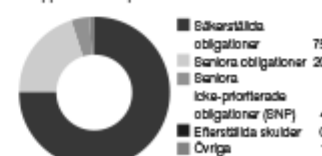
Avser fördelningen av valutor 2021-12-31 för emitterade värdepapper med en långfristig* ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parentes.



* Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

Figur AR:39 Långfristig marknadsfinansiering per instrument 2021

Avser fördelning per instrument 2021-12-31 för emitterade värdepapper med en långfristig* ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parentes.



* Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

PANTSATTA TILLGÅNGAR OCH SÄKERHETSPOOLER

Ytterligare ett viktigt led i Handelsbankens likviditetshantering är att hålla betydande volymer av utnyttjade säkerheter som kan användas vid störmått på finansmarknaderna. En förutsättning för att kunna ställa mer säkerheter är att banken förlorar över utnyttjade säkerheter i utgångsläget. Banken upprätthåller därför betydande volymer av icke-pantsatta tillgångar som skulle kunna användas som säkerhet vid emission av säkerställda obligationer och likvida värdepapper med mycket hög kreditvärdighet.

Banken är restriktiv med att ingå avtal med andra än kreditinstitut, till exempel CSA-avtal, som stipulerar att banken under vissa kriterier kan tvingas att ställa säkerheter till en motpart. Ställda kontantsäkerheter enligt CSA-avtal för utestående derivat uppgick till 3 077 mkr (17 049). För mer information om bankens intecknade tillgångar, se Faktaboken som återfinns på handelsbanken.com/irsv, tabell Ställda säkerheter. Utöver att säkerställa bankens likviditet bidrar det restriktiva arbetssättet till att begränsa vilken utsträckning bankens seniora

långvarare blir efterställda de långvarare som investerar i säkerställda obligationer, så kallad subordinationering.

För att bedöma graden av subordinationering mellan investerare av icke-säkerställd finansiering och säkerställd finansiering är det volymen och kreditkvaliteten på de icke-pantsatta tillgångarna som är relevant. Handelsbankens restriktiva syn på risktagande gör att de icke-pantsatta tillgångarna har en hög kvalitet. Eftersom Handelsbanken vill ha en balanserad användning av säkerställda och seniora obligationer finns en betydande volym hypotekslån som inte är pantsatta. Övriga icke-pantsatta lån har också en låg risk mått till exempel i termer av bankens interna rating.

Tabell ÅR:40 visar att volymen icke-pantsatta tillgångar för Handelsbanken utgör 268% (269) av den utestående volymen icke-säkerställd upplåning.

Den helt dominerande delen av de pantsatta tillgångarna utgörs av Stadshypoteks cover pooler, vilka består av hypotekslån som ställs som säkerhet för utestående säkerställda obligationer. Dessutom har banken ett frivilligt så kallat OC (over-collateralisation), det vill säga

extra tillgångar utöver de som behövs för att täcka de emitterade obligationerna och utöver de 2% som lagstiftningen kräver, på 8% som ingår i poolen. Dessa extra tillgångar finns i poolen i händelse av att värdet på hypotekslånen skulle sjunka till en sådan nivå att ytterligare tillgångar behövs för att matcha volymen utestående obligationer.

Vid en bedömning av risken för att ytterligare tillgångar blir nödvändiga att skjuta till, är belåningsgraden på hypotekslånen i tillgångspoolen central. Ju lägre belåningsgrad, desto mindre risk för att ytterligare hypotekslån krävs i poolen vid prisfall på fastighetsmarknaden. Handelsbankens genomsnittliga volymviktade belåningsgrad, LTV-max, uppgick i den svenska poolen till 49,4% (52,4), i den norska poolen till 50,0% (53,4) och i den finska poolen till 49,8% (49,5). Detta visar att banken klarar betydande prisfall på underliggande fastighetstillgångar innan ytterligare hypotekslån måste tillföras poolerna. De tillgångar som banken valt att hålla utanför cover poolerna återfinns i tabell ÅR:40 och kan användas för emissioner av säkerställda obligationer om så skulle vara nödvändigt.

Tabell ÅR:40 Tillgångar som ej är intecknade/pantsatta

Tillgångar som ej är inlösknade/pantsatta	2021		2020	
	Ackumulerad andel av icke säkerställd upplåning, % ²		Ackumulerad andel av icke säkerställd upplåning, % ²	
mkr	IPT (NEA) ¹		IPT (NEA) ¹	
Kontanter samt behållning hos centralbanken	430	80	418	81
Likvida obligationer i likviditetsportföljen ³	157	88	145	69
Utlåning till hushåll inklusive derivat	558		558	
varav hypotekslån	406	114	390	117
varav utlåning med säkerhet i fastighet	4	114	4	118
varav övrig hushållsutlåning	158	136	164	138
Utlåning till företag inklusive derivat	1 103		1 040	
varav hypotekslån	386	180	375	184
varav utlåning till bostadsrättsföreningar och hypotekslån	58	186	57	191
varav utlåning till fastighetsbolag och hypotekslån				
- riskklass 1–3	298	220	261	223
- riskklass 4–5	140	237	152	242
- varav riskklass > 5	9	238	7	243
varav övrig företagsutlåning				
- riskklass 1–3	122	252	108	256
- riskklass 4–5	73	260	66	264
- riskklass > 5	8	261	14	266
Utlåning till kreditinstitut inklusive derivat	29		11	
- riskklass 1–3	28	264	10	267
- riskklass > 3	1	264	1	267
Övrig utlåning	36	268	17	269
Övriga tillgångar	0	268	0	269
Summa	2 362	268	2 180	269
Pantsatta tillgångar utan underliggande skuld ⁴	85		82	
Pantsatta tillgångar med underliggande skuld	920		884	
Summa tillgångar, koncernen	3 347		3 136	

¹ IPT: icke-intecknade/pantsatta tillgångar. NEA: Non encumbered assets.

² Emittent kort och lång icke-säkerställd upplåning samt skulder till kreditinstitut.

³ Avser i centralbank pantsättningsbart värde.

⁴ Överpantsättning i Cover pool (OC) och medel av satta för Operational Continuity In Resolution krav i UK (from 2021).

K2 Forts

Tabell AR41 Cover pool-data

Cover pool-data	Sverige		Norge		Finland	
	2021	2020	2021	2020	2021	2020
Stadshypotek summa utlåning, allmänheten	1 301 712	1 239 819	115 928	97 359	57 849	53 749
Tillgängliga tillgångar för cover pool	1 205 881	1 148 999	110 019	91 675	55 515	50 629
lanspråkta tillgångar i cover pool	617 417	606 455	56 746	37 822	18 048	17 673
Pålyddssäkerheter, spämat konto	5 000	5 000	-	-	-	-
Max-betalningsgrad %, vägt genomsnitt enligt ASCB:s definition ¹	40,38	52,43	50,08	53,42	49,77	49,52
Betalningsgrad, fördelning						
0-10%	24,6	28,1	27,1	24,3	27,4	27,6
10-20%	21,7	20,6	20,9	20,2	23,7	23,6
20-30%	18,5	17,8	16,3	16,2	19,9	19,8
30-40%	14,6	14,7	13,5	13,8	12,5	12,7
40-50%	10,2	11,1	10,3	11,2	8,4	8,4
50-60%	6,1	7,4	7,1	8,3	5,1	5,0
60-70%	3,3	4,3	3,8	5,0	2,4	2,3
70-75%	0,9	1,2	1,0	1,1	0,6	0,6
Lånestorlek, vägt genomsnitt, kronor	717 800	680 300	4 443 666	3 950 523	1 197 739	1 116 604
Lånelivslängd, vägt genomsnitt, antal månader ²	71	69	28	26	61	61
Räntebindningstider, fördelning						
Rörlig ränta, %	36,0	39,7	96,7	97,7	100,0	100,0
Bunden ränta, %	64,0	60,3	3,3	2,3	0,0	0,0

¹ Association of Swedish Covered Bond Issuers.² Beräknat från lånets betalingsdatum.

LIKVIDITETSRISK

Banken hanterar en stor mängd in- och utgående kassaflöden i sin verksamhet. För att begränsa risken i likviditetshanteringen har banken ett robust risktoleransramverk med både limiter och kvalitativt uttryckta målsättningar för likviditetsrisk. Group Risk Control ansvarar för riskmätningen och rapporterar riskutryttningsdagligen till CFO, veckovis till CEO och löpande till styrelsen.

Likviditetsplaneringen bygger på en analys av kassaflöden för respektive valuta. Generellt gäller att exponeringen till låts vara större i valutor med hög likviditet än i valutor där likviditeten är låg. Finansieringsstrategin bygger på att likvida tillgångar finansieras med stabil långsiktig upplåning och att en positiv likviditetsposition (kassaflöde tillsammans med likvida tillgångar) ska upprätthållas även under stressade förhållanden. Denna gapanalys kompletteras även med scenarion där effekten på likviditeten stressas ytterligare och analyseras under olika antaganden.

Styrningen av bankens likviditetssituation baseras därför på stressstester vilka utförs på såväl aggregerad nivå som enskilt i de för banken väsentliga valutorna. Stressstema säkerställer att banken har tillräcklig likviditet i både det korta och långa perspektivet givet olika stressade scenarier och likviditetsskapande åtgärder, som reflekterar bankens återhämtningsplan. Stressstema utförs med såväl marknadsvärd som idiosynkratisk stress på en regelbunden basis samt ad hoc. De kompletteras även med scenarioanalyser som tar kraftiga bostadsprisfall i beaktande. I stressstema antas att banken inte har tillgång till marknadsfinansiering samtidigt som delar av inlåningen

från hushåll och företag successivt försvinner under den första månaden. Vidare antas att banken fortsätter att bedriva sin kärnverksamhet genom att utlåningen till hushåll och företag förlängs vid förfall och att kunderna delvis nyttjar utställda löften och kreditfaciliteter.

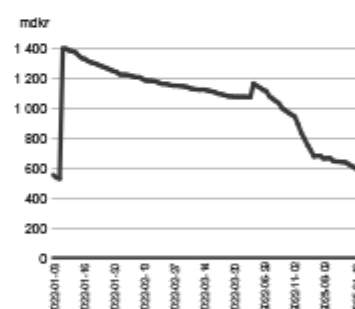
Stressstema utgår från att likviditetsreservens kassatillgångar används och att värdepapper omedelbart kan ge likviditet genom betalning, i första hand via marknaden och som sista utväg i centralbanker.

Därutöver kan banken skapa likviditet genom att nyttja emissionsutrymme av säkerställda obligationer samt aktivera övriga likviditetsskapande åtgärder för att successivt ge likviditet till banken. Volymen och kvaliteten på outnyttjade säkerheter ska vara sådan att de vid en krisituation kan ge banken den likviditet som är nödvändig. Under dessa förutsättningar är banken likvid i mer än tre år. Bankens motståndskraft mot motståndskraft mot omfattande och långvarig stress.

En förutsättning för att banken ska kunna upprätthålla en stor motståndskraft mot störningar på de finansiella marknaderna är en välmatchad balansräkning. Figur AR:33 Balansräkningens sammansättning ur ett köptidsperspektiv visar att volymen kortfristiga tillgångar väsentligen överstiger volymen kortfristiga skulder i ett stressat scenario där 20% av inlåningen antas försvinna inom ett år.

I tabell AR:45 Förtälningsanalys för finansiella tillgångar och skulder redovisas kassaflöden för de kontrakterade betalningsåtaganden inklusive ränteflöden som ska erläggas senast inom de angivna tidsintervallen. I tabellen redovisas innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper i det tidsintervall i vilket de kan

Figur AR:42 Stressat av likviditeten inklusive likviditetsskapande åtgärder – ackumulerad likviditetsposition



NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

omsätts till likviditet vid en eventuell betalning eller försäljning. Vidare redovisas tillgångar, skulder och ränteflöden som förfaller i de tidsintervall som motsvarar kontraktensliga förfallodatum. Ränteflöden för utlåning i hypotekssamheten matchas tidsmässigt med de skulder som finansierat utlåningen. Finansiella garantier, lånelöften och outnyttjade räkningskrediter redovisas i sin helhet i tidsintervallet upp till 30 dagar. Totalt utestående belopp för dessa åtaganden representerar inte nödvändigtvis framtida finansieringsbehov. För derivatinstrument redovisas kassaflöden netto för ränteswappar och brutto för instrument för vilka bruttokassaflöden erläggs respektive erhålls, som exempelvis valutaswappar.

Likviditetstäckningskvoten LCR (Liquidity Coverage Ratio) är genom Europeiska kommissionens delegerade förordning ett bindande krav för banker inom EU. Måttet uttrycker kvoten mellan bankens likviditetsbuffert och

nettokassaflöden i ett mycket stressat scenario under en 30-dagarsperiod. Kravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100%. Finansinspektionen ställer även krav på LCR i enskilda valutor inom ramen för översyn och utvärderingsprocessen i Pelare 2. Vid årsskiftet uppgick koncernens aggregerade LCR till 152% (150), vilket visar att banken har stor motståndskraft mot kortaktiga störningar på finansieringsmarknaden.

Minimikravet för det strukturella likviditetsmålet Net Stable Funding Ratio (NSFR), relationen mellan tillgänglig stabil finansiering och behovet av stabil finansiering, trädde i kraft inom EU per den 28 juni 2021 och innebär att banken ska ha tillräcklig stabil finansiering för att täcka sina finansieringsbehov över en längre tidsperiod, under både normala och stressade förhållanden. Minimikravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100%. Vid utgången av 2021 uppgick NSFR till 114% (117) på koncernnivå.

PRISÄTTNING AV LIKVIDITETSRISK

En viktig del av likviditetsriskhanteringen är att inlåning och utlåning internt prissätts med hänsyn till de likviditetsrisker de ger upphov till. När banken tillhandahåller ett lån med lång löptid skapas ett behov av att införskaffa ytterligare långfristig finansiering, vilket normalt är dyrare än kortfristig finansiering. Detta är till följd av att investeraren som köper bankens långfristiga obligationer normalt kräver en högre kompensations för löptiden. Detta beaktas i bankens interna prissättning, vilket sker genom att det pris som interna enheter i banken får betala för den finansiering de erhåller från Group Treasury tar hänsyn till, bland annat, löptiden. Den interna prissättningen är viktig för att skapa rätt incitament och undvika att ett osunt risktagande uppstår. Banken har under lång tid arbetat med löptidsbaserade internt räntor som säkerställer att priset på kontraktensnivå tar höjd för den likviditetsrisk avtalet gett upphov till.

Tabell ÅR:43 Liquidity coverage ratio (LCR) – delkomponenter

Liquidity coverage ratio (LCR) – delkomponenter mil	31 dec 2021	31 dec 2020
Högvalfartiva likviditetstillgångar	692 122	859 278
Kassaflöden	431 300	413 024
Inlåning från allmänheten och småföretag	66 550	61 299
Oskädd kapitalmarknadsfinansiering	289 879	273 375
Säkrad kapitalmarknadsfinansiering	11 305	5 245
Övriga kassaflöden	63 566	73 105
Kassaflöden	41 840	41 027
Inföden från fullt prissat exponeringar	22 375	27 536
Övriga kassaflöden	19 474	13 491
Liquidity coverage ratio (LCR), %	152%	150%

Delkomponenterna definieras i enlighet med Kommissionens delegerade förordning (EU) 2015/61.

Tabell ÅR:44 Net stable funding ratio (NSFR) – delkomponenter

Net stable funding ratio (NSFR) – delkomponenter mil	31 dec 2021	31 dec 2020
Tillgänglig stabil finansiering	2 026 413	1 020 800
Kapitalposter och kapitalinstrument	202 877	194 185
Inlåning från allmänheten	704 382	640 122
Kapitalmarknadsfinansiering	1 113 915	1 053 599
Övriga skulder	5 239	13 993
Behov av stabil finansiering	1 774 842	1 644 883
Summa av högvalfartiva likviditetstillgångar	7 927	19 917
Tillgångar som är inlånade för en återstående löptid på ett år eller mer i en säkerhetsmassa	440 323	397 205
Iska nödlidande lån och värdepapper	1 223 354	1 177 109
Övriga tillgångar	69 258	27 335
Poster utanför balansräkningen	24 680	23 117
Net stable funding ratio (NSFR), %	114%	117%

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Tabell AR45 Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder

För inlämningsvolymerna avser kolumn "Opspecificerad löptid" inlämning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller ränteflöden vilket innebär att balansraderna inte är avräkningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan ränteflöden inkluderas i löptidstabeller i valuta årligen i Faktaboken på handelsbanken.com/inv.

Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder 2021 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Opspecificerad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	439 983	-	-	-	-	-	-	439 983
Betalningsbara statskultförbindelser ¹	100 563	-	-	-	-	-	-	100 563
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	33 333	-	-	-	-	-	-	33 333
Utlåning till kreditinstitut	19 246	176	200	615	1 497	2 371	-	24 105
varav omvända repor	12 126	-	-	-	-	-	-	12 126
Utlåning till allmänheten	52 107	274 819	218 002	252 736	469 331	1 236 095	-	2 503 090
varav omvända repor	13 648	-	-	-	-	-	-	13 648
Övrigt	22 701	-	-	-	-	-	315 940	338 641
varav aktier och andelar	19 934	-	-	-	-	-	-	19 934
varav fordringar på fondkrediter	2 767	-	-	-	-	-	-	2 767
Summa tillgångar	667 933	274 995	218 202	269 351	470 828	1 238 466	315 940	3 430 715
Skulder till kreditinstitut	34 370	36 257	4 077	1 276	359	1 176	6 541	84 056
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	0
varav inlåning från centralbanker	21 832	29 676	-	-	-	-	344	50 852
In- och upplåning från allmänheten	18 300	35 306	1 781	483	371	6 263	1 338 153	1 400 657
varav repor	213	-	-	-	-	-	-	213
Emitterade värdepapper ³	58 526	368 375	263 962	155 320	412 914	122 439	-	1 381 536
varav skärställda obligationer	26	40 329	73 743	104 740	399 885	89 447	-	648 171
varav bankcertifikat (CG:s) med ursprunglig löptid understigande ett år	22 077	137 708	51 928	-	-	-	-	211 783
varav företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid understigande ett år	27 128	166 516	106 400	-	-	-	-	300 053
varav bankcertifikat (CG:s) och företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid överstigande ett år	4 184	2 550	931	-	-	-	-	7 665
varav Senior Non-primierad obligationer	-	115	69	184	17 568	15 887	-	33 823
varav seniors obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	5 111	21 157	30 812	50 396	55 480	17 105	-	180 041
Efterställda skulder	-	926	2 960	8 507	13 698	10 195	-	36 286
Övrigt	7 064	365	369	700	1 514	841	470 599	481 452
varav korta positioner	4 126	-	-	-	-	-	-	4 126
varav fondkreditskulder	2 927	-	-	-	-	-	-	2 927
Summa skulder	118 280	441 220	273 149	166 286	428 858	140 914	1 815 293	3 383 987
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånatöften	486 517							

Derivat 2021 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat inlöste	220 594	487 565	83 775	99 046	145 200	78 969	1 115 149
Summa derivat utflöste	218 965	483 166	80 840	97 391	147 217	80 891	1 108 470
Netto	1 629	4 399	2 935	1 655	-2 017	-1 922	6 679

Finansiella tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Denmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning respektive Skulder som innehåller för försäljning, se not K13.

Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder 2020 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Opspecificerad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	397 660	-	-	-	-	-	-	397 660
Betalningsbara statskultförbindelser ¹	99 133	-	-	-	-	-	-	99 133
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	44 566	-	-	-	-	-	-	44 566
Utlåning till kreditinstitut	38 713	1 380	538	312	944	2 474	-	44 361
varav omvända repor	523	-	-	-	-	-	-	523
Utlåning till allmänheten	66 169	260 975	202 186	222 073	424 043	1 167 829	-	2 343 275
varav omvända repor	17 626	-	-	-	-	-	-	17 626
Övrigt	24 319	-	-	-	-	-	259 686	284 005
varav aktier och andelar	21 045	-	-	-	-	-	-	21 045
varav fordringar på fondkrediter	3 274	-	-	-	-	-	-	3 274
Summa tillgångar	670 560	262 355	202 724	222 385	424 987	1 170 303	260 686	3 213 000
Skulder till kreditinstitut	40 506	44 451	4 606	2 504	338	1 169	31 683	125 257
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
varav inlåning från centralbanker	17 394	23 110	-	-	-	-	314	40 758
In- och upplåning från allmänheten	18 033	24 782	3 292	512	370	6 478	1 175 828	1 229 295
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
Emitterade värdepapper ³	65 211	308 234	292 213	177 502	390 714	108 727	-	1 342 601
varav skärställda obligationer	4 422	52 689	75 622	118 283	317 032	78 624	-	646 672
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid understigande ett år	53 895	215 445	190 593	-	-	-	-	459 933
varav seniors obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	6 894	40 100	25 028	59 219	73 682	30 103	-	235 095
Efterställda skulder	-	9 937	-	2 935	19 014	8 281	-	40 167
Övrigt	5 700	363	367	694	1 644	1 151	424 642	434 561
varav korta positioner	1 687	-	-	-	-	-	-	1 687
varav fondkreditskulder	4 007	-	-	-	-	-	-	4 007
Summa skulder	129 490	387 787	300 478	184 147	412 080	125 906	1 632 183	3 171 881
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånatöften	463 424							

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

Darval 2020 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa darval inflöde	203 291	407 858	107 490	71 824	148 247	75 337	1 014 047
Summa darval utflöde	206 606	413 822	104 701	71 671	145 940	76 657	1 019 406
Netto	-3 315	-5 964	2 789	153	2 298	-1 320	-5 369

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 83 610 mkr (75 526) en återstående löptid som understiger ett år.

² Av beloppet (exklusive räntor) har 4 601 mkr (7 184) en återstående löptid som understiger ett år.

³ Av beloppet (exklusive räntor) har 679 352 mkr (652 957) en återstående löptid som understiger ett år.

LIKVIDITETSRESERVEN

För att säkerställa att banken har tillräckligt med likviditet för att stödja kärverksamheten även under stressade finansiella förhållanden håller banken betydande likviditetsreserver i alla för banken relevanta valutor. Likviditetsreserven som är oberoende av finansierings- och valutaväxlingsmarknaderna kan vid var tid ge likviditet

till banken, vissa delar omedelbart och andra delar successivt under en tidsperiod.

Likviditetsreserven består av flera olika delar. Kassa, tillgodohavanden och övrig utlåning till centralbanker är delar som omedelbart kan ge likviditet till banken. Vidare består reserven av likvida värdepapper som statsobligationer, säkerställda obligationer och andra värdepap-

per av mycket god kreditkvalitet som är likvida och betalningsbara i centralbanker. Även dessa kan ge banken likviditet omedelbart. Resterande delar av likviditetsreserven består av outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer och övriga likviditetsskapande åtgärder.

Tabell ÅR:46 Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven

Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven, marknadsvärde 2021 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Tillgångar nivå 1	210 882	167 572	85 123	160 309	602 976
Kassa samt centralbanksreserver	92 645	149 369	63 000	133 654	438 668
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	95 122	8 013	2 123	5 068	110 326
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	616	-	-	-	616
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	22 499	190	-	20 677	43 366
Tillgångar nivå 2	660	887	473	1 020	2 640
Tillgångar nivå 2A	568	388	473	1 020	2 449
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	-	-	-	617	617
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	568	388	473	403	1 832
Förstagärdavärdepapper (högsta rating AA-)	-	-	-	-	-
Tillgångar nivå 2B	7	199	-	-	200
Värdepapper med bakomliggande tillgångar	-	-	-	-	-
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	-	-	-	-	-
Förstagärdavärdepapper (rating A+ till BBB-)	1	199	-	-	200
Aktier (ej lönsa aktieskinder)	-	-	-	-	-
Summa likvida tillgångar	211 451	168 159	85 596	160 419	605 625

Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven, marknadsvärde 2020 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Tillgångar nivå 1	208 731	131 749	87 923	149 883	589 086
Kassa samt centralbanksreserver	84 525	128 225	65 479	139 660	417 889
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	93 585	2 935	2 444	1 400	100 364
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	645	-	-	-	645
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	29 976	589	-	8 623	39 188
Tillgångar nivå 2	1 068	654	1 078	962	4 660
Tillgångar nivå 2A	1 064	605	1 078	952	4 599
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	-	-	-	881	881
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	1 064	605	1 078	71	3 718
Förstagärdavärdepapper (högsta rating AA-)	-	-	-	-	-
Tillgångar nivå 2B	2	49	-	-	51
Värdepapper med bakomliggande tillgångar	-	-	-	-	-
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	-	-	-	-	-
Förstagärdavärdepapper (rating A+ till BBB-)	2	49	-	-	51
Aktier (ej lönsa aktieskinder)	-	-	-	-	-
Summa likvida tillgångar	209 797	132 403	89 001	160 695	582 796

K2 Forts

OPERATIV RISK

Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk samt it- och informationssäkerhetsrisker (IKT-risker).

Styrelsen fastställer Handelsbankkoncernens risktolerans för operativa risker. Handelsbanken har låg tolerans för operativa risker, samtidigt som operativ risk oundvikligen förekommer i all verksamhet inom banken. Handelsbanken ska så långt som möjligt sträva efter att förebygga dessa risker och reducera förlusterna på detta område. En operativ risk som skulle leda till en påtaglig försämring av koncernens resultat i händelse av incident, måste sänkas till en lägre risknivå. Riskbegränsande åtgärder ska vidtas så att risken blir acceptabel. Förluster till följd av en operativ riskhändelse kan täckas av försäkringar eller andra lösningar. Riskbedömningar utförs genom att bedöma konsekvens och sannolikhet att händelser inträffar på en skala graderad från 1 till 5. Den bedömda konsekvensen tillsammans med den bedömda sannolikheten att händelsen inträffar avgör vilka risksänkande åtgärder som krävs. Risken är utanför bankens risktolerans om det saknas åtgärdsplan eller om riskkontrollen bedömer att åtgärderna tar för lång tid eller inte fortloper enligt fastlagd tidplan.

Handelsbankens operativa förluster, som omfattar förväntade och erkända operativa förluster, som överstiger 25 000 kr samt eventuella återvinningar, uppgick under 2021 till 38 mkr (88). Det är inte ovanligt att beloppet avseende operativ förlust justeras över tiden till följd av återvinningar, eller att ytterligare förluster tillkommer som hänförs till en tidigare rapporterad incident. Detta kan påverka jämförelsetalen för tidigare rapporterade förluster.

ORGANISATION

Ansaret för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är en integrerad del i chefsansaret på alla nivåer i Handelsbankkoncernen. Bankens decentraliserade arbetssätt och kostnadsmedvetenhet främjar en god hantering av operativa risker, vilket leder till en vaksamhet mot potentiella förlustrisker i dagliga rutiner och händelser.

Operativa risker hanteras i affärsverksamheten och hanteringen kontrolleras av riskkontrollen. Till chefernas hjälp med hanteringen av operativa risker finns särskilt utsedda lokala koordinatörer för operativ risk (lokala OpRisk-koordinatörer). Deras ansvar är att säkerställa att befintliga metoder och rutiner för hantering av operativa risker används i affärsverksamheten, att hantera uppföljning av rapporterade incidenter och att stödja affärsverksamheten och följa upp beslutade åtgärder beträffande operativa risker.

Group Risk Control har det övergripande ansvaret för de metoder och rutiner som används för att hantera operativa risker. Ansaret inkluderar även att regelbundet utvärdera metoder och rutiner samt verksamhetens tillämpning av dessa. Group Risk Control säkerställer att affärsverksamheten identifierar, bedömer, rapporterar och hanterar operativa risker samt att de följer upp att beslutade åtgärder genomförs. Group Risk Control ansvarar också för att tillse att risker utvärderas innan beslut fattas om nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och it-system samt vid större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. Group Risk Control ansvarar vidare för att på koncernnivå identifiera, mäta, analysera och rapportera alla väsentliga operativa risker och deras utveckling till ledning och styrelse. Riskrapporteringen till ledning och styrelse innehåller även information om väsentliga incidenter och riskbegränsande åtgärder.

METODER FÖR ATT IDENTIFIERA, BEDÖMA OCH HANTERA OPERATIVA RISKER

Affärsverksamheten äger och ansvarar för att hantera risker förknippade med den dagliga operativa verksamheten i enheten genom att samla in relevant riskfakta i dem. Banken övervakar utvecklingen av operativ risk utifrån bland

annat följande kategorier av operativ risk:

- brister i handläggning och processer
- avbrott/störning i verksamhet/system
- kunder, produkter och affärspraxis
- extern brottslighet
- skada på materiella tillgångar
- anställningsförhållanden och arbetsmiljö
- Interna bedrägerier.

De koncerngemensamma metoderna för att identifiera, bedöma, mäta och hantera operativa risker är Incidentrapportering, riskindikatorer och självutvärdering av operativa risker.

Incidentrapportering

Rapportering av incidenter med förlust överstigande 25 000 kr är obligatoriskt. Andra incidenter som visar på väsentliga operativa risker ska också rapporteras och riskfakta ska samlas in.

Riskindikatorer

Riskindikatorer tillämpas för att varna om ökad operativ risk. Om ett gränsvärde för en riskindikator överskrids ska en riskanalys genomföras som underlag för bedömning av eventuella riskhanterande åtgärder. För vissa riskindikatorer fastställs gränsvärde av CEO.

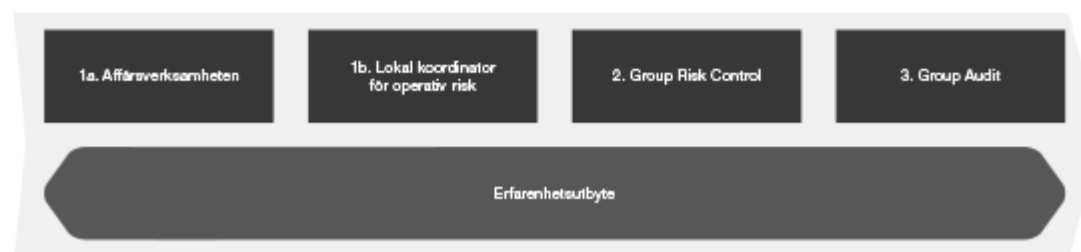
Självutvärderingsrutin OPRA Riskanalys

OPRA Riskanalys är en metod och självutvärderingsrutin för att dokumentera och bedöma operativa risker. Den utförs minst en gång om året på alla enheter. OPRA Riskanalys kan även vara händelsedriven och utförs vid allvarliga incidenter, överskridande av gränsvärde eller vid allvarlig extern händelse.

OPX

Banken är medlem i OPX (Operational Riskdata Exchange Association). OPX främsta syfte är att deltagande banker utbyter anonymiserade data om incidenter som inneburit operativa förluster. OPX har också en viktig funktion att standardisera och kvalitetssäkra data om operativa risker. Det sker betydande forskningsarbete om metoder inom ämnet operativ risk, och OPX utgör ett viktigt forum för erfarenhetsutbyte.

Figur ÅR47 Tre förvarslinjer



NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

IT-VERKSAMHET I

HANDELSBANKENKONCERNEN

Tillgänglighet och säkerhet i bankens it-tjänster är en förutsättning för bankens verksamhet. Den tekniska utvecklingen och digitaliseringen av banktjänster innebär att området ökar i betydelse. CEO fastställer riktlinjer avseende övergripande mål och strategi för it-verksamhet i Handelsbankenkoncernen. Operativa risker inom detta område hanteras enligt samma rutiner som i övriga delar av banken, med tillägg av särskilda rutiner för att hantera specifika typer av risker inom området, till exempel:

- övervakning av it-system i produktion
- hantering av it-incidenter
- hantering av nya eller förändrade it-system
- hantering av cyberrisker
- genomförande av säkerhetstester
- genomförande av riskanalyser av it-system
- granskning av uppdragsavtal och övriga leverantörsavtal
- kontinuitetshantering av it-system.

INFORMATIONSS- OCH IT-SÄKERHET

Säkerhetsarbetet i Handelsbanken syftar bland annat till att skydda anställdas och kunders liv, hälsa och integritet samt skydda kundernas och koncernens goda namn och rykte. Känslig information om kunder och kundrelationer hanteras löpande i en banks verksamhet. Handelsbankens arbete med informations- och it-säkerhet grundar sig på tillgänglighet, riktighet, sekretess och spårbarhet. Information och affärssystem ska finnas tillgängliga utifrån verksamhetens affärskrav. CEO fastställer riktlinjer för informationssäkerhet i Handelsbanken. Samtliga medarbetare i banken har ansvar att följa regler för skydd av information och varje chef ansvarar för att reglerna efterlevs inom sitt ansvarsområde. Banken har ett effektivt säkerhetsarbete som svarar upp mot eventuella hot och det finns rutiner för att hantera förändringar i it-miljön så att inga brister uppstår. Om det skulle uppstå brister i hanteringen, eller om information felaktigt skulle spridas, kan det leda till allvarliga konsekvenser, som försämrat förtroende för banken eller ekonomiska förluster. Inom ramen för det systematiska säkerhetsarbetet pågår ett strukturerat arbete med att öka medvetenheten hos våra medarbetare och kunder om hot och risker inom informationssäkerhet, till exempel genom föreläsningar, utbildningar och informationsinsatser.

Arbetet med bankens informations- och it-säkerhet syftar till att skydda kunders uppgifter och transaktioner samt bankens it-miljö. Informations- och it-säkerhet omfattar såväl administrativa lösningar som regler och instruktioner samt tekniska säkerhetslösningar.

Arbetet med informationssäkerhet bedrivs i enlighet med den internationella standarden

ISO 27001. Handelsbankens arbete med informationssäkerhet certifierat enligt ISO 27001 (Nr 009231 1).

Bankens regelverk för informationssäkerhet bygger på Standard of Good Practice utarbetad av Information Security Forum (ISF), som är en organisation där flera av världens största företag ingår som medlemmar. Arbetet med informations- och it-säkerhet bedrivs systematiskt och banken arbetar med en process där riskanalysen har en central roll. Riskanalyserna genomförs enligt metodiken ISF:s Information Risk Analysis Methodology (IRAM2).

Covid-19-pandemin har inneburit förändringar och banken följer utvecklingen. Säkerhetsinstruktionerna för distansarbete har kompletterats med nya instruktioner. It-förändringar inklusive säkerhetsuppdateringar för att säkra tekniska miljöer och förhindra att brister uppstår, har skett på samma höga nivå oaktat distansarbetet. Det har även säkerhetsövervakningen för att upptäcka och agera på identifierade risker och hot gjort.

FYSISK SÄKERHET

Handelsbankenkoncernens fysiska säkerhet innefattar brandskydd, process och rutin avseende hot mot och skydd av anställda, resesäkerhet, skalskydd, bankens försäkringsskydd avseende ansvar- och egendomsförsäkring samt omvärldsbevakning och instruktioner.

Instruktioner inom koncernen för att hantera risker relaterade till området fysisk säkerhet innebär bland annat krav på att säkerhetsgenomgång genomförs minst årligen och följs upp via den årliga arbetsmiljöundersökningen.

FINANSIELL KRIMINALITET

Banken arbetar kontinuerligt för att minimera risken för att bankens kunder, produkter eller tjänster utnyttjas som ett led i finansiell kriminalitet. Finansiell kriminalitet innefattar penningtvätt, finansiering av terrorism, skatteflykt, korruption, bedrägerier och brott mot internationella sanktioner. Arbetet styrs från en central avdelning som leds av bankens särskilt utsedda befattningshavare med koncernövergripande ansvar för arbetet med att motverka finansiell kriminalitet. Utgångspunkter för detta arbete mot finansiell kriminalitet är bland annat bankens låga risktolerans samt de externa regelverken som reglerar finansiell kriminalitet i de länder där banken är verksam. Banken har även en särskild central complianceavdelning för finansiell kriminalitet, som övervakar och är rådgörande i bankens arbete att motverka finansiell kriminalitet. Avdelningen leds av bankens centrala funktionsägare. För ytterligare information om bankens arbete att motverka finansiell kriminalitet hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrmingsrapport på sidan 74–81.

FÖRÄNDRINGSHANTERING

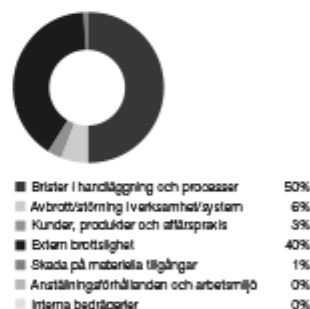
Hantering av förändringar innefattar nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och it-system samt större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. I bankens instruktioner och godkännandeprocesser för förändringshantering beskrivs de aktiviteter och aktörer som ingår i respektive process, samt hur och när kontrollfunktionerna ska involveras. Processerna omfattar även krav på att riskanalyser ska genomföras och exempelvis beakta områden så som finansiell kriminalitet, hållbarhet, informationssäkerhet och datakvalitet. Beslut relaterat till förändringen ska även dokumenteras.

VÄSENTLIGA PROCESSER

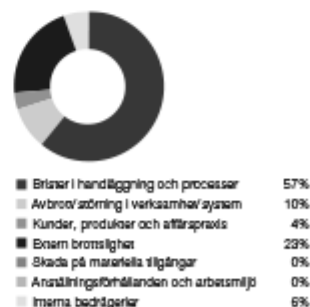
Med väsentliga processer avses de processer som är väsentliga för att stödja bankens kritiska verksamhet. De genomgår årligen och vid väsentliga förändringar en översyn av aktualitet, uppdateras vid behov samt riskanalyseras.

Identifieringen av de väsentliga processerna är grundläggande för omfattningen av bankens kontinuitetsplanering, det vill säga vilka delar av verksamheten som ska prioriteras vid störningar och avbrott.

Figur ÅR48 Fördelning av antal förluster över 25 tkr, 2017–2021



Figur ÅR49 Fördelning av förlustbelopp över 25 tkr, 2017–2021



K2 Forts

KONTINUITETSPLANERING OCH KRISHANTERING

Syftet med bankens kontinuitetsplanering och krishantering är att tillse att banken har en god beredskap för fortsatt verksamhet även i en krisituation. Det innebär att förberedande åtgärder behövs vidtas för att lindra verkningarna av en allvarlig störning i affärsverksamheten så att den kan fungera på en godtagbar nivå under den tid en störning pågår. Av CEO:s riktlinjer för kontinuitetsplanering och krishantering samt av kompletterande instruktioner framgår att det varje år ska utföras konsekvensanalyser för att slå fast vilka verksamheter och IT-system som är så kritiska att de behöver upprätta kontinuitetsplaner.

I kontinuitetsplanerna ingår att både planera för hur verksamheten ska upprätthållas medan störningen pågår och hur verksamheten ska kunna återgå till normala rutiner. När det gäller väsentliga processer ska planerna innehålla den längsta tillåtna tiden för avbrott. Det finns en central krisstab för hela koncernen. Därutöver har CEO utpekat de enheter som ska ha en krisstab. Arbetet i krisstaber ska bedrivas enligt särskilda krishandböcker.

Kontinuitetsplaner och krishandböcker ska revideras minst årligen. Planerna ska testas minst varje år och krisövningar hålls av de enheter som har skyldighet att utse krisstaber. Arbetet utvärderas årligen och rapporteras till centralstyrelsen, som även får information om bankens strategi för kontinuitetsplaneringen.

Handelsbanken deltar även i FSPOS (Finansiella sektorns privat- offentliga samverkan) frivilliga arbete för att stärka sektorns förmåga att hantera störningar och avbrott. Banken deltog däremot även i årets FSPOS-övning som syftade till att bedöma sektorns möjligheter att fortsätta verka under höjd beredskap.

LEVERANTÖRSAVTAL

Banken har en särskild process för hantering av leverantörsavtal, inklusive uppdragsavtal, inom koncernen. Utgångspunkten är att banken ska tillämpa ett riskbaserat arbetssätt, med beaktande av bankens låga risktolerans, i såväl bedömning inför beslut om leverantörsavtal som i administrationen av dem. CEO har utfärdat riktlinjer som anger förutsättningar och krav för bland annat uppdragsavtal avseende verksamhet av väsentlig betydelse. Riktlinjerna gäller i hela Handelsbankens koncern och omfattar även dotterbolagen i koncernen.

ANSEENDERISK, UPPFÖRANDERISK OCH UTBILDNING

Anseenderisk är risken för förluster till följd av att förtroendet för banken skadas. Detta kan ske exempelvis på grund av bristande etik, olämpligt agerande, bristfällig information eller oönskat utveckling av nya eller ändrade produkter.

Handelsbanken hanterar och minimerar anseenderisken i sin verksamhet genom aktiv omvärldsbevakning med dårtill relevanta åtgärder vid behov, samt genom att bedriva verksamheten enligt hög etisk standard. Under 2021 har sex utbildningar varit obligatoriska för samtliga medarbetare i koncernen: Finansiell kriminalitet, Dataskyddsförordningen (GDPR), Hållbarhet i finansbranschen, Marknadsmisbruk, Säkerhetsutbildning – Cybersäkerhet samt Säkerhetsutbildning – Fysisk säkerhet.

Handelsbankens låga risktolerans avspeglas även i synen på ersättning till anställda. Banken anser att fast ersättning bidrar till en sund verksamhet och fast ersättning tillämpas därför som huvudregel.

COMPLIANCERISK

Compliancerisk är risker förknippade med bristande regel efterlevnad.

Handelsbanken har låg tolerans för compliance-risker och har höga ambitioner avseende ordning och reda, etik samt efterlevnad av lagar och regler.

Med regel efterlevnad menas efterlevnad av förordningar, lagar, myndigheters föreskrifter och allmänna råd, interna regler och god sed eller god standard avseende den tillståndspålitliga verksamheten. Bristande regel efterlevnad kan leda till compliance-risker i form av ökade operativa risker, risker för sanktioner och andra myndighetsingripanden, ekonomiska förluster eller minskat förtroende för koncernens verksamhet. Inom koncernen ska compliance-risker förebyggas och det arbete som behöver utföras för att åtgärda observerade risker ska prioriteras.

I Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd om styrning, riskhantering och kontroll i kreditinstitut (FFFS 2014:1), Europeiska bankmyndighetens riktlinjer för intern styrning samt Europeiska värdepappers- och marknadsmyndighetens riktlinjer om vissa aspekter av kraven för funktionen för regel efterlevnad enligt MIFID II, anges huvuddragen för hur tillsynsmyndigheterna anser att funktionen för regel efterlevnad ska vara uppbyggd och hur ett institut bör arbeta med regel efterlevnadsfrågor. I Baselkommitténs ramverk för regel efterlevnad, Compliance and the compliance function in banks, anges även riktlinjer för hur compliancefunktionen inom en bank bör utformas. Handelsbanken har genom bl.a. policy, riktlinjer och instruktioner utformat compliancefunktionen och dess arbete i enlighet med dessa föreskrifter, allmänna råd och riktlinjer.

ORGANISATION

Compliancefunktionen inom koncernen är organiserad i dels Group Compliance, dels compliance-enheter vid dotterbolag och andra juridiska personer. Inom Group Compliance finns både centrala enheter och lokala enheter vid olika filialer. Alla compliance-enheter ska vara oberoende i förhållande till affärsverksamheten och organisatoriskt skilda från de funktioner och områden som ska kontrolleras. Anställda i compliance-enheter får inte utföra operativa uppgifter som ingår i verksamhet som de ska kontrollera.

ANSVAR

Ansaret för att identifiera, bedöma och hantera compliance-risker är en integrerad del i chefsansvaret på alla nivåer och vilar på respektive enhet och avdelning. Även funktionsansvariga och produktansvariga har ett särskilt ansvar för att säkerställa att verksamheter och produkter är utformade i enlighet med externa och interna regler. I ansvaret ingår även att genomföra erforderliga kontroller i syfte att säkerställa efterlevnaden av interna och externa krav. I Handelsbankenkoncernen ska chefer och medarbetare ha en god kännedom om och förståelse för de krav som externa och interna regler ställer och de compliance-risker som är förknippade med bristande regel efterlevnad.

Compliancefunktionen ansvarar för att aktivt verka för god regel efterlevnad och att Handelsbankens låga tolerans för compliance-risker uppfylls. Compliancefunktionen har till uppgift att identifiera, övervaka och kontrollera risker och brister i förhållande till regel efterlevnaden, lämna rekommendationer, ge råd och stöd till bankens personal, ledning och enheter i frågor om regel efterlevnad och rapportera till ledning och styrelse om regel efterlevnad. Chief Compliance Officer har ansvaret för compliancefunktionen i koncernen och för rapportering om regel efterlevnad.

RISKBASERAT COMPLIANCEARBETE

Compliancefunktionens arbete bedrivs riskbaserat. Det sker i praktiken genom att funktionen årligen gör en övergripande riskbedömning av Bankens verksamhet och regel efterlevnad. Compliancefunktionen planerar och utför därefter complianceaktiviteter främst inom de områden som har högst risk för bristande regel efterlevnad. Om brister identifieras värderas dessa och rapporteras enligt en fyrgadig bedömningsskala som låg, medelhög, hög eller kritisk compliance-risk. Group Compliance rapporterar kvartalsvis den aktuella risksituationen i koncernen till Bankens VD, riskutskott och styrelse. Rapporten föredras även i VD:s riskforum.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

RISK I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningssystemet.

ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningar i Handelsbanken fastställs individuellt för varje medarbetare vid tillträde i ny befattning och i lokala lönesamtal. Ersättningen ska, med beaktande av för Handelsbanken bindande kollektiva avtal eller motsvarande lokala standardiserade avtal eller överenskommelser, baseras på bankens modell för lönesättning och de där angivna lönegrundande faktorerna: arbetsart och svårighetsgrad, kompetens, prestationsförmåga och uppnådda arbetsresultat, ledarskap, marknaden samt uppgiften som bärare av bankens kultur. Denna ordning har tillämpats under många år och innebär att chefer på alla nivåer regelbundet deltar i löneprocesser och tar ansvar för bankens lönepolitik och den egna enhetens personalkostnadsutveckling.

För att säkerställa att Handelsbanken har ett väl utformat ersättningssystem hanteras risker i ersättningssystemet som ett separat riskslag för vilket hanteringen följer samma ansvarsfördelning som för andra typer av risker. Handelsbanken har låg tolerans för ersättningsrisker och eftersträvar aktivt att hålla dessa risker på en låg nivå. Prestationsbaserad rörlig ersättning tillämpas med stor försiktighet och erbjuds inte till medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil.

Under 2021 har prestationsbaserad rörlig ersättning tilldelats med 57 mkr (55).

ORGANISATION OCH ANSVAR

Principerna för bankens ersättningssystem fastställs i ersättningspolicy som beslutas av styrelsen. Mer detaljerade riktlinjer och tillämpningsföreskrifter beslutas av CEO. Group Compliance granskar att dessa styrdokument överensstämmer med regelverk på området. Ansvaret för att identifiera och hantera ersättningsrisker vilar på varje ansvarig chef i verksamheten. Group Risk Control tillser att ersättningssystemet och dess tillämpning årligen utvärderas ur ett riskperspektiv. Utvärderingen ska också innehålla en analys av ersättningssystemets påverkan på bankens risk-, kapital- och likviditetssituation.

RISKER I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Bedömningen är att Handelsbankens ersättningspolicy och ersättningssystem genererar låga risker, harmoniserar med bankens låga risktolerans samt stöder bankens långsiktiga intressen. Ersättningssystemets påverkan på bankens finansiella risk-, kapital- och likviditetssituation är låg. Totalt avsatt belopp för prestationsbaserad rörlig ersättning under ett år till anställda i Handelsbankenkoncernen får inte överstiga 0,4% av Handelsbankankoncernens kärnprimärkapital. Underlaget för beräkning av prestationsbaserad rörlig ersättning riskjusteras utifrån bedömning av nuvarande och framtida risker. Det finns regler för uppskjutande av utbetalning av rörlig ersättning och för att helt eller delvis nedsätta tilldelad uppskjuten rörlig ersättning.

För mer detaljerad information och statistik om bankens ersättningssystem, se bolagsstyrningsrapport och not K8 i årsredovisningen.

Tabell ÅR:60 Prestationsbaserad rörlig ersättning

Prestationsbaserad rörlig ersättning	2021	2020
Avsättning prestationsbaserade rörliga ersättningar ¹ , mkr	57	55
Löner och avoden, mkr	9 278	9 378
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning ²	130	163
Medelantal anställda	12 240	12 563
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av totala löner och avoden, %	0,6	0,6
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av kärnprimärkapitalet, %	0,04	0,04
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av medelantal anställda, %	1,1	1,3

¹ Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Beloppen fastställs efter publicering av årsredovisningen.

² Antal personer som tilldelas prestationsbaserad rörlig ersättning fastställs efter publicering av årsredovisningen.

Av de 163 personer som hade möjlighet att tjäna in rörlig ersättning 2020, fick 120 personer tilldelning.

K2 Forts

RISK I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Risken i försäkringsrörelsen består främst av marknadsrisker och försäkringsrisker.

VERKSAMHETEN OCH RISKER I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Handelsbanken Liv bedriver livförsäkringsverksamhet med traditionell förvaltning, fondförsäkring och depåförsäkring samt riskförsäkringsverksamhet. Traditionellt förväntade försäkringar är stängda för nyteckning. Riskprofilen mäts med den i Solvens 2 föreskrivna standardformeln. Riskprofilen domineras av marknadsrisker och försäkringsrisker.

MARKNADSRISK

Marknadsrisk avser den samlade risken att förändringar i riskfaktorer inom finansiella marknader, till exempel förändringar i räntor, fastighetspriser, aktiepriser och valutakurser, resulterar i värdeförändringar på bolagets placeringstillgångar och/eller dess åtaganden. Marknadsrisken uppstår i den traditionella förvaltningen avseende garantiprodukterna samt indirekt från sparprodukter, fond- och depåförsäkringar, där försäkringstagarna själva står för risken men där bolagets intjäning beror på det förvaltade kapitalet i produkterna.

Ränterisk finns även i försäkringsskulderna genom att de försäkringstekniska avsättningsarna diskonteras med en riskfri räntesats.

Handelsbanken Liv har låg risktolerans. Handelsbanken Livs styrelse ger genom bolagets placeringsriktlinjer och riskpolicy övergripande anvisningar om hur tillgångarna ska förvaltas givet åtagandena till försäkringstagarna och lagstadgade krav, hur styrning och kontroll av placeringarna ska ske samt hur den totala risknivån i bolagets samlade tillgångar och åtaganden ska hanteras. Tillgångar ska endast investeras på

ett aktsamt sätt i tillgångar och instrument vars risker kan identifieras, mätas, analyseras och rapporteras.

LIKVIDITETSRISK

Likviditetsrisk är risken för att ett bolag inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster. Likviditetsrisker hanteras genom en daglig uppföljning av kommande utbetalningar och genom att en betydande del av bolags placeringstillgångar placeras i marknadsnoterade värdepapper med mycket god likviditet.

FÖRSÄKRINGSRISK

Försäkringsriskerna består framförallt av liv- och sjukförsäkringsrisker och kan delas in i nedanstående kategorier.

Riskkategori

Dödsfallrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet i fråga om dödlighet. Ökad dödlighet leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

Livsfallrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet i fråga om dödlighet. Minskad dödlighet leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

Invaliditets- och sjuklighetsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet för insjuknande och tillfrisknande.

Annulationsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer eller ändrad volatilitet i fråga om uppehåll, upphörande, förmyle och återköp.

Driftkostnadsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet för driftkostnaderna för försäkringsavtal.

Omprövningsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender för omprövningar av periodiska utbetalningar på grund av ändrade författningar, ändrade rättsliga förhållanden eller ändrad hälsostatus hos de försäkrade.

Katastrofrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av värdet av försäkringsåtagandena till följd av väsentlig osäkerhet i prissättnings- och avsättningsåtagandena i fråga om extrema eller onormala händelser.

Handelsbanken Liv-gruppen är även exponerad för risker kopplade till olycksfallsförsäkring. Dessa bedöms dock inte vara materiella jämfört med övriga risker. En större del av Handelsbanken Livs försäkringar är tecknade av mindre företag och privatpersoner. Någon riskkoncentration finns inte, utöver att flertalet försäkringar är tecknade i Sverige.

Försäkringsrörelsen rapporterar sina marknads- och försäkringsrisker samt operativa risker till försäkringsbolagets styrelse och CEO, bankens Group Risk Control samt till bankens Riskkommitté som är rådgivande till bankens CEO och CFO.

För mer information om Handelsbanken Livs företagsstyrningssystem och riskhantering hänvisas till Handelsbanken Livs publikation Gemensam rapport om solvens och finansiell ställning som finns tillgänglig på handelsbanken.com/rev.

NOTER | KONCERNEN

K2 Forts

EKONOMISKT KAPITAL

Handelsbankens modell för beräkning av ekonomiskt kapital fångar i ett mått koncernens samlade risker och anger det kapital som med en mycket hög sannolikhet ska täcka oväntade förluster eller värdeminskningar.

Group Risk Control har ansvaret för att bedriva en heltäckande bevakning av koncernens olika risker. Ett Instrument i den bevakningen är bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC). EC-modellen utgör även del i bankens bedömning av internt kapitalbehov som rapporteras kvartalsvis till styrelsen. Denna bedömning syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har tillräckligt med kapital i förhållande till koncernens samtliga risker. Koncernperspektivet innebär att det ekonomiska kapitalet även innefattar risker i försäkringsrörelsen och risker i bankens pensionsåtaganden.

Beräkningen av EC görs med ett års tidshorisont och en konfidenznivå som speglar en acceptabel risknivå och önskad rating. Styrelsen har beslutat att beräkningen av ekonomiskt kapital ska göras på 99,97% konfidenznivå, vilket fångar en för banken extremt ogynnsam händelse. EC utgör skillnaden mellan utfallet under ett genomsnittligt år – med positivt resultat och god värdeutveckling av bankens tillgångar – och utfallet vid 99,97% konfidenznivå.

I sammanräkningen av EC beaktas diversifieringseffekter mellan de olika risklagen. Kapitalbehovet för samtliga risker är således lägre än summan av det ekonomiska kapitalet för varje individuell risk för sig, eftersom riskerna delvis är oberoende av varandra.

Det kapital och de andra finansiella resurser som utgör en buffert som kan absorbera negativa utfall benämns tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR). AFR är Handelsbankens eget kapital med tillägg av andra finansiella värden i och utanför balansräkningen som är tillgängliga för att täcka förluster med ett års tidshorisont.

Koncernen arbetar med ett aktieägarperspektiv på risk- och kapital situationen. Genom modellen för ekonomiskt kapital erhålls en samlad bild av koncernen som ger förutsättningar för att optimera risk- och kapital situationen utifrån aktieägarens perspektiv. Utfallet från beräkningarna spelar en viktig roll i den interna styrningen av banken och när nya affärer eller strukturförändringar övervägs.

Kreditrisken är beräknad med hjälp av en simulering av utfall avseende fallförmåga för koncernens samtliga motparter och exponeringar.

Marknadsriskerna består av riskerna i handelslagerklassificerade tillgångar, ränterisk i övrig verksamhet, marknadsrisker i försäkringsrörelsen och av riskerna i aktieinnehav i övrig verksamhet.

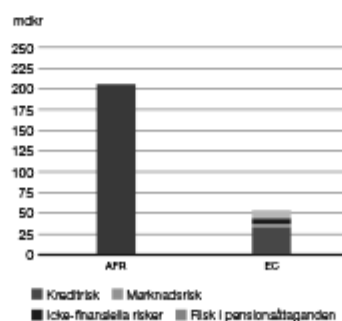
Risken i pensionsåtagandena består i huvudsak av risken för att de tillgångar som finns inom ramen för trygghandet av bankens förmånsbestämda pensioner ska minska samt att värdet på dessa åtaganden är räntekänsligt. Huvuddelen av pensionsutfästelserna finns i Sverige och tryggas där i en pensionsstiftelse och i en tjänstepensionsförening.

De övriga riskerna består av operativ risk, affärsrisk, fastighetsrisk och försäkringsrisk. Affärsrisken är relaterad till oväntade resultatförändringar inom respektive affärsområde. Dessa kan exempelvis uppstå på grund av att efterfrågan eller konkurrensen förändras på ett oväntat sätt, med minskade volymer och pressade marginaler som följd. Fastighetsrisken fångar risken att de fastigheter som banken äger faller i värde.

EC uppgick vid årsskiftet till 53,8 mdkr (57,2), där kreditriskerna står för huvuddelen av den totala risken. Den av styrelsen fastställda målsättningen är att kvoten mellan AFR och EC ska överstiga 120%. Kvoten var vid årsskiftet 384% (324), vilket visar att banken är väl kapitaliserad i förhållande till sina totala risker. Finansinspektionen har inom ramen för sin samlade kapitalbedömning av banken kommit till samma slutsats.

Den redovisade risk- och kapital situationen är en ögonblicksbild, även om det i riskberäkningarna ingår försiktighetsmarginaler för variationer i konjunkturen. För en slutlig bedömning av koncernens kapitalbehov måste också hänsyn tas till den stress- och scenarioranalys som genomförs inom ramen för bankens kapitalplanering.

Figur A51 Sammanställning av AFR och EC inklusive diversifiering 2021



K2 Forts

KAPITALPLANERING

Handelsbankens kapitalplanering syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har rätt mängd tillgängliga finansiella resurser.

Kapitalbehovet är en funktion av koncernens risker, förväntade utveckling, regelverk och måttal. Handelsbankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) samt stressstester. Bankens kapitalbehov rapporteras veckovis till CFO och CEO och minst kvartalsvis till styrelsen.

Som en del av den proaktiva kapitalplaneringen finns en beredskaps- och handlingsplan med konkreta åtgärder som kan vidtas om banken behöver förbättra sin kapitalposition. Syftet med beredskaps- och handlingsplaneringen är att säkerställa att det finns ett varningssystem som upptäcker potentiella hot i ett tidigt skede och att koncernen är förberedd att skyndsamt kunna genomföra åtgärder, om så måste ske.

Minst årligen upprättas en långsiktig kapitalplan som syftar till att ge en övergripande bild av koncernens nuvarande kapitalposition, en prognos över den förväntade kapitalutvecklingen och utfallet i olika scenarier. Dessa scenarier är utformade så att de väsentligt avviker från den förväntade utvecklingen och harmoniserar således med koncernens låga risktolerans. Kapitalplanen innehåller också förslag på hur kapitalpositionen ska kunna behållas på en tillfredsställande nivå i ett starkt negativt omvärldsscenario, utifrån både ett reglerings- och ett aktieägarperspektiv.

Kapitalplaneringen är uppdelad i ett kort-siktigt och ett medellångt till långsiktigt prognosarbete. Den del av kapitalplaneringen som utgörs av kortskaliga prognoser på upp till två år är främst inriktad på att bedöma rådande resultatutveckling och utveckling av kapitalkravet. Prognosarbetet är nödvändigt för att löpande kunna anpassa kapitalbasens storlek och sammansättning.

Kapitalplanering görs genom en löpande analys av volym-, risk- och resultatutveckling samt genom bevakning av händelser som kan påverka kapitalbehov och kapitalmängd. Det kortskaliga prognosarbetet omfattar alla delkomponenter som utgör koncernens kapitalbas, och kapitalbehovet inkluderar, förutom regleringsmässiga minimikrav och buffertar, även kapitalkravet enligt regelverkets Pelare 2 samt bruttosoldittetskravet och minimikravet

på nedskrivningsbara skulder (MREL). I detta arbete ingår också att i ett kortskaligt perspektiv utföra olika känslighetsanalyser av den förväntade utvecklingen av kapitalkravet och kapitalbasen för att vid behov vara beredd att påverka kapitalbasens storlek och sammansättning genom till exempel marknadsoperationer.

Resultatet av den kortskaliga analysen utgör grunden för de eventuella kapitaloperationer som genomförs, och resultatet rapporteras veckovis till CFO och CEO och vid behov till styrelsen. Analysen utgår från ett försiktigt grundscenario med beslutspunkter i närhet om hur den befintliga intjäningsförmågan klarar av att bära olika volymförändringar, och vilka effekter som uppkommer av potentiella kapitaloperationer.

Den del av kapitalplaneringen som utgörs av medellånga till långsiktiga prognoser syftar till att säkerställa dels att de lagstadgade kapitalkraven uppfylls, dels att koncernens tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR) vid varje tidpunkt med marginal täcker alla risker beräknade enligt modellen för EC.

Även den långsiktiga prognosen innehåller en bedömning av utvecklingen av bankens samlade kapitalbehov över perioden: minimikraven, de kombinerade buffertkraven, Pelare 2-kravet, bruttosoldittetskravet samt MREL-kravet. Syftet är att prognostisera den förväntade utvecklingen och bedöma huruvida bankens motståndskraft är tillfredsställande i olika scenarier. Planeringsperioden är minst fem år och beaktar utvecklingen i hela koncernen.

Basen för den långsiktiga kapitalprognosen är ett grundscenario som ges av den förväntade utvecklingen under de kommande fem åren beträffande resultat, volymtillväxt, finansiella antaganden, som exempelvis kreditförluster, samt utveckling på aktie-, fastighets- och räntemarknaden. Grundscenariot ställs sedan mot utfallen i ett antal konjunktur- och kris-scenarier. Stressscenarierna har fastställts efter analys av de historiska sambanden mellan olika makroekonomiska variablers påverkan på de finansiella marknaderna och har valts utifrån de scenarier som kan förväntas påverka Handelsbanken mest negativt.

Käprprimärkapitalrelationen uppgick vid utgången av 2021 till 19,4% (20,3). Kvoten mellan AFR och EC uppgick till 384% (324) vid samma tidpunkt. Således överstiger AFR det bedömda interna kapitalbehovet (EC) med mycket god marginal.

Bankens starka position framhävs ytterligare av resultatet av de olika framtidsblickande stressscenarier som utförs, vilket visar på att Handelsbankens långsiktiga kapitalisering är mycket stabil ur ett ekonomiskt och lagligt perspektiv.

Kapitalplaneringen följer även den regleringsmässiga utvecklingen och bedömer effekten och behoven till följd av nya tillkommande krav.

KONCERNENS MÅLTAL FÖR
REGLERINGSMÄSSIGT KAPITAL

Målen för bankens kapitalisering fastställs löpande av styrelsen. En hörnsten i den interna kapitalbehovsbedömningen av den regleringsmässiga kapitalpositionen är stress- och scenarionalyser av bankens situation både i det långa och i det korta perspektivet. De scenarier som används grundas i första hand på bankens interna risktolerans samt på krav som kommer direkt av regelverket eller andra myndighetskrav. Utöver den interna bedömningen av kapitalbehovet har Finansinspektionen kommunicerat att svenska bankers måttal, oaktat bankernas interna beräkningar, inte får understiga det av Finansinspektionen framräknade samlade bedömda kapitalbehovet. Från och med 2021 då den nya lagen trädde i kraft, utgörs kapitalbehovet till största del av ett minimikrav. Banken har beaktat detta vid fastställandet av måttalen för den regleringsmässiga kapitalseringen.

Styrelsen har beslutat att kärnprimärkapitalrelationen, som är det mest relevanta måttet för styrningen av banken enligt nuvarande regler, under normala förhållanden ska uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kärnprimärkapitalkravet. Övriga kapitaldelar (primärkapitalrelation och total kapitalrelation) ska minst uppgå till 1 procentenhet högre värde än det samlade kapitalbehovet som Finansinspektionen har kommunicerat för dessa delar. Bruttosoldittetsgraden ska uppgå till minst 0,6 procentenhet över Finansinspektionens kapitalkrav. Vidare ska banken uppfylla samtliga övriga kapitalkrav från myndigheter. I tillägg har styrelsen beslutat att "utdelningsnivån ska inte leda till att kapitalrelationerna underskrider en nivå om en procentenhet över Finansinspektionens kommunicerade krav".

Banken bedömer att Finansinspektionens kärnprimärkapitalkrav vid utgången av det fjärde kvartalet uppgick till 13,9%.

NOTER | KONCERNEN

K3 Räntenetto

mil	2021	2020
Räntetäcknader		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	284	1 254
Utlåning till allmänheten	35 094	38 547
Belåningsbara statskultförbindelser m m	306	291
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	279	380
Derivatinstrument	-1 245	1 172
Övriga räntetäcknader	1 111	1 074
Summa	35 829	42 718
 Avgår räntetäcknader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	 -3	 -112
Summa räntetäcknader	35 832	42 830
varav räntetäcknader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	34 483	39 495
 Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-112	-573
In- och upplåning från allmänheten	-371	-1 396
Emitterade värdepapper	-6 569	-11 786
Derivatinstrument	3 073	2 690
Efterställda skulder	-1 097	-1 186
Statliga avgifter	-1 171	-1 224
Övriga räntekostnader	-232	-192
Summa	-6 479	-13 687
 Avgår räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	 -38	 84
Summa räntekostnader	-6 441	-13 761
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	-5 010	-11 658
 Räntenetto	29 391	29 070

På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som säkras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntetäcknader och räntekostnader.

K4 Provisionsnetto

mil	2021	2020
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	555	577
Fonder	5 842	4 304
Depå och övrig kapitalförvaltning	905	744
Rådgivning	230	203
Försäkringar	803	679
Betalningar	2 647	2 695
Ut- och inlåning	1 155	1 185
Garantier	207	263
Övrigt	560	555
Summa provisionsintäkter	12 904	11 206
 Värdepapper	-211	-221
Betalningar	-1 168	-1 247
Övrigt	-67	-67
Summa provisionskostnader	-1 446	-1 535
 Provisionsnetto	11 458	9 670

Provisionsintäkter per segment 2021								
mil	Sverige	Storbritannien	Norge	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och eliminerings	Totalt
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	245	7	21	7	290	-4	-11	555
Fonder	4 655	317	231	135	350	154	-40	5 842
Depå och övrig kapitalförvaltning	659	33	105	73	47	3	-15	905
Rådgivning	2	46	0	-	213	-6	-25	230
Försäkringar	828	-	43	-	-33	-8	-27	803
Betalningar	2 150	270	239	2	16	-8	-2	2 647
Ut- och inlåning	752	122	88	18	47	128	0	1 155
Garantier	101	16	40	1	51	-	-2	207
Övrigt	523	5	4	0	279	1	-252	560
Summa provisionsintäkter	9 805	816	771	236	1 260	300	-374	12 904

NOTER | KONCERNEN

K4 Forts

Provisionsintäkter per segment 2020								
mkr	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och eliminerings	Totalt
Courtag och övriga värdepappersprovisioner	230	7	18	13	315	7	-13	577
Fonder	3 353	257	151	48	414	137	-66	4 304
Depå och övrig kapitalförvaltning	491	36	68	60	133	-43	-1	744
Rådgivning	0	30	1	-	188	-24	-1	203
Försäkringar	837	0	37	-	-159	-13	-23	679
Betalningar	2 185	252	229	2	27	-7	-3	2 695
Ut- och inlåning	737	143	79	19	50	158	-1	1 185
Garantier	125	19	43	1	74	-	-	253
Övrigt	506	4	3	1	276	3	-238	555
Summa provisionsintäkter	8 485	777	629	144	1 318	218	-348	11 206

Provisionsintäkter avser intäkter från avtal med kunder. Intäkter från Courtag och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, det vill säga vid en viss tidpunkt. I Betalningar ingår kortutgivning och kortintäsen. Intäkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, det vill säga inlärt över tid.

K5 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2021	2020
Upplupet anskaffningsvärde	300	139
varav lån	395	285
varav räntebärande värdepapper	-	0
varav smittade värdepapper	-95	-127
Verkligt värde via övrigt totalresultat	0	-1
varav förväntade kreditförluster	0	-1
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	-900	304
varav räntebärande värdepapper	-900	304
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt inköpsalternativ	2 347	844
Säkringsredovisning	0	49
varav nettoresultat säkringar av verkligt värde	7	49
varav ineffektivitet i kassaflödsräkningar	-7	0
Resultat från den finansiella komponenten i försäkringskontrakt	-48	-118
Summa	1 699	1 217

Den ackumulerade värdeförändring som beror på förändringar av kreditrisk från det första redovisningstillfället för finansiella tillgångar som klassificerats till verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, uppgår till -165 mkr (257).

K6 Riskresultat försäkring

mkr	2021	2020
Premieinkomst	498	493
Utbetalda försäkringsersättningar	-332	-358
Förändring avsättningar oreglerade skador	-8	9
Övrigt	21	50
Summa	179	104

K7 Övriga intäkter

mkr	2021	2020
Hyrinntäkter	34	32
Andra rörelseintäkter ¹	521	105
Summa	555	137

¹ Svenska Handelsbanken AB sålde korttidsverksamheten till Worldline den 18 oktober 2021. Försäljningen påverkar andra rörelseintäkter med 408 mkr under 2021.

NOTER | KONCERNEN

K8 Personalkostnader

mil	2021	2020
Löner och arvoden	-8 196	-8 256
Socialavgifter	-2 049	-2 044
Pensionskostnader ¹	-1 849	-1 757
Avstättning till resultatändelsystem	-69	-213
Andra personalkostnader	-289	-1 637
Summa	-12 452	-13 907

Personalkostnader hänförliga till avvecklad verksamhet i Danmark och Finland framgår av not K13 Tillgångar och skulder som innehas för försäkring samt avvecklad verksamhet.

¹ Komponenterna i redovisade pensionskostnader framgår av tabellen Pensionskostnader.

Löner och arvoden mil	2021	2020
Ledande befattningshavare ²	- 113	- 121
Övriga	-8 083	-8 135
Summa	-8 196	-8 256

² Ledande befattningshavare i moderbolaget samt vd:ar, vice vd:ar och styrelser i dotterbolag (i genomsnitt 44 personer).

Könsfördelning %	2021		2020	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Ledande befattningshavare exklusive styrelser	71	29	69	31
varav i moderbolaget	70	30	80	20
varav i dotterbolag	77	29	63	37
Styrelser	65	35	66	34
varav i moderbolaget	50	50	50	50
varav i dotterbolag	68	32	68	32

Medelantal anställda	2021	Män	Kvinnor	2020	Män	Kvinnor
Sverige	6 984	3 372	3 612	7 320	3 498	3 822
Storbritannien	2 667	1 512	1 155	2 574	1 445	1 129
Norge	801	414	387	788	418	370
Nederländerna	361	231	130	352	229	123
USA	55	34	21	59	38	21
Kina	16	8	8	58	23	35
Luxemburg	47	25	22	45	24	21
Singapore	5	1	4	23	7	16
Tyskland	21	9	12	34	17	17
Polen	16	4	12	24	9	15
Övriga länder	66	28	38	77	32	45
Summa	11 090	5 638	5 401	11 354	5 740	5 614

Medelantal anställda i avvecklad verksamhet i Danmark och Finland framgår av not K13 Tillgångar och skulder som innehas för försäkring samt avvecklad verksamhet.

Enskiftnings ¹ över en miljon EUR Antal personer	2021	2020
Lönesteg 1,0–1,5 m euro	2	2
Lönesteg 1,5–2,0 m euro	1	1
Lönesteg 2,0–2,5 m euro	-	-
Lönesteg över 2,5 m euro	-	-
Summa	3	3

¹ Inklusive in tjänad pension och andra löneförmåner.

NOTER | KONCERNEN

K8 Forts

Ersättningar ¹ till riktdagare ² , segment	2021		2020	
	Ersättning	Antal personer	Ersättning	Antal personer
mkr				
Handelsbanken Sverige	428	377	545	436
Handelsbanken Storbritannien	400	253	425	274
Handelsbanken Norge	113	59	104	58
Handelsbanken Nederländerna	71	48	74	48
Handelsbanken Capital Markets	188	59	177	48
Avvecklad verksamhet ³	170	107	204	123
Övrigt	321	131	313	133
Summa	1 761	1 034	1 842	1 120

Ersättningar ¹ till riktdagare ²	2021		2020	
	Verkställande ledning ⁴	Övriga riktdagare	Verkställande ledning ⁴	Övriga riktdagare
Injånade fasta ersättningar, mkr	74	1 630	78	1 719
Injånade prestationsbaserade rörliga ersättningar, mkr	-	-	-	-
Injånade övriga rörliga ersättningar, mkr	0	57	0	45
Summa	74	1 687	78	1 764
Antal personer som enbart fått fast ersättning	-	-	12	1 089
Antal personer som har möjlighet att få både fast och prestationsbaserad ersättning	-	-	-	-
Antal personer med både fast och rörlig ersättning	11	1 023	-	19
Summa antal personer	11	1 023	12	1 108
Garanterade kostnadsfördelade rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr	-	-	-	-
Uttäta garanterade rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr	-	-	-	-

¹ Injånade ersättningar inklusive pension och andra löneförmåner har kostnadsförts i sin helhet. Prestationsbaserade rörliga ersättningar fördelas på individuell nivå under räkenskapsåret efter injånningen och betalas ut eller skjuts upp i enlighet med bankens policy för rörliga ersättningar. Under 2021 och 2020 har inga anställda, identifierade som riktdagare på grund av sina arbetsuppgifter, tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning. En anställd som på grund av sin nivå på ersättning har identifierats som riktdagare, har under 2020 tilldelats prestationsbaserad rörlig ersättning utgående till 1 mkr. Under 2020 har uppskjutna prestationsbaserade rörliga ersättningar till riktdagare, på grund av sina arbetsuppgifter, injånade före 2017 betalats ut med 2 mkr. Därmed är samtliga uppskjutna ersättningar till dessa riktdagare utbetalade. Till riktdagare, identifierade på grund av nivån på ersättning, utgår utgående uppskjutna ersättningar till - mkr (0,5). Förtägarunderskriften över uppskjutna ersättningar övergår till den anställda vid utbetalningstillfället. All prestationsbaserad rörlig ersättning betalas ut kontant eller i finansiella instrument. Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Övrig rörlig ersättning avser utbetalning av resultatdelssystemet Oktogonen och uttärta avgångsvederlag. Utbetalning av resultatdelssystemet Oktogonen uppgår till 14 mkr (-). Beloppet är exklusive socialavgifter. Totalt uttärta avgångsvederlag under året uppgår till 43 mkr (45) varav det enskilt högsta uppgår till 4,0 mkr (7,5). Under året har avgångsvederlag till 47 (12) riktdagare betalats ut med 67 mkr (15). Garanterad rörlig ersättning förekommer inte.

² Anställda vars arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 2023/2021. Riktdagare eller annan särskilt reglerad personal med rörlig ersättning kan finnas i dotterbolag vars ersättningspolicy följer av annan EU-förordning eller annan av Finansinspektionen publicerad föreskrift.

³ Avvecklad verksamhet i Danmark och Finland.

⁴ Finansinspektionen använder begreppet verkställande ledning i sina föreskrifter FFFS 2011:1. I Handelsbanken motsvaras detta av bankens Ledande befattningshavare.

NOTER | KONCERNEN

K6 Forts

ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA

Information om ersättningsprinciper till samtliga anställda i Handelsbankenkonsolidationen beskrivs närmare i bolagsstyrningsrapporten på sidan 85.

Enligt Finansinspektionens föreskrift FFFS 2011:1 och enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 575/2013 samt (EU) 923/2021 ska banker identifiera anställda vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil. Handelsbanken har identifierat 1 034 (1 120) medarbetare med sådana arbetsuppgifter och benämner dem risktagare. I tabellerna ovan redogörs för Handelsbankens ersättningar till dessa risktagare enligt upplysningskrav i ovan nämnda regelverk. Under 2021 har Handelsbankenkonsolidationen inga anställda, vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil, som har tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning.

Handelsbanken har för räkenskapsåret 2021 gjort en avsättning till resultatandelssystemet Oktogonen om 88 mkr. För räkenskapsåret 2020 gjordes en avsättning till resultatandelssystemet Oktogonen om 213 mkr.

Resultatandelssystemet Oktogonen

Resultatandelssystemet Oktogonen omfattar samtliga anställda i Handelsbankenkonsolidationen. Avsättningen klassificeras som rörlig ersättning och baseras på ett lönsamhetsmått kopplat till Handelsbankens företagsmål är uppfylla och styrelsens samlade bedömning avseende bankens utveckling. Utbetalning sker i huvudsak kontant till medarbetaren alternativt till ett pensionssparande, sparplan eller som en kombination.

Aktierelaterade ersättningar

Från och med intjänandeåret 2020 omfattas samtliga anställda i Handelsbanken plc av ett program för aktierelaterad ersättning Share Incentive Plan (SIP), vilken följer lagstiftningen i Storbritannien. Ersättningen regleras med aktier i moderbolaget Handelsbanken AB. En SIP erfordrar att en brittisk stiftelse används för att hantera programmet för den aktierelaterade ersättningen för företagets räkning. En stiftelse har därför etablerats och stiftelsen administreras av en förvaltare. Stiftelsen förvärfvar och allokerar

aktier till de anställda samt innehar de tilldelade aktierna för de anställdas räkning. De anställda måste behålla sina tilldelade aktier i stiftelsen i minst fem år, annars kan det uppstå skattemässiga konsekvenser för de anställda. Utdelning som erhålls under perioden som aktierna kvarstår i stiftelsen tillfaller de anställda.

Förutsättningarna för avsättning till SIP och intjänandevillkoren är desamma som för avsättning till resultatandelssystemet Oktogonen. Intjänandeperioden är således föregående räkenskapsår. Se avsnitt Ersättningsprinciper i Handelsbanken. Styrelsen i Handelsbanken plc fattar beslut om den slutliga avsättningen till Incentivesprogrammet SIP.

Under verksamhetsåret 2021 har aktierelaterade ersättningar om 37,5 mkr kostnadsförts avseende intjänandeåret 2020, vilka redovisats som en ökning av det egna kapitalet. Bankens kostnad för den aktierelaterade ersättningen kan därefter inte förändras. Ersättningsgarna har reglerats genom att stiftelsen förvärvat 395 865 aktier i Handelsbanken AB på marknaden till ett genomsnittligt marknadspris om 97,3 kr per

Ersättning till verkställande direktör, vice verkställande direktörer och koncernledning samt chefer för kontrollfunktioner

	Fast ersättning				Rörlig ersättning		Pensionskostnader för försäkrings- och premiebästa planer		Fast och rörlig ersättning inklusive pensionskostnader		Andel fast ersättning i total ersättning	
	Grundlön		Förmåner		2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020
	2021	2020	2021	2020								
mkr												
Verkställande direktör												
Carina Åkerström ¹	13,3	12,5	0,5	0,4	0,0	-	4,6	4,4	18,4	17,3	100%	100%
Vice verkställande direktör												
Carl Cederschiöld ^{2,3}	6,4	-	0,1	-	0,0	-	2,1	-	8,6	-	100%	-
Pär Beckman ⁴	6,2	6,1	0,3	0,3	0,0	-	4,3	4,1	10,8	10,5	100%	100%
Dag Tjernemo ^{5,6}	-	4,0	-	0,3	-	-	-	3,2	-	7,5	-	100%
Nina Arfvidsson ^{4,6}	-	0,6	-	0,0	-	-	-	0,2	-	0,8	-	100%
Lars Mossige ^{4,6}	-	4,3	-	0,3	-	-	-	1,7	-	6,3	-	100%
Mikael Sörensen ^{4,6,7}	-	9,4	-	1,7	-	-	-	-	-	11,1	-	100%
Övrig koncernledning samt kontrollfunktioner⁸	25,7	30,9	1,5	1,4	0,1	-	8,2	7,3	35,5	39,6	100%	100%
Genomsnittligt antal personer; vd, vd, koncernledning och kontrollfunktioner	10	12										
Antal personer per december; vd, vd, koncernledning och kontrollfunktioner	10	10										

Pensionskostnaden avser pensionsintjänning under förmånsbestämda pensionsplaner i enlighet med IAS 19 alternativt betald premie för premiebästa planer. Intjänad förmånsbestämd pension är omfattad och tryggas i bankens pensionsstiftelse eller försäkras i bankens pensionskassa. Vid avgång ur tjänst före pensionsåldern erhåller frivillig på intjänad förmåns- och/eller premiebästa pension. Utbetalning av rörlig ersättning i form av resultatandelssystemet Oktogonen har gjorts 2021. Förelöslig skatt och socialavgifter uppgick beloppet till 16 742 kr per anställd.

¹ Premiebästa pension om 35% av lönen från och med tillträdet som vd. Pensionsåldern är 65 år. Tidigare intjänad förmånsbestämd pension är lagd i frivillig.

² Förmånsbestämd pension med 65% av lönen vid 60 års ålder samt en pensionspremie uppgående till 2% av lönen. Den förmånsbestämda ålderspensionen intjänas successivt under anställningstiden och är för dessa personer fullt intjänad vid 60 års ålder.

³ Avgick som vice verkställande direktör 2020-12-15.

⁴ Avgick som vice verkställande direktör 2020-01-29 och lämnade sin anställning 2020-07-28.

⁵ Premiebästa pension om 35% av lönen. Pensionsåldern är 65 år.

⁶ Ersättning från Handelsbanken plc.

⁷ Ingen pensionsintjänning.

⁸ Tillträde som vice verkställande direktör 2021-02-02.

⁹ Förmånsbestämd pension enligt kollektivavtal i kombination med en premiebästa pension som uppgår till 30% av lönen över 30 inkomstbasbelopp. Pensionsåldern är 65 år och den förmånsbestämda ålderspensionen är fullt intjänad vid pensionsåldern.

¹⁰ Övriga lödande befattningshavare, anställda i banken, erhåller en förmånsbestämd eller en premiebästa pension enligt kollektivavtal i kombination med en premiebästa pension som uppgår till som mest 35% av lönen. Pensionsåldern är 65 år och den förmånsbestämda ålderspensionen är fullt intjänad vid pensionsåldern. Belopp för grundlön och pension anges före eventuell lönevidring. Bland övrig koncernledning och kontrollfunktioner har 3 anställda väskat 2,8 mkr från lön till pension.

K8 Forts

aktie, vilka tilldelats de anställda. I koncernen utgör förvärv av aktier i Handelsbanken AB återköp av egna aktier, vilka har minskat det egna kapitalet. Se Förändring i eget kapital.

ERSÄTTNINGAR TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Ledande befattningshavare i Handelsbanken är ledamöter i styrelsen, medlemmar i koncernledningen, vice verkställande direktörer samt cheferna för Group Risk Control och Group Compliance, se även Bolagsstyrningsrapporten sidorna 88–91. Ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget följer av årsstämman 2021 fastställda ersättningsriktlinjer, se även sidan 86.

Upplysningar om ersättningar, pensionsförpliktelser samt om krediter till och inlåning från ledande befattningshavare i Handelsbanken lämnas på dessa sidor. Det gäller även för dotterbolagens verkställande direktörer, vice verkställande direktörer och styrelseledamöter.

Ersättning till ledande befattningshavare i Handelsbankkoncernen utgår endast i form av fast lön och avsättning till pension samt sedvanliga förmåner som till exempel tjänstebil. Som en del av ersättningen kan banken även tillhandahålla en tjänstebostad efter särskilt styrelsebeslut. De ledande befattningshavarna omfattas, på samma villkor som alla anställda i banken, av resultatandelssystemet Oktogonen. Prestationsbaserad rörlig ersättning förekommer inte. Ledande befattningshavare som är anställd i banken har rätt att växla lön till pension på samma villkor som gäller för alla medarbetare.

Styrelseledamöter som inte är anställda i banken eller i bankens dotterbolag har endast erhållit arvode enligt årsstämmans beslut.

Styrelseledamöter som är anställda i banken eller bankens dotterbolag erhåller ersättning och pensionsförmåner med anledning av sin anställning. Inga ytterligare ersättningar eller pensionsförmåner utgår på grund av styrelseuppdraget. Information om arvode till styrelse-

ledamöter i moderbolaget finns på sidorna 88–91 i bolagsstyrningsrapporten.

Den pensionskostnad som banken anger i nedanstående ersättningsuppgifter för ledande befattningshavare utgörs av service cost enligt IAS19 avseende förmånsbestämda pensioner, avtalad premie för premiebestämda pensioner och eventuell pensionspremie som värdats från lön.

Arvoden från externa styrelseuppdrag för bankens räkning har levererats in till banken.

Ersättningar till ledande befattningshavare i dotterbolag

Arvode till styrelseledamöter i dotterbolag, 16 personer (19), vilka inte är anställda i banken eller dess dotterbolag uppgår till 8,0 mkr (6,6).

Verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag, 14 personer (15), har år 2021 erhållit fasta löner efter växling till pension om 46,5 mkr (50,9). Övriga löneförmåner utgör 3,3 mkr (3,8) och pensionskostnaden uppgick till 6,2 mkr (9,7). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 5,6 mkr (9,3), vilket motsvarar 12,0% (18,2) av lönen. Rörlig ersättning i form av resultatandelssystemet Oktogonen uppgick till 0,2 mkr (0,0).

Ersättning utges inte till verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag vilka har en annan huvudsaklig arbetsuppgift i Handelsbanken.

PENSIONSFRÖPLIKTELSE TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Pensionsförpliktelser¹ för verkställande direktören, Carina Åkerström, intjänad före tillträdet som verkställande direktör och nu lagd i så kallat fri brev uppgick till 92,3 mkr (101,4) per den 31 december 2021. Pensionsförpliktelser för vice verkställande direktören, Per Beckman, uppgick till 114,7 mkr (122,0) per den 31 december 2021 och för övriga ledande befattningshavare i moderbolaget, 8 personer (8), till 72,2 mkr (70,2).

Pensionsförpliktelserna i Handelsbankkoncernen för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare uppgick till 2 722 mkr (3 062) per den 31 december 2021 varav pensionsförpliktelserna för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick till 2 544 mkr (2 882) per den 31 december 2021. Antal personer som omfattas av dessa förpliktelser är i koncernen 89 (85), varav 71 är pensionärer (68). Motsvarande antal för moderbolaget är 74 (71), varav 64 är pensionärer (61).

KREDITER TILL OCH INLÅNING FRÅN LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Krediter till ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick per den 31 december 2021 i moderbolaget till 1,3 mkr (1,4) och i dotterbolagen till 98,4 mkr (90,1). Inlåning till moderbolaget från dessa personer uppgick till 263,1 mkr (433,1). Bankens räntetäckter från dessa personer för krediter i moderbolaget uppgick för 2021 till 0,0 mkr (0,1) och i dotterbolagen till 1,2 mkr (1,2). Erlagd ränta till dessa personer för inlåning i moderbolaget uppgick till 0,9 mkr (1,6).

Krediter till ledande befattningshavare i dotterbolagen uppgick per den 31 december 2021 i Handelsbankkoncernen till 104,8 mkr (123,2).

Villkor för krediter och inlåning för ledande befattningshavare som är anställda i Handelsbankkoncernen är i enlighet med samma principer som för alla andra medarbetare i koncernen. Alla krediter beviljas efter kreditprövning.

¹ Pensionsförpliktelser avser belopp som banken enligt IAS19 reserverar för utbetalning av framtida förmånsbestämda pensioner. Storlek på belopp beror på finansiella och demografiska antaganden vilka kan ändras mellan åren.

NOTER | KONCERNEN

K6 Forts

PENSIONER

Pensionsförpliktelser, netto mkr	2021	2020
Pensionsförpliktelser	34 841	37 761
Förvaltningsstillgångarnas verkligavärde	43 607	39 766
Pensionsnetto	8 766	2 005

Utöver pensionsförpliktelserna och förvaltningsstillgångarna i tabellen ovan finns inom Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avsättningar som gjorts under åren 1989–2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I den ingår förvaltningsstillgångarnas marknadsvärde uppgår till 8 948 mkr (2 692). SKP:n medför en utfästelse för banken uppgående till samma belopp som förvaltningsstillgångarna.

En del av denna utfästelse, 6 694 mkr (7 276), är villkorad.

Med anledning av att verksamheten i Tyskland avvecklades överfördes all förmånsbestämd pension inlösnad till och med den 30 november 2020, uppgående till 61 mkr, till BW (Branchenversicherungswerk der Banken und Finanzdienstleistungsinstitute).

Pensionskostnader mkr	2021	2020
Pensioner inlösnade under året	-947	-982
Pensioner inlösnade under tidigare år	0	0
Ränta på pensionsförpliktelserna	-563	-614
Ränta på förvaltningsstillgångar	597	626
Vinster och förluster från regleringar och redovisningar ¹	0	48
Socialavgifter, förmånsbestämda planer	0	0
Pensionskostnader, förmånsbestämda planer	-913	-922
Pensionskostnader, premiebestämda planer ²	-674	-645
Socialavgifter, premiebestämda planer ²	-262	-191
Summa pensionskostnader	-1 849	-1 758

¹ Övertillgång av den tyska förmånsbestämda pensionsplanen under 2020, gav per den 31 december 2020 en positiv effekt på pensionskostnaden med 48 mkr.

² Pensionskostnader hänförliga till avvecklad verksamhet i Danmark och Finland framgår av not K13 Tillgångar och skulder som innehas för försäkring samt avvecklad verksamhet.

Pensionsförpliktelser mkr	2021	2020
Ingående balans	37 761	35 724
Pensioner inlösnade under året	988	982
Pensioner inlösnade under tidigare år	0	0
Ränta på pensionsförpliktelserna	563	614
Betalda förmåner	-1 062	-1 005
Vinster och förluster från regleringar och redovisningar	0	-56
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	-3 725	1 810
Valutaeffekt	316	-307
Utgående balans	34 841	37 761

Förvaltningsstillgångar mkr	2021	2020
Ingående balans	39 766	36 378
Pensioner inlösnade under tidigare år	-	-
Ränta på förvaltningsstillgångar	597	626
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	871	625
Erstatning till arbetsgivaren	-674	-545
Vinster och förluster från regleringar och redovisningar	0	-8
Utbetalda medel direkt till anställd	-329	-417
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	3 095	3 376
Valutaeffekt	281	-269
Utgående balans	43 607	39 766

Avkastning på förvaltningsstillgångar mkr	2021	2020
Ränta på förvaltningsstillgångar	597	626
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	3 095	3 376
Verklig avkastning	3 692	4 002

Fördelning av förvaltningsstillgångar mkr	2021	2020
Noterade aktier och fondandelar ³	33 259	32 484
Icke-noterade aktier och andelar	1 709	711
Noterade räntebärande värdepapper	7 595	5 219
Övriga förvaltningsstillgångar	1 034	1 352
Summa	43 607	39 766

³ Fondandelarna uppgår till 21 299 mkr (11 180) varav räntefonder 16 287 mkr (10 172).

I förvaltningsstillgångarna ingår aktier i Svenska Handelsbanken AB (publ) med ett marknadsvärde om - mkr (101) på balansdagen den 31 december 2021. I övriga förvaltningsstillgångar ingår främst likvida medel och en skuld avseende ännu ej utbetald götgbörelse.

NOTER | KONCERNEN

K8 Forts

Aktuariella vinster (-)/förluster (+), pensionsförpliktelser mkr	2021	2020
Ändringar i demografiska antaganden	219	-100
Ändringar i finansiella antaganden	-3 873	1 735
Erfarenhetsbaserade justeringar	-71	175
Summa	-3 725	1 810

Framtida kassaflöden mkr	Utfall 2021	Prognos 2022
Betalda förmåner	-1 062	-967
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	871	731

Förmånsbestämd pension intjänas huvudsakligen av anställda i Sverige. Av den totala pensionsförpliktsen avser 3 1681 mkr (34 662) den svenska planen och 3 069 mkr (3 036) den för nyinföring stängda planen i Storbritannien. Därutöver finns förmånsbestämda planer av mindre omfattning kvar i Norge respektive Tyskland. Dessa är med hänseende till sin storlek oväsentliga och redogörs därför inte för närmare.

Av de totala förvaltningsåtgångarna avser 40 437 mkr (36 568) den svenska planen och 3 170 mkr (2 790) den stängda planen i Storbritannien.

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/SACO-förbunden med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På lönnedel i inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årslönen. På lönnedel överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension. Från och med den 1 mars 2020, tjänar alla nyanställda och anställda yngre än 25 år in pension i en premiebestämd pensionsplan. Anställda före den 1 mars 2020 påverkas inte utan är fortsatt medlemmar i den förmånsbestämda pensionsplanen.

Pensionsplanerna är exakt förklarade, där förvaltningsåtgångarna innehåller av pensionskassa, stiftelser eller liknande juridiska personer. Dessa verksamheter regleras av nationella bestämmelser och praxis, vilka även reglerar förhållandet mellan koncernen och förvaltaren (eller motsvarande) av förvaltningsåtgångar, samt sätter ramarna för hur förvaltningsåtgångar får placeras. I Sverige är det främst byggandelagen och lagen om tjänstepensionsföretag som är tillämplig. I Storbritannien tillämpas standard UK pensions and tax law.

Väsentliga antaganden	Sverige		Storbritannien	
	2021	2020	2021	2020
Diskonteringsränta, %	2,1	1,50	1,80	1,80
Förväntad lönnedling, %	3,5	3,5	N/A	N/A
Pensionsuppträning, %	2,0	2,0	3,3	3,0
Inkomstbasbelopp, %	3,0	3,0	N/A	N/A
Inflation, %	2,0	2,0	3,5	3,1
Personalsättning, %	4,0	4,0	N/A	N/A
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	23,1	23,1	24,0	24,0
Genomsnittlig duration (Macaulay), år	17,3	18,7	19,0	20,0

Känslighetsanalys	Påverkan på pensionsförpliktsen				
	Ändring i antagande	Ökad pensionsförpliktsen, mkr		Minskad pensionsförpliktsen, mkr	
		2021	2020	2021	2020
Diskonteringsränta, %	0,5	3 201	3 959	-2 998	-3 454
Förväntad lönnedling, %	1,0	1 638	1 477	-1 369	-2 349
Pensionsuppträning, %	0,5	1 875	2 230	-1 742	-2 052
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	1,0	1 238	1 474	-1 232	-1 456

Känslighetsanalysen ovan baseras på att ett antagande förändras och övriga antaganden är konstanta. I praktiken är det osannolikt att detta inträffar och förändringar i vissa antaganden kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten i pensionsförpliktsen för förändringar i väsentliga antaganden, har samma metod använts för att beräkna pensionsförpliktsen som den som använts för den redovisade pensionsförpliktsen. Metoden beskrivs närmare i bankens redovisningsprinciper (se not K1, avsnitt 15). Jämfört med årsredovisningen 2020 har det inte skett några förändringar i de metoder som använts vid upprättandet av känslighetsanalysen.

Genom sina förmånsbestämda pensionsplaner är banken exponerad för ett antal risker. De viktigaste riskerna beskrivs nedan:

Tillgångsvolatilitet: Pensionsförpliktsen beräknas med hjälp av en diskonteringsränta som baseras på företagsobligationer. Om förvaltningsåtgångar genererar sämre avkastning än diskonteringsräntan är risken för att underskott uppstår låg eftersom förvaltningsåtgångarna har ett övertäckande. I förvaltningsåtgångarna ingår en betydande andel aktier, vilket förväntas ge högre avkastning än företagsobligationer på lång sikt, samtidigt som det ger högre volatilitet och risk på kort sikt. Med anledning av pensionsförpliktsens långsiktiga karaktär anser banken att en betydande andel aktier är lämplig för att hantera planerna effektivt.

Förändringar i obligationerintet: Om företagsobligationsräntorna sjunker så kommer pensionsförpliktsen att öka. Detta kommer dock delvis att kompenseras genom att värdet av de obligationer som ingår i förvaltningsåtgångarna kommer att öka.

Inflationerisik: Pensionsförpliktserna är kopplade till inflationen. Högre inflation kommer att leda till att pensionsförpliktsen ökar. Värdet av förvaltningsåtgångarna påverkas inte direkt av inflationen i någon väsentlig utsträckning. Om inflationen ökar så kommer det sannolikt att leda till ett ökat underskott i pensionsplanerna.

Förväntad livslängd: Styrelsen med pensionsplanerna är att generera en pension som sträcker sig över den anställdas livstid. Detta innebär att om den förväntade livslängden ökar så kommer pensionsförpliktsen att öka.

Matchning av tillgångar och skulden: Placering av tillgångar utgår från utfästelseas sammansättning och förväntade utveckling. Den övergripande målsättningen är att placeringstillgångarnas avkastning på medellång och lång sikt minst ska motsvara pensionsförpliktsens utveckling. En betydande andel av tillgångarna har investerats i aktier, men investeringar har även gjorts i räntebärande instrument och likvida medel. En betydande andel aktier anses lämplig för att hantera planerna effektivt.

Fondering: Lägsta fonderingskrav skiljer sig åt mellan planer, men där sådana krav är baserade på kollektivt avtal eller internt fastställt policy så är fonderingskravet normalt att pensionsförpliktsen värderas till likvärdig nivå ska täckas fullt ut. Fonderingsnivån övervakas löpande. Bankens anses att den nuvarande avgiftsnivån är lämplig.

NOTER | KONCERNEN

K9 Övriga kostnader

mk	2021	2020
Fastigheter och lokaler	-545	-574
Externa datakostnader	-2 188	-1 720
Kommunikation	-257	-284
Resor och marknadsföring	-128	-130
Köpta tjänster	-1 884	-1 785
Materialanskaffning	-140	-159
Andra omkostnader	-435	-593
Summa	-5 677	-6 245

Erstättning till revisorer och revisionsbolag	Ernst & Young AB		PricewaterhouseCoopers AB	
mk	2021	2020	2021	2020
Revisionsuppdraget	-26	-26	-4	-4
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-2	-2	0	-
Skatteredgivning	0	0	-	-
Övriga tjänster	-	0	-	-

K10 Kreditförluster

mk	2021	2020
Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen		
Årets reservering Slag 3	-403	-551
Slag 3 reservering tidigare år som återförts	173	394
Summa förväntade kreditförluster i Slag 3	-230	-157
Årets nettoreservering Slag 2	188	-423
Årets nettoreservering Slag 1	-9	-31
Summa förväntade kreditförluster i Slag 1 och Slag 2	179	-454
Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen	-51	-611
Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen		
Årets nettoreservering Slag 3	26	4
Årets nettoreservering Slag 2	11	-82
Årets nettoreservering Slag 1	-18	-22
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	19	-100
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster ¹	-363	-1 738
Utryttad andel av tidigare reserverat i Slag 3	281	1 670
Summa bortskrivningar	-82	-68
Återvinningar	71	130
Kreditförluster, netto	-43	-849
varav utövning till allmänheten	-65	-546

¹ Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 105 mkr (283) av efterbevakning.

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

COVID-19 EFFEKT KREDITFÖRLUSTER

mkr	2021	2020
1) Förväntade kreditförluster i Stag 31 och utanför balansräkningen	-204	-108
Förändring i modellbaserad reservering för Stag 1 och Stag 2:		
Uppdatering av makroekonomiska scenarier och riskfaktorer	45	-5
Flytt av exponeringar i utsatta branscher från Stag 1 till Stag 2 ¹	2	-41
Förändring i fallissemangsrisk i ingående portfölj (netto ratingförändringar)	-36	-153
Effekt av exponeringsförändring (oöfentliga, nya och avslutade exponeringar)	49	114
Övrigt i Stag 1 och Stag 2	128	38
Avgår avskedad verksamhet	-13	-15
Modellbaserade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	178	-62
Expertbaserad reservering avseende covid-19 (stress av ECL 12 månader, i Stag 1 och Stag 2)		
Reservering för stress av utsatta branscher enligt antaganden	-675	-653
Reduktion, baserat på 80% sannolikhet för stress, 90% i UK och 100% för hotell	98	99
Avgår avskedad verksamhet	78	68
Expertbaserade kreditförluster Stag 1 och Stag 2	-499	-406
Expertbaserade kreditförluster Stag 1 och Stag 2 (förändring i reservering jämfört med föregående år)	-3	-406
2) Förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 i och utanför balansräkningen	172	-558
3) Bortskrivningar	-82	-88
4) Återvinningar	71	130
Kreditförluster, netto (1+2+3+4)	-43	-640

¹Expertbaserad bedömning av signifikant ökning av kreditrisk.

Reserveringsbehovet har minskat under 2021. Detta förklaras främst av fyra förklaringsposter som snarare är av likartad storlek. En av dessa är uppdaterade värden på de framtidsbaserade makroekonomiska riskfaktorer där BNP har ökat, arbetslösheten har minskat och framtida värden på säkerheter har ökat jämfört med prognosen föregående årsskifte. De övriga tre huvudsakliga faktorerna är minskade kreditvolymer till relativt svaga kunder, volymer som övergått till Stag 3 på grund av ändrad definition av fallissemang samt valutaeffekter. I viss mån har dessa faktorer motverkats av negativ ratingmigration i befintlig portfölj. Reserveringsbehovet relaterat till en expertbedömd covid-19 pandemieffekt har varit stabilt under året.

De makroekonomiska scenarierna har uppdaterats löpande under året utifrån de aktuella marknadsförutsättningarna. Urvalet av makroekonomiska riskfaktorer och sannolikhetsviktningen 15%/70%/15% (15%/70%/15%) för negativt/neutralt/positivt scenario har varit oförändrat under året.

För att införliva uppskattad effekt avseende covid-19-pandemin från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen har sedan 2020 en expertbaserad beräkning utförts på aggregerad nivå för att justera de modellbaserade beräkningarna för utvalda delportföljer. Ett stressat scenario för dessa delportföljer har jämförts med den modellbaserade beräkningen per 2021-12-31 och mellanskillnaden utgör den expertbaserade beräkningen. Därefter har banken bedömt sannolikheten för att utfallet av den expertbaserade beräkningen ska inträffa och kommit fram till ett tillkommande reserveringsbehov på 499 mkr (49%). De stressade delportföljerna omfattar alla privatkunder exklusive bolån och företag som efter en bedömning anses tillhöra en bransch som är extra utsatt i covid-19-pandemin. De utsatta branscherna utgörs främst av hotell- och restaurangverksamhet samt handel. Särskilda motparter i de identifierade sektorerna, baserat på expertbedömning, har exkluderats då reserveringsbehovet bedöms fångas fullt ut i den modellbaserade

beräkningen. För både företag och privatpersoner är det riskparametern sannolikheten för fallissemang (PD) som har stressats under de kommande 12 månaderna. Utöver denna stress har även en expertbaserad bedömning tillkommit för företag inom de branscher som är extra utsatta i covid-19-pandemin och som har kreditrisk högre än normalt. Dessa företag anses ha en signifikant ökning av kreditrisk bara genom sin branschtillhörighet och rating och placeras i Stag 2 oavsett hur stor förändringen av den modellerade kreditrisken varit sedan kreditens utgivande. För privatpersoner har den ökade sannolikheten för arbetslöshet beaktats i den beräknade reserveringen.

Processen för nedskrivningsprövning för avtal i Stag 3 har inte ändrats på grund av covid-19-pandemin utan följer sedvanlig rutin med individuell bedömning.

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2021

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3 ¹	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	439 932	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	1 462	-	-	-	-	-
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	421	-	-	-	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	21 833	10	-	-2	-3	-
Utlåning till allmänheten	2 345 196	64 390	7 421	-395	-690	-2 093
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 016	-	-	-2	-	-
Summa	2 817 860	64 400	7 421	-399	-693	-2 093
Poster utanför balansräkningen						
Eventualförpliktelser	406 024	9 477	336	-109	-144	-91
varav ansvarsförbindelser	70 375	1 265	116	-9	-10	-39
varav åtaganden	335 649	8 212	220	-100	-134	-52
Summa	406 024	9 477	336	-109	-144	-91

Poster i balansräkningen i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2020

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3 ¹	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	397 642	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	21 326	-	-	-	-	-
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	1 181	-	-	0	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	21 911	17	-	-2	-6	-
Utlåning till allmänheten	2 189 683	76 384	7 002	-385	-834	-2 238
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	7 964	-	-	-2	-	-
Summa	2 639 707	76 401	7 002	-389	-840	-2 238
Poster utanför balansräkningen						
Eventualförpliktelser	391 266	10 743	433	-90	-157	-119
varav ansvarsförbindelser	77 829	1 910	156	-8	-16	-70
varav åtaganden	313 437	8 833	277	-82	-141	-49
Summa	391 266	10 743	433	-90	-167	-119

¹ Bruttovoly i Steg 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 3 259 mkr (2 097).

Nyckeltal kreditförbruker		
Utlåning till allmänheten²	2021	2020
Kreditförbruknivå ack, total verksamhet, %	0,00	0,03
Kreditförbruknivå ack, kvarvarande verksamhet, %	0,00	0,02
Total reservförfogegrad, %	0,13	0,15
Reservförfogegrad Steg 1, %	0,02	0,02
Reservförfogegrad Steg 2, %	1,07	1,09
Reservförfogegrad Steg 3, %	28,20	31,97
Andel utlåning i Steg 3, %	0,22	0,21

² Nedanstående nyckeltal inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen 2021-12-31 omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13.

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

FÖRÄNDRINGSANALYSER

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-389	-840	-2 238	-3 467	-363	-444	-3 767	-4 574
Bortbokningar	43	86	143	272	68	106	156	330
Bortskrivningar	0	2	391	393	0	2	1 755	1 757
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-123	151	-72	-44	-235	-123	-71	-429
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-13	-23	-60	-96	19	21	76	116
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-61	-22	-21	-104	-81	-78	-20	-179
Förflyttning till Stag 1	-29	45	2	18	-16	28	3	15
Förflyttning till Stag 2	59	-234	7	-168	109	-501	9	-383
Förflyttning till Stag 3	114	142	-245	11	110	149	-379	-120
Reserv vid årets utgång	-309	-803	-2 093	-3 185	-380	-840	-2 238	-3 467

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-385	-834	-2 238	-3 457	-360	-441	-3 767	-4 568
Bortbokningar	43	86	143	272	68	104	156	328
Bortskrivningar	0	2	391	393	0	2	1 755	1 757
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-124	148	-72	-48	-235	-125	-71	-431
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-13	-23	-60	-96	19	21	76	116
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-60	-22	-21	-103	-80	-77	-20	-177
Förflyttning till Stag 1	-29	45	2	18	-16	28	3	15
Förflyttning till Stag 2	59	-234	7	-168	109	-495	9	-377
Förflyttning till Stag 3	114	142	-245	11	110	149	-379	-120
Reserv vid årets utgång	-305	-800	-2 093	-3 178	-386	-834	-2 238	-3 457

Reserv för förväntade kreditförluster i tabellerna ovan inkluderar avyttringsgrupparna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning, se not K13.

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-90	-157	-119	-366	-69	-66	-106	-241
Bortbokningar	14	27	-	41	22	17	-	39
Bortskrivningar	-	-	-	-	0	0	-	0
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	0	23	28	51	-26	-23	-13	-62
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-7	-25	-	-32	2	3	-	5
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-28	-6	-	-34	-31	-25	-	-56
Förflyttning till Stag 1	-9	19	-	10	-3	5	-	2
Förflyttning till Stag 2	5	-33	-	-28	12	-74	-	-62
Förflyttning till Stag 3	6	8	-	14	3	6	-	9
Reserv vid årets utgång	-109	-144	-91	-344	-90	-157	-110	-358

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet stag per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modell/riskparametrar samt valutaeffekt m.m. beräknas innan eventuell förflyttning av nettobeloppet mellan stag. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stagen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beaktats. Förflyttningsraderna anger effekten på reserven i angivet stag.

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nödskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	2 639 707	76 401	7 002	2 723 110	2 608 906	51 862	8 831	2 668 999
Bortbokningar	-167 405	-8 830	-825	-177 060	-204 174	-8 898	-840	-213 912
Bortskrivningar	-13	-10	-463	-486	-14	-12	-1 808	-1 834
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-99 663	-8 086	-914	-108 663	161 261	-3 211	-803	157 247
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	82 718	3 605	273	86 596	-100 082	-2 595	-271	-102 948
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	363 244	2 839	101	366 184	211 329	3 965	264	215 558
Förflyttning till Steg 1	41 290	-41 207	-83	-	31 460	-31 425	-35	-
Förflyttning till Steg 2	-41 089	41 221	-132	-	-67 551	67 945	-394	-
Förflyttning till Steg 3	-929	-1 533	2 462	-	-828	-1 230	2 058	-
Volymer vid årets utgång	2 817 860	64 400	7 421	2 889 681	2 639 707	76 401	7 002	2 723 110

Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten som är föremål för nödskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	2 189 683	76 384	7 002	2 273 069	2 236 671	51 669	8 831	2 297 171
Bortbokningar	-161 245	-8 821	-825	-170 891	-164 212	-8 745	-831	-173 788
Bortskrivningar	-13	-10	-463	-486	-14	-12	-1 808	-1 834
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	47 220	-8 705	-914	37 601	5 561	-1 523	-812	3 226
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	41 251	3 430	273	44 954	-56 060	-2 595	-271	-58 926
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	229 820	2 839	101	232 760	202 994	3 962	264	207 220
Förflyttning till Steg 1	40 495	-40 412	-83	-	31 460	-31 425	-35	-
Förflyttning till Steg 2	-41 086	41 218	-132	-	-65 889	66 283	-394	-
Förflyttning till Steg 3	-929	-1 533	2 462	-	-828	-1 230	2 058	-
Volymer vid årets utgång	2 345 196	64 300	7 421	2 417 007	2 189 683	76 384	7 002	2 273 069

Poster i balansräkningen i tabellerna ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning, se not K13.

Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nödskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	391 266	10 743	433	402 442	400 479	7 985	712	409 176
Bortbokningar	-31 851	-1 777	-56	-33 684	-36 733	-1 511	-58	-38 300
Bortskrivningar	-1	0	-1	-2	-	-	0	0
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-71 440	-3 992	-138	-75 570	4 468	1 374	-324	5 518
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	46 219	9 627	5	55 851	-8 487	-299	-5	-8 785
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	66 070	727	3	66 800	34 353	463	17	34 833
Förflyttning till Steg 1	12 747	-12 743	-4	-	7 409	-7 405	-4	-
Förflyttning till Steg 2	-6 947	6 950	-3	-	-10 197	10 202	-5	-
Förflyttning till Steg 3	-39	-58	97	-	-26	-72	98	-
Volymer vid årets utgång	406 024	9 477	336	415 837	391 266	10 743	433	402 442

Förändringsanalysen avseende bruttovolymer visar, i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet steg. Posterna för förflyttning mellan stegen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet steg vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det steg som var gällande vid periodens ingång.

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

KÄNSLIGHETSANALYSER

Känslighetsanalys makrosценарier

Beräkningen av förväntade kreditförluster tillämpar framåtblickande information i form av makrosценарier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre сценарier. Prognosen i det neutrala сценарiet vägs med 70% (70), medan en uppgång i ekonomin vägs med 15% (15) och en nedgång i ekonomin med 15% (15). Dessa har legat till grund för beräkningar av förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december 2021.

Makroekonomiska riskfaktorer	Negativt сценарio			Neutralt сценарio			Positivt сценарio		
	2021	2022	2023	2021	2022	2023	2021	2022	2023
BNP-tillväxt									
Sverige	4,38	-0,55	1,06	4,38	3,85	2,06	4,38	6,85	3,56
Storbritannien	6,70	-0,19	0,38	6,70	5,20	1,30	6,70	7,61	2,78
Norge	3,02	-0,28	0,06	3,02	3,85	1,06	3,02	5,86	2,56
Danmark	4,18	-1,65	0,72	4,18	2,64	1,72	4,18	5,65	3,22
Finland	3,51	-1,39	0,80	3,51	3,00	1,80	3,51	6,01	3,30
Euro-området	5,18	0,00	0,91	5,18	4,39	1,91	5,18	7,44	3,41
USA	5,52	0,04	1,57	5,52	4,22	2,57	5,52	7,66	4,17
Arbetslöshet									
Sverige	8,81	9,88	10,41	8,81	7,56	7,16	8,81	6,58	6,26
Storbritannien	4,80	6,84	8,40	4,80	4,50	4,80	4,80	3,34	3,40
Norge	3,13	4,52	5,33	3,13	2,30	2,23	3,13	1,90	1,93
Danmark	5,10	6,52	7,46	5,10	4,19	4,06	5,10	3,42	3,26
Finland	7,78	9,24	9,90	7,78	7,00	6,50	7,78	5,94	5,70
Euro-området	7,87	10,24	10,90	7,87	7,70	7,50	7,87	6,93	6,90
USA	5,46	6,72	7,05	5,46	4,08	3,55	5,46	3,41	2,95
Styrintäns									
Sverige	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,25	0,50
Storbritannien	0,10	0,10	0,10	0,10	0,50	0,50	0,10	0,75	1,00
Norge	0,50	0,00	0,00	0,50	1,25	1,50	0,50	1,75	2,00
Danmark	0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	0,30
Finland	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,25
Euro-området	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,25
USA	0,13	0,13	0,13	0,13	0,13	0,63	0,13	0,38	1,13
Fastighetsprisutveckling, kommersiella fastigheter									
Sverige	11,14	-12,68	-6,97	11,14	9,10	6,30	11,14	16,99	15,62
Storbritannien	12,43	-9,95	-5,04	12,43	0,71	-0,74	12,43	5,66	1,14
Norge	2,52	-13,68	-8,53	2,52	4,07	-0,11	2,52	8,92	6,38
Danmark	6,28	-9,70	-6,55	6,28	4,69	2,62	6,28	9,28	8,81
Finland	6,04	-12,66	-5,35	6,04	7,62	5,65	6,04	14,81	13,62
Euro-området	0,71	-14,46	-6,82	0,71	4,25	3,02	0,71	9,74	10,48
USA	5,52	4,22	2,57	-2,86	1,36	-4,48	5,52	4,22	2,57
Fastighetsprisutveckling, bostadsfastigheter									
Sverige	17,27	-4,98	0,83	17,27	5,01	1,73	17,27	11,11	2,15
Storbritannien	12,94	-6,25	-0,70	12,94	4,03	3,09	12,94	9,36	5,40
Norge	7,17	-5,30	4,44	9,97	2,99	1,48	12,47	8,35	2,62
Danmark	10,84	-3,40	-0,14	13,00	3,57	1,54	14,17	8,70	3,15
Finland	0,91	0,18	-0,29	1,42	3,50	2,50	4,71	3,80	1,63
Euro-området	-4,42	3,56	2,95	3,56	2,63	2,40	6,35	2,14	2,10

Tabellen nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december om det negativa respektive positiva сценарiet tilldelats sannolikheter om 100%.

%	2021		2020	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt сценарio	Procentuell minskning av reserv vid positivt сценарio	Procentuell ökning av reserv vid negativt сценарio	Procentuell minskning av reserv vid positivt сценарio
Sverige	18,30	-10,05	13,65	-7,55
Storbritannien	11,31	-6,30	11,08	-6,97
Norge	12,31	-6,82	11,78	-6,08
Danmark	15,00	-8,07	12,15	-6,82
Finland	3,91	-1,95	2,33	-1,12
Nederländerna	3,48	-1,80	2,75	-1,54
USA	50,58	-32,07	41,52	-24,50
Övriga länder	5,88	-2,76	14,29	-7,16

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk

Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk baserat vid rapportering och första redovisningstillfället var satt till 0,5 enheter lägre respektive högre än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överförs från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk. För utförligare information, se not K2 avsnitt Kreditrisk.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, % Tröskelvärde	2021	2020
2	3,28%	2,77%
2,5	0,00%	0,00%
3	-1,92%	-1,77%

KREDITEXPONERINGAR SOM ÄR FÖREMÅL FÖR NEDSKRIVNINGSPRÖVNING PER PD-INTERVALL

Poster i balansräkningen fördelade på pd-intervaller	2021			2020		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	2 515 847	12 508	-	2 299 717	17 628	-
0,15 till <0,25	201 430	4 445	-	222 255	5 703	-
0,25 till <0,50	53 792	6 616	-	54 813	10 076	-
0,50 till <0,75	15 502	2 778	-	23 011	3 594	-
0,75 till <2,50	22 142	22 002	-	28 433	20 148	-
2,50 till <10,00	8 618	14 371	-	10 208	16 299	-
10,00 till <100	539	1 680	-	570	2 953	-
100 (tillsammans)	-	-	7 421	-	-	7 002
Summa	2 817 860	64 400	7 421	2 630 707	76 401	7 002

Utlåning till allmänheten fördelade på pd-intervaller	2021			2020		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	2 093 842	12 508	-	1 907 655	17 624	-
0,15 till <0,25	167 635	4 444	-	184 364	5 702	-
0,25 till <0,50	44 769	6 615	-	45 469	10 074	-
0,50 till <0,75	12 902	2 777	-	19 088	3 593	-
0,75 till <2,50	18 428	21 999	-	23 586	20 144	-
2,50 till <10,00	7 172	14 369	-	9 048	16 295	-
10,00 till <100	448	1 680	-	473	2 952	-
100 (tillsammans)	-	-	7 421	-	-	7 002
Summa	2 345 106	64 390	7 421	2 180 683	76 384	7 002

Poster utanför balansräkningen fördelade på pd-intervaller	2021			2020		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	357 043	4 073	-	330 056	2 903	-
0,15 till <0,25	17 621	799	-	20 485	969	-
0,25 till <0,50	15 381	401	-	17 502	1 719	-
0,50 till <0,75	6 973	1 081	-	5 979	992	-
0,75 till <2,50	7 563	1 175	-	15 250	2 464	-
2,50 till <10,00	1 275	1 694	-	1 832	1 326	-
10,00 till <100	168	254	-	162	410	-
100 (tillsammans)	-	-	336	-	-	433
Summa	408 024	9 477	336	391 288	10 743	433

¹ Avser 12-månaders pd-värde vid rapporteringstillfället.

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran mkr	2021	2020
Fastigheter	-	2
Lös egendom	0	2
Aktier och andelar	0	0
Redovisat värde	0	4

Lös egendom består i all väsentligt av återtagna leasingobjekt. Värderingsprinciper för tillgångar och skulder som övertagits för skyddande av fordran beskrivs i not K1.

NOTER | KONCERNEN

K11 Vinst/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar

mkr	2021	2020
Inventarier	14	3
Fastigheter	-	2
Summa	14	5

K12 Resultat per aktie

	2021	2020
Årets resultat, mkr	19 543	15 588
varav räntekostnad på konvertibla skuldbrev efter skatt	0	0
Genomsnittligt antal under året konverterade aktier, miljoner	-	-
Genomsnittligt innehav av egna aktier i handelslager, miljoner	-	-
Genomsnittligt antal utestående aktier, miljoner	1 980,0	1 980,0
Genomsnittlig utspädningsseffekt antal aktier, miljoner	0,0	0,0
Genomsnittligt antal utestående aktier efter utspädning, miljoner	1 980,0	1 980,0
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	9,86	7,87
efter utspädning	9,86	7,87
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	9,81	7,86
efter utspädning	9,51	7,85
Resultat per aktie, exvecklad verksamhet, kr	0,36	0,02
efter utspädning	0,35	0,52

Resultat per aktie efter utspädning beräknas genom att ta hänsyn till effekterna av en konvertering av utestående konvertibla skuldbrev. Det innebär att genomsnittligt antal aktier justeras med potentiella stamaktier och att årets resultat justeras med årets räntekostnad på utestående konvertibla skuldbrev efter skatt.

NOTER | KONCERNEN

K13 Tillgångar och skulder som innehåes för försäljning samt avvecklad verksamhet

Tillgångar och skulder i bankens verksamheter i Danmark och Finland utgör tillgångar och skulder som innehåes för försäljning och är avyttringsgrupper i enlighet med IFRS 5 Anläggningstillgångar som innehåes för försäljning och avvecklade verksamheter. Verksamheterna i Danmark och Finland utgör även avvecklad verksamhet. För en beskrivning av redovisningsprinciperna, se not K1.

Avyttringsgrupp och avvecklad verksamhet i Danmark utgörs av nedanstående enheter:

- Handelsbanken AB (publ) filial i Danmark
- Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S
- Lokalbolig A/S
- Handelsbanken Kredit (Stadshypotek AB (publ) filial i Danmark)
- Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S
- Handelsbanken Forsikringsformidling A/S.

Avyttringsgrupp och avvecklad verksamhet i Finland utgörs av nedanstående enheter:

- Handelsbanken AB (publ) filial i Finland
- Handelsbanken Asuntoluottopankki (Stadshypotek AB (publ) filial i Finland)
- Handelsbanken Ltv Försäkrings AB filial i Finland
- Handelsbanken Ltv Försäkrings AB i Finland.

Tillgångar och skulder som innehåes för försäljning

Tillgångar och skulder som innehåes för försäljning 2021 mkr	Danmark	Finland	Andra tillgångar som innehåes för försäljning	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	28 282	120 098		148 380
Övrig utlåning till centralbanker	207	0		207
Belåningsbara statskultförbindelser m m	24	0		24
Utlåning till övriga kreditinstitut	36	57		93
Utlåning till allmänheten	111 390	139 314	302	250 996
varav hushåll	64 292	43 253	1	107 546
varav företag	47 098	96 061	301	143 459
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	17	0		17
Aktier och andelar ¹	462	1		463
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken	6 770	10 457		17 227
Immateriella tillgångar	2 628	113		2 741
Fastigheter och inventarer	241	336	62	639
Övrigt	313	317		630
Summa	150 380	270 603	364	421 417
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	290	344		574
in- och upplåning från allmänheten	54 135	59 984		114 119
varav hushåll	23 662	19 699		43 361
varav företag	30 473	40 285		70 757
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken	6 770	10 457		17 227
Avsättningar	57	78		135
Övrigt	514	1 353		1 867
Summa	61 708	72 218		133 926

¹ Ett belopp uppgående till ackumulerat 46 mkr hänförligt till dessa tillgångar har redovisats i övrigt totalresultat och i verkligt värdesreserven i eget kapital.

Banken har inlett en process för avyttring av enheterna i Danmark och Finland. Danmark och Finland har utgjort egna förvärssegment.

Andra tillgångar som innehåes för försäljning uppgående till 364 mkr (1 657) utgörs till största del av finansiella leasingavtal i Handelsbanken Rahoitus Oy, vilka redovisas som utlåning i balansräkningen, se not K1 punkt 12. Leasingkontrakten planeras att avyttras under det första kvartalet 2022. Vidare har Banken i december 2021 ingått avtal om försäljning av tre dotterbolag som äger varsin fastighet lokaliserad i Göteborg, Gävle respektive Umeå. Transaktionerna leder sammanlagt till en realisationsvinst på 1,1 mkr och avslut förväntas under det första kvartalet 2022.

Värdering av respektive avyttringsgrupp till det lägsta av verkligt värde, efter avdrag för försäljningskostnader, och redovisat värde har ej föranlett någon nedskrivning.

Intäkter, kostnader och resultat avvecklad verksamhet

Danmark mkr	2021	2020
Räntanetto	1 540	1 661
Provisionanetto	757	681
Nettoreultat av finansiella transaktioner	171	168
Risikoreultat	1	2
Övriga intäkter	40	8
Summa intäkter	2 509	2 520
Personalkostnader	-885	-899
Övriga kostnader	-554	-449
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-44	-60
Summa kostnader	-1 483	-1 408
Kreditförluster, netto	23	-99
Vinst- eller förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-2	2
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt	1 047	1 076
Skatter	-103	-166
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	864	909
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter ¹ :		
Intäkter	-142	-209
Kostnader	-88	-71

NOTER | KONCERNEN

K13 Forts

Finland mkr	2021	2020
Räntesaldo	915	956
Provisionsnetto	433	435
Nettorisultat av finansiella transaktioner	54	52
Risikosultat	7	-1
Övriga intäkter	140	8
Summa intäkter	1 549	1 360
Personalkostnader	-542	-537
Övriga kostnader	-630	-391
Av- och nadskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-260	-71
Summa kostnader	-1 432	-999
Kreditförluster, netto	41	-93
Vinst/förlust vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-	-5
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt	158	263
Skatter	-317	-141
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	-159	122
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter ¹ :		
Intäkter	594	485
Kostnader	-137	-114

¹ Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshandling centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utlåning till allmänheten i Danmark och Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räntesaldot ovan.

Summa årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt **605** **1 031**

Provisionsintäkter per produkt avvecklad verksamhet

mkr	2021		2020	
	Danmark	Finland	Danmark	Finland
Courtago och övriga värdepappersprovisioner	60	27	54	25
Fonder	173	7	123	5
Depå och övrig kapitalförvaltning	179	48	161	74
Rådgivning	19	4	35	2
Försäkringar	24	87	25	75
Betalningar	171	297	169	319
Ut- och inlåning	61	90	69	99
Garantier	72	20	65	24
Övrigt	83	15	79	14
Summa provisionsintäkter	842	596	780	637

Personalkostnader avvecklad verksamhet

Danmark och Finland mkr	2021	2020
Löner och avdrag ^a	-1 082	-1 121
Socialavgifter	-108	-123
Pensionskostnader	-146	-151
Avsättning till resultatändelsystem	-19	0
Andra personalkostnader	-72	-41
Summa	-1 427	-1 436

^aVarav 7,0 mkr (5,2) till ledande befattningshavare (verkställande direktör och styrelse i dotterbolag samt avseende 2020 även vice verkställande direktörer i moderbolaget).

Moderntal anställda	2021	Mån	Kvinnor	2020	Mån	Kvinnor
Danmark	632	325	307	644	331	313
Finland	569	256	313	565	249	316
Summa	1 201	581	620	1 209	580	629

Kassaflödesanalys avvecklad verksamhet

Danmark och Finland mkr	2021	2020
Kassaflöde från löpande verksamhet	28 015	8 587
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-189	54
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-45	-
Årets kassaflöde från avvecklad verksamhet	27 781	8 641

NOTER | KONCERNEN

K14 Övrig utlåning till centralbanker

mil	2021	2020
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	-	-
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	1 255	21 326
Summa	1 255	21 326
Reservering för förväntade kreditförluster	-	-
Summa övrig utlåning till centralbanker	1 255	21 326
varav upplupna räntefördelar	-	0
varav omvärldarepor	-	-
Medelvolymer		
mil	2021	2020
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	5 894	27 226
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	5 872	21 838
Summa	11 766	49 064
varav omvärldarepor	-	-

Övrig utlåning till centralbanker hänförlig till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehålls för försäljning, se not K13, och ingår i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

K15 Utlåning till övriga kreditinstitut

mil	2021	2020
Utlåning i svenska kronor		
Banker	903	1 489
Övriga kreditinstitut	171	595
Summa	1 074	2 084
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	14 292	16 305
Övriga kreditinstitut	6 384	3 539
Summa	20 676	19 844
Reservering för förväntade kreditförluster	-5	-8
Summa utlåning till övriga kreditinstitut	21 745	21 920
varav upplupna räntefördelar	12	20
varav omvärldarepor	12 127	523
Medelvolymer		
mil	2021	2020
Utlåning till övriga kreditinstitut i svenska kronor	2 998	3 963
Utlåning till övriga kreditinstitut i utländsk valuta	46 539	40 137
Summa	49 537	44 100
varav omvärldarepor	16 061	3 649

Utlåning till övriga kreditinstitut hänförlig till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehålls för försäljning, se not K13, och ingår i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

NOTER | KONCERNEN

K16 Utlåning till allmänheten

mk	2021	2020
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	959 910	912 706
Företag	535 531	506 969
Riksgälden	2 173	474
Summa	1 497 614	1 420 149
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	244 391	325 854
Företag	423 569	527 066
Riksgälden	-	-
Summa	667 960	852 920
Reservering för förväntade kreditförluster	-2 439	-3 457
Summa utlåning till allmänheten	2 163 135	2 269 612
varav upplupna räntelänt delar	2 429	2 635
varav omvända repor	13 649	11 627
varav säkerställda	-	-
Modervolymer, exkl Riksgälden		
mk	2021	2020
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	1 470 257	1 419 122
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	812 840	886 921
Summa	2 283 097	2 306 043
varav omvända repor	19 690	18 349

Utlåning till allmänheten härtillhörig till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

K17 Räntebärande värdepapper

mk	2021			2020		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Belåningsbara statskuldförbindelser m m	100 538	100 538	103 881	99 133	99 133	97 169
varav upplupna räntelänt delar	160			195		
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	33 317	33 317	29 611	44 566	44 566	41 498
varav upplupna räntelänt delar	134			195		
Summa	133 855	133 855	133 492	143 899	143 899	138 667
varav säkerställda	-	-		4	4	
Räntebärande värdepapper fördelade på emittent	2021			2020		
mk	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Stat	100 538	100 538	103 881	99 133	99 133	97 169
Kreditinstitut	6 590	6 590	6 118	9 091	9 091	8 656
Bostadsinstitut	20 516	20 516	19 147	29 347	29 347	26 962
Övrigt	6 211	6 211	4 346	6 128	6 128	5 880
Summa	133 855	133 855	133 491	143 899	143 899	138 667
Räntebärande värdepapper som ärföremål för nedskrivningsprövning	2021			2020		
mk						
Belåningsbara statskuld förbindelser m m						
Verkligt värde via övrigt totalskultat				397		401
Upplupet anskaffningsvärde				-		780
Summa bruttovolymer				397		1 181
Reservering för förväntade kreditförluster avseende instrument värderade till upplupet anskaffningsvärde				-		-
Summa redovisat värde				397		1 181
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdeserven i eget kapital				-		-
Obligationer och andra räntebärande värdepapper						
Verkligt värde via övrigt totalskultat				9 016		7 964
Summa redovisat värde				9 016		7 964
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdeserven i eget kapital				-2		-2

NOTER | KONCERNEN

K17 Förtis

Modulolymer mkr	2021	2020
Räntelånbandsvärdepapper	155 427	167 535
Räntelånbandsvärdepapper, försäkringsdränsen	-	-
Summa	155 427	167 535

Räntelånbandsvärdepapper hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

K18 Aktier och andelar

mkr	2021	2020
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	19 017	20 245
Verkligt värde via övrigt totalresultat	454	800
Summa aktier och andelar	19 471	21 045

Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat mkr	2021	2020
BEC	-	295
Visa Inc	170	155
VPPSA/S	62	26
Övriga innehav	222	324
Summa	454	800

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehåller handelsytta. Under året erhöll Handelsbanken endast utdelningar för aktier som fortfarande ligger vid rapporteringsperiodens slut. Utdelningarna uppgår till 2 mkr (52) och redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelning siniffror. Under året har Banken avyttrat innehav i Visa Sweden Ekonomisk Förening samt ett antal bostadsrättsföreningar om totalt 1 mkr (1 686). Skälet till avyttringarna var i huvudsak omlokaliseringar, kontorsnedläggningar samt att aktierna justerats i förhållande till andelarna.

För information om realiserat och realiserat resultat för eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Förändring av eget kapital Koncernen.

Aktier och andelar hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

K19 Andelar i intresseföretag och joint ventures

Handelsbanken har inga enskilda väsentliga innehav i intresseföretag eller joint ventures. Det finns vissa företag som anses strategiska för bankverksamheten i koncernen då de utför stödjande verksamheter, såsom exempelvis betalningstjänster. Samtliga innehav är onoterade.

Andelar i intresseföretag och joint ventures mkr	2021	2020
Redovisat värde vid årets början	386	285
Andel av årets resultat	63	18
Skatt	-22	-13
Aktieägarutskott	51	12
Förvärf	-	84
Redovisat värde vid årets slut	478	386

Resultat från intresseföretag och joint ventures mkr	2021	2020
Årets resultat	63	18
Övrigt totalresultat	-	-
Årets totalresultat	63	18

Intresseföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2021	2020
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	88	77
BGC Holding AB	556607-0933	Stockholm	25 382	25,54	278	197
Dyson Group plc	00163096	Sheffield	74 333 672	24,01	31	22
Finansial ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30	30	22
Gelwisch AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	19	16
USE Intressenter AB	552151-0454	Stockholm	2 448	24,48	0	0
Summa					446	334

Joint ventures	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2021	2020
P27 Nordic Payment Platform AB	552198-2610	Stockholm	10 000	16,67	25	39
Invidam AB	552210-0779	Stockholm	10 000	16,67	7	13
Summa					32	62

NOTER | KONCERNEN

K20 Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2021	2020
Fond- och depåförvaltningsstillgångar	235 209	191 035
Övriga fondtillgångar	552	6 177
Summa	235 761	197 212

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehåller förskållning, se not K13, och ingår ej i balansposten av en per 2021-12-31. Jämförelisattfröma är oförändrade.

K21 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/köptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2021	2020	2021	2020	2021	2020
Derivat för handel									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	7 566	12 511	2 273	22 350	24 650	50	9	51	14
FRA/terminer	388 452	153 608	-	542 060	318 439	76	52	64	40
Swappar	441 845	1 307 547	332 595	2 081 987	1 630 962	15 902	20 504	16 307	21 365
Valutaränterelaterade kontrakt									
Optioner	20 614	36	22	20 672	24 729	89	118	131	195
Terminar	76 491	5 988	395	82 874	69 687	907	930	661	1 344
Swappar	574 511	51 203	6 348	632 052	559 695	10 576	5 892	5 131	17 548
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	3 126	560	84	3 770	5 194	375	255	189	136
Terminar	580	-	-	580	855	9	15	11	16
Swappar	11 561	3 122	-	14 683	16 150	341	137	723	1 569
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	341	-	14	355	671	41	22	55	60
Terminar	835	100	-	935	3 654	111	390	237	312
Kreditrelaterade kontrakt									
Swappar	84	4 751	18	4 853	6 501	254	229	169	158
Summa	1 526 008	1 630 426	341 749	3 407 181	2 661 187	28 781	28 843	23 729	42 767
Derivat för marknadsvärdesåtkörningar									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	627	364	-	1 051	2 806	1	-	-	-
Swappar	60 642	236 260	101 557	458 459	304 085	3 406	3 106	2 428	630
Valutaränterelaterade kontrakt									
Swappar	-	566	896	1 462	1 377	156	101	-	-
Summa	61 339	237 190	102 453	460 982	308 268	3 663	3 207	2 428	630
Derivat för kassaflödesåtkörningar									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	102 555	188 778	25 909	318 242	432 761	5 625	11 677	1 023	2 727
Valutaränterelaterade kontrakt									
Swappar	84 620	137 056	48 081	269 827	281 914	10 604	12 531	3 660	7 751
Summa	187 245	325 834	74 990	588 069	714 675	16 229	24 208	4 683	10 478
Summa derivatinstrument	1 774 600	2 162 460	519 192	4 456 232	3 684 130	48 643	55 068	30 840	53 865
Varav: börsnoterade derivat									
				182 857	108 653	130	332	804	756
Varav: OTC-derivat clearade via CCP									
				2 982 431	2 345 982	18 731	22 987	15 867	18 717
Varav: OTC-derivat ej clearade via CCP									
				1 290 944	1 329 495	29 682	32 639	14 149	34 392
Kvittade belopp totalt									
				-2 621 986	-2 110 391	-20 035	-25 344	-17 056	-21 046
Nettobelopp									
				1 764 246	1 673 739	28 608	30 614	13 784	32 819
Valutafördelning av marknadsvärden									
SEK						-242 957	41 263	517	301 858
USD						299 987	-70 582	-19 297	-381 894
EUR						115 908	129 283	-94 250	-94 785
Övriga						-124 995	-44 006	143 870	228 686
Summa						48 643	55 068	30 840	53 865

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto (där bland clearade kontrakt). Dessa kontrakt nettoregistreras i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningsstilleståndet och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivatets löptid. Vid årsstiftat uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 489 mkr (538).

NOTER | KONCERNEN

K22 Säkringsredovisning och Benchmarkreformen

Koncernens övergripande mål för riskhantering och säkringsredovisning är att säkra risken för variationer i framtida kassaflöden respektive verkliga värden hänförliga till ut- och upplåning med avseende på förändringar i räntor och valutakurser. För att uppnå detta använder koncernen derivat. Säkringsredovisning tillämpas för att koncernens riskhanteringsstrategi ska avspeglas i de finansiella rapporterna. För information om koncernens hantering av marknadsrisker, se not K2. Nedan beskrivs koncernens säkringsstrategier samt de olika typer av säkringsredovisning som tillämpas uppdelat per riskkategori. För en beskrivning av redovisningsprinciperna för säkringsredovisning, se not K1.

KASSAFLÖDESSÄKRING

Ränterisk i ut- och upplåning till rörlig ränta
Syftet med denna säkringsstrategi är att minska osäkerheten i framtida in- och utbetalningar av räntor till följd av förändringar i rörliga räntor, och istället erhålla respektive betala en fast ränta som är känd vid ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida in- och utbetalningar avseende ränterörlig utlåning till allmänheten respektive emitterade värdepapper med rörlig ränta. Den säkrade risken definieras som en rörlig referensränta i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswapper, vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas respektive fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls.

Valutakursrisk i upplåning

Säkringsstrategin syftar till att minska osäkerheten i framtida räntebetalningar till följd av förändringar i valutakurser och istället betala en ränta i den funktionella valutan, som är känd vid tidpunkten för ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida räntebetalningar och återbetalningar av nominella belopp hänförliga till emitterade värdepapper i en annan valuta än den funktionella valutan. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i dessa framtida betalningar till följd av förändringar i valutakurser mellan upplåningsvalutan och den funktionella valutan. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

Valutakursrisk i internlån till eller från utlandsverksamhet

Intentionen med denna säkringsstrategi är att minska risken för volatilitet hänförlig till valutakursrörelser avseende ett internlån, till eller från en utlandsverksamhet. Den säkrade posten utgörs av det nominella beloppet avseende ett internlån mellan koncernens finansavdelning och en utländsk verksamhet, utgivet i den funktionella valutan för den utländska verksamheten. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i kassaflöden hänförliga till räntebetalningar samt återbetalningar av nominellt belopp, till följd av skillnader i valutakurser mellan internlånets valuta och moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

Effektivitetsmätning

Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis. Säkringsrelationens effektivitet testas såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränte- och diskonteringskurvor. Retrospektivt, i de fall villkoren avseende den säkrade risken och säkringsinstrumentet inte överensstämmer fullständigt, genom regressionsanalys. Med fullständigt menas att kassaflöden och diskonteringsfaktorer i varje tid är identiska. Vid mätning av effektivitet representeras den säkrade risken av ett så kallat hypotetiskt derivat (PEH), vilket ska matcha de kritiska villkoren i den säkrade posten. Det verkliga värdet avseende det hypotetiska derivatet (PEH) är nolvid ingången av säkringsrelationen. Vid effektivitetsmätning jämförs förändringen i verkligt värde avseende det hypotetiska derivatet (PEH) med derivatets förändring i verkligt värde.

Kriterier vid effektivitetsmätning

För att kvalificera för säkringsredovisning ska kvoten mellan förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), och derivatet vara inom intervallet 80–125%. I de fall detta kontrolleras genom regressionsanalys ska följande kriterier vara uppfylla för att bestämma ett effektivt säkringsförhållande:

- Linjens lutning ska vara inom intervallet 0,8 < b < 1,25 och
- R² ska vara > 0,96.

Säkringsinstrument i kassaflödessäkring mkr	2021			2020		
	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år
Ränterisk:						
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	21 876	55 029	13 677	13 181	70 910	16 070
Genomsnittlig fast ränta %	0,57	0,47	0,76	0,48	0,48	0,73
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	80 679	133 740	13 232	110 939	123 987	27 674
Genomsnittlig fast ränta %	2,06	1,28	2,10	2,28	1,62	1,40
Valutakursrisk:						
Valutarelaterade derivat EUR/SEK						
Nominellt belopp	14 725	51 011	1 028	24 147	52 180	13 880
Genomsnittlig valutakurs EUR/SEK	0,1066	0,0986	0,0970	1,0825	0,7212	0,9693
Valutarelaterade derivat EUR/NOK						
Nominellt belopp	10 899	30 223	35 027	4 344	29 590	17 590
Genomsnittlig valutakurs EUR/NOK	0,1187	0,1038	0,0954	0,1310	0,1110	0,3905
Valutarelaterade derivat GBP/SEK						
Nominellt belopp	-	7 553	-	-	7 195	-
Genomsnittlig valutakurs GBP/SEK	-	0,0907	-	-	1,0079	-
Valutarelaterade derivat USD/GBP						
Nominellt belopp	-	6 042	918	11 011	6 289	831
Genomsnittlig valutakurs USD/GBP	-	1,2930	1,3157	1,3860	1,2990	1,3150
Valutarelaterade derivat USD/NOK						
Nominellt belopp	14 409	22 140	-	40 197	12 901	-
Genomsnittlig valutakurs USD/NOK	0,1178	0,1137	-	0,1170	0,1260	-
Valutarelaterade derivat USD/SEK						
Nominellt belopp	35 654	2 264	9 057	9 206	12 805	8 613
Genomsnittlig valutakurs USD/SEK	0,1169	0,1105	0,1105	0,1166	0,5162	0,11
Valutarelaterade derivat AUD/USD						
Nominellt belopp	-	5 923	-	3 034	5 492	-
Genomsnittlig valutakurs AUD/USD	-	1,3770	-	1,3930	1,3770	-
Valutarelaterade derivat övriga valutor						
Nominellt belopp	9 003	11 000	2 051	11 573	11 036	-
Summa	187 245	326 834	74 990	227 632	402 385	84 686

NOTER | KONCERNEN

K22 FÖRÅR

Ineffektivitet

Ineffektiviteten beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), med derivatets förändring i verkligt värde. Ineffektiv-

tet föreligger om derivatets förändring i verkligt värde överstiger värdeförändringen för det hypotetiska derivatet (PEH) i absoluta belopp.

De huvudsakliga förklaringarna till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är skillnader i marknadsräntor och valutakurser mellan tid-

punkten för ingången av säkringsrelationen och affärstidpunkten för derivatet. Ineffektiviteten förklaras också av förändringar i verkligt värde hänförligt till vissa räntekomponenter i derivatet som inte ingår i den säkrade risken.

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2021	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk							
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	90 582	248	1 019	1 946	1 952	-6	-
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	227 660	5 377	4	-4 272	-4 272	-	175
Valutarisk							
Valutansäkrade derivat EUR/SEK	66 764	2 333	997	190	190	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/DKK	2 051	3	-	8	8	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/GBP	6 514	606	-	34	32	2	-
Valutansäkrade derivat EUR/NOK	76 150	2 750	1 429	-14	-11	-3	-
Valutansäkrade derivat GBP/SEK	7 553	758	-	-8	-8	-	-
Valutansäkrade derivat USD/DKK	6 918	330	87	60	60	-	-
Valutansäkrade derivat USD/GBP	7 859	-	339	8	8	-	-
Valutansäkrade derivat USD/NOK	96 549	1 303	721	47	47	-	-
Valutansäkrade derivat USD/SEK	46 976	2 041	-	295	295	-	-
Valutansäkrade derivat AUD/USD	5 923	50	-	-77	-77	-	3
Valutansäkrade derivat övriga valutor	6 570	430	87	-15	-15	-	1
Summa	688 060	16 239	4 683	-1 708	-1 701	-7	179

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2020	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk							
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	100 161	1	2 727	-1 081	-1 081	-	-
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	332 600	11 676	-	380	379	1	211
Valutarisk							
Valutansäkrade derivat EUR/SEK	90 207	3 327	1 700	-83	-83	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/DKK	3 516	-	9	-33	-33	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/GBP	9 628	1 123	-	81	81	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/NOK	51 524	5 559	259	234	231	3	-
Valutansäkrade derivat GBP/SEK	7 195	40	-	-4	-4	-	-
Valutansäkrade derivat USD/GBP	18 131	271	448	-60	-57	-3	-
Valutansäkrade derivat USD/NOK	53 098	1 142	1 903	-52	-52	-	-
Valutansäkrade derivat USD/SEK	90 624	-	2 704	-364	-364	-	-
Valutansäkrade derivat AUD/USD	8 526	621	-	45	45	-	-5
Valutansäkrade derivat övriga valutor	9 465	448	728	12	13	-1	43
Summa	714 676	24 208	10 478	-876	-876	0	249

¹Vid analys utfördes ett säkringsredovisningsbyte beaktas omvandlingen till moderbolagets funktionsvaluta, svenska kronor, genom att nominella derivatens imputeras i säkringsrelationerna. De imputerade derivatens värden är inkluderade i de nominella värdena i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Omklassificerat till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och avser kassaflödesräkning som är avslutad i förlid.

Säkrade poster i kassaflödesräkning	2021			2020		
	Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas	Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas
Ränterisk						
Emitterade värdepapper till rörlig ränta	-1 952	-600	-	1 081	-2 576	-
Utlåning till allmänheten till rörlig ränta	4 272	3 468	1 153	-379	7 946	1 327
Valutarisk						
Emitterade värdepapper EUR samt internlån DKK, GBP och NOK	-218	-553	-	-87	-779	-
Emitterade värdepapper USD samt internlån DKK, EUR, GBP och NOK	-410	-16	88	492	-427	86
Emitterade värdepapper samt internlån övriga valutor	99	-46	10	-189	59	17
Summa	1 791	2 283	1 251	876	4 223	1 430

NOTER | KONCERNEN

K22 Forts

SÄKRING AV VERKLIGT VÄRDE

Ränterisk i ut- och upplåning till fast ränta
Syftet med denna säkringsstrategi är att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende ut- och upplåning till fast ränta, till följd av förändringar i marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som referensräntan i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. De säkrade posterna utgörs av utlåning till allmänheten till fast ränta och emitterade värdepapper till fast ränta. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswappar, i vilka fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls respektive ränteswappar i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas.

Effektivitetsmätning

Säkringens effektivitet mäts genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i ut- och upplåning med ränteswapparnas värdeförändring. Effektivitetsmätningen utförs såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränta- och diskonteringskurvor och retrospektivt tillämpas regressionsanalys. Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis. De kriterier som ska vara uppfyllda för att kvalificera för säkringsredovisning är desamma som beskrivs ovan i avsnittet om kassaflödessäkring.

Ineffektivitet

Ineffektivitet beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde för ränteswappen med verkligt värde för den säkrade risken i ut- respektive upplåning från ingången av säkringen till periodens utgång.

Den huvudsakliga förklaringen till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är förändringar i verkligt värde med avseende på den rörliga räntan i ränteswappen, vilken ej motsvaras av en värdeförändring avseende den säkrade risken i ut- eller upplåningen.

PORTFOLJSÄKRING AV VERKLIGT VÄRDE MED AVSEENDE PÅ RÄNTERISK

Ränterisk i utlåningsportföljer till fast ränta
Säkringsstrategin syftar till att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende utlåningsportföljer till fast ränta, till följd av förändringar i marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som förändringar i verkligt värde avseende en del av en utlåningsportfölj till fast ränta, med avseende på förändringar i en referensränta i respektive valuta. Den säkrade posten utgörs av ett belopp i valuta som är bestämt utifrån en utlåningsportfölj till fast ränta. Utlåningsportföljen delas in i ränteomsättningsperioder. Det säkrade beloppet fastställs baserat på den ränterisk som banken önskar säkra i de utvalda ränteomsättningsperioderna. Säkringsinstrumenten utgörs

av ränteswappar, i vilka rörlig ränta erhålls och fast ränta betalas. Ett eller flera säkringsinstrument definieras i respektive ränteomsättningsperiod.

För en beskrivning av effektivitetsmätning och ineffektivitet hänvisas till avsnittet om Säkring av verkligt värde ovan.

Ränterisk i utlåningsportföljer till rörlig ränta med räntetak

Syftet med denna säkringsstrategi är att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende utlåningsportföljer med tre månaders räntebindning, där låntagaren har ett räntetak. Den säkrade risken definieras som referensräntan i det avtalade räntetaket. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteoptioner (cappar).

Den nominella utlåningsvolymen som säkras för en viss period fastställs kvartalsvis. Vid beräkning av effektivitet jämförs förändringen i verkligt värde under perioden avseende räntetak med ränteoptionernas (capparnas) förändring i verkligt värde. Kvoten ska vara inom intervallet 80–125% för att säkringen ska kvalificera för säkringsredovisning.

De huvudsakliga förklaringarna till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är avvikelser i löptid och ränta mellan räntetak i utlåning och cappar, eftersom volymen för respektive cap fastställs för en portfölj av utlåning med räntetak och inte för respektive lån.

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde	2021			2020		
	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år
Ränterisk						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	-	-	-	31 706	148 863	1 698
Gänomsnittlig fast ränta %	-	-	-	0,06	0,03	0,28
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	904	111 407	74 265	-	53 834	60 040
Gänomsnittlig fast ränta %	0,22	0,76	0,94	-	0,97	1,03
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	-	566	896	-	534	843
Gänomsnittlig fast ränta %	-	3,26	3,69	-	3,26	3,69

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2021	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som används för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	-	-	-	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	195 576	1 406	2 271	-3 891	-38
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 462	156	-	-54	5
Summa	198 038	1 562	2 271	-3 945	-33
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	271 883	2 000	157	2 285	40
Ränteooptioner (cappar)	1 061	1	-	8	-
Summa	272 944	2 001	157	2 293	40

NOTER | KONCERNEN

K22 FORTS

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2020					
mkr	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	182 267	72	442	-222	-7
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	113 874	3 030	169	1 143	56
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 377	101	-	100	0
Summa	297 518	3 203	611	1 021	49
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	7 944	4	19	-13	0
Räntesoptioner (cappar)	2 806	0	-	13	0
Summa	10 750	4	19	0	0

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2021		Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Det upptagna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
mkr		Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
Ränterisk							
	Utlåning till allmänheten till fast ränta	-		-		-	-
	Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		188 536		-2 656	3 912	-
	Summa	-	188 536	-	-2 656	3 912	-
Portföljsäkring av verkligt värde¹							
Ränterisk							
	Utlåning till allmänheten till fast ränta	-1 904				-2 245	-
	Räntesat i utlåning till rörlig ränta	4				-8	-
	Summa	-1 900				-2 253	

¹ Den underliggande utlåningsportföljens nominella volym uppgick per 2021-12-31 till 272 277 mkr (10 691 mkr).

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2020						
	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Det upptagna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
mkr	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
Ränterisk						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	188 468		329		215	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		119 410		1 110	-1 187	-
Summa	188 468	119 410	329	1 110	-972	-
Portföljsäkring av verkligt värde						
Ränterisk						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	13				13	-
Räntesat i utlåning till rörlig ränta	12				-13	-
Summa	25				0	

SÄKRING AV VALUTAKURSRISK I NETTO-INVESTERING I UTLANDSVERKSAMHET

Syftet med säkringsstrategin är att reducera valutakurs exponeringen avseende en nettoinvestering i en utlandsverksamhet. Den säkrade posten utgörs av det nominella beloppet avseende intern långfristig utlåning mellan koncernens finansavdelning och en utlandsverksamhet utgiven i den funktionella valutan för den utländska verksamheten. För att utgöra en del av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet krävs att en återbetalning av den interna utlåningen varken är planerad eller trolig under en överskådlig framtid. Den säkrade risken utgörs av värdeförändringsrisken avseende en nettoinvestering i en utlandsverksamhet, till följd av förändringar i valutakursen mellan den utländska verksamhetens funktionella valuta och

moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor. Säkringsinstrumenten utgörs av valuta-relaterade derivat. Det föreligger endast äldre säkringsrelationer, och banken ingår inga nya säkringsrelationer i denna säkringsstrategi varför någon information i tabellform ej heller lämnas avseende denna säkringsstrategi.

Effektivitetsmätning

Vid effektivitetsmätning avseende säkring av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet tillämpas motsvarande riktlinjer som vid effektivitetsmätning för kassaflödessäkringar, vilka beskrivs ovan i avsnittet om kassaflödessäkringar.

Ineffektivitet

Ineffektiviteten beräknas på motsvarande sätt som för kassaflödessäkringar, vilket beskrivs

ovan i avsnittet om kassaflödessäkringar.

Den huvudsakliga förklaringen till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är skillnader i valutakurser mellan tidpunkten för ingången av säkringsrelationen och affärstidpunkten för derivatet.

För en specifikation av förändringen av säkringsreserven respektive omräkningsreserven, se not K39.

BENCHMARKREFORMEN

Ändringar i IFRS 9 Finansiella instrument och IAS 39 Finansiella instrument: Redovisning och värdering

Från och med räkenskapsåret 2020 tillämpades ändringar i IAS 39 som innebär temporära undantag från att tillämpa vissa specifika krav avseende säkringsredovisning för säkringsrela-

NOTER | KONCERNEN

K22 Forts

tioner som direkt påverkas av benchmarkreformen. Banken valde, i enlighet med IAS 39, att tillämpa ändringarna i förtid i årsredovisningen för 2019. De temporära undantagen syftar till att säkringsrelationer inte ska behöva avbrytas endast till följd av osäkerhet från benchmarkreformen. Se not K1 punkt 11.

Från och med räkenskapsåret 2021 tillämpas ändringar i IFRS 9 vid modifieringar av finansiella tillgångar och finansiella skulder, vilka genomförs som en direkt följd av implementeringen av benchmarkreformen. Modifieringen utgör en ändring av effektivräntan och någon modifieringsvinst eller -förlust redovisas således ej. Därutöver har ändringar i IAS 39 genomförts som innebär undantag från vissa krav för säkringsredovisning när befintliga referensräntor i säkringsrelationer ersätts med alternativa referensräntor. Ändringarna syftar till att säkringsrelationer inte ska behöva avbrytas endast till följd av implementeringen av benchmarkreformen. Se not K1 punkterna 2 och 11.

Anpassningar till benchmarkreformen

Det pågår ett omfattande arbete internationellt med framtagande av alternativa referensräntor, vilka utgörs av nästan riskfria räntor, så kallade RFR (Nearly Risk-free Rates). Inom EU pågår såväl en anpassning av nuvarande interbankräntor till att uppfylla kraven enligt Benchmarkförordningen ((EU) 2016/1011) som framtagande av alternativa RFR.

Inom banken pågår ett omfattande anpassningsarbete inför en omställning till RFR, såväl med avseende på centrala anpassningar i IT-system för derivat och IBOR-lån som lokala anpassningar i IT-system för låneprodukter i de olika länderna. Det centrala projektet omfattar även uppdatering av avtal, exempelvis ISDA och ramavtal, samt framtagande av kommunikationsplaner till kunder och motparter. Vidare omfattas bland annat påverkan på redovisning, värdering av finansiella instrument och räkning vid en övergång till RFR.

Under året har bankens arbete främst inriktats på anpassningar och utveckling i IT-system för emissions- och värdepapper och handel i derivat

instrument inom Group Treasury och Handelsbanken Capital Markets, samt avseende låneprodukter som administreras inom Handelsbanken Capital Markets. Anpassningar och utveckling i IT-system är bland annat erforderligt på grund av att de alternativa referensräntorna (RFR) beräknas tillbakablickande, till skillnad från befintliga interbankräntor som beräknas framåtblickande. Anpassningar och utvecklingen i IT-system har utförts centralt i Sverige och lokalt inom bankens utländska enheter i Storbritannien och USA. I anpassningsarbetet har vidare ett stort fokus förelagat på att dotterbolaget Handelsbanken plc ska kunna erbjuda kunderna utlåningsprodukter med ränta som fastställs utifrån Bank of England base rate respektive alternativa RFR. Från och med april 2021 kan Handelsbanken plc erbjuda kunderna utlåningsprodukter och derivat med ränta som fastställs utifrån Bank of England base rate.

Under året har en utestående obligation i GBP konverterats från Libor till SONIA. Vidare har banken emitterat ett antal nya instrument (CD i New York) i USD med SOFR som referens. Samtliga derivatavtal avseende ränteswappar och valutaränteswappar som refererar till GBP Libor, EUR Libor, CHF Libor eller JPY Libor, och clearas via London Clearing House (LCH), övergår till att referera till en alternativ RFR under december månad.

Bedömning av benchmarkreformens påverkan på väsentliga interbankräntor och säkringsrelationer
Interbankräntor i bankens hemmarknader samt i USA bedöms vara väsentliga för banken, vilka utgörs av Stibor, GBP Libor, USD Libor, Euribor och Nibor.

Det finns inget beslut om att Stibor ska upphöra som referensränta. Riksbanken har tagit fram en RFR i SEK för T/N, Swestr (Swedish krona Short Term Rate), vilken kan användas som referensränta i finansiella kontrakt från och med den 1 september 2021. Stibor måste uppfylla de krav som ställs enligt Benchmarkförordningen och godkännas av Finansinspektionen. Ansökan måste lämnas före utgången av 2021,

eftersom Stibor är en kritisk referensränta enligt Benchmarkförordningen. Ett arbete med att ta fram en ansökan om godkännande av Stibor enligt Benchmarkförordningen har utförts inom Swedish Financial Benchmark Facility och ansökan har lämnats till Finansinspektionen den 27 december 2021. I nuläget är bankens bedömning att Stibor förväntas godkännas enligt Benchmarkförordningen och kvarstå som referensränta.

Financial Conduct Authority (FCA) har bekräftat att samtliga LIBOR för GBP, EUR, CHF och JPY samt 1 veckas och 2 månaders USD antingen upphör att tillhandahållas av någon administratör, eller inte längre är representativa, från 2021-12-31. För resterande USD LIBOR gäller att de upphör direkt efter den 30 juni 2023. GBP Libor ersätts med SONIA (Reformed Sterling Overnight Index Average) och USD Libor ersätts med SOFR (Secured Overnight Financing Rate).

En reformerad Euribor är framtagen och godkänd som referensränta enligt Benchmarkförordningen. ESTER (Euro Short Term Rate) är beslutad att utgöra RFR i euro, vilken publiceras från och med den 2 oktober 2019. Till och med 2021 publiceras ESTER parallellt med den nuvarande dagsutlåningsräntan EONIA. Från och med den 3 januari 2022 upphör EONIA. En reformerad Euribor är godkänd och kommer fortsättningsvis att publiceras. Bankens bedömning är att Euribor förväntas kvarstå som referensränta.

Interbankräntan Nibor i Norge är godkänd enligt Benchmarkförordningen av den norska tillsynsmyndigheten. Bankens bedömning är att Nibor förväntas kvarstå som referensränta.

Vid bedömning av om det föreligger osäkerhet till följd av benchmarkreformen är bankens utgångspunkt att osäkerhet uppkommer först när en behörig myndighet har fattat beslut om att en interbankränta ska upphöra vid en specifik tidpunkt. Bankens bedömning är därmed att det föreligger en osäkerhet från benchmarkreformen på säkringsrelationer som förfaller efter 2023-06-30, i vilka USD Libor har en direkt påverkan på säkrad post eller säkringsinstru-

Säkringsinstrument som ingår i säkringsrelationer som påverkas av osäkerheten från benchmarkreformen	Nominella belopp 2021-12-31
Ränteswappar USD	48 268
Valutaränteswappar AUD/USD	5 923
Valutaränteswappar USD/CHX	6 188
Valutaränteswappar USD/EUR	896
Valutaränteswappar USD/GBP	7 859
Valutaränteswappar USD/NOK	12 712
Valutaränteswappar USD/SEK	11 321
Summa	93 167

K22 Fört

ment. Den säkrade risken, som direkt påverkas av osäkerheten till följd av benchmarkreformen, är således den rörliga referensräntan i ut- och upplåning i USD. Vidare påverkas kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning samt derivatinstrument som är baserade på USD Libor. Osäkerheten till följd av benchmarkreformen upphör för de säkrade posterna respektive säkringsinstrumenten när den nya räntan är fastställd och har införts i de enskilda kontrakten.

Säkringsinstrument och säkrade poster som refererar till GBP Libor har övergått till den alternativa referensräntan vid utgången av 2021, alternativt övergår under det första kvartalet 2022, och påverkas ej längre av osäkerheten från benchmarkreformen. Det föreligger ej något beslut fattat av behörig myndighet om att övriga för banken väsentliga interbankräntor ska upphöra, varför det i nuläget ej bedöms föreligga osäkerhet till följd av benchmarkreformen avseende dessa interbankräntor.

Finansiella instrument som ej har övergått till en alternativ referensränta (RFR) per 2021-12-31

I tabellen nedan specificeras finansiella instrument vilka refererar till en väsentlig referensränta som ska övergå till en alternativ referensränta (RFR), men som vid utgången av räkenskapsåret ännu ej övergått till en alternativ referensränta (RFR).

Risker som koncernen är exponerad för till följd av övergången till alternativa referensräntor (RFR)

Övergången påverkar stora delar av bankens verksamhet, både genom att flera affärsområden inom olika geografiska enheter och flera funktioner berörs. Ett antal IT-system behöver anpassas för att möta de nya kraven liksom fallback-skrivningar och andra avtalsfrågor, beräkningar för värdering och riskanalys, redovisning och rapportering, kundkommunikation etc. Den stora mängden förändringar leder till ett behov av samordning. Banken har en koncernövergripande Benchmark-kommitté som är sammanhållande för samtliga frågeställningar relaterade till övergången till alternativa referensräntor.

Operativa risker

Förändringar i processer, avtal och IT-system enligt ovan kan medföra operativa risker. Marknaden är fortfarande i förändring med avseende på olika parametrar inom flera referensräntor, vilket gör att IT-systemen behöver vara anpassningsbara på ett sådant sätt att varken affärsrisker eller operativa risker ska uppstå. Affärsrisker uppkommer exempelvis om banken kan tvingas avstå från transaktioner på grund av tekniska begränsningar.

De avtal och transaktioner som har en hänvisning till en referensränta som kommer, eller

kan komma, att upphöra har identifierats. Arbetet med att uppdatera och ändra dessa till nya alternativa referensräntor, alternativt att implementera fallback-skrivningar för de avtal där det bedömts som relevant, är pågående och förväntas i all väsentlighet färdigställas i tid till respektive byte av referensränta.

De operativa riskerna relaterade till övergången till alternativa referensräntor hanteras i enlighet med bankens sedvanliga rutiner för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker (se not K2 Risk- och kapitalhantering, Operativ risk).

Marknadsrisker

Ränterisken förändras något och basrisker uppstår när övergången till nya alternativa referensräntor genomförs vid olika tidpunkter för olika finansiella instrument och produkter. Riskerna hanteras inom bankens risktolerans alternativt som förändringarna sker.

Motpartsrisker

Exponeringarna förändras inte i någon väsentlig utsträckning och motpartsriskerna hanteras inom bankens risktolerans.

Finansiella instrument som refererar till en väsentlig interbankränta, vilka ej har övergått till en alternativ referensränta (RFR) per 2021-12-31.

Interbankräntor	Finansiella tillgångar, som inte är derivat, redovisat värde	Finansiella skulder, som inte är derivat, redovisat värde	Derivatinstrument, nominella belopp		
			Ränteswappar	Räntaoptioner	Valutaränteswappar
USD Libor					
USD Libor 3m	6 641	-	66 886	-	
USD Libor övriga	733	-	326	-	
USD Libor 3m/EUR Euribor 3m					5 469
USD Libor 3m/NOK Nibor 3m					17 701
USD Libor 3m/SEK Stibor 3m					18 891
USD Libor 3m/GBP Libor 3m					12 511
USD Libor 3m/övriga valutor					7 294
Övriga valutor/USD Libor 3m					6 741
GBP Libor¹					
GBP Libor 3m	88 354	-	10 498	4 632	
GBP Libor övriga	2 008	-	-	-	
EUR Libor 3m/GBP Libor 3m					6 514
GBP Libor 3m/USD Libor 3m					1 370
Övriga valutor/GBP Libor 3m					332
Summa	97 746	-	77 710	4 632	78 828

I tabellen ovan ingår inte finansiell tillgångar och skulder samt derivatinstrument som förfaller innan interbankräntan upphör.

¹ Den största delen av finansiella tillgångar och derivatinstrument som refererar till GBP Libor kommer att övergå till en alternativ referensränta under det första kvartalet 2022.

NOTER | KONCERNEN

K23 Kvittning av finansiella instrument

2021	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper		Totalt
mkr	Derivat		
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningssavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	48 543	33 836	82 379
Kvittade belopp	-20 035	-7 110	-27 145
Redovisat värde i balansräkningen	28 508	26 726	55 234
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningssavtal	-9 294		-9 294
Mottagna finansiella säkerheter	-13 322	-26 700	-40 022
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-22 616	-26 700	-49 316
Nettobelopp	5 892	26	5 918
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningssavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	30 840	7 323	38 163
Kvittade belopp	-17 056	-7 110	-24 166
Redovisat värde i balansräkningen	13 784	213	13 997
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningssavtal	-9 294		-9 294
Ställda finansiella säkerheter	-1 467	-213	-1 680
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-10 761	-213	-10 974
Nettobelopp	3 023	-	3 023

2020	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper		Totalt
mkr	Derivat		
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningssavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	55 958	14 602	70 560
Kvittade belopp	-25 344	-2 014	-27 358
Redovisat värde i balansräkningen	30 614	12 588	43 202
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningssavtal	-14 846	-	-14 846
Mottagna finansiella säkerheter	-7 503	-12 669	-20 172
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-22 360	-12 669	-35 018
Nettobelopp	8 254	9	8 274
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningssavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	53 865	2 014	55 879
Kvittade belopp	-21 046	-2 014	-23 060
Redovisat värde i balansräkningen	32 819	-	32 819
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningssavtal	-14 846	-	-14 846
Ställda finansiella säkerheter	-13 310	-	-13 310
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-28 156	-	-28 156
Nettobelopp	4 663	-	4 663

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Återköpsavtal och omvända återköpsavtal mot centrala clearingmotparter kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Det inträffar när banken har både en avtalsmässigt rätt och avsett att reglera avtalade kassaflöden netto. I det kvittade beloppet för derivattillgångar ingår kvittade kontantsäkerheter om 3

315 mkr (7 330) vilka härrör från balansräkningsposten In- och upplåning från allmänheten. I det kvittade beloppet för derivatsskulder ingår kvittade kontantsäkerheter om 335 mkr (3 032) vilka härrör från balansräkningsposten Utlåning till allmänheten.

Den kvarvarande motpartsrisken i derivat reduceras genom avtal om nettning vid betalningsinställelse, det vill säga nettning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en konkurs situa-

tion. Banken har som policy att teckna nettningssavtal med alla bankmotparter. Nettningssavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen. I huvudsak används kontanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt in- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper.

K24 Immateriella tillgångar

2021 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	6 822	188	801	5 530	164	13 505
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	-	-	539	-	539
Avyttringar och utgångar	-	-	-	-176	-	-176
Omklassificerat till tillgångar som innehas för försäljning	-2 569	-	-165	-341	-	-3 075
Valutaeffekt	122	8	35	53	-	218
Anskaffningsvärde vid utgången av året	4 376	196	631	5 605	164	11 011
Akkumulerade av- och nedskrivningsvärde vid ingången av året	-	-168	-277	-1 697	-33	-2 175
Avyttringar och utgångar	0	-	-	176	-	176
Årets avskrivningar	-	-17	-33	-576	-33	-659
Årets nedskrivningar	-18	-	-	-100	-	-118
Omklassificerat till tillgångar som innehas för försäljning	-	-	107	227	-	334
Årets av- och nedskrivningar avseende tillgångar som omklassifi- cerats till tillgångar som innehas för försäljning	-	-	-6	-217	-	-223
Valutaeffekt	-	-8	-14	-22	-	-44
Akkumulerade av- och nedskrivningsvärde vid utgången av året	-18	-168	-223	-2 209	-66	-2 709
Redovisat värde	4 367	3	448	3 396	98	8 302

Under året har utvecklingskostnader uppgående till 2 144 mkr (1 578) kostnadsförts.

2020 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	7 007	199	847	4 854	0	12 907
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	-	-	867	164	1 031
Avyttringar och utgångar	-	-	-	-135	-	-135
Valutaeffekt	-185	-11	-46	-56	-	-298
Anskaffningsvärde vid utgången av året	6 822	188	801	5 530	164	13 505
Akkumulerade av- och nedskrivningsvärde vid ingången av året	-	-151	-251	-1 320	0	-1 722
Avyttringar och utgångar	-	-	-	135	-	135
Årets avskrivningar	-	-27	-42	-447	-33	-549
Årets nedskrivningar	-	-	-	-82	-	-82
Valutaeffekt	-	10	16	17	-	43
Akkumulerade av- och nedskrivningsvärde vid utgången av året	-	-168	-277	-1 697	-33	-2 175
Redovisat värde	6 822	20	524	3 833	131	11 330

mkr	Goodwill		Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod	
	2021	2020	2021	2020
Handelsbanken Sverige	3 331	3 331	-	-
Handelsbanken Storbritannien	175	159	-	-
Handelsbanken Finland	-	17	-	-
Handelsbanken Danmark	-	2 515	-	-
Handelsbanken Norge	678	630	-	-
Handelsbanken Nederländerna	163	160	-	-
Handelsbanken Capital Markets	10	10	3	3
Summa	4 967	6 822	3	3

Nedskrivningsprövning av goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Redovisad koncerngoodwill härrör till övervägande del från traditionell bankverksamhet på Handelsbankens hemmamarknader. Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning årligen i samband med årsbokslutet. Vid nedskrivningsprövningen beräknas nyttjandevärdet för de enheter till vilka goodwill fördelats ut genom diskontering av estimerade framtida kassaflöden samt slutvärde. I tabellen har goodwill fördelats ut på rörelsesegment.

Estimerade framtida kassaflöden bygger på första fem åren på prognoser för riskvägda volymer, intäkter, kostnader samt kreditförluster. Prognoserna baseras främst på en intern bedömning av den framtida intäkt- och kostnadsutvecklingen, konjunkturläge, förväntad ränteutveckling samt förväntade effekter av kommande regelverk. Efter den första femårsperioden görs en prognos baserad på ett antagande om långsiktig tillväxttakt. Antagandet om kassaflödestillväxt baseras på historisk real BNP-utveckling samt Riksbankens långsiktiga inflationsmål. Årets nedskrivningsprövning bygger på ett antagande om en långsiktig tillväxttakt

på 2 % (2). Den totala prognosperioden är 20 år. Som slutvärde används det prognostiserade substansvärdet för den prövade enheten. Estimerade kassaflöden har diskonterats med en ränta som baseras på riskfri ränta samt riskjustering motsvarande marknadens genomsnittliga avkastningskrav. Diskonteringsräntan uppgick vid årets nedskrivningsprövning till 6,4 % (6,9) efter skatt. Motsvarande ränta före skatt uppgick till 8,1 % (9,4).

Vid årets nedskrivningsprövning bedömdes skillnaden mellan återvinningsvärde och bokfört värde på goodwill vara betydande. Det beräknade nyttjandevärdet på goodwill är känsligt för

NOTER | KONCERNEN

K24 Forts

ett antal olika variabler som har betydelse för förväntade kassaflöden samt diskonteringsräntan. De variabler som har störst betydelse för beräkningen är antaganden om ränte- och konjunkturutveckling, framtida marginaler och

kostnadseffektivitet. Ingen rimlig möjlig förändring av viktiga antaganden skulle påverka det redovisade värdet på goodwill.

En ökning av diskonteringsräntan med två procentenheter eller en minskning av den fram-

tida tillväxttakten med två procentenheter bedöms vara rimliga eventuella förändringar i de viktigaste antagandena till följd av covid-19. En sådan förändring skulle inte medföra något nedskrivningsbehov.

K25 Fastigheter och inventarier

Fastigheter och inventarier mkr	2021	2020
Inventarier	715	869
Fastigheter	4 557	5 361
Egendom övertagen för skyddande av fordon	0	2
Summa	5 272	6 232

I posten Egendom övertagen för skyddande av fordon ingår lös egendom samt fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertagits för skydd av fordon, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 2 mkr (2). Omvärderade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Värdering av privatbostäder bygger i all väsentlighet på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdering av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakansgrad, drift- och underhållskostnader, direkta/kostnadsrelaterade och kalkylerade. I värderingen tas även hänsyn till fastighetens skick, ålder samt allmän användning. Banken har som princip att alltid använda en oberoende, godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorsfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer 2 mkr (2) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarki som beskrivs i not K1. Värdering som har ett väsentligt inslag av egna antaganden 0 mkr (0) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Omvärderade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Årets försäljning av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 1 mkr (10) varav 0 mkr (2) var klassade som nivå 3 innan försäljningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 0 mkr (2) varav 0 mkr (2) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2021	2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 141	2 234
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	218	298
Avyttringar och utgångar	-369	-325
Omklassificerat till tillgångar som innehås för försäljning	-115	-
Valutaeffekt	79	-66
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 954	2 141
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 325	-1 285
Årets avskrivningar enligt plan	-315	-373
Avyttringar och utgångar	329	304
Omklassificerat till tillgångar som innehås för försäljning	57	-
Årets av- och nedskrivningar avseende tillgångar som omklassificerats till tillgångar som innehås för försäljning ^a	14	-
Valutaeffekt	-47	29
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 287	-1 325
Redovisat värde	667	816
Redovisat värde nyttjanderätter ¹	48	83
Summa redovisat värde	715	869

Fastigheter mkr	2021	2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 509	2 415
Ny- och ombyggnation	67	107
Avyttringar och utgångar	-530	-4
Omklassificerat till tillgångar som innehås för försäljning	-301	-
Valutaeffekt	30	-9
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 776	2 509
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 084	-1 046
Årets avskrivningar enligt plan	-38	-41
Avyttringar och utgångar	476	1
Omklassificerat till tillgångar som innehås för försäljning	127	-
Årets av- och nedskrivningar avseende tillgångar som omklassificerats till tillgångar som innehås för försäljning ^a	2	-
Valutaeffekt	-1	2
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-818	-1 084
Redovisat värde	1 257	1 425
Redovisat värde nyttjanderätter ¹	3 300	3 936
Summa redovisat värde	4 557	5 361

¹ Nyttjanderätter hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till tillgångar som innehås för försäljning, se not K13, och ingår ej i redovisat värde per 2021-12-31.

^a Årets av- och nedskrivningar under januari–september 2021 dvs perioden före omklassificering till tillgångar som innehås för försäljning.

NOTER | KONCERNEN

K26 Övriga tillgångar

mkr	2021	2020
Fondlikvidfordringar	2 629	3 273
Ansvarförsäkringsstillgångar	20	11
Övrigt	3 136	2 840
Summa	6 785	6 124

Övriga tillgångar hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

K27 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2021	2020
Upplupna intäkter	1 280	1 460
Förutbetalda kostnader	736	793
Summa	2 016	2 253

Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

K28 Skulder till kreditinstitut

mkr	2021	2020
Skulder i svenska kronor		
Banker	4 409	36 933
Övriga kreditinstitut	8 485	11 265
Summa	12 894	48 198

Skulder i utländsk valuta		
Banker	60 982	75 952
Övriga kreditinstitut	158	573
Summa	70 140	76 525

Summa skulder till kreditinstitut	83 034	124 723
varav upplupna räntekostnader	-29	2
varav repor	-	-

Modolvolymer		
mkr	2021	2020
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	48 286	52 783
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	118 074	172 661
Summa	166 360	225 444
varav repor	371	650

Skulder till kreditinstitut hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Skulder som innehas för försäljning, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

NOTER | KONCERNEN

K29 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten mkr	2021	2020
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	445 736	410 578
Företag	366 155	297 529
Riksgälden	1	1
Summa	811 892	708 108
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	115 329	138 567
Företag	310 530	341 362
Summa	425 859	479 929
Summa inlåning från allmänheten	1 237 751	1 188 037
Upplåning från allmänheten mkr	2021	2020
Upplåning i svenska kronor	29 335	24 677
Upplåning i utländsk valuta	19 551	17 049
Summa upplåning från allmänheten	48 886	41 726
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 286 637	1 229 763
varav upplåpta räntekostnader	95	497
varav repor	213	-
varav inom försäkringsrörelsen	6 623	6 863
Medelvolymer mkr	2021	2020
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	745 860	675 329
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	490 229	488 470
Summa	1 236 089	1 163 799
Upplåning från allmänheten		
Upplåning i svenska kronor	54 673	31 257
Upplåning i svenska kronor, försäkringsrörelsen	6 739	7 038
Upplåning i utländsk valuta	153 982	99 934
Summa	215 394	138 229
varav repor	19 209	6 425

In- och upplåning från allmänheten hänförlig till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Skulder som innehåller för försäkring, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

K30 Skulder där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2021	2020
Fond- och depåförsäkringskulder	235 209	191 035
Övriga fondskulder	552	6 177
Summa	235 761	197 212

Skulder där kunden står värdeförändringsrisken hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Skulder som innehåller för försäkring, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

NOTER | KONCERNEN

K31 Emitterade värdepapper

mkr	2021		2020	
	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	567	489	391	423
varav verkligt värde obligationsakt	567	489	391	423
Certifikat i utländsk valuta	513 697	513 441	474 804	506 892
varav upplupet anskaffningsvärde	512 583	512 332	472 980	505 798
varav ingått skänkning av verkligt värde	905	905	-	-
varav verkligt värde obligationsakt	1 114	1 109	1 824	1 094
Summa	614 264	613 930	476 195	607 315
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	500 296	487 761	478 412	461 154
varav upplupet anskaffningsvärde	500 296	487 761	478 412	461 154
varav ingått skänkning av verkligt värde	40 225	39 200	22 985	21 850
Obligationsskuld i utländsk valuta	339 208	339 801	357 130	355 947
varav upplupet anskaffningsvärde	339 208	339 801	357 130	355 947
varav ingått skänkning av verkligt värde	1 34 588	135 408	92 645	90 578
Summa	839 504	827 562	836 542	817 101
Summa emitterade värdepapper	1 353 768	1 341 492	1 310 737	1 324 416
varav upplupna räntekostnader	4 194		4 395	

mkr	2021	2020
Emitterade värdepapper vid årets ingång	1 310 737	1 384 961
Emitterade	1 015 801	944 015
Återköpta	-54 381	-72 852
Förlösta	-939 884	-380 712
Valutaspekulationer m.m.	21 495	-64 675
Emitterade värdepapper vid årets utgång	1 353 768	1 310 737

Modervolymer	2021	2020
mkr		
Svenska kronor	491 228	494 056
Utländsk valuta	882 947	908 636
Summa	1 374 175	1 402 692

K32 Kortpositioner

mkr	2021	2020
Kortpositioner värderade till verkligt värde		
Aktier	835	658
Räntebärande värdepapper	3 270	1 024
Summa	4 105	1 682
varav upplupna räntekostnader	21	5
Modervolymer		
mkr		
Svenska kronor	21 824	10 977
Utländsk valuta	229	97
Summa	22 053	11 074

NOTER | KONCERNEN

K33 Försäkringsskulder

mkr	2021	2020
Skuld för sjukvård	162	151
Skuld för livstid	199	224
Skuld för andra ersämrade skador	131	130
Skuld för förbetsbäda premier	40	52
Summa	532	557

Försäkringsskulder hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till skulder som innehåller försäkring, se not K13, och ingår i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

K34 Skatter

Uppskjutna skattefordringar mkr	2021	2020
Säkeringsinstrument	-	563
Immateriella tillgångar	-	-
Fastigheter och inventarer	18	14
Pensioner	295	221
Övrigt	532	420
Summa	845	1 218

Uppskjutna skatteskulder mkr	2021	2020
Utlåning till alminsheten ¹	2 759	3 212
Säkeringsinstrument	369	1 528
Immateriella tillgångar	74	70
Fastigheter och inventarer	93	111
Pensioner	1 754	367
Övrigt	227	65
Summa	5 276	6 303

Netto uppskjutna skatteskulder	4 431	4 135
--------------------------------	-------	-------

Förändring av uppskjutna skatter 2021 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultat- räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Omklassificerat till tillgångar och skulder som inne- håller till försäkring	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till alminsheten ¹	3 212	-453	-	-	-	2 759
Säkeringsinstrument	965	-	-596	-	-	369
Immateriella tillgångar	70	4	-	-	-	74
Fastigheter och inventarer	97	-22	-	-	-	75
Pensioner	146	-72	1 328	-	-13	1 459
Övrigt	-355	-139	125	-4	-2	-305
Summa	4 135	-882	907	-4	-15	4 431

Förändring av uppskjutna skatter 2020 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultat- räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till alminsheten ¹	3 745	-533	-	-	3 212
Säkeringsinstrument	1 059	-	-94	-	965
Immateriella tillgångar	158	-88	-	-	70
Fastigheter och inventarer	96	1	-	-	97
Pensioner	-97	-33	267	9	146
Övrigt	-20	-329	-	-6	-355
Summa	4 941	-982	173	3	4 135

¹ Varav leasing 2 759 mkr (3 212).

NOTER | KONCERNEN

K34 FoUts

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen mkr	2021	2020
Aktuell skatt		
Årets skattekostnad	-5 188	-5 205
Justering av skatt hänförlig till tidigare år	-121	-16
Uppskjuten skatt		
Förändringar i temporära skillnader	682	1 059
Förändringar pga ändrad skattetas	-	-78
Summa skattekostnader kvarvarande verksamhet	-4 627	-4 240
Summa skattekostnader avvecklad verksamhet	-510	-307
Skatt beräknat som 20,6 % (21,4) på årets resultat kvarvarande verksamhet före skatt	-4 838	-4 023
Skillnad	209	-217
Skillnaden förklaras av skatteeffekt avseende följande poster		
Olika ej avdragsbara kostnader	-20	-21
Ej avdragsbart ränta på efterställda skulder	-226	-254
Annan skattetas i försäkringsrörelse	259	184
Ej skattepliktiga inkomster och utdelningar	-	10
Annan skattetas i utlandet	-121	-102
Omvärdet av uppskjutna skatter pga ändrad skattetas	-	-78
Övrigt	317	44
Summa	209	-217

K35 Avsättningar

Avsättningar 2021 mkr	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹	Omräknings- reserv ²	Övriga avsättningar ³	Summa
Avsättningar vid årets ingång	388	1 829	107	2 302
Avsatt under året	-	-	53	53
Anspråkstaget	-1 171	-	0	-1 171
Återfört	-	-	-1	-1
Omklassificerat till skulder som innehåller försäkring	-94	-41	-	-135
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	-22	-	-	-22
Avsättningar vid årets utgång	250	617	159	1 026

Avsättningar 2020 mkr	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹	Omräknings- reserv ²	Övriga avsättningar ³	Summa
Avsättningar vid årets ingång	241	864	36	1 141
Avsatt under året	-	1 370	112	1 482
Anspråkstaget	-405	-	-13	-418
Återfört	-	-	-28	-28
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	125	-	-	125
Avsättningar vid årets utgång	366	1 829	107	2 302

¹ För ytterligare information, se not K10 och K43.² Avsättningen för omräkningskostnader avser kostnader relaterade till bankens omställning. Merparten av avsättningsbeloppet är reglerat under året. Resterade förväntas vara reglerat vid utgången av 2022.³ Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikts mot banken.

K36 Övriga skulder

mkr	2021	2020
Fondinvestskulder	2 789	4 001
Leasingskuld	3 414	4 008
Återförädlingskulder	83	69
Övrigt	5 018	5 850
Summa	11 304	13 928

Övriga skulder hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till skulder som innehåller försäkring, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelseeffekten är oförändrad.

NOTER | KONCERNEN

K37 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mil	2021	2020
Upplupna kostnader	2 198	2 179
Förutbetalda intäkter	1 321	1 453
Summa	3 519	3 632

Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Skulder som innehås för försäljning, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsefferna är oförändrade.

K38 Efterställda skulder

mil	2021	2020
Förstagäll i svenska kronor	3 003	3 002
Förstagäll i utländsk valuta	29 254	38 080
Summa	32 257	41 082

varav upplupna räntekostnader

769 27 5

Medelvolymer	2021	2020
mil		
Förstagäll i svenska kronor	2 808	3 009
Förstagäll i utländsk valuta	30 125	34 062
Summa	33 023	37 071

Specifikation, förstagäll		Ursprungligt nominellt belopp i			Utestående
Emissionsår	Förfall	Valuta	respektive valuta	Räntesats, %	belopp
I svenska kronor					
2017	Tidsbunden	SEK	1 700	0,950%	1 701
2017	Tidsbunden	SEK	1 300	1,410%	1 302
Summa					3 003
I utländsk valuta					
2018	Tidsbunden	EUR	750	1,630%	7 785
2018	Tidsbunden	EUR	750	1,250%	7 764
2019	Evlgt	USD	500	6,250%	4 908
2020	Evlgt	USD	500	4,380%	4 454
2020	Evlgt	USD	500	4,750%	4 343
Summa					29 254

Summa efterställda skulder 32 257

För ytterligare information avseende förstagällen, se Bilaga 3-rapporten.

Förändring av efterställda skulder	2021	2020
mil		
Förstagäll vid årets ingång	41 082	35 546
Emitterade	-	8 916
Återköpta	-	-2
Förfallna	-9 711	-
Valutaefskeder m.m.	886	-3 378
Förstagäll vid årets utgång	32 257	41 082

K39 Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkerhetsreserv mkr	2021	2020
Säkerhetsreserv vid årets ingång	3 353	4 203
Kassaförändring		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Ränterisk	-2 319	-652
Valutakursrisk	528	-223
Realiserade värdeförändringar		
Omklassificerat till resultatåtkningen ¹	-179	-249
Skatt	406	274
Säkerhetsreserv vid årets utgång	1 789	3 383
Förändring av verkligt värdesreserv mkr	2021	2020
Verkligt värdesreserv vid årets ingång	94	660
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	59	-572
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	0	694
Realiserade värdeförändringar – skuldinstrument	5	5
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	0	1
Omklassificerat till balanserade vinstmedel – eget kapitalinstrument ²	0	-684
Omklassificerat till resultatåtkningen – skuldinstrument ³	-	-
Verkligt värdesreserv vid årets utgång	158	94
Förändring av omräkningsreserv mkr	2021	2020
Omräkningsreserv vid årets ingång	-806	3 643
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till filialer	1 220	-2 292
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till dotterbolag	2 247	-2 183
Omklassificerat till resultatåtkningen ⁴	-9	6
Omklassificerat till balanserade vinstmedel ⁵	-67	20
Omräkningsreserv vid årets utgång	2 685	-806

¹ Skatt som omklassificerats till resultatåtkningen hänförlig till denna post 37 mkr (53).² Skatt som omklassificerats till balanserade vinstmedel hänförlig till denna post 0 mkr (43).³ Skatt som omklassificerats till resultatåtkningen hänförlig till denna post - mkr (0).⁴ Skatt som omklassificerats till resultatåtkningen hänförlig till denna post 2 mkr (-1).⁵ Skatt som omklassificerats till balanserade vinstmedel hänförlig till denna post 17 mkr (-9).

NOTER | KONCERNEN

K40 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2021	Verkligt värde via resultaträkningen						
mil	Obligatoriskt	Verkligt värde- optionen	Derivat identifierat som säkringelinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffnings- värde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					439 964	439 964	439 964
Övrig utlåning till centralbanker					1 462	1 462	1 462
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	2 513	97 628		397	24	100 562	100 562
Utlåning till övriga kreditinstitut					21 838	21 838	21 839
Utlåning till allmänheten					2 413 829	2 413 829	2 416 796
Värdeförändring på räntesäkrat post i portföljsäkring					-1 900	-1 900	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	5 310	19 008		9 016		33 334	33 334
Aktier och andelar	19 026			908		19 934	19 934
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	252 924				64	252 988	252 988
Derivatinstrument	17 300		11 218			28 518	28 518
Övriga tillgångar	18				6 147	6 165	6 165
Summa	297 001	116 636	11 218	10 321	2 881 428	3 316 604	3 321 562
Aktier och andelar i intresseföretag och joint ventures						478	
Icke finansiella tillgångar						29 592	
Summa tillgångar						3 346 764	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					83 608	83 608	83 992
In- och upplåning från allmänheten					1 400 757	1 400 757	1 400 721
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		252 924			64	252 988	252 988
Emitterade värdepapper	1 681				1 352 087	1 353 768	1 359 994
Derivatinstrument	8 843		4 966			13 809	13 809
Korta positioner	4 105					4 105	4 105
Övriga skulder	7				12 405	12 412	12 412
Efterställda skulder					32 257	32 257	32 645
Summa	14 636	252 924	4 966		2 881 178	3 183 704	3 181 606
Icke finansiella skulder						11 329	
Summa skulder						3 185 033	

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K13.

2020	Verkligt värde via resultaträkningen					Summa redovisat värde	Verkligt värde
mil	Obligatoriskt	Verkligt värde- optionen	Derivat identifierat som säkringelinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffnings- värde		
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					397 642	397 642	397 642
Övrig utlåning till centralbanker					21 326	21 326	21 326
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	3 928	94 024		401	780	99 133	99 133
Utlåning till övriga kreditinstitut					21 920	21 920	21 918
Utlåning till allmänheten					2 269 612	2 269 612	2 281 897
Värdeförändring på räntesäkrat post i portföljsäkring					25	25	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 962	26 640		7 964		44 566	44 566
Aktier och andelar	20 245			800		21 045	21 045
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	197 152				60	197 212	197 212
Derivatinstrument	16 854		13 780			30 614	30 614
Övriga tillgångar	30				6 083	6 113	6 113
Summa	248 161	120 664	13 780	9 165	2 717 448	3 100 298	3 121 466
Aktier och andelar i intresseföretag och joint ventures						386	
Icke finansiella tillgångar						25 694	
Summa tillgångar						3 136 288	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					124 723	124 723	125 220
In- och upplåning från allmänheten					1 229 763	1 229 763	1 239 741
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		197 152			60	197 212	197 212
Emitterade värdepapper	2 215				1 308 522	1 310 737	1 326 970
Derivatinstrument	23 851		8 968			32 819	32 819
Korta positioner	1 682					1 682	1 682
Övriga skulder	38				13 890	13 928	13 928
Efterställda skulder					41 082	41 082	42 675
Summa	27 796	197 152	8 968		2 718 040	2 951 946	2 970 247
Icke finansiella skulder						11 869	
Summa skulder						2 963 815	

K41 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2021 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	2 188	325	-	2 513
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	97 628	-	-	97 628
Verkligt värde via övrigt totalresultat	397	-	-	397
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	4 262	1 048	-	5 310
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	19 008	-	-	19 008
Verkligt värde via övrigt totalresultat	2 291	6 725	-	9 016
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	18 286	709	31	19 026
Verkligt värde via övrigt totalresultat	100	200	608	908
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	251 977	463	484	252 924
Derivatinstrument	22	28 453	43	28 518
Summa	366 169	37 023	1 168	405 248
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	251 977	463	484	252 924
Emitterade värdepapper	-	1 681	-	1 681
Derivatinstrument	46	13 720	43	13 809
Korta positioner	3 903	202	-	4 105
Summa	256 026	16 066	627	272 619

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avlyftningsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K13.

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2020 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	3 088	840	-	3 928
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	94 024	-	-	94 024
Verkligt värde via övrigt totalresultat	401	-	-	401
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	8 200	1 762	-	9 962
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	26 640	-	-	26 640
Verkligt värde via övrigt totalresultat	3 091	4 873	-	7 964
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	19 792	417	36	20 245
Verkligt värde via övrigt totalresultat	100	186	514	800
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	126 244	434	474	127 152
Derivatinstrument	267	30 267	80	30 614
Summa	301 847	38 779	1 104	341 730
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	126 244	434	474	127 152
Emitterade värdepapper	-	2 215	-	2 215
Derivatinstrument	255	32 484	80	32 819
Korta positioner	1 488	194	-	1 682
Summa	127 987	35 327	654	163 968

NOTER | KONCERNEN

K41. Forts

Värderingshierarkin

Finansiella instrument värderade till verkligt värde har i tabellerna kategoriserats med avseende på hur de värderats och graden av transparens kring marknadsdata som använts vid värderingen. Kategoriseringen framgår som nivå 1-3 i tabellerna. Finansiella instrument som värderas till ett direkt och likvärt marknadspris kategoriseras som nivå 1. Dessa finansiella instrument består främst av statspapper och andra räntebärande värdepapper som handlas aktivt, noterade aktier samt korta positioner i motsvarande tillgångar. I nivå 1 ingår även merparten av de fondandelar och andra tillgångar som är kopplade till fondförsäkringskontrakt och liknande avtal samt motsvarande skulder. Finansiella instrument som värderas med värderingsmodeller som i allt väsentligt bygger på marknadsdata kategoriseras som nivå 2. I nivå 2 ingår främst räntebärande värdepapper samt ränte- och valutarelaterade derivat. Finansiella instrument vars värdering i väsentlig utsträckning påverkas av data som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter kategoriseras som nivå 3. I nivå 3 ingår onoterade aktier, vissa innehav i riskkapitalfonder samt vissa derivat.

Som grund för indelningen ligger den värderingsmetod som använts på balansdagen. Om kategorin för ett specifikt instrument har förändrats

i jämförelse med föregående balansdag (2020-12-31) har instrumentet flyttats mellan nivåerna i tabellen. Under räkenskapsåret har vissa volymer flyttats mellan nivå 1 och nivå 2 till följd av en ny bedömning av marknadsaktiviteten. På tillgångssidan har räntebärande värdepapper till ett värde av 823 mkr flyttats från nivå 1 till nivå 2. Räntebärande värdepapper till ett värde av 59 mkr har flyttats från nivå 2 till nivå 1. På skuldsidan har inga flyttar utförts från nivå 1 till nivå 2 eller från nivå 2 till nivå 1. Ingen förflyttning mellan nivåerna under räkenskapsåret 2021 har skett till följd av enbart covid-19. Årets förändringar av innehav i nivå 3 redovisas i en separat tabell, se nedan.

Innehav i nivå 3 består främst av onoterade aktier. Koncernens innehav av onoterade aktier består till övervägande del av andelar i företag som utför stödjande verksamhet för banken. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på Handelsbankens hemmamarknader. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris till vilket den senaste transaktionen genomfördes. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Värdeförändringar på dessa innehav redovisas därmed i övrigt totalresultat.

Vissa innehav i riskkapitalfonder kategorise-

ras som nivå 3. De värderas med värderingsmodeller som huvudsakligen bygger på relativ värdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Det resultatmått som jämförelsen bygger på justeras för faktorer som stör jämförelsen mellan investeringen och jämförelsebolaget. Därefter beräknas värdet på basis av vinstmultiplar, exempelvis P/E-tal. Merparten av dessa innehav utgör placerings-tillgångar i koncernens försäkringsrörelse. Värdeförändringar på placeringstillgångarna ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen och redovisas därmed inte direkt i resultaträkningen.

Vidare kategoriseras derivatkomponenten i vissa av bankens emitterade strukturerade obligationer och dess tillhörande säkrande derivat i nivå 3. För dessa derivat har interna antaganden väsentligt påverkan för beräkningen av det verkliga värdet. Säkrande derivat i nivå 3 är handlade under CSA-avtal, där marknadsvärdena stäms av och säkerställs på daglig basis med bankens motparter.

Årets realiserade värdeförändringar på finansiella instrument i nivå 3 som redovisas i resultaträkningen uppgår till 2 mkr (8). Hela beloppet ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen.

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2021					
mkr	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	Skulder där kunden står värdeförändringsrisken
Redovisat värde vid årets ingång	550	80	-80	474	-474
Nyanskaffningar	33	1	-2	-	-
Återköp/avyttring	-3	9	-7	-	-
Förtälet	-	-	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	51	-131	130	10	-10
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	8	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	10	-10	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	74	-74	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	639	43	-43	484	-484

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring respektive Skulder som innehåller försäkring, se not K15.

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2020					
mkr	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	Skulder där kunden står värdeförändringsrisken
Redovisat värde vid årets ingång	1 308	60	-70	498	-498
Nyanskaffningar	6	9	-13	-	-
Återköp/avyttring	-704	-	5	-	-
Förtälet	-	-	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	-22	-16	16	-19	19
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	-38	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	17	-17	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	1	-1	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	550	60	-80	474	-474

K41 Forts

Skilnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell
Som framgår av redovisningsprinciperna i not K1 periodiseras väsentliga positiva skilnader mellan det värde som räknats fram vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (så kallat dag 1-resultat) vid modellvärdering av derivat. Orealiserade resultat på grund av positiva skilnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Principen innebär att en periodiseringsseffekt om 172 mkr (171) redovisats i nettoresultat av finansiella transaktioner under året. Vid utgången av året uppgick sammanlagda ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 489 mkr (538).

Principer för upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde
Upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde lämnas i not K40 och i tabellen nedan. Dessa instrument består i allt väsentligt av utlåning samt in- och upplåning. För betalningsmedel samt kortfristiga fordringar och skulder har det redovisade värdet bedömts vara en godtagbar estimering av det verkliga värdet. Fordringar och skulder med förfallodag alternativt tidpunkt för nästkommande ränteomsättning som infaller inom 30 dagar, har definierats som kortfristiga.

Värderingen av utlåning till fast ränta baseras på aktuell marknadsränta med justering för antagande om marknadsmässig kredit- och likviditetsriskpremie. Premien har antagits vara lika med genomsnittlig marginal för nyutlåning vid

mättdpunkten. Räntebärande värdepapper har värderats till aktuellt marknadspris i den mån ett sådant funnits tillgängligt. Uplåning samt räntebärande värdepapper för vilka marknadsprisinformation inte funnits har värderats med en värderingsmodell som bygger på marknadsdata i form av priser eller räntor för liknande instrument.

I tabellen har den värdering som ligger till grund för uppgifterna om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde kategoriserats i den värderingshierarki som beskrivits ovan. Betalningsmedel samt inlåning har likställts med kontanter och kategoriserats som nivå 1. I nivå 1 redovisas även räntebärande värdepapper (tillgångar och skulder) för vilka det finns ett aktuellt marknadspris. Utlåning för vilken antagandet om kredit- och likviditetspremie väsentligt påverkat upplysningen om verkligt värde har kategoriserats som nivå 3. Övriga instrument är kategoriserade som nivå 2.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2021 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	439 964	-	-	439 964
Övrig utlåning till centralbanker	1 462	-	-	1 462
Betalningsbara statskultförbindelser m.m.	-	24	-	24
Utlåning till övriga kreditinstitut	3 689	17 757	393	21 839
Utlåning till allmänheten	12 192	1 533 836	870 768	2 416 796
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken	64	-	-	64
Summa	457 371	1 551 617	871 161	2 880 149
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	9 507	74 485	-	83 992
In- och upplåning från allmänheten	1 385 232	15 489	-	1 400 721
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken	64	-	-	64
Emitterade värdepapper	178 038	1 180 215	-	1 358 253
Efterställda skulder	-	33 645	-	33 645
Summa	1 672 841	1 303 834	-	2 976 676

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K13.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2020 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	397 642	-	-	397 642
Övrig utlåning till centralbanker	21 326	-	-	21 326
Betalningsbara statskultförbindelser m.m.	727	53	-	780
Utlåning till övriga kreditinstitut	13 259	8 071	588	21 918
Utlåning till allmänheten	4 254	2 045	2 275 598	2 281 897
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken	-	60	-	60
Summa	437 208	10 229	2 276 186	2 723 623
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	38 870	86 350	-	125 220
In- och upplåning från allmänheten	1 202 742	26 999	-	1 229 741
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken	-	60	-	60
Emitterade värdepapper	737 828	586 927	-	1 324 755
Efterställda skulder	-	42 675	-	42 675
Summa	1 079 440	743 011	-	2 722 451

K42 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

Förteckning över ställda säkerheter		
mil	2021	2020
Kontanter	14 600	28 157
Statspapper och obligationer	6 460	2 398
Utlåning till allmänheten	692 211	661 960
Aktier	6 597	6 680
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	248 066	193 198
Övrigt	3 499	5 524
Summa	971 433	907 907
varav pantar som förlämnas återkallas av banken	25	28

Övriga ställda säkerheter		
mil	2021	2020
Kontanter	1 456	1 298
Statspapper och obligationer	5 767	40 844
Aktier	7 007	6 285
Övrigt	0	3
Summa	14 230	48 430
varav pantar som förlämnas återkallas av banken	3 563	37 504

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställts för förpliktelse som ej redovisas i balansräkningen.

Ställda säkerheter

Ställda säkerheter är redovisade som tillgångar i balansräkningen. Ställda säkerheter i form av räntebärande värdepapper består i huvudsak av värdepapper som ställts som säkerhet i centralbanker och andra kreditinstitut, för betalningssystem, värdepappershandel och clearing samt värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal (repo). Ställda säkerheter i form av aktier består av utlånade aktier och aktier i försäkringsföretagen.

Utlåning till allmänheten som ställts som säkerhet utgörs till största delen av den registrerade säkerhetsmassan till förmån för innehavare av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek. Säkerhetsmassan består av hypotekslån som lämnats mot pant i huvudsakligen småhus, fritidshus, flerbostadshus och bostadsrätter med belåningsgrad inom 75% av marknadsvärdet. I händelse av bolagets obestånd har innehavarna av de säkerställda obligationerna förmånsrätt enligt lagen om säkerställda obligationer och förmånsrättslagen i de pantförskrivna tillgångarna. Om tillgångarna i säkerhetsmassan vid tiden för ett konkursbeslut uppfyller de villkor som uppställts i lagen, ska de hållas åtskilda från konkursboets övriga tillgångar och skulder. Innehavarna av obligationerna erhåller då fortsatt kontraktssenliga betalningar enligt obligationens villkor fram till förfall.

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar under fondförsäkringsavtal i Handelsbanken Liv i vilka försäkringstagarna har förmånsrätt.

Mottagna säkerheter

Mottagna säkerheter redovisas inte i balansräkningen. Vid omvända återköpsavtal och aktielån mottas värdepapper som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av mottagna värdepapper under omvända återköpsavtal och avtal om aktielån uppgick till 63 709 mkr (23 451) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 26 632 mkr (8 400) sålts eller pantsatts vidare. Information om mottagna pantar för utlåning och andra mottagna säkerheter framgår av not K2.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen

Överförda finansiella tillgångar är redovisade som tillgångar i balansräkningen, men för dessa har rätten till framtida kassaflöden direkt eller indirekt överförts till en extern motpart. Merparten av de överförda finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen består av räntebärande värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal samt utlånade aktier. I normalfallet regleras villkoren för bindande återköp och aktielån i ramavtal som ingåtts mellan banken och respektive motpart.

Bindande återköpsavtal innebär försäljning av ett värdepapper med förbindelse om återköp till ett fastställt pris vid en förutbestämd framtida tidpunkt. Säljaren av värdepappret är därmed fortsatt exponerad för risken för värdeförändringar under avtalets löptid. Sålida värdepapper under återköpsavtal kvarstår till marknadsvärde i balansräkningen under avtalets löptid. Mot-

tagen köpeskilling redovisas som skuld till motparten. Enligt standardvillkoren i återköpsavtal övergår äganderätten till det sålda värdepappret helt från säljare till köpare, vilket innebär att köparen har rätt att vidareföra, återpanta eller på annat sätt förfoga över de köpta värdepappren.

Enligt standardavtalen för aktielån kvarstår exponeringen för värdeförändring i den utlånade aktien hos långivaren. Utlånade aktier kvarstår därmed i balansräkningen under lånets löptid. Säkerheter för utlånade aktier utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper. Mottagen kontantsäkerhet redovisas som skuld i balansräkningen. På samma sätt som för återköpsavtal innebär det standardavtal som används för aktielån att låntagaren under lånets löptid har rätt att vidareföra, återpanta eller på annat sätt förfoga över de lånade aktierna.

Som övriga överförda finansiella tillgångar redovisas statspapper, obligationer och aktier som ställts som säkerhet för värdepappershandel, clearing med mera och där förfoganderätten över värdepappret övergått till mottagaren. Som överförda finansiella tillgångar redovisas även vissa tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken. Dessa tillgångar består av portföljer av finansiella instrument till vilka banken har formell äganderätt, men där de risker som är förknippade med tillgångarna liksom rätten till framtida kassaflöden överförts till en tredje part. Värderingen av dessa tillgångar speglar värderingen av den motsvarande skuldposten.

NOTER | KONCERNEN

K42 Forts

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen	2021		2020	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
mkr				
Aktier, värdepappersutlåning	7 340	284 ¹	6 526	306 ¹
Statspapper och obligationer, noter	4 142	67	386	-
Statspapper och obligationer, övrigt	1 946	-	1 108	-
Tillgångar där kunden står värdepappersförfärdig	552	552	538	538
Summa	13 980	903	8 558	844

¹ Mottagen kontantlikviditet.

K43 Eventualförpliktelser

mkr	2021	2020
Ansvarsförbindelser		
Garantiförbindelser, krediter	7 830	9 902
Garantiförbindelser, övriga	61 579	67 156
Obligatoriska rembursar	1 035	2 290
Övrigt	1 303	638
Summa	71 756	79 986
varav föremål för nedskrivningsprövning	71 756	79 986
Åtaganden		
Kreditlöften	346 556	331 230
Outnyttjad del av beviljade räntekrediter	116 839	118 066
Övrigt	23 122	14 128
Summa	486 517	463 424
varav föremål för nedskrivningsprövning	344 061	322 547
Summa eventualförpliktelser	558 273	543 310
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not K35.	344	366

Ansvarsförbindelser

Ansvarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsnät. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier av seende förskottsbelåningar, garantier under ansvaretiden och exportrelaterade garantier. Ansvarsförbindelser omfattar också outnyttjade obligatoriska importrembursar och beviljade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

Tvister

Bolag inom koncernen är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bedömningen är att tvistemålen i allt väsentligt kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistebeloppen bedöms ej kunna få en väsentlig inverkan på koncernens ställning eller resultat.

Ersättningar

Anställda i Danmark och Finland som kvarstår i tjänst fram till tidpunkten för avyttring av verksamheterna kommer att erhålla en extra ersättning. Beloppet är i nuläget inte möjligt att uppskatta, men bedöms ej kunna få en väsentlig inverkan på koncernens resultat och ställning.

NOTER | KONCERNEN

K44 Leasing

Handelsbanken som leasegivare

Finansiella leasingavtal mkr	2021	2020
Finansiella intäkter från nettoinvesteringen	218	277
Variabla leasingavgifter	113	158
Fördelning av odiskonterade leasingfordringar på förfallotidpunkter samt nettoinvestering mkr	2021	2020
Upp till 1 år	3 426	3 462
1 år till 2 år	3 931	5 202
2 år till 3 år	4 204	4 606
3 år till 4 år	2 064	3 731
4 år till 5 år	1 098	2 521
Över 5 år	4 717	3 088
Summa odiskonterade leasingfordringar	19 480	22 610
Ej intjänade finansiella intäkter	-351	-330
Nettoinvestering	19 129	22 280

Nettoinvesteringar hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K13, och ingår ej i balansposten ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utföring i balansräkningen, initialt till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Förändringen mellan åren beror främst på minskade leasingvolymen (-3 mkr), avseende avveckling av verksamhet. Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Samtliga leasingavtal har garanterade restvärden. Vid utgången av året fanns i koncernen tre leasinggaggar som varit och ett enskilt hade ett redovisat värde överstigande 1 mkr.

Handelsbanken som leasetagare

Poster i resultaträkningen mkr	2021	2020
Räntekostnader leasingkulder	-64	-69
Summa ¹	-64	-69
Av- och nedskrivning nyttjanderätter		
Fastigheter	-668	-750
Inventarer	-16	-17
Summa ²	-684	-767
Kostnader för korttidsleasing	-31	-35
Kostnader för leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde	-15	-15
Variabla leasingavgifter som inte ingår i beräkningen av leasingkulder	-100	-102
Summa ³	-146	-182
Totala kostnader för leasingavtal	-894	-968
Poster i balansräkningen mkr	2021	2020
Nyttjanderätter ⁴		
Fastigheter	3 300	3 936
Inventarer	48	53
Summa	3 348	3 989
Tillkommande nyttjanderätter ⁴	97	321
Leasingkulder ⁵	3 412	4 008
Totala kassautflöden för leasingavtal	-807	-946

Nyttjanderätter och leasingkulder hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland har omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K13, och ingår ej i balansposterna ovan per 2021-12-31. Jämförelsesiffrorna är oförändrade.

¹ Ingår i resultatposten Räntekostnader.

² Ingår i resultatposten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar, varav -55 mkr (-107) avser nedskrivning.

³ Ingår i resultatposten Övriga kostnader.

⁴ Nyttjanderätter ingår i balansposten Fastigheter och inventarer.

⁵ Under året nya leasingkontrakt som ingår i nyttjanderätter.

⁶ Leasingkulder ingår i balansposten Övriga skulder.

NOTER | KONCERNEN

K44 Forts

Återstående löptider avseende leasingavtal mkr	2021	2020
Upp till 6 månader	338	375
6 månader till 1 år	333	366
1 år till 2 år	633	624
2 år till 5 år	1 401	1 644
Över 5 år	689	1 151
Summa	3 394	4 230

Bankens leasingavtal utgörs huvudsakligen av hyreskontrakt avseende lokaler. Därutöver omfattar leasingavtalen främst multifunktions skrivare, persondatorer och diverse övriga kontorsinventarer. Huvuddelen av hyreskontrakten avseende lokaler har en avtalstid mellan 3 år till 10 år. Vissa av bankens hyreskontrakt för lokaler innehåller en möjlighet till förlängning av avtalstiden, vilken innebär att hyreskontraktet förlängs för en angiven period om kontraktet inte sägs upp vid en specifik tidpunkt. Det förekommer även hyreskontrakt avseende lokaler som innehåller en möjlighet för banken att säga upp hyreskontraktet i förtid. Vid fastställande av leasingperiodens längd för hyreskontrakt inkluderas möjligheter att förlänga ett leasingkontrakt, eller avsluta ett leasingkontrakt i förtid, endast vid mycket hög grad av sannolikhet att dessa kommer att utnyttjas. Banken har ingått leasingavtal som är kortare än 12 månader och leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde, vilka kostnadsförs i enlighet med undantaget i IFRS 16 Leasingavtal, och därmed inte ingår i leasingkulder och nyttjandentill.

NOTER | KONCERNEN

K45 Segmentinformation

Segmentinformation 2021							
milj	Sverige	Storbritannien	Norge	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och eliminerings
Räntanetto	18 140	5 452	3 698	1 045	258	788	29 391
Provisionanetto	8 614	751	643	224	1 006	220	11 458
Nettoreultat av finansiella transaktioner	509	189	55	32	1 155	-241	1 699
Risikoreultat förvaltnings					187	-8	179
Andelar i intresserföretags och joint ventures resultat						63	63
Övriga intäkter	470	0	26	0	10	51	557
Summa intäkter	27 733	6 392	4 422	1 301	2 626	873	43 347
Personalkostnader	-3 201	-2 467	-891	-395	-2 012	-3 317	-12 452
Övriga kostnader	-845	-1 045	-195	-76	-746	-2 679	-5 577
Internt köpta och sålda tjänster	-5 465	-912	-526	-176	801	6 278	
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-316	-316	-84	-50	-274	-727	-1 814
Summa kostnader	-9 827	-4 740	-1 687	-607	-2 231	-445	-19 843
Resultat före kreditförluster	17 906	1 652	2 735	604	395	428	23 504
Kreditförluster, netto	16	95	-150	-5	10	-9	-43
Vinstförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	9	9	7	-	-10	-1	14
Rörelseresultat	17 931	1 756	2 592	600	395	418	23 475
Resultatutdelning	390	46	54	1	-527	36	
Rörelseresultat efter resultatutdelning	18 321	1 802	2 646	600	-132	454	23 476
Interna intäkter ¹	-381	-961	-1 423	-386	-420	3 571	
KV-fal, %	34,9	73,6	37,7	53,5	106,3		45,8
Kreditförlustnivå, %	0,00	-0,04	0,06	0,01	-0,01		0,00
Tillgångar	2 322 088	488 025	291 064	111 145	357 822	2 524 556	3 346 764
Skulder	2 221 421	467 478	273 095	108 132	351 467	2 509 418	3 165 033
Allokerat kapital	100 667	20 547	17 978	3 013	6 355	15 138	181 731
Räntabilitet på allokerat kapital, %	15,2	7,0	11,3	16,7	-1,7		11,4
Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar	-77	77	29	2	138	528	697
Årets investeringar i intresserföretags och joint ventures						51	51
Medelantal anställda	3 359	2 509	731	337	1 156	2 947	11 099

¹ Interna intäkter som ingår i Summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment och Övrigt. Eftersom ränta-intäkter och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten och Övrigt.

Övrigt i tabellen ovan inkluderar Tillgångar, Skulder, Allokerat kapital samt förändringar i balansposter hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland. Jämförelsesiffrorna har justerats.

Rörelsesegmenten redovisas i enlighet med IFRS 8 Rörelsesegment, vilket innebär att segmentinformationen presenteras på motsvarande sätt som tillämpas internt i styrningssyfte. Handelsbankens verksamhet presenteras uppdelat på segmenten Sverige, Storbritannien, Norge, Nederländerna samt Capital Markets. Kontorsrörelsen i Handelsbanken tillhandahåller ett fokuserat erbjudande inom finansiering, betalning, finansiella rådgivningstjänster samt sparande och pension. Varje land följs upp som en fristående resultatenhet och styrs av en landchef. I Sverige och Storbritannien är kontorsrörelsen under landchefen organiserad i län respektive distrikt. Segmentet Capital Markets är bankens investmentbank, vilket bland annat inbegriper värdepappershan-

del och investeringsrådgivning. I verksamheten ingår även kapitalförvaltning, försäkringsverksamhet samt bankens internationella verksamhet utanför hemmamarknaderna.

Segmentens resultat visas före och efter intern resultatutdelning. Den interna resultatutdelningen innebär att kundansvarig enhet tilldelas allt resultat som härrör från dess kunders transaktioner med banken, oavsett inom vilket segment transaktionen är genomförd. Dessutom redovisas intäkter och kostnader för internt utförda tjänster netto på raden Internt köpta och sålda tjänster. Transaktioner mellan segmenten redovisas huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kolumnerna Övrigt samt Justeringar och eliminerings visas poster som inte hör till något specifikt segment eller elimine-

ras på koncernnivå. I kolumnen Övrigt ingår till övervägande del finansförvaltning och centrala stabsevideringar samt transaktioner hänförliga till reserveringen för resultatandelssystemet Oktogonen. I kolumnen Justeringar och eliminerings redovisas bland annat justeringar för personalkostnader. I justeringar för personalkostnader ingår skillnaden mellan koncernens pensionskostnader beräknade enligt IAS 19 Ersättningar till anställda och lokalt beräknade pensionskostnader.

Interna intäkter består främst av interna räntor och provisioner. I segmentens resultaträkningar ingår dessutom interna poster i form av ersättningar för interna tjänster. Interndebitering sker huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kontorsrörelsen består tillgångarna

NOTER | KONCERNEN

K45 Forts

Segmentinformation 2020							
mkr	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar
Räntesnetto	18 166	5 693	3 481	908	355	486	29 079
Provisionsnetto	7 112	713	504	125	1 032	184	9 670
Nettoreultat av finansiella transaktioner	458	176	57	25	1 039	-538	1 217
Risikoresultat försäkring					195	-1	194
Andelar i intresseföretags och jointventures resultat						18	18
Övriga intäkter	33	1	32	2	23	99	190
Summa intäkter	26 769	6 573	4 074	1 060	2 644	248	40 368
Personalkostnader	-3 284	-2 465	-822	-395	-2 203	-4 598	-140
Övriga kostnader	-827	-864	-203	-146	-791	-2 414	-5 245
Intant köpta och sålda tjänster	-5 017	-761	-509	-143	603	5 827	
Av- och nadsäkringar av materiella och immateriella tillgångar	-321	-267	-88	-56	-123	-920	-1 775
Summa kostnader	-9 449	-4 367	-1 622	-740	-2 514	-2 105	-20 927
Resultat före kreditförluster	16 320	2 218	2 452	320	130	-1 857	19 441
Kreditförluster, netto	-177	-119	-270	-4	11	-90	-649
Vinstenförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	8	-7	7	0	-3	0	5
Rörelseresultat	16 151	2 090	2 189	316	138	-1 947	18 797
Resultatutdelning	333	49	40	5	-466	39	
Rörelseresultat efter resultatutdelning	16 484	2 139	2 229	321	-328	-1 908	18 797
Interna intäkter ²	88	-1 193	-2 420	-387	-1 563	5 475	
KIT-fal, %	36,2	65,8	39,4	69,5	115,4		51,8
Kreditförlustnivå, %	0,01	0,04	0,10	0,01	-0,01		0,02
Tillgångar	2 095 300	451 009	268 255	81 722	344 485	2 382 147	3 135 288
Skulder	1 999 887	431 703	248 309	79 110	338 642	2 367 156	2 963 815
Allokerat kapital	96 413	19 305	19 986	2 612	5 843	14 991	171 473
Räntabilitet på allokerat kapital, %	14,0	8,9	8,8	10,0	-4,2		9,3
Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar	242	119	6	7	181	881	1 436
Årets investeringar i intresseföretag och jointventures						96	96
Medelantal anställda	3 672	2 462	709	329	1 317	2 865	11 354

I Sverige ersattes under första kvartalet 2021 de fem regionbankerna med en ny kundnära organisation där kontoren istället är indelade i 24 tjänstehalter vilka hålls samman av en gemensam landorganisation med en landchef. Delar av den personal som tidigare tjänat vid de fem regionhuvudkontoren övergick i samband med detta organisatoriskt till Capital Markets, centrala staber för ekonomi, juridik och personaltjänster samt avdelning mot finansiell kriminalitet. Från och med 2021 redovisas elimineringar av direktägda aktier i dotterbolag under kolumnen Justeringar och elimineringar istället för under respektive segment. De i tabellen redovisade jämförelsesiffrorna har därför omräknats.

till största delen av utlåning till allmänheten och skulderna av inlåning från allmänheten samt intern upplåning. I segmentet Capital Markets består tillgångarna främst av värdepapper som förvaltas inom ramen för kapitalförvaltning och försäkringsverksamheten. Tillgångarna i kolumnen Övrigt består till övervägande del av internutlåning till de olika segmenten, medan skulderna framförallt består av extern upplåning. Det allokera kapitalet för segmenten överensstämmer med kapitalfördelningen enligt den interna styrmodellen.

Intäkter per produktområde		
mkr	2021	2020
In- och utlåning privat	14 591	14 504
In- och utlåning företag	15 074	15 200
Betalningar netto	1 479	1 448
Kapitalförvaltning fonder	6 747	5 048
Pension och Försäkring	929	751
Investmentbankertjänster	2 975	1 431
Övrigt	1 549	1 986
Summa	43 344	40 368

NOTER | KONCERNEN

K46 Geografisk information

Geografisk information 2021 mil	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	Tillgångar
Sverige	30 450	18 803	-3 445		2 865 613
Storbritannien	6 287	1 543	-415		308 272
Norge	4 137	2 206	-606		331 606
Nederländerna	1 317	622	-151		105 022
USA	260	167	-4		273 070
Luxemburg	156	47	-12		34 550
Kina	9	-34	0		1
Tyskland	4	-33	-		64
Frankrike	54	12	-2		3 251
Singapore	0	-2	0		-
Polen	-12	-78	-		450
Danmark				854	149 950
Finland				-159	274 415
Elimineringar	685	132	8		-1 089 500
Summa	43 347	23 475	-4 627	695	3 346 764

Intäkter, rörelseresultat respektive årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt och tillgångar som presenteras i den geografiska informationen består av interna och externa intäkter, kostnader och tillgångar i respektive land. Den geografiska fördelningen av intäkter och kostnader är baserad på det land där transaktionen är genomförd och är inte jämförbar med redovisningen av segmentinformationen. Med skatt avses aktuell och uppskjuten skatt. Ytterligare geografisk information lämnas i not M16 avseende koncernföretag och deras sölle samt i not K8 avseende med- och utanför land.

Geografisk information 2020 mil	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	Tillgångar
Sverige	27 858	14 522	-3 747		2 695 867
Storbritannien	6 318	1 926	-487		352 200
Norge	3 844	1 991	-470		314 086
Nederländerna	1 088	309	-75		76 657
USA	206	66	-2		219 100
Luxemburg	184	80	-8		38 252
Kina	107	11	0		1 443
Tyskland	85	-136	4		8 969
Frankrike	61	30	-4		3 859
Singapore	9	-14	0		774
Polen	4	-76	-2		523
Eritland	0	-13	-		-
Lettland	1	-2	-		-
Uttusen	0	-2	-		-
Danmark				909	139 552
Finland				122	268 118
Elimineringar	603	105	551	0	-974 210
Summa	40 988	18 797	-4 240	1 031	3 135 286

NOTER | KONCERNEN

K47 Tillgångar och skulder i valuta

2021 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodehavande hos centralbanker	93 293	140 547	4 578	28 282	101 196	63 008	60	430 954
Övrig utlåning till centralbanker	-	-	-	207	1 255	-	-	1 462
Utlåning till övriga kreditinstitut	1 073	3 587	12 122	51	1 140	3 335	530	21 838
Utlåning till allmänheten	1 496 800	245 760	204 946	107 914	251 709	13 567	3 049	2 413 829
varav företag	537 399	149 031	183 442	43 653	174 344	13 376	1 555	1 102 810
varav hushåll	959 401	96 729	111 504	64 251	77 440	191	1 494	1 311 019
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	91 630	5 658	335	26	-	2 913	-	100 562
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	23 131	965	8 741	17	-	480	-	33 334
Övriga ej valutafördelade poster	335 775	-	-	-	-	-	-	335 775
Summa tillgångar	2 041 702	405 517	320 722	136 407	305 384	83 303	3 639	3 346 764
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	12 903	49 968	14 376	248	79	5 984	50	83 608
In- och upplåning från allmänheten	842 173	151 481	89 516	52 166	231 861	31 233	2 327	1 400 757
varav företag	386 274	120 367	59 662	28 818	162 303	26 954	1 605	785 009
varav hushåll	455 899	31 114	29 854	23 348	69 558	4 269	722	614 764
Emitterade värdepapper	500 864	385 000	30 207	7	69 192	351 169	17 329	1 353 768
Efterställda skulder	3 003	15 547	-	-	0	13 707	-	32 257
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	476 374	-	-	-	-	-	-	476 374
Summa skulder och eget kapital	1 836 317	601 908	134 099	82 421	301 132	402 093	19 708	3 346 764
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		106 428	-186 467	-84 073	-54 145	318 781	16 124	
Nettoposition i valuta		-51	156	3	107	-9	57	263

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna Danmark och Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning respektive Skulder som innehåller för försäljning, se not K13.

Bankens syn på valutarsäsonger framgår av not K2.

2020 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodehavande hos centralbanker	84 525	128 206	18 025	212	100 280	65 480	914	397 642
Övrig utlåning till centralbanker	-	-	2 862	17 371	1 093	-	-	21 326
Utlåning till övriga kreditinstitut	2 083	10 886	1 280	294	1 394	4 534	1 449	21 920
Utlåning till allmänheten	1 418 660	239 227	259 469	97 781	236 368	15 441	2 666	2 269 612
varav företag	506 541	151 899	161 117	34 499	161 817	15 273	1 125	1 032 271
varav hushåll	912 119	87 328	98 352	63 282	74 551	168	1 541	1 237 341
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	89 688	5 457	839	19	-	2 368	762	99 133
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	33 813	1 420	7 285	16	0	2 032	-	44 566
Övriga ej valutafördelade poster	281 089	-	-	-	-	-	-	281 089
Summa tillgångar	1 600 858	385 198	280 760	115 693	339 136	80 865	5 791	3 136 288
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	48 198	36 846	20 498	229	5 087	13 396	469	124 723
In- och upplåning från allmänheten	732 785	132 828	83 757	47 247	208 449	22 651	2 046	1 229 763
varav företag	310 737	106 377	58 415	24 285	149 183	18 513	1 365	668 875
varav hushåll	422 048	26 451	25 342	22 962	59 266	4 138	681	560 888
Emitterade värdepapper	478 803	390 814	24 709	104	68 531	331 087	16 689	1 310 737
Efterställda skulder	3 002	15 213	-	-	0	22 867	-	41 082
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	428 983	-	-	-	-	-	-	428 983
Summa skulder och eget kapital	1 691 771	575 701	128 984	47 580	282 067	390 001	19 204	3 136 288
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		190 618	-160 732	-68 039	-56 983	300 144	13 444	
Nettoposition i valuta		113	64	74	85	-2	31	365

NOTER | KONCERNEN

K48 Innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag

mkr	Innehav i fonder	
	2021	2020
Tillgångar¹		
Aktier och andelar	6 556	6 543
Tillgångar där kunden står värdepåföringsrisken	230 792	177 754
Summa innehav i strukturerade företag som inte konsolideras	237 348	184 297

¹ Varav 1 020 mkr (-) ingår i avyttringsgrupperna Danmark och Finland som har omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning, se not K13.

Ett strukturerat företag är ett företag som har utformats så att rösterna eller liknande rättigheter inte är den dominerande faktorn vid avgörandet av vem som har det bestämmande inflytandet i företaget, exempelvis när röststämman endast avser administrativa uppgifter och relevanta aktiviteter regleras genom avtal. Handelsbankens innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är begränsade och utgörs av fondandelar. Fondandelar ägs främst genom fondförsäkringsavtal hos Handelsbanken Liv samt liknande avtal i andra länder. Fondandelar som ägs genom fondförsäkringsavtal utgör inte grund för konsolidering, se vidare not K1, och utgör därmed icke-konsoliderade strukturerade företag. Handelsbanken äger vidare fondandelar i egenskap av marknadsmaker. I den mån dessa innehav inte konsolideras utgör de andelar i icke-konsoliderade strukturerade företag. Den maximala exponeringen för förlust för alla innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är det redovisade värdet på innehaven. De totala tillgångarna för dessa företag anses inte som meningsfull information för att förstå de relaterade riskerna och därför har de inte presenterats.

K49 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Intresseföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2021	2020	2021	2020
mkr				
Utlåning till allmänheten	439	493	-	-
Övriga tillgångar	29	32	572	560
Summa	468	525	572	560
In- och upplåning från allmänheten	113	116	1 058	853
Efterstälda skulder	-	-	-	-
Övriga skulder	-	-	-	-
Summa	113	116	1 058	853

Närstående – intäkter och kostnader	Intresseföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2021	2020	2021	2020
mkr				
Räntaintäkter	25	9	-	-
Räntekostnader	0	0	-	-
Provisionaintäkter	-	-	-	-
Provisionskostnader	-237	-216	-	-
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	0	0	-	-
Övriga intäkter	-	0	17	19
Övriga kostnader	-73	-55	-102	-80
Summa	-285	-262	-85	-81

Stifroma ovan omfattar total verksamhet.

Specifikation över intresseföretagen och joint ventures samt information om aktieägartillskott till intresseföretag finns i not K19. Intresseföretagens och joint ventures verksamhet består i att utföra olika typer av tjänster som har anknytning till bankens verksamhet. I gruppen Övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalförsäkring och Pensionskassan S-B Tjänstepensionstjänst (Pensionskassan). Företagen anlitar Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster.

Den 21 oktober 2021 förvärfvade Svenska Handelsbanken AB 30 461 977 A-aktier i AB Industrivärden till ett värde av 8 548 mkr från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse. Aktierna delades därefter ut till bankens aktieägare som extrautdelning. Alla affärstransaktioner med närstående bolag sker på marknadsmässiga villkor.

Moderbolagets svenska dotterbolag har betalat pensionspremier avseende förmånsbestämda pensioner till Pensionskassan uppgående till 104 mkr (79). Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, delvis såg om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelse uppgår till 7 281 mkr (7 704). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till 568 mkr (545) avseende pensionskostnader och - mkr (-) avseende särskild kompletterande pension samt av Svenska Handelsbankens Personalförsäkring uppgående till 63 mkr (43) för personalförhållande åtgärder.

Information om kreditförluster till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

NOTER | KONCERNEN

K50 Händelser efter balansdagen

Den 10 december 2021 meddelade Handelsbanken i ett pressmeddelande om försäljning av tre dotterbolag, som äger fastigheter lokaliserade i Göteborg, Gävle respektive Umeå. Transaktionerna leder sammanlagt till en realisationsvinst på 1,1 mdkr som kommer redovisas som övrig intäkt vid tidpunkt för överlåtelse, vilket förväntas ske under första kvartalet 2022. Transaktionerna har skett genom överlåtelse av dotterbolag (näringsbetingade andelar).

K51 Kapitaltäckning

KAPITALPOLICY

Banken har som mål att upprätthålla en betryggande kapitalnivå som svarar mot de risker som koncernens verksamhet innebär och som överstiger de minimikrav som lagen föreskriver. En god kapitalnivå behövs för att kunna hantera situationer med finansiell påfrestning, men även andra händelser såsom förvärv och kraftig volymtillväxt.

KAPITALKRAVSREGLER

Enligt kapiteltäckningsreglerna, förordning (EU) nr 575/2013 (CRR) och direktiv 2013/36/EU (CRD IV), ska banken ha kärnprimärkapital, primärkapital och en total kapitalbas som minst motsvarar kraven i förhållande till det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisker, marknadsrisker och operativa risker. Utöver att hålla kapital enligt minimikravet ska banken hålla kärnprimärkapital för att uppfylla det kombinerade buffertkravet som i Sverige utgörs av summan av en kapitalkonserveringsbuffert, en cyklickalitetbuffert, en systemriskbuffert samt en buffert för övriga systemviktiga institut. Banken har även ett minimikapitalkrav i pelare 2. Pelare 2-kravet är ett individuellt krav beslutat av Finansinspektionen och ska täcka risker som inte fullt ut fångas av regelverkets minimi- och kombinerade buffertkrav. Till dessa krav tillkommer även en vägledning i pelare 2 beslutat av Finansinspektionen, vilket är myndighetens syn på vilken lägsta buffert banken åläggs hålla i tillägg till det beslutade kapitalbehovet. Banken ska dessutom göra en intern kapitalutvärdering. Handelsbankens kapitalpolicy anger riktlinjerna för den interna kapitalutvärderingen. Banken omfattas även av ett kapitalkrav på nivån finansiellt konglomerat enligt lagen (2008:531) om särskild tillsyn över finansiella konglomerat, se vidare Kapiteltäckning för det finansiella konglomeratet nedan. Sedan 1 februari 2016 gäller även att resolutionsmyndigheten, som i Sverige är Riksgäldskontoret, ska fastställa ett minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL) för banken, se nedan Minimikravet för nedskrivningsbara skulder. Banken har under 2021, med god marginal, uppfyllt samtliga av de lagstadgade minimi- och buffertkraven. Detaljerad information om bankens kapitalbas och kapitalkrav finns i not K2, Risk- och kapitalhantering, samt i Handelsbankens publikation Risk and Capital – Information according to Pillar 3, se handelsbanken.com/irsv. I denna publikation återfinns även fullständig information kring villkoren avseende Handelsbankens samtliga kapitalbas- och kvalificerade skuldinstrument.

BESKRIVNING AV KONSOLIDERAD SITUATION

Den regleringsmässiga konsolideringen (konsoliderad situation) består av moderbolaget samt dotter- och intresseföretag som också ingår i koncernens redovisning, se tabell EU U3 Företag som ingår i konsoliderad situation. De bolag som ingår i koncernredovisningen men som inte ingår i den konsoliderade situationen framgår också av tabell EU U3. Precis som i koncernredovisningen konsolideras intresseföretag enligt kapitalandelsmetoden i den regleringsmässigt konsoliderade situationen. Vidare konsolideras dotterbolag enligt förvärvsmetoden. Samtliga dotterbolag som omfattas av regelverket ingår i konsoliderad situation. Handelsbanken har inga dotterbolag där den faktiska kapitalbasen underskrider föreskriven kapitalbas.

BESKRIVNING AV KAPITALBASEN FÖR KONSOLIDERAD SITUATION

Kapitalbasen består av primärt respektive supplementärt kapital. Det primära kapitalet delas in i kärnprimärkapital samt övrigt primärkapital. Kärnprimärkapitalet utgörs i huvudsak av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i konsolideringen. Övrigt primärkapital utgörs av utgivna primärkapitaltillskott. Det supplementära kapitalet består huvudsakligen av förlagslån. Från kapitalbasen görs därefter vissa avdrag. Avdragen görs huvudsakligen från kärnprimärkapitalet. För bankens riskhantering är det viktigt att såväl koncernen som den regleringsmässiga konsolideringen riskmässigt kan ses som en enhet. För att risker ska kunna hanteras effektivt i koncernen kan kapital behöva omfördelas mellan de olika företagen i koncernen. Banken har generellt sett möjlighet att omfördela kapital mellan koncernens bolag. Inom ramen för de begränsningar som följer av lagstiftning, till exempel kapiteltäckningskrav och bolagsrättsliga begränsningar. Banken ser i övrigt inga materiella eller rättsliga hinder för en snabb överföring av medel ur kapitalbasen eller återbetalning av skulder mellan moderbolaget och dess dotterföretag.

Primärkapital

Primärkapitalet utgörs av kärnprimärkapital respektive övrigt primärkapital.

Kärnprimärkapital

Kärnprimärkapitalet utgörs till största delen av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i den regleringsmässiga konsolideringen. I och med att

koncernens försäkringsbolag inte ingår i konsolideringen, se tabell på sidan 205, ingår inte upparbetade vinstmedel i dessa bolag i kärnprimärkapitalet. De poster som ska exkluderas från kärnprimärkapitalet är främst goodwill och andra immateriella tillgångar samt kapitaltillskott till försäkringsbolag i koncernen eller vissa uppskjutna skattefordringar som överstiger 10% av kärnprimärkapitalet. Summan av kapitaltillskott och uppskjutna skattefordringar får heller inte överstiga 15% av kärnprimärkapitalet. Eftersom varken kapitaltillskotten till försäkringsbolagen i koncernen eller de uppskjutna skattefordringarna överstiger tröskelvärdet, belastar dessa inte kärnprimärkapitalet. Neutralitetsjustering görs för påverkan som kassafödessäkringar har haft på eget kapital. Dessutom ska en prisjustering beräknas och vid behov görs för försiktig värdering av instrument som värderas till verkligt värde. Institut som har tillstånd att använda interna riskklassificeringsmodeller ska göra ett avdrag för skillnaden mellan förväntad kreditförlust enligt internmetoden och gjorda reserveringar för sannolika kreditförluster i det fall de förväntade kreditförlusterna överstiger gjorda reserveringar. Avdrag ska även göras för nettovärdet av redovisade övervärden i pensionsstillgångar. Avdraget får emellertid minskas med ett belopp som motsvarar bankens rätt till ersättning för pensionskostnader från Handelsbankens Pensionsstiftelse. Vidare görs ett avdrag för tillstånd att inneha egna aktier i egenskap av marknadsgarant. Avdraget ska motsvara det högsta marknadsvärdet tillståndet omfattar. Slutligen görs ett avdrag för investeringar i värdepappersfonder samt en justering för effekten av förändringar i egen kreditrisk i derivat.

Övrigt primärkapital

Övrigt primärkapital utgörs av instrument som uppfyller kraven för primärkapitaltillskott. Bland annat ska tillskotten ha en löptid och kunna förädlas till liktids tillgång efter fem år och först efter att tillstånd utfärdats av tillsynsmyndigheten. Det nominella värdet ska kunna skrivas ned eller konverteras till aktier för att skapa kärnprimärkapital vid en förutbestämd nivå på kärnprimärkapitalet, och räntebetalningarna ska oavkortligt kunna ställas in.

Bankens samtliga primärkapitaltillskott uppgår till 13,5 mdkr. 9,0 mdkr av dessa emitterades under 2020 och 4,5 mdkr emitterades under 2019, samtliga uppfyller kraven enligt CRR. I det fall utdelningsbara medel saknas måste kupongutbetalningar ställas in för primärkapitaltillskott.

Det supplementära kapitalet utgörs av förlagslån med en löptid om minst fem år. Avdrag görs för förlagslånet tillskott till försäkringsbolagen inom koncernen.

Kreditrisk

Kapitelavslutning för kreditriskvärderingens enligt schablonmetoden och intermetoden enligt CRR. För intermetoden återfinns två olika metoder: Intermetoden utan egna skattningar av LGD och KF (grundläggande intermetoden) och intermetoden med egna skattningar av LGD och KF (avancerade intermetoden).

I den grundläggande Internmetoden beräknar banken genom tillämpning av egna IRK modeller den sannolikheten för att kunden ska fallera inom ett år (PD), medan övriga parametrar är givna i regelverket CRR. I den avancerade Internmetoden använder banken egna IRK modeller för att beräkna förutseendet givet fallissemang (LGD) och konverteringsfaktorn (Kf).

Handelsbanken tillämpar den grundläggande internmetoden för exponeringar mot institut, samt för vissa produkt- och säkerhetstyper avseende företagsexponeringar samt vissa exponeringar i dotterbolagen Stadshypotek AB, Handelsbanken Finans AB och Foster AB.

Den avancerade Internmetoden tillämpas för merparten av exponeringarna mot stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar samt i Stadshypotek AB och Handelsbanken Finans AB. Detsamma gäller för hushållsexponeringar i Sverige och Norge och i dotterbolagen Stadshypotek och Handelsbanken Finans samt i avyttringsgrupperna Danmark, Finland och dotterbolaget Ecster AB. Kapitalkravet för aktieexponeringar i Internmetoden beräknas enligt förenklad riskviktmetod.

Kreditrisken för samtliga exponeringar i Handelsbankens dotterbolag Handelsbanken plc beräknas på solo- och konsoliderad nivå i enlighet med schablonmetoden.

Intermetoden omfattade vid årsskiftet 74% (86) av det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisk. För resterande kreditriskexponeringar beräknas kapitalkravet enligt schablonmetoden.

Den totala genomsnittliga riskvikten för exponeringar godkända för Intermetoden minskade under året och uppgick till 10,1% (11,7%). Minskningen beror främst på portföljförändring där exponeringsklasser med lägre risk/vikter: stater, bostadsrättsföreningar och hushåll, proportionellt sett ökat mer än de med högre risk/vikter. Den totala genomsnittliga riskvikten inklusive

riskviktsgolven enligt Pelare 1 för bolån i Sverige och Norge samt för företagsexponeringar med pant i fastigheter i Norge blir 18,2% (18,4).

Kreditkvaliteten är god. Av Handelsbankens iöretagsexponeringar var 99% (98) kunder med en bedömd återbetalningsförmåga som var normal, eller bättre än normal, det vill säga hade en riskklassificering mellan 1 och 5 i bankens tio-gradiga skala för riskklassificering.

Kapitalkravet för marknadsrisker beräknas för bankens konsoliderade situation. Kapitalkravet för ränterisker och aktiekursrisker beräknas dock endast för positioner i handelslagret. Vid beräkning av kapitalkravet för marknadsrisker tillämpas schablonmetoden.

Handelsbanken använder schablonmetoden för att beräkna kapitalkravet för operativa risker. Kapitalkravet enligt schablonmetoden beräknas genom att en i regelverket bestämd faktor multipliceras med den genomsnittliga rörelseintäkten under de tre senaste verksamhetsåren. Olika faktorer tillämpas för olika affärssegment.

Det totala kapitalkravet för operativa risker för konsoliderad situation uppgick vid utgången av 2021 till 5 573 mkr (5 489).

Institut och försäkringsföretag som ingår i ett finansiellt konglomerat ska ha en kapitalbas som är tillräckligt stor med hänsyn till kapitalkravet för det finansiella konglomeratet. Kapitalbasen och kapitalkravet för det finansiella konglomeratet har beräknats i enlighet med avräknings- och totalmetoden (metod 2, bilaga 1, direktiv 2002/87/EG). Det finansiella konglomeratets sammanlagda kapitalbas överstiger det finansiella konglomeratets kapitalkrav.

Krishanteringsdirektivet (EU) nr 2014/59 (BARD) infördes i Sverige genom lagen (2015:1016) om resolution. Regelverket innehåller sätt att hantera banker i kris och möjliggör för myndigheter att, inom dessa ramar, ta kontroll över, omstrukturera och sälja av hela eller delar av en bank. Detta utan att likvidera eller försätta banken i konkurs. Som tillägg till ovan åtgärder i kris, innebär regelverket en möjlighet att skriva ned vissa skuldinstrument för att återkapitalisera en krisutslätt bank.

Som en del av detta regelverk infördes ett mikrokav på nedskrivningsbara skulder (MREL) från och med den 1 januari 2018. Kravet beslutas i bankens resolutionsplan som upprättas av Riksgälden i samarbete med Finansinspektionen. Kravet består av ett förlustabsorberingsbelopp och ett återkapitaliseringsbelopp.

Under 2021 har regelverket anpassats till nya EU-direktiv (bankpaketen) och kravet benämns nu som krav på kapitalbas och kvalificerade skulder. MREL ska uttryckas som en riksavgäld kvot samt en bruttosolidskuldskvot. Det kombinerade buffertkravet ska uppfyllas med kärnpjätmärkapital (utöver det kärnpjätmärkapital som används till MREL) och ett obligatoriskt efterställningskrav införs. För att uppfylla kravet på efterställning har en ny typ av skuldinstrument införts i svensk lagstiftning från december 2018. Dessa efterställs nuvarande seniora skuldinstrument, men rankas högre än kapitalbasinstrument vid ett resolutionsförfarande. Handelsbanken har emitterat denna typ av efterställda skuldinstrument under 2019–2021. De nya kraven ska vara uppfyllda senast den 1 januari 2024, men övergångsregler tillämpas från 1 januari 2022.

För 2022, uppgår Handelsbankens totala MREL-krav avseende riskvägt belopp till 19,9% och avseende brutosoliditet till 5,0% på konso- liderad nivå. På motsvarande sätt uppgår efter- ställningskravet till 13,5% respektive 5,0%. Handelsbanken uppfyller samtliga MREL-krav.

NOTER | KONCERNEN

K51 Forts

EUL3 Företag som ingår i konsoliderad situation – Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet)

Tabellen visar konsolideringsgrund för företag som omfattas av den konsoliderade situationen vid årets slut.

Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet) 2021	Organisationsnummer	Ägarandel %	Metod för konsolidering enligt redovisningsregler	Metod för konsolidering enligt tillämpningsregler				Beskrivning av enheten
				Fullständig konsolidering	Proportional konsolidering	Kapitalandelsmetoden	Varken konsoliderad eller avdragen	
Handelsbanken AB (publ) 1	002007-7862	Ej tillämpligt	Moderbolag	NA				Kreditinstitut
Handelsbanken Finans AB	556053-0841	100	Fullständig konsolidering	X				Kreditinstitut
Stadshypotek AB	556459-6715	100	Fullständig konsolidering	X				Kreditinstitut
Svenska Infoteknings Garanti AB Sigsab (inaktiv)	556432-7285	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S	12990879	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Xact Kapitalförvaltning AB	556907-8140	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
AB Handel och Industri	556013-5336	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Ecster AB	556993-2311	100	Fullständig konsolidering	X				Kreditinstitut
Handelsbanken Plc	11305395	100	Fullständig konsolidering	X				Kreditinstitut
Handelsbanken Wealth and Asset Management Limited	04132340	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Heartwood Nominees Limited (inaktiv)	2299877	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Heartwood Second Nominees Limited (inaktiv)	3193458	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Heartwood ACO Limited (inaktiv)	4332528	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Svenska Property Nominees Limited (inaktiv)	2308524	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Add Value Fund Management B.V.	19196768	80	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Optimix Beheer en Belegging B.V. (inaktiv)	33186584	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Forwa AB	945812141	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Handelsbanken Raholus Oy	0112308-8	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Lokalbolig A/S	78489018	71,52	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Ågri 7 AB	559397-1627	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Norr 22:2 AB	559397-1635	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Inom Vallgraven 15:13 AB	559397-1643	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Rådslutspass 4 AS	910506423	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Venture AB	556993-9357	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Bidtrustar AB	556993-9084	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Bankomat AB	556817-9716	20	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
BGC Holding AB	556607-0993	25,54	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
Bankgirocentralen BGC AB	556047-3521	100	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag

NOTER | KONCERNEN

K51. Forts

Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet) 2021			Metod för konsolidering enligt tilläggsregler					Beskrivning av enheten
Organisationsnummer	Ägarandel %	Metod för konsolidering enligt redovisningsregler	Fulständig konsolidering	Proportional konsolidering	Kapitalandelsmetoden	Varken konsoliderad eller avdragen	Avdragen	
Torg AB	556564-5404	Kapitalandelsmetoden		X				Icke-finansiella företag
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4028	Kapitalandelsmetoden		X				Icke-finansiella företag
USE Intressenter AB	550161-0464	Kapitalandelsmetoden		X				Icke-finansiella företag
Getawish AB	556913-7382	Kapitalandelsmetoden		X				Icke-finansiella företag
P 27 Nordic Payments Platform AB	550198-0610	Kapitalandelsmetoden		X				Icke-finansiella företag
Invidam AB	550210-0779	Kapitalandelsmetoden		X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Liv Försäkring AB (koncernskild) Handelsbanken Fastigheter AB)	516401-8284	Ej konsoliderade				X		Försäkrings-enhet
Svenska Re S.A.	RCB Lux B-32053	Ej konsoliderade				X		Försäkrings-enhet
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	Ej konsoliderade				X		Försäkrings-enhet
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	Ej konsoliderade				X		Försäkrings-enhet
Svenska RKA International Insurance Services AB (inaktiv)	556324-2964	Ej konsoliderade				X		Försäkrings-enhet
Dyson Group plc	00163096	Ej konsoliderade				X		Icke-finansiella företag
Dyson Industries Ltd	1187031	Ej konsoliderade				X		Icke-finansiella företag
Beepart Ltd	177682	Ej konsoliderade				X		Icke-finansiella företag
Pickford Holland & Company Ltd	128414	Ej konsoliderade				X		Icke-finansiella företag
Millennium Materials Inc	-	Ej konsoliderade				X		Icke-finansiella företag
Dyson US Holdings Inc	-	Ej konsoliderade				X		Icke-finansiella företag
EFN Biomedikalerna AB	556930-1608	Ej konsoliderade				X		Icke-finansiella företag
Handelsbanken Förtroendeformidling A/S	42757808	Ej konsoliderade				X		Icke-finansiella företag

EUL12 - Huvudsakliga källor till skillnader mellan exponeringsbelopp enligt tilläggsregler och bokförda värden i finansiella rapporter
Tabellen visar skillnaden mellan bokförda värden enligt konsolideringen enligt tilläggsregler och exponeringsbelopp som beaktas för tillägsändamål.

Huvudsakliga källor till skillnader mellan exponeringsbelopp enligt tilläggsregler och bokförda värden i finansiella rapporter 2021		Poster som är föremål för			
nr	Summa	kreditriskramen	värdepappers- serings-ramen	motparts- kreditriskramen	marknads- riskramen
1 Belopp för tillgångars bokförda värde enligt konsolideringen enligt tilläggsregler (enligt mall U1)	3 063 320	3 018 811	55 074	372	19 063
2 Belopp för skuldars bokförda värde enligt konsolideringen enligt tilläggsregler (enligt mall U1)	25 219				25 219
3 Totalt nettobelopp enligt konsolideringen enligt tilläggsregler	3 088 101	3 018 811	55 074	372	-6 106
4 Belopp utanför balansräkningen	538 874	538 874			
5 Skillnader i värderingar					
6 Skillnader på grund av olika värderingsregler, utöver de som redan är inbegripna på rad 2	23 012		-9 294		32 306
7 Skillnader på grund av beaktande av avsättningar	1 917	1 917	0		
8 Skillnader på grund av användning av kreditriskreducerande metoder	-54 124	-14 485	-39 639		
9 Skillnader på grund av kreditkonvergensfaktorer	-294 634	-294 634			
10 Skillnader på grund av värdepapperssättning med risköverföring					
11 Andra skillnader	30 636		30 636		
12 Exponeringsbelopp som beaktas för tillägsändamål	3 311 782	3 248 483	36 777	372	26 160

NOTER | KONCERNEN

K51. Forts

EU CC2 - Avstämning av föreskriven kapitalbas i balansräkningen i de reviderade finansiella rapporterna

Avstämning av föreskriven kapitalbas i balansräkningen i de reviderade finansiella rapporterna	Balansräkning enligt offentliga offentliggjorda finansiella rapporter	Enligt konsolideringen enligt tilläggsskriv	Referens
Tillgångar- Uppdelning efter tillgångsklass enligt balansräkningen i de offentliggjorda finansiella rapporterna			
A - 1 Kassa och tillgodehavanden hos centralbanker	291 584	439 964	
A - 2 Övrig utlåning till centralbanker	1 255	1 462	
A - 3 Belåningsbara statskuld förbindelser m.m.	100 538	100 562	
A - 4 Utlåning till övriga kreditinstitut	21 745	21 833	
A - 5 Utlåning till allmänheten	2 163 135	2 414 951	55, 57
A - 6 Värdeförändring på ränteskrädd post i portföljsäkring	-1 900	-1 900	
A - 7 Obligationer och andra räntebärande värdepapper	33 917	33 394	
A - 8 varav räntebärande instrument klassificerade som varligt värde via övrigt totalresultat (redovisat värde)	9 016	9 016	
A - 9 varav räntebärande instrument klassificerade som varligt värde via övrigt totalresultat, ackumulerad värdeförändring	-51	-51	
A - 10 Aktier och andelar	19 471	13 490	
A - 11 varav aktier klassificerade som varligt värde via övrigt totalresultat (redovisat värde)	454	808	
A - 12 varav aktier klassificerade som varligt värde via övrigt totalresultat, ackumulerad värdeförändring	218	218	
A - 13 Andelar i intressföretag	478	6 723	
A - 14 Tillgångar där kunden står för värdeförändringsrisken	235 761	9 082	
A - 15 Derivatinstrument	28 508	28 518	
A - 16 varav kassaförskottsaktier	1 789	1 789	
A - 17 Återförskottsaktier	0	0	
A - 18 Immateriella tillgångar	8 302	10 860	8
A - 19 Fastigheter och inventarer	5 272	5 834	
A - 20 Aktuella skattefordringar	489	598	
A - 21 Uppskjutna skattefordringar	845	845	
A - 22 varav relaterade till kassaförskottsaktier	-	-	
A - 23 varav relaterade till räntebärande instrument klassificerade som varligt värde via övrigt totalresultat	17	17	15
A - 24 Pensionstillgångar	8 766	8 785	
A - 25 Tillgångar som innehåller för försäkring	421 417	352	
A - 26 Övriga tillgångar	5 785	5 743	
A - 27 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	2 016	2 097	
A - 28 Summa tillgångar	3 346 784	3 108 143	
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
L - 1 Skulder till kreditinstitut	89 034	89 540	
L - 2 In- och upplåning från allmänheten	1 286 637	1 408 076	
L - 3 Skulder där kunden står för värdeförändringsrisken	235 761	9 082	
L - 4 Emitterade värdepapper	1 353 768	1 353 768	
L - 5 Derivatinstrument	13 784	13 809	
L - 6 varav kassaförskottsaktier	-	-	
L - 7 Korta positioner	4 105	4 105	
L - 8 Försäkringskulder	532	0	
L - 9 Aktuella skatteskulder	108	312	
L - 10 Uppskjutna skatteskulder	5 276	5 239	
L - 11 varav relaterade till kassaförskottsaktier	464	464	
L - 12 varav relaterade till aktier klassificerade som varligt värde via övrigt totalresultat	19	19	
L - 13 Avsättningar	1 026	1 152	
L - 14 Pensionsskulder	0	0	
L - 15 Skulder hänförliga till tillgångar som innehåller för försäkring	133 922	-	
L - 16 Övriga skulder	11 304	12 020	
L - 17 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	3 519	3 883	
L - 18 Efterställda skulder	32 257	32 257	
L - 19 varav primärkapitalen	13 513	13 513	30, 32, 36
L - 20 varav lån med återstående löptid > 5 år	18 364	18 364	46, 51
L - 21 varav lån med återstående löptid < 5 år	-	-	
L - 22 varav övriga lån	-	-	
L - 23 Summa skulder	3 165 033	2 922 243	
E - 1 Minoritetsintresse	25	25	
E - 2 Aktiekapital	3 069	3 069	1
E - 3 Innehav egna aktier	-36	-36	
E - 4 Överkursfond	8 758	8 758	
E - 5 varav eget kapital från sammansatta finansiella instrument	-	-	
E - 6 Andra reserver	15 845	15 821	3, 11
E - 7 Balanserat vinst	134 507	135 109	2
E - 8 Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	19 527	18 118	5a
E - 9 Summa eget kapital	181 731	180 900	
LE - 1 Summa skulder och eget kapital	3 346 784	3 108 143	

NOTER | KONCERNEN

K51 Forts

EU CC1 – Sammansättning av förekomsten kapitalbas Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 2021/537. Exkluderade rader bedöms ej relevanta för Handelsbanken vid tidpunkt för publicering.

mkr	2021		2020	
	Belopp på uppfyllningsdagen	Källa baserad på referensnummer/ referensbokstäver i balansräkningen i konsolideringen enligt tilläggskrav	Belopp på uppfyllningsdagen	Källa baserad på referensnummer/ referensbokstäver i balansräkningen i konsolideringen enligt tilläggskrav
Sammansättning av förekomsten kapitalbas				
Käprämärkapital: instrument och reserver				
1 Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	11 827	E-2, E-4	11 827	E-2, E-4
varav: aktiekapital	11 827	E-2, E-4	11 827	E-2, E-4
varav: konventibler				
2 Balanserade vinstmedel	135 109	E-7	137 177	E-7
3 Ackumulerat annat totalresultat (och andra reserver)	15 822	E-6	8 562	E-6
5a Delårsresultat netto efter avdrag för förutsebara kostnader och utdelningar som har varit förutsebara av personer som har en beroendeställning	8 218	E-8	6 414	E-8
6 Käprämärkapital före lagstiftningsjusteringar	170 976		163 980	
Käprämärkapital: lagstiftningsjusteringar				
7 Ytterligare värdejusteringar (negativt belopp)	-421		-399	
8 Immateriella tillgångar (netto efter minskning för tillhörande skatteskulder) (negativt belopp)	-10 927	A-18	-11 217	A-18
11 Reserver i verkligt värde relaterade till vinster eller förluster på kassaflöden av finansiella instrument som inte värderas till verkligt värde	-1 789	E-6	-3 353	E-6
12 Negativa belopp till följd av beräkningen av förväntade förlustbelopp	-731		-779	
14 Vinster eller förluster på skuldförbindelser som värderas till verkligt värde och som beror på ändringar av institutets egen kreditstatus	4		9	
15 Förmlänsbestämda pensionskostnader (negativt belopp)	-6 976	A-24	-1 615	A-24
16 Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna käprämärkapitalinstrument (negativt belopp)	-427		-466	
19 Institutets direkta, indirekta och symmetiska innehav av käprämärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över bröskäskärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	
20a Exponeringsbelopp för följande poster som är kvalificerade för en riskvid på 1-250% när institutet väljer alternativet med avdrag	-		-	
20c varav: värdepappersansättningspositioner (negativt belopp)	-		-	
21 Uppskjutna skatteländringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp över bröskäskärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när vilken i artikel 38.3 är uppfyllad) (negativt belopp)	-		-	
22 Belopp som överstiger bröskäskärdet på 17,65% (negativt belopp)	-		-	
23 varav: institutets direkta, indirekta och symmetiska innehav av käprämärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn när institutet har en väsentlig investering i de enheterna	-		-	
25 varav: uppskjutna skatteländringar som uppstår till följd av temporära skillnader	-		-	
25a Förluster för innevarande räkenskapsår (negativt belopp)	-		-	
25b Förutsebara skatter som är relaterade till käprämärkapitalposter, förutom om institutet på ett lämpligt sätt justerar beloppet för käprämärkapitalposter i den mån sådana skatteskatter minskar det belopp som tillvägagångssättet för användas för att täcka risker eller förluster (negativt belopp)	-		-	
27 Avdrag från kvalificerade övrigt primärkapital som överstiger institutets övriga primärkapital (negativt belopp)	-		-	
28 Sammanlagda lagstiftningsjusteringar av käprämärkapital	-21 267		-17 820	
29 Käprämärkapital	149 709		146 160	

NOTER | KONCERNEN

K51 Forts

Sammanfattning av försäkringskapitalbas		2021		2020	
		Källa baserad på referensnummer/ referensbolagsvär i balansräkningen i konsolideringen enligt tilläggskrav		Källa baserad på referensnummer/ referensbolagsvär i balansräkningen i konsolideringen enligt tilläggskrav	
mkr		Belopp på upplysningsdagen		Belopp på upplysningsdagen	
Primärkapitaltillskott: Instrument					
30	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	13 513	L-19	21 980	L-19
32	varav: klassificerade som skulder enligt tillämpliga redovisningsstandarder	13 513	L-19	21 980	L-19
33	Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 48.4 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från primärkapitaltillskottet	-		-	
36	Primärkapitaltillskott före lagstiftningsjusteringar	13 513	L-19	21 980	L-19
Primärkapitaltillskott: lagstiftningsjusteringar					
37	Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna primärkapitaltillskottsinstrument (negativt belopp)	-		-9 808	
40	Instituts direkta, indirekta och synlatiska innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	
42	Avdrag från kvalificerade supplementärkapital som överskrider institutets supplementärkapital (negativt belopp)	-		-	
43	Summa lagstiftningsjusteringar av primärkapitaltillskott	-		-9 808	
44	Primärkapitaltillskott	13 513		12 172	
45	Primärkapital (primärkapital = kärnprimärkapital + primärkapitaltillskott)	163 222		168 332	
Supplementärkapital: Instrument och avsättningar					
46	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	18 364	L-20	18 032	L-20
50	Kreditriskjusteringar	1		10	
61	Supplementärkapital före lagstiftningsjusteringar	18 365	L-20	18 042	L-20
Supplementärkapital: lagstiftningsjusteringar					
52	Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument och efterställda lån (negativt belopp)	-		-	
55	Instituts direkta, indirekta och synlatiska innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-1 129	A-5	-1 129	A-5
57	Summa lagstiftningsjusteringar av supplementärkapital	-1 129	A-5	-1 129	A-5
68	Supplementärkapital	17 236		16 913	
69	Totalt kapital (totalt kapital = primärkapital + supplementärkapital)	180 458		175 245	
60	Summa riskvägda tillgångar	773 168		721 408	
Kapitalrelationer och buffertar					
61	Kärnprimärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	19,4		20,3	
62	Primärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	21,1		21,9	
63	Totalt kapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	23,3		24,3	
64	Instituts samtliga krav på kärnprimärkapital	6,6		6,6	
65	varav: krav på kapitalansvarningsbuffert	2,5		2,5	
66	varav: krav på kontracyklisk kapitalbuffert	0,1		0,1	
67	varav: krav på systemriskbuffert	3,0		3,0	
67a	varav: buffert för globalt systemiskt institut eller för annat systemiskt institut	1,0		1,0	
68	Kärnprimärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet) som finns tillgängligt när minimikapitalkraven har uppfyllts	14,9		15,8	
72	Direkta och indirekta innehav av kapital i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp under bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	0		0	
73	Instituts direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp under bröskvärdet på 17,65%, netto efter godtagbara korta positioner)	6 254		-	
75	Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp under bröskvärdet på 17,65%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda)	0		0	

NOTER | KONCERNEN

K51 Forts

Sammanställning av föreskriven kapitalbas	2021		2020	
	Källa baserad på referensnummer/ referensbokstavs- ver i balansräkningen i konsolideringen enligt tilläggskrav		Källa baserad på referensnummer/ referensbokstavs- ver i balansräkningen i konsolideringen enligt tilläggskrav	
mk	Belopp på uppläsningsdagen		Belopp på uppläsningsdagen	
Tak som ska tillämpas på inkludering av avsättningar i supplementärkapitalet				
76 Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av schablonmetoden (föra tillämpningen av taket)	-		-	
77 Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt schablonmetoden	2 295		1 629	
78 Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av inbarnmetoden (föra tillämpningen av taket)	-		-	
79 Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt inbarnmetoden	3 090		3 074	
Kapitalinstrument som omfattas av utlåningsarrangemang (för endast tillämpas mellan den 1 januari 2013 och den 1 januari 2022)				
80 Nuvarande tak för kärnprimärkapitalinstrument som omfattas av utlåningsarrangemang	-		-	
81 Belopp som utesluts från kärnprimärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inkösen och förfallodagar)	-		-	
82 Nuvarande tak för primärkapitaltillskottsinstrument som omfattas av utlåningsarrangemang	-		-	
83 Belopp som utesluts från primärkapitaltillskott på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inkösen och förfallodagar)	-		-	
84 Nuvarande tak för supplementärkapitalinstrument som omfattas av utlåningsarrangemang	-		-	
85 Belopp som utesluts från supplementärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inkösen och förfallodagar)	-		-	

NOTER | KONCERNEN

K51 Forts

EU INS2 - Information från finansiella konglomerat om kapitalbas och kapitaltäckningskvot

Information från finansiella konglomerat om kapitalbas och kapitaltäckningskvot		2021
1	Det finansiella konglomerats extra kapitalbaskrav (belopp)	14 387
2	Det finansiella konglomerats kapitaltäckningskvot (%)	20,90%

EU KM1 - Mall för nyckeltal

Nyckeltal 2021		2021	2020
1	Tillgänglig kapitalbas (belopp)		
2	Kärnprimärkapital	140 709	158 332
3	Primärkapital	163 222	146 160
4	Totalt kapital	180 458	175 245
5	Riservägda exponeringsbelopp		
6	Totalt riservägt exponeringsbelopp	773 158	721 403
7	Kapitalrelationer (som en procentandel av det riservägda exponeringsbeloppet)		
8	Kärnprimärkapitalrelation (%)	19,4%	20,3%
9	Primärkapitalrelation (%)	21,1%	21,9%
10	Total kapitalrelation (%)	23,3%	24,3%
11	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosollditet (som en procentandel av det riservägda exponeringsbeloppet)		
12	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosollditet (%)	1,9%	
13	varav: ska utgöras av kärnprimärkapital (i procentenheter)	1,2%	
14	varav: ska utgöras av primärkapital (i procentenheter)	1,5%	
15	Totala kapitalbaskrav för översyns- och utvärderingsprocessen (%)	9,9%	8,0%
16	Kombinerat buffertkrav och samlat kapitalkrav (som en procentandel av det riservägda exponeringsbeloppet)		
17	Kapitalkonserveringsbuffert (%)	2,5%	2,5%
18	Konserveringsbuffert på grund av makrofinansiella eller systemiska identifierade på medlemsstatnivå (%)		
19	Institutspecifikt kontracyklisk kapitalbuffert (%)	0,1%	0,1%
20	Systemriskbuffert (%)	3,0%	3,0%
21	Buffert för globalt systemiskt institut (%)		
22	Buffert för andra systemiskt identifierade institut (%)	1,0%	1,0%
23	Kombinerat buffertkrav (%)	6,6%	6,6%
24	Samtliga kapitalkrav (%)	16,5%	14,6%
25	Tillgängligt kärnprimärkapital efter uppfyllande av de totala kapitalbaskraven för översyns- och utvärderingsprocessen (%)	13,9%	
26	Bruttosollditetsgrad		
27	Totalt exponeringsmål	3 232 291	3 051 376
28	Bruttosollditetsgrad (%)	5,0%	5,2%
29	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosollditet (som en procentandel av det totala exponeringsmålet)		
30	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosollditet (%)		
31	varav: ska utgöras av kärnprimärkapital (i procentenheter)		
32	Totala krav avseende bruttosollditetsgrad för översyns- och utvärderingsprocessen (%)	3,0%	3,0%
33	Krav på bruttosollditetsbuffert (%)		
34	Samlat bruttosollditetskrav (%)		
35	Likviditetstäckningskvot		
36	Totala högkvalitativa likvida tillgångar (vidat värde - genomslit)	778 654	736 681
37	Likviditetsutflöden - totalt vidat	526 289	546 265
38	Likviditetsinflöden - totalt vidat	68 295	65 548
39	Totala netto likviditetsutflöden (justerat värde)	526 994	480 717
40	Likviditetstäckningskvot (%)	149%	154%
41	Stabil nettofinansieringskvot		
42	Total tillgänglig stabil finansiering	2 026 413	1 920 899
43	Totalt behov av stabil finansiering	1 774 542	1 644 683
44	Stabil nettofinansieringskvot (%)	114%	117%

NOTER | KONCERNEN

K51. Forts

EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp

Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknadsrisk och operativ risk per utgången av 2021 och föregående år. Kreditrisk är beräknad enligt schablonmetoden, den grundläggande internmetoden och den avancerade internmetoden. Marknadsrisk och operativ risk är beräknade enligt schablonmetoden.

Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala kapitalkrav
mkr		2021		2021
1	Kreditrisk (exklusive motparts-kreditrisk)	684 076		64 727
2	varav schablonmetoden	178 552		14 284
3	varav den grundläggande internmetoden (F-IRB)	48 100		3 840
4	varav klassificeringsmetoden			
EU 4a	varav skiffer enligt den enkla riskvägda metoden	34 27		274
5	varav den avancerade internmetoden (A-IRB)	224 096		17 028
5a		229 900		18 392
6	Motparts-kreditrisk	12 265		660
7	varav schablonmetoden	8 024		714
8	varav metoden med interna modeller			
EU 8a	varav exponeringar mot en central/motpart	212		17
EU 8b	varav kreditvärderingsjustering	2 614		200
9	varav enda motparts-kreditrisker	505		40
10	Ej tillämpligt			
11	Ej tillämpligt			
12	Ej tillämpligt			
13	Ej tillämpligt			
14	Ej tillämpligt			
16	Avvecklingsrisk	15		1
16	Värdepappersiserings exponeringar utanför handelslagret (efter tillämpning av toket)			
17	varav intern kreditvärderingsmetod för värdepappersering			
18	varav extern kreditvärderingsmetod för värdepappersering (inbegripet internbedömningsmetoden)			
19	varav schablonmetoden för värdepappersering			
EU 19a	varav 250 %/avdrag			
20	Positioner, valutakursrisk och råvarurisk (marknadsrisk)	7 145		672
21	varav schablonmetoden	7 145		572
22	varav metoden för interna modeller			
23	Operativ risk	60 668		6 673
EU 23a	varav basmetoden			
EU 23b	varav schablonmetoden	60 668		5 573
EU 23c	varav internmättningsmetoden			
24	Belopp under brockarna för avdrag (föremål för riskviktnings på 250 %)			
25	Ej tillämpligt			
26	Ej tillämpligt			
27	Ej tillämpligt			
28	Ej tillämpligt			
29	Summa	773 186		61 853

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden

Tabellen visar kapitalkrav för marknadsrisker enligt schablonmetoden per utgången av 2021.

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden		Kapitalkrav	
mkr		2021	2020
Direkta produkter			
Ränterisk (allmän och specifik)		199	596
Aktierisk (allmän och specifik)		1	2
Valutakursrisk		357	-
Råvarurisk		1	1
Optioner			
Förenklad metod		-	-
Delta-plus-metod		-	-
Scenariometod		14	2
Värdepappersering (specifik risk)		-	-
Summa kapitalkrav för marknadsrisk		672	601

NOTER | KONCERNEN

K51. Forts

Krav på Kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL)

MREL krävet uttryckt som en andel av kapitalbas och kvalificerade skulder i förhållande till riskexponeringsbeloppet respektive bruttosolddetal (SFS 2015:1016). Bankens krav bestäms en gång per år av Riksgälden och slutligt krav fasas in i två etapper under en övergångsperiod från 1 januari 2022 till 1 januari 2024. Nästan krav av ser minimikravet som tillämpas per 1 januari 2022.

%	2022
Risikvägt MREL krav	12,9
Tillgänglig kapitalbas och kvalificerade skulder	35,4
Iska-risikvägt MREL krav	5,0
Tillgänglig kapitalbas och kvalificerade skulder	10,1

%	2022
Risikvägt efterställningskrav	13,5
Tillgänglig kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder	20,9
Iska-risikvägt efterställningskrav	5,0
Tillgänglig kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder	6,6

Minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL)

MREL krav uttryckt som andel av totala skulder och kapitalbas (SFS 2015:1016) såsom kravet utformades innan 1 januari 2022.

mkr	2021	2020
MREL krav	175 219	179 066
Nedskrivningsbara skulder och kapitalbas	326 256	332 573
Totala skulder och kapitalbas	3 061 662	3 110 867

%	2021	2020
MREL krav som % av totala skulder och kapitalbas	5,7	5,8
Nedskrivningsbara skulder och kapitalbas som % av totala skulder och kapitalbas	10,7	10,4

Kreditriskexponeringar godkända för intermetoden

Kreditriskexponeringar godkända för intermetoden	Exponeringsbelopp		Varav utanför balansräkningen		Risikvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittligt riskvikt i %	
mkr	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020
Statsexponeringar	616 067	400 718	11 723	14 002	8 101	7 214	648	577	1,8	1,5
Förätagsexponeringar	764 318	864 312	134 254	111 944	163 100	211 701	13 086	16 943	21,4	24,8
Förätagsskuld	747 732	843 585	134 254	111 944	158 578	208 608	12 686	16 689	21,2	24,7
varav övrig utlåning, intermetod utan egna skattningar av LGD och KF	92 908	93 833	54 807	57 203	21 500	26 186	1 720	2 094	23,1	27,9
varav övrig utlåning, intermetod med egna skattningar av LGD och KF	654 829	749 752	79 447	54 741	137 078	182 422	10 966	14 594	20,9	24,3
varav stora företag	145 210	125 572	48 705	33 017	45 658	48 644	3 653	3 892	31,4	38,7
varav medelstora företag	71 945	84 512	6 479	8 206	21 448	27 212	1 716	2 177	29,8	32,2
varav fastighetsbolag	437 674	539 668	24 263	13 518	69 962	106 585	5 537	8 525	15,0	13,7
Motpartersk	16 586	10 727	-	-	4 612	3 183	369	255	27,8	29,7
Bostadsrättsföreningar	263 913	245 789	3 310	2 404	8 567	7 907	686	641	3,2	3,3
Hushållsexponeringar	1 220 684	1 164 770	78 963	71 180	78 609	78 640	6 293	6 283	6,4	6,8
Privatpersoner	1 200 080	1 132 800	71 116	64 940	72 569	71 797	5 806	5 744	6,0	6,3
varav fastighetskrediter	1 156 868	1 091 534	57 903	52 045	63 346	63 585	5 068	5 087	5,5	5,8
varav övriga	43 212	41 276	13 213	12 895	9 223	8 211	738	657	21,3	19,9
Småföretag	20 604	21 970	5 847	6 220	6 090	6 743	487	539	29,6	30,7
varav fastighetskrediter	10 232	10 918	327	991	3 272	3 644	262	292	32,0	33,4
varav övriga	10 372	11 052	4 920	5 229	2 818	3 099	225	247	27,2	28,0
Institutskrediter	44 008	38 453	4 042	5 857	11 228	10 683	808	805	26,2	28,0
Institutsutlåning	34 611	17 178	4 042	5 857	6 609	5 279	529	422	19,1	30,7
Motpartersk	9 895	21 275	-	-	4 619	5 404	369	433	46,7	25,4
Aktiekrediter	928	700	-	-	3 427	2 955	274	236	37,0	37,0
varav börsnoterade aktier	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
varav övriga aktier	928	700	-	-	3 427	2 955	274	236	37,0	37,0
Motparterska exponeringar	11 959	6 417	753	-	11 869	6 417	949	513	99,2	100,0
Positioner i värdepappersföretag	-	16	-	-	-	49	-	4	-	312,3
varav traditionell värdepappersföretag	-	16	-	-	-	49	-	4	-	312,3
varav syntetisk värdepappersföretag	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Summa intermetoden	2 821 873	2 791 274	231 045	206 457	285 031	325 646	22 803	26 062	10,1	11,7
Risikviktsgolv Svenska bolån ¹	-	-	-	-	100 686	186 614	15 973	14 929	-	-
Effekt riskviktsgolv Norska bolån ²	-	-	-	-	12 716	12 255	1 017	980	-	-
Effekt riskviktsgolv Norska företagssäkerhet i fastighet ³	-	-	-	-	17 518	17 134	1 402	1 371	-	-
Totalt intermetoden med effekt av riskviktsgolv	2 821 873	2 791 274	231 045	206 457	514 931	512 280	41 196	40 981	18,2	18,4

¹ Exponeringsbelopp som träffas av reglerna för riskviktsgolv i Svenska bolån är 938 668 mkr per 31 december 2021.

² Exponeringsbelopp som träffas av reglerna för riskviktsgolv i Norska bolån är 115 842 mkr per 31 dec 2021.

³ Exponeringsbelopp som träffas av reglerna för riskviktsgolv i Norska företagssäkerhet i fastighet är 128 529 mkr per 31 dec 2021.

NOTER | KONCERNEN

K51. Forts

Kreditriskexponeringar enligt schablonmetoden¹

Kreditriskexponeringar enligt schablonmetoden ¹ mkr	Exponeringsvärde		Varav utanför balansräkningen		Räskrävt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020
Stater och centralbanker	103 210	1 827	239	49	0	0	0	0	0	0
Kommuner	120	-	0	-	0	-	0	-	0	-
Multilaterala utvecklingsbanker	2 441	956	0	0	0	0	0	0	0	0
Internationella organisationer	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Institut	4 928	9 561	9	169	427	902	34	72	8,7	9,0
Förstag	12 311	7 339	2 766	1 749	11 534	6 929	923	554	93,7	94,4
Hushåll	7 723	9 885	2 404	2 434	5 606	7 250	456	580	73,8	73,0
Säkerheter i fastigheter	321 248	138 617	5 321	2 745	141 879	48 405	11 350	3 872	44,2	35,0
Fallerade exponeringar	1 217	857	16	5	1 406	973	112	78	115,5	113,6
Högrisk poster	740	28	133	-	1 110	41	89	3	150,0	150,0
Fondar	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Aktier	6 614	6 541	-	-	15 925	15 923	1 280	1 274	241,8	243,4
varav börsnoterade aktier	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
varav banta aktier	6 614	6 541	-	-	15 925	15 923	1 280	1 274	241,8	243,4
Övriga poster	3 206	6 278	4	37	738	3 510	59	282	23,0	56,0
Summa schablonmetoden	463 759	181 889	10 892	7 188	178 795	83 933	14 303	6 716	38,6	46,1

¹ Uppgifter om kapitalkrav för exponeringsklasser där det förekommer exponeringar.

EULR2- LRCOm: Bruttooliditetsgrad enligt enhetligt offentliggörande

Tabellen visar bruttosoliditetsgrad per utgången av innevarande respektive föregående år. Exponeringarna är specificerade för kategorierna balansräkning, derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och exponeringar utanför balansräkning. Bruttosoliditetsgraden beräknas som primärkapital dividerat med sammanlagda exponeringar. Bruttosoliditetsgraden har ökat jämfört med föregående år.

LRCOm: Bruttosoliditetsgrad enligt enhetligt offentliggörande mkr		2021
Exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering)		
1	Poster i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering, men inklusive säkerhet)	3 035 785
2	Tillägsbelopp med avseende på ställt derivatsäkerhet som dragits av från tillgångarna i balansräkningen i enlighet med de tillämpliga redovisningsreglerna	0
3	(Avdrag för tillgångar i form av fordringar för kontant tilläggsmarginälsäkerhet i derivattransaktioner)	-2 996
4	(Justering för värdepapper som tagits emot under transaktioner för värdepappersfinansiering och som redovisas som en tillgång)	0
5	(Allmänna kreditriskjusteringar av poster i balansräkningen)	0
6	(Tilläggsbelopp som dragits av för att fastställa primärkapital)	-21 256
7	Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering)	3 011 623
Derivatexponeringar		
8	Återanskaffningskostnad som sammanhänger med derivattransaktioner enligt schablonmetoden för motpartskreditrisk (dvs. netto av den medräkningsbara kontanta tilläggsmarginälsäkerheten)	16 104
EU-8a	Undantag för derivat: Bidrag till ersättningskostnader enligt den förenklade schablonmetoden	0
9	Tillägsbelopp för möjlig framtida exponering i samband med derivattransaktioner enligt schablonmetoden för motpartskreditrisk	21 924
EU-9a	Undantag för derivat: Bidrag till möjlig framtida exponering enligt den förenklade schablonmetoden	0
EU-9b	Exponering fastställt enligt ursprunglig ålagd metod	0
10	(Undantagen central motpartsdal av handelsexponeringar som clearats av kunden) (schablonmetod för motpartskreditrisk)	0
EU-10a	(Undantagen central motpartsdal av handelsexponeringar som clearats av kunden) (förenklad schablonmetod)	0
EU-10b	(Undantagen central motpartsdal av handelsexponeringar som clearats av kunden) (ursprunglig ålagd metod)	0
11	Justerat effektivt teoretiskt belopp i skriftliga kreditderivat	3 379
12	(Justerade effektiva teoretiska kvittningar och tilläggsavdrag för skriftliga kreditderivat)	-30
13	Sammanlagda derivatexponeringar	41 377
Exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering		
14	Bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering (utan godkännande av netting) efter justering för försäljningstransaktioner	38 849
15	(Nettobelopp för kontantsskuld och kontantfordringar av bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering)	0
16	Motpartens kreditriskexponering mot tillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering	5 194
EU-16a	Undantag för transaktioner för värdepappersfinansiering: Motpartens kreditriskexponering i enlighet med artiklarna 429a.5 och 222 i kapitalkravsförordningen	0
17	Exponeringar mot förmedlade transaktioner	0
EU-17a	(Undantagen central motpartsdal av exponeringar mot transaktioner för värdepappersfinansiering som clearats av kunden)	0
18	Sammanlagda exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering	44 043
Andra exponeringar utanför balansräkningen		
19	Exponeringar utanför balansräkningen i effektiva teoretiska belopp	535 702
20	(Justeringar för konvertering till kreditivvalutar)	-399 554
21	(Allmänna avsättningar som dragits av för att fastställa primärkapital och specifika avsättningar förbundna med exponeringar utanför balansräkningen)	0
22	Exponeringar utanför balansräkningen	136 138

NOTER | KONCERNEN

K51. Forts

EULR2 - LACom: Bruttosoliditetsgrad enligt enhetligt offentliggörande – forts

LACom: Bruttosoliditetsgrad enligt enhetligt offentliggörande		2021
Undantagna exponeringar		
BU-22a	(Exponeringar som undantas från det totala exponeringsmålet i enlighet med artikel 429a.1 c i kapitalkravsförordningen)	0
BU-22b	(Undantagna exponeringar i enlighet med artikel 429a.1 j i kapitalkravsförordningen (j och utanför balansräkningen))	0
BU-22c	(Undantagna exponeringar för offentliga utvecklingsbanker (eller utvecklingsenheter) – Offentliga investeringar)	0
BU-22d	(Undantagna exponeringar för offentliga utvecklingsbanker (eller utvecklingsenheter) – Subventionerade lån)	0
BU-22e	(Undantagna exponeringar vid förmedling (passing-through) av subventionerade lån för icke-offentliga utvecklingsbanker (eller utvecklingsenheter))	0
BU-22f	(Undantagna garanterade delar av exponeringar i samband med exportkrediter)	-790
BU-22g	(Undantagna överskjutande stökanter som deponerats hos trepartsagenter)	0
BU-22h	(Undantagna värdepapperscentraliserade tjänster hos värdepapperscentraler/institut i enlighet med artikel 429a.1 o i kapitalkravsförordningen)	0
BU-22i	(Undantagna värdepapperscentraliserade tjänster hos utsedda institut i enlighet med artikel 429a.1 p i kapitalkravsförordningen)	0
BU-22j	(Minskning av exponeringsvärdet för refinansieringslån eller mellan kredit)	0
BU-22k	(Sammanlagda undantagna exponeringar)	-790
Kapitalmätt och totalt exponeringsmätt		
23	Primärkapital	163 222
24	Totalt exponeringsmätt	3 232 290
Bruttosoliditetsgrad		
25	Bruttosoliditetsgrad (%)	5,05%
BU-25	Bruttosoliditetsgrad (bortsett från inverkan av undantaget för offentliga investeringar och subventionerade lån) (%)	5,05%
25a	Bruttosoliditetsgrad (bortsett från inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserver) (%)	5,05%
26	Lagstadgade minimikrav på bruttosoliditetsgrad (%)	3,00%
BU-26a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (%)	0,00%
BU-26b	varav: som utgörs av kärnprimärkapital	0,00%
27	Krav på bruttosoliditetsbuffert (%)	3,00%
BU-27a	Samtliga bruttosoliditetskrav (%)	
Val av övergångsarrangemang och relevanta exponeringar		
BU-27b	Val av övergångsarrangemang för definition av kapitalmätt	NA
Offentliggörande av medelvärdet		
28	Dagliga medelvärdet för bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersförföring eller justering för försäljningstransaktioner och netting av förbundna kontant-skulder och kontantfordringar	30 184
29	Värde vid kvartalsstämman för bruttotillgångar i SFT, efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontant-skulder och kontantfordringar	38 840
30	Totalt exponeringsmätt (inbegripet inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserver) som omfattar medelvärdet från rad 28 av bruttotillgångar i SFT (efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontant-skulder och kontantfordringar)	3 232 625
30a	Totalt exponeringsmätt (inbegripet inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserver) som omfattar medelvärdet från rad 28 av bruttotillgångar i SFT (efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontant-skulder och kontantfordringar)	3 232 625
31	Bruttosoliditetsgrad (inbegripet inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserver) som omfattar medelvärdet från rad 28 av bruttotillgångar i SFT (efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontant-skulder och kontantfordringar)	5,05%
31a	Bruttosoliditetsgrad (bortsett från inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserver) som omfattar medelvärdet från rad 28 av bruttotillgångar i SFT (efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontant-skulder och kontantfordringar)	5,05%

EULR1 - LRSum: Sammanfattande avstämning av redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad

Tabellen specificerar redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad. Totalt exponeringsmätt för bruttosoliditetsgrad har minskat jämfört med föregående år.

LRSum: Sammanfattande avstämning av redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad		Tillämpligt belopp
1	Sammanlagda tillgångar enligt offentliggjorda finansiella rapporter	3 103 143
2	Justering för enheter som är konsoliderade för redovisningsändamål men som inte omfattas av konsolideringen enligt tillägskrav	243 622
3	(Justering för värdepapperscentraliserade exponeringar som uppfyller de operativa kraven för godkännande av risköverföring)	0
4	(Justering för tillfälligt undantag för exponeringar mot centralbanker (j tillämpliga fall))	0
5	(Justering för förväntningstillgångar som redovisas i balansräkningen i enlighet med de tillämpliga redovisningsreglerna men som undantas från det totala exponeringsmålet i enlighet med artikel 429a.1 (j) i kapitalkravsförordningen)	0
6	Justering för avskaffning och avskaffningsförlust av finansiella tillgångar som omfattas av handelsdagredovisning	0
7	Justering för godtagbara överföringar för pooling av kontanta medel	0
8	Justering för finansiella derivatinstrument	12 869
9	Justering för transaktioner för värdepappersfinansiering	18 268
10	Justering för poster utanför balansräkningen (dvs. konvertering till kreditkalkyler för exponeringar utanför balansräkningen)	136 138
11	(Justering för krav på förskottvärdering och specifika och allmänna avskattningar som har lett till redovisat primärkapital)	-421
BU-11a	(Justering för exponeringar som undantas från det totala exponeringsmålet i enlighet med artikel 429a.1 c i kapitalkravsförordningen)	0
BU-11b	(Justering för exponeringar som undantas från det totala exponeringsmålet i enlighet med artikel 429a.1 j i kapitalkravsförordningen)	0
12	Andra justeringar	-281 327
13	Totalt exponeringsmätt	3 232 291

NOTER | KONCERNEN

K51 Forts

EULR3 - LRSpt: Uppdelning av exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och undantagna exponeringar)
Tabellen specificerar redovisningsföregångar och exponeringar i bruttosolldelsgrad. Totalt exponeringsmätt för bruttosolldelsgrad har ökat jämfört med föregående år.

LRSpt: Uppdelning av exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och undantagna exponeringar)			
mkr		2021	2020
EU-1	Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och undantagna exponeringar) varav:		
EU-2	Exponeringar i handelslagrat	3 100 045	2 877 552
EU-3	Exponeringar utanför handelslagrat, varav:	98 799	155 116
EU-4	Säkerställda obligationer	3 001 246	2 722 436
EU-5	Exponeringar som hanteras som exponeringar mot nationella regeringar	26 683	7 038
EU-6	Exponeringar mot delstatliga självstyrelseorgan, multilaterala utvecklingsbanker, internationella organisationer och offentliga organ som inte behandlas som exponeringar mot nationella regeringar	555 070	475 107
EU-7	Institutf	0	0
EU-8	Säkrade genom pantfritt i fastigheter	7 661	7 227
EU-9	Hushållsexponeringar	2 137 930	2 004 442
EU-10	Företag	48 387	47 450
EU-11	Falleranda exponeringar	207 506	155 006
EU-12	Falleranda exponeringar (i ex aktier, värdepappersföretag och övriga motpartslösa tillgångar)	5 077	4 366
		12 844	21 802

RESULTATRÄKNING | MODERBOLAGET

Resultaträkning Moderbolaget

mkr		2021	2020
Ränteintäkter	Not M3	14 325	20 350
Leasingintäkter	Not M3	1 899	1 963
Räntekostnader	Not M3	-3 088	-9 242
Erfådda utdelningar	Not M4	17 611	15 937
Provisionsintäkter	Not M5	6 877	7 485
Provisionskostnader	Not M5	-1 647	-1 793
Nettorasultat av finansiella transaktioner	Not M6	1 808	1 869
Övriga rörelseintäkter	Not M7	3 576	2 790
Summa rörelseintäkter		41 361	39 359
Allmänna administrationskostnader			
Personalkostnader	Not M8	-10 242	-11 689
Övriga administrationskostnader	Not M9	-6 002	-5 684
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	Not M20, M21	-2 803	-2 672
Summa kostnader före kreditförluster		-19 047	-20 045
Resultat före kreditförluster		22 314	19 314
Kreditförluster, netto	Not M10	-55	-477
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar		-1 180	-79
Röreleresultat		21 079	18 758
Bokslutsdispositioner	Not M11	227	743
Resultat före skatter		21 306	19 501
Skatter	Not M28	-4 618	-4 275
Årets resultat		16 688	15 226

TOTALRESULTAT | MODERBOLAGET

Totalresultat Moderbolaget

mil	2021	2020
Årets resultat	16 688	15 226
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	62	-583
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-3	11
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-3	11
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	59	-572
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassaföresäkringar	246	-1 677
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	6	7
Årets omräkningsdifferens	1 034	-2 184
varav säkring av nettotillgångar i utlandsvärksamhet	-63	-256
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-39	420
varav kassaföresäkringar	-51	365
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-1
varav säkring av nettotillgångar i utlandsvärksamhet	13	56
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	1 247	-3 434
Summa övrigt totalresultat	1 306	-4 006
Årets totalresultat	17 994	11 220

Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.

BALANSRÄKNING | MODERBOLAGET

Balansräkning Moderbolaget

mkd		2021	2020
TILLGÅNGAR			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		338 768	297 362
Belåningsbara statskuld förbindelser m m	Not M14	100 538	99 115
Utlåning till kreditinstitut	Not M12	986 897	953 650
Utlåning till allmänheten	Not M13	611 852	566 145
Värdeförändring på räntebärande post i portföljstärkning		-1 904	13
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not M14	34 323	46 533
Aktier och andelar	Not M15	13 481	14 313
Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures	Not M16	71 967	73 057
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		8 952	7 405
Derivatinstrument	Not M17	30 946	33 031
Immateriella tillgångar	Not M20	3 129	3 459
Fastigheter, inventarier och leasingobjekt	Not M21	7 043	7 381
Aktuella skattefordringar		0	154
Uppskjutna skattefordringar	Not M28	668	1 173
Övriga tillgångar	Not M22	22 287	20 775
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not M23	1 187	1 297
Summa tillgångar	Not M35	2 230 134	2 124 863
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
Skulder till kreditinstitut	Not M24	153 490	129 054
In- och upplåning från allmänheten	Not M25	1 173 172	1 021 130
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		8 952	7 405
Emitterade värdepapper m m	Not M26	679 808	657 520
Derivatinstrument	Not M17	21 033	44 774
Korta positioner	Not M27	4 105	1 682
Aktuella skatteskulder		264	-
Uppskjutna skatteskulder	Not M28	436	777
Avsättningar	Not M29	1 011	2 276
Övriga skulder	Not M30	7 631	9 125
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not M31	3 049	2 266
Efterstälda skulder	Not M32	32 257	41 082
Summa skulder	Not M35	2 086 208	1 981 091
Obeskattade reserver	Not M33	708	933
Aktiekapital		3 069	3 069
Överkursfond		8 758	8 758
Andra fonder	Not M34	7 651	6 706
Balanserad vinst		108 054	109 080
Årets resultat		16 688	15 226
Summa eget kapital		144 220	142 839
Summa skulder och eget kapital		2 230 134	2 124 863

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | MODERBOLAGET

Förändring i eget kapital

Moderbolaget

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital				Balanserade vinster och inkomster	Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för internt utvecklad programvara	Övertaksfond	Säkringsreserv ¹	Verkligt värde-reserv ¹	Omräkningsreserv ¹		
Ingående eget kapital 2021	3 060	2 682	3 274	8 708	628	94	28	124 306	142 830
Årets resultat								16 688	16 688
Övrigt totalresultat					195	64	1 047		1 306
varav omklassificering inom eget kapital							-53		-53
Årets totalresultat					195	64	1 047	16 688	17 994
Omklassificerat till balanserat resultat								53	53
Utdelning ²								-16 666	-16 666
Fond för internt utvecklad programvara			-361					361	-
Utgående eget kapital 2021	3 060	2 682	2 913	8 708	823	108	1 076	124 742	144 220

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital				Balanserade vinster och inkomster	Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för internt utvecklad programvara	Övertaksfond	Säkringsreserv ¹	Verkligt värde-reserv ¹	Omräkningsreserv ¹		
Ingående eget kapital 2020	3 060	2 682	3 094	8 708	1 940	660	2 156	106 636	130 936
Årets resultat								15 226	15 226
Övrigt totalresultat					-1 312	-566	-2 128		-4 006
varav omklassificering inom eget kapital						-694			-694
Årets totalresultat					-1 312	-666	-2 128	15 226	11 220
Omklassificerat till balanserat resultat								684	684
Utdelning								-	-
Lämnade koncernbidrag								-	-
Skatteeffekt på koncernbidrag								-	-
Effekter av konvertibla förlagslån								-	-
Fond för internt utvecklad programvara			240					-240	-
Utgående eget kapital 2020	3 060	2 682	3 274	8 708	628	94	28	124 306	142 830

¹ Ingår i fond för verkligt värde.² Ordinarie utdelning uppgick till 8 118 mkr medan extrautdelningen uppgick till 8 548 mkr. Extrautdelningen erhöll aktieälgarna i form av aktier i AB Industrivärden som Svenska Handelsbanken AB förvärvat från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, se not M41.

KASSAFLÖDESANALYS | MODERBOLAGET

Kassaflödesanalys Moderbolaget

mkr	2021	2020
LÖPANDE VERKSAMHET		
Rörelseresultat	21 079	18 757
varav inbetalda räntor	14 248	21 017
varav utbetalda räntor	-3 898	-9 900
varav inbetalda utdelningar	17 671	15 937
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	85	553
Orealiserade värdeförändringar	418	-645
Av- och nedskrivningar	3 983	2 746
Koncernbidrag att erhålla	-16 685	-15 135
Betalda inkomstskatter	-4 269	-4 910
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Utlåning till kreditinstitut	-33 248	-63 093
Utlåning till allmänheten	-43 873	53 465
Räntebärande värdepapper och aktier	10 388	9 595
Skulder till kreditinstitut	-39 564	-14 309
In- och upplåning från allmänheten	152 043	101 650
Emitterade värdepapper	22 288	-67 120
Derivatinstrument, nettopositioner	-21 476	15 201
Korta positioner	2 476	-197
Fondlikvidförändringar och fondlikvidskulder	-553	871
Övrigt	-8 746	11 261
Kassaflöde från löpande verksamhet	44 346	48 690
INVESTERINGSVERKSAMHET		
Förvärf av och tillskott till intressaföretag och joint ventures	-108	-984
Försäljning av aktier och andelar	1	1 688
Förvärf av materiella anläggningstillgångar	-5 019	-4 577
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	3 457	3 030
Förvärf av immateriella anläggningstillgångar	-450	-852
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-2 119	-1 695
FINANSIERINGSVERKSAMHET		
Amortering efterställda skulder	-10 130	-2
Emission efterställda skulder	-	8 176
Utbetald utdelning	-16 666	-
Utdelningar från koncernföretag	15 135	15 992
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-11 661	24 166
varav valutakursförändringar	-320	-819
Årets kassaflöde		
	30 566	71 161
Likvida medel vid årets början	297 362	242 889
Kassaflöde från löpande verksamhet	44 346	48 690
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-2 119	-1 695
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-11 661	24 166
Kursdifferens i likvida medel	10 840	-16 688
Likvida medel vid årets slut	338 768	297 362

Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultatet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, t.ex. avskrivningar och kreditförluster.

Likvida medel definieras som kassa och tillgodohavanden hos centralbanker.

5-ÅRSÖVERSIKT | MODERBOLAGET

5-årsöversikt Moderbolaget

Resultaträkning mkr	2021	2020	2019	2018	2017
Räntanetto	13 136	13 071	13 039	17 234	16 326
Erhållna utdelningar	17 611	15 937	17 338	11 023	13 705
Provisionsnetto	5 230	5 692	6 011	6 218	6 592
Nettoreultat av finansiella transaktioner	1 808	1 969	618	1 020	1 339
Övriga rörelseintäkter	3 576	2 790	2 638	2 805	1 690
Summa rörelseintäkter	41 361	39 359	39 644	38 300	39 652
Allmänna administrationskostnader					
Personalkostnader	-10 242	-11 689	-10 148	-12 255	-10 938
Övriga administrationskostnader	-6 002	-5 684	-5 808	-6 332	-5 702
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	-2 803	-2 672	-2 156	-1 350	-1 094
Summa kostnader före kreditförluster	-19 047	-20 045	-18 112	-19 937	-17 734
Resultat före kreditförluster	22 314	19 314	21 532	18 363	21 918
Kreditförluster, netto	-55	-477	-1 059	-835	-1 685
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar	-1 180	-79	-148	-	-
Rörelseresultat	21 079	18 758	20 325	17 528	20 233
Bokslutsdispositioner	227	743	-380	332	115
Resultat före skatt	21 306	19 501	19 945	17 860	20 348
Skatter	-4 618	-4 275	-4 297	-4 005	-4 662
Årets resultat	16 688	15 226	15 648	13 855	15 686
Utdelning för året	9 900 ¹	16 666	-	10 693	14 581

¹ Enligt styrelsens förslag.

Totalresultat mkr	2021	2020	2019	2018	2017
Årets resultat	16 688	15 226	15 648	13 855	15 686
Övrigt totalresultat					
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen					
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	62	-583	372	-188	
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-3	11	-21	1	
Varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-3	11	-21	1	
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	59	-572	351	-187	
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen					
Kassafördelsåtkomster	246	-1 677	1 751	829	41
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	6	7	7	-12	
Instrument tillgängliga för försäljning (IAS 39)					-470
Årets omräkningsdifferens	1 034	-2 184	-259	41	-2 261
Varav skatt på nettotillgångar i utlandsväksamhet	-63	-256	-826	-348	-1 476
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-39	420	-200	19	311
Varav kassafördelsåtkomster	-57	365	-375	-778	-9
Varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-7	-7	-2	3	
Varav instrument tillgängliga för försäljning (IAS 39)					-5
Varav skatt på nettotillgångar i utlandsväksamhet	13	56	177	194	325
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	1 247	-3 434	1 290	877	-2 379
Summa övrigt totalresultat	1 306	-4 008	1 639	690	-2 379
Årets totalresultat	17 994	11 220	17 288	14 545	13 307

5-ÅRSÖVERSIKT | MODERBOLAGET

5-årsöversikt Moderbolaget, forts

Balansräkning mkr	2021	2020	2019	2018	2017
Tillgångar					
Utlåning till allmänheten	611 852	566 145	620 175	611 699	795 691
Utlåning till kreditinstitut	986 697	953 650	990 557	941 085	664 018
Räntebärande värdepapper	134 861	145 648	156 466	169 911	172 107
Övriga tillgångar	426 524	459 420	412 307	431 004	381 060
Summa tillgångar	2 230 134	2 124 863	2 079 605	2 053 699	2 012 876
Skulder och eget kapital					
In- och upplåning från allmänheten	1 173 172	1 021 130	918 145	839 835	941 401
Skulder till kreditinstitut	153 490	199 054	208 697	261 735	193 822
Emitterade värdepapper	679 808	657 520	724 640	716 531	654 637
Efterställda skulder	32 257	41 082	35 546	51 085	32 896
Övriga skulder	46 481	68 305	59 863	62 565	69 237
Obeskallade reserver	705	933	1 678	886	683
Eget kapital	144 220	142 839	130 935	121 062	120 200
Summa skulder och eget kapital	2 230 134	2 124 863	2 079 605	2 053 699	2 012 876
Nyckeltal	2021	2020	2019	2018	2017
Reserveringsgrad för osäkra fordringar, %					65,7
Andel osäkra fordringar, %					0,18
Känpåmärkekapitalrelation, % enligt CRR	30,2	31,7	20,2	18,7	21,4
Primärkapitalrelation, % enligt CRR	33,4	34,6	23,0	21,0	23,9
Total kapitalrelation, % enligt CRR	37,4	38,8	26,2	24,1	27,5
Räntabilitet på totalt kapital, %	0,72	0,65	0,74	0,63	0,74

För definitioner av alternativa nyckeltal hänvisas till sidan 277 och för beräkning av dessa nyckeltal hänvisas till Fördataboken som finns tillgänglig på handelsbanken.se/ir.

Noter Moderbolaget

M1 Redovisningsprinciper

Lag- och föreskriftsenlighet

Moderbolagets årsredovisning är upprättad i enlighet med lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRL) och Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Moderbolaget tillämpar också RFR 2 Redovisning för juridiska personer och uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. I enlighet med Finansinspektionens allmänna råd tillämpar moderbolaget så kallad lagbegränsad IFRS. Det innebär att de internationella redovisningsstandarder och tolkningar av dessa standarder som har antagits av EU har tillämpats i den utsträckning som det är möjligt inom ramen för nationella lagar och föreskrifter samt sambandet mellan redovisning och beskattning.

Sambandet mellan moderbolagets och koncernens redovisningsprinciper

Moderbolagets redovisningsprinciper överensstämmer i stora delar med koncernens. I det följande redogörs endast för de områden där moderbolagets principer skiljer sig från koncernens. I allt övrigt hänvisas till redovisningsprinciperna för koncernen i not K1.

Presentation

Moderbolaget tillämpar de uppställningsformer för resultat- och balansräkning som följer av ÅRL och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär främst följande skillnader i förhållande till den uppställning som tillämpas av koncernen:

- Fordringar på centralbanker som är direkt disponibla på anmodan redovisas i moderbolagets balansräkning som utlåning till kreditinstitut. I koncernens balansräkning redovisas de i posten Övrig utlåning till centralbanker.
- Broker- och börskostnader redovisas i moderbolaget som Provisionskostnader.
- Erhållna utdelningar redovisas på särskild rad i moderbolagets resultaträkning.
- Resultat vid avyttring av materiella och immateriella anläggningstillgångar redovisas i moderbolaget som övrig intäkt eller kostnad.
- Obeskattade reserver redovisas i moderbolaget i en egen balanspost. I koncernen delas de upp i egen kapitalandel respektive skatteskuld.

Tillgångar och skulder i utländsk valuta

Lån i moderbolaget som säkras nettoinvesteringar i utlandsverksamhet värderas till historisk anskaffningskurs.

Tillgångar som innehas för försäljning och avvecklad verksamhet

Anläggningstillgångar med begränsad nyttjandeperiod skrivs av över nyttjandeperioden i enlighet med Årsredovisningslagen under tiden dessa är klassificerade som att de innehas för försäljning. Någon särredovisning av nettoresultat efter skatt från avvecklad verksamhet sker inte i moderbolagets resultaträkning. I balansräkningen görs inte heller någon särskild uppdelning av tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning. För upplysningar om tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet se not M45.

Aktier och andelar i dotter- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i dotterföretag och intresseföretag samt joint ventures värderas till anskaffningsvärde. Varje balansdag prövas alla innehav för att bedöma om de behöver skrivas ner. I de fall värdet har minskat sker nedskrivning till koncernmässigt värde. Eventuella nedskrivningskostnader klassificeras i resultaträkningen som Nedskrivning av finansiella tillgångar. Utdelningar på aktier i dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas som intäkt i resultaträkningen i posten Erhållna utdelningar.

Finansiella garantier

Finansiella garantier i form av borgensförbindelser till förmån för dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas i moderbolaget som en avsättning i balansräkningen. I den utsträckning moderbolaget har ett befintligt åtagande och betalning sannolikt krävs för att reglera åtagandet.

Immateriella tillgångar

I moderbolaget görs avskrivningar på Inkrämsgoodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod i enlighet med bestämmelserna i ÅRL. De kundrelationer som förvärvat gett upphov till, och därmed nyttjandeperioden för Inkrämsgoodwill, är erfarenhetsmässigt mycket långa. Avskrivningstiden är satt till 20 år.

Leasing

Banken som leasegivare

Moderbolaget redovisar finansiella leasingavtal som operationella leasingavtal. Det innebär att tillgångarna redovisas som leasingobjekt med avskrivningar inom Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar i resultaträkningen. Hyresintäkter

redovisas som leasingintäkter inom Räntenettet i resultaträkningen.

Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden.

Banken som leasetagare

Moderbolaget redovisar leasingavgifter som kostnader inlärt över leasingperioden.

Utdelningar

I posten Erhållna utdelningar redovisas alla erhållna utdelningar i moderbolaget, inklusive utdelningar från dotterföretag, intresseföretag och joint ventures, samt erhållna koncernbidrag. Anticiperad utdelning redovisas endast om moderbolaget har beslutanderätt över utdelningens storlek och beslutet har fattats innan publiceringen av de finansiella rapporterna.

Redovisning av pensioner

Moderbolaget tillämpar inte bestämmelserna i IAS 19 om redovisning av förmånsbestämda pensionsplaner. Istället sker beräkning av kalkylmässig pensionskostnad i moderbolaget enligt Trygghetens bestämmelser och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär framförallt skillnader i fråga om hur diskonteringsräntan fastställs och att beräkningen av framtida förpliktelse inte tar hänsyn till antaganden om framtida löneökningar. Redovisad nettokostnad för pensioner beräknas som summan av utbetalda pensioner, pensionspremier samt avsättning till pensionsstiftelse, med avräkning för eventuell gottgörelse från pensionsstiftelse. Årets nettokostnad för pensioner redovisas som Personalkostnad i moderbolagets resultaträkning.

Överskjutande belopp till följd av att förvaltningstillgångarnas värde överstiger beräknade pensionsförpliktelser redovisas inte som en tillgång i moderbolagets balansräkning. Under skott redovisas som en skuld.

Skatter

I moderbolaget redovisas obeskattade reserver som en egen post i balansräkningen. Obeskattade reserver består av en komponent som utgör uppskjuten skatteskuld och en komponent som utgör eget kapital.

M2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankkoncernens riskhantering beskrivs i not K2. Specifika upplysningar över moderbolagets riskar presenteras nedan. För definitioner se sidorna 277–279.

Kreditförluster Geografisk fördelning 2021 mkr		Sverige	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		93 293	4 579	28 282	120 098	27 314	65 202	338 768
Utlåning till kreditinstitut	Nor M12	934 765	2 788	4 957	43 020	755	612	986 897
Utlåning till allmänheten	Nor M13	211 575	173 148	60 953	81 465	75 606	9 105	611 852
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	Nor M14	100 538	-	-	-	-	-	100 538
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M14	34 323	-	-	-	-	-	34 323
Derivatinstrument ¹	Nor M17	30 844	-	37	-	7	58	30 946
Summa		1 405 398	180 515	94 229	244 583	103 682	74 977	2 103 324
Poster utanför balansräkningen								
Eventualförpliktelser	Nor M38	561 270	61 091	33 208	35 301	5 819	27 056	723 745
varav ansvarsförbindelser		48 275	5 980	9 108	8 169	77	15 193	87 502
varav åtaganden		512 295	55 111	24 100	27 132	5 742	11 863	636 243
Summa		561 270	61 091	33 208	35 301	5 819	27 056	723 745
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 966 668	241 606	127 437	279 884	109 501	102 033	2 827 069

Kreditförluster Geografisk fördelning 2020 mkr		Sverige	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		84 525	18 026	217	114 600	11 035	68 959	297 362
Utlåning till kreditinstitut	Nor M12	883 811	3 330	23 679	40 780	225	1 825	953 650
Utlåning till allmänheten	Nor M13	193 657	163 015	52 232	81 511	63 905	11 825	566 145
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	Nor M14	98 353	-	-	-	-	762	99 115
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M14	46 533	-	-	-	-	-	46 533
Derivatinstrument ¹	Nor M17	32 907	-	12	-	-	112	33 031
Summa		1 339 788	184 371	76 140	236 891	75 165	83 483	1 906 838
Poster utanför balansräkningen								
Eventualförpliktelser	Nor M38	388 950	58 529	33 013	39 374	7 503	32 340	559 709
varav ansvarsförbindelser		53 417	5 702	8 984	11 041	121	20 209	99 474
varav åtaganden		335 533	52 827	24 029	28 333	7 382	12 131	460 235
Summa		388 950	58 529	33 013	39 374	7 503	32 340	559 709
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 728 738	242 900	109 153	276 265	82 668	115 823	2 466 547

Vid geografisk fördelning avses del land där exponeringarna är redovisade.

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2021 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Privatpersoner	112 017	2 053	959	-22	-23	-443	114 541
Bostadsrättsföreningar	21 073	416	11	-3	-1	-4	21 492
Fastighetsförvaltning	292 651	20 368	926	-50	-186	-163	313 546
Tillverkningsindustri	17 977	1 625	65	-10	-11	-39	19 607
Handel	25 434	433	372	-16	-34	-90	26 099
Hotell- och restaurangverksamhet	2 625	1 722	20	-3	-101	-5	4 258
Person- och godstransport till sjöss	1 676	594	1 205	-1	-8	-464	3 002
Övrig transport och kommunikation	4 233	230	83	-8	-10	-63	4 465
Byggnadsverksamhet	13 842	596	131	-20	-12	-72	14 465
Elektricitet, gas och vatten	7 708	1 196	5	-3	-8	-3	8 895
Jordbruk, jakt och skogsbruk	5 162	129	67	-6	-4	-31	5 317
Övrig serviceverksamhet	8 821	524	96	-12	-19	-88	9 322
Holding-, investering- och försäkringsbolag, fonder m.m.	48 759	370	171	-12	-8	-122	49 158
Stat och kommun	263	16	0	0	-1	0	278
Övrig företagsutlåning	17 079	118	296	-3	-5	-78	17 407
Summa	579 320	30 390	4 407	-160	-431	-1 685	611 862

NOTER | MODERBOLAGET

M2 Forts

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2020 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	106 333	3 025	879	-28	-31	-482	109 696
Bostadsrättsföreningar	23 329	727	79	-2	-2	-35	24 096
Fastighetsförvaltning	267 249	20 050	996	-48	-183	-204	287 860
Tillverkningsindustri	19 235	3 339	173	-13	-18	-106	22 610
Handel	13 969	1 565	364	-13	-50	-92	15 743
Hotell- och restaurangverksamhet	3 520	2 206	8	-15	-62	-4	5 653
Person- och godstransport till sjöss	1 675	2 064	1 162	-1	-6	-288	4 606
Övrig transport och kommunikation	5 333	456	101	-6	-18	-79	5 787
Byggnadsverksamhet	11 697	1 430	137	-14	-31	-83	13 136
Elektricitet, gas och vatten	7 676	737	3	-2	-9	-1	8 404
Jordbruk, jakt och skogsbruk	5 307	346	52	-5	-11	-41	5 648
Övrig serviceverksamhet	7 334	577	309	-10	-27	-209	7 974
Holding-, investiment- och försäkringsbolag, fonder m.m.	33 880	1 696	151	-12	-10	-105	35 600
Stat och kommun	1 594	16	-	0	-1	-	1 609
Övrig företagsutlåning	17 319	142	337	-3	-5	-67	17 723
Summa	626 490	38 378	4 761	-172	-464	-1 798	686 146

Kreditexponeringar, fördelat per säkerhet 2021 mkr		Bostads- fastigheter ¹	Övriga fastigheter och landsting ²	Stat, kommun och landsting ²	Borgen ³	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko ⁴	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				338 768						338 768
Utlåning till kreditinstitut	Nr M1 2	-	-	60 381	-	-	-	-	926 516	986 897
Utlåning till allmänheten	Nr M1 3	189 813	209 750	26 062	7 532	19 224	5 297	8 379	145 755	611 852
Balansräkningsbara statsskuldförbindelser m.m.	Nr M1 4			100 538						100 538
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nr M1 4	-	-	1 106	818	-	-	-	32 399	34 323
Derivatinstrument	Nr M1 7	833	1 541	5 012	65	150	-	-	23 345	30 946
Summa		190 646	211 331	631 867	8 415	19 374	5 297	8 379	1 128 015	2 103 324
Poster utanför balansräkningen										
Eventuallörpliktigheter	Nr M38	93 494	49 986	40 739	8 889	15 468	648	9 000	505 521	723 745
varav ansvarsförbindelser		6 395	7 687	9 565	4 199	7 093	394	934	63 235	87 502
varav åtaganden		87 099	42 299	31 174	4 690	14 375	254	8 066	442 286	636 243
Summa		93 494	49 986	40 739	8 889	15 468	648	9 000	505 521	723 745
Summa poster i och utanför balansräkningen		284 140	261 317	672 606	17 304	34 842	5 945	17 379	1 633 536	2 827 069

Kreditexponeringar, fördelat per säkerhet 2020 mkr		Bostads- fastigheter ¹	Övriga fastigheter och landsting ²	Stat, kommun och landsting ²	Borgen ³	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko ⁴	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				297 362						297 362
Utlåning till kreditinstitut	Nr M1 2	-	-	51 860	978	39 685	-	-	861 127	953 650
Utlåning till allmänheten	Nr M1 3	180 123	204 250	23 974	7 426	12 432	5 364	10 258	122 278	566 145
Balansräkningsbara statsskuldförbindelser m.m.	Nr M1 4			99 115						99 115
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nr M1 4	-	-	2 563	-	-	-	-	43 970	46 533
Derivatinstrument	Nr M1 7	972	1 688	2 047	81	15 013	-	-	13 230	33 031
Summa		181 095	205 938	478 921	8 485	67 130	5 364	10 258	1 040 605	1 695 896
Poster utanför balansräkningen										
Eventuallörpliktigheter	Nr M38	83 062	42 372	44 050	5 996	10 104	3 026	9 754	361 355	559 709
varav ansvarsförbindelser		6 207	7 712	12 239	2 864	7 255	2 906	7 034	77 257	99 474
varav åtaganden		76 855	40 660	31 811	3 132	8 849	120	8 720	290 098	460 235
Summa		83 062	42 372	44 050	5 996	10 104	3 026	9 754	361 355	559 709
Summa poster i och utanför balansräkningen		264 157	248 310	522 971	14 471	77 234	8 390	20 012	1 401 960	2 255 605

¹ Inkluderar bostadsrätter.² Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.³ Inkluderar ej statsgarantier.⁴ I denna kolumn ingår moderbolagets interna utlåning och åtaganden till koncernens dotterbolag. För poster i balansräkningen uppgår den interna utlåning till 969 362 mkr (913 321 mkr) och för poster utanför balansräkningen uppgår den till 203 798 mkr (54 244 mkr).

MARKNADSRISK

Marknadsrisker mkr		2021	2020
Ränterisk		1 215	1 242
Valutarisk ¹		14	18
Aktiekursrisk		71	65
Råvaruprisrisk		1	2

¹ Värsta utfall av +/-5% förändring av SEK.

NOTER | MODERBOLAGET

M2 Forts

LIKVIDITETSRISK

Förtälningsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2021 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Specifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	338 787	-	-	-	-	-	-	338 787
Belåningsbara statskultförbindelser ¹	100 538	-	-	-	-	-	-	100 538
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	34 323	-	-	-	-	-	-	34 323
Utlåning till kreditinstitut	49 836	176 974	101 553	189 635	458 214	30 184	-	1 006 396
varav omvända repor	20 203	-	-	-	-	-	-	20 203
Utlåning till allmänheten	43 431	119 413	94 365	93 529	143 086	141 627	-	635 451
varav omvända repor	13 648	-	-	-	-	-	-	13 648
Övrigt	16 217	-	-	-	-	-	142 644	158 861
varav aktier och andelar	13 481	-	-	-	-	-	-	13 481
varav fordringar på fondböcker	2 736	-	-	-	-	-	-	2 736
Summa tillgångar	683 132	296 387	105 918	283 164	601 300	171 811	142 644	2 274 306
Skulder till kreditinstitut	89 515	36 435	3 733	137	362	1 010	22 706	153 808
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	0
varav inlåning från centralbanker	21 832	28 676	-	-	-	-	344	50 852
In- och upplåning från allmänheten	12 414	22 154	1 575	4 184	360	48	1 132 318	1 173 062
varav repor	213	-	-	-	-	-	-	213
Emitterade värdepapper ³	51 797	232 149	187 128	49 821	71 984	32 210	-	685 059
varav säkerställda obligationer	-	-	-	-	-	-	-	0
varav certifikat och andra värdepapper med ursprungligt löptid underliggande ett år	42 648	258 927	1 55 791	-	-	-	-	457 366
varav seniors obligationer och andra värdepapper med ursprungligt löptid överliggande ett år	9 149	23 222	31 337	49 821	71 984	32 210	-	217 723
Efterställda skulder	-	926	2 960	8 507	13 698	10 125	-	36 286
Övrigt	7 038	-	-	-	-	-	186 017	193 055
varav korta positioner	4 126	-	-	-	-	-	-	4 126
varav fondböcker	2 912	-	-	-	-	-	-	2 912
Summa skulder	160 784	361 684	105 308	62 640	86 413	43 483	1 341 041	2 241 300
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	636 243							

Derivat 2021 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat inlöste	220 640	508 215	84 162	119 321	180 126	103 895	1 216 359
Summa derivat utförde	219 001	505 556	82 124	119 581	180 424	103 860	1 210 555
Netto	1 639	2 659	2 038	-260	-298	26	5 804

Förtälningsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2020 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Specifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	297 384	-	-	-	-	-	-	297 384
Belåningsbara statskultförbindelser ¹	99 115	-	-	-	-	-	-	99 115
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	46 533	-	-	-	-	-	-	46 533
Utlåning till kreditinstitut	67 827	150 334	109 066	153 276	198 555	287 836	-	966 894
varav omvända repor	2 776	-	-	-	-	-	-	2 776
Utlåning till allmänheten	53 542	108 156	84 934	74 517	130 785	133 380	-	585 314
varav omvända repor	11 626	-	-	-	-	-	-	11 626
Övrigt	17 551	-	-	-	-	-	145 639	163 190
varav aktier och andelar	14 313	-	-	-	-	-	-	14 313
varav fordringar på fondböcker	3 238	-	-	-	-	-	-	3 238
Summa tillgångar	681 982	298 480	104 000	227 793	329 340	421 216	145 639	2 168 430
Skulder till kreditinstitut	96 859	43 238	4 549	568	420	1 205	46 779	193 619
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
varav inlåning från centralbanker	17 334	23 110	-	-	-	-	314	40 758
In- och upplåning från allmänheten	15 076	9 861	1 977	3 655	360	38	989 695	1 020 662
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
Emitterade värdepapper ³	49 558	235 277	216 590	59 219	73 682	30 103	-	664 429
varav säkerställda obligationer	-	-	-	-	-	-	-	-
varav certifikat och andra värdepapper med ursprungligt löptid underliggande ett år	42 654	1 95 176	1 00 502	-	-	-	-	428 432
varav seniors obligationer och andra värdepapper med ursprungligt löptid överliggande ett år	6 894	40 101	25 908	59 219	73 682	30 103	-	235 997
Efterställda skulder	-	9 937	-	2 935	19 014	8 281	-	40 167
Övrigt	5 654	-	-	-	-	-	208 665	214 319
varav korta positioner	1 687	-	-	-	-	-	-	1 687
varav fondböcker	3 967	-	-	-	-	-	-	3 967
Summa skulder	167 147	208 313	223 116	66 377	93 476	39 627	1 245 139	2 133 166
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	460 235							

Derivat 2020 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat inlöste	203 343	419 683	119 243	92 612	186 031	100 891	1 121 803
Summa derivat utförde	205 625	427 457	118 845	93 932	185 640	101 596	1 134 095
Netto	-3 282	-7 774	398	-1 320	391	-705	-12 292

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 83 610 mkr (75 526) en återstående löptid som understiger ett år.² Av beloppet (exklusive räntor) har 4 601 mkr (7 184) en återstående löptid som understiger ett år.³ Av beloppet (exklusive räntor) har 528 573 mkr (498 032) en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsolymer avser kolumn "Specified löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller räntelöden vilket innebär att balansräkningen inte är avstämd mot moderbolagets balansräkning.

NOTER | MODERBOLAGET

M3 Räntenetto

mkr	2021	2020
Räntesintäckter		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	3 562	5 368
Utlåning till allmänheten	10 586	12 215
Betalningsbara statsskuldförbindelser m.m.	305	291
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	279	381
Derivatinstrument	-1 245	1 172
Övriga räntesintäckter	835	811
Summa	14 322	20 238
Avgår räntesintäckter redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-3	-112
Summa räntesintäckter	14 325	20 300
varav räntesintäckter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	13 208	17 293
Leasingintäckter	1 800	1 983
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-109	-567
In- och upplåning från allmänheten	-173	-871
Emitterade värdepapper	-2 992	-7 239
Derivatinstrument	2 245	1 813
Etablerade skulder	-1 099	-1 185
Stabila avgifter	-632	-762
Övriga räntekostnader	-366	-347
Summa	-3 128	-9 108
Avgår räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-38	84
Summa räntekostnader	-3 088	-9 342
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	-2 195	-7 610
Räntenetto	13 136	13 071
Avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal ¹	-1 751	-1 795
Samtat räntenetto inklusive avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal	11 385	11 276

¹ Redovisas i posten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar.

På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som säkras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntesintäckter och räntekostnader.

M4 Erhållna utdelningar

mkr	2021	2020
Utdelningar på aktier och andelar	60	76
Utdelningar från intressalförslag	-	-
Utdelningar från koncernföretag ¹	866	726
Erhållna koncernbidrag	16 685	15 135
Summa	17 611	16 937

¹ Varav 515 mkr (540) avser utdelning på kärnprimärkapitalen som Stadshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.

M5 Provisionsnetto

mkr	2021	2020
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	634	645
Fonder	274	926
Depå och övrig kapitalförvaltning	1 030	888
Rådgivning	199	184
Betalningar	2 840	2 915
Ut- och inlåning	917	905
Garantier	284	335
Övrigt	699	687
Summa provisionsintäckter	6 897	7 485
Värdepapper	-242	-265
Betalningar	-1 342	-1 464
Övrigt	-63	-64
Summa provisionskostnader	-1 647	-1 793
Provisionsnetto	5 250	5 692

Provisionsintäckter avser intäckter från avtal med kunder. Intäckter från Courtage och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, det vill säga vid en viss tidpunkt. I Betalningar ingår kortutgivning och kortinlösen. Intäckter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Förstärkningar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, det vill säga linjärt över tid.

NOTER | MODERBOLAGET

M6 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2021	2020
Upplupet anskaffningsvärde	108	106
varav lån	108	106
varav räntebärande värdepapper	-	0
varav emitterade värdepapper	-	0
Verkligt värde via övrigt totalresultat	0	-1
varav förvärtade kreditförluster	0	-1
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdoptionen	-900	304
varav räntebärande värdepapper	-900	304
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt inköpsalternativ	2 578	1 427
Säkeringsredovisning	22	33
varav nettoresultat skänker av verkligt värde	28	34
varav infattning av i kassaförändringar	-6	-1
Summa	1 808	1 880

M7 Övriga rörelseintäkter

mkr	2021	2020
Hyrinntäkter	21	26
Andra rörelseintäkter ¹	3 555	2 764
Summa	3 576	2 790

¹ Svenska Handelsbanken AB sålde kortlösenverksamheten till Worldline den 18 oktober 2021. Under 2021 påverkar försäljningen andra rörelseintäkter med 57,4 mkr. I posten ingår under 2020 och 2021 ersättning för tjänster som moderbolaget sålt till dotterbolag.

M8 Personalkostnader

mkr	2021	2020
Löner och arvoden	-6 824	-6 953
Socialavgifter	-1 774	-1 809
Pensionskostnader ¹	-1 545	-1 235
Avsättning till resultatanslagssystem	-38	-213
Andra personalkostnader	-61	-1 469
Summa	-10 242	-11 680

¹ Uppgift om pensionskostnaderna visas i not M39.

Löner och arvoden mkr	2021	2020
Ledande befattningshavare ² , 18 personer (20)	-66	-72
Övriga	-6 758	-6 891
Summa	-6 824	-6 963

² Ledande befattningshavare i inklusive styrelse.

Könsfördelning %	2021		2020	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Styrelse	50	50	50	50
Ledande befattningshavare exklusive styrelse	70	30	80	20

Modersföretag	2021	Män	Kvinnor	2020	Män	Kvinnor
Sverige	6 564	3 146	3 418	6 903	3 289	3 614
Storbritannien	0	0	0	0	0	0
Norge	793	411	382	779	414	365
Danmark	627	321	306	639	327	312
Finland	558	250	308	557	245	312
Nederländerna	325	201	124	315	198	117
USA	50	31	19	53	34	19
Kina	16	8	8	59	23	36
Luxemburg	47	25	22	45	24	21
Singapore	5	1	4	23	7	16
Tyskland	21	9	12	34	17	17
Polen	16	4	12	24	9	15
Övriga länder	8	2	6	21	5	16
Summa	9 090	4 409	4 681	9 462	4 692	4 770

Information om principer avseende ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget finns i not K8.

NOTER | MODERBOLAGET

M9 Övriga administrationskostnader

mkr	2021	2020
Fastigheter och lokaler	-1 219	-1 240
Bolagens datakostnader	-2 729	-2 086
Kommunikation	-209	-235
Resor och marknadsföring	-97	-110
Köpta tjänster	-1 150	-1 202
Materialanskaffning	-125	-142
Andra omkostnader	-473	-669
Summa	-6 002	-6 684
Varav kostnader avseende operationell leasing		
Leasingavgift	-563	-562
Varibel avgift	-42	-97
Summa	-605	-660

Operationell leasing är främst hänförlig till förväksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning. Hyreskostnader avseende lokaler har normalt en variabel avgift knuten till inflation och fastighetsvärd.

Avtalade, ej uppgångna, framtida operationella leasingavgifter fördelade på förfallotidpunkter mkr	2021	2020
Inom 1 år	-723	-970
Mellan 1 och 5 år	-2 413	-3 270
Senare än 5 år	-2 546	-3 375
Summa	-5 682	-7 615

Enskättning till revisorer och revisionsbolag	Ernst & Young AB		PricewaterhouseCoopers AB	
mkr	2021	2020	2021	2020
Revisionsuppdraget	-6	-8	-3	-4
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	0	-	0	-
Skatterådgivning	0	0	-	-
Övriga tjänster	-	0	-	-

M10 Kreditförluster

mkr	2021	2020
Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen		
Årets reservering Stag 3	-366	-699
Stag 3 reservering tidigare år som återförts	262	526
Summa förväntade kreditförluster i Stag 3	-104	-173
Årets nettoreservering Stag 2	46	-237
Årets nettoreservering Stag 1	8	-23
Summa förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	54	-260
Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen	-50	-433
Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen		
Årets nettoreservering Stag 3	29	-20
Årets nettoreservering Stag 2	-6	-62
Årets nettoreservering Stag 1	-15	-15
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	8	-97
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster ¹	-331	-1 648
Utryttad andel av tidigare reserverat i Stag 3	284	1 622
Summa bortskrivningar	-47	-26
Återvinningar	34	79
Kreditförluster, netto	-56	-477
varav utövning till allmänheten	-67	-378

¹ Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 130 mkr (223) av återbetalning.

NOTER | MODERBOLAGET

MIO FORTS

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2021

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 ¹	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	338 736	-	-	0	-	-
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	307	-	-	-	-	-
Utlåning till kreditinstitut	986 562	10	-	-1	-3	-
Utlåning till allmänheten	579 320	30 390	4 407	-169	-431	-1 665
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 016	-	-	-2	-	-
Summa	1 914 031	30 400	4 407	-172	-434	-1 665
Poster utanför balansräkningen						
Eventualförpliktelser	573 613	7 399	297	-67	-118	-92
varav ansvärsförbindelser	85 058	1 314	130	-9	-10	-39
varav åtaganden	487 555	6 085	167	-58	-108	-53
Summa	573 613	7 399	297	-67	-118	-92

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2020

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 ¹	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	297 362	-	-	0	-	-
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	1 163	-	-	-	-	-
Utlåning till kreditinstitut	953 640	17	-	-1	-6	-
Utlåning till allmänheten	525 450	38 376	4 751	-172	-464	-1 796
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	7 964	-	-	-2	-	-
Summa	1 785 579	38 393	4 751	-175	-470	-1 796
Poster utanför balansräkningen						
Eventualförpliktelser	409 604	8 890	440	-51	-110	-119
varav ansvärsförbindelser	97 320	1 970	184	-10	-17	-70
varav åtaganden	312 284	6 920	256	-41	-93	-49
Summa	409 604	8 890	440	-51	-110	-119

¹ Bruttovolymin i Stag 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 1 459 mkr (1 173).

Mycketal kreditförluster		
Utlåning till allmänheten	2021	2020
Kreditförlustnivåack, %	0,01	0,06
Total reserveringsgrad, %	0,37	0,43
Reserveringsgrad Stag 1, %	0,03	0,03
Reserveringsgrad Stag 2, %	1,42	1,21
Reserveringsgrad Stag 3, %	37,78	37,80
Andel utlåning i Stag 3, %	0,45	0,52

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Forts

FÖRÄNDRINGSANALYSER

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-175	-470	-1 796	-2 441	-162	-250	-3 325	-3 737
Bortbokningar	22	41	116	179	20	48	95	163
Bortskrivningar	0	1	283	284	0	1	1 621	1 622
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-19	80	-91	-30	-115	-99	53	-161
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-4	-10	-52	-66	8	12	61	81
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-29	-10	-11	-50	-21	-8	-7	-36
Förflyttning till Steg 1	-13	17	1	5	-8	11	3	6
Förflyttning till Steg 2	21	-144	5	-118	46	-283	3	-234
Förflyttning till Steg 3	25	61	-120	-34	57	98	-300	-145
Reserv vid årets utgång	-172	-434	-1 885	-2 271	-176	-470	-1 798	-2 441

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-172	-464	-1 796	-2 432	-159	-247	-3 325	-3 731
Bortbokningar	22	41	116	179	19	46	95	160
Bortskrivningar	0	1	283	284	0	1	1 621	1 622
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-19	76	-91	-34	-114	-100	53	-161
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-4	-9	-52	-65	8	12	61	81
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-29	-10	-11	-50	-20	-8	-7	-35
Förflyttning till Steg 1	-13	17	1	5	-8	11	3	6
Förflyttning till Steg 2	21	-144	5	-118	45	-277	3	-229
Förflyttning till Steg 3	25	61	-120	-34	57	98	-300	-145
Reserv vid årets utgång	-169	-431	-1 885	-2 265	-172	-464	-1 798	-2 432

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-51	-110	-119	-280	-38	-50	-106	-194
Bortbokningar	6	17	-	23	4	7	-	11
Bortskrivningar	-	-	-	-	0	0	-	0
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	4	14	27	45	-18	-24	-13	-55
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-6	-23	-	-29	1	2	-	3
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-20	-5	-	-25	-7	-1	-	-8
Förflyttning till Steg 1	-5	11	-	6	-2	3	-	1
Förflyttning till Steg 2	4	-26	-	-22	7	-53	-	-46
Förflyttning till Steg 3	1	4	-	5	2	6	-	8
Reserv vid årets utgång	-67	-118	-92	-277	-61	-110	-119	-280

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet steg per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modellriskparametrar samt valutaeffekt m m beräknas innan eventuell förflyttning av nettobaloppet mellan steg. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stegen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beaktats. Förflyttningsraderna anger effekten på reserven i angivet steg.

NOTER | MODERBOLAGET

MIO FORTS

Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Volym vid årets ingång	1 785 570	38 393	4 751	1 828 723	1 735 606	21 561	6 462	1 763 719
Bortbokningar	-70 662	-4 993	-381	-75 976	-108 135	-4 592	-282	-113 009
Bortskrivningar	-3	-6	-317	-326	-3	-7	-1 636	-1 646
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-64 840	-8 838	-631	-74 309	169 943	-886	-651	168 406
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	45 491	1 324	218	47 033	-55 998	-1 214	-198	-57 410
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	222 172	1 467	54	223 693	66 245	2 395	23	68 663
Förflyttning till Stag 1	14 896	-14 878	-18	-	10 469	-10 455	-14	-
Förflyttning till Stag 2	-18 403	18 427	-24	-	-32 222	32 283	-61	-
Förflyttning till Stag 3	-199	-556	755	-	-416	-692	1 108	-
Volym vid årets utgång	1 914 031	30 400	4 407	1 948 838	1 785 570	38 393	4 761	1 828 723

Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Volym vid årets ingång	525 450	38 376	4 751	568 577	595 076	21 368	6 462	623 906
Bortbokningar	-65 607	-4 924	-381	-70 912	-68 578	-4 442	-274	-73 294
Bortskrivningar	-3	-6	-317	-326	-3	-7	-1 636	-1 646
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	21 846	-9 460	-631	11 755	-19 898	805	-658	-19 751
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	13 378	1 149	218	14 745	-22 344	-1 215	-198	-23 757
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	88 757	1 467	54	90 278	60 704	2 392	23	63 119
Förflyttning till Stag 1	14 101	-14 083	-18	-	10 469	-10 455	-14	-
Förflyttning till Stag 2	-18 403	18 427	-24	-	-30 560	30 621	-61	-
Förflyttning till Stag 3	-199	-556	755	-	-416	-691	1 107	-
Volym vid årets utgång	579 320	30 390	4 407	614 117	525 450	38 376	4 761	568 577

Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2021				2020			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Volym vid årets ingång	409 604	8 890	440	418 934	435 921	7 921	685	444 527
Bortbokningar	-26 769	-1 576	-48	-28 393	-26 575	-1 346	-25	-27 946
Bortskrivningar	0	0	-5	-5	0	0	-2	-2
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	80 419	-4 622	-146	75 651	-17 412	1 215	-298	-16 495
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	42 961	9 387	5	52 353	-5 344	-230	-5	-5 569
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	62 069	699	1	62 769	24 185	233	1	24 419
Förflyttning till Stag 1	11 691	-11 691	0	-	6 885	-6 882	-3	-
Förflyttning till Stag 2	-6 346	6 348	-2	-	-8 034	8 039	-5	-
Förflyttning till Stag 3	-16	-36	52	-	-22	-70	92	-
Volym vid årets utgång	573 613	7 399	297	581 309	409 604	8 890	440	418 934

Förändringsanalysen avseende bruttovolymer visar, i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet stag. Posterna för förflyttning mellan stagen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet stag vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det stag som var gällande vid periodens ingång.

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Forts

KÄNSLIGHETSANALYSER

Känslighetsanalys makrosценарier

Beräkningen av förväntade kreditförluster tillämpar framåtblickande information i form av makrosценарier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre сценарier. Prognosen i det neutrala сценарiet vägs med 70% (70), medan en uppgång i ekonomin vägs med 15% (15) och en nedgång i ekonomin med 15% (15). Dessa har legat till grund för beräkningar av förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december 2021.

Makroekonomiska riskfaktorer	Negativt сценарio			Neutralt сценарio			Positivt сценарio		
	2021	2022	2023	2021	2022	2023	2021	2022	2023
BNP-tillväxt									
Sverige	4,38	-0,55	1,06	4,38	3,85	2,06	4,38	6,85	3,56
Norge	3,92	-0,28	0,06	3,92	3,85	1,06	3,92	5,86	2,56
Danmark	4,18	-1,65	0,72	4,18	2,64	1,72	4,18	5,65	3,22
Finland	3,51	-1,39	0,80	3,51	3,00	1,80	3,51	6,01	3,30
Euro-området	5,18	0,00	0,91	5,18	4,39	1,91	5,18	7,44	3,41
USA	5,52	0,04	1,57	5,52	4,22	2,57	5,52	7,66	4,17
Arbetslöshet									
Sverige	8,81	9,88	10,41	8,81	7,56	7,16	8,81	6,58	6,36
Norge	3,13	4,52	5,33	3,13	2,30	2,23	3,13	1,90	1,93
Danmark	5,10	6,52	7,46	5,10	4,19	4,06	5,10	3,42	3,36
Finland	7,78	9,24	9,90	7,78	7,00	6,50	7,78	5,94	5,70
Euro-området	7,87	10,24	10,90	7,87	7,70	7,50	7,87	6,93	6,90
USA	5,46	6,72	7,05	5,46	4,08	3,55	5,46	3,41	2,95
Styrränta									
Sverige	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,25	0,50
Norge	0,50	0,00	0,00	0,50	1,25	1,50	0,50	1,75	2,00
Danmark	0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	0,30
Finland	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,25
Euro-området	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,00	0,25
USA	0,13	0,13	0,13	0,13	0,13	0,63	0,13	0,38	1,13
Fastighetsprisutveckling, kommersiella fastigheter									
Sverige	11,14	-12,68	-6,97	11,14	9,10	6,30	11,14	16,99	15,62
Norge	2,52	-13,68	-8,53	2,52	4,07	-0,11	2,52	8,92	6,38
Danmark	6,28	-9,70	-6,55	6,28	4,69	2,62	6,28	9,28	8,81
Finland	6,04	-12,66	-5,35	6,04	7,62	5,65	6,04	14,81	13,62
Euro-området	0,71	-14,46	-6,82	0,71	4,25	3,02	0,71	9,74	10,48
USA	5,52	4,22	2,57	-2,86	1,36	-4,48	5,52	4,22	2,57
Fastighetsprisutveckling, bostadsfastigheter									
Sverige	17,27	-4,98	0,83	17,27	5,01	1,73	17,27	11,11	2,15
Norge	7,17	-5,30	4,44	9,97	2,99	1,48	12,47	8,35	2,62
Danmark	10,84	-3,40	-0,14	13,00	3,57	1,54	14,17	8,70	3,15
Finland	0,91	0,18	-0,29	1,42	3,50	2,50	4,71	3,80	1,63
Euro-området	-4,42	3,56	2,95	3,56	2,63	2,40	6,35	2,14	2,10

Tabeln nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december, om det negativa respektive positiva сценарiet tilldelats sannolikheter om 100%.

%	2021		2020	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt сценарio	Procentuell minskning av reserv vid positivt сценарio	Procentuell ökning av reserv vid negativt сценарio	Procentuell minskning av reserv vid positivt сценарio
Sverige	22,05	-13,35	15,50	-8,97
Norge	12,21	-6,90	11,61	-6,32
Danmark	14,63	-8,31	11,07	-6,35
Finland	10,73	-6,29	10,75	-6,07
Nederländerna	3,48	-1,80	2,75	-1,54
USA	50,58	-32,07	41,52	-24,50
Övriga länder	5,88	-2,76	14,29	-7,16

NOTER | MODERBOLAGET

MIO FORTS

Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk

Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk basisk-nal vid rapportering och första redovisningsstillfället var satt till 0,5 enheter lägre respektive högre än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överförs från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk. För utförligare information, se not K2 av ante Kreditrisk.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, %			
Gränsvärde		2021	2020
2		3,75%	3,80%
2,5		0,00%	0,00%
3		-2,93%	-2,23%

KREDITEXPONERINGAR SOM ÄR FÖREMÅL FÖR NEDSKRIVNINGSPRÖVNING PER PD-INTERVALL

Poster i balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2021			2020		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	1 778 879	5 861	-	1 607 252	12 160	-
0,15 till <0,25	55 679	1 264	-	77 581	2 086	-
0,25 till <0,50	42 963	4 106	-	49 972	6 938	-
0,50 till <0,75	12 432	738	-	19 043	2 258	-
0,75 till <2,50	20 475	12 755	-	27 016	9 072	-
2,50 till <10,00	3 353	4 919	-	4 390	4 597	-
10,00 till <100	250	758	-	335	1 273	-
100 (fullsammanlag)	-	-	4 407	-	-	4 751
Summa	1 914 031	30 400	4 407	1 786 570	38 303	4 751

Utlåning till allmänheten fördelat på pd-intervaller	2021			2020		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	487 720	5 960	-	472 973	12 165	-
0,15 till <0,25	37 794	1 301	-	22 890	2 085	-
0,25 till <0,50	29 162	3 427	-	14 705	6 935	-
0,50 till <0,75	8 435	760	-	5 604	2 257	-
0,75 till <2,50	13 763	13 090	-	7 950	9 058	-
2,50 till <10,00	2 276	5 062	-	1 299	4 594	-
10,00 till <100	170	781	-	99	1 272	-
100 (fullsammanlag)	-	-	4 407	-	-	4 751
Summa	579 320	30 390	4 407	525 480	38 376	4 751

Poster utanför balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2021			2020		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	510 314	2 635	-	352 268	2 890	-
0,15 till <0,25	23 326	729	-	20 207	841	-
0,25 till <0,50	20 620	343	-	15 068	1 531	-
0,50 till <0,75	9 072	890	-	5 586	781	-
0,75 till <2,50	9 260	966	-	15 434	1 358	-
2,50 till <10,00	974	1 614	-	1 017	1 154	-
10,00 till <100	47	213	-	24	335	-
100 (fullsammanlag)	-	-	297	-	-	440
Summa	573 613	7 390	297	408 604	8 890	440

¹ Avser 12-månaders pd-värde vid rapporteringstillfället.

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran			
mkr		2021	2020
Fastigheter		-	-
Lös egendom		0	2
Aktier och andelar		0	0
Redovisat värde		0	2

NOTER | MODERBOLAGET

M11 Bokslutsdispositioner

mkr	2021	2020
Förändring av överavskrivning inventarer och leasingobjekt	195	650
Förändring av överavskrivning inkrätsgoodwill	32	93
Summa	227	743

M12 Utlåning till kreditinstitut

mkr	2021	2020
Utlåning i svenska kronor		
Banker	903	1 490
Övriga kreditinstitut ¹	709 033	649 050
Summa	709 936	650 540
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	13 312	35 925
Övriga kreditinstitut	253 653	257 191
Summa	276 965	393 117
Reservering för förväntade kreditförluster	- 4	- 7
Summa utlåning till kreditinstitut	986 897	953 650
varav upplupna ränteförskott	967	859
varav omvärldsrapor	20 204	2 776
varav efterställda	39 041	28 304
Medelvolymer		
mkr	2021	2020
Utlåning till kreditinstitut i svenska kronor	599 441	630 019
Utlåning till kreditinstitut i utländsk valuta	405 878	339 627
Summa	1 005 319	969 646
varav omvärldsrapor	20 892	10 486

¹ Varav 21 812 mkr (21 335) avser köprådmärkaktiva lån som Stadshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.

M13 Utlåning till allmänheten

mkr	2021	2020
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	28 466	28 799
Företag	142 487	132 242
Riksgälden	2 173	474
Summa	173 126	161 515
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	116 213	108 223
Företag	324 778	298 838
Riksgälden	-	-
Summa	440 991	407 061
Reservering för förväntade kreditförluster	- 2 265	- 2 431
Summa utlåning till allmänheten	611 862	568 145
varav upplupna ränteförskott	1 778	760
varav omvärldsrapor	13 649	11 627
varav efterställda	22 594	1 132
Medelvolymer, exkl Riksgälden		
mkr	2021	2020
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	170 850	188 619
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	415 348	423 692
Summa	586 198	612 311
varav omvärldsrapor	13 690	18 349

M14 Räntebärande värdepapper

mkr	2021			2020		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	100 538	100 538	103 881	90 115	90 115	97 152
varav upplupna ränteflöden	760			795		
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	34 323	34 323	30 601	46 533	46 533	43 351
varav upplupna ränteflöden	785			785		
Summa	134 861	134 861	134 482	146 848	146 848	140 503
varav säkerställda	-	-		4	4	

Räntebärande värdepapper fördelade på emittent						
mkr	2021			2020		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Stat	100 538	100 538	103 881	90 115	90 115	97 152
Kreditinstitut	6 590	6 590	6 118	9 091	9 091	8 656
Bostadsinstitut	21 522	21 522	20 137	31 317	31 317	28 819
Övrigt	6 211	6 211	4 346	6 125	6 125	5 876
Summa	134 861	134 861	134 482	146 848	146 848	140 503

Räntebärande värdepapper som är föremål för nedskrivningsprövning				2021	2020
mkr					
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.					
Verkligt värde via övrigt totalresultat				397	401
Upplupet anskaffningsvärde				-	762
Summa bruttovolymer				397	1 163
Reservering för förväntade kreditförluster avseende instrument värderade till upplupet anskaffningsvärde				-	-
Summa redovisat värde				397	1 163
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdeserven i eget kapital				-	-
Obligationer och andra räntebärande värdepapper					
Verkligt värde via övrigt totalresultat				9 016	7 964
Summa redovisat värde				9 016	7 964
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdeserven i eget kapital				-2	-2
Modervolymer					
mkr				2021	2020
Räntebärande värdepapper				155 399	167 504

M15 Aktier och andelar

mkr	2021	2020
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	12 674	13 614
Verkligt värde via övrigt totalresultat	807	699
Summa aktier och andelar	13 481	14 313

Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat				2021	2020
mkr					
BEC				329	295
Visa Inc				170	155
WPPS A/S				62	26
Övriga innehav				246	223
Summa				807	699

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehas i handelsaffys. Under året erhöll Handelsbanken endast utdelningar för aktier som fortfarande ligger vid rapporteringsperiodens slut. Utdelningarna uppgår till 2 mkr (53) och redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelningsintäkter. Under året har Banken även fått innehav i Visa Bweden Ekonomisk Förening samt ett antal bostadsrättsföreningar om totalt 1 mkr (1 688). Skuldet till avyttringar var i huvudsak omlokeringar, kontorsnedläggningar samt att aktierna justerats i förhållande till andelarna.

För information om realiserat och realiserat resultat för eget kapital instrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Förändring av eget kapital Moderbolag.

NOTER | MODERBOLAGET

M16 Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures mkr	2021	2020
Koncernföretag, icke-noterade	71 608	72 749
Intresseföretag, icke-noterade	213	213
Joint ventures, icke-noterade	146	95
Summa	71 967	73 067

Koncernföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2021	2020
Handelsbanken Finans AB ¹	556053-0841	Stockholm	1 550 000	100	10 492	11 672
Stadshypotek AB ¹	556459-6715	Stockholm	162 000	100	26 870	26 870
Handelsbanken Fondbolagetförvaltning AB	556070-0683	Stockholm	10 000	100	1	1
Xact Kapitalförvaltning AB	556697-8140	Stockholm		100		
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	Stockholm		100	2	
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S	12590879	Köpenhamn		100	8	
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	Stockholm	100 000	100	6 189	6 189
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	Helsingfors		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	Stockholm		100		
Eceter AB	556693-2311	Stockholm	50 000	100	1 750	1 750
Handelsbanken plc ¹	11305395	London	5 050 401	100	24 087	24 087
Handelsbanken Wealth & Asset Management Limited	04132340	London	1 319 206	100		
Optimix Varmogensbeheer N.V.	33194359	Amsterdam	10 209	100	655	642
AddValue Fund Management BV	19196768	Amsterdam		80		
Övriga dotterbolag						
EPN Ekonomikanten AB	556690-1608	Stockholm	100	100	0	0
Björnsområlskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	Hillared	2 700 000	100	128	128
Forva AB	945612141	Oslo	4 000 000	100	1	1
AB Handel och Industri	556013-5336	Stockholm	100 000	100	12	12
Handelsbanken Forsikringsformidling A/S	42767808	Köpenhamn		100	1	
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	New York	1 000	100	30	30
Handelsbanken Raholus Oy	0112308-8	Helsingfors	37 026 871	100	1 276	1 276
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	Stockholm	1 500	100	31	31
Lokalbolag A/S	78488018	Hillared	540 000	71,52	1	1
Rådshusplads 4 AB	910508423	Bergen	40 000	100	0	0
Svenska Re S.A.	ROC Lux B-32053	Luxemburg	20 000	100	35	35
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	Stockholm	50	100	39	24
Summa					71 608	72 749

Förklaringen över koncernföretag omfattar direktägda dotterbolag samt större dotterbolag till dessa.

¹ Kreditinstitut.

Intresseföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2021	2020
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	67	67
BGC Holding AB	556607-0993	Stockholm	25 542	25,54	81	80
Dyson Group plc	00163096	Sheffield	74 733 672	27,00	21	21
Finansiell ID-teknik BID AB	556690-4928	Stockholm	12 735	28,30	24	24
Getawish AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	21	21
UBE Intressenär AB	559161-9464	Stockholm	2 448	24,48	0	0
Summa					214	213

Joint ventures	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2021	2020
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-0610	Stockholm	10 000	16,67	88	63
Invidam AB	559210-0779	Stockholm	10 000	16,67	58	32
Summa					146	95

M17 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2021	2020	2021	2020	2021	2020
Derivat för handel									
Ränteränteraderade kontrakt									
Optioner	8 960	13 239	2 273	24 472	30 274	51	9	52	16
FRAs/terminer	388 452	153 608	-	542 060	318 439	76	52	62	38
Swappar	522 714	1 594 020	440 270	2 557 004	2 156 167	21 064	29 544	21 468	30 403
Valutaränteraderade kontrakt									
Optioner	20 614	36	22	20 672	24 729	69	118	131	195
Terminar	76 491	5 988	395	82 874	69 687	916	920	687	1 344
Swappar	616 509	152 605	50 321	819 435	770 784	15 066	11 226	9 622	22 882
Aktieränteraderade kontrakt									
Optioner	3 126	560	84	3 770	5 194	375	255	189	136
Terminar	580	-	-	580	855	9	15	11	16
Swappar	11 561	3 122	-	14 683	16 150	341	137	723	1 559
Råvaruränteraderade kontrakt									
Optioner	341	-	14	355	671	41	22	55	60
Terminar	835	100	-	935	3 654	111	389	237	312
Kreditränteraderade kontrakt									
Swappar	84	4 751	18	4 853	6 500	294	229	169	158
Summa	1 680 267	1 928 029	493 307	4 071 893	3 403 104	38 413	42 916	33 406	57 129
Derivat för marknadsvärdesberegningar									
Ränteränteraderade kontrakt									
Swappar	60 642	262 806	60 045	383 493	257 078	2 836	1 704	1610	607
Valutaränteraderade kontrakt									
Swappar	-	566	896	1 462	1 377	156	101	-	-
Summa	60 642	263 372	60 941	384 955	258 455	2 992	1 805	1 610	607
Derivat för kassaflödesberegningar									
Ränteränteraderade kontrakt									
Swappar	62 118	78 997	14 583	155 698	217 166	1 935	4 234	940	2 556
Valutaränteraderade kontrakt									
Swappar	63 602	86 355	25 095	176 142	176 369	7 641	9 420	2 133	5 528
Summa	125 720	165 352	40 678	331 840	393 535	9 576	13 654	3 073	8 084
Summa derivatinstrument	1 836 710	2 356 753	595 016	4 788 488	4 055 094	50 981	58 375	38 089	65 820
varav börshandlade derivat				182 858	108 653	1 30	332	804	756
varav OTC-derivat clearade via CCP				2 982 430	2 345 982	1 8731	22 987	15 867	18 717
varav OTC-derivat ej clearade via CCP				1 623 200	1 700 459	32 120	35 056	21 418	46 347
Kvittade belopp				-2 661 996	-2 110 391	-20 035	-25 344	-17 056	-21 046
Nettobelopp				2 096 602	1 944 703	30 946	33 031	21 033	44 774
Valutafördelning av marknadsvärden									
SEK						-217 533	77 516	-44 025	247 879
USD						300 159	-80 871	-7 642	-381 625
EUR						71 169	95 348	-62 235	-36 368
Övriga						-102 814	-33 618	151 991	235 994
Summa						50 981	58 376	38 089	65 820

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto (jämför bland clearade kontrakt). Dessa kontrakt netto redovisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan dotvärde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivatets löptid. Vid årsavslut uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 489 mkr (538).

NOTER | MODERBOLAGET

M18 Särkringsredovisning

Säkringsinstrument i kassaflödessäkring		2021			2020		
mkr		Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
Ränterisk							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta							
Nominellt belopp		18 875	37 280	13 677	13 181	50 160	16 070
Gemensnittlig fast ränta %		0,63	0,58	0,76	0,48	0,58	0,73
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta							
Nominellt belopp		43 243	41 717	906	55 335	81 602	818
Gemensnittlig fast ränta %		1,53	1,87	3,98	3,53	1,66	3,98
Valutakursrisk							
Valutansalerade derivat EUR/NOK							
Nominellt belopp		10 899	30 223	14 069	4 344	29 590	7 435
Gemensnittlig valutakurs EUR/NOK		0,1187	0,1038	0,0970	0,1310	0,1110	0,0970
Valutansalerade derivat USD/GBP							
Nominellt belopp		-	6 942	917	11 011	6 289	831
Gemensnittlig valutakurs USD/GBP		-	1,2930	1,3157	1,3860	1,2930	1,3150
Valutansalerade derivat USD/NOK							
Nominellt belopp		14 409	22 140	-	40 197	12 901	-
Gemensnittlig valutakurs USD/NOK		0,1178	0,1137	-	0,1170	0,1260	-
Valutansalerade derivat USD/SEK							
Nominellt belopp		24 446	2 265	9 057	9 206	2 153	8 613
Gemensnittlig valutakurs USD/SEK		0,1187	0,1105	0,1105	0,1170	0,1105	0,1105
Valutansalerade derivat AUD/USD							
Nominellt belopp		-	5 923	-	3 034	5 492	-
Gemensnittlig valutakurs AUD/USD		-	1,3770	-	1,3930	1,3770	-
Valutansalerade derivat övriga valutor							
Nominellt belopp		13 938	18 862	2 052	11 573	23 700	-
Summa		128 810	168 382	40 678	147 881	211 887	33 787

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödessäkring 2021							
mkr	Nominellt belopp säkrings- instrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkrings- instrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkrings- reserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	69 832	247	940	1 852	1 858	-6	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	85 866	1 688	-	-1 939	-1 939	0	59
Valutakursrisk ¹							
Valutansalerade derivat EUR/DKK	2 051	3	-	8	8	0	-
Valutansalerade derivat EUR/GBP	6 514	606	-	34	32	2	-
Valutansalerade derivat EUR/NOK	55 191	2 750	491	1	3	-2	-
Valutansalerade derivat EUR/SEK	12 797	376	408	32	32	-	-
Valutansalerade derivat USD/DKK	6 919	330	87	60	60	0	-
Valutansalerade derivat USD/GBP	7 859	-	339	8	8	-	-
Valutansalerade derivat USD/NOK	36 549	1 303	721	47	47	0	-
Valutansalerade derivat USD/SEK	35 768	1 798	-	292	292	0	-
Valutansalerade derivat AUD/USD	5 923	50	-	-77	-77	-	3
Valutansalerade derivat övriga valutor	6 571	430	87	-15	-15	0	1
Summa	331 840	9 678	3 073	303	300	-6	63

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödessäkring 2020							
mkr	Nominellt belopp säkrings- instrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkrings- instrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkrings- reserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	79 411	1	2 556	-941	-941	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	137 755	4 233	-	-461	-461	-	96
Valutakursrisk ¹							
Valutansalerade derivat EUR/DKK	3 516	-	9	-33	-33	-	-
Valutansalerade derivat EUR/GBP	9 628	1 123	-	81	81	-	-
Valutansalerade derivat EUR/NOK	41 369	5 559	16	240	237	3	-
Valutansalerade derivat EUR/SEK	12 664	256	586	-26	-26	-	-
Valutansalerade derivat USD/GBP	18 131	271	448	-60	-57	-3	-
Valutansalerade derivat USD/NOK	53 098	1 142	1 903	-52	-52	0	-
Valutansalerade derivat USD/SEK	19 972	-	1 838	-349	-349	0	-
Valutansalerade derivat AUD/USD	8 526	621	-	45	45	-	-5
Valutansalerade derivat övriga valutor	9 465	448	728	12	13	-1	43
Summa	308 835	13 654	8 084	-1 544	-1 543	-1	134

¹ Vid analys utförts att särkringsredovisningscykler baseras omvandlingen till moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor, genom att nominella derivat värden imputeras i särkringsrelationerna. De imputerade derivat värden är inte inkluderade i de nominella volymerna i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende särkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Omklassificering till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och avser kassaflödessäkring som avslutats i förflutet.

NOTER | MODERBOLAGET

M18 Forts

Säkrade poster i kassafördörelsen	2021			2020		
	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkrings- reserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkrings- redovisning inte längre tillämpas	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkrings- reserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkrings- redovisning inte längre tillämpas
mk						
Ränterisk						
Emittentavärdpapper till rörlig ränta	-1 858	-553	-	941	-2 435	-
Utlåning till allmänheten till rörlig ränta	1 939	1 777	454	461	3 759	543
Valutakursrisk						
Emittentavärdpapper EUR samt inlånen DKK, GBP och NOK	-75	-172	-	-150	-234	-
Emittentavärdpapper USD samt inlånen DKK, EUR, GBP och NOK	-407	-10	88	485	-416	86
Emittentavärdpapper AUD	77	48	-1	-46	128	2
Emittentavärdpapper och inlånen övriga valutor	15	-54	11	-148	-51	15
Summa	-909	1 036	882	1 543	701	646

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde	2021			2020		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
mk						
Ränterisk						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	-	-	-	31 706	148 864	1 626
Gjennomsnittlig fast ränta %	-	-	-	0,06	0,03	0,28
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	904	77 952	32 753	-	35 214	31 652
Gjennomsnittlig fast ränta %	0,22	0,97	1,65	-	1,31	1,67
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	-	566	806	-	533	843
Gjennomsnittlig fast ränta %	-	3,26	3,69	-	3,25	3,69
Summa	904	78 518	33 649	31 706	184 611	34 193

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2021		Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
mk	Nominellt belopp säkringsinstrument	Tillgångar	Skulder		
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	-	-	-	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	111 609	836	1 453	-2 323	-16
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 462	156	-	-54	4
Summa	113 071	992	1 453	-2 377	-12
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	271 884	2 000	157	2 285	40
Summa	271 884	2 000	157	2 285	40

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2020		Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
mk	Nominellt belopp säkringsinstrument	Tillgångar	Skulder		
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	182 268	72	442	-222	-8
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	66 866	1 628	146	773	42
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 376	101	-	100	0
Summa	250 510	1 801	588	651	34
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	7 945	4	19	-13	0
Summa	7 945	4	19	-13	0

Redovisat värde av seende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen.
Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

NOTER | MODERBOLAGET

M18 Forts

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2021	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Det upplupna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
mi:						
Ränterisk:						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-		-		-	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		112 116		-1 572	2 965	-
Summa	-	112 116	-	-1 572	2 965	-
Portföljsäkring av verkligt värde¹						
Ränterisk:						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-1 904				-2 245	-
Summa	-1 904				-2 245	-

¹ Den underliggande utlåningsportföljens nominella volym uppgick per 2021-12-31 till 271 259 mi (7 945 mi).

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2020	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Det upplupna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
mi:						
Ränterisk:						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	188 468		329		215	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		60 716		794	-332	-
Summa	188 468	60 716	329	794	-617	-
Portföljsäkring av verkligt värde						
Ränterisk:						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	13				13	-
Summa	13				13	-

M19 Kvittning av finansiella instrument

2021 mi:	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	50 981	41 913	92 894
Kvittade belopp	-20 035	-7 110	-27 145
Redovisat värde i balansräkningen	30 946	34 803	65 749
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-9 294	-	-9 294
Mottagna finansiella säkerheter	-13 322	-34 777	-48 099
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-22 616	-34 777	-57 393
Nettobelopp	8 330	26	8 356
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	38 089	7 323	45 412
Kvittade belopp	-17 056	-7 110	-24 166
Redovisat värde i balansräkningen	21 033	213	21 246
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-9 294	-	-9 294
Ställda finansiella säkerheter	-1 467	-213	-1 680
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-10 761	-213	-10 974
Nettobelopp	10 272	-	10 272

NOTER | MODERBOLAGET

M19 Forts

2020 mkr	Derivat	Återköpsavtal samt utföring av värdepapper	Totalt
Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	58 375	16 946	75 321
Kvittade belopp	-25 344	-2 014	-27 358
Redovisat värde i balansräkningen	33 031	14 932	47 963
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-14 846	-	-14 846
Mottagna finansiella säkerheter	-7 503	-14 923	-22 426
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-22 349	-14 923	-37 272
Nettobelopp	10 682	0	10 681
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	65 820	2 014	67 834
Kvittade belopp	-21 046	-2 014	-23 060
Redovisat värde i balansräkningen	44 774	-	44 774
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-14 846	-	-14 846
Ställda finansiella säkerheter	-13 310	-	-13 310
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-28 156	-	-28 156
Nettobelopp	16 618	-	16 618

M20 Immateriella tillgångar

2021 mkr	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 314	4 686	164	7 164
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	451	-	451
Avyttringar och utrangeringar	-	-171	-	-171
Valutaeffekt	76	0	-	85
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 390	4 975	164	7 529
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2 259	-1 413	-33	-3 705
Avyttringar och utrangeringar	-	171	-	171
Årets avskrivningar enligt plan	-34	-479	-33	-546
Årets nedskrivningar	-	-239	-	-239
Valutaeffekt	-76	-5	-	-81
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-2 369	-1 985	-66	-4 400
Redovisat värde	21	3 010	98	3 129

Under 2021 har utvecklingskostnader uppgående till 1 959 mkr (1 483) kostnadsförts.

2020 mkr	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 434	4 132	0	6 566
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	689	164	853
Avyttringar och utrangeringar	-	-120	-	-120
Valutaeffekt	-120	-15	-	-135
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 314	4 688	164	7 164
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2 277	-1 099	0	-3 376
Avyttringar och utrangeringar	-	120	-	120
Årets avskrivningar enligt plan	-100	-383	-33	-516
Årets nedskrivningar	-	-55	-	-55
Valutaeffekt	118	4	-	122
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-2 269	-1 413	-33	-3 706
Redovisat värde	65	3 273	131	3 469

NOTER | MODERBOLAGET

M21 Fastigheter, inventarier och leasingobjekt

Fastigheter, inventarier och leasingobjekt mkr	2021	2020
Inventarier	454	552
Fastigheter	27	126
Leasingobjekt	6 562	6 701
Egendom övertagen för skyddande av fordran	0	2
Summa	7 043	7 381

I posten Egendom övertagen för skyddande av fordran ingår lösa egendom samt fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertagits för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 0 mkr (0). Realiserade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Värdering av privatbostäder bygger i alltför sällsynt på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdering av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakansgrad, drift- och underhållskosten, dividendavkastningskrav och kalkylränta. I värderingen tas även hänsyn till fastighetsens skick, ålder och alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en oberoende godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer 0 mkr (0) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarkin som beskrivs i not K1. Värdering som har alltför sällsynt inlag av egna antaganden 0 mkr (0) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Realiserade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Årets försäljning av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 0 mkr (2) varav 0 mkr (2) var klassade som nivå 3 innan försäljningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 0 mkr (0) varav 0 mkr (0) klassade som nivå 3.

Inventarier mkr	2021	2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 481	1 527
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	178	252
Avyttringar och utrangeringar	-348	-295
Valutaeffekt	15	-2
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 326	1 481
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-929	-903
Årets avskrivningar enligt plan	-260	-298
Avyttringar och utrangeringar	311	280
Valutaeffekt	6	-8
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-872	-929
Redovisat värde	454	552

Fastigheter mkr	2021	2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	239	238
Ny- och ombyggnation	1	1
Avyttringar och utrangeringar	-186	-
Anskaffningsvärde vid utgången av året	54	239
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-113	-105
Årets avskrivningar enligt plan	-7	-8
Avyttringar och utrangeringar	93	-
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-27	-113
Redovisat värde	27	126

Leasingobjekt mkr	2021	2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	11 606	12 370
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	2 497	2 265
Avyttringar och utrangeringar	-2 923	-2 734
Valutaeffekt m m	185	-295
Anskaffningsvärde vid utgången av året	11 365	11 606
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-4 905	-4 985
Årets avskrivningar enligt plan	-1 759	-1 792
Årets nedskrivningar	-26	-26
Avyttringar och utrangeringar	1 939	1 779
Valutaeffekt	-52	119
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-4 803	-4 905
Redovisat värde	6 562	6 701

NOTER | MODERBOLAGET

M21 Forts

Fördelning av framtida leasingavgifter på förfallotidpunkter mkr	Inom 1 år	Mellan 1 och 5 år	Senare än 5 år	Summa
2021				
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 468	4 702	577	6 747
2020				
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 423	4 980	548	6 951

Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden. Summan av räntanskränsade intäktsförda leasingavgifter uppgår till 148 mkr (168) varav den variabla delen av leasingintäkter uppgår till 131 mkr (150).

M22 Övriga tillgångar

mkr	2021	2020
Fondlikvidfördingar	2 736	3 238
Övrigt	19 551	17 537
Summa	22 287	20 775

M23 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2021	2020
Upplupna intäkter	478	514
Förutbetalda kostnader	709	783
Summa	1 187	1 297

M24 Skulder till kreditinstitut

mkr	2021	2020
Skulder i svenska kronor		
Banker	4 417	36 929
Övriga kreditinstitut	25 273	28 644
Summa	29 690	65 573
Skulder i utländsk valuta		
Banker	69 683	76 198
Övriga kreditinstitut	54 117	51 283
Summa	123 800	127 481
Summa skulder till kreditinstitut	153 490	193 054
varav upplupna räntekostnader	-15	-4
varav repor	-	-
Modervolymer		
mkr	2021	2020
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	83 354	70 633
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	150 151	218 297
Summa	233 505	288 930
varav repor	371	650

M25 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten mkr	2021	2020
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	445 912	410 527
Förstag	379 374	306 855
Riksgälden	1	1
Summa	825 287	717 383
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	87 562	78 842
Förstag	218 756	194 911
Riksgälden	-	-
Summa	306 318	273 753
Summa inlåning från allmänheten	1 131 605	991 136

NOTER | MODERBOLAGET

M25 Forts

Uppblåsing från allmänheten mkr	2021	2020
Uppblåsing i svenska kronor	22 712	17 814
Uppblåsing i utländsk valuta	18 855	12 180
Summa uppbåsing från allmänheten	41 567	29 994
Summa in- och uppbåsing från allmänheten	1 173 172	1 021 130
varav uppbåsing näringskrediter	105	492
varav repor	213	-
Medelvolymer		
mkr	2021	2020
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	762 006	683 465
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	292 043	287 841
Summa	1 054 049	971 306
Uppblåsing från allmänheten		
Uppblåsing från allmänheten i svenska kronor	54 672	31 257
Uppblåsing från allmänheten i utländsk valuta	150 200	93 140
Summa	205 872	124 406
varav repor	19 209	6 425

M26 Emitterade värdepapper

mkr	2021		2020	
	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	567	489	391	423
varav verkligt värde obiljansfritt	567	489	391	423
Certifikat i utländsk valuta	477 335	477 085	441 687	440 659
varav uppbåsing enskaffningsvärde	476 221	475 976	439 863	438 565
varav ingått skattning av verkligt värde	905	906	-	-
varav verkligt värde obiljansfritt	1 114	1 109	1 824	1 094
Summa	477 902	477 574	442 078	441 082
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	3 903	3 838	5 217	5 543
varav uppbåsing enskaffningsvärde	3 903	3 838	5 217	5 543
Obligationsskuld i utländsk valuta	198 003	198 966	210 225	209 242
varav uppbåsing enskaffningsvärde	198 003	198 966	210 225	209 242
varav ingått skattning av verkligt värde	97 422	98 581	65 034	64 470
Summa	201 906	202 804	215 442	214 785
Summa emitterade värdepapper	679 808	680 378	657 520	655 867
varav uppbåsing näringskrediter	768		1 061	
Emitterade värdepapper vid årets ingång				
Emitterade	657 520		724 640	
Återköpta	-2 787		-2 666	
Förtäring	-765 190		-790 402	
Valutaeffekter m.m.	31 489		-51 327	
Emitterade värdepapper vid årets utgång	679 808		657 520	
Medelvolymer				
mkr	2021	2020		
Svenska kronor	6 150	7 540		
Utländsk valuta	707 114	714 136		
Summa	713 264	721 676		

M27 Korta positioner

mikr	2021	2020
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	835	658
Räntebärande värdepapper	3 270	1 024
Summa	4 105	1 682
varav upplupna räntekostnader	21	5
Modervolymer		
mikr	2021	2020
Svenska kronor	21 824	10 977
Utländsk valuta	229	97
Summa	22 053	11 074

M28 Skatter

Uppskjutna skattefordringar				
mikr		2021	2020	
Säkringsinstrument		-	563	
Övrigt		668	610	
Summa		668	1 173	
Uppskjutna skattekulder				
mikr		2021	2020	
Fastigheter och inventarer		11	22	
Säkringsinstrument		230	755	
Övrigt		195	-	
Summa		436	777	
Netto uppskjutna skattefordringar/skattekulder		-232	-306	
Förändring av uppskjutna skatter 2021				
mikr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
Fastigheter och inventarer	22	-11	-	11
Säkringsinstrument	192	-	38	230
Övrigt	-610	-56	193	-473
Summa	-396	-67	231	-232
Förändring av uppskjutna skatter 2020				
mikr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
Fastigheter och inventarer	22	0	-	22
Säkringsinstrument	613	-	-421	192
Övrigt	-332	-278	-	-610
Summa	303	-278	-421	-306
Redovisade skattekostnader i resultaträkningen				
mikr		2021	2020	
Aktuell skatt				
Årets skattekostnad		-4 672	-4 536	
Justerings av skatt hänförlig till tidigare år		-13	-17	
Uppskjuten skatt				
Förändringar i temporära skillnader		67	278	
Summa		-4 618	-4 275	
Skatt beräknat som 20,6 % (21,4) på årets resultat före skatt		-4 389	-4 173	
Skillnad		-229	-102	
Skillnaden förklaras av skatteeffekt av seende följande poster				
Diverse ej avdragsbara kostnader		-262	-37	
Ej avdragsbart ränta på efterställda skulder		-226	-254	
Ej skattepliktiga reavinstar och utdelningar		178	166	
Omvärdering uppskjutna skatter pga ändrad skattesats		-	-7	
Övrigt		81	30	
Summa		-229	-102	

NOTER | MODERBOLAGET

M29 Avsättningar

Avsättningar 2021	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹	Omstruktureringskostnader ²	Övriga avsättningar ³	Summa
mkr				
Avsättningar vid årets ingång	280	1 029	67	2 276
Avsatt under året		-	35	35
Anspråktagat		-1 288	-2	-1 290
Återfört		-	-7	-7
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	-3			-3
Avsättningar vid årets utgång	277	641	63	1 011

Avsättningar 2020	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹	Omstruktureringskostnader ²	Övriga avsättningar ³	Summa
mkr				
Avsättningar vid årets ingång	194	884	42	1 100
Avsatt under året		1 470	68	1 538
Anspråktagat		-405	-8	-413
Återfört		-	-35	-35
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	86			86
Avsättningar vid årets utgång	280	1 029	67	2 276

¹ För ytterligare information, se not M10 och M38.² Avsättningen för omstruktureringskostnader avser kostnader relaterade till bankens omställning. Majoriteten av avsättningsbeloppet är reglerat under året. Resterade förväntas vara reglerat vid utgången av 2022.³ Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikts mot banken.

M30 Övriga skulder

mkr	2021	2020
Fondskulder	2 912	3 967
Övrigt	4 719	5 158
Summa	7 631	9 125

M31 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2021	2020
Upplupna kostnader	1 671	1 603
Förutbetalda intäkter	1 378	663
Summa	3 049	2 266

NOTER | MODERBOLAGET

M32 Efterställda skulder

mkr						2021	2020
Förtagstill i svenska kronor						3 003	3 002
Förtagstill i utländsk valuta						29 254	38 080
Summa						32 257	41 082
varav upplupna räntekostnader						769	915
Modervolymer						2021	2020
mkr							
Förtagstill i svenska kronor						2 898	3 009
Förtagstill i utländsk valuta						30 125	34 062
Summa						33 023	37 071
Specifikation, förtagstill							
Emissionsår	Förfall	Valuta	Ursprungligt nominellt belopp i respektive valuta	Räntesats, %	Utsättande belopp		
I svenska kronor							
2017	Tidsbunden	SEK	1 700	0,950%	1 701		
2017	Tidsbunden	SEK	1 300	1,410%	1 302		
Summa							
I utländsk valuta							
2018	Tidsbunden	EUR	750	1,630%	7 785		
2018	Tidsbunden	EUR	750	1,250%	7 764		
2019	Bvigt	USD	500	6,250%	4 908		
2020	Bvigt	USD	500	4,380%	4 454		
2020	Bvigt	USD	500	4,750%	4 343		
Summa							
Summa efterställda skulder							

För ytterligare information avseende förtagstillen, se Punkt 3-rapporten.

Förändring av efterställda skulder						2021	2020
mkr							
Förtagstill vid årets ingång						41 082	35 546
Emitterade						-	8 916
Återköpta						-	-2
Förfallna						-9 711	-
Valutaeffekter m.m.						886	-3 378
Förtagstill vid årets utgång						32 257	41 082

M33 Obeskattade reserver

mkr						2021	2020
Ackumulerade överavskrivningar inventarier och leasingobjekt						687	882
Ackumulerade överavskrivningar intäktsgoodwill						19	51
Summa						706	933

NOTER | MODERBOLAGET

M34 Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av räkningsserv mkr	2021	2020
Säkerhetsreserv vid årets ingång	628	1 940
Kassafördosättning		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Ränterisk	-81	-1 402
Valutakursrisk	390	-141
Realiserade värdeförändringar		
Omklassificerat till resultaträkningen ¹	-63	-134
Skatt	-51	365
Säkerhetsreserv vid årets utgång	823	628
Förändring av verkligt värdeserv mkr	2021	2020
Verkligt värdeserv vid årets ingång	94	660
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	59	-572
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	0	684
Realiserade värdeförändringar – skuldinstrument	5	5
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	0	1
Omklassificerat till balanserade vinster – eget kapitalinstrument ²	0	-684
Omklassificerat till resultaträkningen – skuldinstrument ³	-	-
Verkligt värdeserv vid årets utgång	168	94
Förändring av omräkningsreserv mkr	2021	2020
Omräkningsreserv vid årets ingång	28	2 156
Förändring av omräkningsdifferens	1 109	-2 129
Omklassificerat till resultaträkningen ⁴	-9	1
Omklassificerat till balanserade vinster ⁵	-53	-
Omräkningsreserv vid årets utgång	1 075	28

¹ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 13 mkr (29).² Skatt som omklassificerats till till balanserade vinster hänförlig till denna post post 0 mkr (43).³ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post - mkr (-).⁴ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 2 mkr (3).⁵ Skatt som omklassificerats till balanserade vinster hänförlig till denna post 13 mkr (-).

M35 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2021	Verkligt värde via resultaträkningen						
			Derivat identifierat som säkrings- instrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen					
Tillgångar							
Kassa och tillgodehavanden hos centralbanker					338 768	338 768	338 768
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	2 513	97 628		397		100 538	100 538
Utlåning till kreditinstitut	18 029				968 868	968 897	968 899
Utlåning till allmänheten					611 852	611 852	613 972
Värdepappersförändring på räntebärande post i portföljsäkring					-1 904	-1 904	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	6 299	19 008		9 016		34 323	34 323
Aktier och andelar	12 674			807		13 481	13 481
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	8 888				64	8 952	8 952
Derivatinstrument	22 989		7 957			30 946	30 946
Övriga tillgångar	18				22 269	22 287	22 287
Summa	71 410	116 636	7 957	10 220	1 030 917	2 146 140	2 160 186
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt joint ventures						71 957	
Icke finansiella tillgångar						12 027	
Summa tillgångar						2 230 134	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					153 490	153 490	153 874
In- och upplåning från allmänheten					1 173 172	1 173 172	1 173 158
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		8 888			64	8 952	8 952
Emitterade värdepapper	1 681				678 127	679 808	684 331
Derivatinstrument	18 104		2 929		21 033	21 033	21 033
Korta positioner	4 105					4 105	4 105
Övriga skulder	7				7 624	7 631	7 631
Efterställda skulder					32 257	32 257	33 645
Summa	23 897	8 888	2 929		2 044 734	2 080 448	2 086 720
Icke finansiella skulder						4 760	
Summa skulder						2 085 208	

2020	Verkligt värde via resultaträkningen						
			Derivat identifierat som säkrings- instrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen					
Tillgångar							
Kassa och tillgodehavanden hos centralbanker					297 362	297 362	297 362
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	3 928	94 024		401	762	99 115	99 115
Utlåning till kreditinstitut	21 812				931 838	953 650	959 434
Utlåning till allmänheten					566 145	566 145	569 895
Värdepappersförändring på räntebärande post i portföljsäkring					13	13	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	11 929	26 640		7 964		46 533	46 533
Aktier och andelar	13 614			699		14 313	14 313
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	7 345				60	7 405	7 405
Derivatinstrument	22 352		10 609			33 031	33 031
Övriga tillgångar	30				20 745	20 775	20 775
Summa	80 000	120 664	10 609	9 064	1 816 925	2 038 342	2 047 883
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt joint ventures						73 057	
Icke finansiella tillgångar						13 464	
Summa tillgångar						2 124 863	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					193 054	193 054	193 552
In- och upplåning från allmänheten					1 021 130	1 021 130	1 021 118
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		7 345			60	7 405	7 405
Emitterade värdepapper	2 215				655 305	657 520	664 277
Derivatinstrument	38 074		6 700			44 774	44 774
Korta positioner	1 682					1 682	1 682
Övriga skulder	38				9 087	9 125	9 125
Efterställda skulder					41 082	41 082	42 674
Summa	42 009	7 345	6 700		1 919 718	1 978 772	1 984 807
Icke finansiella skulder						5 319	
Summa skulder						1 984 091	

NOTER | MODERBOLAGET

M36 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2021 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	2 188	325	-	2 513
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	97 628	-	-	97 628
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	327	-	-	397
Utlåning till kreditinstitut	-	18 029	-	18 029
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	5 251	1 048	-	6 299
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	19 008	-	-	19 008
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	2 291	6 725	-	9 016
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	11 965	709	-	12 674
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	-	200	607	807
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	8 404	-	484	8 888
Derivatinstrument	22	30 881	43	30 946
Summa	147 154	57 917	1 136	206 206
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	8 404	-	484	8 888
Emitterade värdepapper	-	1 681	-	1 681
Derivatinstrument	51	20 939	43	21 033
Korta positioner	3 903	202	-	4 105
Summa	12 358	22 822	827	35 707

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2020 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	3 088	840	-	3 928
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	94 024	-	-	94 024
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	401	-	-	401
Utlåning till kreditinstitut	-	21 812	-	21 812
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	10 167	1 762	-	11 929
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	26 640	-	-	26 640
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	3 050	4 874	-	7 924
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	13 156	417	-	13 573
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	-	186	514	700
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	6 871	-	474	7 345
Derivatinstrument	267	32 684	80	33 031
Summa	157 745	62 574	1 068	221 387
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	6 871	-	474	7 345
Emitterade värdepapper	-	2 215	-	2 215
Derivatinstrument	253	44 441	80	44 774
Korta positioner	1 488	194	-	1 682
Summa	8 612	46 850	554	55 016

Redogörelse för tillämpade principer återfinns i not K4.1.

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2021 mkr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändrings- risken	Skulder där kunden står värde- förändringsrisken
Redovisat värde vid årets ingång	614	80	-80	474	-474
Njanskalningar	32	1	-2	-	-
Återköp/avyttring	-	9	-7	-	-
Förtälet	-	-	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	54	-131	130	10	-10
Realiserad värdeförändring i övrigt totalsresultat	8	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	10	-10	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	74	-74	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	608	43	-43	484	-484

NOTER | MODERBOLAGET

M36 Forts

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2020

mikr	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	Skulder där kunden står värdeförändringsrisken
Redovisat värde vid årets ingång	1 202	80	-70	493	-493
Nyanskaffningar	6	9	-13	-	-
Återköp/avyttrat	-698	-	5	-	-
Förfallat	-	-	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-8	-16	16	-	-
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	-38	-	-	-19	19
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	17	-17	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	1	-1	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	514	80	-80	474	-474

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2021

mikr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	338 768	-	-	338 768
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	-	-	-	-
Utlåning till kreditinstitut	3 891	964 536	323	968 870
Utlåning till allmänheten	13 345	6 781	503 846	613 972
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	64	-	-	64
Summa	356 068	971 367	504 230	1 821 764
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	9 507	144 367	-	153 874
In- och upplåning från allmänheten	1 157 669	15 489	-	1 173 158
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	64	-	-	64
Emitterade värdepapper	179 044	503 606	-	682 650
Efterställda skulder	-	33 645	-	33 645
Summa	1 346 284	687 107	-	2 043 391

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2020

mikr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	297 362	-	-	297 362
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	709	53	-	762
Utlåning till kreditinstitut	33 508	903 591	523	937 622
Utlåning till allmänheten	4 254	1 667	563 974	569 895
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	60	-	60
Summa	336 833	905 371	564 497	1 806 701
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	47 239	146 313	-	193 552
In- och upplåning från allmänheten	928 466	22 652	-	1 021 118
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	60	-	60
Emitterade värdepapper	129 949	532 113	-	662 062
Efterställda skulder	-	42 674	-	42 674
Summa	1 176 654	743 812	-	1 919 466

NOTER | MODERBOLAGET

M37 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

Förägnaskulder ställda säkerheter mkr	2021	2020
Kontanter	5 016	19 121
Statspapper och obligationer	6 460	2 398
Aktier	448	297
Övrigt	683	614
Summa	12 607	22 430
varav pantar som förtäkten återkallas av banken	25	28

Övriga ställda säkerheter mkr	2021	2020
Kontanter	201	204
Statspapper och obligationer	5 767	40 844
Aktier	7 008	6 285
Övrigt	391	213
Summa	13 367	47 546
varav pantar som förtäkten återkallas av banken	3 556	37 504

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställts för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Mottagna säkerheter

Som en del av ingångna omvända återköpsavtal och värdepapperslån har koncernen accepterat säkerheter som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av sådana accepterade säkerheter uppgick till 63 709 mkr (25 704) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 26 632 mkr (10 653) var sålda eller pantsatta till tredje part.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen mkr	2021		2020	
	Redovisat värde	Redovisat värde motvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motvarande skuld
Aktier, värdepappersutlåning	7 349	284 ¹	6 526	306 ¹
Statspapper och obligationer, repor	4 142	67	386	-
Statspapper och obligationer, övrigt	1 946	-	1 108	-
Tillgångar där kunden står värdetförändringstoken	552	552	538	538
Summa	13 989	903	8 558	844

¹ Mottagen kontantsäkerhet.**M38** Eventualförpliktelser

mkr	2021	2020
Anevarsförbindelser		
Garantiförbindelser, kreditlinjer	19 047	24 096
Garantiförbindelser, övriga	67 422	73 084
Oliktidiga rembursar	1 033	2 294
Övrigt	-	-
Summa	87 502	99 474
varav förbehåll för nedskrivningsprövning	87 502	99 474
Åtaganden		
Kreditlinjer	310 883	299 910
Outnyttjad del av beviljade rättningskrediter	114 829	111 887
Övrigt ¹	210 531	48 438
Summa	636 243	460 235
varav förbehåll för nedskrivningsprövning	4 93 807	319 460
Summa eventualförpliktelser	723 745	559 709
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not M29	277	280

¹ I raden Övrigt ingår interna likviditetsgarantier till dotterbolag på 187 934 mkr (34 896).**Anevarsförbindelser**

Anevarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende försäkringsbetalningar, garantier under ansvaretiden och exportrelaterade garantier. Anevarsförbindelser omfattar också outnyttjade oläskalliga importrembursar och bekräftade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

Tvister

Handelsbanken är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bedömningen är att tvistemålen i all väsentlighet kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistebeloppet bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på bankens ställning eller resultat.

Ersättningar

Anställda i Danmark och Finland som kvarstår i tjänst fram till tidpunkten för avyttring av verksamheterna kommer att erhålla en extra ersättning. Beloppet är i nuläget inte möjligt att uppskatta, men bedöms ej kunna få en väsentlig inverkan på koncernens resultat och ställning.

M39 Pensionsförpliktelser

mkr	2021	2020
Förvaltningsutgångarnas verkliga värde	35 174	33 554
Pensionsförpliktelser	35 142	34 899
Pensionsnetto ¹	32	-1 345

Pensionsförpliktelser har beräknats enligt Finansinspektionens föreskrifter, vilka innebär att skuld i Sverige är beräknad enligt byggandslagen, och motsvarande utländska pensionsförpliktelser har beräknats utifrån lokal reglering. Förvaltningsutgångarna innehas av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening och liknande juridiska personer avseende utländska utfästelser. Därvidkan Pensionskassans tillgångar eller försäkrings teknisk avättning finns fördelade på arbetsgivare som har försäkring hos Pensionskassan ingår ingen av dessa i tabellen ovan. I Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening uppgår pensionsförpliktelserna till 7 281 mkr (7 704) och marknadsvärdet av tillgångarna till 17 085 mkr (15 600). Överskottet i Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening uppgår således till 11 9 804 mkr (7 896).

Av det verkliga värdet på förvaltningsutgångarna i Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avser 8 948 mkr (9 692) avsättningar som gjorts under åren 1989–2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I förpliktelserna ingår utfästelse avseende SKP med samma belopp som förvaltningsutgångarnas verkliga värde.

En del av denna utfästelse, 6 694 mkr (7 276), är villkorad.

¹ Med hänseende till att överskottet i Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening kan utnyttjas för att täcka moderbolagets pensionsförpliktelser, samt att delar av utfästelsen är villkorad, redovisas inte ett underskott som en skuld i balansräkningen för 2020.

Pensionskostnader	2021	2020
mkr		
Utbetalda pensioner	-1 345	-1 058
Pensionspremier ²	-514	-469
Socialavgifter	-209	-169
Ersättning från pensionsstiftelse	568	545
Avsättning till pensionsstiftelse	-45	-73
Summa pensionskostnader	-1 545	-1 234

Nästa års förväntade utbetalda pensioner avseende förmånsbestämda pensionsplaner uppgår till 1 359 mkr. Kostnaderna för pensionspremier innehåller premier för BTPK (premiebestämd pension) med 94 mkr (65).

Förvaltningsutgångar	2021	2020
mkr		
Ingående balans	33 554	31 212
Avkastning	2 143	2 814
Avsättning till pensionsstiftelse	45	73
Ersättning från pensionsstiftelse	-568	-545
Utgående balans	35 174	33 554
Procentuell avkastning på förvaltningsutgångar	6%	9%

Pensionsförpliktelser	2021	2020
mkr		
Ingående balans	34 899	32 799
Teknisk avgift	953	989
Ränta	115	213
Värdesänkning	98	325
Fördda pensionering	193	154
Utbetalda pensioner	-1 345	-1 058
Ändrade antaganden ³	196	1 448
Värdeförändring villkorad förpliktelse	141	114
Effekt av planändring ⁴	-	-8
Annan förändring av kapitalvärdet	-118	-68
Utgående balans	35 142	34 899

² Övertäckning av den tyska förmånsbestämda pensionsplanen under 2020 medförde att pensionsförpliktelser i Tyskland minskade med 8 mkr per den 31 december 2020, samt gav en positiv effekt på pensionskostnaden med 14 mkr. För ytterligare information, se not K8.

³ Avser främst effekt av ändrade antaganden enligt Finansinspektionens anvisningar.

Fördelning av förvaltningsutgångar	2021	2020
mkr		
Ålder och fondandelar ⁴	32 806	31 039
Räntebärande värdepapper	2 056	2 016
Övriga förvaltningsutgångar ⁵	302	499
Summa	35 174	33 554

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/SAOO-förbunden med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På lönsdal inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årslönen. På lönsdal överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension. Värdet av pensionsförpliktelserna beräknas årligen, per balansdagen, på försäkrings tekniska grunder. Från och med den 1 mars 2020 tjänar alla nyanställda och anställda yngre än 25 år in pension i en premiebestämd pensionsplan. Anställda före den 1 mars 2020 påverkas inte utan är fortsatt medlemmar i den förmånsbestämda pensionsplanen.

De mest väsentliga beräkningsantagandena är dödligheten och diskontieringsräntan. Dödlighetsantagandet och diskontieringsräntan följer antagandena i byggandslagens grunder. Diskontieringsräntan är 0,0% (0,0%) efter avdrag för skatt och omkostnader.

Utländska pensionsförpliktelser är beräknade enligt lokala redovisningskrav.

⁴ Fondandelarna är till största del placerade i räntefonder och uppgår till 19 962 mkr (14 619).

⁵ I övriga förvaltningsutgångar ingår främst likvida medel och en skuld avseende ännu ej utbetalad gottgörelse.

NOTER | MODERBOLAGET

M40 Tillgångar och skulder i valuta

2021 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	93 293	149 547	4 578	28 282	-	63 008	60	338 768
Utlåning till kreditinstitut	709 934	49 326	75 885	51 749	96 217	3 258	528	986 897
Utlåning till allmänheten	172 273	182 170	177 558	57 164	6 790	12 961	2 936	611 852
varav företag	144 009	106 658	152 752	43 339	6 745	12 773	1 463	467 739
varav hushåll	28 264	75 512	24 806	13 825	45	188	1 473	144 113
Balansingsbara statsskuldförbindelser m m	91 630	5 658	335	2	-	2 913	-	100 538
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	24 137	965	8 741	-	-	480	-	34 323
Övriga ej valutaförädlade poster	157 756							157 756
Summa tillgångar	1 249 023	387 688	267 007	137 197	103 007	82 620	3 624	2 230 134
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	29 690	55 754	16 264	2 366	40 309	9 015	92	153 490
In- och upplåning från allmänheten	847 908	148 403	89 683	52 164	5 163	27 588	2 173	1 173 172
varav företag	394 558	118 457	59 863	28 857	4 046	24 267	1 471	631 513
varav hushåll	453 440	29 946	29 820	23 307	1 117	3 327	702	541 659
Emitterade värdepapper	4 470	293 135	205	7	24 887	339 775	17 329	679 808
Efterställda skulder	3 003	15 547	-	-	0	13 707	-	32 257
Övriga ej valutaförädlade poster, inklaget kapital	191 407							191 407
Summa skulder och eget kapital	1 076 588	812 839	106 182	54 637	70 369	390 086	19 604	2 230 134
Valutaförädlade övriga tillgångar och skulder (netto)		125 131	-160 782	-82 658	-32 524	307 452	16 124	
Nettoposition i valuta		-42	163	2	124	-13	54	288

Bankens syn på valutavärdet förändras framgått av not K2.

2020 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	84 525	128 206	18 025	212	0	65 480	914	297 362
Utlåning till kreditinstitut	650 539	55 109	71 127	67 369	103 644	4 479	1 383	953 650
Utlåning till allmänheten	160 420	172 429	160 731	49 041	6 518	14 473	2 533	566 145
varav företag	130 743	106 470	135 476	34 160	6 457	14 308	1 011	428 630
varav hushåll	29 672	65 959	25 255	14 881	61	165	1 522	137 515
Balansingsbara statsskuldförbindelser m m	89 688	5 457	839	1	-	2 368	762	99 115
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	35 796	1 420	7 285	-	0	2 032	-	46 533
Övriga ej valutaförädlade poster	162 058							162 058
Summa tillgångar	1 183 026	362 621	258 007	116 623	110 162	88 832	5 602	2 124 863
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	65 573	42 256	26 461	2 619	39 574	16 101	470	193 054
In- och upplåning från allmänheten	735 197	128 970	83 919	47 218	4 967	18 987	1 872	1 021 130
varav företag	315 675	103 484	58 601	24 296	3 296	15 881	1 260	522 493
varav hushåll	419 522	25 486	25 318	22 922	1 671	3 106	612	498 637
Emitterade värdepapper	5 608	285 743	368	104	28 193	320 815	16 689	657 530
Efterställda skulder	3 002	15 213	-	-	0	22 967	-	41 082
Övriga ej valutaförädlade poster, inklaget kapital	212 077							212 077
Summa skulder och eget kapital	1 021 487	472 182	110 748	49 941	72 734	378 770	19 031	2 124 863
Valutaförädlade övriga tillgångar och skulder (netto)		109 673	-147 195	-66 608	-37 333	289 927	13 466	
Nettoposition i valuta		112	64	74	95	-11	27	361

M41 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Dotterbolag		Intrasseföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2021	2020	2021	2020	2021	2020
mkr						
Utlåning till kreditinstitut	955 802	911 906	-	-	-	-
Utlåning till allmänheten	1 132	1 132	439	493	-	-
Derivat	2 428	2 417	-	-	-	-
Övriga tillgångar	16 792	15 194	29	32	572	560
Summa	986 154	930 739	468	525	572	560
Skulder till kreditinstitut	72 395	71 570	-	-	-	-
In- och upplåning från allmänheten	13 594	10 236	113	115	1 058	853
Derivat	7 295	11 956	-	-	-	-
Eftersälda skulder	-	-	-	-	-	-
Övriga skulder	84	101	-	-	-	-
Summa	93 369	93 863	113	115	1 058	853
Eventuallåneförluster	15 853	18 968	-	-	7 281	7 704
Derivat, nettoåtervärden	566 710	367 382	-	-	-	-

Närstående – intäkter och kostnader	Dotterbolag		Intrasseföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2021	2020	2021	2020	2021	2020
mkr						
Räntesintäkter	4 023	5 092	25	9	-	-
Räntekostnader	-281	-364	0	0	-	-
Provisionsintäkter	-	0	-	0	-	-
Provisionskostnader	-	0	-227	-205	-	-
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	-	0	0	0	-	-
Övriga intäkter	2 648	2 648	-	0	17	19
Övriga kostnader	-423	-386	-73	-54	-	-
Summa	6 167	6 990	-275	-250	17	19

Specifikation över dotterbolagen, intrasseföretagen och joint ventures finns i not M16. Intrasseföretagens och joint ventures verksamhet består av att utföra olika typer av tjänster i anknytning till de finansiella marknaderna. I gruppen övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personaltjänst och Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförsäkring (Pensionskassan). Företagen ansluter Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster. Upplysningar om skildriggatskott till koncern- och intrasseföretag lämnas i not M16.

Den 21 oktober 2021 förvärfvade Svenska Handelsbanken AB 30 451 977 A-aktier i AB IndustriVärden till ett värde av 8 548 mkr från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse. Aktierna delades därefter ut till bankens aktieägare som extrautdelning. Alla affärstransaktioner med närstående bolag sker på marknadsmässiga villkor.

Pensionskassans utbetalningar till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 17 281 mkr (7 704). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till 568 mkr (545) avseende pensionskostnader och - mkr (-) avseende särskild kompletterande pension samt av Svenska Handelsbankens Personaltjänst uppgående till 63 mkr (43) för personalförhållanden åtgärder.

Information om kreditor till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

M42 Förslag till vinstdisposition

Styrelsen föreslår en utdelning om 5,00 kronor (5,42 kronor för 2020, varav 4,10 kronor i ordinarie utdelning). Styrelsens förslag till vinstdisposition finns på sidan 217.

M43 Aktieinformation

31 december 2021

Aktieslag	Antal	% av kapital	% av röster	Aktiekapital	Kvotvärde
Serie A	1 944 777 165	98,22	99,82	3 014 404 606	1,55
Serie B	35 251 329	1,78	0,18	54 639 560	1,55
	1 980 028 494	100,00	100,00	3 069 044 166	

M44 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

NOTER | MODERBOLAGET

M45 Upplysningar om tillgångar och skulder som innehas för försäljning samt utvecklade verksamhet

Tillgångar och skulder i bankens verksamheter i Danmark och Finland utgör tillgångar och skulder som innehas för försäljning och är avyttringsgrupper i enlighet med IFRS 5 Anläggningstillgångar som innehas för försäljning och utvecklade verksamheter. Vidare utgör verksamheterna i Danmark och Finland utvecklade verksamhet. För en beskrivning av redovisningsprinciperna, se not M1.

- Avyttringsgrupp och utvecklade verksamhet i Danmark utgörs av Handelsbanken AB (publ) filial i Danmark.
- Avyttringsgrupp och utvecklade verksamhet i Finland utgörs av Handelsbanken AB (publ) filial i Finland.

Därutöver utgör aktier i dotterbolagen Ejendoms-selskabet af 1. maj 2009 A/S, Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S, Handelsbanken Forsikringsformidling A/S och Lokalbolig A/S tillgångar som innehas för försäljning.

Upplysningar om tillgångar och skulder som innehas för försäljning

Tillgångar och skulder som innehas för försäljning 2021 mkr	Danmark	Finland	Totalt
Tillgångar			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	28 282	120 096	148 380
Övrig utlåning till centralbanker	207	0	207
Betalningsbara statskultförbindelser m m	0	0	0
Utlåning till övriga kreditinstitut	36	57	93
Utlåning till allmänheten	60 953	81 465	142 418
varav hushåll	19 864	24 214	38 078
varav företag	47 089	57 251	104 340
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	0	0	0
Aktier och andelar ¹	454	0	454
Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures	139	-	139
Tillgångar där kunden står värdepåföringsrisken	6 770	0	6 770
Immateriella tillgångar	21	110	131
Fastigheter och inventarer	22	16	38
Övrigt	306	314	620
Summa	97 190	202 060	299 250
Skulder			
Skulder till kreditinstitut	230	344	574
In- och upplåning från allmänheten	54 135	59 984	114 119
varav hushåll	29 663	19 699	49 362
varav företag	30 472	40 285	70 757
Skulder där kunden står värdepåföringsrisken	6 770	0	6 770
Avsättningar	57	78	135
Övrigt	290	960	1 250
Summa	61 482	61 366	122 848

¹ Ett belopp uppgående till ackumulerat 46 mkr hänförligt till dessa tillgångar har redovisats i övrigt totalresultat och i verkligt värdesreserven i eget kapital.

Banken har inlett en process för avyttring av enheterna i Danmark och Finland.

Värdering av respektive avyttringsgrupp till det lägsta av verkligt värde, efter avdrag för försäljningskostnader, och redovisat värde har ej föranlett någon nedskrivning. Värdering av aktier i dotterbolagen Ejendoms-selskabet af 1. maj 2009 A/S, Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S, Handelsbanken Forsikringsformidling A/S och Lokalbolig A/S till det lägsta av verkligt värde, efter avdrag för försäljningskostnader, och redovisat värde har ej föranlett någon nedskrivning.

NOTER | MODERBOLAGET

M45 Forts

Arvecklad verksamhet

Intäkter, kostnader och resultat arvecklad verksamhet

Danmark mkr	2021	2020
Räntanetto	1 031	1 093
Provisionsnetto	724	648
Nettoresultat av finansiella transaktioner	171	168
Risikoresultat	0	0
Övriga intäkter	34	3
Summa intäkter	1 960	1 912
Personalkostnader	-870	-884
Övriga kostnader	-584	-484
Av- och nadskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-41	-106
Summa kostnader	-1 495	-1 474
Kreditförluster, netto	20	-33
Rörelseresultat	485	406
Bokslutsdispositioner	32	94
Årets resultat hänförligt till arvecklad verksamhet före skatt	617	499
Skatter	-57	-57
Årets resultat hänförligt till arvecklad verksamhet efter skatt	430	442
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter ¹ :		
Intäkter	-122	-157
Kostnader	-69	-55

Finland mkr	2021	2020
Räntanetto	484	424
Provisionsnetto	338	350
Nettoresultat av finansiella transaktioner	51	53
Risikoresultat	0	0
Övriga intäkter	141	7
Summa intäkter	1 014	834
Personalkostnader	-532	-530
Övriga kostnader	-670	-442
Av- och nadskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-233	-21
Summa kostnader	-1 435	-993
Kreditförluster, netto	40	-94
Årets resultat hänförligt till arvecklad verksamhet före skatt	-381	-283
Skatter	-186	-33
Årets resultat hänförligt till arvecklad verksamhet efter skatt	-567	-286
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter ¹ :		
Intäkter	442	362
Kostnader	-158	-163

¹ Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som arvecklad verksamhet. Den arvecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshantering centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utlåning till alminskheten i Danmark och Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räntanettot ovan.

Summa årets resultat hänförligt till arvecklad verksamhet efter skatt -137 106

Kassaflödesanalys arvecklad verksamhet

Danmark och Finland mkr	2021	2020
Kassaflöde från löpande verksamhet	30 979	13 153
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-189	54
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-	-
Årets kassaflöde från arvecklad verksamhet	30 790	13 207

NOTER | MODERBOLAGET

M46 Kapitaltäckning

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 2021/637. Exkluderade rader bedöms ej relevanta för Handelsbanken vid tidpunkt för publicering.

Sammanställning av försäkringskapitalbas - moderbolaget		2021	2020
mil		Belopp på upplysningsdagen	Belopp på upplysningsdagen
Kärlprimärkapital instrument och reserver			
1	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	11 827	11 827
	varav: aktiekapital	11 827	11 827
	varav: konvertibler		
2	Ej utdelade vinstmedel	113 648	115 034
3	Akkumulerat annat totalresultat (och andra reserver, för att inkludera orealiserade vinster och förluster enligt tillämpliga redovisningsstandarder)	2 058	752
5a	Deltårsresultat netto efter avdrag för förutsägbara kostnader och utdelningar som har verifierats av personer som har en oberoende ställning	6 788	7 108
6	Kärlprimärkapital före lagstiftningsjusteringar	134 321	134 721
Kärlprimärkapital lagstiftningsjusteringar			
7	Ytterligare värdejusteringar (negativt belopp)	-430	-230
8	Immateriella tillgångar (netto efter minskning för tillhörande skatteskulder) (negativt belopp)	-3 110	-3 408
11	Reserver i samband med värdejusteringar för vinster eller förluster på kassaflödessäkeringar	-823	-628
12	Negativa belopp till följd av beräkningen av förväntade förlustbelopp	-480	-445
14	Vinster eller förluster på skulder som värderas till verkligt värde och som beror på ändringar av Institutets egen kreditstatus	4	9
15	Förälsbestämda pensionsplaner (negativt belopp)	-	-
16	Ett Instituts direkta och indirekta innehav av egna kärlprimärkapitalinstrument (negativt belopp)	-427	-466
19	Instituts direkta, indirekta och synletiska innehav av kärlprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn (vilka Institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-	-
20a	Exponeringsbelopp för följande poster som är kvalificerade för en riskvid på 1-250% när Institutet väljer att modifiera med avdrag	-	-
20c	varav: värdepapperspositionspositioner (negativt belopp)	-	-
21	Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	-	-
22	Belopp som överskrider tröskelvärdet på 17,65% (negativt belopp)	-	-
23	varav: Instituts direkta och indirekta innehav av kärlprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn när Institutet har en väsentlig investering i de enheterna	-	-
25	varav: uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader	-	-
25a	Förluster för innevarande räkenskapsår (negativt belopp)	-	-
25b	Förutsägbara skatter som är relaterade till kärlprimärkapitalposter (negativt belopp)	-	-
27	Avdrag från kvalificerade primärkapitaltillskott som överskrider Institutets primärkapitaltillskott (negativt belopp)	-	-
28	Sammanlagda lagstiftningsjusteringar av kärlprimärkapital	- 6 288	- 5 177
29	Kärlprimärkapital	129 056	129 544
Primärkapitaltillskott instrument			
30	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	13 513	21 980
32	varav: Kassaflödesrelaterade skulder enligt tillämpliga redovisningsstandarder	13 513	21 980
33	Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.4 och tillhörande överkursfonder som omfattas av uttänning från primärkapitaltillskottet	-	-
36	Primärkapitaltillskott före lagstiftningsjusteringar	13 513	21 980

NOTER | MODERBOLAGET

M46 Forts

Sammanställning av föreskriven kapitalbas - moderbolaget		2021	2020
mkr		Belopp på upplysningsdagen	Belopp på upplysningsdagen
Primärkapitaltillskott: lagstiftningsjusteringar			
37	Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna primärkapitaltillskottsinstrument (negativt belopp)	-	-9 808
40	Instituts direkta, indirekta och symmetiska innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-	-
42	Avdrag från kvalificerade supplementärkapital som överskrider institutets supplementärkapital (negativt belopp)	-	-
43	Summa lagstiftningsjusteringar av primärkapitaltillskott	-	-9 808
44	Primärkapitaltillskott	13 813	12 172
45	Primärkapital (primärkapital = kärnprimärkapital + primärkapitaltillskott)	142 588	141 716
Supplementärkapital: instrument och avsättningar			
46	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	18 364	18 032
50	Kreditriskjusteringar	1	16
51	Supplementärkapital före lagstiftningsjusteringar	18 365	18 048
Supplementärkapital: lagstiftningsjusteringar			
52	Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument och efterställda lån (negativt belopp)	-	-
55	Instituts direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-1 129	-1 129
57	Summa lagstiftningsjusteringar av supplementärkapital	-1 129	-1 129
58	Supplementärkapital	17 236	16 919
59	Totalt kapital (totalt kapital = primärkapital + supplementärkapital)	159 804	158 635
60	Summa riskvägda tillgångar	428 740	400 285
Kapitalrelationer och buffertar			
61	Kärnprimärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	30,2	31,7
62	Primärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	33,4	34,6
63	Summa kapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	37,4	38,8
64	Institutspecifika buffertkrav (enav på kärnprimärkapital i enlighet med artikel 92.1 a plus krav på kapitalkonservationsbuffert och kontryktisk kapitalbuffert, plus systemriskbuffert, plus buffert för systemviktiga institut (buffert för globala systemviktiga institut eller andra systemviktiga institut) uttryckt som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	2,5	2,5
65	varav: krav på kapitalkonservationsbuffert	2,5	2,5
66	varav: krav på kontryktisk kapitalbuffert	0,1	0,1
67	varav: krav på systemriskbuffert	0,0	0,0
67a	varav: buffert för globalt systemviktigt institut eller för annat systemviktigt institut	0,0	0,0
68	Kärnprimärkapital tillgängligt att användas som buffert (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	25,7	27,2
72	Direkta och indirekta innehav av kapital i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	0	0
73	Instituts direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 17,65%, netto efter godtagbara korta positioner)	6 254	-
75	Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp under tröskelvärdet på 17,65%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 39.3 är uppfyllida)	-281	0

NOTER | MODERBOLAGET

M46 FORTS

Sammanställning av föreskriven kapitalbas - moderbolaget		2021	2020
mkr		Belopp på upplysningsdagen	Belopp på upplysningsdagen
Tak som ska tillämpas på inkludering av avsättningar i supplementärkapitalet			
76	Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av schablonmetoden (före tillämpningen av taket)	-	-
77	Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt schablonmetoden	1 896	2 025
78	Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av internmetoden (före tillämpningen av taket)	-	-
79	Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt internmetoden	1 316	1 138
Kapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang (för endast tillämpas mellan den 1 januari 2013 och den 1 januari 2022)			
80	Nuvarande tak för kärnprimärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	-	-
81	Belopp som utesluts från kärnprimärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-	-
82	Nuvarande tak för primärkapitaltillskottsinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	-	-
83	Belopp som utesluts från primärkapitaltillskott på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-	-
84	Nuvarande tak för supplementärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	-	-
85	Belopp som utesluts från supplementärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-	-

NOTER | MODERBOLAGET

M46 Forts

EUKM1 - Mall för nyckeltal

Nyckeltal 2021		2021
Tillgänglig kapitalbas (belopp)		
1	Kärlprimärkapital	129 054
2	Primärkapital	142 567
3	Totalt kapital	159 803
Riskvägda exponeringsbelopp		
4	Totalt riskvägt exponeringsbelopp	426 749
Kapitalrelationer (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)		
5	Kärlprimärkapitalrelation (%)	30,2%
6	Primärkapitalrelation (%)	33,4%
7	Total kapitalrelation (%)	37,4%
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosoliditet (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)		
EU 7a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosoliditet (%)	1,6%
EU 7b	varav: ska utgöras av kärlprimärkapital (%)	0,9%
EU 7c	varav: ska utgöras av primärkapital (%)	1,2%
EU 7d	Totala kapitalbaskrav för övervaknings- och utvärderingsprocessen (%)	9,6%
Kombinerat buffertkrav och samlat kapitalkrav (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)		
8	Kapitalkonserveringsbuffert (%)	2,5%
EU 8a	Konserveringsbuffert på grund av makrotillsynsrisiker eller systemriskar identifierade på medlemsstatnivå (%)	
9	Institutspecifikt kontracykliskt kapitalbuffert (%)	0,2%
EU 9a	Systemriskbuffert (%)	
10	Buffert för globalt systemviktigt institut (%)	
EU 10a	Buffert för andra systemviktiga institut (%)	
11	Kombinerat buffertkrav (%)	2,7%
EU 11a	Samlat kapitalkrav (%)	12,2%
12	Tillgängligt kärnprimärkapital efter uppfyllande av de totala kapitalbaskraven för övervaknings- och utvärderingsprocessen (%)	23,8%
Bruttosoliditetsgrad		
13	Totalt exponeringsmätt	1 500 320
14	Bruttosoliditetsgrad (%)	9,5%
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (som en procentandel av det totala exponeringsmättet)		
EU 14a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (%)	
EU 14b	varav: ska utgöras av kärnprimärkapital (%)	
EU 14c	Totala krav avseende bruttosoliditetsgrad för övervaknings- och utvärderingsprocessen (%)	3,0%
EU 14d	Krav på bruttosoliditetsbuffert (%)	
EU 14e	Samlat bruttosoliditetskrav (%)	
Likviditetsstärkningskvot		
15	Totala högkvalitativa likvida tillgångar (viktnat värde – genomsnitt)	682 980
EU 16a	Likviditetsutlöden – totalt viktat	593 559
EU 16b	Likviditetsutlöden – totalt viktat	118 459
16	Totala netto likviditetsutlöden (justerat värde)	475 100
17	Likviditetsstärkningskvot (%)	144%
Stabil nettofinansieringskvot		
18	Total tillgänglig stabil finansiering	1 271 284
19	Totalt behov av stabil finansiering	1 293 235
20	Stabil nettofinansieringskvot (%)	98%

NOTER | MODERBOLAGET

M46 FORTS

EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp

Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknadsrisk och operativ risk per utgången av 2021 och föregående år. Kreditrisk är beräknad enligt schablonmetoden, den grundläggande inrammetoden och den avancerade inrammetoden. Marknadsrisk och operativ risk är beräknade enligt schablonmetoden. REA för kreditrisk har minskat jämfört med föregående år. REA för motpartsrisk har ökat jämfört med föregående år. REA för marknadsrisk har minskat jämfört med föregående år.

Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala riskvägda exponeringsbelopp 2021	Totala riskvägda exponeringsbelopp	Totala kapitalbehov 2021
mkr				
1	Kreditrisk (exklusive motparts-kreditrisk)	388 668		38 834
2	varav schablonmetoden	146 667		11 734
3	varav den grundläggande inrammetoden (F-IRB)	40 123		3 200
4	varav klassificeringsmetoden			
EU 4a	varav aktier enligt den enkla riskvägda metoden	3 310		265
5	varav den avancerade inrammetoden (A-IRB)	136 021		10 882
5a		30 545		2 444
6	Motparts-kreditrisk	12 255		980
7	varav schablonmetoden	8 924		714
8	varav metoden med interna modeller			
EU 8a	varav exponeringar mot en central motpart	212		17
EU 8b	varav kreditvärderingsjustering	2 614		209
9	varav andra motparts-kreditriskar	505		40
10	Ej tillämpligt			
11	Ej tillämpligt			
12	Ej tillämpligt			
13	Ej tillämpligt			
14	Ej tillämpligt			
16	Ärskedlingsrisk	15		1
18	Värdepappersförings-exponeringar utanför handelslagret (efter tillämpning av tolket)			
17	varav intern kreditvärderingsmetod för värdepappersföring			
18	varav extern kreditvärderingsmetod för värdepappersföring (inbegripet internbedömningsmetoden)			
19	varav schablonmetoden för värdepappersföring			
EU 19a	varav 1 250 %-avdrag			
20	Positionrisk, valutakursrisk och råvarurisk (marknadsrisk)	18 606		1 406
21	varav schablonmetoden	19 696		1 496
22	varav metoden för interna modeller			
23	Operativ risk	30 118		3 120
EU 23a	varav basmetoden			
EU 23b	varav schablonmetoden	30 118		3 120
EU 23c	varav inramningsmetoden			
24	Belopp under bröskarna för avdrag (föremål för riskvägning på 250 %)			
25	Ej tillämpligt			
26	Ej tillämpligt			
27	Ej tillämpligt			
28	Ej tillämpligt			
29	Summa	426 749		34 140

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden

Tabellen visar kapitalkrav för marknadsriskar enligt schablonmetoden per utgången av 2021.

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden		Kapitalkrav	
mkr		2021	2020
Direkta produkter			
Ränterisk (allmän och specifik)		159	506
Aktiekursrisk (allmän och specifik)		1	2
Valutakursrisk		1 281	455
Råvarurisk		1	1
Optioner			
Förankrad metod		-	-
Delta-plus-metod		-	-
Scenariometod		14	11
Värdepappersföring (specifik risk)		-	-
Summa kapitalkrav för marknadsrisk		1 466	1 065

NOTER | MODERBOLAGET

M46 Forts

Kreditriskexponeringar godkända för Internmetoden	Exponeringsbelopp		Riksvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
mkr	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020
Statsexponeringar	501 686	372 232	7 050	5 057	564	405	1,4	1,4
Företagsexponeringar	539 906	469 731	134 649	132 805	10 772	10 632	24,9	28,3
Förstagsutlåning	523 410	459 004	130 037	129 712	10 403	10 377	24,8	28,3
varav övrig utlåning, Internmetod utan egna skattningar av LGD och KF	92 263	86 835	21 401	22 767	1 712	1 821	23,2	26,2
varav övrig utlåning, Internmetod med egna skattningar av LGD och KF	431 147	372 169	108 636	106 945	8 691	8 556	25,2	28,7
varav stora företag	144 882	116 650	45 387	44 014	3 631	3 521	31,3	37,7
varav medelstora företag	47 473	44 474	17 312	16 684	1 385	1 351	35,5	38,0
varav fastighetsbolag	238 792	211 045	45 937	46 045	3 675	3 684	13,2	21,8
Motpartsrisk	16 586	10 727	4 612	3 183	369	255	27,8	29,7
Boetadsrättföretag	18 954	20 478	1 879	1 943	150	155	9,9	9,5
Hushållsexponeringar	166 901	160 828	26 711	26 308	2 057	2 112	15,4	16,4
Privatpersoner	151 957	144 987	20 412	20 555	1 633	1 644	13,4	14,2
varav fastighetskrediter	123 087	117 611	14 785	15 083	1 183	1 207	12,0	12,8
varav övriga	28 920	27 376	5 627	5 472	450	437	13,5	20,0
Småföretag	14 844	15 841	5 299	5 843	424	468	35,7	36,9
Instituts-exponeringar	44 606	38 121	11 228	10 532	898	843	25,2	27,6
Institutsutlåning	34 611	16 846	6 609	5 128	529	410	19,1	30,4
Motpartsrisk	9 895	21 275	4 619	5 404	369	433	46,7	25,4
Aktieexponeringar	895	787	3 310	2 911	265	233	370,0	370,0
varav börsnoterade aktier	-	-	-	0	-	-	-	-
varav övriga aktier	895	787	3 310	2 911	265	233	370,0	370,0
Motpartsloka exponeringar	5 133	680	5 034	680	408	54	98,1	100,0
Positioner i värdepappersföretag	-	16	-	49	-	4	-	312,3
varav traditionell värdepappersföretag	-	16	-	49	-	4	-	312,3
varav syntetisk värdepappersföretag	-	-	-	-	-	-	-	-
Summa Internmetoden	1 277 971	1 062 873	188 881	180 475	15 109	14 438	14,8	17,0
Riksviktsgolv Svenska bolån ¹			10 571	9 130	848	731		
Effekt riskviktsgolv Norska bolån ²			3 079		246			
Effekt riskviktsgolv Norska företag Säkerhet i fastighet ³			16 855		1 352			
Totalt Internmetoden med effekt av riksviktsgolv	1 277 971	1 062 873	219 406	189 614	17 553	15 169	17,2	17,8

¹ Exponeringsbeloppet som träffas av reglerna för riksviktsgolvet Svenska bolån är 56 646 mkr per 31 dec 2021.² Exponeringsbeloppet som träffas av reglerna för riksviktsgolvet Norska bolån är 30 517 mkr per 31 dec 2021.³ Exponeringsbeloppet som träffas av reglerna för riksviktsgolvet Norska företag Säkerhet i fastighet är 124 418 mkr per 31 dec 2021.

Kreditriskexponeringar enligt schablonmetoden ¹	Exponeringens värde		Riksvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
mkr	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020
Städer och centralbanker	2	1 805	0	0	0	0	0	0
Kommuner	120	-	0	-	0	-	0	-
Multilaterala utvecklingsbanker	2 441	956	0	0	0	0	0	0
Internationella organisationer	-	-	-	-	-	-	-	-
Institut	885 129	876 654	262	12 920	21	1 034	0	1,5
Företag	47 080	6 164	11 242	5 762	899	461	23,9	93,5
Hushåll	2 657	3 595	1 957	2 631	157	211	73,7	73,2
Säkerheter i fastigheter	82 697	68 820	28 364	24 018	2 269	1 921	34,3	34,9
Fallerade exponeringar	51	290	63	315	5	25	124,2	108,6
Högriskposter	8	8	13	13	1	1	150	150
Aktier	94 794	99 253	104 176	108 634	8 334	8 691	109,9	109,5
varav börsnoterade aktier	-	-	-	-	-	-	-	-
varav övriga aktier	94 794	99 253	104 176	108 634	8 334	8 691	109,9	109,5
Övriga poster	3 201	7 520	824	7 703	66	616	25,8	102,4
Summa schablonmetoden	1 118 180	1 085 065	148 901	161 098	11 752	12 980	13,1	15,2

¹ Uppgifter om kapitalkrav för exponeringsklasser där det förekommer exponeringar.

NOTER | MODERBOLAGET

M46 Forts

Minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL)

MREL-krav uttryckt som andel av totala skulder och kapitalbas (SFS 2015:1016). Minimikravet på nedskrivningsbara skulder och kapitalbas bestäms i bankens resolutionsplan av resolutionsmyndigheten RGC i samarbete med FI. Totala skulder och kapitalbas samt MREL-krav baseras på siffror från det tredje kvartalet.

miljarder	2021	2020
MREL-krav	120 262	138 170
Nedskrivningsbara skulder och kapitalbas	305 602	305 963
Totala skulder och kapitalbas	2 203 958	2 280 252

%	2021	2020
MREL-krav som % av totala skulder och kapitalbas	5,5	6,1
Nedskrivningsbara skulder och kapitalbas som % av totala skulder och kapitalbas	13,9	13,4

LRCOm: Bruttosolditetsgrad enligt enhetligt offentliggörande

Tabellen visar bruttosolditetsgrad per utgången av innevarande respektive föregående år. Exponeringarna är specificerade för kategorierna balansräkning, derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och exponeringar utanför balansräkning. Bruttosolditetsgraden beräknas som primärkapital dividerat med sammanlagda exponeringar. Bruttosolditetsgraden har ökat jämfört med föregående år.

LRCOm: Bruttosolditetsgrad – gemensam upplysning		2021
miljarder		
Exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering)		
1	Poster i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering, men inklusive säkerhet)	2 144 183
2	Tilläggsbelopp med avseende på ställd derivatsäkerhet som dragits av från tillgångarna i balansräkningen i enlighet med de tillämpliga redovisningsreglerna	0
3	(Avdrag för tillgångar i form av fordringar för kontant tilläggsamghälsäkerhet i derivattransaktioner)	-3 068
4	(Justering för värdepapper som tagits emot under transaktioner för värdepappersfinansiering och som redovisas som en tillgång)	0
5	(Allmänna kreditriskjusteringar av poster i balansräkningen)	0
6	(Tilläggsbelopp som dragits av för att fastställa primärkapital)	-5 266
7	Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering)	2 135 840
Derivatexponeringar		
8	Äteranskaffningskostnad som sammanhängs med derivattransaktioner enligt schablonmetoden för motparts-kreditrisk (dvs. netto av den medräkningsbara kontanta tilläggsamghälsäkerheten)	16 104
8a	Undantag för derivat: Bidrag till ersättningskostnader enligt den förenklade schablonmetoden	0
9	Tilläggsbelopp för möjlig framtida exponering i samband med derivattransaktioner enligt schablonmetoden för motparts-kreditrisk	28 072
9a	Undantag för derivat: Bidrag till möjlig framtida exponering enligt den förenklade schablonmetoden	0
9b	Exponering fastställd enligt ursprunglig åtagandemetod	0
10	(Undantagen central motpartsdel av handels-exponeringar som clearats av kunden) (scharblonmetod för motparts-kreditrisk)	0
10a	(Undantagen central motpartsdel av handels-exponeringar som clearats av kunden) (förenklad schablonmetod)	0
10b	(Undantagen central motpartsdel av handels-exponeringar som clearats av kunden) (ursprungligt åtagandemetod)	0
11	Justerat effektivt teoretiskt belopp i skriftliga kreditderivat	3 379
12	(Justerade effektiva teoretiska kvadreringar och tilläggsavdrag för skriftliga kreditderivat)	-90
13	Sammanlagda derivatexponeringar	47 525
Exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering		
14	Bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering (utan godkännande av netting) efter justering för försämringstransaktioner	55 004
15	(Nettobelopp för kontantsskulder och kontantfordringar av bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering)	0
16	Motpartens kreditriskexponering mot tillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering	13 530
16a	Undantag för transaktioner för värdepappersfinansiering: Motpartens kreditriskexponering i enlighet med artiklarna 429a.5 och 221 i kapitalavstiftningen	0
17	Exponeringar mot förmedlade transaktioner	0
17a	(Undantagen central motpartsdel av exponeringar mot transaktioner för värdepappersfinansiering som clearats av kunden)	0
18	Sammanlagda exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering	68 534
Andra exponeringar utanför balansräkningen		
19	Exponeringar utanför balansräkningen i effektivt teoretiska belopp	507 205
20	(Justeringar för konvertering till kreditriskvalörer)	-360 825
21	(Allmänna avskattningar som dragits av för att fastställa primärkapital och specifika avskattningar förbundna med exponeringar utanför balansräkningen)	0
22	Exponeringar utanför balansräkningen	146 380

NOTER | MODERBOLAGET

M46 Forts

LRCom: Bruttosoliditetsgrad – gemensam upplysning		2021
Undantagna exponeringar		
EU-22a	(Exponeringar som undantas från det totala exponeringsmålet i enlighet med artikel 429a.1 c i kapitalkravförfordningen)	-897 178
EU-22b	(Undantagna exponeringar i enlighet med artikel 429a.1 j i kapitalkravförfordningen i och utanför balansräkningen)	0
EU-22c	(Undantagna exponeringar för offentliga utvecklingsbanker (eller utvecklingsenheter) – Offentliga investeringar)	0
EU-22d	(Undantagna exponeringar för offentliga utvecklingsbanker (eller utvecklingsenheter) – Subventionerade lån)	0
EU-22e	(Undantagna exponeringar vid förmedling (passing-through) av subventionerade lån för icke-offentliga utvecklingsbanker (eller utvecklingsenheter))	0
EU-22f	(Undantagna garanterade delar av exponeringar i samband med exportkredit)	-790
EU-22g	(Undantagna överskjutande säkerheter som deponerats hos trepartsagenter)	0
EU-22h	(Undantagna värdepapperscentraliserade tjänster hos värdepapperscentraler/institut i enlighet med artikel 429a.1 c i kapitalkravförfordningen)	0
EU-22i	(Undantagna värdepapperscentraliserade tjänster hos utsedda institut i enlighet med artikel 429a.1 p i kapitalkravförfordningen)	0
EU-22j	(Minskning av exponeringsvärdet för förfinansieringslån eller mellanred)	0
EU-22k	(Sammanlagda undantagna exponeringar)	-897 968
Kapitalmålet och totalt exponeringsmål		
23	Primärkapital	142 067
24	Totalt exponeringsmål	1 000 320
Bruttosoliditetsgrad		
25	Bruttosoliditetsgrad (%)	9,50%
EU-25	Bruttosoliditetsgrad (bortsett från inverkan av undantag för offentliga investeringar och subventionerade lån) (%)	9,50%
25a	Bruttosoliditetsgrad (bortsett från inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserv) (%)	9,50%
26	Lagstadgade minimikrav på bruttosoliditetsgrad (%)	3,00%
EU-26a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (%)	0,00%
EU-26b	varav: som utgörs av kärnprimärkapital	0,00%
27	Krav på bruttosoliditetsbutfart (%)	3,00%
EU-27a	Samlade bruttosoliditetskrav (%)	
Val av övergångsarrangemang och relevanta exponeringar		
EU-27b	Val av övergångsarrangemang för definition av kapitalmål	NA
Offentliggörande av medelvärden		
Dagliga medelvärden för bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersförtäring efter justering för försäljningstransaktioner och netting av förbundna kontant-skulder och kontantfordringar		46 089
28		
29	Värde vid kvartalsstämman för bruttotillgångar i EFT, efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontantsskulder och kontantfordringar	55 004
30	Totalt exponeringsmål (inbegripet inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserv) som omfattar medelvärden från rad 28 av bruttotillgångar i EFT (efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontantsskulder och kontantfordringar)	1 491 405
30a	Totalt exponeringsmål (bortsett från inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserv) som omfattar medelvärden från rad 28 av bruttotillgångar i EFT (efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontantsskulder och kontantfordringar)	1 491 405
31	Bruttosoliditetsgrad (inbegripet inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserv) som omfattar medelvärden från rad 28 av bruttotillgångar i EFT (efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontantsskulder och kontantfordringar)	9,56%
31a	Bruttosoliditetsgrad (bortsett från inverkan av tillämpliga tillfälliga undantag för centralbanksreserv) som omfattar medelvärden från rad 28 av bruttotillgångar i EFT (efter justering för försäljningstransaktioner och efter netting av belopp för kontantsskulder och kontantfordringar)	9,56%

LRSum: Sammanfattande avstämning av redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad

Tabellen specificerar redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad. Totalt exponeringsmål för bruttosoliditetsgrad har minskat jämfört med föregående år.

LRSum: Sammanfattande avstämning av redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad		Tillämpligt belopp
mkr		
1	Sammanlagda tillgångar enligt offentliggjorda finansiella rapporter	2 290 194
2	Justering för enheter som är konsoliderade för redovisningsändamål men som inte omfattas av konsolideringen enligt tillämpliga krav	0
3	Justering för värdepappersreserverade exponeringar som uppfyller de operativa kraven för godkännande av risköverföring	0
4	(Justering för tillfälligt undantag för exponeringar mot centralbanker (i tillämpliga fall))	0
5	(Justering för förväntningstillgångar som redovisas i balansräkningen i enlighet med de tillämpliga redovisningsreglerna men som undantas från det totala exponeringsmålet i enlighet med artikel 429a.1 g i kapitalkravförfordningen)	0
6	Justering för avstämning och avstämningstillgångar av finansiella tillgångar som omfattas av handelsdagsredovisning	0
7	Justering för godtagbara överföringar för pooring av kontanta medel	0
8	Justering för finansiella derivatinstrument	16 579
9	Justering för transaktioner för värdepappersfinansiering	26 604
10	Justering för poster utanför balansräkningen (dvs. konvertering till kreditkalkyler för exponeringar utanför balansräkningen)	146 580
11	(Justering för krav på försäkringsvärdering och specifika och allmänna avsättningar som har lett till reducerat primärkapital)	-430
EU-11a	(Justering för exponeringar som undantas från det totala exponeringsmålet i enlighet med artikel 429a.1 c i kapitalkravförfordningen)	-897 178
EU-11b	(Justering för exponeringar som undantas från det totala exponeringsmålet i enlighet med artikel 429a.1 j i kapitalkravförfordningen)	0
12	Andra justeringar	-21 768
13	Totalt exponeringsmål	1 000 320

STYRELSENS OCH VD:S UNDERSKRIFTER

Styrelsens och vd:s underskrifter

Härmed försäkras att koncernredovisningen har upprättats i enlighet med de internationella redovisningsstandarder som avses i Europaparlamentets och rådets förordning (EG) nr 1606/2002 av den 19 juli 2002 om tillämpning av internationella redovisningsstandarder, att moderbolagets årsredovisning har upprättats i enlighet med god redovisningssed för aktiemarknadsbolag, att års- och koncernredovisningen ger en rättvisande bild av koncernens och moderbolagets ställning och resultat samt att förvaltningsberättelsen ger en rättvisande översikt över utvecklingen av moderbolagets och koncernens verksamhet, ställning och resultat samt beskriver väsentliga risker och osäkerhetsfaktorer som moderbolaget och de övriga företag som ingår i koncernen står inför.

STOCKHOLM DEN 8 FEBRUARI 2021

Pär Boman
styrelseordförande

Fredrik Lundberg
vice ordförande

Jon Fredrik Baksaas
styrelseledamot

Stina Bergfors
styrelseledamot

Hans Blörck
styrelseledamot

Kerstin Heskus
styrelseledamot

Anna Hjelmborg
styrelseledamot

Lena Renström
styrelseledamot

Ulf Plese
styrelseledamot

Arja Taavonlu
styrelseledamot

Carina Åkerström
verkställande direktör

2【主な資産・負債及び収支の内容】

上記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類」及び「第6 - 1 - (2) 個別財務書類」の注記を参照のこと。

3【その他】

(1) 訴訟及び規制手続

該当事項なし。

(2) 後発事象

当行はデンマークにおける事業を売却

当行は、当行のデンマークにおける事業譲渡に関して、ジスク・バンク・エイノエスと合意に達した。

当該契約は、個人顧客及び法人顧客との取引関係、43の支店並びに約600名の従業員を対象に含んでいる。譲渡される資産は、主に個人顧客及び法人に貸与された貸出金で構成され、2022年3月31日現在、合計約98十億スウェーデン・クローネになる。EUの自己資本規制に基づき計算した場合、かかる貸出金ポートフォリオのリスク加重エクスポージャー金額は約22十億スウェーデン・クローネになる。当該売却は、2022年第4四半期に完了することが見込まれている。

資産の現在価値は、譲渡日に算出され、ジスク・バンク・エイノエスが引き受ける負債により減額される予定である。かかる負債は主に、一般顧客からの預金により構成される。残りの金額は現金で支払われ、3十億デンマーク・クローネ(2022年6月20日現在の為替レートで約4.3十億スウェーデン・クローネ)の割増金が増加される予定である。

合計2.6十億スウェーデン・クローネののれんの解消を含む、当該取引に関連する当行グループの営業利益への非経常的な影響は、全般的に比較的小さいと見込まれる。

かかる売却は、公的機関による慣行的な承認を条件としている。デンマークにおける事業の全従業員が当該売却の対象となり、組合に通知されている。

4【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びSFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、SFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。SFSAの推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、

日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

(1) 連結

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、親会社に直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結される。親会社は企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつ、その企業に対するパワーによりそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされるため連結する。

親会社は、類似の状況における同様の取引及び他の事象に関し、統一された会計方針を用いて、連結財務諸表を作成しなければならない。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、親会社は支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければならない。「連結財務書類作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投資不動産の時価評価及び固定資産の再評価の会計処理、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合の組替調整等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手続上利用できることと規定されている。

(2) 企業結合及びのれん

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合にはいつでも減損テストが実施される。

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却されない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパーチェス法により会計処理される。また、のれんは20年以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により規則的に償却され、減損の兆候が認められた場合に減損テストの対象となる。

(3) 非金融資産の減損

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産に減損の兆候がある場合に減損について検証が行われる。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。そのような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識される。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に戻入れることができるが、戻入れ後に増加する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前の見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(4) 退職後給付

IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が年金債務を超える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されている。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、リサイクリングされず、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、年金費用は年金債務保護法の規定及びSFSAの規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること(改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。)に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出金から年金基金支給額を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、確定給付型年金制度は、退職給付債務から年金資産の額を控除した額が貸借対照表に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を每期費用処理(その他包括利益からリサイクリング)することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

利息費用は退職給付債務に割引率を乗じて算定され、制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算される。

(5) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表(財政状態計算書)上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これら資産及び負債は相殺されず、1つの区分とし

て表示される。また、売却目的保有として分類した非流動資産(又は処分予定の資産)に関連してその他包括利益で認識された収益又は費用の累計額を区分して表示しなければならない。(IFRS第5号)

日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

(6) 保険契約

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRS第4号「保険契約」の定義を満たす保険契約及び裁量権のある有配当性のある金融商品に対してIFRS第4号が適用される。IFRS第4号における「保険契約」とは、「一方の当事者(保険者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重要な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

日本の会計原則

日本においては、IFRS第4号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。保険契約には保険業法による会計処理が適用される。

(7) 保険契約における預り金要素の区分(アンバンドリング)

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

保険契約の中には保険要素と預り金要素の両方を有するものがある。場合によっては、保険者は、それらの構成要素をアンバンドリングすることを要求又は許容される。

(a) 次の要件をいずれも満たす場合には、預り金要素のアンバンドリングが要求される。

() 保険者が当該預り金要素(すべての組込解約オプションを含む)を分離して(すなわち、保険要素を考慮することなく)測定することが可能である。

() 当該保険者の会計方針が、預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを特に要求していない。

(b) 保険者が預り金要素を(a)()に記述のように分離して測定することが可能であるが、会計方針が預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを求めている場合には、権利及び義務の測定に使用される基礎に関係なく、アンバンドリングは許容されるが要求はされない。

(c) 保険者が預り金要素を(a)()のように分離して測定することができない場合には、アンバンドリングは禁止される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、保険契約における預り金要素のアンバンドリングを扱った基準はない。

(8) グループ利益分配

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

(9) 金融商品

金融商品の分類及び測定

IFRS

(金融資産)

IFRS9 では、金融資産の管理に関する企業の事業モデル及び、金融資産の契約条件により、元本及び元本残高に対する利息の支払のみであるキャッシュ・フローが所定の日に生じるという特性（以下「SPPI要件」という。）に基づき、原則として下記（a）～（c）のいずれかの事後測定が行われる金融資産に分類される。（IFRS第9号「金融商品」）

（a）償却原価測定

契約上のキャッシュ・フローを回収するために金融資産を保有することを目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

（b）その他の包括利益（以下「OCI」という。）を通じて公正価値測定（以下「FVOCI」という。）

契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

（c）純損益を通じて公正価値で測定（以下「FVPL」という。）

上記以外の金融資産

上記の原則的分類に対し、下記の二つの例外が認められている。

・公正価値オプション

会計上のミスマッチを除去又は大幅に低減することとなる場合には、当初認識時に金融資産をFVPL 測定するという取り消しできない指定が可能

・OCIオプション

資本性金融商品に対する投資について、当初認識時に公正価値の事後の変動をOCI に表示するという取り消しできない選択を行うことが可能。ただし、投資の売却時において、累積されたOCI を当期の損益に計上すること（以下「リサイクリング」という。）は認められない。

(金融負債)

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債、一定の金融保証契約、公正価値オプションの指定を行った金融負債等の例外を除き、償却原価により事後測定する金融負債に分類される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に従い、金融資産および金融負債は以下のように測定される。

- ・売買目的有価証券は、時価で測定し、時価の変動は損益認識される。
- ・個別財務書類においては、子会社株式および関連会社株式は、取得原価で計上される。

- ・満期保有目的の債券は取得原価または償却原価で測定される。
- ・売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式以外の有価証券（「その他の有価証券（IAS第39号における売却可能有価証券に類似）」）は、時価で測定し、時価の変動額は、純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される。
- ・時価を測定することが極めて困難と認められる有価証券については、それぞれ次の方法による。(1)社債その他の債券である時は、取得原価または償却原価で計上する。(2)社債その他の債券以外の有価証券は取得原価をもって計上する。
- ・貸付金および債権は取得原価または償却原価で測定される。
- ・金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法で評価される。
- ・IFRSで認められる公正価値オプションに関する会計基準はない。

金融資産の減損

IFRS

IFRS9では、償却原価測定及びFVOCI 測定の金融資産、リース債権、IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」の範囲に含まれる取引から生じた契約資産、ローン・コミットメント、金融保証契約に係る予想信用損失に対して損失評価引当金を認識する（IFRS第9号「金融資産」）。各報告日において、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を全期間の予想信用損失の金額で、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を12か月の予想信用損失の金額で測定する。

金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを判定するにあたっては、予想信用損失の金額の変動ではなく、当該金融商品の予想存続期間にわたる債務不履行発生リスクの変動を用いて行う。

予想信用損失を測定する際に考慮すべき最長の期間は、企業が信用リスクに晒される最長の契約期間（延長オプションの行使による期間を含む。）を使う。

金融商品の予想信用損失は、下記を反映する方法で見積もる。

- ・一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される偏りのない確率加重金額
- ・貨幣の時間価値
- ・過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況の予測についての、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報

日本の会計原則

日本では企業会計基準第10号に従い、債権の貸倒見積高は、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて、「一般債権」、「貸倒懸念債権」、「破産更生債権等」に区分し、それぞれに応じて定められた方法により算定する。

売買目的以外の有価証券のうち時価があるものについて、時価が著しく下落した場合に、回復する見込みがあると認められる場合を除き、減損損失が認識され、当該資産の帳簿価額は時価まで減額される。減損損失の額は当期純利益に認識される。

その他の有価証券について減損損失の認識を行う場合、純資産に認識された累積未実現損失は、純資産から除かれ、当期純利益に認識される。減損損失の戻入は認められない。

ヘッジ

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。
- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。
- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じ会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、その他有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、リスク要因(金利リスク、為替リスク等)が共通しており、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ同様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

金融資産の認識の中止

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引き続き貸借対照表(財政状態計算書)で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に係る会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

(10) リース

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、IFRS第16号「リース」に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の借手会計処理モデルを適用する。すべてのリース契約（短期リース契約及び原資産が少額であるリース契約を除く）につき、借手の貸借対照表に資産（使用権資産）および負債が認識される。また当該資産の減価償却費ならびにリース債務に係る支払利息は損益計算書に認識される。

日本の会計原則

企業会計基準第13号に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。借手のファイナンス・リース取引は、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件とこれに係る債務をリース資産及びリース債務として貸借対照表に計上する。ただし、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引や、リース期間が1年以内のリース取引などは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行うことができる。

オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。

第7【外国為替相場の推移】

1【最近5年間の事業年度別為替相場の推移】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	14.09	13.95	12.22	12.63	13.39
最低	11.98	12.01	10.78	10.58	12.34
平均	13.14	12.71	11.53	11.63	12.81
期末	13.71	12.33	11.75	12.63	12.74

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2【最近6月間の月別最高・最低為替相場】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2021年12月	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月
最高	12.74	12.83	12.68	13.23	13.57	13.24
最低	12.34	12.24	12.10	11.55	12.98	12.73
平均	12.53	12.56	12.40	12.37	13.21	12.96

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

3【最近日の為替相場】

1スウェーデン・クローネ = 13.12円 (2022年6月17日)

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

第9【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

2【その他の参考情報】

2021年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類

2021年6月25日 関東財務局長に提出

(2) 半期報告書及びその添付書類

2021年9月28日 関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。

(翻訳)

監査報告書

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (企業識別番号502007-7862号)

定時株主総会御中

年次財務諸表及び連結財務諸表に関する報告

監査意見

私たちは、37-73ページ(訳注:原文のページ番号である。以下同様。)のサステナビリティ・レポートを除く、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの2021年度の年次財務諸表及び連結財務諸表の監査を行った。当社の年次財務諸表は本書の6-270ページに含まれている。

私たちの意見では、年次財務諸表は信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して作成されており、また、親会社の2021年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。連結財務諸表は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して作成されており、また、当行グループの2021年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法及びEUが採択した国際財務報告基準(以下、「IFRS」という。)に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。

コーポレート・ガバナンス報告書が作成されているが、法定の経営報告書及びコーポレート・ガバナンス報告書は年次財務諸表及び連結財務諸表の他の部分と整合している。また、コーポレート・ガバナンス報告書は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠している。

したがって、私たちは、定時株主総会に対し親会社及び当行グループの損益計算書及び貸借対照表の採択を勧告する。

年次財務諸表及び連結財務諸表に関する本報告書の中の私たちの意見は、監査規則(537/2014)第11条に準拠して親会社の監査委員会に提出されている追加の報告書の内容と整合している。

監査意見の基礎

私たちは、国際監査基準(以下、「ISA」という。)及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を行った。本基準における私たちの責任は「監査人の責任」項目で詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。これには、私たちの知る限りにおいて、監査先企業又は該当する場合、その親会社若しくはEUの中で支配下にある企業に対し、監査規則(537/2014)第5条1項に規定されている禁止業務は行われていないことが含まれている。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私たちの職業的専門家としての判断において、当年度の年次財務諸表及び連結財務諸表で最も重要な事項である。これらの事項は、年次財務諸表及び連結財務諸表全体に対する監査及び監査意見の形成において対応したものであり、私たちはこれらの事項に対し個別に意見を表明しない。各事項に対しどのように対応したかについて記載されている。

私たちは、これらの事項に関するものを含め、私たちの報告書の中の財務諸表の監査対象部分に対し、監査人の責任のセクションにおいて記載されている責任を果たした。従って、私たちの監査には財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に対応するために策定された手続の実施が含まれている。私たちの監査手続の結果は、後述する事項に対応するために実施した手続を含め、添付の財務諸表に対する監査意見の基礎を提供している。

予想信用損失引当金

本項目に関する詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。信用リスクエクスポージャー及び信用リスク管理は113ページの注記G2で説明されている。当行グループが計上した予想信用損失については注記G10に記載されている。親会社に関する情報は注記P2及びP10に記載されている。関連する当行グループの会計方針は、102ページの注記G1のセクション10で説明されている。注記P1には、信用供与及び予想信用損失引当金に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

監査上の主要な検討事項の説明

2021年12月31日現在の一般顧客への貸出金は2,163,135百万スウェーデン・クローネ（親会社は611,852百万スウェーデン・クローネ）であり、これは資産合計の65%（親会社は27%）である。オフバランスシート・コミットメントを含めた全体的な信用リスクエクスポージャーの金額は3,597,780百万スウェーデン・クローネ（親会社は2,827,069百万スウェーデン・クローネ）であった。一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の金額は3,178百万スウェーデン・クローネ（親会社は2,265百万スウェーデン・クローネ）であり、そのうちの1,085百万スウェーデン・クローネ（親会社は600百万スウェーデン・クローネ）はモデルベースの算定に基づいており（ステージ1及び2）、2,093百万スウェーデン・クローネ（親会社は1,665百万スウェーデン・クローネ）はマニュアルの算定（ステージ3）によるものであった。モデルでは会計処理されない要因を勘案するために、当行はステージ1及び2に関するモデルベースの算定結果に対し調整を加えている。

予想信用損失引当金は、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定され、また過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況に基づいた偏りのない確率加重された金額を反映する方法で測定される。引当を行うに当たり、当行には、信用リスクの著しい増大を特定するための要件に関する見積りと仮定を行うこと及びや予想信用損失を算定する方法を構築することが求められている。算定の複雑さに加え、当行には見積りと仮定が求められることから、予想信用損失の引当は監査上の重要な検討事項であると考えられる。

監査における本項目への対応

私たちは、倒産確率、デフォルト時損失率、デフォルト時エクスポージャー、予想信用損失に加え、信用リスクの著しい増大に関する当行の評価がIFRS第9号に従っているかどうかを評価した。

私たちは、与信プロセス及び与信判断、与信レビュー、格付区分、デフォルトとなる与信の識別及び判定におけるキーコントロールのデザイン及び有効性テストを実施した。私たちはまた、モデルデータのインプット及びこれらのシステムの承認の取扱いを含むIT全般統制のテストを実施した。私たちは、監査を実施する上で、統制に依拠できるものと評価した。

さらに私たちは、試査により当行の当初の信用格付と最新の信用格付を検討した。私たちは、モデルにおいて使用される対応システムで処理されているデータが網羅的かつ正確であるかどうかをテストした。私たちは、仮定とパラメーターを含むモデルの検証と評価を行ったほか、行われたモデル検証結果を評価し、使用されたマクロ経済データの妥当性を検討した。私たちは、新型コロナウイルス感染症（Covid-19）に関する、専門家による引当を含め、当行が行った手作業による修正の妥当性を検討した。私たちの監査では、内部のモデル専門家による支援を受けて監査手続を実施した。

私たちはまた、信用リスクに関する財務諸表の開示が適切であるかどうか評価を行った。

市場価格が入手不能な金融商品の公正価値測定

監査上の主要な検討事項の詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。公正価値で測定される金融商品について、当行グループについては注記G41、親会社については注記P36で説明されている。関連する当行グループの会計原則は、101ページの注記G1のセクション9で説明されている。注記P1には、公正価値で測定される金融商品に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

監査上の主要な検討事項の説明

当行は市場価格が入手不能な金融商品を有しており、この場合、公正価値は市場データに基づく評価モデルを利用して決定されている。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル2に区分される。スヴェンスカ・ハンデルスバンケンは、評価モデルを使用して公正価値測定が決定される金融商品で、その評価が外部の市場データによる裏付け不能なインプットデータに影響されるものを一部保有している。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル3に区分される。

当行グループは37,923百万スウェーデン・クローネ（親会社は57,917百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融資産及び16,066百万スウェーデン・クローネ（親会社は22,822百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融負債を保有している。レベル3の金融資産及び負債の金額は、それぞれ1,166百万スウェーデン・クローネ（親会社は1,135百万スウェーデン・クローネ）及び527百万スウェーデン・クローネ（親会社は527百万スウェーデン・クローネ）である。

当行グループが保有する、金利スワップ及びさまざまな種類の線形通貨デリバティブを含むデリバティブの大部分並びに社債はレベル2に分類されている。レベル2の社債及びデリバティブは、市場金利及びその他の市場価格に基づく評価モデルを使用して評価される。レベル3の金融商品は、主にジョイント・ベンチャーの非上場株式及び保険事業における投資、並びに観察不能なデータを用いて評価される特定のデリバティブで構成される。算定の複雑さに加え当行による見積りが必要とされることから、市場価格がない金融商品の評価は監査上の主要な検討事項であると考えられる。

監査における本項目への対応

私たちは、市場価格が入手不能な金融商品に対する当行の評価方法について、公正価値ヒエラルキーの分類も含め、IFRS第13号に則っているかどうかを評価した。

私たちは、当行のモデルベースの計算で使用された手法と仮定の評価と承認、データ品質の管理及び内部評価モデルの変更の取扱いを含めた、評価プロセスにおけるキーコントロールをテストした。私たちはまた、これらのシステムの承認の取扱いを含むIT全般統制をテストした。

私たちは、これらのキーコントロールが整備され、実施され有効に運用されていることを評価し、そのため私たちの監査手続上、これらのキーコントロールに依拠できるものと判断した。

さらに私たちは、市場価格が入手不能な金融商品の価値を測定するために用いられた手法と仮定を検証した。私たちは、評価モデルを評価ガイダンスや標準的な業界慣行と比較した。私たちは、用いられた仮定を価格情報源と比較し、重要な逸脱について調査した。また私たちは、見積りの正確性をサンプルベースで検証したほか、独自に独立した評価を実施した。私たちは、内部の評価専門家の支援を受けて監査手続を実施した。私たちはまた、金融商品の公正価値に関する財務諸表の開示が適切であるかどうか評価を行った。

年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報

この報告書には、年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報（1-5ページ、37-73ページ及び277-279ページに記載されている。）も含まれている。2021年度に係る報酬報告書も同様にその他の情報に該当する。取締役会及び最高経営責任者はその他の情報について責任を負っている。

年次財務諸表及び連結財務諸表に対する私たちの意見は、その他の情報を対象としていない。また、私たちは当該その他の情報に関していかなる形式の保証の結論も表明しない。

年次財務諸表及び連結財務諸表監査に関連する私たちの責任は、上記で特定された情報の通読及びその情報と年次財務諸表及び連結財務諸表との間に重要な不整合があるか否かを検討することである。この手続により、私たちは監査の過程で得た知識から、この情報に重要な虚偽表示があると考えられるか否かについても評価した。

当該情報に関する私たちの手続に基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽表示があると結論づけられた場合、私たちはその事実の報告が求められる。この件について私たちからの報告事項はない。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会及び最高経営責任者は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して適正に表示された年次財務諸表の作成、及びEUに採択されたIFRSに準拠して適正かつ正確に表示された連結財務諸表を作成する責任がある。取締役会及び最高経営責任者はまた、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない年次財務諸表及び連結財務諸表の作成に必要と考える内部統制に対する責任がある。

年次財務諸表及び連結財務諸表の作成において、取締役会及び最高経営責任者は、当社及び当行グループが継続企業として存続する能力を評価する責任がある。該当する場合には、継続企業に関する事項を開示し、継続企業を前提とした会計を適用する。ただし、継続企業を前提とした会計は、取締役会及び最高経営責任者が当社の清算、事業を終了する意思がある場合、または現実的にそれ以外の代替手段がない場合には適用されない。監査委員会は、取締役会の責任及び全般的な業務に影響を及ぼさずに、特に当社の財務報告プロセスを監視する。

監査人の責任

私たちの目的は、全体としての年次財務諸表及び連結財務諸表に、不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私たちの意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は高い水準の保証であるが、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確認するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、年次財務諸表及び連結財務諸表利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。ISAに準拠した監査の過程を通じて、私たちは職表的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持する他、以下を実施した。

- ・不正又は誤謬による年次財務諸表及び連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの識別及び評価、これらリスクに対応した監査手続の立案及び実施、並びに私たちの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手した。不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化を伴うため、不正による重要な虚偽表示リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。
- ・状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちの監査に関連する当社の内部統制を理解する。ただし、これは、当社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・適用されている会計方針の適切性、並びに取締役会及び最高経営責任者によって行われた会計上の見積り及び関連する開示の妥当性を評価した。
- ・取締役会及び最高経営責任者が、継続企業を前提とした会計に基づく年次財務諸表及び連結財務諸表を作成することの適切性について結論を得た。私たちは、入手した監査証拠に基づいて当社及び当社グループの事業継続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関する重要な不確実性が認められるかどうかについて結論に達した。重要な不確実性が認められる場合、私たちは、監査報告書において年次財務諸表及び連結財務諸表関連の開示に注意喚起することが求められる。また、その開示が不適切である場合は、年次財務諸表及び連結財務諸表に対して除外事項付意見を表明する。私たちの結論は監査報告書の日付までに入手した以下の監査証拠に基づいている。しかしながら、将来の事象又は状況により当社及び当社グループは継続企業として存続できなくなる場合がある。
- ・年次財務諸表及び連結財務諸表全体の表示、構成及び内容について評価した。ここには年次財務諸表及び連結財務諸表が基礎となる取引及び事象を適正に表示しているか否かの評価が含まれる。
- ・連結財務諸表に対する意見表明のための、当行グループ内の企業活動及び事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手した。私たちはグループ監査を指示、監督及び実施する責任がある。私たちは監査意見について単独で責任を負う。

私たちは、その他の事項とともに、監査の範囲及び時期に関する監査計画について取締役会に報告しなければならない。私たちはまた、私たちが識別した内部統制の重要な不備を含む重要な監査上の発見事項について報告しなければならない。

また私たちは、取締役会に対して私たちが独立性に関する倫理規定に準拠している旨の宣誓書を提供しなければならないほか、取締役会に対して、私たちの独立性に影響することが合理的に考えられる関係及びその他の事項のすべてを報告し、また、該当する場合には関連するセーフガードを通知しなければならない。

私たちは、取締役会に報告された事項の中で、最も重要と評価された重要な虚偽表示リスクを含む、年次財務諸表及び連結財務諸表監査において最も重要と考える事項を決定した。したがって、これが監査上の主要な検討事項となる。私たちは、これらの事項について法規制により公表が禁止されている、あるいは、極端にまれな状況であるが、監査報告書に記載することにより生じる不利益が公共の利益を上回ることが合理的に予想され、当該事項を監査報告書に記載すべきでないと私たちが決定した場合を除き、これらの事項を監査報告書において説明している。

他の法令上の要件及び規制上の要件に関する報告

業務及び会社の利益処分案の監査に関する報告

監査意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、2021年度のスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの取締役会及び最高経営責任者の業務及び当社の利益処分案も監査した。

私たちは、定時株主総会に対して、法定経営報告書に記載されている提案に従った利益処分、及び当事業年度について取締役会のメンバー及び最高経営責任者の責任解除を勧告する。

監査意見の基礎

私たちはスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を実施した。本基準における私たちの責任は、「監査人の責任」項目に詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会は、当社の利益処分案について責任がある。この責任には、配当案において、親会社及び当行グループの資本に対する当社及び当行グループの事業区分、規模及びリスク、連結要件、流動性及び全般的な財政の規模に対する要件を考慮して、配当が正当なものであるか否かの評価が含まれている。

取締役会は当社の組織及び業務経営について責任がある。この責任には、特に当社及び当行グループの財政状態の継続評価に加え、当社の経理、資産管理及び財政状況が適切な方法で管理されるよう組織を整備することが含まれる。

最高経営責任者は、「取締役会ガイドライン及びインストラクション」に従って継続的に業務運営を行うほか、法令に準拠して当社の会計処理を行い、確実に資産の管理を行うために必要な措置を講じなければならない。

監査人の責任

業務監査に関する私たちの目的、責任解除に関する私たちの意見は、取締役会のメンバー又は最高経営責任者の誰かが、重要な点において、以下のいずれかに該当するか否かについて合理的な保証を得るために監査証拠を入手することである。

- ・当社に不利益をもたらす行為若しくは不作為を行った又は
- ・何らかの方法により、会社法、銀行及び金融業法、信用機関及び証券会社に係る年次報告法又は定款に違反する行為を行った

当社の利益処分案の監査及び監査意見に関する私たちの目的は、利益処分案が会社法に準拠しているか否かについて合理的な保証を得るために評価することにある。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、当社に不利益をもたらす行為若しくは不作為があること、及び利益処分案が会社法に準拠していないことを常に発見することを確約するものではない。

スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的懐疑心を保持する。業務及び当社の利益処分案の調査は主に財務諸表

の監査に基づいている。追加の監査手続は、リスク及び重要性を主眼に、職業的専門家としての判断に基づいて実施された。これは、事業への影響が高く、逸脱及び違反が会社の状況にとって重大となる行為、領域、及び関連性の検査に私たちが注力したことを意味する。私たちは、行使された意思決定、営業判断に用いられた裏付け、実施された行動及び責任解除に関する私たちの意見に影響する他の状況について検証シテストを実施した。取締役会による当社の利益処分案に対する意見の基礎として、私たちは、本処分案が会社法に準拠していたかどうかを評価するために取締役会の陳述書及び選択された裏付け証拠を検証した。

ESEFレポートに対する監査人の検証

意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、スウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)に従い、取締役会及び最高経営責任者により、2021年度のスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの年次財務諸表及び連結財務諸表が、欧州単一電子報告(ESEFレポート)を可能にするフォーマットで作成されていることを検証した。

私たちの検証及び意見は法定要件にのみ関連している。私たちの意見では、ESEFレポート 6368FBB82CB6168B2154408D36E B8BD 2D1067E9C79523BB726104AD9BE3DEED1 は、すべての重要な点において、単一電子報告が可能なフォーマットで作成されている。

意見の基礎

私たちは、FARの勧告RevR18「ESEFレポートの検証」に準拠して検証を行った。本勧告に基づく私たちの責任は、監査人の責任のセクションに詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士の職業倫理に従い、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトから独立しているほか、これらの要件に従って私たちの倫理的責任を果たしている。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な証拠を入手したと判断している。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会及び最高経営責任者は、スウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)に準拠したESEFレポートの作成、及び、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のないESEFレポートを作成するため取締役会及び最高経営責任者が必要であると考え内部統制に対する責任がある。

監査人の責任

私たちの責任は、実施した手続に基づいて、ESEFレポートがすべての重要な点においてスウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)の要求事項を満たすフォーマットで作成されているかどうかに関する合理的な保証を得ることである。

RevR18は、ESEFレポートがこれらの要求事項を満たすフォーマットで作成されていることを合理的に保証するための手続を計画し実施することを要求している。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、RevR18及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施された業務が、存在しているすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確認するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、ESEFレポートに基づいて行われる利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私たちは、ISQC第1号「財務諸表の監査及びレビュー並びにその他の保証及び関連サービス業務を行う事務所の品質管理」を適用し、職業倫理上の要求事項、専門的職業基準並びに法令及び規制上の要求事項の遵守に関する方針・手続書を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

本検証には、様々な手続を通じて、年次財務諸表及び連結財務諸表の単一電子報告が可能なフォーマットでESEFレポートが作成されていることの証拠を入手することが含まれる。選択される手続は、報告書における不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクに係る評価を含む、監査人による判断に依拠している。このリスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちは、内部統制のうち取締役会及び最高経営責任者によるESEFレポートの作成に関連する要素を検討する。ただし、これは、当該内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。また、本検証には、取締役会及び最高経営責任者が設定した仮定の適切性及び合理性に関する評価も含まれる。

この手続には主に、ESEFレポートの技術的検証、すなわちESEFレポートを含むファイルが欧州委員会の委任規則(EU)2019/815に定められた技術仕様を満たしているかどうか、及びESEFレポートと監査済年次財務諸表及び連結財務諸表との調整作業が含まれる。

またこの手続には、ESEFレポートが、連結損益計算書、連結財政状態計算書、連結持分変動計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書を公正かつ完全に機械で可読できるよう、iXBRLでタグ付けされているかどうかの評価も含まれる。

法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見

取締役会は、37-73ページの法定サステナビリティ・レポートについて責任があり、本レポートは年次報告法に準拠して作成されなければならない。

私たちは、FARの監査基準RevR12「法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見」に準拠して検証を実施した。これは、法定サステナビリティ・レポートに関する私たちの検証が、国際監査基準及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施される監査とは異なり、範囲が遥かに狭いことを意味する。私たちは、この検証で私たちの意見表明に十分な基礎を入手したと判断している。

法定サステナビリティ・レポートが作成されている。

ストックホルム、Hamngatan 26, 11147 に所在するアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーは、2021年3月24日に開催された定時株主総会において、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの監査人に指名され、1998年4月28日より当社の監査人を務めている。

ストックホルム、Torsgatan 21, 11397 に所在するプライス・ウォーターハウス・クーパース・エイ・ビーは、2021年3月24日に開催された年次株主総会において、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの監査人に指名され、2017年3月29日より当社の監査人を務めている。

ストックホルム、2022年2月24日

アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー

ジェスパー・ニルソン

公認会計士

プライス・ウォーターハウス・クーパース・エイ・ビー

ヨハン・リップ

公認会計士

[次へ](#)

Revisionsberättelse

Till bolagsstämman i Svenska Handelsbanken AB (publ), org.nr 502007-7862

Rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen

Uttalanden

Vi har utfört en revision av årsredovisningen och koncernredovisningen för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2021 med undantag för hållbarhetsrapporten på sidorna 37 - 73. Bolagets årsredovisning och koncernredovisning ingår på sidorna 6 - 270 i detta dokument.

Enligt vår uppfattning har årsredovisningen upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av moderbolagets finansiella ställning per den 31 december 2021 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Koncernredovisningen har upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av koncernens finansiella ställning per den 31 december 2021 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt International Financial Reporting Standards (IFRS), såsom de antagits av EU, och lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

En bolagsstyrningsrapport har upprättats. Förvaltningsberättelsen och bolagsstyrningsrapporten är förenliga med årsredovisningens och koncernredovisningens övriga delar, och bolagsstyrningsrapporten är i överensstämmelse med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

Vi tillstyrker därför att bolagsstämman fastställer resultaträkningen och balansräkningen för moderbolaget och koncernen.

Våra uttalanden i denna rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen är förenliga med innehållet i den kompletterande rapport som har överlämnats till moderbolagets revisionsutskott i enlighet med Revisorsförordningens (537/2014) artikel 11.

Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt International Standards on Auditing (ISA) och god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt dessa standarder beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav. Detta innefattar att, baserat på vår bästa kunskap och övertygelse, inga förbjudna tjänster som avses i revisorsförordningens (537/2014) artikel 5.1 har tillhandahållits det granskade bolaget eller, i förekommande fall, dess moderföretag eller dess kontrollerade företag inom EU.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

SÄRSKILT BETYDELSEFULLA OMRÅDEN

Särskilt betydelsefulla områden för revisionen är de områden som enligt vår professionella bedömning var de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen för den aktuella perioden. Dessa områden behandlades inom ramen för revisionen av, och i vårt ställningstagande till, årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet, men vi gör inga separata uttalanden om dessa områden. Beskrivningen nedan av hur revisionen genomfördes inom dessa områden ska läsas i detta sammanhang.

Vi har fullgjort de skyldigheter som beskrivs i avsnittet Revisorns ansvar i vår rapport om årsredovisningen också inom dessa områden. Därmed genomfördes revisionsåtgärder som utformats för att beakta vår bedömning av risk för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen. Utfallet av vår granskning och de granskningsåtgärder som genomförts för att behandla de områden som framgår nedan utgör grunden för vår revisionsberättelse.

Reservering för förväntade kreditförluster

Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Kreditriskexponeringar och dess hantering beskrivs i not K2 från sid 113. Koncernens redovisade förväntade kreditförluster specificeras i not K10. Upplysningar avseende moderbolaget finns i not M2 och M10. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 10 på sid 102. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende kreditgivning och reserveringar för förväntade kreditförluster överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.

Beskrivning av området

Per den 31 december 2021 uppgår utlåning till allmänheten till 2 163 135 (611 852) mkr i koncernen (moderbolaget) vilket motsvarar 65 (27) % av totala tillgångar. Den totala kreditriskexponeringen, inklusive åtaganden utanför balansräkningen, uppgår till 3 597 780 (2 827 069) mkr.

Reservering för förväntande kreditförluster för utlåning till allmänheten uppgår till 3 178 (2 265) mkr varav 1 085 (600) mkr baseras på modellbaserade beräkningar (Steg 1 och 2) och 2 093 (1 665) mkr på manuella beräkningar (Steg 3). Banken utför justeringar för modellberäknade reserver i Steg 1 och 2 för att beakta effekter från faktorer som inte bedöms fångas upp av modellen.

Förlustreserven ska värderas på ett sätt som återspeglar ett objektivt och sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera ett intervall av möjliga utfall och baseras på tidigare händelser, nuvarande förhållanden och prognoser för framtida ekonomiska förutsättningar. Reserveringen kräver att Banken gör bedömningar och antaganden av exempelvis kriterier för att identifiera en väsentlig ökning i kreditrisk och metoder för att beräkna förväntade kreditförluster. Givet komplexiteten vid beräkningen och att det kräver att Banken gör bedömningar och antaganden med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av reserven för förväntande kreditförluster ansetts vara ett särskilt betydelsefullt område.

Hur detta område beaktades i revisionen

Vi har utvärderat huruvida Bankens bedömning av sannolikhet för fallissemang, förlust vid fallissemang, exponering vid fallissemang och förväntad kreditförlust samt väsentlig ökning av kreditrisk är i enlighet med IFRS 9.

Vi har erhållit förståelse för och testat utformningen av nyckelkontroller i kreditprocessen inklusive kreditbeslut, kreditgranskning, ratingklassificering samt identifiering och fastställande av krediter som bedöms vara i fallissemang. Vi har även testat kontroller avseende inläsning av modelldata och generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering för dessa system. Vår bedömning är att vi kan ha en kontrollbaserad ansats i vår revision.

Vidare har vi utmanat bankens initiala och aktuella kreditrating för ett stickprov av krediter. Vi har testat att data från underliggande system som används i modellen är fullständig och korrekt. Vi har granskat och bedömt modellen som används inklusive antagande och parameter samt kontrollerat modellens funktionalitet. Vi har även granskat och bedömt utfall av de modellvalideringar som har utförts och bedömt rimligheten i den makroekonomiska data som används. Vi har bedömt rimligheten i de manuella justeringar, inklusive den expertbaserade reserveringen avseende covid-19, som utförts av Banken. I vår revision har vi använt våra interna modellspecialister för att bistå oss i de granskningsåtgärder vi utfört.

Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående kreditrisk är ändamålsenliga.

Värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas

Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Finansiella instrument värderade till verkligt värde beskrivs i not K41 för koncernen och M36 för moderbolaget. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 9 på sid 101. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende finansiella instrument värderade till verkligt värde överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.

Beskrivning av området

Banken har finansiella instrument där aktuella marknadspriser saknas varför verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller som bygger på marknadsdata. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 2 enligt IFRS värderingshierarki. Svenska Handelsbanken har även i viss omfattning finansiella instrument vars värdering till verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller där värdet påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 3 enligt IFRS värderingshierarki.

Koncernen (moderbolaget) har finansiella tillgångar och finansiella skulder i nivå 2 om 37 923 (57 917) mkr respektive 16 066 (22 822) mkr. Finansiella tillgångar och skulder i nivå 3 uppgår till 1 166 (1 135) mkr respektive 527 (527) mkr.

Finansiella instrument i nivå 2 utgörs främst av derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, samt företagsobligationer. Dessa instrument värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Finansiella instrument i nivå 3 utgörs främst av onoterade aktier i gemensamägda bolag, placeringstillgångar i försäkringsrörelsen samt vissa derivatkontrakt som värderas med icke-observerbara data. Givet komplexiteten vid beräkningar och att det kräver att Banken gör bedömningar med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas bedömts vara ett särskilt betydelsefullt område.

Hur detta område beaktades i revisionen

Vi har utvärderat huruvida Bankens metod för värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas inklusive klassificering i värderingshierarki är i enlighet med IFRS 13.

Vi har testat nyckelkontroller i värderingsprocessen, innefattande bankens fastställande och godkännande av antaganden och metoder som använts i modellbaserade beräkningar, kontroller av datakvalitet samt förändringshantering avseende interna värderingsmodeller. Vi har även testat generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering för dessa system. Vår bedömning är att dessa nyckelkontroller är designade, implementerade och operativt effektiva och vi har därför bestämt att vi kan förlita oss på dessa nyckelkontroller i vår revision.

Vidare har vi bedömt och utmanat de metoder och antaganden som används vid värdering av finansiella instrument där marknadsvärden saknas. Vi har jämfört värderingsmodellerna mot värderingsriktlinjer och branschpraxis. Vi har jämfört använda antaganden med lämpliga referensvärden och priskällor och undersökt betydande avvikelser. Vi har kontrollerat rimligheten i beräkningarna genom att stickprovsvis utföra egna oberoende värderingar. I vår revision har vi använt våra interna värderingsspecialister för att bistå oss i de granskningsåtgärder vi utfört.

Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående värdering av finansiella instrument till verkligt värde är ändamålsenliga.

Annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen

Detta dokument innehåller även annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen och återfinns på sidorna 1 - 5, 37 - 73 och 277 - 279. Även ersättningsrapporten för räkenskapsåret 2021 utgör annan information. Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för denna andra information.

Vårt uttalande avseende årsredovisningen och koncernredovisningen omfattar inte denna information och vi gör inget uttalande med bestyrkande avseende denna andra information.

I samband med vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen är det vårt ansvar att läsa den information som identifieras ovan och överväga om informationen i väsentlig utsträckning är oförenlig med årsredovisningen och koncernredovisningen. Vid denna genomgång beaktar vi även den kunskap vi i övrigt inhämtat under revisionen samt bedömer om informationen i övrigt verkar innehålla väsentliga felaktigheter.

Om vi, baserat på det arbete som har utförts avseende denna information, drar slutsatsen att den andra informationen innehåller en väsentlig felaktighet, är vi skyldiga att rapportera detta. Vi har inget att rapportera i det avseendet.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att årsredovisningen och koncernredovisningen upprättas och att de ger en rättvisande bild enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och, vad gäller koncernredovisningen, enligt IFRS såsom de antagits av EU. Styrelsen och verkställande direktören ansvarar även för den interna kontroll som de bedömer är nödvändig för att upprätta en årsredovisning och koncernredovisning som inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på misstag.

Vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen ansvarar styrelsen och verkställande direktören för bedömningen av bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. De upplyser, när så är tillämpligt, om förhållanden som kan påverka förmågan att fortsätta verksamheten och att använda antagandet om fortsatt drift. Antagandet om fortsatt drift tillämpas dock inte om styrelsen och verkställande direktören avser att likvidera bolaget, upphöra med verksamheten eller inte har något realistiskt alternativ till att göra något av detta.

Styrelsens revisionsutskott ska, utan att det påverkar styrelsens ansvar och uppgifter i övrigt, bland annat övervaka bolagets finansiella rapportering.

Revisorns ansvar

Våra mål är att uppnå en rimlig grad av säkerhet om att årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på misstag, och att lämna en revisionsberättelse som innehåller våra uttalanden. Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en revision som utförs enligt ISA och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i årsredovisningen och koncernredovisningen.

Som del av en revision enligt ISA använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Dessutom:

- identifierar och bedömer vi riskerna för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på misstag, utformar och utför granskningsåtgärder bland annat utifrån dessa risker och inhämtar revisionsbevis som är tillräckliga och ändamålsenliga för att utgöra en grund för våra uttalanden. Risker för att inte upptäcka en väsentlig felaktighet till följd av oegentligheter är högre än för en väsentlig felaktighet som beror på misstag, eftersom oegentligheter kan innefatta agerande i maskopi, förfälskning, avsiktliga utelämnanden, felaktig information eller åsidosättande av intern kontroll.
- skaffar vi oss en förståelse av den del av bolagets interna kontroll som har betydelse för vår revision för att utforma granskningsåtgärder som är lämpliga med hänsyn till omständigheterna, men inte för att uttala oss om effektiviteten i den interna kontrollen.
- utvärderar vi lämpligheten i de redovisningsprinciper som används och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens uppskattningar i redovisningen och tillhörande upplysningar.
- drar vi en slutsats om lämpligheten i att styrelsen och verkställande direktören använder antagandet om fortsatt drift vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen. Vi drar också en slutsats, med grund i de inhämtade revisionsbevisen, om det finns någon väsentlig osäkerhetsfaktor som avser sådana händelser eller förhållanden som kan leda till betydande tvivel om bolagets förmåga att fortsätta verksamheten. Om vi drar slutsatsen att det finns en väsentlig osäkerhetsfaktor, måste vi i revisionsberättelsen fästa uppmärksamheten på upplysningarna i årsredovisningen och koncernredovisningen om den väsentliga osäkerhetsfaktorn eller, om sådana upplysningar är otillräckliga, modifiera uttalandet om årsredovisningen och koncernredovisningen. Våra slutsatser baseras på de revisionsbevis som inhämtas fram till datumet för revisionsberättelsen. Dock kan framtida händelser eller förhållanden göra att ett bolag inte längre kan fortsätta verksamheten.
- utvärderar vi den övergripande presentationen, strukturen och innehållet i årsredovisningen och koncernredovisningen, däribland upplysningarna, och om årsredovisningen och koncernredovisningen återger de underliggande transaktionerna och händelserna på ett sätt som ger en rättvisande bild.
- inhämtar vi tillräckliga och ändamålsenliga revisionsbevis avseende den finansiella informationen för enheterna eller affärsaktiviteterna inom koncernen för att göra ett uttalande avseende koncernredovisningen. Vi ansvarar för styrning, övervakning och utförande av koncernrevisionen. Vi är ensamt ansvariga för våra uttalanden.

Vi måste informera styrelsen om bland annat revisionens planerade omfattning och inriktning samt tidpunkten för den. Vi måste också informera om betydelsefulla iakttagelser under revisionen, däribland de betydande brister i den interna kontrollen som vi identifierat.

Vi måste också förse styrelsen med ett uttalande om att vi har följt relevanta yrkesetiska krav avseende oberoende, och ta upp alla relationer och andra förhållanden som rimligen kan påverka vårt oberoende, samt i tillämpliga fall tillhörande motåtgärder.

Av de områden som kommuniceras med styrelsen fastställer vi vilka av dessa områden som varit de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen, inklusive de viktigaste bedömda riskerna för väsentliga felaktigheter, och som därför utgör de för revisionen särskilt betydelsefulla områdena. Vi beskriver dessa områden i revisionsberättelsen såvida inte lagar eller andra författningar förhindrar upplysning om frågan.

Rapport om andra krav enligt lagar och andra författningar

Revisorns granskning av förvaltning och förslag till dispositioner av bolagets vinst eller förlust

Uttalanden

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en revision av styrelsens och verkställande direktörens förvaltning av Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2021 samt av förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust.

Vi tillstyrker att bolagsstämman disponerar vinsten enligt förslaget i förvaltningsberättelsen och beviljar styrelsens ledamöter och verkställande direktören ansvarsfrihet för räkenskapsåret.

Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt denna beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen som har ansvaret för förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust. Vid förslag till utdelning innefattar detta bland annat en bedömning av om utdelningen är försvarlig med hänsyn till de krav som bolagets och koncernens verksamhetsart, omfattning och risker ställer på storleken av moderbolagets och koncernens egna kapital, konsolideringsbehov, likviditet och ställning i övrigt.

Styrelsen ansvarar för bolagets organisation och förvaltningen av bolagets angelägenheter. Detta innefattar bland annat att fortlöpande bedöma bolagets och koncernens ekonomiska situation och att tillse att bolagets organisation är utformad så att bokföringen, medelsförvaltningen och bolagets ekonomiska angelägenheter i övrigt kontrolleras på ett betryggande sätt. Den verkställande direktören ska sköta den löpande förvaltningen enligt styrelsens riktlinjer och anvisningar och bland annat vidta de åtgärder som är nödvändiga för att bolagets bokföring ska fullgöras i överensstämmelse med lag och för att medelsförvaltningen ska skötas på ett betryggande sätt.

Revisorns ansvar

Vårt mål beträffande revisionen av förvaltningen, och därmed vårt uttalande om ansvarsfrihet, är att inhämta revisionsbevis för att med en rimlig grad av säkerhet kunna bedöma om någon styrelseledamot eller verkställande direktören i något väsentligt avseende:

- företagit någon åtgärd eller gjort sig skyldig till någon försummelse som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller
- på något annat sätt handlat i strid med aktiebolagslagen, lagen om bank- och finansieringsrörelse, lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag eller bolagsordningen.

Vårt mål beträffande revisionen av förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust, och därmed vårt uttalande om detta, är att med rimlig grad av säkerhet bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men ingen garanti för att en revision som utförs enligt god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka åtgärder eller försummelser som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller att ett förslag till dispositioner av bolagets vinst eller förlust inte är förenligt med aktiebolagslagen.

Som en del av en revision enligt god revisionssed i Sverige använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Granskningen av förvaltningen och förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust grundar sig främst på revisionen av räkenskaperna. Vilka tillkommande granskningsåtgärder som utförs baseras på vår professionella bedömning med utgångspunkt i risk och väsentlighet. Det innebär att vi fokuserar granskningen på sådana åtgärder, områden och förhållanden som är väsentliga för verksamheten och där avsteg och överträdelser skulle ha särskild betydelse för bolagets situation. Vi går igenom och prövar fattade beslut, beslutsunderlag, vidtagna åtgärder och andra förhållanden som är relevanta för vårt uttalande om ansvarsfrihet. Som underlag för vårt uttalande om styrelsens förslag till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust har vi granskat styrelsens motiverade yttrande samt ett urval av underlagen för detta för att kunna bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Revisorns granskning av Esef-rapporten

Uttalande

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en granskning av att styrelsen och verkställande direktören har upprättat årsredovisningen och koncernredovisningen i ett format som möjliggör enhetlig elektronisk rapportering (Esef-rapporten) enligt 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2021.

Vår granskning och vårt uttalande avser endast det lagstadgade kravet.

Enligt vår uppfattning har Esef-rapporten 6368FBB82CB6168B21544 08D36EB8BD2D1067E9C79523BB726104AD9BE3DEED1 upprättats i ett format som i allt väsentligt möjliggör enhetlig elektronisk rapportering.

Grund för uttalandet

Vi har utfört granskningen enligt FARs rekommendation RevR 18 Revisorns granskning av Esef-rapporten. Vårt ansvar enligt denna rekommendation beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till Svenska Handelsbanken AB (publ) enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de bevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för vårt uttalande.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att Esef-rapporten har upprättats i enlighet med 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden, och för att det finns en sådan intern kontroll som styrelsen och verkställande direktören bedömer nödvändig för att upprätta Esef-rapporten utan väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag.

Revisorns ansvar

Vår uppgift är att uttala oss med rimlig säkerhet om Esef-rapporten i allt väsentligt är upprättad i ett format som uppfyller kraven i 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden, på grundval av vår granskning.

RevR 18 kräver att vi planerar och genomför våra granskningsåtgärder för att uppnå rimlig säkerhet att Esef-rapporten är upprättad i ett format som uppfyller dessa krav.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en granskning som utförs enligt RevR 18 och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i Esef-rapporten.

Revisionsföretagen tillämpar ISQC 1 Kvalitetskontroll för revisionsföretag som utför revision och översiktlig granskning av finansiella rapporter samt andra bestyrkandeuppdrag och närliggande tjänster och har därmed ett allsidigt system för kvalitetskontroll vilket innefattar dokumenterade riktlinjer och rutiner avseende efterlevnad av yrkesetiska krav, standarder för yrkesutövningen och tillämpliga krav i lagar och andra författningar.

Granskningen innefattar att genom olika åtgärder inhämta bevis om att Esef-rapporten har upprättats i ett format som möjliggör enhetlig elektronisk rapportering av årsredovisningen och koncernredovisning. Revisorn väljer vilka åtgärder som ska utföras, bland annat genom att bedöma riskerna för väsentliga felaktigheter i rapporteringen vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag. Vid denna riskbedömning beaktar revisorn de delar av den interna kontrollen som är relevanta för hur styrelsen och verkställande direktören tar fram underlaget i syfte att utforma granskningsåtgärder som är ändamålsenliga med hänsyn till omständigheterna, men inte i syfte att göra ett uttalande om effektiviteten i den interna kontrollen. Granskningen omfattar också en utvärdering av ändamålsenligheten och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens antaganden.

Granskningsåtgärder omfattar huvudsakligen en teknisk validering av Esef-rapporten, dvs. om filen som innehåller Esef-rapporten uppfyller den tekniska specifikation som anges i kommissionens delegerade förordning (EU) 2019/815 och en avstämning av att Esef-rapporten överensstämmer med den granskade årsredovisningen och koncernredovisningen.

Vidare omfattar granskningen även en bedömning av huruvida Esef-rapporten har märkts med iXBRL som möjliggör en rättvisande och fullständig maskinläsbar version av koncernens resultat-, balans- och egetkapitalräkningar samt kassaflödesanalysen.

Revisorns yttrande avseende den lagstadgade hållbarhetsrapporten

Det är styrelsen som har ansvaret för hållbarhetsrapporten på sidorna 37 - 73 och för att den är upprättad i enlighet med årsredovisningslagen.

Vår granskning har skett enligt FARs rekommendation RevR 12 Revisorns yttrande om den lagstadgade hållbarhetsrapporten. Detta innebär att vår granskning av hållbarhetsrapporten har en annan inriktning och en väsentligt mindre omfattning jämfört med den inriktning och omfattning som en revision enligt International Standards on Auditing och god revisionssed i Sverige har. Vi anser att denna granskning ger oss tillräcklig grund för vårt uttalande.

En hållbarhetsrapport har upprättats.

Ernst & Young AB, Hamngatan 26, 111 47 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 24 mars 2021 och har varit bolagets revisor sedan 28 april 1998.

PricewaterhouseCoopers AB, Torsgatan 21, 113 97 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 24 mars 2021 och har varit bolagets revisor sedan 29 mars 2017.

Stockholm den 24 februari 2022

Ernst & Young AB

PricewaterhouseCoopers AB

Jesper Nilsson

Johan Rippe

Auktoriserad revisor

Auktoriserad revisor

() 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものです。その原本は本有価証券報告書提出会社が別途保管しております。